２　０　２　６　年　度

福山市 柳津町一丁目 地内

# 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木）実施設計書

| | 当　　初 | |
|---|---|---|
| 工事概要 | 土工　　１式<br>仮設工　　１式<br>反応タンク増設工　１式<br>最終沈殿池増設工　１式 | |

# 特　記　仕　様　書

## 第１章 総則

### 第１節 適用

1. 本特記仕様書は、福山市上下水道局施設部施設整備課の発注する工事に適用する。

### 第２節 留意事項

1. 本特記仕様書に記載のない事項については、「福山市工事請負契約約款（契約書を含む）」、「設計図書（別冊図面、仕様書、現場説明書及び現場説明に対する質問回答書をいう）」、「福山市上下水道局建設工事施行規程」、「福山市上下水道局工事検査技術基準」、「福山市下水道構造標準図」、「下水道土木工事共通仕様書(案)-2021年版-〔（公社)日本下水道協会〕」、「広島県土木工事共通仕様書（令和7年8月）」、その他関係規則によるものとする。
2. 施工にあたり、日本国の関係諸法令、諸官公庁の通達、施工に関する協定事項等を遵守し、諸官公署への届出及び許可等の手続きを速やかに行ない、監督員に報告すること。
3. 施工にあたり、必要な事項及び固有の条件等は、この特記仕様書によるもののほか、別紙、施工条件表のとおりとする。なお、施工条件に変更が生じた場合は、監督員と協議すること。
4. 契約約款第３条に基づき、契約締結後１４日以内に工程表を作成し、提出すること。
5. 着工前に地元関係者と本工事の施工方法等について、十分に打合せ等を行い理解を得て円滑に工事が完成するよう努めること。
6. 工事開始日以降４０日以内に着手すること。
7. 本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

### 第３節 事業損失防止

1. 施工に伴い通常避けることができない地盤沈下、振動等を原因として生じた、建物等の損害等の補償に関しては、「福山市上下水道局建設工事損失補償事務特記仕様書」によるものとする。
2. 発注者が近接する建物等の調査を実施する場合は、受注者は発注者の行う調査の範囲を把握し、近接する区間の施工には、細心の注意をはらい施工すること。
3. 発注者が調査を実施しない建物等について、受注者は必要に応じて事前に建物等の調査を実施すること。なお、調査箇所等を変更をする必要がある場合は、別途、協議すること。
4. 事業損失が発生する可能性があるときは、監督員と協議すること。

### 第４節 主任（監理）技術者の配置等

1. 主任（監理）技術者の専任期間等

   専任が義務付けられた工事に配置される技術者の専任期間について、次に掲げる場合で、打合せ簿等により、その旨を明確にしたときは専任を要しないものとする。なお、工期の終期が到来する前に工事完成検査が終了した場合の配置期間は、引渡しを受けた日までとする。

   ①契約書上の工期の始期から現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入または仮設工事等が開始されるまでの間）
   ②工事用地等の確保が未了、自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により、工事を全面的に一時中止している期間
   ③橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間

   なお、工場製作の過程を含む工事の工場製作過程においても、建設工事を適正に施工するため、主任（監理)技術者がこれを管理する必要があるが、当該工場製作過程において、同一工場内で他の同種工事に係る製作と一元的な管理体制のもとで製作を行うことが可能である場合は、同一の主任（監理)技術者がこれらの製作を一括して管理することができる。

   ④工事完成後、検査が終了し、事務手続きなどの残務があり、引渡しを受けるまでの期間
2. 主任（監理）技術者の変更の特例

   次に掲げる場合で、打合せ簿等により、その旨を明確にしたときは、主任（監理）技術者の変更ができるものとする。

   ①技術者の死亡、傷病、出産、育児、介護による就業不能、または退職等の真にやむを得ない理由により交代が必要と認められるとき
   ②受注者の責によらない理由により工事中止または工事内容の大幅な変更が発生し工期が延長されたとき
   ③橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場から現地へ工事の現場が移行する時点

   なお、いずれの場合も発注者と受注者との協議により、交代の時期は工程上一定の区切りと認められる時点とするほか、交代前後における主任（監理）技術者の技術力が同等以上に確保されるとともに、工事の規模、難易度等に応じ一定期間重複して工事現場に設置するなど、工事の継続性、品質確保等に支障がないと認められることが必要である。

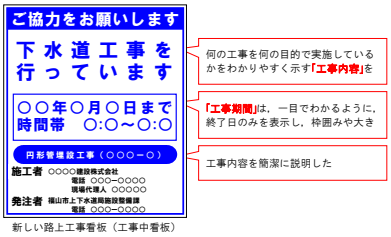
## 第２章 施工

### 第１節 安全対策

1. 片側交互通行及び通行止め等の交通制限を行う場合は、関係官公署の許可条件を遵守し、安全かつ円滑な交通を確保して事故発生のないように努めること。
2. 作業現場、作業用地内の整理整頓に留意して必要な安全施設の設置等を行い、関係者以外の立入りを禁止して危険防止に努めること。
3. 路面の補修及び転落防止対策に努めるなど、交通及び保安上の十分な措置を講じること。
4. 作業時間外（夜間等）に交通制限を行う場合は、その範囲を最小限とし夜間の保安施設は注意灯、回転灯及び防護柵等を設置して十分に配慮すること。
5. 施工に伴い事故が発生した場合は、迅速に所要の措置を講じるとともに、事故発生の原因及び経過、並びに事故による被害の内容等について、速やかに「事故等速報」等により、監督員に報告すること。

### 第２節 現道工事における保安施設

1. 保安施設は、「広島県土木工事共通仕様書」による現道工事における保安施設配置図（案）及び保安施設設置基準を基本とし、現場条件等に応じ適切に実施すること。ただし、「工事表示板」及び「工事情報看板」、「工事説明看板」、「まわり道案内表示板」の標準様式については、次のとおりとすること。なお、この標準様式によらない場合は、監督員と協議すること。
2. 保安施設のうち工事情報看板の設置時期については、工事現場周辺の住民及び道路利用者等に十分周知の図れるよう事前に設置すること。また、その他の保安施設の設置時期は、現場着手にあわせて適切な時期に設置すること。
3. 作業休止中（休日等）で通行に支障のない場合は、作業のないことの周知が図れるように標識等を撤去またはシート等でかくす等、措置すること。
4. 施工に伴い止むを得ず路面に段差が生じた状態で交通開放する場合は、通行者に周知が図れるよう警戒看板等を設置するとともに、通行者の安全に十分配慮すること。
5. 台風等により暴風雨等が予測される場合は、保安施設（工事看板等）が頑丈に固定されていることを確認するとともに、設置場所等の状況によっては、一時撤去し、飛散しないように最善の策を講ずること。
6. 「工事表示板」、「工事情報看板」、「工事説明看板」、「まわり道案内表示板」の標準様式については、次のとおりとする。なお、看板の寸法は、現場条件等に応じて適切な大きさとすること。



新しい路上工事看板（工事中看板）

（工事情報看板）

（工事説明看板）

### 第３節 交通誘導警備員

1. 交通誘導警備員を配置するにあたって、安全かつ円滑な交通が確保できるよう状況を十分に把握し、現場条件に応じた適正人員の確保及び配置を行うこと。また、交通誘導警備員に対して、現場条件に関する教育等を行なうこと。
2. 受注者は工事現場の交通状況を十分に把握し、交通誘導警備員の休憩、休息時間において交通誘導警備員が必要な場合は、監督員と協議を行って交替要員を配置するものとし、必要と認められる場合は契約変更できるものとする。
3. 交通誘導警備員の積上げ人数は、交通誘導の対象となる施工量に対し、作業日当り標準作業量から必要な人数を見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による交通誘導警備員の積み上げ人数の増員に対する変更は行なわない。また、工事実績の交通誘導警備員が減となった場合は、実績数量により変更を行なう。ただし、交通誘導警備員の対象となる施工量に増減等が生じた場合はこの限りでない。
4. 交通誘導警備員Ａとは、警備業者の警備員（警備業法第2条第4項に規定する警備員をいう。）で、交通誘導警備業務（警備員等の検定等に関する規則第1条第4項に規定する交通誘導警備業務をいう。）に従事する交通誘導警備業務に係る一級検定合格警備員又は二級検定合格警備員をいう。
5. 交通誘導警備員Ｂとは、警備業者の警備員で、交通誘導警備員Ａ以外の交通の誘導に従事するものをいう。
6. 「警備員等の検定等に関する規則」により、広島県公安委員会から認定告示（2020年10月1日広島県公安委員会告示第73号）のあった路線に係る交通誘導を実施する場合については、交通誘導警備員Ａを誘導日あたり１名以上配置すること。

### 第４節 管路及びマンホール

1. 下水道用硬質塩化ビニル管は、JSWAS〔K－１〕（日本下水道協会）の規格によるものとする。また、その取扱い及び施工は、同規格書の〔参考資料3〕「硬質塩化ビニル管の施工標準」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。
2. 下水道用鉄筋コンクリート製円形マンホールは、JSWAS〔A－11〕（日本下水道協会）規格製品とする。また、その取扱い及び施工は、JSWAS〔A－11〕（日本下水道協会）による〔参考資料1〕「設計及び施工上の留意点」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。
3. 下水道用鋳鉄製マンホールふたは、「福山市型鋳鉄製マンホールふた（標準）仕様書」、「福山市型鋳鉄製マンホールふた（高機能）仕様書」に基づき製作され、本局が承認した製品とする。また、その取扱い及び施工は、JSWAS〔G－4〕（日本下水道協会）による〔参考資料2〕「鋳鉄製マンホールふたの施工上の留意事項」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。
4. 下水道用硬質塩化ビニル製小型マンホールは、JSWAS〔K－9〕（日本下水道協会）の規格によるものとする。また、その取扱い及び施工は、同規格書の〔参考資料2〕「硬質塩化ビニル製小型マンホールの施工標準」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。
5. 下水道用鋳鉄製防護ふたは、「福山市型鋳鉄製防護ふた仕様書」に基づき製作され、本局が承認した製品とする。また、その取扱い及び施工は、JSWAS〔G－3〕（日本下水道協会）による〔参考資料1〕「鋳鉄製防護ふた施工上の留意点」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。
6. 下水道推進工法用硬質塩化ビニル管は、JSWAS〔K－６〕（日本下水道協会）の規格によるものとする。また、その取扱い及び施工は、同規格書の〔参考資料４〕「施工上の留意点」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。
7. 下水道小口径管推進工法用鉄筋コンクリート管は、JSWAS〔A－６〕（日本下水道協会）の規格によるものとする。また、その取扱い及び施工は、同規格書の〔参考資料４〕「管の取り扱い及び管路の構成」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。

### 第５節 現場管理

1. 土留工の施工は、地盤変動に留意して適切に設置撤去すること。また、設置撤去の不良により地下埋設物、通行者及び隣接物等に損害を与えた場合は、受注者の責任により速やかに対処すること。
2. 埋戻工の施工は、十分な締固めを行うこと。また、埋戻し及び締固めの不良により地下埋設物、通行者及び隣接物等に損害を与えた場合は、受注者の責任により速やかに対処すること。
3. 施工方法、建設機械の騒音及び振動の大きさ、発生実態、発生機構等について十分理解し、工事現場及び現場周辺の状況に留意して施工すること。
4. 施工に伴い通常避けることができない損害等の発生が予見されるときは、速やかに監督員に協議すること。
5. 小黒板情報電子化対応ソフトウェアを使用する場合は、「土木工事共通仕様書（広島版）」に従い、工事契約後に監督員の承諾を得たうえで、使用する機器・ソフトウェア等について工事着手までに提出すること。また、工事完成時に小黒板情報の電子的記入を行った写真の信憑性確認を行い、その結果を監督員へ提出すること。

### 第６節 地下埋設物

1. 工事着手前には、地下埋設物及び地下構造物の調査を行うとともに、当該管理者に立会を求めてその位置を確認し、管理者の指示を遵守して埋設物及び構造物に損害を与えないよう注意して施工すること。
2. 必要に応じて試掘を実施し、その位置を確認すること。また、当該管理者との協議及び試掘の結果を発注者へ提出すること。

### 第７節 環境対策

1. 施工に伴う騒音、振動、大気汚染、水質汚濁等について、関係法令及び仕様書の規定を遵守の上、周辺地域の環境保全に努めるものとする。また、施工計画及び工事実施の各段階において十分検討して必要な措置を講じること。
2. 受注者は、大気汚染防止法に基づき本工事が特定工事に該当するかについて、事前調査（設計図書その他の書面による調査、特定建築材料の有無の目視による調査等）を行いその結果を監督員に説明し、事前調査結果（受注者の名称、調査終了年月日、調査方法、調査結果等）を現場の公衆に見やすい場所に掲示すること。なお、掲示物の大きさは長さ42.0cm以上、幅29.7cm以上（A3用紙以上、縦長横長問わず）とする。また、監督員への説明書面の写し、及び事前調査の記録は、工事完了後３年間保存すること。
3. 資機材等の運搬にあたっては、運搬経路及び作業時間帯に留意すること。
4. 施工方法、建設機械の騒音及び振動の大きさ、発生実態、発生機構等について十分理解して、工事現場及び現場周辺の状況に留意すること。
5. 広島県土木工事共通仕様書（令和7年8月）『1-1-1-34 環境対策』で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては、第3次基準値以上の建設機械の使用に努めること。なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

### 第８節 工事用地

1. 本工事に必要な現場事務所及び資材置場等の用地は、全て受注者の責任と負担において確保すること。

### 第９節 情報共有システムの利用

1. 情報共有システムとは、業務の効率化を図り、受発注者間の情報を電子的に交換・共有するものであり、本工事が対象であるかは施工条件表を参照すること。
2. 本工事で使用する情報共有システムは次とする。
   広島県工事中情報共有システム　http://www.hdobokuk.or.jp/koujiiyouhoushisutemu2.html
3. 受注者は、情報共有システムの利用対象としないことを希望する場合は、契約後すみやかに発注者にその旨を協議し、承諾を得ること。
4. 受注者は、情報共有システムの利用に当たり、(一社）広島県土木協会に利用申込みを行い、利用料を支払うものとする。
5. 受注者は、情報共有システムの利用に当たり、「情報共有システム利用手引(土木工事)」に基づき運用すること。

### 第10節 コンクリートのひび割れ対策

1. 全ての部材について、ひび割れ制御を考慮したコンクリート打設計画を作成するものとする。打設計画の作成にあたっては、コンクリートの配合計画、打設方法及び養生方法に加え、壁部材については、打設区画20m程度及び打設高5m程度を1ブロックとして検討することを原則とする。また、壁とスラブは同時に打設しないことを原則とする。
2. コンクリート打設及び養生後、ひび割れの発生状況を確認し、著しいひび割れが認められた場合は、その発生原因を明らかにするとともに適切に補修し、必要に応じてコンクリートの打設計画の見直しを行うものとする。
3. 厚さ50cm以上の壁部材及び厚さ80cm以上のスラブ状（底版を含む。）について、現場施工条件（配合計画、打設計画等）に基づいた温度ひび割れ解析を実施し、設計上の温度ひび割れ制御対策を照査のうえ、報告書を提出するものとする。

### 第11節 防食被覆工

1. 防食被覆工の施工は、日本下水道事業団「下水道コンクリート構造物の腐食抑制技術及び防食技術マニュアル」によること。
2. 防食被覆工の完成時には、防食被覆工法性能保証書を提出すること。性能保証書には、工事名、工事場所、施工箇所及び施工箇所ごとの設計腐食環境、工法規格、施工数量、工法名及び性能保証期間と保証内容を記載し、受注者、施工者及び製造者の連名により提出すること。なお、性能保証期間は10年とする。

### 第12節 既設仮壁撤去

1. 既存の躯体にある仮壁の撤去に際しては、既存施設及び設備の保安対策を充分に検討し、その内容について監督員の承諾を得たうえで撤去工事に着手すること。

## 第３章 材料

### 第１節 埋戻材（処理土）

1. 本工事に使用する購入土は、建設発生土処分先一覧表（広島県）に掲載された建設発生土リサイクルプラントが製造した処理土（改良土を含む。以下同じ。）を使用するものとする。積算にあたっては、運搬費と処理土購入費（工場渡し）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き購入土に要する費用（単価）は変更しない。
2. １により使用することとしている処理土について、何らかの事情によりその使用が困難である場合は、設計図書の内容について協議すること。
3. 使用する処理土がセメント及びセメント系固化材を使用した改良土の場合、「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」に基づき、建設発生土リサイクルプラントから試験結果の提示を受けるとともに、施工後に六価クロム溶出試験を実施し、試験結果（計量証明書）を提出するものとする。
4. 工事完了時には、計量伝票等及び試験結果等を提出すること。
5. 処理土は、次の要求品質を満足したものを監督員の確認を得て使用すること。

| 判定指標 | 基準値 |
|---|---|
| 最大粒径 | 50mm以下 |
| コーン指数 | 800KN/㎡以上 |

## 第４章 建設副産物

### 第１節 建設発生土

1. 本工事により発生する建設発生土は、建設発生土処分先一覧表（広島県）に掲載されている建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地(一時たい積を含む。)のいずれかに搬出するものとする。
   また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地(一時たい積を含む。)を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。
   なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表（広島県）に掲載されている建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地(一時たい積を含む。)への搬出が困難となった場合は協議するものとする。
2. 搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行なうとともに、計量伝票等を監督員に提出すること。

### 第２節 建設汚泥

1. 建設汚泥は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。

2. 建設汚泥は、広島県及び廃棄物処理法政令市が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。
3. 搬出先においては、許可看板と処分状況が確認できるよう、写真撮影を行なうとともに、伝票等を提出すること。また、必要に応じて現地確認、立入り調査等を行なうこと。
4. 再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県及び廃棄物処理法政令市が廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。

**第３節 特定建設資材廃棄物（アスファルト塊、コンクリート塊等）**

1. 特定建設資材廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。
2. 特定建設資材廃棄物は、広島県及び廃棄物処理法政令市が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。
3. 搬出先においては、許可看板と処分状況が確認できるよう、写真撮影を行なうとともに、伝票等を提出すること。また、必要に応じて現地確認、立入り調査等を行なうこと。
4. 再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県及び廃棄物処理法政令市が廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。

**第４節 「広島県土砂の適正処理に関する条例」に係る届出及び許可**

1. 土砂の搬出
建設発生土について、500m3以上（一時たい積場については500m3/月以上）の土砂を事業区域外へ搬出するときは、「広島県土砂の適正処理に関する条例」（平成16年広島県条例第1号、以下「広島県土砂条例」という。）第2章第8条に基づき、土砂の搬出に係る計画を定め、当該土砂の搬出を開始する日から起算して20日前（一時たい積場については、当該計画に係る月の初日の10日前）までに、福山市長へ届け出なければならない。
2. 埋立行為（埋立て、盛土、たい積）
建設発生土について、事業区域外において土砂埋立区域の面積が2，000m2以上となる土砂の埋立行為を行う場合は、土砂埋立区域ごとに福山市長の許可を受けなければならない。

**第５節 産業廃棄物の場外保管**

1. 本工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において300m2以上の面積で保管する場合には、保管場所を所管する都道府県知事に事前の届出を行うこと。また、届出事項を変更する場合は事前に変更届を、保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。
ただし、産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

**第６節 再生資源利用計画**

1. 受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

## 第５章 熱中症対策

本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。

1. 工期（工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日及び後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日間、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日の次の日から土曜日、日曜日及び振替休日を除く3日間とする。）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
2. 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。ただし、夜間工事の場合は、作業時間帯の最高気温又は最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
3. 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。
なお、本工事において、上記地上観測所及び観測地点は、「福山」とすることを標準とする。
4. 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督員に提出すること。
5. 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督員と協議するものとする。
6. 積算方法は次のとおりとする。
（１）補正方法
ア　受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。ただし、現場管理費率の補正は、「積算寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本通知の補正値を合計し、2%を上限とする。
イ　真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期
ウ　補正値（%）＝真夏日率×1.2
（２）補正値の計算結果は、パーセント表示で小数点3位を四捨五入して2位止めとする。
7. 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることが出来る。
8. 検査員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

## 第６章 その他

1. 本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項、または、疑義が生じた場合は、その都度、速やかに監督員と協議を行なうこと。

# 施　工　条　件　表

対象工事名　：　松永浄化センター沈殿池増設工事（土木）

| 項目 | 事　項 | 該　当 | | 内　容 |
|---|---|---|---|---|
| ①計画準備関係 | 施工計画書等の提出 | ◉ あり | ○ なし | 現場着手に先立ち、「広島県土木工事共通仕様書」に基づき施工計画書を作成し、監督員の確認を得ること。 |
| | | ◉ あり | ○ なし | 現場着手に先立ち、「広島県土木工事共通仕様書」に基づき主要資材承認書を作成し、監督員の確認を得ること。 |
| | 変更図面の作成 | ◉ あり | ○ なし | 設計図書に基づき現地の測量等を行い、試験掘りの結果及び地下埋設物等の状況について照査し、管路の法線及び高さ等に変更が生じた場合は、変更図面を作成し、提出すること。 |
| | 取付ますの設置 | ○ あり | ◉ なし | 取付ますを設置できる権利がある関係者に対し、あらかじめ取付管及び取付ますの設置に関して十分に説明し、設置の有無及び設置場所の確認等を行い、「取付管及び取付ます設置確認書」を取得し、施工すること。また、取付ますの深さについても、十分検討すること。<br>なお、取得した「取付管及び取付ます設置確認書」は、完成図書とあわせて提出すること。 |
| | 誓約書の提出 | ◉ あり | ○ なし | 試験掘りに先立ち、水道管、ガス管、その他の地下埋設物に対し、施工による不測の事態に対処するため、各管理者に誓約書を提出すること。また、その誓約書の写しを提出すること。<br>なお、福山市上下水道局に提出する誓約書には、福山市上下水道局指定の配水本管工事施工資格業者を誓約業者として指定すること。 |
| | 協議 | ◉ あり | ○ なし | 次のとおり、関係機関及び地域住民等との協議を行うこと。 |

| 関係機関 | 事項 | 協議の内容 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 関係機関 | 関係法令 | 関係法令に対する、届出、許可など | |
| 沿線商店 | 車両出入口 | 施工時間及び作業時間外の交通規制形態 | |
| その他 | 施工方法等 | 地元関係者（土木常設員、町内会役員、水利役員）、その他関係者への説明 | |
| 松永浄化センター | 施工方法等 | 施工時期、施工ヤードなど | |
| | | | |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 段階確認 | ◉ あり | ○ なし | 施工の重要な段階において、監督員の段階確認を受け、適切に実施すること。<br>なお、段階確認の工種及び時期、箇所等については、監督員と事前に協議すること。 |
| | 情報共有システム | ◉ あり | ○ なし | 設計金額３，５００万円以上の工事は、原則として情報共有システムを利用する。 |
| | 建築基準法の適用 | ○ あり | ◉ なし | 本工事の施工にあたり、下記の構造物については、建築基準法の適用を受けるため、建築基準法及び関係法令等を遵守し、工事の円滑な進行を図る。<br>構造物の基礎及び主要構造部については、公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（国土交通省大臣官房営繕部監修）第４章、第５章及び第６章を適用する。 |

| 項目 | 事　　項 | 該　当 | | 内　　容 |
|---|---|---|---|---|
| ② 工程関係 | 工事期間 | ◉ あ り | ○ な し | 工事期間は、次のとおりの期間の合計としている。また、本工事着手までの準備期間とし４０日間を、検査期間は１４日間を見込んでいる。<br>なお、この工事期間には、雨天、休日等（作業期間内の全土曜日及び日曜日、並びに休暇等）を含んでいる。<br>☑ 準備期間　☑ 本工事施工期間　☐ ~~建物等調査期間~~　☑ 変更協議期間　☐<br>☑ 後片付け期間　☑ 検査期間　☐ ~~水道管移設期間~~　☐ ~~ガス管移設期間~~　☐ |
| | 関連する別途工事 | ◉ あ り | ○ な し | 本工事に関連して、次の工事が施工、施工予定とされているため、相互に連絡・調整等を密にし施工すること。<br>関連工事の名称：松永浄化センター用水・消毒設備コントロールセンタ取替工事<br>発注者名：福山市上下水道局<br>予定期間：2026年7月～2028年3月<br>備考： |
| | 制約条件 | ◉ あ り | ○ な し | 施工時期、施工時間及び施工方法に制約条件があるため、次のとおり、適切な処置を行うこと。<br>場所：全体<br>制約の要因：円滑な交通の確保<br>制約の内容：施工時間帯は昼間とし、道路使用許可条件を遵守するものとする。<br>備考： |
| | | ○ あ り | ◉ な し | |
| ③ 用地関係 | 借地 | ○ あ り | ◉ な し | 次のとおり、借地を見込んでいる。<br>場所／目的／面積／使用後の処置／備考 |
| | 工事用地 | ○ あ り | ◉ な し | 工事区間において、次のとおり、一部未処理用地がある。<br>場所／面積／協議内容／完了見込時期／備考 |
| | | ○ あ り | ◉ な し | |

| 項目 | 事　　項 | 該　当 | | 内　　容 |
|---|---|---|---|---|
| ④ 周辺環境保全関係 | 建設公害の処置 | ◉ あ り | ○ な し | 騒音・振動・粉塵・その他の防止のため、次のとおり、適切な処置を行うこと。<br>項目：建設機械（全般）<br>処理方法：排ガス対策型の使用<br>備考： |
| | 建物等の調査 | ○ あ り | ◉ な し | 一部の区間において、第三者に何らかの影響を及ぼすことが懸念されるため、次のとおり、発注者において近接する建物等の調査を実施する予定としている。<br>なお、調査箇所等を変更をする必要がある場合は、別途、協議すること。<br>調査内容／調査項目／数量／備考 |
| | 井戸の調査及び<br>その他の調査等 | ○ あ り | ◉ な し | 一部の区間において、第三者に何らかの影響をおよぼすことが懸念されるため、次のとおり、事前に井戸調査及びその他の調査等を実施し、調査結果（計量証明書等）を監督員に提出すること。<br>なお、調査箇所等を変更する必要がある場合は、別途、協議すること。<br>調査内容／調査項目／数量／備考 |
| | 六価クロム溶出試験<br>の実施 | ○ あ り | ◉ な し | 次のとおり、「六価クロム溶出試験」を実施し、試験結果（計量証明書）を監督員に提出すること。<br>試験方法は、セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験要領による。<br>なお、土質条件、施工条件等により試験方法、検体数に変更が生じた場合は、監督員と協議すること。<br>場所／工種／配合設計段階検体数／施工後段階検体数／工法／備考 |
| | 濁水・湧水の処理 | ◉ あ り | ○ な し | 施工に伴い発生する濁水・湧水は、水槽等の沈砂池により適切に処理し、排水すること。 |
| | | ○ あ り | ◉ な し | |

| 項目 | 事　　項 | 該　当 | | 内　　容 |
|---|---|---|---|---|
| ⑤ 安全対策関係 | 近接施工 | ◉ あ り | ○ な し | 重要施設に近接した施工となるため、次のとおり、適切に管理を行うこと。また、そのチェックリストを提出すること。 |
| | | | | 場所：全般<br>近接する施設：既設水処理施設<br>条件：施設管理者と充分に連絡をとり、その運転管理に支障を及ぼさないように配慮すること。工事施工により既存施設に損傷が生じ、その原因が受注者の責による場合は、受注者は施設管理者と協議の上適切に復旧を行うこと。<br>備考： |
| | 作業時間内の埋戻復旧 | ○ あ り | ◉ な し | 作業時間外は交通開放するため、掘削・埋戻は即日に実施すること。<br>また、作業時間内に埋戻し・仮復旧を完了させ、作業時間外は掘削に伴う開口部を残さないこと。<br>なお、不測の事態により、埋戻復旧ができない場合は、警察等の関係機関へ連絡し、監督員に報告すること。<br>掘削・埋戻・仮復旧に係る割増を見込んでいる。 |
| ⑥ 埋戻関係 | 処理土 | ○ あ り | ◉ な し | 処理土の購入先は、建設発生土ﾘｻｲｸﾙﾌﾟﾗﾝﾄを見込んでいる。 |
| | 流用土（現場内流用） | ◉ あ り | ○ な し | 埋戻土は、現場発生土の一部を流用することとしている。 |
| | 流用土（他工事流用） | ○ あ り | ◉ な し | 埋戻土は、次のとおり、他工事の発生土を流用する予定としている。<br>なお、止むを得ない事情により、これにより難い場合は、別途、協議すること。<br>他工事名：<br>搬入場所：<br>搬入時期：<br>備考： |
| | 真砂土 | ○ あ り | ◉ な し | |
| | 品質管理 | ◉ あ り | ○ な し | 品質管理頻度：埋戻土量・試験回数<br>埋戻土量500m3につき1回<br>ただし、50m3未満の場合は省略できる。<br>試験方法：（次のいずれか）<br>簡易貫入試験（土研式円すい貫入試験）：市道　14回以上/10cm　県道　17回以上/10cm<br>現場密度試験：90%以上（複数回の場合異なる層、位置で実施） |

| 項目 | 事　　項 | 該　当 | | 内　　容 |
|---|---|---|---|---|
| ⑦ 建設副産物関係 | 建設発生土 | ◉ あ り | ○ な し | 当該工事により発生する建設発生土は、広島県が公表する建設発生土処分先一覧表に記載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）に搬出するものとする。 |
| | 建設汚泥（泥土） | ◉ あ り | ○ な し | 建設汚泥（泥土）は、次の運搬先を見込んでいる。<br>種別：泥土<br>搬出場所：尾道市美ノ郷町本郷字大久保4558<br>運搬距離：仕様書のとおり<br>備考： |
| | 建設汚泥（泥水） | ○ あ り | ◉ な し | 建設汚泥（泥水）は、次の運搬先を見込んでいる。<br>種別<br>搬出場所<br>運搬距離<br>備考 |
| | 特定建設資材の廃棄物 | ◉ あ り | ○ な し | 特定建設資材の廃棄物は、次の運搬先を見込んでいる。<br>種別：コンクリート殻<br>搬出場所：福山市神村町字草刈3778-1<br>運搬距離：仕様書のとおり<br>備考： |
| | 建設副産物情報交換システム | ◉ あ り | ○ な し | 建設副産物情報交換システムの登録対象工事である。 |
| | 広島県土砂の適正処理に関する条例 | ◉ あ り | ○ な し | 「広島県の土砂の適正処理に関する条例」に係る届出及び許可の対象となる工事である。 |
| | | ○ あ り | ◉ な し | |
| | | ○ あ り | ◉ な し | |

| 項目 | 事　　項 | 該　当 | | 内　　容 |
|---|---|---|---|---|
| ⑧ 仮設関係 | 土留 | ◉ あ り | ○ な し | 次のとおり、土留を見込んでいる。なお、開削工における建込土留については任意仮設とする。仮設方法は土質条件・現場条件および周辺環境を考慮し施工管理・出来形管理を行うこと。 |

| 場所 | 工法 | 土留種別 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 躯体工 | 鋼矢板打込工 | 鋼矢板Ⅲ型 | ﾋｰﾋﾞﾝｸﾞ、ﾎﾞｲﾘﾝｸﾞの恐れのない砂質、礫質、粘性土 |
| 躯体工 | ゼロ矢板圧入工 | ゼロ矢板（SMJパイル） | 〃 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

| 項目 | 事　　項 | 該　当 | | 内　　容 |
|---|---|---|---|---|
| | 仮設(土留)材料の残置 | ◉ あ り | ○ な し | 次のとおり、工事終了後も仮設（土留）材料を残置すること。 |

| 場所 | 仮設材料名 | 残置の形態 | 数量 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 躯体工 | 鋼矢板Ⅲ型 | 設計図書による | 設計図書による | |
| 躯体工 | ゼロ矢板（SMJパイル） | 設計図書による | 設計図書による | |
| | | | | |

| 項目 | 事　　項 | 該　当 | | 内　　容 |
|---|---|---|---|---|
| | 路面覆工 | ○ あ り | ◉ な し | 作業時間以外は交通開放するため、次のとおり、路面覆工を見込んでいる。 |

| 場所 | 覆工幅 | 覆工延長 | 仕様 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| | | | | |
| | | | | |

| 項目 | 事　　項 | 該　当 | | 内　　容 |
|---|---|---|---|---|
| | 覆工材料の残置 | ○ あ り | ◉ な し | 別途工事で引き続いて使用するため、次のとおり、工事終了後も覆工材料を残置すること。 |

| 場所 | 仕様 | 数量 | 付属部材 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| | | | | |
| | | | | |

| 項目 | 事　　項 | 該　当 | | 内　　容 |
|---|---|---|---|---|
| | 水替 | ◉ あ り | ○ な し | 施工に伴う湧水について、水替ポンプにより排水することを見込んでいる。 |
| | 仮設電力設備 | ◉ あ り | ○ な し | 次のとおり、仮設電力設備を見込んでいる。 |

| 場所 | 設備の種類 | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 躯体工 | ☑ 発動発電機 | ☐ ~~低圧受電~~ | ☐ ~~高圧受電~~ | |
| | ☐ ~~発動発電機~~ | ☐ ~~低圧受電~~ | ☐ ~~高圧受電~~ | |
| | ☐ ~~発動発電機~~ | ☐ ~~低圧受電~~ | ☐ ~~高圧受電~~ | |

| 項目 | 事　　項 | 該　当 | | 内　　容 |
|---|---|---|---|---|
| | 一般搬入道路 | ◉ あ り | ○ な し | 一般道路を搬入路として使用するにあたり、次のとおり、適切に処置すること。 |

| 搬入道路 | 期間 | 時間 | 工事中・後の処置 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 全ての道路 | 工事期間 | 8時 ～ 17時 | 随時路面等の清掃、工事後舗装等の欠損部補修 | 処置は使用に伴い影響があった場合 |
| | | | | |

| 項目 | 事　　項 | 該　当 | | 内　　容 |
|---|---|---|---|---|
| | 仮設道路 | ○ あ り | ◉ な し | 仮設道路を設置・使用するにあたり、次のとおり、適切に処置すること。 |

| 期間 | 安全施設 | 使用中の処置 | 使用後の処置 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| | | | | |
| | | | | |

| 項目 | 事　　項 | 該　当 | | 内　　容 |
|---|---|---|---|---|
| ⑨ 工事支障物件関係 | 試験掘り | ○ あ り | ◉ な し | 施工に先立ち、地下埋設物等の位置を確認するため、次のとおり、試験掘りを行うこと。<br>場所 / 確認物件 / 方法 / 備考 |
| | 本工事に含まれる移設工事 | ○ あ り | ◉ な し | 本工事では、次の移設工事を含んでいる。<br>場所 / 移設物件 / 移設の形態 / 設計見込金額（税抜） |
| | 工事支障物件 | ○ あ り | ◉ な し | 次の物件について、工事の支障となる可能性があることを見込んでいる。<br>なお、試験掘り等の結果により、別途、協議を行うこと。<br>場所 / 支障物件 / 内容 / 備考 |
| | | ○ あ り | ◉ な し | |
| ⑩ 地盤改良・杭基礎関係 | 薬液注入 | ○ あ り | ◉ な し | 次のとおり、薬液注入工法を見込んでいる。なお、注入対象範囲は標準的なものを表している。注入率・注入割合はグラウト協会を参照している。現場条件に合わせて実施すること。<br>場所 / 数量・区分等 / 工法 / プラント / 備考 |
| | 杭基礎 | ◉ あ り | ○ な し | 次のとおり、杭基礎を見込んでいる。<br>場所 / 工法 / 備考<br>反応タンク / プレボーリング杭工法<br>最終沈殿池 / プレボーリング杭工法 |
| | | ○ あ り | ◉ な し | |

| 項目 | 事　　項 | 該　当 | | 内　　容 |
|---|---|---|---|---|
| ⑪ その他 | 取付ますの請求額 | ○ あ り | ◉ な し | |
| | その他の図面 | ◉ あ り | ○ な し | 福山市上下水道局「福山市下水道構造標準図」（２０２３年４月１日改訂版）及び日本下水道事業団「下水道施設標準図（詳細）土木・建築・建築設備編」に基づき、適切に実施すること。 |
| | マンホール及び取付管の位置調査 | ○ あ り | ◉ な し | |
| | 工事完成のお知らせ | ◉ あ り | ○ な し | 完成検査が終了した後、工事沿線の関係者に対して「下水道工事完成のお知らせ」（別途、参考様式有り）を配布すること。 |
| | | ○ あ り | ◉ な し | |
| | | ○ あ り | ◉ な し | |
| | | ○ あ り | ◉ な し | |
| | | ○ あ り | ◉ な し | |
| | | ○ あ り | ◉ な し | |

# 総括情報表



| | |
|---|---|
| 変更回数 | 0 |
| 適用単価地区 | 70 福山市 |
| 単価適用日 | 00-08.08.01(0) |
| 諸経費体系 | 1 公共(一般) |

| | 当世代 | 前世代 |
|---|---|---|
| 工種 | 32 下水道工事（３） | |
| 施工地域・工事場所区分 | 02 市街地(DID補正) | |
| 復興補正区分 | 00 補正なし | |
| 週休補正区分 | 00 補正なし | |
| 現場事務所等の貸与区分 | 00 補正なし | |
| ＩＣＴ補正区分 | 00 補正なし | |
| 冬期補正係数 | 00 補正なし | |
| 緊急工事区分 | 00 通常工事 ０％ | |
| 前払金支出割合区分 | 00 補正無し | |
| 契約保証区分 | 01 金銭的保証(0.04%) | |

建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として，労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。

≪凡例≫

Co ･･･コンクリート　As ･･･アスファルト
DT ･･･ダンプトラック　BH ･･･バックホウ
CC ･･･クローラクレーン　TC ･･･トラッククレーン
RTC･･･ラフテレーンクレーン

# 本工事費　内訳表



| 費目・工種・施工名称など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 本工事費 | | | | | X1000 |
| 処理場・ポンプ場 | 1 | 式 | | | Y1I06　　レベル1 |
| 土工 | 1 | 式 | | | Y1I0601　　レベル2 |
| １次掘削・盛土工 | 1 | 式 | | | Y1I060101　レベル3 |
| 掘削(土砂) | | m3 | | | Y1I06010101レベル4 |
| 掘削<br>土砂 オープンカット 押土無し<br>障害無し 5,000m3以上10,000m3未満 | 1,100 | m3 | | | SPK26040001 00<br>単第0 -0001　表 |
| 整地<br>【作業区分】 | | m3 | | | Y1A01010105レベル4 |
| 整地<br>敷均し(ルーズ)<br>施工数量10,000m3未満 障害無し | 90 | m3 | | | SPK26040003 00<br>単第0 -0002　表 |
| 盛土(流用土) | | m3 | | | Y1I06010201レベル4 |

# 本工事費　内訳表



| 費目・工種・施工名称など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 路体(築堤)盛土<br>施工幅員4.0m以上<br>施工数量20,000m3未満 障害無し | 1,200 | m3 | | | SPK26040004 00<br>単第0 -0003　表 |
| ２次掘削・埋戻工 | 1 | 式 | | | Y1I060102　レベル3 |
| 床掘 | | m3 | | | Y1I06010101レベル4 |
| 床掘り<br>土砂 標準<br>土留方式無し 障害無し | 5,100 | m3 | | | SPK26040014 00<br>単第0 -0004　表 |
| 基面整正 | | m3 | | | Y1I06010101レベル4 |
| 基面整正 | 1,200 | m2 | | | SPK26040016 00<br>単第0 -0005　表 |
| 埋戻し | | m3 | | | Y1I06010101レベル4 |
| 埋戻し<br>最大埋戻幅4m以上 | 1,300 | m3 | | | SPK26040019 00<br>単第0 -0006　表 |
| 残土処理工 | 1 | 式 | | | Y1I060104　レベル3 |

# 本工事費　内訳表



| 費目・工種・施工名称など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 土砂等運搬<br>【土質】 | | m3 | | | Y1E01090111レベル4 |
| 土砂等運搬<br>標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)<br>DID区間有り 距離14.0km以下(11.0km超) | 1,100 | m3 | | | SPK26040002 00<br>単第0 -0007 表 |
| 土砂等運搬<br>標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)<br>DID区間有り 距離6.0km以下(5.0km超) | 2,230 | m3 | | | SPK26040002 00<br>単第0 -0008 表 |
| 残土処理 | | m3 | | | Y1I06010401レベル4 |
| 【直接工事費に含まれる処分費等】<br>「処分費等」の取扱いによる | | | | | #0041 |
| 発生土受入費<br>表土 | 1,100 | m3 | | | F00001 00 |
| 発生土受入費<br>砂質土 | 2,230 | m3 | | | F00011 00 |
| 仮設工 | 1 | 式 | | | Y1I0605 レベル2 |
| 土留・仮締切工 | 1 | 式 | | | Y1I060501 レベル3 |

# 本工事費　内訳表



| 費目・工種・施工名称など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 仮設鋼矢板 | | 枚 | | | Y1I06050101レベル4 |
| 鋼矢板<br>SY295,U形,3型<br>中古品 | 46.8 | t | | | F00002　　00 |
| 鋼矢板<br>SYW295,NS-SP-J<br>新品 | 7 | t | | | F00004　　00 |
| 油圧式杭圧入引抜機据付・解体<br>圧入 (Nmax≦25)<br>III型 | 1 | 回 | | | S0458　　00<br>単第0 -0009　表 |
| 鋼矢板圧入(Nmax≦25)<br>陸上施工 3型<br>圧入長(m)_12以下(9超) | 72 | 枚 | | | S0440　　00<br>単第0 -0012　表 |
| ゼロパイラー設置・撤去 | 1 | 回 | | | V00001　　00<br>単第0 -0013　表 |
| ゼロパイラーによる圧入<br>継施工なし、Nmax≦20<br>標準施工、圧入長10m以下、常用 | 2 | 日 | | | V00002　　00<br>単第0 -0015　表 |
| 水替工 | 1 | 式 | | | Y1I060505　レベル3 |
| ポンプ排水 | | 日 | | | Y1I06050501レベル4 |

# 本工事費　内訳表



| 費目・工種・施工名称など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| ポンプ運転<br>排水量_0以上120未満(m3/h)<br>全揚程_10m 常時排水 | 750 | 日 | | | S1050053　00<br>単第0 -0016　表 |
| ポンプ設置・撤去 | 2 | 箇所 | | | SHD10037　00<br>単第0 -0019　表 |
| 工事用道路工 | 1 | 式 | | | Y1I060505　レベル3 |
| 工事用道路設置 | | m2 | | | Y1I06050501レベル4 |
| 路盤工<br>施工幅　1.8m以上<br>一層仕上り厚20cm | 3,200 | m2 | | | SQZ10　00<br>単第0 -0021　表 |
| 敷鉄板設置 | 3,200 | m2 | | | S1050041　00<br>単第0 -0024　表 |
| 敷鉄板賃料<br>22×1524×6096,1604kg/枚<br>賃貸期間456日 | 345 | 枚 | | | S1050029　00<br>単第0 -0026　表 |
| 工事用道路撤去 | | m2 | | | Y1I06050501レベル4 |
| 敷鉄板撤去 | 3,200 | m2 | | | S1050043　00<br>単第0 -0027　表 |

# 本工事費　内訳表



| 費目・工種・施工名称など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 金網・支柱(立入防止柵)<br>基礎ブロック<br>支柱間隔2m | 10 | m | | | SPK26040252 00<br>単第0 -0028　表 |
| 交通管理工 | 1 | 式 | | | Y1J010121　レベル3 |
| 交通誘導警備員 | | 人 | | | Y1J01012101レベル4 |
| 交通誘導警備員B | 80 | 人 | | | R0369　　00 |
| 反応タンク | 1 | 式 | | | Y1I0606　　レベル2 |
| 反応タンク基礎工 | 1 | 式 | | | Y1I060602　レベル3 |
| 基礎砕石工 | | m2 | | | Y1I06060202レベル4 |
| 基礎砕石<br>砕石の厚さ17.5cmを超え20.0cm以下<br>RC-40 | 630 | m2 | | | SPK26040033 00<br>単第0 -0029　表 |
| 基礎コンクリート工 | | m3 | | | Y1I06060202レベル4 |

# 本工事費　内訳表



| 費目・工種・施工名称など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| コンクリート<br>無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB<br>コンクリートポンプ車打設 | 63 | m3 | | | SPK26040157 00<br>単第0 -0030 表 |
| 型枠<br>一般型枠<br>均しコンクリート | 8 | m2 | | | SPK26040159 00<br>単第0 -0031 表 |
| 既製杭工 | | 本 | | | Y1I06060301レベル4 |
| 杭打工<br>既製コンクリート杭（プレボーリング杭）<br>反応タンク：タイプ１ | 37 | 本 | | | V0004 00<br>単第0 -0032 表 |
| 杭打工<br>既製コンクリート杭（プレボーリング杭）<br>反応タンク：タイプ２ | 5 | 本 | | | V0005 00<br>単第0 -0037 表 |
| 杭頭補強工<br>既製コンクリート杭<br>反応タンク | 42 | 本 | | | V0009 00<br>単第0 -0038 表 |
| 土砂等運搬<br>【土質】 | | m3 | | | Y1E01090111レベル4 |
| 土砂等運搬<br>標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)<br>DID区間有り 距離14.0km以下(11.0km超) | 480 | m3 | | | SPK26040002 00<br>単第0 -0007 表 |
| 残土処理 | | m3 | | | Y1I06010401レベル4 |

# 本工事費　内訳表



| 費目・工種・施工名称など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 【直接工事費に含まれる処分費等】<br>「処分費等」の取扱いによる | | | | | #0041 |
| 発生土受入費<br>泥土 | 480 | m3 | | | F00012　　00 |
| 反応タンク躯体工 | 1 | 式 | | | Y1I060607　レベル3 |
| コンクリート | | m3 | | | Y1I06060705レベル4 |
| コンクリート<br>無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB<br>コンクリートポンプ車打設 | 1,211 | m3 | | | SPK26040157 00<br>単第0 -0045　表 |
| コンクリート<br>無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB<br>コンクリートポンプ車打設 | 38 | m3 | | | SPK26040157 00<br>単第0 -0046　表 |
| 型枠 | | m2 | | | Y1I06060706レベル4 |
| 型枠<br>一般型枠<br>鉄筋・無筋構造物 | 3,120 | m2 | | | SPK26040159 00<br>単第0 -0040　表 |
| 型枠<br>一般型枠<br>鉄筋・無筋構造物 | 15 | m2 | | | SPK26040159 00<br>単第0 -0040　表 |

# 本工事費　内訳表



| 費目・工種・施工名称など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 鉄筋 | | t | | | Y1I06060707レベル4 |
| 鉄筋工　鉄筋加工<br>ＳＤ３４５・Ｄ１３ | 37.04 | t | | | S1040015　00<br>単第0 -0043　表 |
| 鉄筋工　鉄筋組立（一般構造物）<br>ＳＤ３４５・Ｄ１３ | 37.04 | t | | | S1040015　00<br>単第0 -0047　表 |
| 鉄筋工　鉄筋加工<br>ＳＤ３４５・Ｄ１６～Ｄ２５ | 104.45 | t | | | S1040015　00<br>単第0 -0041　表 |
| 鉄筋工　鉄筋組立（一般構造物）<br>ＳＤ３４５・Ｄ１６～Ｄ２５ | 104.45 | t | | | S1040015　00<br>単第0 -0048　表 |
| 鉄筋工　鉄筋加工<br>ＳＤ３４５・Ｄ２９～Ｄ３２ | 7.74 | t | | | S1040015　00<br>単第0 -0049　表 |
| 鉄筋工　鉄筋組立（一般構造物）<br>ＳＤ３４５・Ｄ２９～Ｄ３２ | 7.74 | t | | | S1040015　00<br>単第0 -0050　表 |
| 鉄筋工　ガス圧接継手<br>Ｄ２２＋Ｄ２２ | 272 | 箇所 | | | S1040017　00<br>単第0 -0051　表 |
| 鉄筋工　ガス圧接継手<br>Ｄ２５＋Ｄ２５ | 176 | 箇所 | | | S1040017　00<br>単第0 -0052　表 |

# 本工事費　内訳表



| 費目・工種・施工名称など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 鉄筋工　ガス圧接継手<br>Ｄ２９＋Ｄ２９ | 140 | 箇所 | | | S1040017　00<br>単第0 -0053　表 |
| 足場 | | 掛m2 | | | Y1I06060708レベル4 |
| 手摺先行型枠組・単管・単管傾斜足場<br>手摺先行型枠組足場 | 550 | 掛m2 | | | S0380　00<br>単第0 -0054　表 |
| 支保 | | 空m3 | | | Y1I06060709レベル4 |
| 支保工<br>くさび結合支保<br>f<=40(t<=120) | 2,940 | 空m3 | | | S0370　00<br>単第0 -0055　表 |
| 反応タンク付帯工 | 1 | 式 | | | Y1I060608　レベル3 |
| 目地材 | | m2 | | | Y1I06060802レベル4 |
| 目地板<br>1工事当り使用量30m2以上<br>目地板(各種) | 66 | m2 | | | SPK26040118 00<br>単第0 -0056　表 |
| 伸縮可とう継手 | | m | | | Y1I06060802レベル4 |

# 本工事費　内訳表



| 費目・工種・施工名称など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 伸縮可とう継手<br>ビーシージョイントU200型 | 16 | m | | | F0014　00 |
| 伸縮可とう継手設置工 | 16 | m | | | V0013　00<br>単第0 -0057　表 |
| 防食塗装 | | m2 | | | Y1I06060802レベル4 |
| 防食塗装工<br>塗布型ライニングD種　エポキシ樹脂<br>床面　施工規模100m2超300m2未満 | 23 | m2 | | | F0016　00 |
| 防食塗装工<br>塗布型ライニングD種　エポキシ樹脂<br>壁面　施工規模100m2超300m2未満 | 82 | m2 | | | F0017　00 |
| 防食塗装工<br>塗布型ライニングD種　エポキシ樹脂<br>天井面　施工規模100m2超300m2未満 | 25 | m2 | | | F0018　00 |
| 誘発目地材 | | m | | | Y1I06060801レベル4 |
| ひび割れ誘発目地材<br>断面欠損率50%以上　壁厚500mm用 | 147 | m | | | F0019　00 |
| ひび割れ誘発目地工<br>断面欠損率50%以上　壁厚500mm用 | 147 | m | | | V0018　00<br>単第0 -0058　表 |

# 本工事費　内訳表



| 費目・工種・施工名称など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 蓋版 | | 箇所 | | | Y1I06060801レベル4 |
| コンクリート蓋設置工<br>RC-1、開口寸法L500*W4800用 | 16 | 箇所 | | | V0014 00<br>単第0 -0059 表 |
| コンクリート蓋設置工<br>RC-2、開口寸法L500*W4800用 | 3 | 箇所 | | | V0015 00<br>単第0 -0061 表 |
| コンクリート蓋設置工<br>RC-3、開口寸法L500*W1150用 | 1 | 箇所 | | | V0016 00<br>単第0 -0062 表 |
| FRP蓋設置工<br>FRP-1、開口寸法L800*W600用 | 1 | 箇所 | | | V0017 00<br>単第0 -0064 表 |
| FRP蓋設置工<br>FRP-2、開口寸法L900*800用 | 1 | 箇所 | | | V0019 00<br>単第0 -0065 表 |
| FRP蓋設置工<br>FRP-3、開口寸法L500*W500用 | 1 | 箇所 | | | V0020 00<br>単第0 -0066 表 |
| FRP蓋設置工<br>FRP-4、開口寸法L400*W400用 | 10 | 箇所 | | | V0021 00<br>単第0 -0067 表 |
| FRP蓋設置工<br>FRP-5、開口寸法L1620*W1620用 | 2 | 箇所 | | | V0022 00<br>単第0 -0068 表 |

# 本工事費　内訳表



| 費目・工種・施工名称など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| FRP蓋設置工<br>FRP-6、開口寸法L600*W600用 | 7 | 箇所 | | | V0023 00<br>単第0 -0069 表 |
| FRP蓋設置工<br>FRP-7、開口寸法L2500*W1000用 | 2 | 箇所 | | | V0024 00<br>単第0 -0070 表 |
| FRP蓋設置工<br>FRP-8、開口寸法L600*W500用<br>受枠RC-1と兼用 | 16 | 箇所 | | | V0025 00<br>単第0 -0071 表 |
| 換気口付トップライト設置工<br>TOP-1、開口600*600　受枠共、材工共<br>アクリルドーム＋アルミフレーム | 1 | 箇所 | | | F0039 00 |
| FRPマンホール蓋設置工<br>M-1、開口φ600用　受枠共 | 2 | 箇所 | | | V0026 00<br>単第0 -0072 表 |
| 角落し | | 箇所 | | | Y1I06060801レベル4 |
| 小型角落し<br>K-1、水路寸法500*1610用 | 6 | 箇所 | | | V0028 00<br>単第0 -0073 表 |
| 小型角落し設置工<br>K-1 水路寸法500*1610用 | 6 | 箇所 | | | V0054 00<br>単第0 -0074 表 |
| 合成木材角落し<br>FK-1、水路寸法800*1800用 | 1 | 箇所 | | | V0030 00<br>単第0 -0075 表 |

# 本工事費　内訳表



| 費目・工種・施工名称など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 合成木材角落し設置工<br>FK-1,水路寸法800*1800用 | 1 | 箇所 | | | V0056 00<br>単第0 -0076 表 |
| 手すり | | m | | | Y1I06060801レベル4 |
| 足掛金物<br>W=300、ポリプロピレン被覆<br>芯材質SUS304 | 115 | 個 | | | F0052 00 |
| 足掛金物設置工<br>W=300 | 115 | 個 | | | V0058 00<br>単第0 -0077 表 |
| 落込み取手<br>W=300、SUS304製 | 7 | 個 | | | F0053 00 |
| 落込み取手設置工<br>W=300 | 7 | 個 | | | V0059 00<br>単第0 -0078 表 |
| アルミ製手すり設置工<br>H=1100　ベースポストタイプ | 67 | m | | | V0032 00<br>単第0 -0079 表 |
| 止水板 | | m | | | Y1I06060801レベル4 |
| 止水板<br>止水板(各種) | 272 | m | | | SPK26040119 00<br>単第0 -0080 表 |

# 本工事費　内訳表



| 費目・工種・施工名称など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 後付け式ゴム止水板<br>L型止水板　沈下量100㎜、伸び量100㎜ | 5 | m | | | F0058　00 |
| 後付け式ゴム止水板<br>L型止水板　コーナー加工費 | 2 | 箇所 | | | F0082　00 |
| 現場接合費<br>ゴム製止水板（耐震用） | 2 | 箇所 | | | F0087　00 |
| 後付け式ゴム止水板設置工<br>L型止水板 | 5 | m | | | V0034　00<br>単第0 -0081　表 |
| 管布設 | | m | | | Y1I06060801レベル4 |
| ステンレス鋼管<br>スティフナー付両フランジ付短管<br>200A×L1500 | 1 | 本 | | | F0060　00 |
| 配管据付工<br>ステンレス鋼管φ200<br>屋外配管 | 1.5 | m | | | V0050　00<br>単第0 -0082　表 |
| 円形紙管<br>450×6.8 | 0.5 | m | | | T2170025　00 |
| 円形紙管<br>350×5.8 | 1.8 | m | | | T2170021　00 |

# 本工事費　内訳表



| 費目・工種・施工名称など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 円形紙管<br>250×4.2 | 0.5 | m | | | T2170017　00 |
| 円形紙管<br>200×4.0 | 1.7 | m | | | T2170015　00 |
| 構造物取壊し工 | | m3 | | | Y1I06060801レベル4 |
| コンクリート切断工<br>ワイヤーソーイング工<br>反応タンク　壁厚400mm | 1 | 箇所 | | | V0035　00<br>単第0 -0083　表 |
| コンクリート切断工<br>ワイヤーソーイング工<br>反応タンク　壁厚500mm | 1 | 箇所 | | | V0036　00<br>単第0 -0085　表 |
| 構造物とりこわし工(鉄筋構造物)<br>機械施工(大型ブレーカまたは、Co圧砕機) | 10 | m3 | | | SDT00033　00<br>単第0 -0086　表 |
| 構造物とりこわし工(無筋構造物)<br>人力施工(コンクリートブレーカ) | 1 | m3 | | | SDT00031　00<br>単第0 -0087　表 |
| 手すり撤去工<br>H=1100　アルミ製 | 42 | m | | | F0057　00 |
| 殻運搬処理 | | m3 | | | Y1I06140309レベル4 |

# 本工事費　内訳表



| 費目・工種・施工名称など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 殻運搬<br>Co(鉄筋)構造物とりこわし<br>DID区間有り 運搬距離5.7km以下(3.3km超) | 10 | m3 | | | SPK26040155 00<br>単第0 -0088 表 |
| 殻運搬<br>Co(無筋)構造物とりこわし<br>DID区間有り 運搬距離5.7km以下(3.3km超) | 1 | m3 | | | SPK26040155 00<br>単第0 -0089 表 |
| 【直接工事費に含まれる処分費等】<br>「処分費等」の取扱いによる | | | | | #0041 |
| コンクリート塊受入費<br>再生工場搬入<br>鉄筋コンクリート | 10 | m3 | | | T9006 00 |
| コンクリート塊受入費<br>再生工場搬入<br>無筋コンクリート | 1 | m3 | | | T9005 00 |
| 現場発生品運搬処理 | | 回 | | | Y1I06140210レベル4 |
| 現場発生品及び支給品運搬<br>クレーン装置付 通称4～4.5t積2.9t吊<br>片道運搬距離5.0km以下(3.0km超) | 0.3 | t | | | SPK26040410 00<br>単第0 -0090 表 |
| 【機器単体費】<br>共通仮設費[対象外]，現場管理費[対象外]<br>一般管理費[対象外] | | | | | #0046 |
| スクラップ費<br>アルミ（込みガラ） | 300 | kg | | | T9007 00 |

# 本工事費　内訳表



| 費目・工種・施工名称など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 最終沈殿池 | 1 | 式 | | | Y1I0606　　レベル2 |
| 最終沈殿池基礎工 | 1 | 式 | | | Y1I060602　レベル3 |
| 基礎砕石工 | | m2 | | | Y1I06060202レベル4 |
| 基礎砕石<br>砕石の厚さ17.5cmを超え20.0cm以下<br>RC-40 | 560 | m2 | | | SPK26040033 00<br>単第0 -0029　表 |
| 基礎コンクリート工 | | m3 | | | Y1I06060202レベル4 |
| コンクリート<br>無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB<br>コンクリートポンプ車打設 | 56 | m3 | | | SPK26040157 00<br>単第0 -0030　表 |
| 型枠<br>一般型枠<br>均しコンクリート | 8 | m2 | | | SPK26040159 00<br>単第0 -0031　表 |
| 既製杭工 | | 本 | | | Y1I06060301レベル4 |
| 杭打工<br>既製コンクリート杭（プレボーリング杭）<br>最終沈殿池：タイプａ | 8 | 本 | | | V0006　　00<br>単第0 -0091　表 |

# 本工事費　内訳表



| 費目・工種・施工名称など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 杭打工<br>既製コンクリート杭（プレボーリング杭）<br>最終沈殿池：タイプｂ | 3 | 本 | | | V0007 00<br>単第0 -0092 表 |
| 杭打工<br>既製コンクリート杭（プレボーリング杭）<br>最終沈殿池：タイプｃ | 33 | 本 | | | V0008 00<br>単第0 -0093 表 |
| 杭頭補強工<br>既製コンクリート杭<br>最終沈殿池：タイプａ | 8 | 本 | | | V0010 00<br>単第0 -0094 表 |
| 杭頭補強工<br>既製コンクリート杭<br>最終沈殿池：タイプｂ | 3 | 本 | | | V0011 00<br>単第0 -0098 表 |
| 杭頭補強工<br>既製コンクリート杭<br>最終沈殿池：タイプｃ | 33 | 本 | | | V0012 00<br>単第0 -0099 表 |
| 土砂等運搬<br>【土質】 | | m3 | | | Y1E01090111レベル4 |
| 土砂等運搬<br>標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)<br>DID区間有り 距離14.0km以下(11.0km超) | 340 | m3 | | | SPK26040002 00<br>単第0 -0007 表 |
| 残土処理 | | m3 | | | Y1I06010401レベル4 |
| 【直接工事費に含まれる処分費等】<br>「処分費等」の取扱いによる | | | | | #0041 |

# 本工事費　内訳表



| 費目・工種・施工名称など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 発生土受入費<br>泥土 | 340 | m3 | | | F00012　　00 |
| 最終沈殿池躯体工 | 1 | 式 | | | Y1I060607　レベル3 |
| コンクリート | | m3 | | | Y1I06060705レベル4 |
| コンクリート<br>無筋・鉄筋構造物 コンクリート(各種)<br>コンクリートポンプ車打設 | 140 | m3 | | | SPK26040157 00<br>単第0 -0100　表 |
| コンクリート<br>無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB<br>コンクリートポンプ車打設 | 877 | m3 | | | SPK26040157 00<br>単第0 -0045　表 |
| コンクリート<br>無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB<br>コンクリートポンプ車打設 | 26 | m3 | | | SPK26040157 00<br>単第0 -0046　表 |
| 型枠 | | m2 | | | Y1I06060706レベル4 |
| 型枠<br>一般型枠<br>鉄筋・無筋構造物 | 2,270 | m2 | | | SPK26040159 00<br>単第0 -0040　表 |
| 型枠<br>一般型枠<br>鉄筋・無筋構造物 | 15 | m2 | | | SPK26040159 00<br>単第0 -0040　表 |

# 本工事費　内訳表



| 費目・工種・施工名称など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 鉄筋 | | t | | | Y1I06060707レベル4 |
| 鉄筋工　鉄筋加工<br>ＳＤ３４５・Ｄ１３ | 32.23 | t | | | S1040015　00<br>単第0 -0043　表 |
| 鉄筋工　鉄筋組立（一般構造物）<br>ＳＤ３４５・Ｄ１３ | 32.23 | t | | | S1040015　00<br>単第0 -0047　表 |
| 鉄筋工　鉄筋加工<br>ＳＤ３４５・Ｄ１６～Ｄ２５ | 70.94 | t | | | S1040015　00<br>単第0 -0041　表 |
| 鉄筋工　鉄筋組立（一般構造物）<br>ＳＤ３４５・Ｄ１６～Ｄ２５ | 70.94 | t | | | S1040015　00<br>単第0 -0048　表 |
| 鉄筋工　ガス圧接継手<br>Ｄ２２＋Ｄ２２ | 370 | 箇所 | | | S1040017　00<br>単第0 -0051　表 |
| 鉄筋工　ガス圧接継手<br>Ｄ２５＋Ｄ２５ | 155 | 箇所 | | | S1040017　00<br>単第0 -0052　表 |
| 足場 | | 掛m2 | | | Y1I06060708レベル4 |
| 手摺先行型枠組・単管・単管傾斜足場<br>手摺先行型枠組足場 | 410 | 掛m2 | | | S0380　00<br>単第0 -0054　表 |

# 本工事費　内訳表



| 費目・工種・施工名称など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 支保 | | 空m3 | | | Y1I06060709レベル4 |
| 支保工<br>くさび結合支保<br>f<=40(t<=120) | 1,520 | 空m3 | | | S0370 00<br>単第0 -0055 表 |
| 最終沈殿池付帯工 | 1 | 式 | | | Y1I060608 レベル3 |
| 目地材 | | m2 | | | Y1I06060802レベル4 |
| 目地板<br>1工事当り使用量30m2以上<br>目地板(各種) | 111 | m2 | | | SPK26040118 00<br>単第0 -0056 表 |
| 伸縮可とう継手 | | m | | | Y1I06060802レベル4 |
| 伸縮可とう継手<br>ビーシージョイントU200型 | 21 | m | | | F0014 00 |
| 伸縮可とう継手設置工 | 21 | m | | | V0013 00<br>単第0 -0057 表 |
| 防食塗装 | | m2 | | | Y1I06060802レベル4 |

# 本工事費　内訳表



| 費目・工種・施工名称など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 防食塗装工<br>塗布型ライニングD種　エポキシ樹脂<br>床面　施工規模100m2超300m2未満 | 0.8 | m2 | | | F0016　00 |
| 防食塗装工<br>塗布型ライニングD種　エポキシ樹脂<br>壁面　施工規模100m2超300m2未満 | 6 | m2 | | | F0017　00 |
| 誘発目地材 | | m | | | Y1I06060801レベル4 |
| ひび割れ誘発目地材<br>断面欠損率50%以上　壁厚500mm用 | 94 | m | | | F0019　00 |
| ひび割れ誘発目地工<br>断面欠損率50%以上　壁厚500mm用 | 94 | m | | | V0018　00<br>単第0 -0058　表 |
| 蓋版 | | 箇所 | | | Y1I06060801レベル4 |
| グレーチング蓋設置工<br>G-1、開口寸法L500*W500用 | 2 | 箇所 | | | V0037　00<br>単第0 -0101　表 |
| グレーチング蓋設置工<br>G-2、開口寸法L1800*W1000用 | 2 | 箇所 | | | V0038　00<br>単第0 -0102　表 |
| グレーチング蓋設置工<br>G-3、開口寸法L1400*W600用 | 1 | 箇所 | | | V0039　00<br>単第0 -0103　表 |

# 本工事費　内訳表



| 費目・工種・施工名称など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| グレーチング蓋設置工<br>G-4、開口寸法L600*W500用 | 2 | 箇所 | | | V0040 00<br>単第0 -0104 表 |
| グレーチング蓋設置工<br>G-5、開口寸法L1000*W600用 | 8 | 箇所 | | | V0041 00<br>単第0 -0105 表 |
| グレーチング蓋設置工<br>G-6、開口寸法L800*W800用 | 1 | 箇所 | | | V0042 00<br>単第0 -0106 表 |
| グレーチング蓋設置工<br>G-7、開口寸法L1500*W800用 | 1 | 箇所 | | | V0043 00<br>単第0 -0107 表 |
| グレーチング蓋設置工<br>G-8、開口寸法L800*W600用 | 1 | 箇所 | | | V0044 00<br>単第0 -0108 表 |
| FRP蓋設置工<br>FRP-2、開口寸法L900*800用 | 1 | 箇所 | | | V0019 00<br>単第0 -0065 表 |
| FRP蓋設置工<br>FRP-9、開口寸法L1000*W600用 | 2 | 箇所 | | | V0027 00<br>単第0 -0109 表 |
| 換気口付トップライト設置工<br>TOP-2、開口900*900　受枠共、材工共<br>アクリルドーム＋アルミフレーム | 1 | 箇所 | | | F0040 00 |
| FRPマンホール蓋設置工<br>M-1、開口φ600用　受枠共 | 3 | 箇所 | | | V0026 00<br>単第0 -0072 表 |

# 本工事費　内訳表



| 費目・工種・施工名称など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 角落し | | 箇所 | | | Y1I06060801レベル4 |
| 小型角落し<br>K-2、水路寸法600*1300用 | 2 | 箇所 | | | V0029　00<br>単第0 -0110　表 |
| 小型角落し設置工<br>K-2,水路寸法600*1300用 | 2 | 箇所 | | | V0055　00<br>単第0 -0111　表 |
| 合成木材角落し<br>FK-2、水路寸法800*2100用 | 1 | 箇所 | | | V0031　00<br>単第0 -0112　表 |
| 合成木材角落し設置工<br>FK-2,水路寸法800*2100用 | 1 | 箇所 | | | V0057　00<br>単第0 -0113　表 |
| 手すり | | m | | | Y1I06060801レベル4 |
| 足掛金物<br>W=300、ポリプロピレン被覆<br>芯材質SUS304 | 129 | 個 | | | F0052　00 |
| 足掛金物設置工<br>W=300 | 129 | 個 | | | V0058　00<br>単第0 -0077　表 |
| 落込み取手<br>W=300、SUS304製 | 16 | 個 | | | F0053　00 |

# 本工事費　内訳表



| 費目・工種・施工名称など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 落込み取手設置工<br>W=300 | 16 | 個 | | | V0059 00<br>単第0 -0078 表 |
| アルミ製手すり設置工<br>H=1100　ベースポストタイプ | 131 | m | | | V0032 00<br>単第0 -0079 表 |
| アルミ製手すり（扉）設置工<br>H=1100　ベースポストタイプ | 5 | 箇所 | | | V0033 00<br>単第0 -0114 表 |
| 止水板 | | m | | | Y1I06060801レベル4 |
| 止水板<br>止水板(各種) | 331 | m | | | SPK26040119 00<br>単第0 -0080 表 |
| 止水板<br>ゴム製止水板（耐震用） | 1 | 式 | | | V0053 00<br>単第0 -0115 表 |
| 越流堰 | | m | | | Y1I06060801レベル4 |
| 越流堰板<br>FRP製 | 51 | m | | | V0045 00<br>単第0 -0117 表 |
| 越流堰板（あて板）<br>FRP製　H250*4<br>日本下水道事業団仕様 | 24 | 枚 | | | F0080 00 |

# 本工事費　内訳表



| 費目・工種・施工名称など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 越流堰板（コーナー板）<br>FRP製　H250*4<br>日本下水道事業団仕様 | 12 | 枚 | | | F0081　00 |
| 越流堰設置工<br>FRP製 | 51 | m | | | F0079　00 |
| 階段・スロープ | | m | | | Y1I06060801レベル4 |
| コンクリート<br>小型構造物 18-8-25(20)BB<br>クレーン車打設 | 2 | m3 | | | SPK26040157 00<br>単第0 -0118　表 |
| 型枠<br>一般型枠<br>小型構造物 | 5 | m2 | | | SPK26040159 00<br>単第0 -0119　表 |
| ノンスリップタイル設置工<br>Ｉ種（磁器質相当）、階段タイル<br>材工共 | 3 | m | | | F0076　00 |
| 管布設 | | m | | | Y1I06060801レベル4 |
| ステンレス鋼管<br>スティフナー付片フランジ付短管<br>300A×L4300 | 1 | 本 | | | F0061　00 |
| ステンレス鋼管<br>スティフナー付両フランジ付短管<br>200A×L1300 | 2 | 本 | | | F0062　00 |

# 本工事費　内訳表



| 費目・工種・施工名称など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| ステンレス鋼管<br>スティフナー付両フランジ付短管<br>200A×L1150 | 2 | 本 | | | F0063　00 |
| ステンレス鋼管<br>スティフナー付両フランジ付短管<br>100A×L1200 | 2 | 本 | | | F0064　00 |
| ステンレス鋼管<br>スティフナー付両フランジ付短管<br>100A×L700 | 1 | 本 | | | F0065　00 |
| 配管据付工<br>ステンレス鋼管φ300<br>屋外配管 | 4.3 | m | | | V0049　00<br>単第0 -0120　表 |
| 配管据付工<br>ステンレス鋼管φ200<br>屋外配管 | 4.9 | m | | | V0050　00<br>単第0 -0082　表 |
| 配管据付工<br>ステンレス鋼管φ100<br>屋外配管 | 3.1 | m | | | V0051　00<br>単第0 -0121　表 |
| 薄肉管(VU)(JISK6741)PE<br>呼び径50(60×1.8) | 1.7 | m | | | T0812　00 |
| 配管支持金具<br>SUS304　VUφ50用 | 2 | 箇所 | | | F0077　00 |
| 配管据付工<br>塩化ビニル管φ50<br>排水通気用 | 1.7 | m | | | V0052　00<br>単第0 -0122　表 |

# 本工事費　内訳表



| 費目・工種・施工名称など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 円形紙管<br>350×5.8 | 0.3 | m | | | T2170021　00 |
| 円形紙管<br>200×4.0 | 0.5 | m | | | T2170015　00 |
| 円形紙管<br>150×3.5 | 1 | m | | | T2170011　00 |
| 円形紙管<br>100×2.7 | 0.5 | m | | | T2170007　00 |
| 機械基礎工 | | t | | | Y1I06060801レベル4 |
| 鉄筋工　鉄筋加工<br>ＳＤ３４５・Ｄ１３ | 0.06 | t | | | S1040015　00<br>単第0 -0043　表 |
| 鉄筋工　鉄筋組立（差筋および杭頭処理）<br>ＳＤ３４５・Ｄ１３ | 0.06 | t | | | S1040015　00<br>単第0 -0044　表 |
| 構造物取壊し工 | | m3 | | | Y1I06060801レベル4 |
| コンクリート切断工<br>ワイヤーソーイング工<br>最終沈殿池　壁厚400㎜ | 1 | 箇所 | | | V0047　00<br>単第0 -0123　表 |

# 本工事費　内訳表



| 費目・工種・施工名称など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| コンクリート切断工<br>ワイヤーソーイング工<br>最終沈殿池　壁厚150mm | 1 | 箇所 | | | V0048　00<br>単第0 -0124　表 |
| 構造物とりこわし工(鉄筋構造物)<br>機械施工(大型ブレーカまたは、Co圧砕機) | 10 | m3 | | | SDT00033　00<br>単第0 -0086　表 |
| 構造物とりこわし工(無筋構造物)<br>人力施工(コンクリートブレーカ) | 1 | m3 | | | SDT00031　00<br>単第0 -0087　表 |
| 手すり撤去工<br>H=1100　アルミ製 | 29 | m | | | F0057　00 |
| 殻運搬処理 | | m3 | | | Y1I06140309レベル4 |
| 殻運搬<br>Co(鉄筋)構造物とりこわし<br>DID区間有り 運搬距離5.7km以下(3.3km超) | 10 | m3 | | | SPK26040155 00<br>単第0 -0088　表 |
| 殻運搬<br>Co(無筋)構造物とりこわし<br>DID区間有り 運搬距離5.7km以下(3.3km超) | 1 | m3 | | | SPK26040155 00<br>単第0 -0089　表 |
| 【直接工事費に含まれる処分費等】<br>「処分費等」の取扱いによる | | | | | #0041 |
| コンクリート塊受入費<br>再生工場搬入<br>鉄筋コンクリート | 10 | m3 | | | T9006　00 |

# 本工事費　内訳表



| 費目・工種・施工名称など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| コンクリート塊受入費<br>再生工場搬入<br>無筋コンクリート | 1 | m3 | | | T9005　　00 |
| 現場発生品運搬処理 | | 回 | | | Y1I06140210レベル4 |
| 現場発生品及び支給品運搬<br>クレーン装置付 通称4～4.5t積2.9t吊<br>片道運搬距離5.0km以下(3.0km超) | 0.2 | t | | | SPK26040410 00<br>単第0 -0090　表 |
| 【機器単体費】<br>共通仮設費[対象外], 現場管理費[対象外]<br>一般管理費[対象外] | | | | | #0046 |
| スクラップ費<br>アルミ（込みガラ） | 200 | kg | | | T9007　　00 |
| ＊＊直接工事費＊＊<br>#0020計=支給品等(材料),無償貸付 | | | | | |
| 運搬費 | | | | | Z0004 |
| 運搬費 | 1 | 式 | | | YZZ04　　レベル2 |
| 運搬費 | 1 | 式 | | | YZZ04001　レベル3 |

# 本工事費　内訳表



| 費目・工種・施工名称など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 重建設機械分解組立輸送費 | | 回 | | | YZZ04001003レベル4 |
| 重建設機械分解組立輸送<br>クローラクレーン系<br>35t吊超え80t吊以下 | 1 | 回 | | | S1000017　00<br>単第0 -0125　表 |
| 重建設機械分解組立輸送<br>クローラ式杭打機<br>20t以上60t以下 | 1 | 回 | | | S1000017　00<br>単第0 -0126　表 |
| 仮設材運搬費 | | t | | | YZZ04001004レベル4 |
| 仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬<br>運搬距離 61.5km<br>製品長 12m以内 | 1 | 式 | | | S1000007　00<br>単第0 -0127　表 |
| 仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬<br>運搬距離 61.5km<br>製品長 12m以内 | 1 | 式 | | | S1000007　00<br>単第0 -0130　表 |
| 共通仮設費率分 | | | | | Z0019 |
| 計算情報……<br>対象額……<br>率…… | | | | | |
| ＊＊共通仮設費計＊＊ | | | | | |

# 本工事費　内訳表



| 費目・工種・施工名称など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| ＊＊純工事費＊＊ | | | | | |
| 現場管理費<br>計算情報……<br>対象額……<br>率…… | | | | | |
| ＊＊工事原価＊＊ | | | | | |
| 一般管理費率分<br>計算情報……<br>対象額……<br>率…… | | | | | 前払補正率… |
| 契約保証費<br>計算情報……<br>対象額……<br>率…… | | | | | 当初請対額<br>当初対象額 |
| 一般管理費計 | | | | | |
| ＊＊工事価格＊＊ | | | | | |
| ＊＊消費税相当額＊＊<br>計算情報……<br>対象額……<br>率…… | | | | | |
| ＊＊工事費計＊＊ | | | | | |

# 本工事費　内訳表



| 費目・工種・施工名称など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| ＊＊契約保証費計＊＊ | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木）
# 図　面　目　録

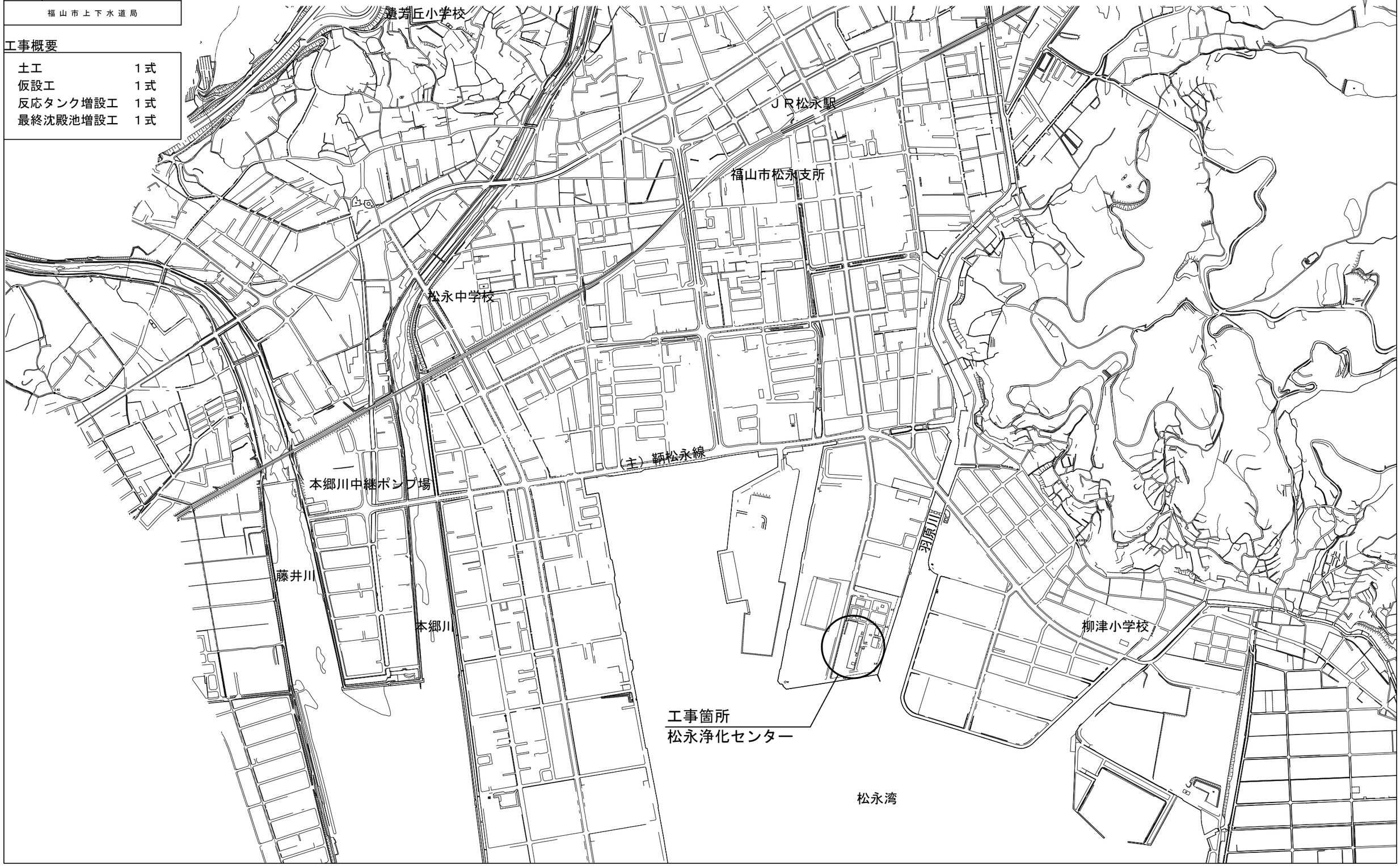
| 図番 | 図　面　名　称 | 縮　尺 | 図番 | 図　面　名　称 | 縮　尺 | 図番 | 図　面　名　称 | 縮　尺 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 位置図 | 1:5,000 | D-45 | 最終沈殿池　貫通孔埋込管図（２） | 1:100 | S-38 | 最終沈殿池　各リスト | 1:30 |
| D-1 | 水処理施設配置平面図 | 1:250 | D-46 | 最終沈殿池　貫通孔埋込管図（３） | 1:100 | S-39 | 最終沈殿池　架構配筋図 | 1:50 |
| D-2 | 現況平面図 | 1:250 | D-47 | 反応タンク　仮壁・躯体撤去図、復旧範囲図 | 1:100 | S-40 | 最終沈殿池　架構配筋図 | 1:50 |
| D-3 | 水位関係図 | V=1:250 | D-48 | 最終沈殿池　仮壁撤去図、復旧範囲図 | 1:100 | S-41 | 最終沈殿池　底版配筋図（１） | 1:50 |
| D-4 | 工事区分一覧表 | NON | D-49 | 既設可とう接手防護工撤去図 | 1:100 | S-42 | 最終沈殿池　底版配筋図（２） | 1:50 |
| D-5 | 反応タンク　水槽部平面図 | 1:100 | D-50 | 反応タンク　既設手摺撤去図 | 1:100 | S-43 | 最終沈殿池　中間スラブ配筋図 | 1:50 |
| D-6 | 反応タンク　水路部平面図 | 1:100 | D-51 | 最終沈殿池　既設手摺撤去図 | 1:100 | S-44 | 最終沈殿池　頂版配筋図（１） | 1:50 |
| D-7 | 反応タンク　１階平面図 | 1:100 | | | | S-45 | 最終沈殿池　頂版配筋図（２） | 1:50 |
| D-8 | 反応タンク　断面図（１） | 1:100 | S-1 | 構造細目共通図(土木構造物)（１） | NON | S-46 | 最終沈殿池　壁展開配筋図（１） | 1:50 |
| D-9 | 反応タンク　断面図（２） | 1:100 | S-2 | 構造細目共通図(土木構造物)（２） | NON | S-47 | 最終沈殿池　壁展開配筋図（２） | 1:50 |
| D-10 | 反応タンク　断面図（３） | 1:50 | S-3 | 構造細目共通図(土木構造物)（３） | NON | S-48 | 最終沈殿池　壁展開配筋図（３） | 1:50 |
| D-11 | 最終沈殿池　水槽部平面図 | 1:50 | S-4 | 構造細目共通図(土木構造物)（４） | NON | S-49 | 最終沈殿池　壁展開配筋図（４） | 1:50 |
| D-12 | 最終沈殿池　水路部平面図 | 1:50 | S-5 | 構造細目共通図(土木構造物)（５） | NON | S-50 | 最終沈殿池　壁展開配筋図（５） | 1:50 |
| D-13 | 最終沈殿池　１階平面図 | 1:100 | S-6 | 構造細目共通図(土木構造物)（６） | NON | S-51 | 最終沈殿池　雑壁配筋図（１） | 1:50 |
| D-14 | 最終沈殿池　断面図（１） | 1:100 | S-7 | 反応タンク　杭伏図、杭断面図、杭頭補強詳細図 | 1:100,1:20 | S-52 | 最終沈殿池　雑壁配筋図（２） | 1:50 |
| D-15 | 最終沈殿池　断面図（２） | 1:100 | S-8 | 反応タンク　伏図（１） | 1:100 | S-53 | 最終沈殿池　テーパー配筋図 | 1:50 |
| D-16 | 最終沈殿池　断面図（３） | 1:100 | S-9 | 反応タンク　伏図（２） | 1:100 | | | |
| D-17 | 最終沈殿池　断面図（４） | 1:100 | S-10 | 反応タンク　軸組図（１） | 1:100 | C-1 | 一次掘削平面図・断面図 | 図示 |
| D-18 | 反応タンク　水槽付帯設備配置図 | 1:100 | S-11 | 反応タンク　軸組図（２） | 1:100 | C-2 | 一次掘削断面図（１） | 1:100 |
| D-19 | 反応タンク　水路部付帯設備配置図 | 1:100 | S-12 | 反応タンク　軸組図（３） | 1:100 | C-3 | 一次掘削断面図（２） | 1:100 |
| D-20 | 反応タンク　１階付帯設備配置図 | 1:100 | S-13 | 反応タンク　柱リスト | 1:30 | C-4 | 一次掘削断面図（３） | 1:100 |
| D-21 | 最終沈殿池　水槽部付帯設備配置図 | 1:100 | S-14 | 反応タンク　各リスト | 1:30 | C-5 | 二次掘削平面図・断面図 | 1:250 |
| D-22 | 最終沈殿池　水路部付帯設備配置図 | 1:100 | S-15 | 反応タンク　架構配筋図 | 1:50 | C-6 | 二次掘削断面図（１） | 1:100 |
| D-23 | 最終沈殿池　１階付帯設備配置図 | 1:100 | S-16 | 反応タンク　底版配筋図（１） | 1:50 | C-7 | 二次掘削断面図（２） | 1:100 |
| D-24 | 付帯工詳細図（１） | NON | S-17 | 反応タンク　底版配筋図（２） | 1:50 | C-8 | 二次掘削断面図（３） | 1:100 |
| D-25 | 付帯工詳細図（２） | 図示 | S-18 | 反応タンク　中間スラブ配筋図 | 1:50 | C-9 | 二次掘削断面図（４） | 1:100 |
| D-26 | 付帯工詳細図（３） | NON | S-19 | 反応タンク　頂版配筋図（１） | 1:50 | C-10 | 土留め工展開図（１） | 図示 |
| D-27 | 付帯工詳細図（４） | NON | S-20 | 反応タンク　頂版配筋図（２） | 1:50 | C-11 | 土留め工展開図（２） | 1:100 |
| D-28 | 付帯工詳細図（５） | 図示 | S-21 | 反応タンク　壁展開配筋図（１） | 1:50 | C-12 | 土留め工展開図（３） | 図示 |
| D-29 | 付帯工詳細図（６） | 図示 | S-22 | 反応タンク　壁展開配筋図（２） | 1:50 | C-13 | 盛土工平面図 | 1:250 |
| D-30 | 付帯工詳細図（７） | 図示 | S-23 | 反応タンク　壁展開配筋図（３） | 1:50 | C-14 | 工事用道路計画図 | 図示 |
| D-31 | 反応タンク　伸縮可とう接手詳細図（１） | 図示 | S-24 | 反応タンク　壁展開配筋図（４） | 1:50 | | | |
| D-32 | 最終沈殿池　伸縮可とう接手詳細図（１） | 図示 | S-25 | 反応タンク　雑壁配筋図（１） | 1:50 | | | |
| D-33 | 最終沈殿池　伸縮可とう接手詳細図（２） | 図示 | S-26 | 反応タンク　雑壁配筋図（２） | 1:50 | | | |
| D-34 | 最終沈殿池　伸縮可とう接手詳細図（３） | 図示 | S-27 | 反応タンク　雑壁配筋図（３） | 1:50 | | | |
| D-35 | 反応タンク　防食塗装範囲図 | 1:100 | S-28 | 反応タンク　テーパー配筋図（１） | 1:50 | | | |
| D-36 | 最終沈殿池　防食塗装範囲図 | 1:100 | S-29 | 反応タンク　テーパー配筋図（２） | 1:50 | | | |
| D-37 | 反応タンク　誘発目地設置計画図（参考図） | 1:100 | S-30 | 最終沈殿池　杭伏図、杭断面図 | 1:100 | | | |
| D-38 | 最終沈殿池　誘発目地設置計画図（参考図） | 1:100 | S-31 | 最終沈殿池　杭頭補強詳細図 | 1:20 | | | |
| D-39 | 貫通孔・埋込管・機器基礎仕様書 | NON | S-32 | 最終沈殿池　伏図（１） | 1:100 | | | |
| D-40 | 貫通孔・埋込管・機器基礎リスト | NON | S-33 | 最終沈殿池　伏図（２） | 1:100 | | | |
| D-41 | 反応タンク　貫通孔埋込管図（１） | 1:100 | S-34 | 最終沈殿池　軸組図（１） | 1:100 | | | |
| D-42 | 反応タンク　貫通孔埋込管図（２） | 1:100 | S-35 | 最終沈殿池　軸組図（２） | 1:100 | | | |
| D-43 | 反応タンク　貫通孔埋込管図（３） | 1:100 | S-36 | 最終沈殿池　軸組図（３） | 1:100 | | | |
| D-44 | 最終沈殿池　貫通孔埋込管図（１） | 1:100 | S-37 | 最終沈殿池　柱リスト | 1:30 | | | |

| 図面番号 | 1 | 縮 尺 | A1-1:5,000 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 位置図 | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

# 位　置　図　S=1:5,000

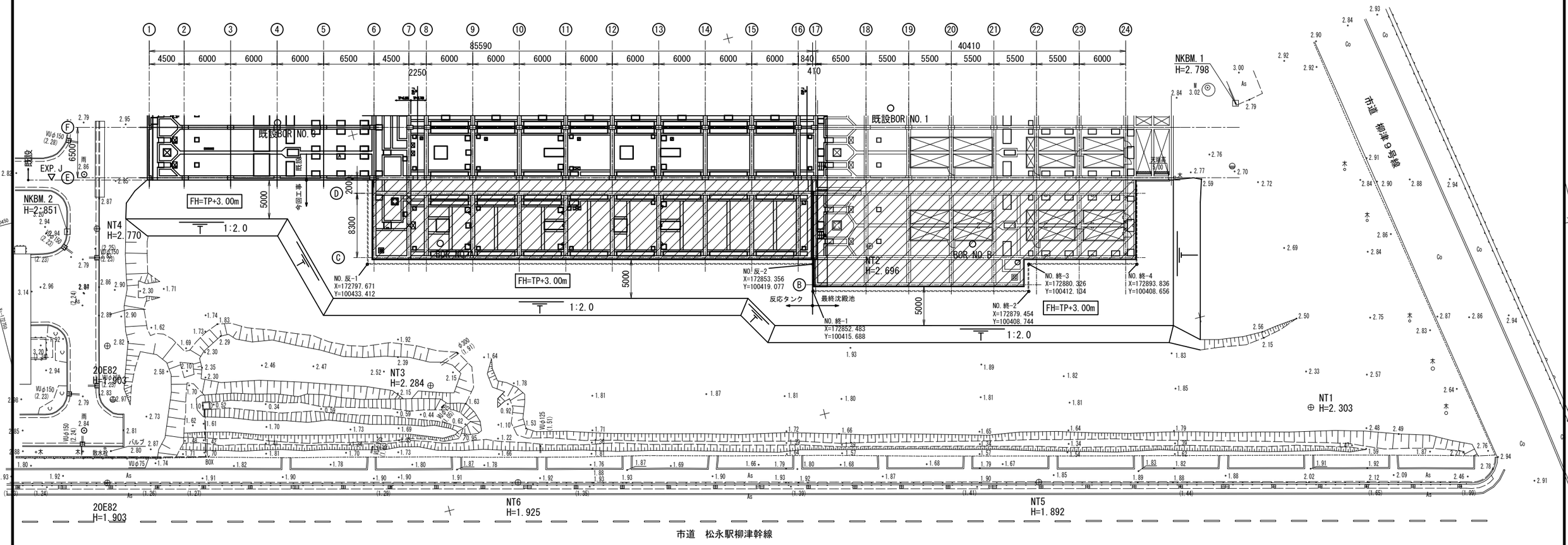
## 工事概要

| | |
|---|---|
| 土工 | １式 |
| 仮設工 | １式 |
| 反応タンク増設工 | １式 |
| 最終沈殿池増設工 | １式 |



| 図面番号 | D-1 | 縮 尺 | A1-1:250 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 水処理施設配置平面図 | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

# 水処理施設配置平面図 S=1:250

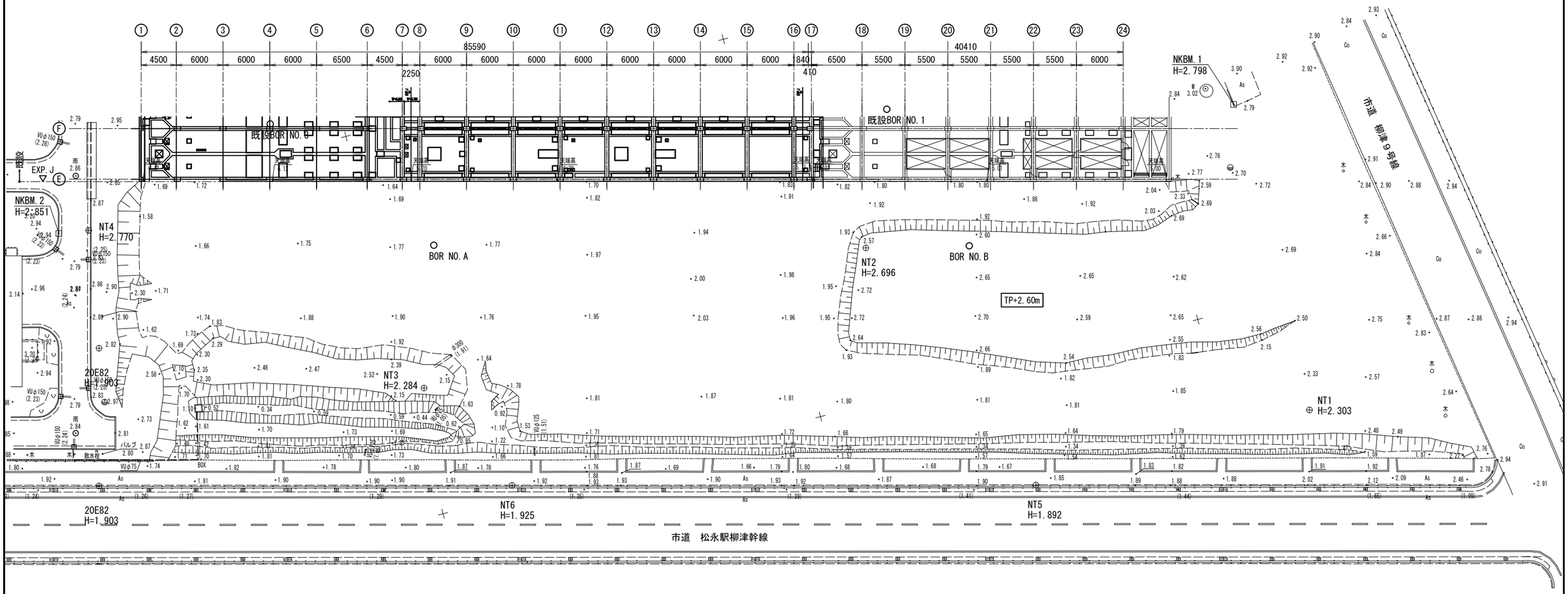



今回工事対象施設

増設処理能力：5,200m3／日

| 図面番号 | D-2 | 縮 尺 | A1-1:250 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 現況平面図 | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

# 現況平面図　S=1:250



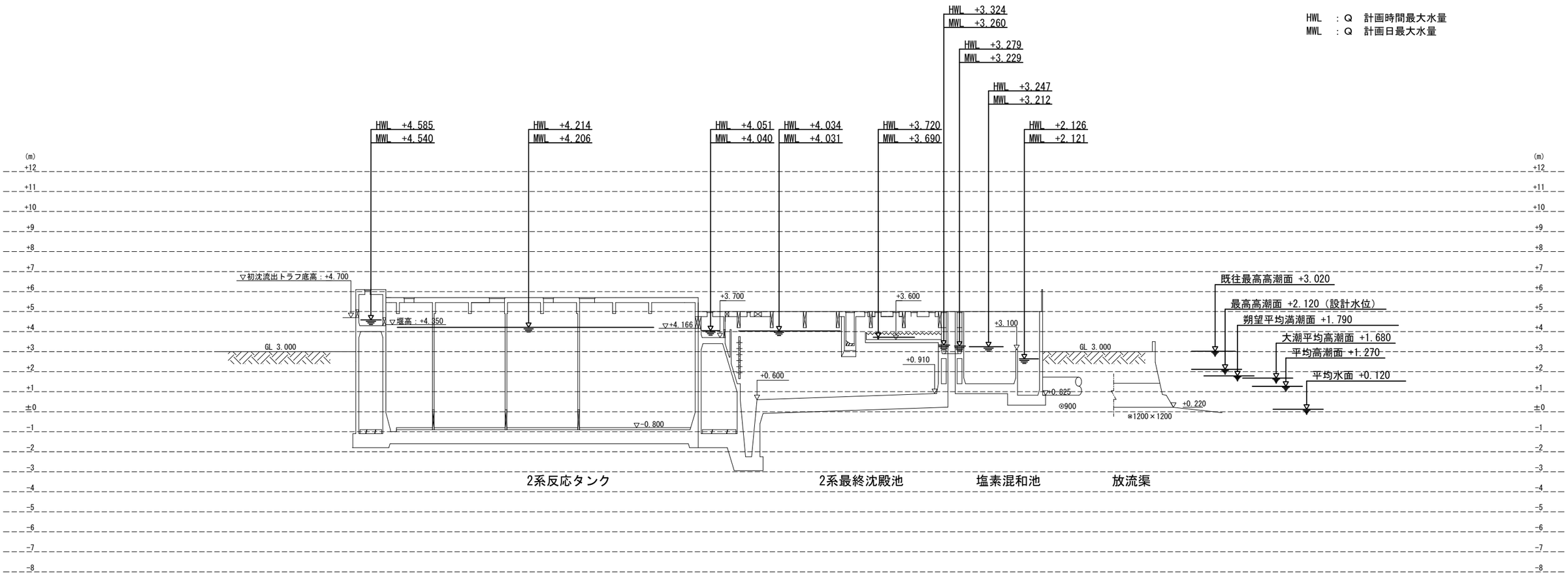
| | | | |
|---|---|---|---|
| 図面番号 | D-3 | 縮 尺 | A1-V=1:100 |
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 水位関係図 | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

# 水位関係図

V=1/100

凡　例

HWL　：Q　計画時間最大水量
MWL　：Q　計画日最大水量



| 図面番号 | D-4 | 縮 尺 | NON |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 工事区分一覧表 | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

# 工事区分一覧表 （工事区分の記載事項については区分が不明確になる恐れのあるものについて記入する。）

| ＮＯ | 項　目 | 場　所 | 土木工事 | 建築工事 | 建築機械設備工事 | 建築電気設備工事 | ﾌﾟﾗﾝﾄ機械設備工事 | ﾌﾟﾗﾝﾄ電気設備工事 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| １ | 土工（土留共） | 全て | ○ | | | | | | |
| ２ | 躯体 | | ○ | | | | | | |
| ３ | 捨コン・砕石 | | ○ | | | | | | |
| ４ | 基礎杭 | 杭頭補強含む | ○ | | | | | | |
| ５ | 埋込管 | | ○ | | | | | | 箱抜図参照 |
| ６ | スリーブ・箱抜 | | ○ | | | | | | 箱抜図参照 |
| ７ | 打継止水板 | | ○ | | | | | | |
| ８ | 耐震性ゴム止水板<br>可とう製継ぎ手 | | ○ | | | | | | |
| ９ | 足掛け金物 | | ○ | | | | | | |
| １０ | 無筋コンクリート | 管廊 | ○ | | | | | | |
| １１ | 側溝 | 管廊 | ○ | | | | | | |
| １２ | 側溝用ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 | 管廊 | ○ | | | | | | |
| １３ | ＦＲＰ製蓋　受枠共 | | ○ | | | | | ○ ※ | ※反応タンクFRP-2<br>は蓋のみPE工事 |
| １４ | ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋　受枠共 | 機器設置箇所除く※ | ○ | | | | | | |
| １５ | コンクリート蓋(受枠共) | | ○ | | | | | | |
| １６ | 合成木材角落し | | ○ | | | | | | |
| １７ | 小型角落し | | ○ | | | | | | |
| １８ | 手すり | | ○ | | | | | | |
| １９ | コンクリート防食塗装 | 水路、スカムピット（最終沈殿池部） | ○ | | | | | | |
| ２０ | コンクリート防食塗装 | スカムピット(C通側管廊部) | | | | | ○ | | |
| ２１ | 仮壁撤去 | | ○ | | | | | | |
| ２２ | 機械基礎（差筋） | | ○ | | | | | | 箱抜図参照 |
| ２３ | 機械基礎（コンクリート） | | | | | | ○ | | 箱抜図参照 |
| ２４ | 越流堰板 | | ○ | | | | | | |
| ２５ | 換気（給気塔）躯体 | | ○ | | | | | | |
| ２６ | 換気ﾌｧﾝ・支持金物 | | | | | | ○ | | |
| ２７ | 換気ﾌｧﾝ電源 | | | | | | | ○ | |
| ２８ | ﾄｯﾌﾟﾗｲﾄ（排気塔）躯体 | | ○ | | | | | | |
| ２９ | ﾄｯﾌﾟﾗｲﾄ（ｶﾞﾗﾘ込み） | | ○ | | | | | | |
| ３０ | 水位計防波管 | スカムピット | | | | | | ○ | |
| ３１ | 電気基礎（現場盤、計装機器等） | | | | | | | ○ | |
| ３２ | 照明 | 管廊 | | | | | | ○ | |

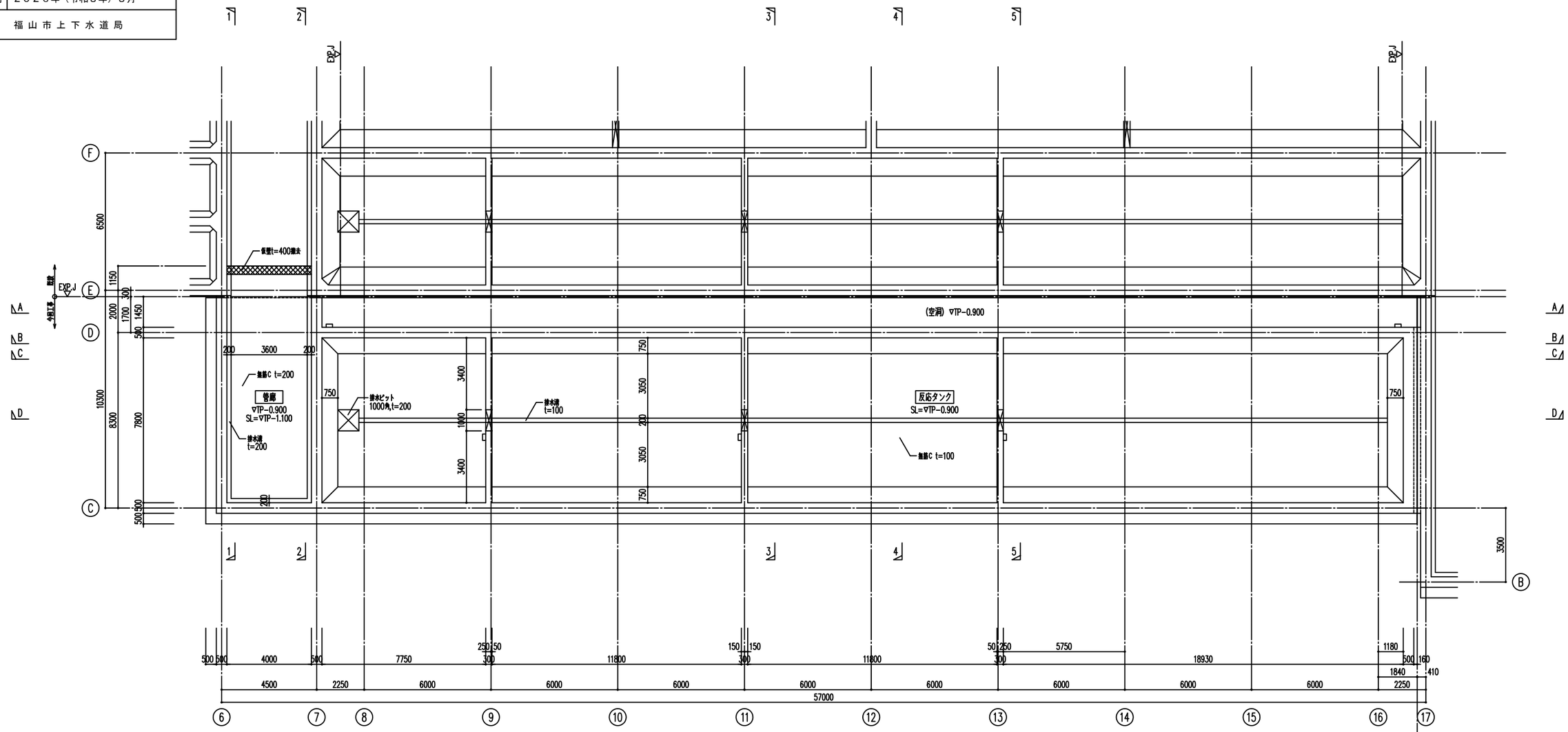
| ＮＯ | 項　目 | 場　所 | 土木工事 | 建築工事 | 建築機械設備工事 | 建築電気設備工事 | ﾌﾟﾗﾝﾄ機械設備工事 | ﾌﾟﾗﾝﾄ電気設備工事 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ３３ | | | | | | | | | |
| ３４ | | | | | | | | | |
| ３５ | | | | | | | | | |
| ３６ | | | | | | | | | |
| ３７ | | | | | | | | | |
| ３８ | | | | | | | | | |
| ３９ | | | | | | | | | |
| ４０ | | | | | | | | | |
| ４１ | | | | | | | | | |
| ４２ | | | | | | | | | |
| ４３ | | | | | | | | | |
| ４４ | | | | | | | | | |
| ４５ | | | | | | | | | |
| ４６ | | | | | | | | | |
| ４７ | | | | | | | | | |
| ４８ | | | | | | | | | |
| ４９ | | | | | | | | | |
| ５０ | | | | | | | | | |
| ５１ | | | | | | | | | |
| ５２ | | | | | | | | | |
| ５３ | | | | | | | | | |
| ５４ | | | | | | | | | |
| ５５ | | | | | | | | | |
| ５６ | | | | | | | | | |
| ５７ | | | | | | | | | |
| ５８ | | | | | | | | | |
| ５９ | | | | | | | | | |
| ６０ | | | | | | | | | |
| ６１ | | | | | | | | | |
| ６２ | | | | | | | | | |
| ６３ | | | | | | | | | |
| ６４ | | | | | | | | | |

記 載 項 目 例

| | |
|---|---|
| ・躯　体 | ・ポーチ |
| ・均し基礎コンクリート | ・客　土 |
| ・砂利地業 | ・足洗場 |
| ・止水板 | ・スロープ |
| ・スリーブ | ・床流し |
| ・箱　抜 | ・花　壇 |
| ・仕　上 | ・安全水槽 |
| ・取合差筋 | ・地下貯油槽外殻 |
| ・マンホール | ・流し台 |
| ・ハンドホール | ・コンロ台 |
| ・タラップ | ・水切棚 |
| ・ホイストレール | ・吊戸棚 |
| ・受枠及び蓋 | ・浴　槽 |
| ・ドレーン | ・スノコ |
| ・樋 | ・バランス釜 |
| ・換気扇取付枠 | ・防火パン |
| ・床排水目皿 | ・クレーンレール |
| ・連通管 | ・雨水桝 |
| ・トップライト | ・笠木 |
| ・ルーフファン | ・ノンスリップ |
| ・防液堤 | ・配管トラフ |
| ・床無筋コンクリート | ・配管ピット |
| ・床仕上 | ・フード |
| ・機械基礎及び差筋 | ・グレーチング |
| ・階段室及び段裏 | ・手摺 |
| ・側　溝 | |

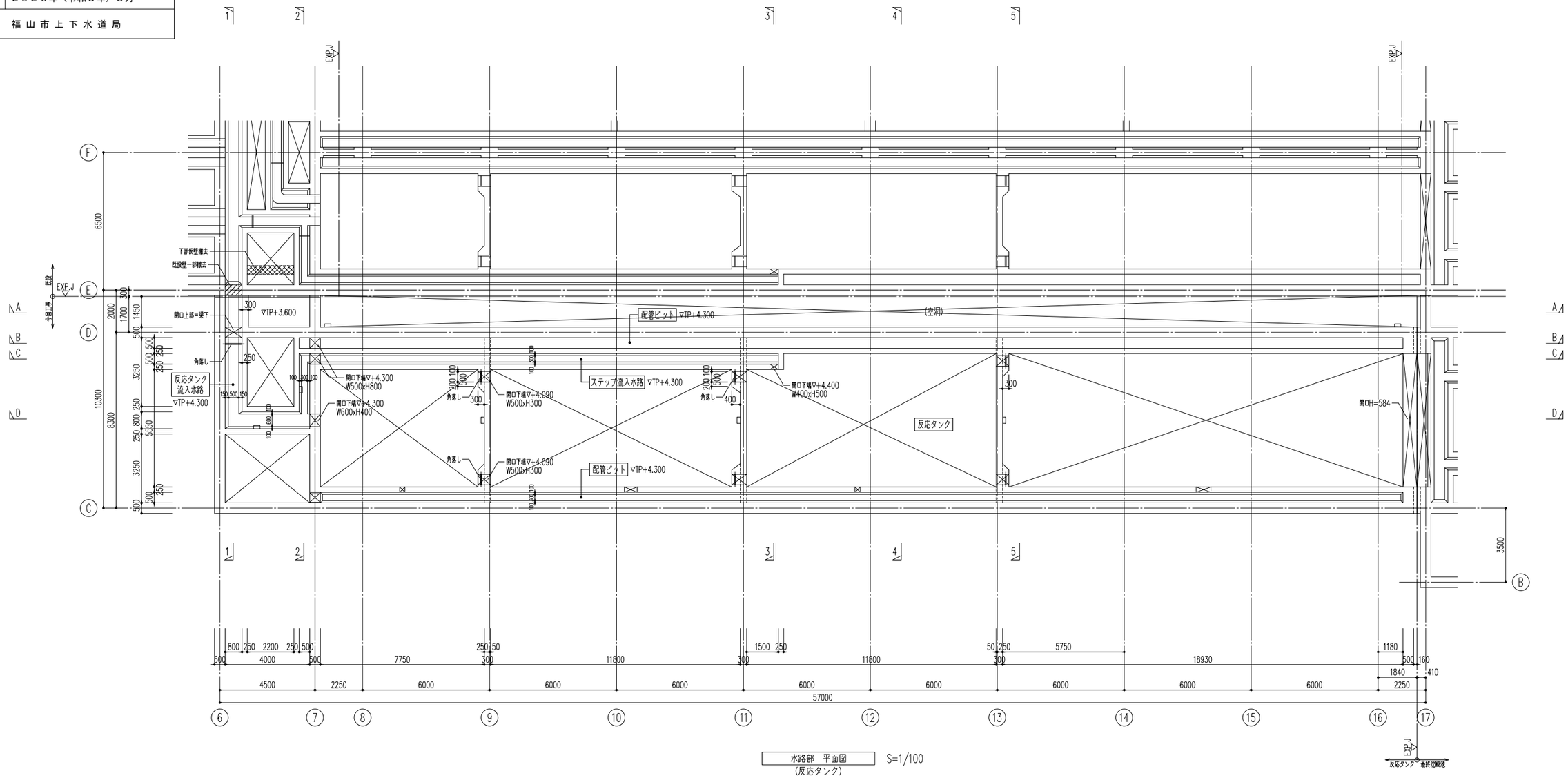
※転落防止のため土木工事にて、全ての開口に蓋を設置するものとする。

| 図面番号 | D-5 | 縮 尺 | A1-1:100 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 反応タンク 水槽部平面図 | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

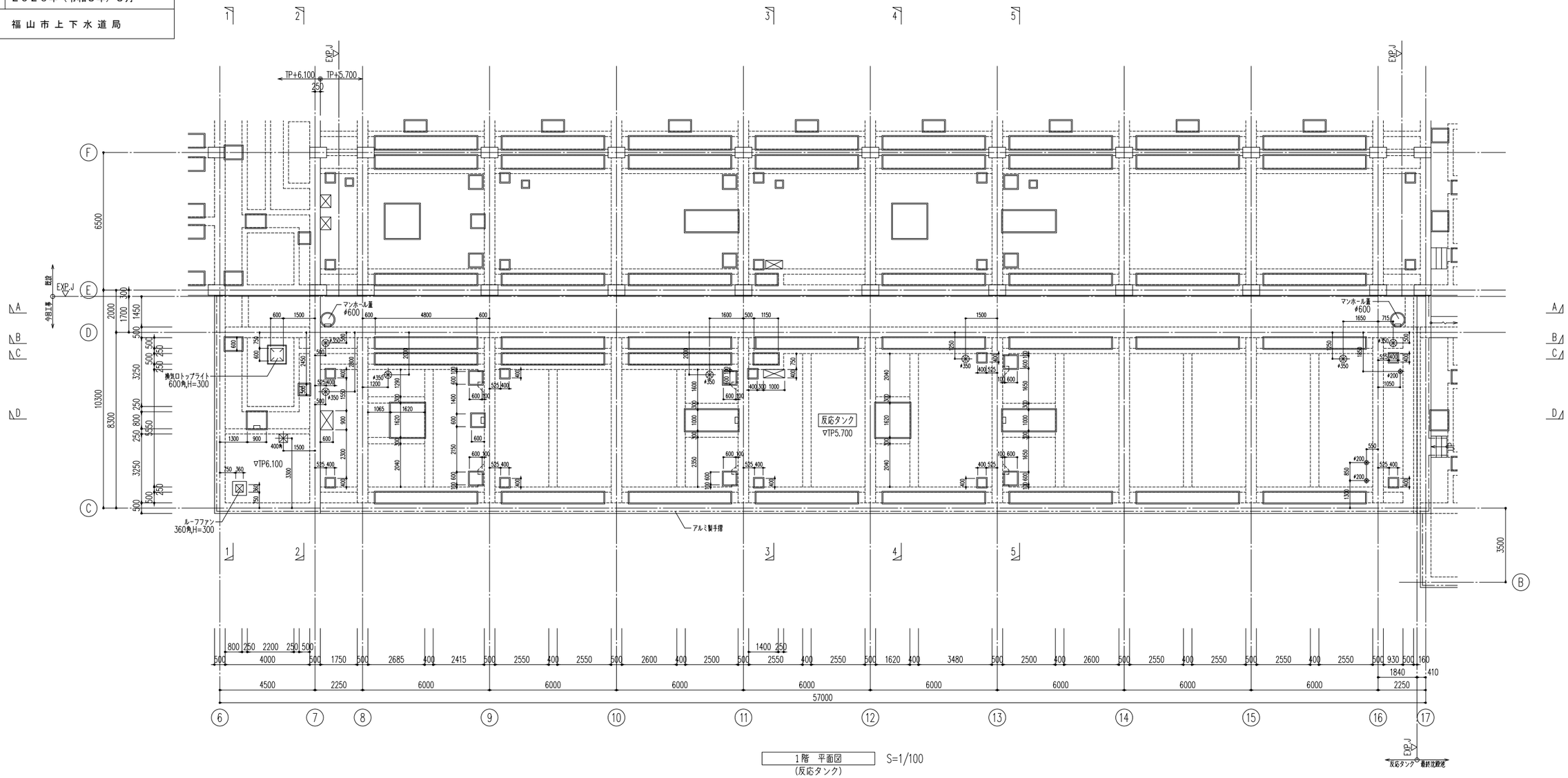



水槽部　平面図　S=1/100
(反応タンク)

| 図面番号 | D-6 | 縮 尺 | A1-1:100 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 反応タンク 水路部平面図 | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

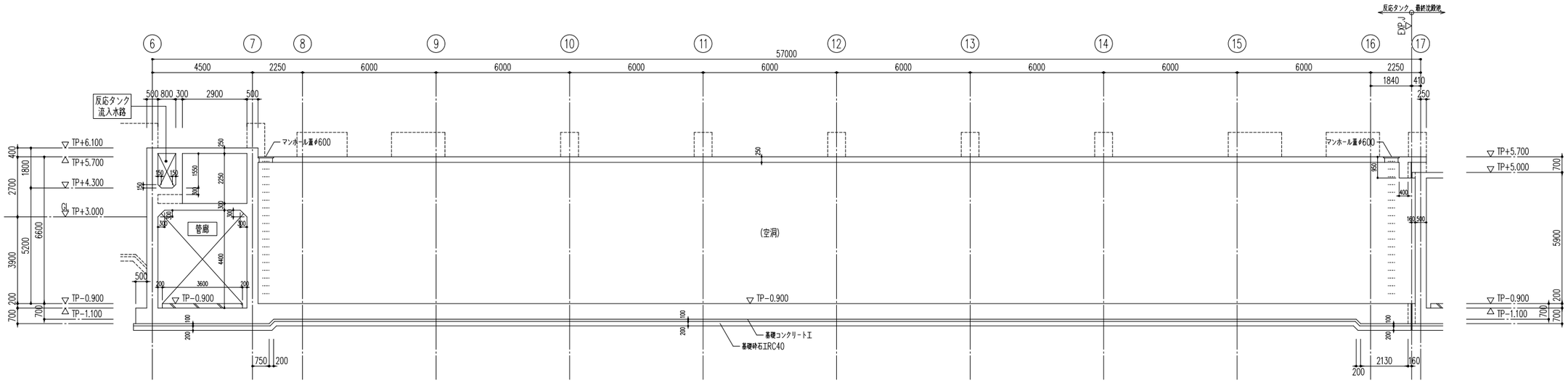


| 図面番号 | D-7 | 縮 尺 | A1-1:100 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 反応タンク　1階平面図 | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

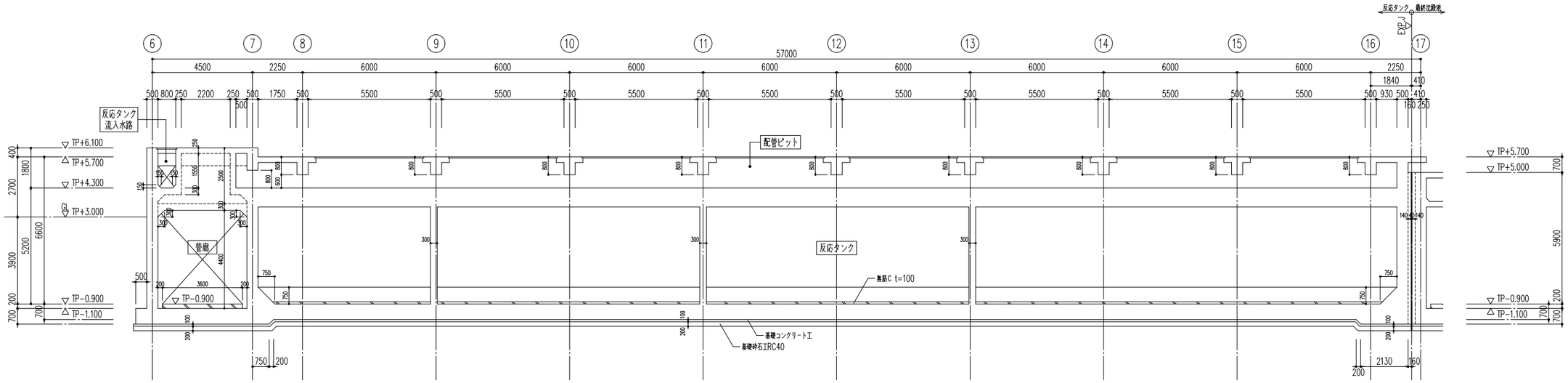



1階　平面図
(反応タンク)
S=1/100

| 図面番号 | D-8 | 縮 尺 | A1-1:100 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 反応タンク 断面図（１） | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

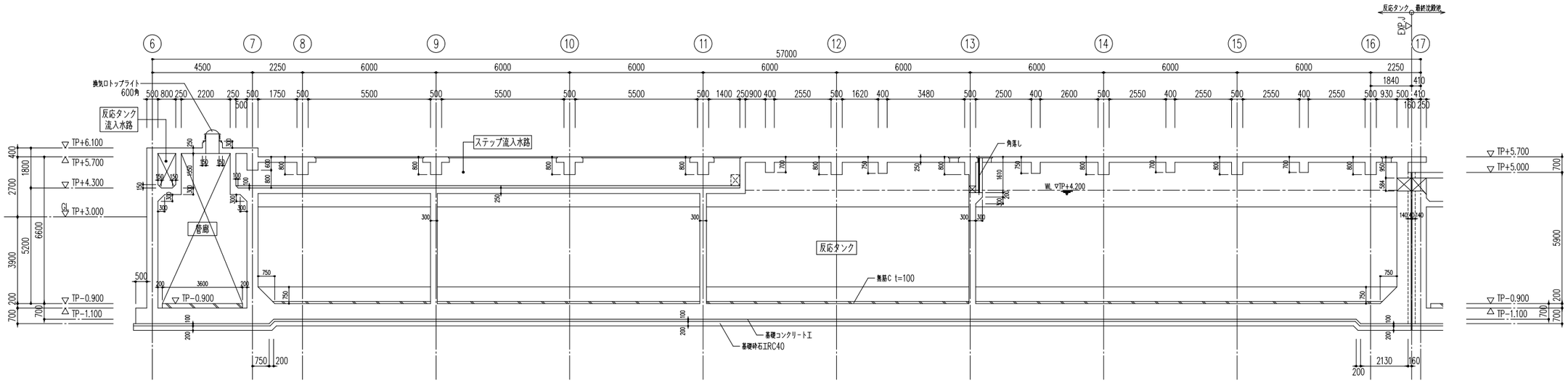



A－A断面図
(反応タンク)
S=1/100

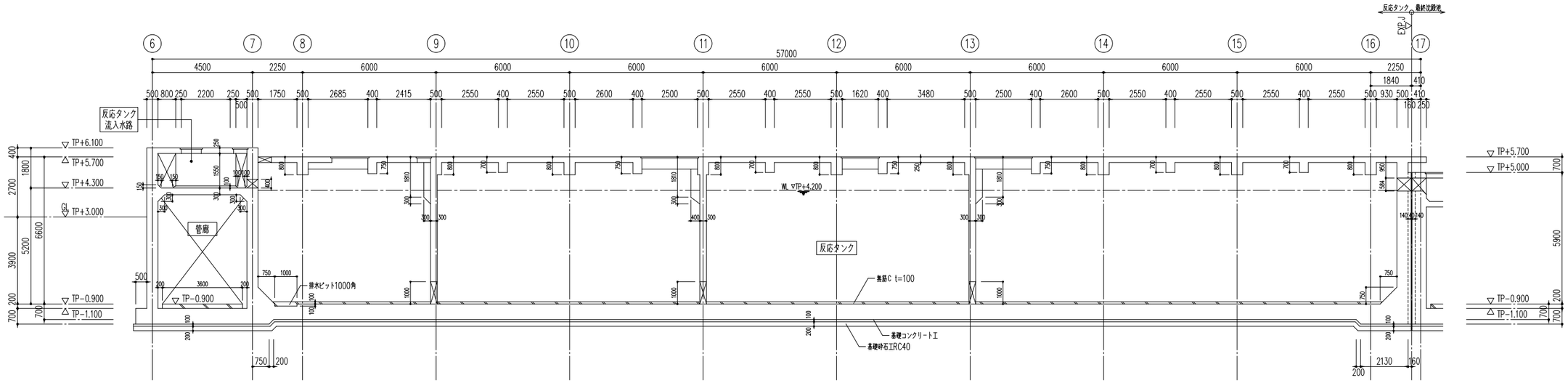



B－B断面図
(反応タンク)
S=1/100

| 図面番号 | D-9 | 縮 尺 | A1-1:100 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 反応タンク 断面図（２） | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

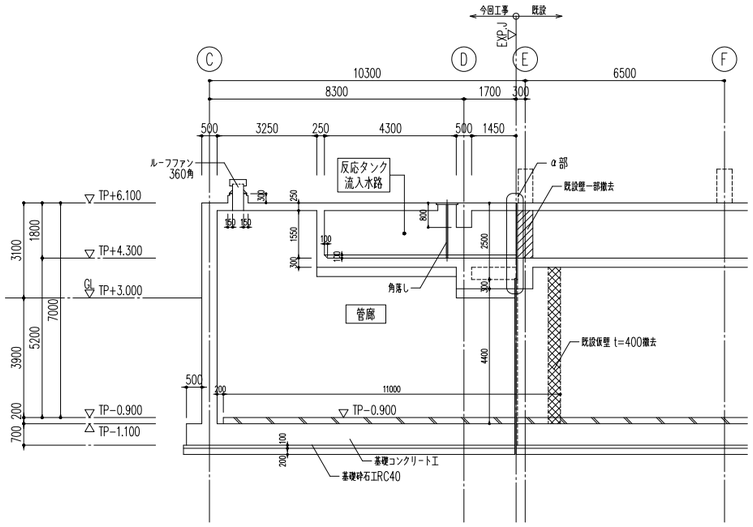



C－C断面図　S=1/100
（反応タンク）

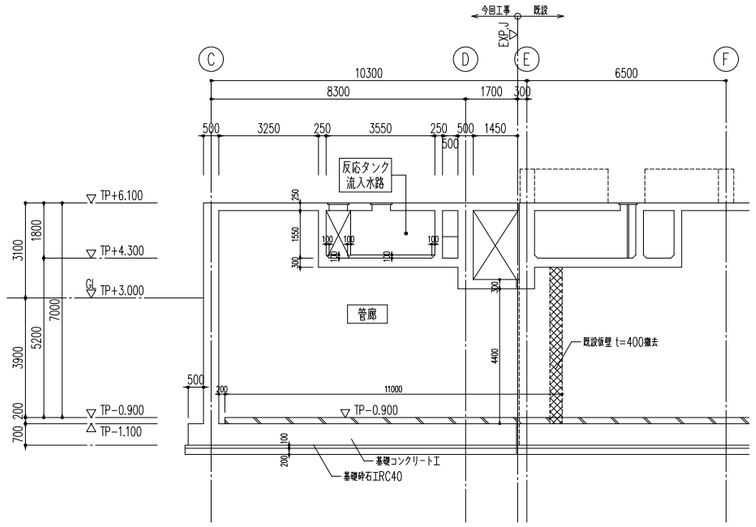



D－D断面図　S=1/100
（反応タンク）

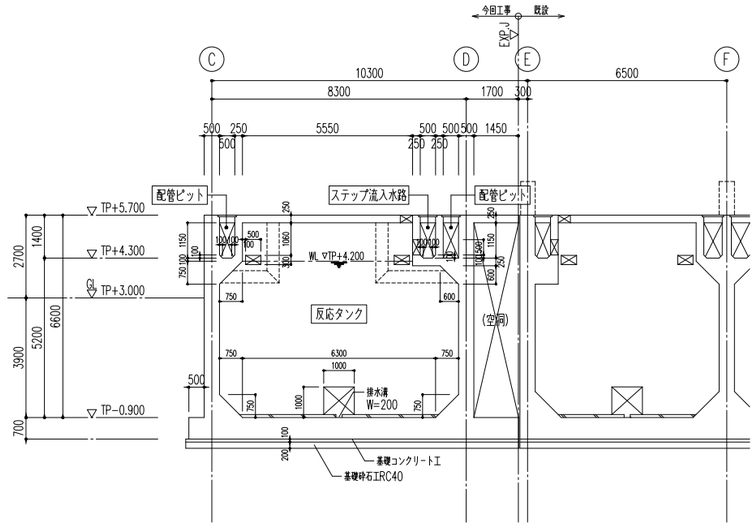
| 図面番号 | D-10 | 縮 尺 | A1-1:100 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 反応タンク　断面図（３） | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |



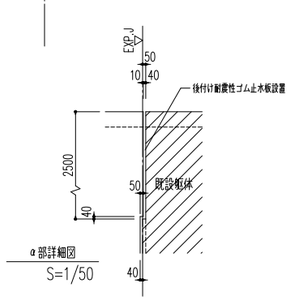

1－1断面図　S=1/100
(反応タンク)



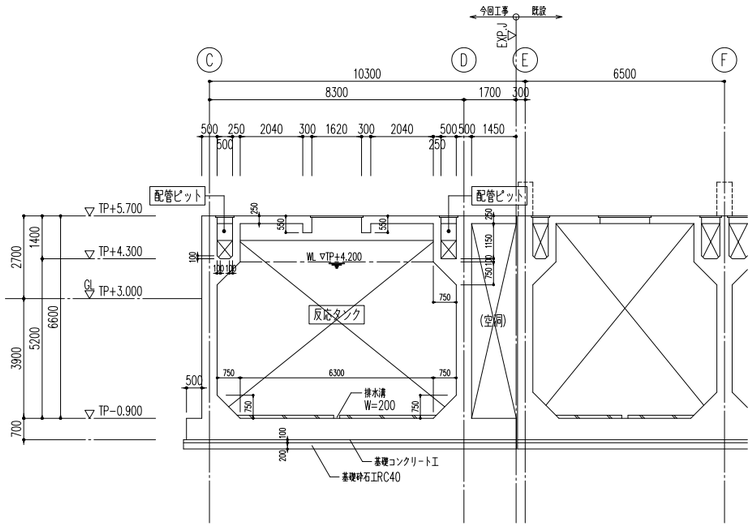

2－2断面図　S=1/100
(反応タンク)



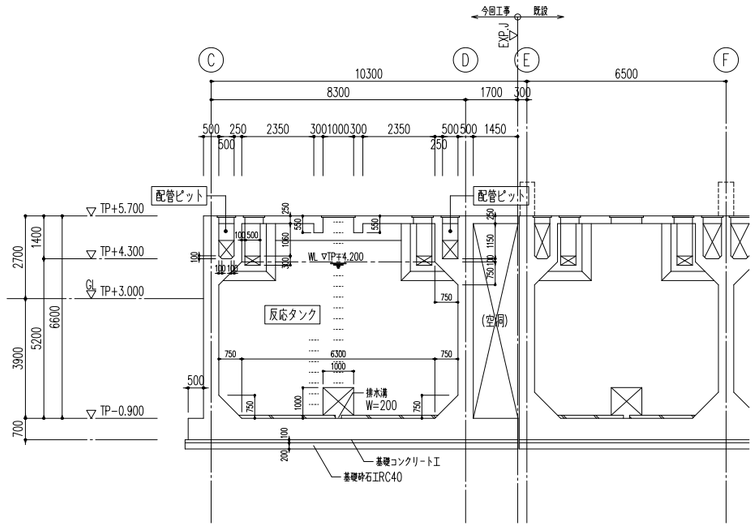

3－3断面図　S=1/100
(反応タンク)




α部詳細図
S=1/50

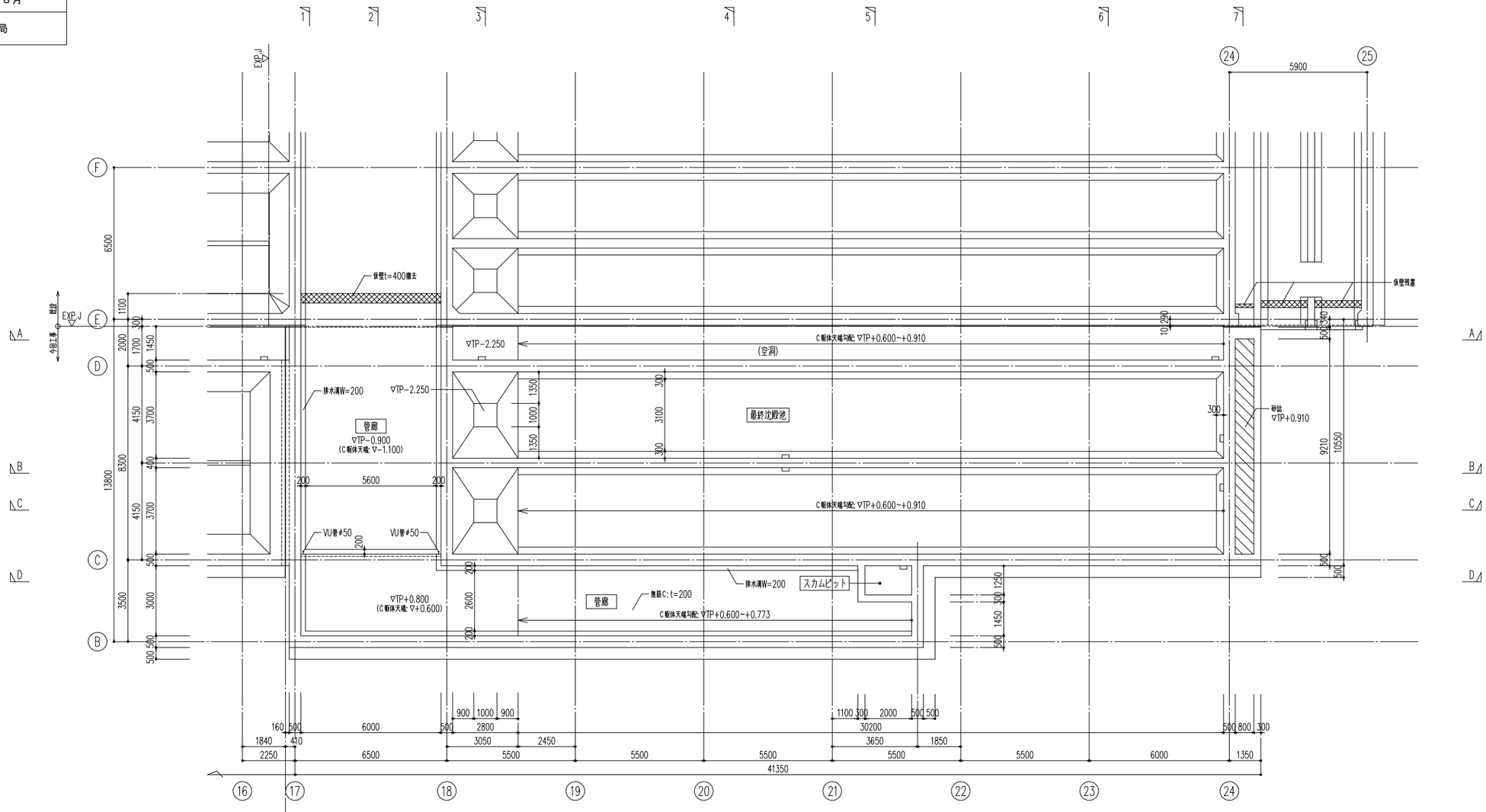



4－4断面図　S=1/100
(反応タンク)



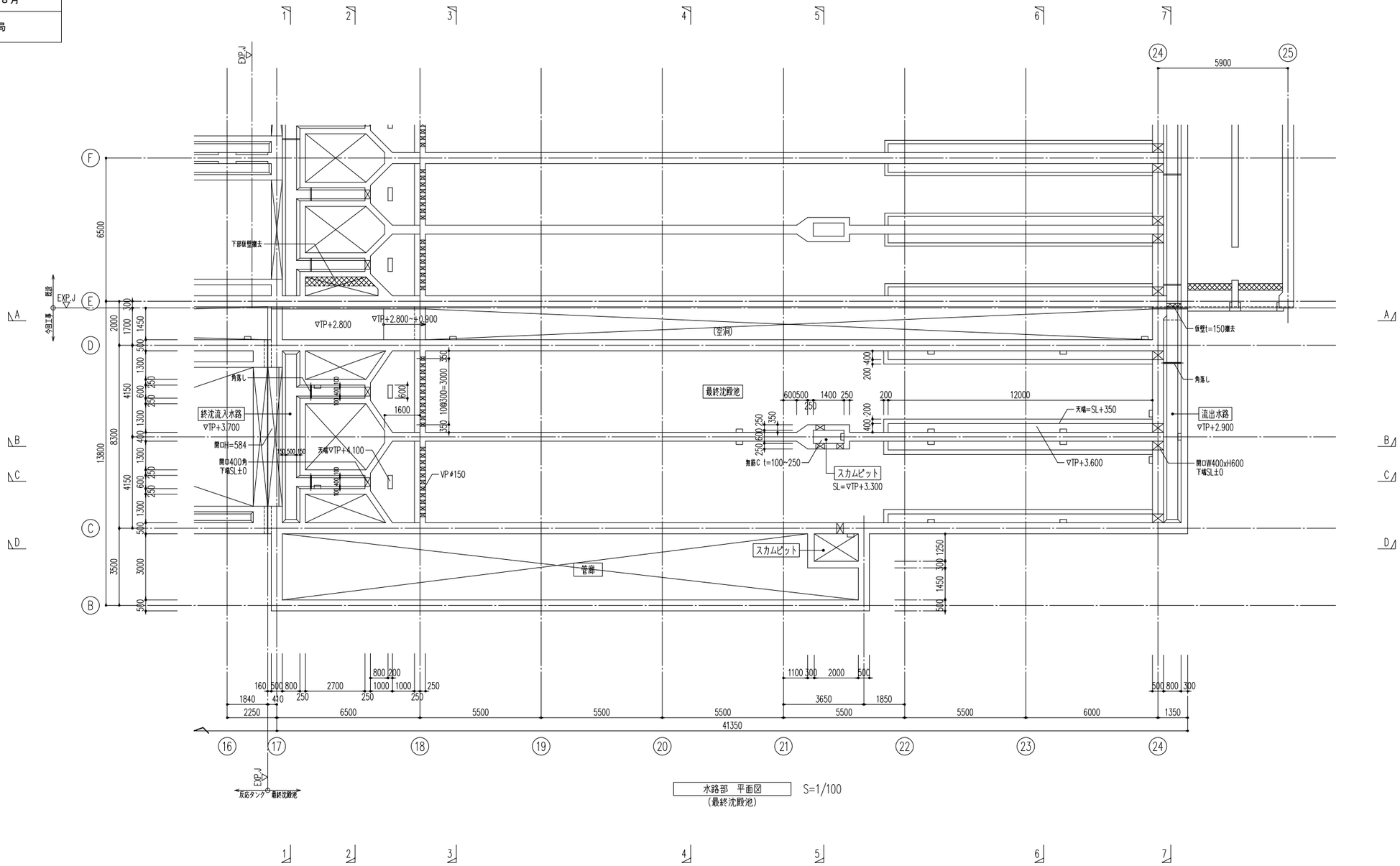

5－5断面図　S=1/100
(反応タンク)

| 図面番号 | D-11 | 縮 尺 | A1-1:100 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 最終沈殿池 水槽部平面図 | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

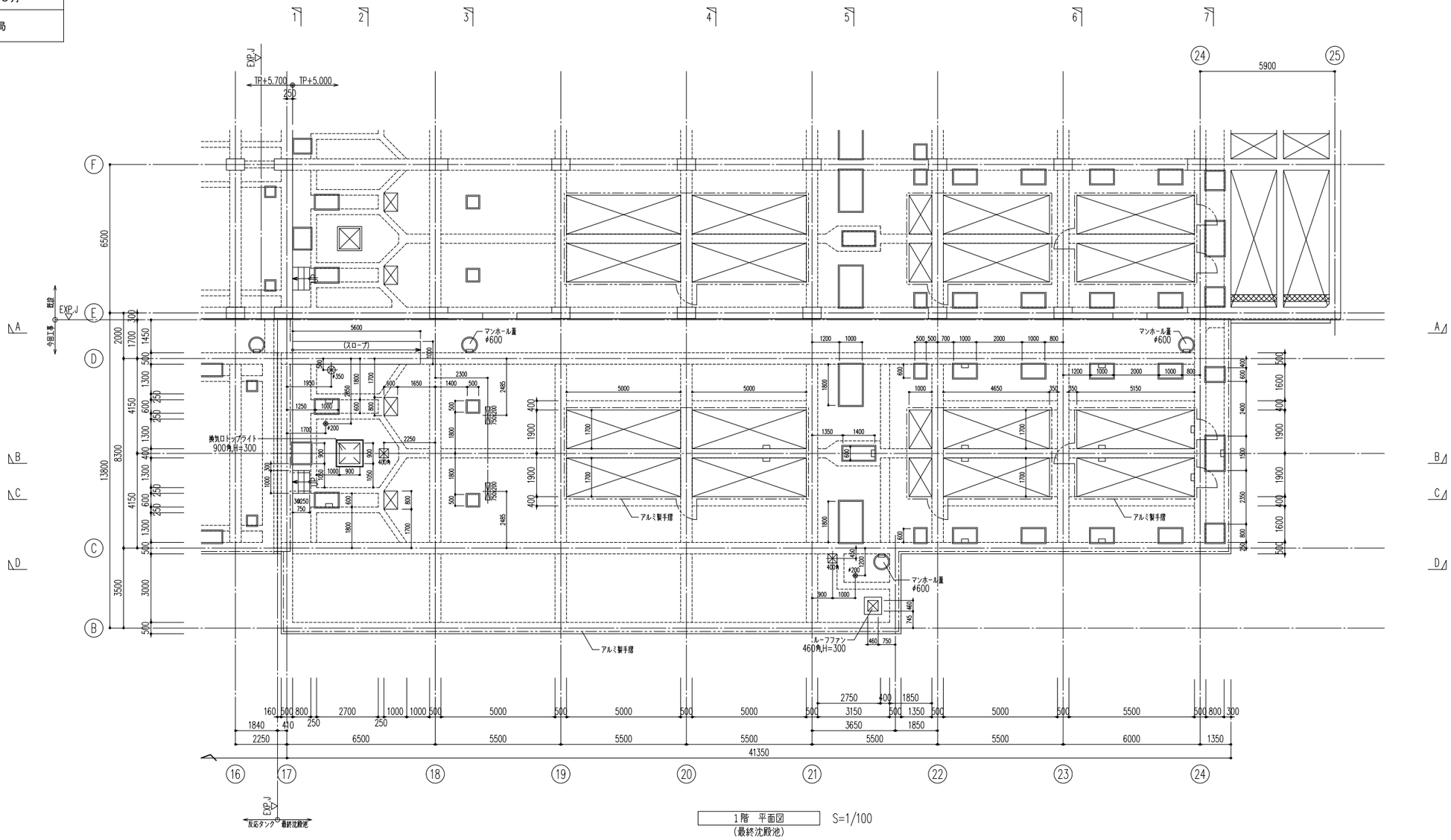



水槽部　平面図　S=1/100
(最終沈殿池)

| 図面番号 | D-12 | 縮 尺 | A1-1:100 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 最終沈殿池 水路部平面図 | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

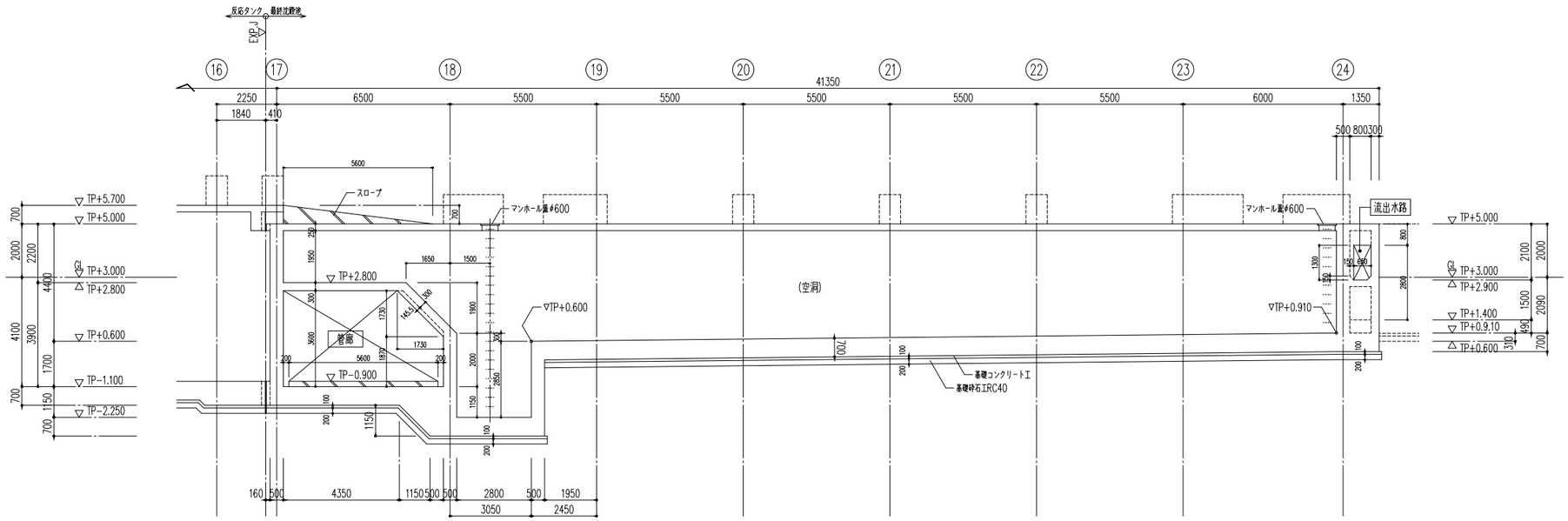


| 図面番号 | D-13 | 縮 尺 | A1-1:100 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 最終沈殿池　１階平面図 | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

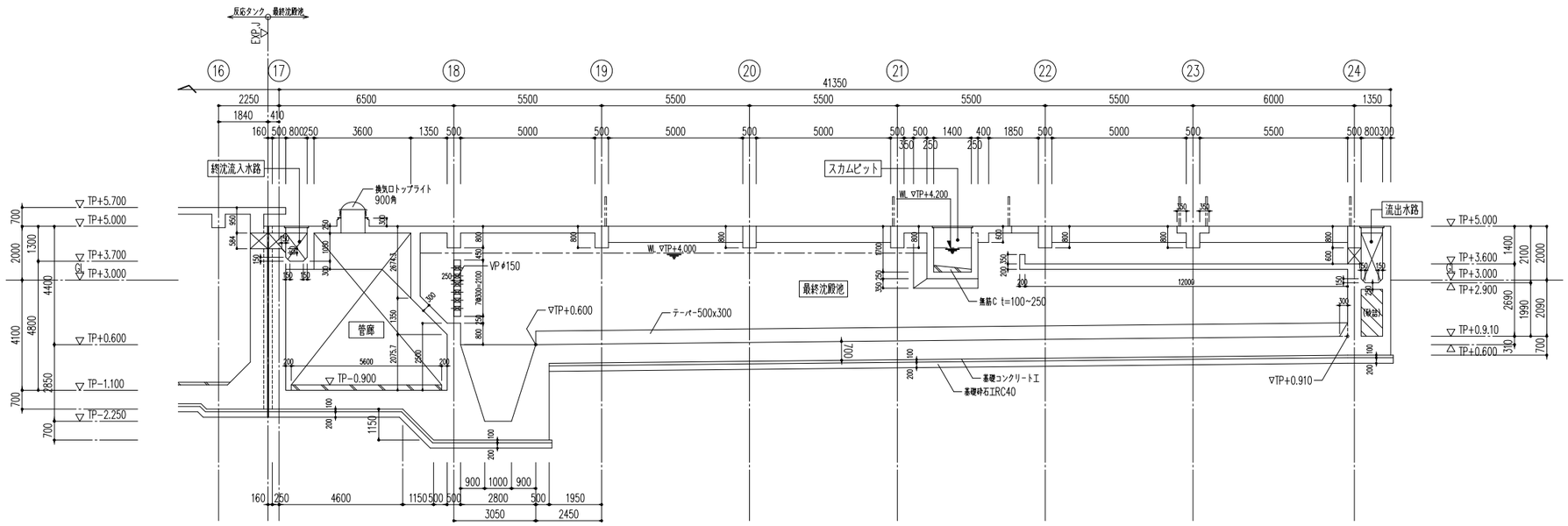



1階　平面図
（最終沈殿池）
S=1/100

| 図面番号 | D-14 | 縮 尺 | A1-1:100 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 最終沈殿池 断面図（１） | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

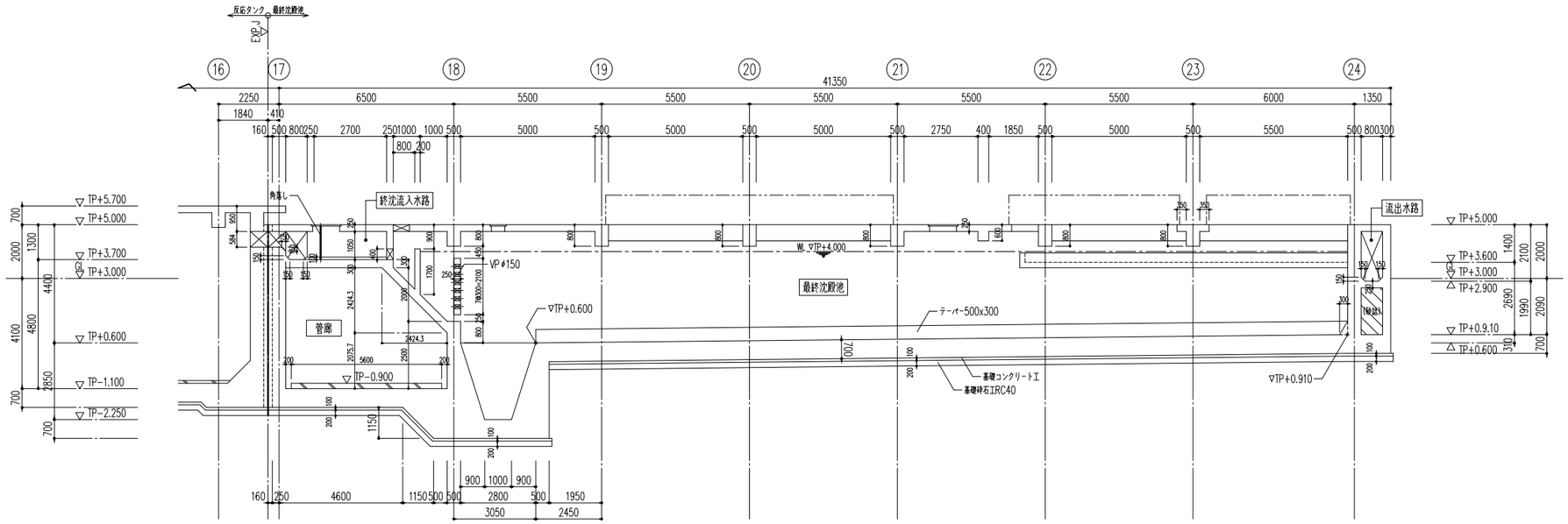



A－A断面図
(最終沈殿池)
S=1/100

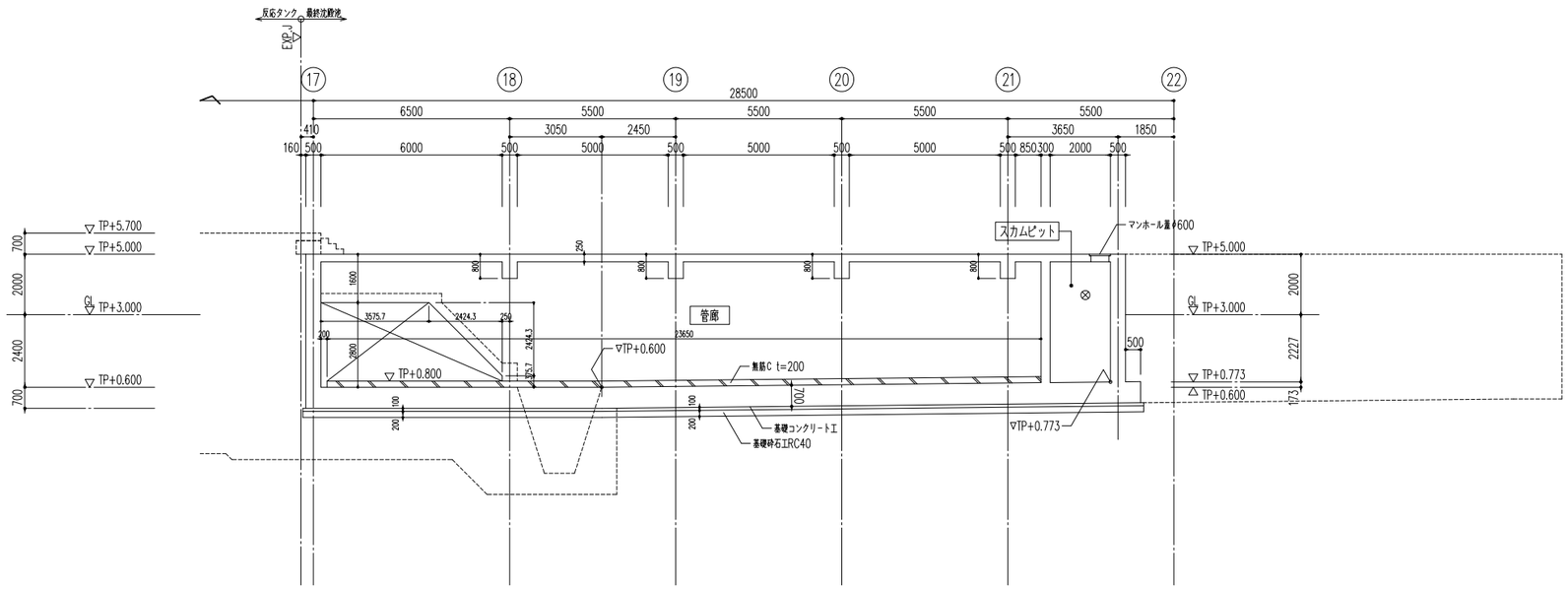



B－B断面図
(最終沈殿池)
S=1/100

| 図面番号 | D-15 | 縮 尺 | A1-1:100 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 最終沈殿池 断面図（２） | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

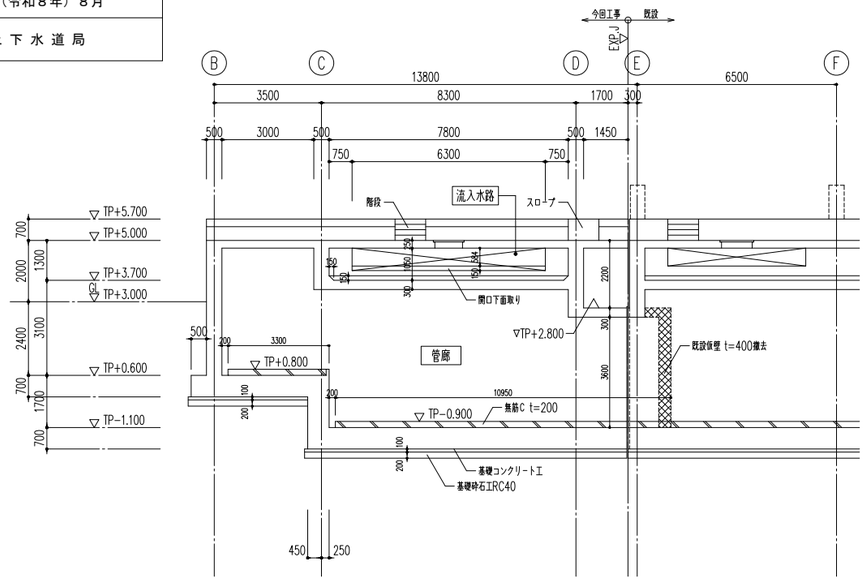



C－C断面図　S=1/100
（最終沈殿池）

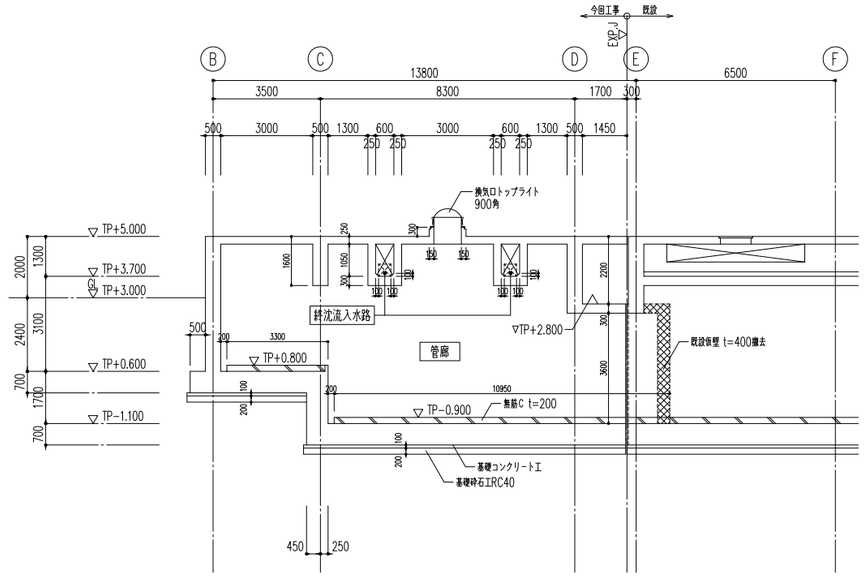



D－D断面図　S=1/100
（最終沈殿池）

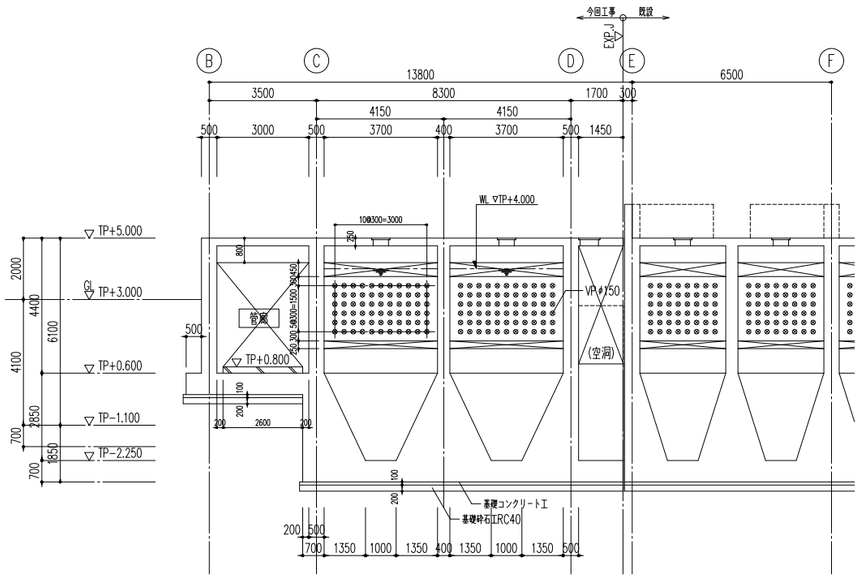
| 図面番号 | D-16 | 縮 尺 | A1-1:100 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 最終沈殿池 断面図（３） | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |



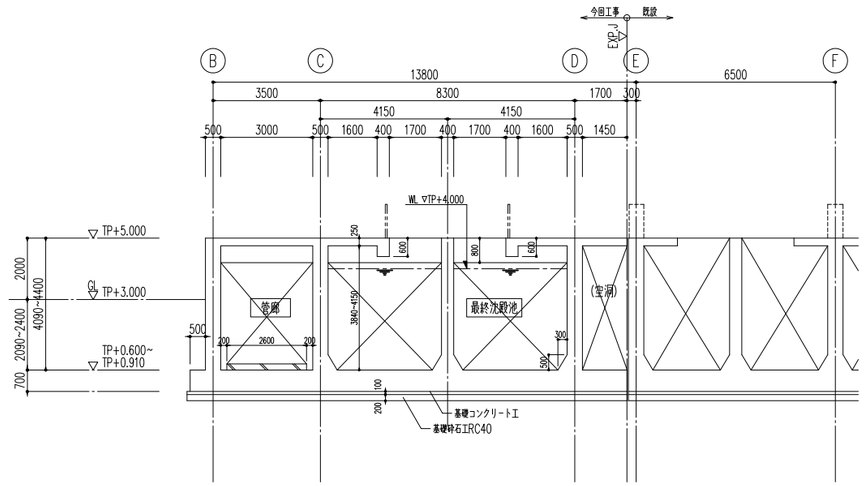

1－1断面図　S=1/100
（最終沈殿池）




2－2断面図　S=1/100
（最終沈殿池）

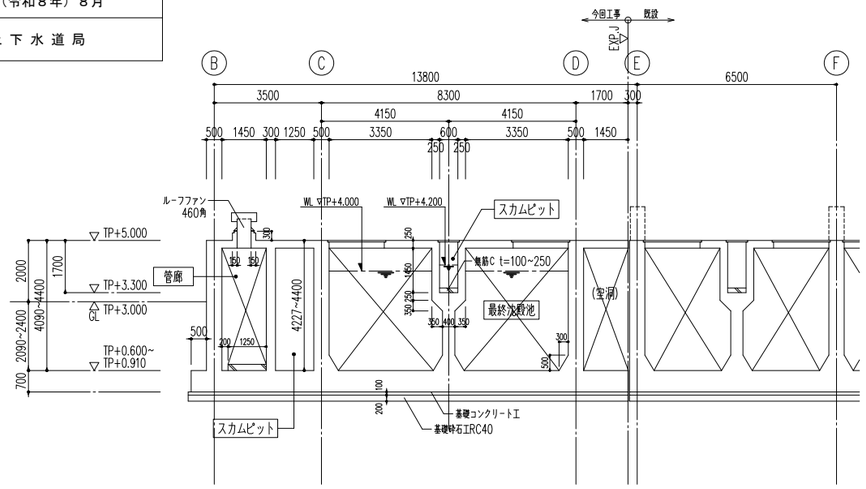



3－3断面図　S=1/100
（最終沈殿池）

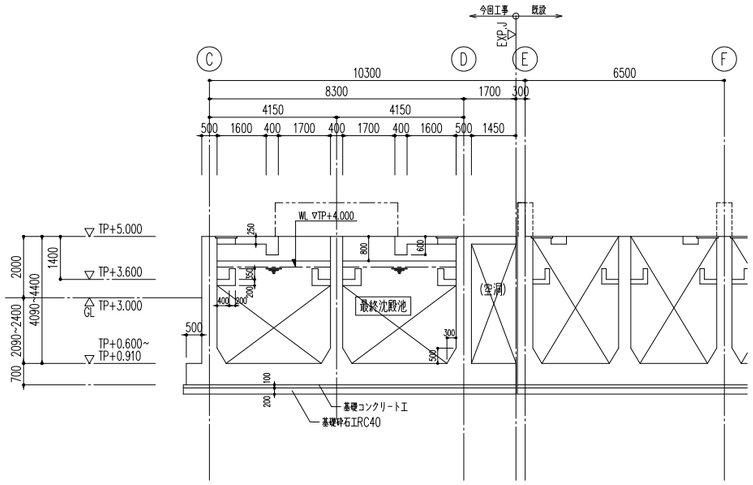



4－4断面図　S=1/100
（最終沈殿池）

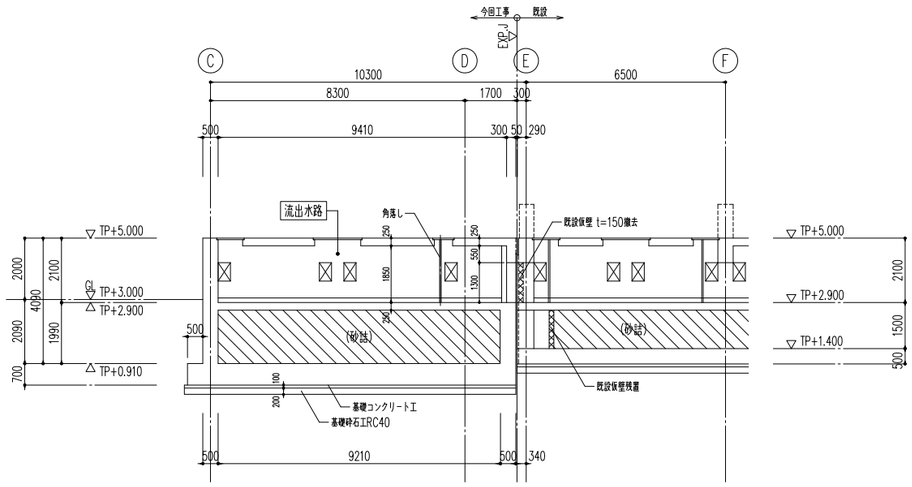
| 図面番号 | D-17 | 縮 尺 | A1-1:100 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 最終沈殿池 断面図（４） | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |




５－５断面図　S=1/100
（最終沈殿池）

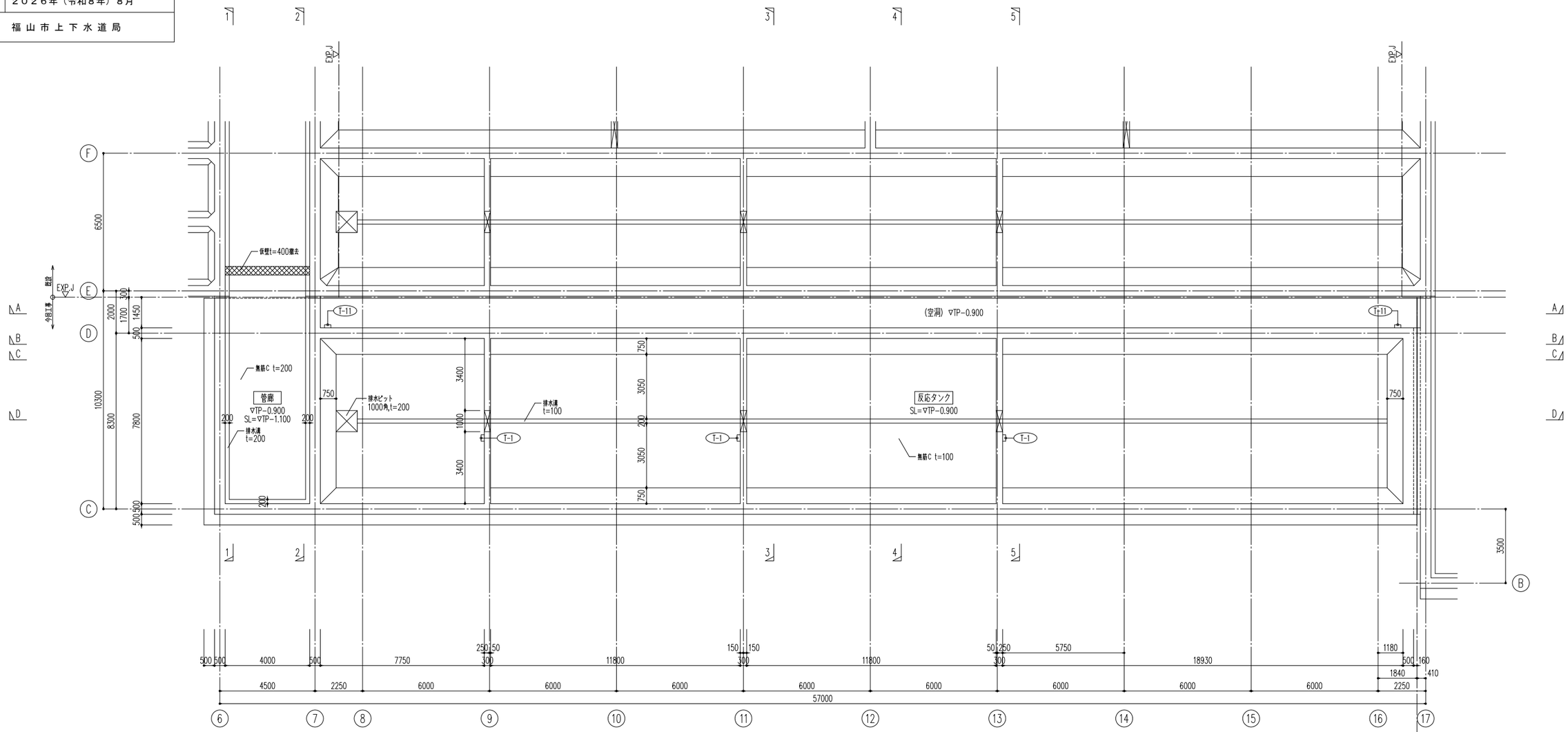



６－６断面図　S=1/100
（最終沈殿池）




７－７断面図　S=1/100
（最終沈殿池）

| 図面番号 | D-18 | 縮 尺 | A1-1:100 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 反応ﾀﾝｸ 水槽部付帯設備配置図 | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

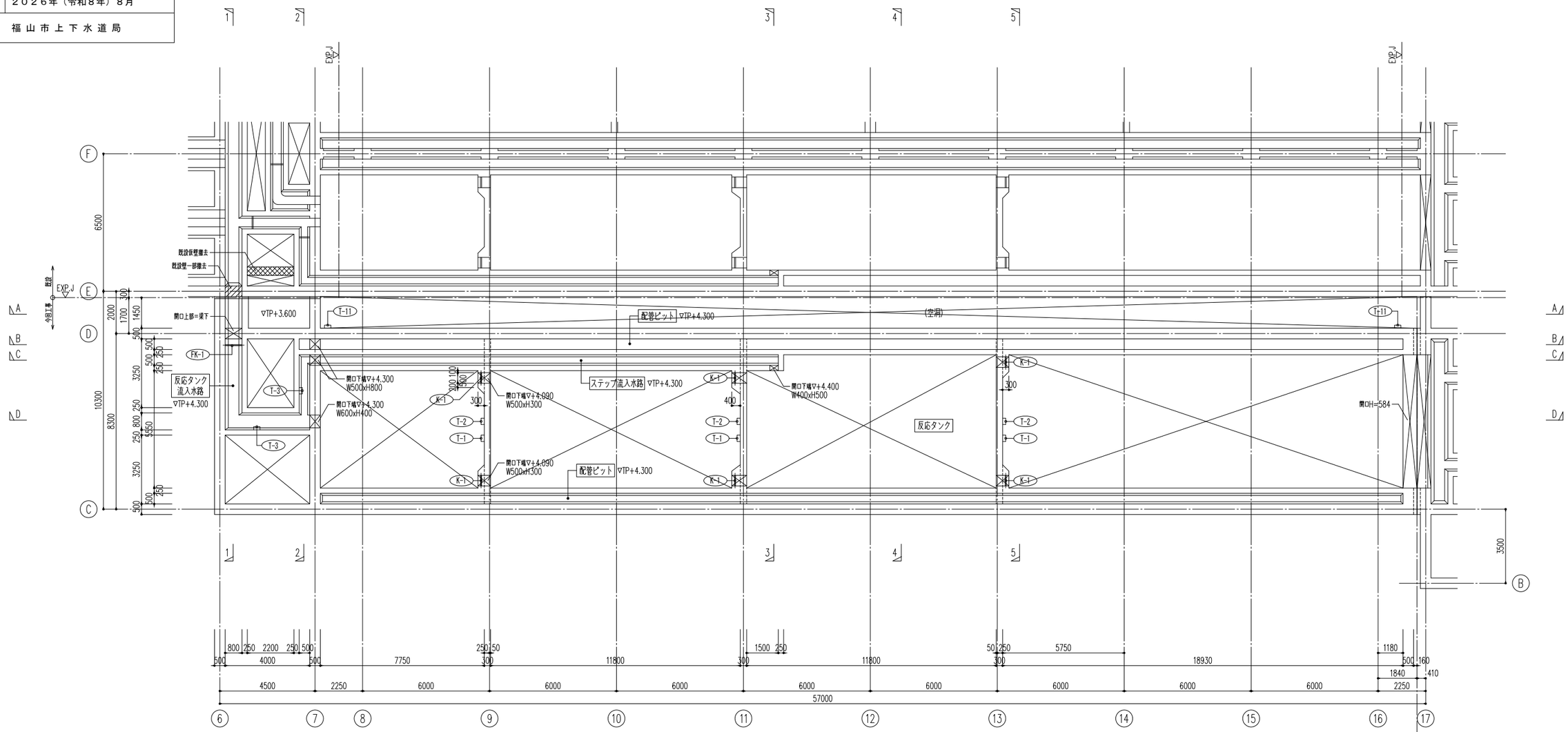



水槽部　平面図　S=1/100
(反応タンク)

＜凡　例＞

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| FRP | ＦＲＰ製蓋 | HR-1 | アルミニウム製手摺（一般部） | K | 小型角落し | TOP | 換気口トップライト |
| RC | コンクリート製蓋 | HR-2 | アルミニウム製手摺（階段部） | FK | 合成木材製角落し | RF | ルーフファン |
| G | グレーチング蓋（SUS製） | HR-3 | アルミニウム製手摺（着脱式） | T | 足掛金物ポリプロピレン被覆 | E | Ｖ型越流堰板（FRP製） |
| M | マンホール蓋（FRP製） | HRD | アルミニウム製手摺タイプドアー | P | 排水管（VU管） | | |

| 図面番号 | D-19 | 縮 尺 | A1-1:100 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 反応ﾀﾝｸ 水路部付帯設備配置図 | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

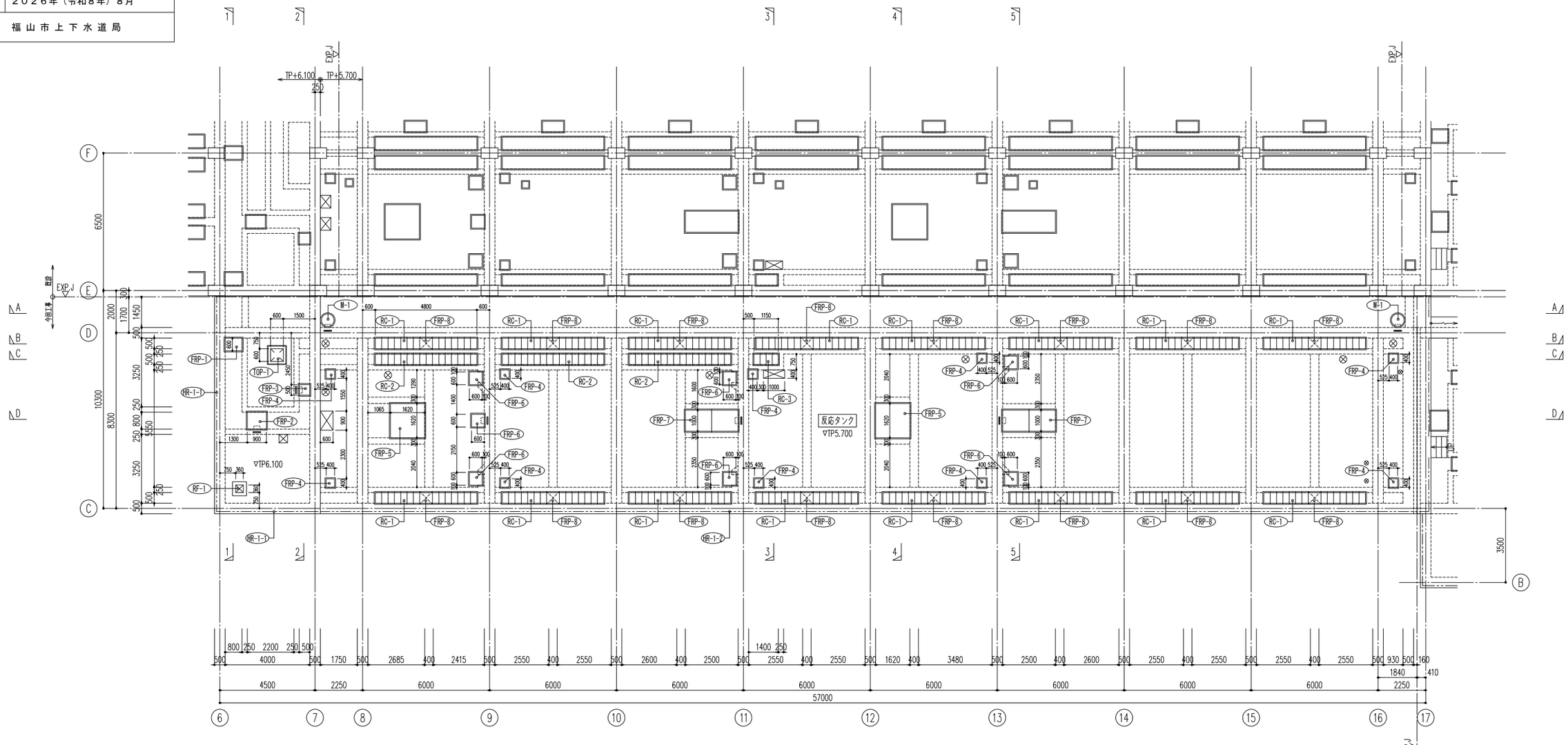



水路部　平面図
(反応タンク)
S=1/100

＜凡　例＞

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| FRP | ＦＲＰ製蓋 | HR-1 | アルミニウム製手摺（一般部） | K | 小型角落し | TOP | 換気口トップライト |
| RC | コンクリート製蓋 | HR-2 | アルミニウム製手摺（階段部） | FK | 合成木材製角落し | RF | ルーフファン |
| G | グレーチング蓋（SUS製） | HR-3 | アルミニウム製手摺（着脱式） | T | 足掛金物ポリプロピレン被覆 | E | Ｖ型越流堰板（FRP製） |
| M | マンホール蓋（FRP製） | HRD | アルミニウム製手摺タイプドアー | P | 排水管（VU管） | | |

| 図面番号 | D-20 | 縮 尺 | A1-1:100 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 反応ﾀﾝｸ　１階付帯設備配置図 | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

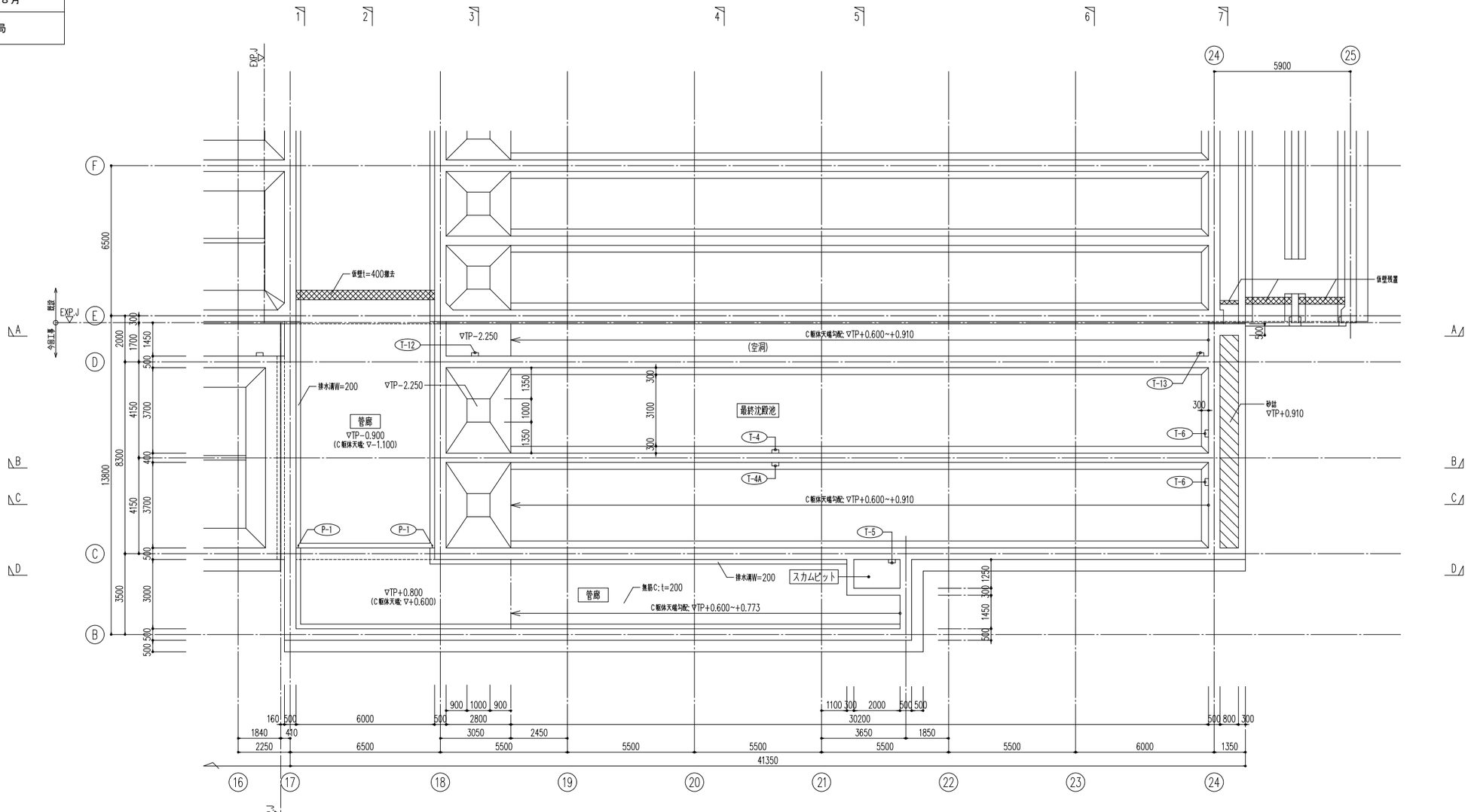



1階　平面図　S=1/100
（反応タンク）

＜凡　例＞

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| FRP | ＦＲＰ製蓋 | HR-1 | アルミニウム製手摺（一般部） | K | 小型角落し | TOP | 換気ロトップライト |
| RC | コンクリート製蓋 | HR-2 | アルミニウム製手摺（階段部） | FK | 合成木材製角落し | RF | ルーフファン |
| G | グレーチング蓋（SUS製） | HR-3 | アルミニウム製手摺（着脱式） | T | 足掛金物ポリプロピレン被覆 | E | Ｖ型越流堰板（FRP製） |
| M | マンホール蓋（FRP製） | HRD | アルミニウム製手摺タイプドアー | P | 排水管（VU管） | | |

| 図面番号 | D-21 | 縮 尺 | A1-1:100 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 最終沈殿池 水槽部付帯設備配置図 | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

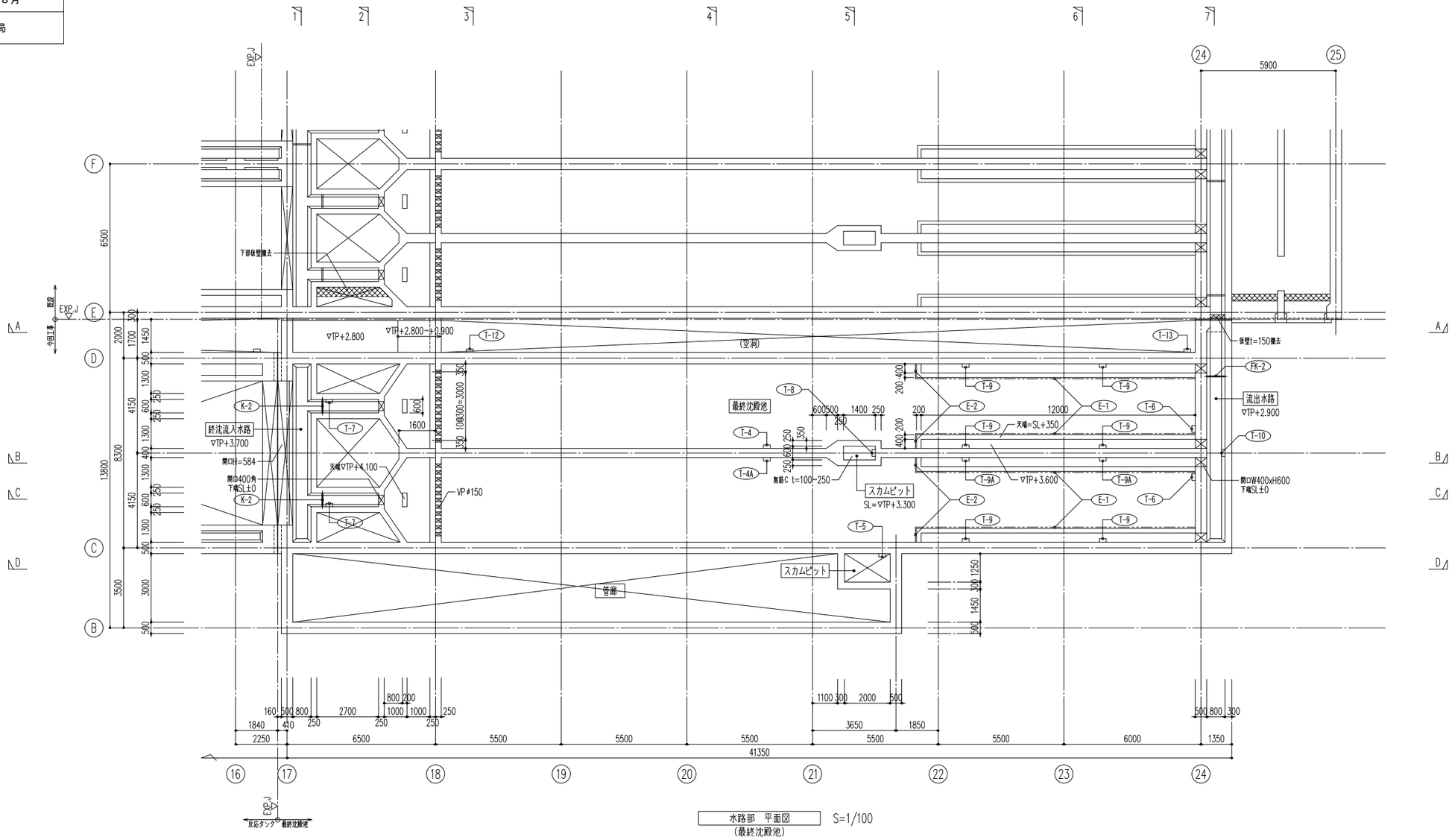



水槽部　平面図　S=1/100
(最終沈殿池)

＜凡　例＞

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| FRP | ＦＲＰ製蓋 | HR-1 | アルミニウム製手摺（一般部） | K | 小型角落し | TOP | 換気ロトップライト |
| RC | コンクリート製蓋 | HR-2 | アルミニウム製手摺（階段部） | FK | 合成木材製角落し | RF | ルーフファン |
| G | グレーチング蓋（SUS製） | HR-3 | アルミニウム製手摺（着脱式） | T | 足掛金物ポリプロピレン被覆 | E | Ｖ型越流堰板（FRP製） |
| M | マンホール蓋（FRP製） | HRD | アルミニウム製手摺タイプドアー | P | 排水管（VU管） | | |

| 図面番号 | D-22 | 縮 尺 | A1-1:100 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 最終沈殿池 水路部付帯設備配置図 | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

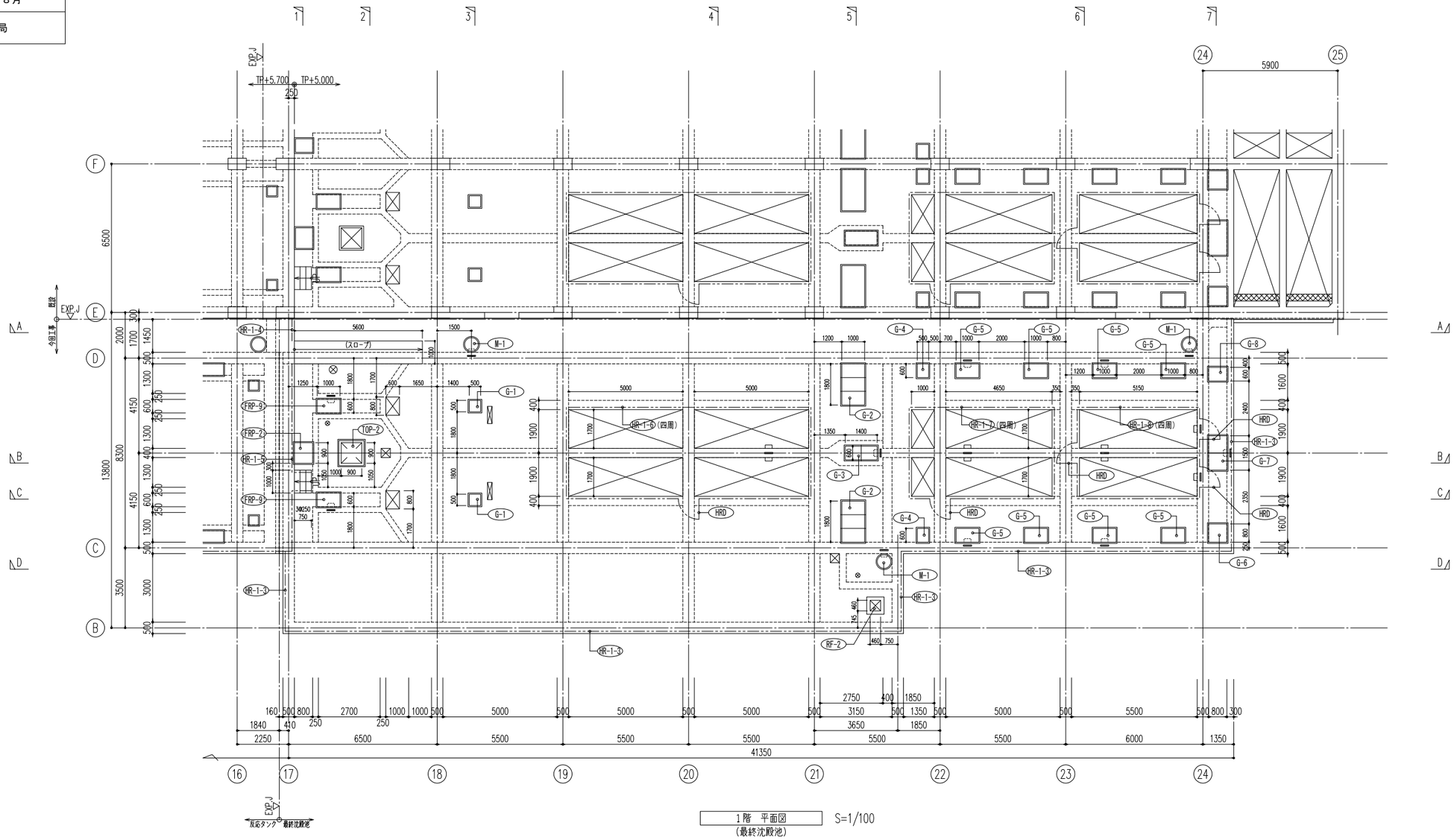



水路部　平面図　S=1/100
(最終沈殿池)

＜凡　例＞

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| FRP | ＦＲＰ製蓋 | HR-1 | アルミニウム製手摺（一般部） | K | 小型角落し | TOP | 換気ロトップライト |
| RC | コンクリート製蓋 | HR-2 | アルミニウム製手摺（階段部） | FK | 合成木材製角落し | RF | ルーフファン |
| G | グレーチング蓋（SUS製） | HR-3 | アルミニウム製手摺（着脱式） | T | 足掛金物ポリプロピレン被覆 | E | Ｖ型越流堰板（FRP製） |
| M | マンホール蓋（FRP製） | HRD | アルミニウム製手摺タイプドアー | P | 排水管（VU管） | | |

| 図面番号 | D-23 | 縮 尺 | A1-1:100 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 最終沈殿池　１階付帯設備配置図 | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |




1階　平面図
（最終沈殿池）
S=1/100

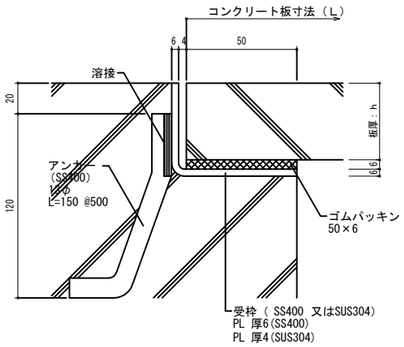
＜凡　例＞

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| FRP | ＦＲＰ製蓋 | HR-1 | アルミニウム製手摺（一般部） | K | 小型角落し | TOP | 換気口トップライト |
| RC | コンクリート製蓋 | HR-2 | アルミニウム製手摺（階段部） | FK | 合成木材製角落し | RF | ルーフファン |
| G | グレーチング蓋（SUS製） | HR-3 | アルミニウム製手摺（着脱式） | T | 足掛金物ポリプロピレン被覆 | E | Ｖ型越流堰板（FRP製） |
| M | マンホール蓋（FRP製） | HRD | アルミニウム製手摺タイプドアー | P | 排水管（VU管） | | |

| 図面番号 | D-24 | 縮 尺 | NON |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 付帯工詳細図（１） | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

## コンクリート製蓋及び受枠標準図

コンクリート製蓋及び受枠




床用コンクリート板選定表（参考）

| L（mm） | h（mm） | 参考重量（kg／m2） |
|---|---|---|
| ～1,000 | 50(40) | 96 |
| 1,001～1,400 | 50(40) | 96 |
| 1,401～1,800 | 50 | 120 |
| 1,801～2,100 | 60 | 144 |
| 2,101～2,500 | 80 | 192 |
| 2,501～3,000 | 80 | 192 |

注記　１）蓋の最小板厚は40mmとする。
　　２）寸法の許容誤差は±2mmとする。

仕様

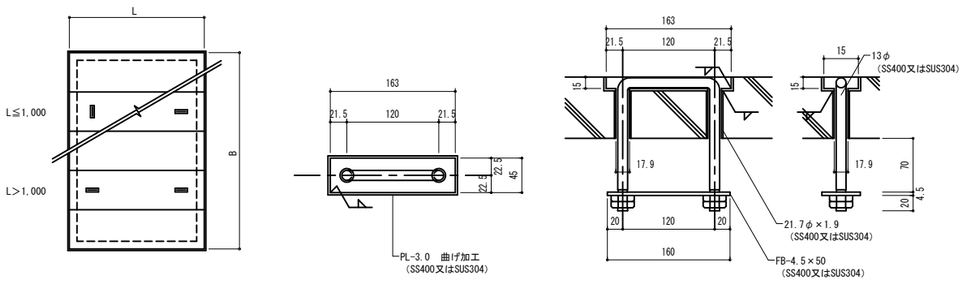
１）　蓋の製作はコンクリート標準示方書または公共建築工事標準仕様書による。
２）　短スパン（約1m以内）は、プレストレスが実際に導入されないため、鉄筋コンクリート板とする。
３）　受枠は、アンカー筋で躯体の鉄筋に溶接して固着する。固着点は、隅角部については、角を構成する辺に１点ずつ、辺については500mm以内の等間隔とする。
４）　受枠及び取手は、設置個所の腐食環境等を考慮した種別の溶融亜鉛めっきとする。（SS400の場合）
５）　取手には、2個／枚とする。
６）　蓋には、荷重表示（N、T）を行う。

特記事項

１）　受枠及び取手の材質
２）　取手の設置間隔
３）　鉄面の塗装、溶融亜鉛めっきの種別

設計注意事項

１）　設計荷重は床用　3.5ｋＮ／m2、又は中央部集中荷重　1.0ｋＮ／枚のいずれか大きい荷重とする。ただし、機器の搬出入経路にある場合などは必要に応じ別途検討し、設計荷重を特記する。
２）　許容たわみは、Ｌ／400以下とする。
３）　取手及び受枠の材質は、耐食性を考慮する場合、SUS304とする。
４）　蓋表面をスリップ防止処理をする場合、別途に考慮する。
５）　取手の設置間隔については、1枚当りの重量及び取り外し頻度に応じて検討すること。
６）　開閉時の作業の安全性を確認する。
７）　受枠下のコンクリートの厚み等安全性を確認する。

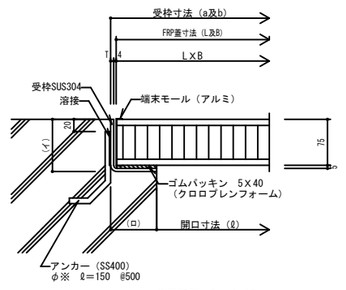



取手詳細図

### コンクリート製蓋リスト

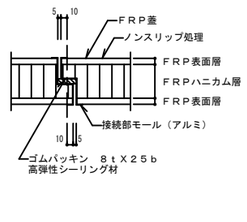
| 符号 | 開口寸法 | | 蓋寸法 | | H | 割付枚数（参考） | 箇所数 | | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | L1 | B1 | L | B | | | 反応槽 | 終沈 | |
| RC-1 | 500 | 4800 | 600 | 4900 | 50 | 14 | 16 | --- | 一部FRP製蓋 |
| RC-2 | 500 | 4800 | 600 | 4900 | 50 | 16 | 3 | --- | |
| RC-3 | 500 | 1150 | 600 | 1250 | 50 | 4 | 1 | --- | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |

## ＦＲＰ製蓋及び受枠標準図

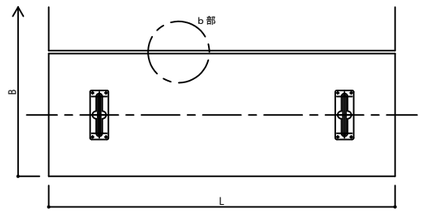


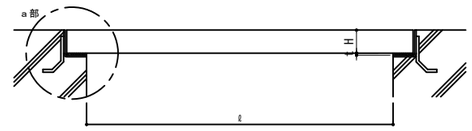

ａ部詳細図　Ｓ＝１／５

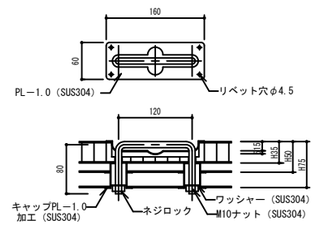
ハニカム層の構造は、六角形または円形を標準とする。




ｂ部詳細図　Ｓ＝１／５




落し込み取手詳細図　Ｓ＝１／５

仕　様

１）　受枠はアンカー筋（＊厚5まではφ9mm、厚6はφ13mm）で躯体の鉄筋に溶接して固着する。固着点、隅角部については、角を構成する辺に１点ずつ、辺については、500mm以内の等間隔とする。
２）　取手は、2個／枚とする。
３）　蓋には荷重表示（N.T）を行う。
４）　蓋にはすべり止め加工を行う。

設計注意事項

１）　設計荷重は3.5kN／m　または中央部1.0kN／枚のいずれか大きい荷重とする。ただし、機器の搬出入経路にある場合などは必要に応じ別途検討し、設計荷重を特記すること。
２）　許容たわみ量は　L／200以下とする。
３）　可動式・アーチ式の場合は、中央線荷重1.0ｋＮ／mにおいて十分な破壊安全率を有しかつ、脱輪を起こさないこと。
４）　屋外装置の場合、強風による蓋の飛散防止を行う。（A-12参照）
５）　開閉時の作業の安全性を確認する。
６）　受枠下のコンクリートの厚み等安全性を確認する。
７）　回転式取手としても蹟く可能性はあるので、維持管理時の支障とならないよう配慮する。

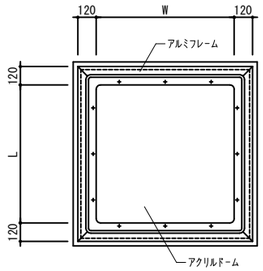
### ＦＲＰ製蓋リスト

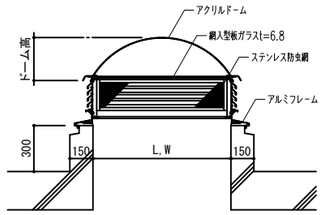
| 符号 | 開口寸法 | | 蓋寸法 | | H | 割付枚数（参考） | 箇所数 | | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | L1 | B1 | L | B | | | 反応槽 | 終沈 | |
| FRP-1 | 800 | 600 | 866 | 666 | 30 | 1 | 1 | -- | |
| FRP-2 | 900 | 800 | 984 | 884 | 35 | 1 | (1) | 1 | ( )は、受枠のみ土木工事、蓋：電気設備工事 |
| FRP-3 | 500 | 500 | 566 | 566 | 30 | 1 | 1 | -- | |
| FRP-4 | 400 | 400 | 466 | 466 | 30 | 1 | 10 | -- | |
| FRP-5 | 1620 | 1620 | 1752 | 1752 | 75 | 1 | 2 | -- | |
| FRP-6 | 600 | 600 | 666 | 666 | 30 | 1 | 7 | -- | |
| FRP-7 | 2500 | 1000 | 2632 | 1132 | 75 | 2 | 2 | -- | |
| FRP-8 | 600 | 500 | 600 | 600 | 50 | 1 | 16 | -- | 2方枠、両側にＲＣ蓋 |
| FRP-9 | 1000 | 600 | 1084 | 684 | 35 | 1 | -- | 2 | |
| | | | | | | | | | |

| 図面番号 | D-25 | 縮 尺 | 図示 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 付帯工詳細図（２） | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

## 換気口トップライト標準図　1/20

※詳細についてはメーカー指定とする



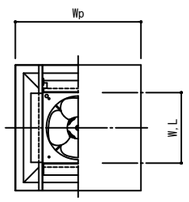



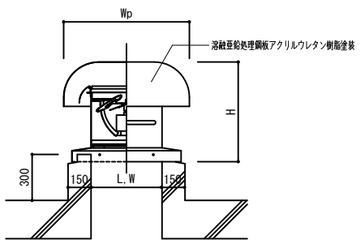

### 換気口トップライトリスト

| 符号 | 開口寸法 | | ドーム高 | 箇所数 | | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | W | L | | 反応槽 | 終沈 | |
| TOP-1 | 600 | 600 | 190 | 1 | -- | 換気開口面積：0.20m2以上、開口率37%以上 |
| TOP-2 | 900 | 900 | 280 | -- | 1 | 換気開口面積：0.32m2以上、開口率40%以上 |
| | | | | | | |

## ルーフファン（耐塩形）標準図　1/20

※詳細についてはメーカー指定とする

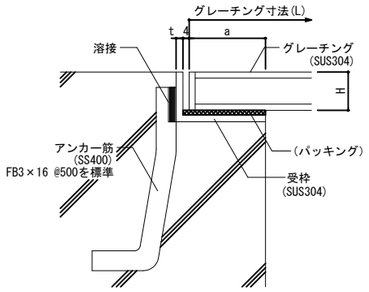



### ルーフファンリスト

| 符号 | 開口寸法 | | 外形（参考） | | ファン径 | 箇所数 | | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | W | L | Wp | H | | 反応槽 | 終沈 | |
| RF-1 | 360 | 360 | 640 | 510 | 300 | 1 | -- | ルーフファンは別途機械設備工事 |
| RF-2 | 460 | 460 | 820 | 650 | 400 | -- | 1 | ルーフファンは別途機械設備工事 |
| | | | | | | | | |

## ステンレス製グレーチング及び受枠標準図




グレーチング形式選定表（参考）
注）バーピッチ、H、a、t、は床用（歩行用）の参考値である。

A.鋼製：設計荷重3.5kN/㎡

| L(mm) | バーピッチ (mm) | H (mm) | a (mm) | t (mm) |
|---|---|---|---|---|
| ～ 500 | 30 | 15 | 25 | 3 |
| 501～900 | 30 | 20 | 25 | 3 |
| 901～1000 | 30 | 25 | 25 | 3 |
| 1001～1500 | 30 | 32 | 25 | 3 |
| 1501～1700 | 30 | 38 | 25 | 3 |

仕様
1）グレーチング、枠は製造所の仕様による。
2）グレーチング、枠は同材質のものを使用する。
3）パッキングが必要な場合は受枠側に接着する。
4）蓋には荷重表示（N,T）を行う。蓋への表示が困難な場合は、適切な箇所に荷重表示板を設置する。
5）受枠はアンカー筋で躯体の鉄筋に溶解して固着する。固着点は、隅角部については、角を構成する辺に一点ずつ、辺については、500mm以内の等間隔とする。

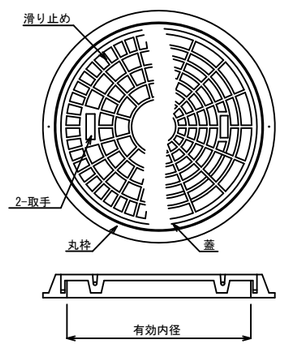
特記事項
1）幅　　L
2）長さ　　B
3）厚さ
4）荷重
5）グレーチングの材質
6）すべり止めの有無
7）鉄面の塗装、溶融亜鉛めっきの種別

設計注意事項
1）設計荷重は歩行用3.5kN/㎡とする。
2）許容たわみ量は、歩行用L/300以下とする。
3）多雪地域は、ラバー付の採用を検討する。
4）本図は歩行用に適用し、車両用は、別途Ｔ荷重仕様とする。

### グレーチング蓋リスト

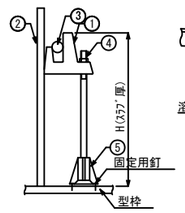
| 符号 | 開口寸法 | | 蓋寸法 | | H | 受枠 t | 割付枚数（参考） | 箇所数 | | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | L1 | B1 | L | B | | | | 反応槽 | 終沈 | |
| G-1 | 500 | 500 | 600 | 600 | 19 | 4.5 | 1 | -- | 2 | |
| G-2 | 1800 | 1000 | 1900 | 1100 | 25 | 6 | 3 | -- | 2 | |
| G-3 | 1400 | 600 | 1500 | 700 | 25 | 6 | 2 | -- | 1 | |
| G-4 | 600 | 500 | 700 | 600 | 25 | 6 | 1 | -- | 2 | |
| G-5 | 1000 | 600 | 1100 | 700 | 25 | 6 | 1 | -- | 8 | |
| G-6 | 800 | 800 | 900 | 900 | 25 | 6 | 1 | -- | 1 | |
| G-7 | 1500 | 800 | 1600 | 900 | 25 | 6 | 2 | -- | 1 | |
| G-8 | 800 | 600 | 900 | 700 | 25 | 6 | 1 | -- | 1 | |

## FRP製マンホール蓋及び受枠標準図



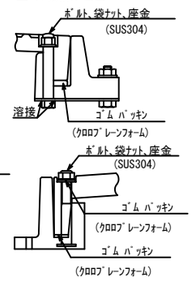

※詳細についてはメーカー指定とする

参考図-1
受枠施工断面図




① FRPﾏﾝﾎｰﾙ受枠
② ﾎﾞｲﾄﾞ管
③ 養生材(ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ等)
④ 調整ﾎﾞﾙﾄ(3/8ｲﾝﾁ)
⑤ ｻﾎﾟｰﾄ

参考図-2
蓋ﾛｯｸ機構断面図




FRP製マンホール蓋 型式選定表(参考)

| 寸法呼称 | 有効内径 (mm) | 安全荷重種別呼称 | 安全荷重 (kN) |
|---|---|---|---|
| 300型 | 300 | 500k | 5.0 |
| | | 1000k | 15.0 |
| 600型 | 600 | 500k | 5.0 |
| | | 1500k | 15.0 |
| 700型 | 700 | 1500k | 15.0 |
| 900型 | 900 | 1500k | 15.0 |

注）寸法呼称および安全荷重はSHASE-S209
（空気調和・衛生工学会規格）に準拠する。

仕　様
1）受枠施工側としてはボイド管を取付けたスラブ打設用枠より受枠サポート用調整ボルトで所定位置に保持した後、スラブを打設して固定する。
2）本施工方式以外の方法によるも可とする。
3）ＦＲＰ（強化プラスチック）又はＦＲＴＰ（可塑性強化プラスチックス）とする。
4）簡易防水用、簡易防臭用の場合は、パッキンおよびロック機構を内蔵したものとする。
5）蓋には荷重表示（N、T）を行う。

特記事項
1）蓋の型式
2）有効内径
3）蓋のロック機能の有無

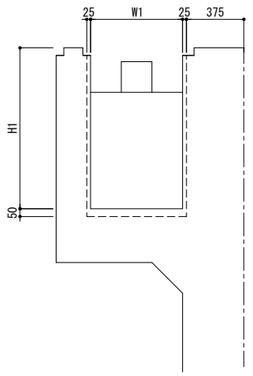
設計注意事項
1）安全荷重は破壊荷重の４分の１以下とする。
2）荷重除去後の残留たわみは、マンホール枠内径の0.2%以下とする。

### FRP製マンホール蓋リスト

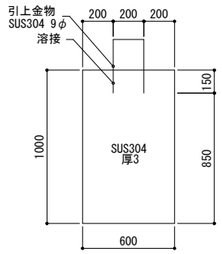
| 符号 | 開口寸法 φ | 箇所数 | | 備　考 |
|---|---|---|---|---|
| | | 反応槽 | 終沈 | |
| M-1 | 600 | 2 | 3 | |
| | | | | |

| 図面番号 | D-26 | 縮 尺 | NON |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 付帯工詳細図（３） | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

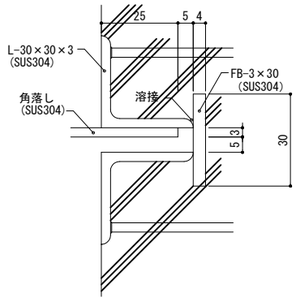
## 小型角落し及び受枠標準図

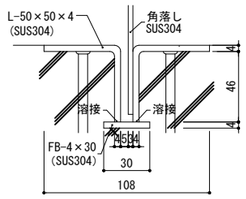



角落し設計例




注記　材質はすべてSUS304を用いる
水抜き管はすべて池側へ設ける




仕様

1）材質はSUS304とする。

設計注意事項

1）小型水路に使用する。
2）W1＝1000mm、H1＝1300mm以下とする。
3）上表中において、線上にある場合は、大きい値をとる。
4）上部に引上金物を設ける。

| 幅＼高さ | 500 | 600 | 700 | 800 | 900 | 1000 | 1100 | 1200 | 1300 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 500 | 2 | 2 | 2 | 2 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| 600 | 2 | 2 | 2 | 3 | 3 | 3 | 3 | 4 | 4 |
| 700 | 2 | 2 | 3 | 3 | 3 | 3 | 4 | 4 | 4 |
| 800 | 2 | 3 | 3 | 3 | 3 | 4 | 4 | 4 | 5 |
| 900 | 2 | 3 | 3 | 3 | 4 | 4 | 4 | 5 | 5 |
| 1000 | 3 | 3 | 3 | 4 | 4 | 4 | 5 | 5 | 5 |

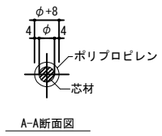
参考質量　kg／m2

| 板厚mm＼質量 | 参考質量 |
|---|---|
| 2 | 15.4 |
| 3 | 23.1 |
| 4 | 30.8 |
| 5 | 38.5 |

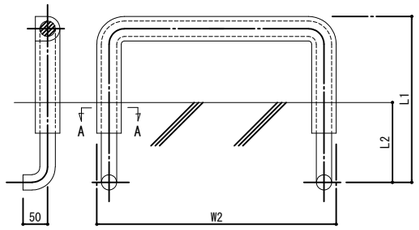
### 小型角落しリスト

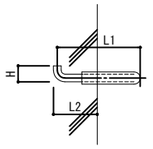
| 符号 | 水路寸法 | | 角落し寸法 | | 板厚 t | 箇所数 | | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | W1 | H1 | W | H | | 反応槽 | 終沈 | |
| K-1 | 500 | 1610 | 550 | 1300 | 3 | 6 | — | |
| K-2 | 600 | 1300 | 650 | 1050 | 3 | -- | 2 | |
| | | | | | | | | |

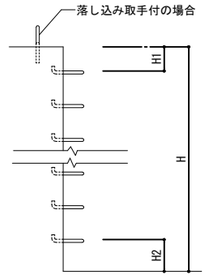
## 足掛金物標準図（ポリプロピレン製）




A-A断面図




一般の場合

形状寸法表（参考）

| 有効幅 | L1 | L2 | H | φ |
|---|---|---|---|---|
| ⊙ 300 | 250 | 100 | 50 | 19 |
| ・ 400 | 300 | 150 | 50 | 22 |

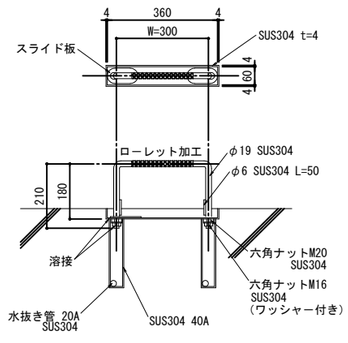
注記
1）形状寸法は製造所の仕様による。芯材の材質は、SWCH12R、SUS304又はSUS403とする。
2）壁に100mm以上埋め込む。
3）足掛り部のすべり止め加工は150mm以上とする。
4）屋上を除く外部のタラップの最下段の踏子は、GLより2000mm程度とする。
5）屋内及び屋上等へのタラップの最下段の踏子は、床面から800mm程度とする。
6）タラップは原則として先づけ工法とする。
7）タラップのパラペット取合い金物は、工場加工とし現場溶接としてはならない。
8）ステンレス丸鋼と平鋼の取合いは全周すみ肉溶接とする。

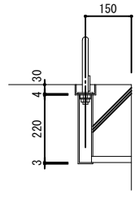
設計注意事項
1）維持管理用には階段を設けることを原則とし、使用頻度が極めて少ない場合に限り、タラップを設ける
2）タラップの取付く壁、パラペットの断面を検討する。
3）原則として、水槽部分に用いる。芯材の材質は、設置場所の環境状況を考慮して選定する。
4）取り付け間隔は概ね350mmとし、可能な限り、どこも一定とする。
5）屋外のタラップの最下段の踏ざんをGLより500mm程度とする場合は、昇降禁止板を設ける。

### 足掛金物リスト

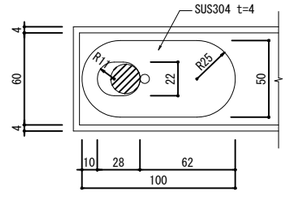
| 符号 | H | H1 | H2 | 本数（１箇所当り） | 落込み取手（１箇所当り） | 箇所数 | | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 反応槽 | 終沈 | |
| T-1 | 6500 | -- | 350 | 7 | -- | 3 | -- | T-2の続き（下部） |
| T-2 | 6500 | 200 | 1050 | 16 | 1 | 3 | -- | T-1の続き（上部） |
| T-3 | 1800 | 200 | 200 | 5 | 1 | 2 | -- | |
| T-4 | 4280 | 200 | 230 | 12 | 1 | -- | 1 | |
| T-4A | 4280 | 200 | 230 | 12 | -- | -- | 1 | |
| T-5 | 4230 | 200 | 180 | 12 | 1 | -- | 1 | |
| T-6 | 4090 | 200 | 390 | 11 | 1 | -- | 2 | |
| T-7 | 1300 | 200 | 400 | 3 | 1 | -- | 2 | |
| T-8 | 1600 | 200 | 350 | 4 | 1 | -- | 1 | |
| T-9 | 1400 | 200 | 500 | 3 | 1 | -- | 6 | |
| T-9A | 1400 | 200 | 500 | 3 | -- | -- | 2 | |
| T-10 | 2100 | 200 | 150 | 6 | 1 | -- | 1 | |
| T-11 | 6600 | 200 | 450 | 18 | 1 | 2 | -- | |
| T-12 | 7250 | 200 | 400 | 20 | 1 | -- | 1 | |
| T-13 | 4090 | 200 | 390 | 11 | 1 | -- | 1 | |

## 落し込み取手標準図　1/10




スライド板詳細図



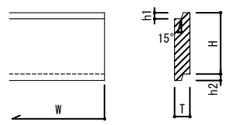

注記
1）材質はすべてSUS304を用いる

設計注意事項
1）原則として全ての足掛金物上部には、手掛け用取手を設ける。
2）手掛け用取手は、壁付を原則とするが、やむを得ない場合、可倒型取手、回転式取手、又は落し込み式取手とする。
3）水抜き管は、原則として水路側又は池側へ設ける。排水対策の講じられていない配管・配線ピット側には原則として設けてはならない。

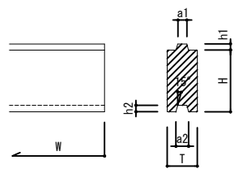
| 図面番号 | D-27 | 縮 尺 | NON |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 付帯工詳細図（４） | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

# 合成木材製角落し及び受枠標準図

## 厚み50mm以下（タイプＡ）

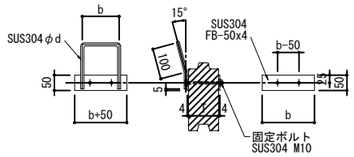



## 厚み59mm以上（タイプＢ）




## 取手標準図

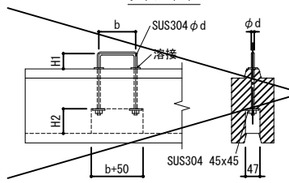
タイプ（Ⅰ）




取手寸法表

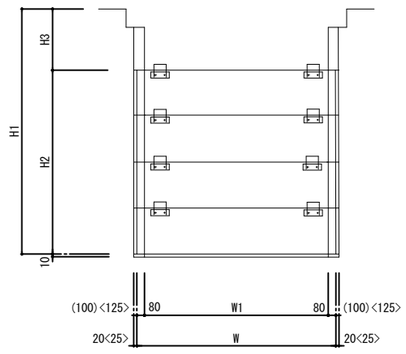
| 寸法 / 呼称 | サイズ(mm) φd | b |
|---|---|---|
| ～ 80 | 10 | 120 |
| 100～140 | 12 | 120 |
| 150～210 | 16 | 140 |

タイプ（Ⅱ）




取手寸法表

| 寸法 / 呼称 | サイズ(mm) φd | b | H1 | H2 |
|---|---|---|---|---|
| 100～140 | 12 | 120 | 50 | 80 |
| 150～210 | 16 | 140 | 50 | 80 |
| 220～310 | 18 | 140 | 70 | 120 |
| 320～350 | 20 | 140 | 70 | 120 |



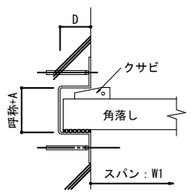

注－（ ）内寸法は呼称150以上の場合を示す
＜ ＞内寸法は呼称260以上の場合を示す

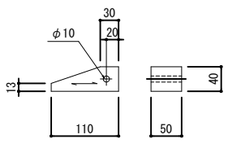
## 厚み選定表〔許容たわみ率より算定〕

［単位:mm］

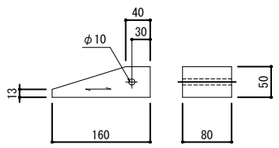
| スパンW1 / 水深H | 750 | 1000 | 1500 | 2000 | 2500 | 3000 | 3500 | 4000 | 4500 | 5000 | 5500 | 6000 | 6500 | 7000 | 7500 | 8000 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1000 | 49 | 49 | 59 | 78 | 98 | 118 | 138 | 138 | 157 | 177 | 197 | 207 | 227 | 247 | 257 | 277 |
| 1500 | 49 | 49 | 69 | 98 | 118 | 138 | 138 | 157 | 177 | 197 | 217 | 237 | 257 | 277 | 297 | 317 |
| 2000 | 49 | 49 | 69 | 98 | 118 | 138 | 157 | 177 | 197 | 217 | 237 | 267 | 287 | 307 | 327 | 347 |
| 2500 | 49 | 49 | 78 | 98 | 118 | 147 | 167 | 197 | 217 | 237 | 257 | 287 | 307 | 327 | | |
| 3000 | 49 | 59 | 78 | 118 | 138 | 177 | 177 | 197 | 227 | 247 | 287 | 297 | 327 | 347 | | |
| 3500 | 49 | 59 | 98 | 118 | 138 | 177 | 187 | 207 | 237 | 267 | 297 | 317 | 347 | | | |
| 4000 | 49 | 59 | 98 | 118 | 138 | 177 | 197 | 217 | 247 | 277 | 307 | 327 | | | | |
| 4500 | 49 | 59 | 98 | 118 | 147 | 177 | 197 | 227 | 257 | 287 | 317 | 347 | | | | |
| 5000 | 49 | 69 | 98 | 138 | 147 | 177 | 207 | 237 | 267 | 297 | 327 | | | | | |
| 5500 | 49 | 69 | 98 | 138 | 177 | 197 | 217 | 247 | 277 | 307 | 337 | | | | | |
| 6000 | 49 | 69 | 98 | 138 | 177 | 197 | 217 | 257 | 287 | 317 | 347 | | | | | |
| 6500 | 59 | 69 | 98 | 138 | 177 | 197 | 227 | 257 | 287 | 327 | | | | | | |
| 7000 | 59 | 69 | 118 | 138 | 177 | 197 | 237 | 267 | 297 | 327 | | | | | | |
| 7500 | 59 | 69 | 118 | 138 | 177 | 207 | 237 | 267 | 307 | 337 | | | | | | |
| 8000 | 59 | 78 | 118 | 138 | 177 | 207 | 247 | 277 | 317 | 347 | | | | | | |
| 8500 | 59 | 78 | 118 | 147 | 177 | 217 | 247 | 287 | 317 | | | | | | | |
| 9000 | 59 | 78 | 118 | 147 | 197 | 217 | 257 | 287 | 327 | | | | | | | |
| 9500 | 59 | 78 | 118 | 147 | 197 | 217 | 257 | 297 | 327 | | | | | | | |
| 10000 | 59 | 78 | 118 | 177 | 197 | 227 | 267 | 297 | 337 | | | | | | | |
| 材　料 | （太枠内:比重＝0.5）　比重＝0.74 | | | | | | | | | | | | | | | |

## 浮力防止用クサビ（合成木材製）



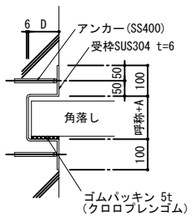




角落し呼称140mm以下用

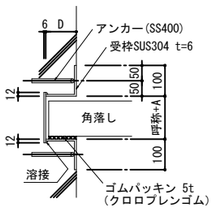



角落し呼称150mm以上用

## 受枠標準図




壁部（曲げ加工タイプ）



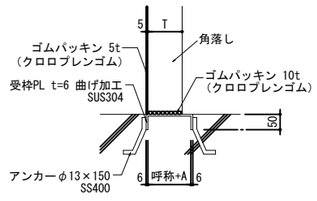

壁部（溶接タイプ）

A寸法

| 呼称 | A |
|---|---|
| ～210 | 25mm |
| ～290 | 30mm |
| ～350 | 40mm |

D寸法

| 呼称 | D |
|---|---|
| ～140 | 100mm |
| ～250 | 120mm |
| ～350 | 150mm |




底部敷金物

## 形状寸法表

| タイプ | 寸法呼称 | 板厚T | はめあい溝 a1 | a2 | h1 | h2 | 有効高さH | 長さL | 参考質量(kg/m2) 比重0.5 | 比重0.74 | 比重1.1 | 受枠寸法 内幅呼称+A | A | 奥行D | 取手タイプ H-09参照 Ⅰ | Ⅱ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| A | 50 | 49 | — | — | 20 | 21 | 170-600 | | 25.0 | 37.0 | 50.0 | 75 | 25 | 100 | ○ | — |
| B | 60 | 59 | 20 | 20.5 | 20 | 21 | 170-600 | | 30.0 | 44.4 | 60.0 | 85 | 25 | 100 | ○ | — |
| | 70 | 69 | 25 | 25.5 | 20 | 21 | 170-600 | | 35.0 | 51.8 | 70.0 | 95 | 25 | 100 | ○ | — |
| | 80 | 78 | 25 | 25.5 | 20 | 21 | 170-600 | W1+160 | 39.0 | 57.7 | 78.0 | 105 | 25 | 100 | ○ | — |
| | 100 | 98 | 35 | 35.5 | 20 | 21 | 170-600 | | 49.0 | 72.5 | 98.0 | 125 | 25 | 100 | ○ | ○ |
| | 120 | 118 | 40 | 40.5 | 20 | 21 | 170-600 | | 59.0 | 87.3 | 118.0 | 145 | 25 | 100 | ○ | ○ |
| | 140 | 138 | 45 | 45.5 | 30 | 31 | 160-600 | | 69.0 | 102.1 | 138.0 | 165 | 25 | 100 | ○ | ○ |
| | 150 | 147 | 45 | 45.5 | 30 | 31 | 160-300 | | 73.5 | 108.7 | 147.0 | 175 | 25 | 120 | ○ | ○ |
| | 160 | 157 | 50 | 50.5 | 30 | 31 | 160-300 | | 78.5 | 116.2 | 157.0 | 185 | 25 | 120 | ○ | ○ |
| | 180 | 177 | 55 | 55.5 | 30 | 31 | 160-300 | | 88.5 | 131.0 | 177.0 | 205 | 25 | 120 | ○ | ○ |
| | 200 | 197 | 65 | 65.5 | 30 | 31 | 160-300 | | 98.5 | 145.8 | 197.0 | 225 | 25 | 120 | ○ | ○ |
| | 210 | 207 | 70 | 70.5 | 30 | 31 | 160-300 | W1+200 | 103.5 | 153.2 | 207.0 | 235 | 25 | 120 | ○ | ○ |
| | 220 | 217 | 70 | 70.5 | 30 | 31 | 200-400 | | 108.5 | 160.6 | 217.0 | 250 | 30 | 120 | — | ○ |
| | 230 | 227 | 75 | 75.5 | 30 | 31 | 250-400 | | 113.5 | 168.0 | 227.0 | 260 | 30 | 120 | — | ○ |
| | 240 | 237 | 80 | 80.5 | 30 | 31 | 250-400 | | 118.5 | 175.4 | 237.0 | 270 | 30 | 120 | — | ○ |
| | 250 | 247 | 85 | 85.5 | 35 | 36 | 250-400 | | 123.5 | 182.8 | 247.0 | 280 | 30 | 120 | — | ○ |
| | 260 | 257 | 90 | 90.5 | 35 | 36 | 250-400 | | 128.5 | 190.2 | 257.0 | 290 | 30 | 150 | — | ○ |
| | 270 | 267 | 95 | 95.5 | 35 | 36 | 250-400 | | 133.5 | 197.6 | 267.0 | 300 | 30 | 150 | — | ○ |
| | 280 | 277 | 100 | 101 | 35 | 36 | 250-400 | | 138.5 | 205.0 | 277.0 | 310 | 30 | 150 | — | ○ |
| | 290 | 287 | 105 | 106 | 35 | 36 | 300-400 | | 143.5 | 212.4 | 287.0 | 320 | 30 | 150 | — | ○ |
| | 300 | 297 | 110 | 111 | 35 | 36 | 300-400 | | 148.5 | 219.8 | 297.0 | 340 | 40 | 150 | — | ○ |
| | 310 | 307 | 115 | 116 | 35 | 36 | 300-400 | W1+250 | 153.5 | 227.2 | 307.0 | 350 | 40 | 150 | — | ○ |
| | 320 | 317 | 120 | 121 | 35 | 36 | 300-400 | | 158.5 | 234.6 | 317.0 | 360 | 40 | 150 | — | ○ |
| | 330 | 327 | 120 | 121 | 40 | 41 | 350-500 | | 163.5 | 242.0 | 327.0 | 370 | 40 | 150 | — | ○ |
| | 340 | 337 | 120 | 121 | 40 | 41 | 350-500 | | 168.5 | 249.4 | 337.0 | 380 | 40 | 150 | — | ○ |
| | 350 | 347 | 120 | 121 | 40 | 41 | 350-500 | | 173.5 | 256.8 | 347.0 | 390 | 40 | 150 | — | ○ |

注記

1）　合成木材を貼り合わせ接着する場合は、エポキシ系接着剤を使用する。
2）　参考重量は、金具（引き上げ用取手）の重量を含まない。
3）　製品比重は、0.5及び0.74を標準とする。（形状寸法内の太枠は、厚み選定表範囲外を示す）
4）　製品比重1.1は、比重調整用重り（SUS製）を本体内外に組み込み作製する。
5）　角落し厚み350mmを超える場合はスパン（W）と水深（H2）より都度設計する。
6）　許容たわみ量は ℓ/200 以下とする。
7）　浮力防止用クサビを、最上段部に使用する。
8）　取手の材質は、SUS304φ10を基本とする。
9）　合成木材は、ガラス長繊維強化硬質発泡ウレタン樹脂の材質を示す。
10）受枠はSUS304製とし、アンカー（SS400）φ13×150を受枠に溶接する。
11）アンカーは躯体の鉄筋に溶接して固着する。

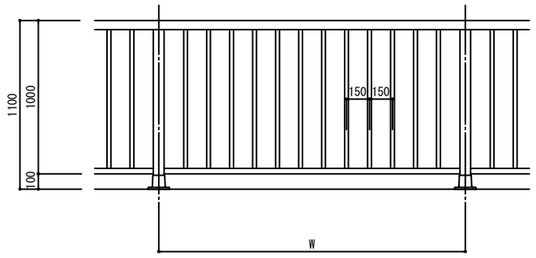
## 合成木材製角落しリスト

| 符号 | 水路寸法 W1 | H1 | 角落し寸法 W | H | H2 | 板厚T | 割付枚数（参考） | 箇所数 反応槽 | 終沈 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| FK-1 | 800 | 1800 | 960 | 500 | 1500 | 49 | 3 | 1 | — | |
| FK-2 | 800 | 2100 | 960 | 500 | 1500 | 49 | 3 | — | 1 | |
| | | | | | | | | | | |

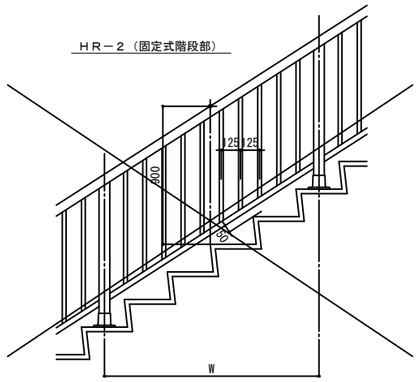
| 図面番号 | D-28 | 縮 尺 | 図示 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 付帯工詳細図（５） | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

## アルミニウム製手摺標準図　1/20,1/10,1/5

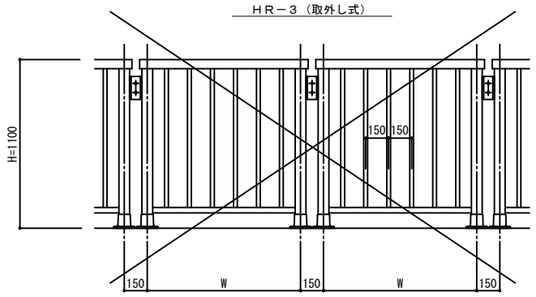
ＨＲ－１（固定式一般部）



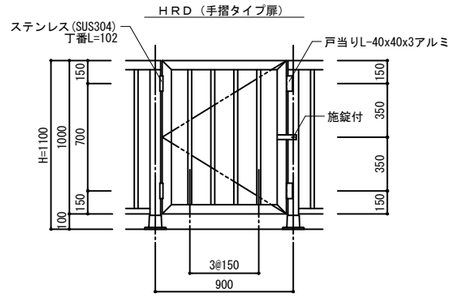

ＨＲ－２（固定式階段部）

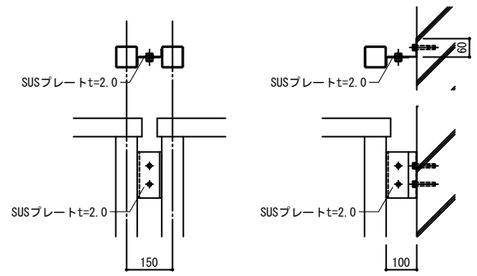


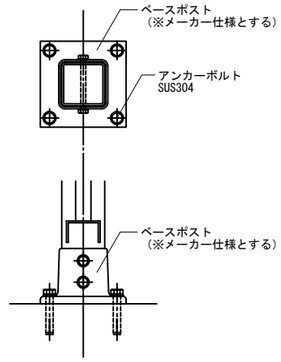

ＨＲ－３（取外し式）




ＨＲＤ（手摺タイプ扉）




材料

（１）材種は、JIS H4100によるA6063 S-T5　又は、A6061 S-T6とし押出し形材を使用する。

（２）設計条件

| 部材名 | 荷重方向 | 設計条件 | |
|---|---|---|---|
| 笠木 | 水平方向 | 設計耐力 | 1.5kN/m |
| | | たわみ量 | 500N/mで1/500以下かつ5mm以下<br>局部荷重500Nで1/100以下 |
| | 垂直方向 | 設計耐力 | 1.0kN/m |
| | | たわみ量 | 500N/mで1/500以下かつ5mm以下<br>局部荷重500Nで1/100以下 |
| 支柱 | 水平方向 | 設計耐力 | 2.7kNまたは3.0kN |
| | | たわみ量 | 局部荷重500Nで1/100以下 |

（３）表面処理は、公共建築工事共通仕様書（建築工事編）14章2節[表面処理]のBB-1種とする。

（４）支柱、笠木、控柱には補強材は使用しない。
　　その他の部位に使用する補強材はJIS G 3101によるSS400とし、
　　亜鉛めっきはJIS H 8610の5級（クロメート被膜は JIS H 8625のCM2C）以上とする。

（５）小ネジの類はステンレス製（SUS304,SUS305J1またはSUSXM7）とする。

取付・その他

（１）形状
　　形状寸法表　　単位（mm）

| | 支柱間隔 | 笠木 | バラスター中心間隔 | 高さ | 下部のすき間 | 控杭 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 廊下<br>バルコニー | 1,800<br>又は2,000 | --- | @150 | 1,100 | 100 | --- |
| 屋上 | 1,800<br>又は2,000 | --- | @150 | 1,100 | 100 | @400程度 |
| 階段 | 1,500程度 | --- | @125以内 | 900 | 50 | --- |
| 部材厚 | 3mm以上 | 3mm以上 | --- | --- | --- | 3mm以上 |

（７）現場取付作業以外の組立などは工場製作とする。伸縮目地は必要に応じて設ける。

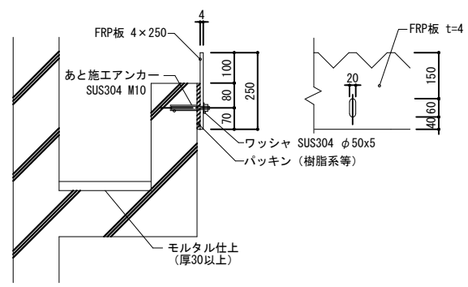
（８）切断面の処置はバリ等を適切な方法で除去する。端部の小口は同材にてふたをして仕上げる。

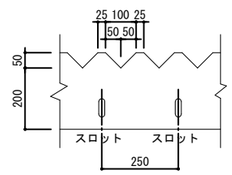
（９）設計耐力及びたわみ量は、工場にて試験を行い監督職員に報告する。
　　なお、公的試験場の試験成績書をもってこれに代える事が出来る。

## アルミニウム製手摺リスト

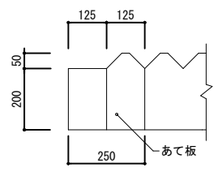
| 符号 | 位置 | 全長 L (mm) | 箇所数 | | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 反応槽 | 終沈 | |
| HR-1-1 | 外周 | 15000 | 1 | --- | |
| HR-1-2 | 外周 | 51800 | 1 | --- | |
| HR-1-3 | 外周 | 58500 | --- | 1 | |
| HR-1-4 | 段差 | 900 | --- | 1 | 反応槽・終沈の段差 |
| HR-1-5 | 段差 | 7300 | --- | 1 | 反応槽・終沈の段差 |
| HR-1-6 | 開口廻り | 29400 | --- | 1 | HRDx1ヶ所 |
| HR-1-7 | 開口廻り | 20700 | --- | 1 | HRDx1ヶ所 |
| HR-1-8 | 開口廻り | 18700 | --- | 1 | HRDx3ヶ所 |
| | | | | | |

## 超流堰板標準図（FRP製）　1/10




端部詳細



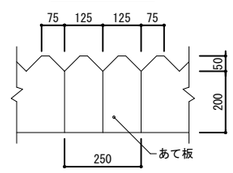

材料表（1m当り）

| 品名 | 形状 | 単位 | 数量 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 越流堰板 | 4mmx250mm 異形 | m | 1 | FRP板 |
| ボルト・ナット | φ10mm | 本 | 4 | SUS304 |
| パッキン | 3mmx100mm | m | 1 | 樹脂系等 |

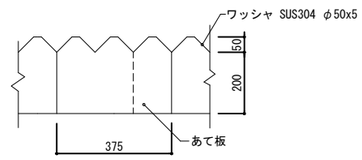
注記ースロットはノッチ山部に設け、堰板を継ぐのは谷部とする。
　　あて板はノッチ谷部までとする。

| | 最終沈殿池 |
|---|---|
| ノッチ底高 | +4.000 |
| コン天 | +3.950 |

コーナー部詳細




継ぎ部詳細

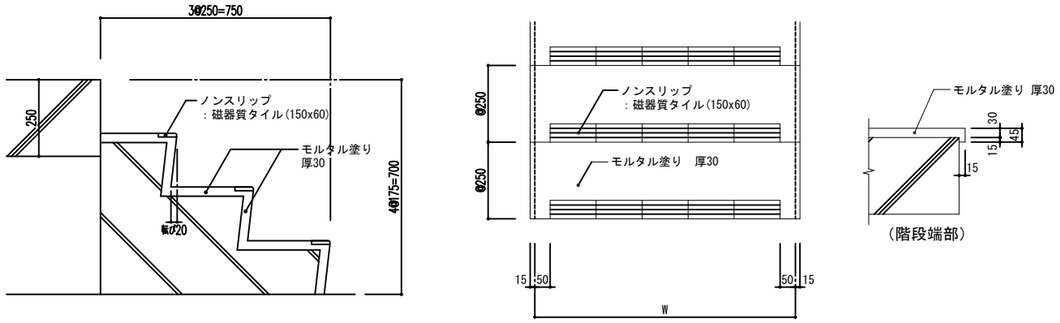



## FRP製超流堰板リスト

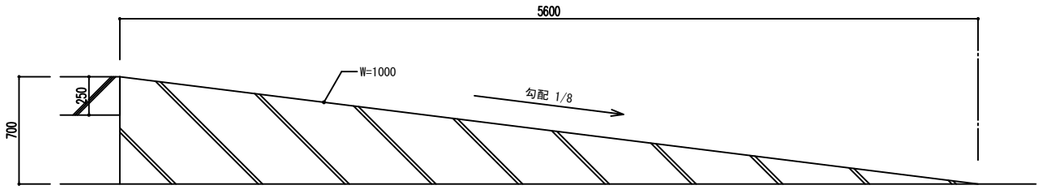
| 符号 | 長さ L (mm) | 箇所数 | | 備　考 |
|---|---|---|---|---|
| | | 反応槽 | 終沈 | |
| E-1 | 12200 | --- | 4 | |
| E-2 | 600 | --- | 4 | |
| | | | | |

| 図面番号 | D-29 | 縮 尺 | 図示 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 付帯工詳細図（６） | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

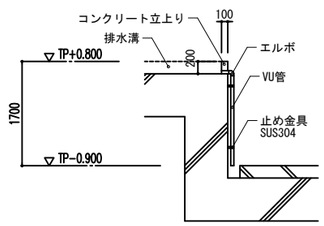
## 階段廻り詳細図　1/10




## スロープ詳細図　1/20



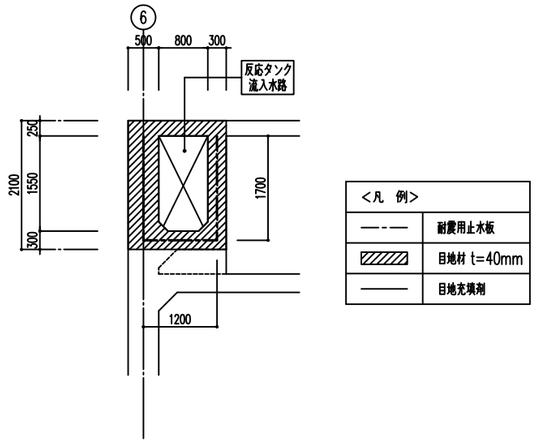

## 排水管標準図　1/50



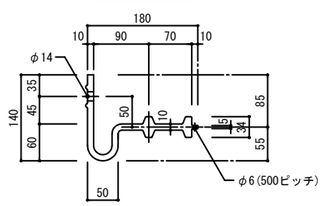

### 排水管リスト

| 符号 | 管径 | H | L | 箇所数 | | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 終沈 | |
| P-1 | φ50 | 1500 | 200 | 2 | -- | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

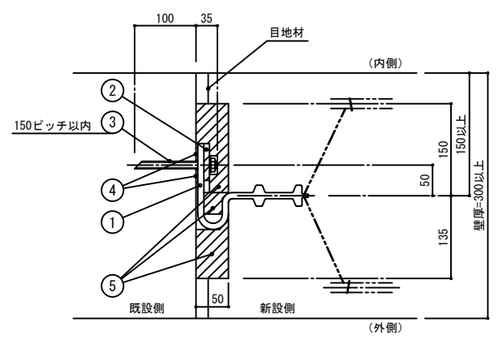
## 後付け耐震性ゴム止水板取付図　1/50, 1/5




止水ゴム断面図




取付断面図



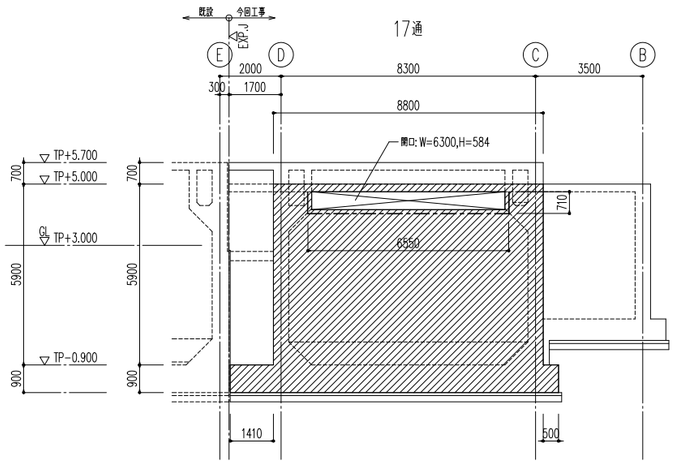

| 品番 | 品名 | 材質 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 1 | 止水ゴム | NR | 180L特殊型 |
| 2 | 押え板 | SUS304 | t9x50 |
| 3 | 樹脂系アンカー | SUS304 | M12x135(N.W.付) |
| 4 | 止水材 | ブチルゴム | t3x20 |
| 5 | クッション材 | 発泡ゴム | t50 |

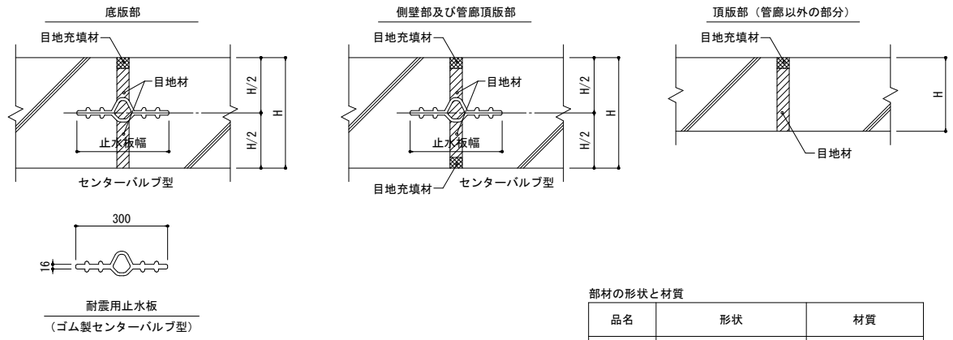
| 使用条件 | |
|---|---|
| 外水圧(W.P.) | 0.1MPa{1.0kgf/cm²} |
| 内水圧(W.P.) | 0.1MPa{1.0kgf/cm²} |
| 沈下量（偏心量） | 100 mm |
| 伸び量 | 100 mm |

※　上記の使用条件を維持する為にコンクリート面の仕上げを十分に行う。

| 図面番号 | D-30 | 縮 尺 | 図示 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 付帯工詳細図（７） | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

## 伸縮継手（ＥＸＰ．Ｊ）標準図・断面図 1/100

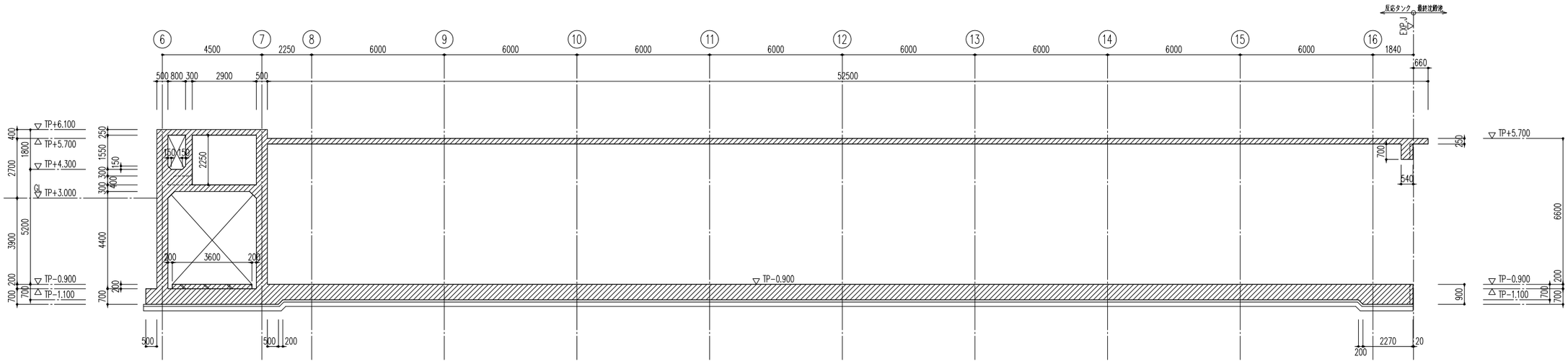


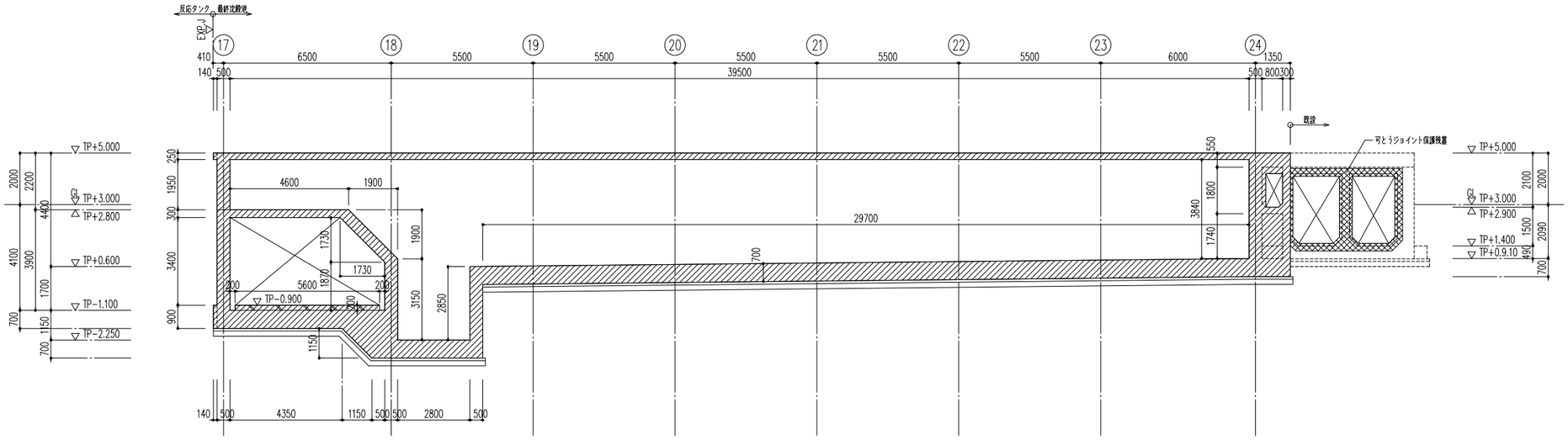




部材の形状と材質

| 品名 | 形状 | 材質 |
|---|---|---|
| 止水板 | 耐震用センターバルブ型 | ゴム系 |
| 目地材 | t=40mm | 瀝青系 |
| 目地充填材 | 30x40mm | ウレタン系 |

特記事項
1．耐震用（伸縮可とう吸収型）とする。
2．沈下量100mm　伸縮量+60～-30mmとする。
3．防護コンクリートは、Fc＝18N/mm2を標準とする。



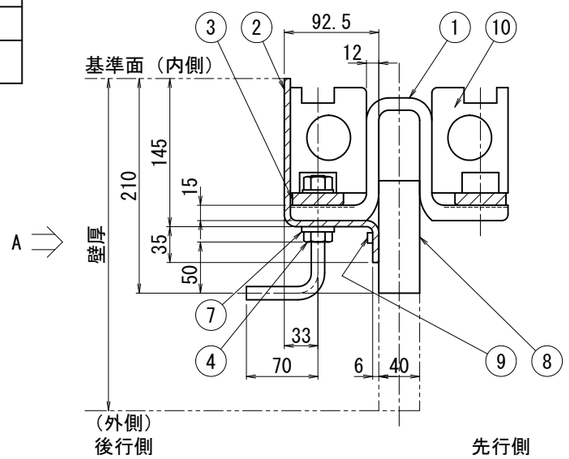




| ＜凡　例＞ | |
|---|---|
| ―・― | 耐震用止水板 |
| ▨ | 目地材 t=40mm |
| ―― | 目地充填剤 |
| ▩ | 残置箇所 |

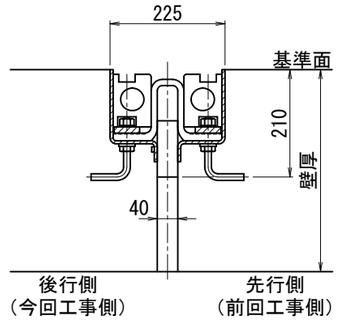
※止水板保護は撤去とする

| 図面番号 | D-31 | 縮 尺 | NON |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 反応槽 伸縮可とう継手詳細図 | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

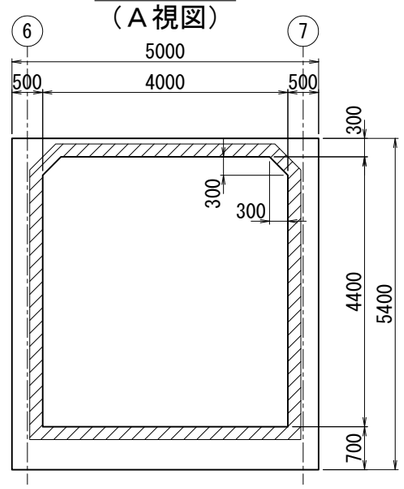
## 継手断面図　S=1:3



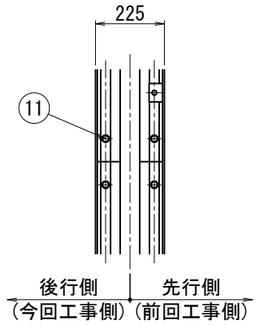

## 最終施工断面図（完成時）　S=1:6



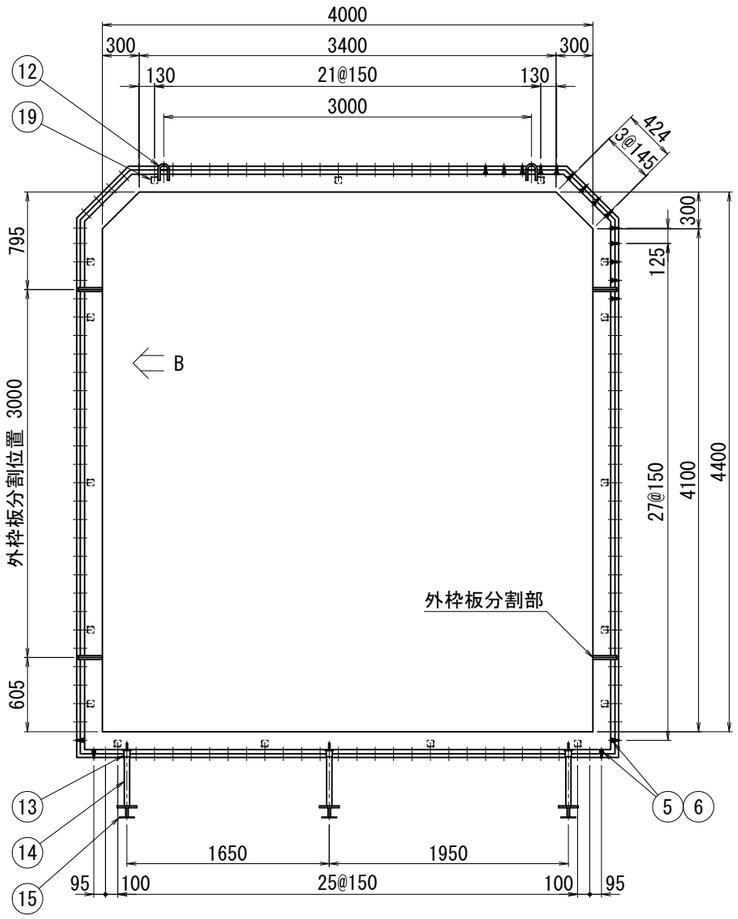

## 取付断面図（Ａ視図）　S=1:50

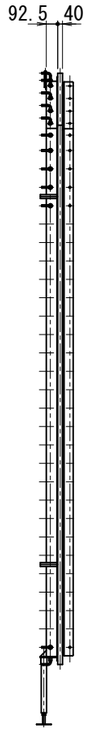



## Ｂ視図　S=1:10

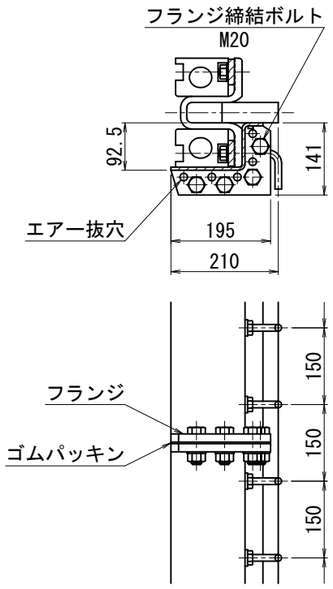



## 継手全体図（Ａ視図）　S=1:25

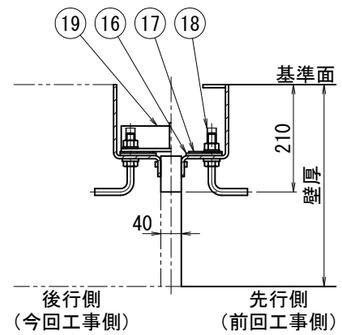



## 外枠板分割部詳細図　S=1:6




## 据付時断面図　S=1:6




| 品番 | 品　　名 | 材　質 | 数　量 1基 | | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 伸縮部材 | Ｃ　Ｒ | 1 | | Ｕ２００型 |
| 2 | 外　枠　板 | SS400 又はSPHC | 1組 | | ｔ６ |
| 3 | 押　え　板 | SS400 | 2組 | | ｔ１２×５０ |
| 4 | アンカーボルト | SUS304 | １１６ | | Ｍ１６×５５（N.W.付） |
| | | SR235 | 〃 | | φ１３ |
| 5 | アンカーナット | SUS304 | 4 | | Ｍ１６　Ｈ＝３０ |
| | | SR235 | 〃 | | φ１３ |
| 6 | 六角穴付き止めねじ | SUS304 | 〃 | | Ｍ１６×７５（N.W.付） |
| 7 | ゴムワッシャー | | １２０ | | Ｍ１６用 |
| 8 | エラスチックフィラー | 発泡ゴム | 1組 | | ｔ４０×１１０ |
| 9 | 止　水　材 | 水膨張ゴム | 〃 | | ｔ５×１０（全周） |
| １０ | 保護部材 | 合成ゴム | 2組 | | |
| １１ | 保護部材取付ボルト | SUS304 | １０４ | | M12×90（特殊ナット、W.付） |
| １２ | 吊フック | SR235 | 2 | | φ１６ |
| １３ | 平形ソケット | ＳＴＫ | 3 | | |
| １４ | セット用パイプ | ＳＧＰ | 〃 | | ３２Ａ　Ｈ＝４５０ |
| １５ | ベースジャッキ | SS400 | 〃 | | |
| １６ | ゴ　ム　板 | | 2組 | | |
| １７ | 仮設押え板 | SS400 | 〃 | | ｔ３×６５（ＨＤＺＴ４９） |
| １８ | ボルトキャップ | ビニール | １２０ | | Ｍ１６用 |
| １９ | 固定金具 | SS400 | １７ | | Ｌ５０×５０×６－２００、ｔ６ |

※品番16、17、18、19は仮設用材料。

仕 様

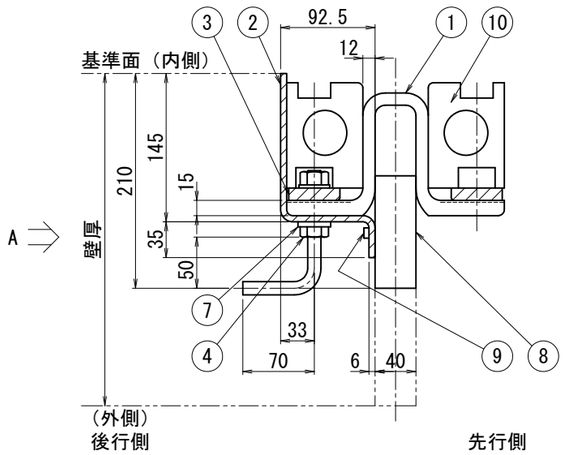
1. 据付時は品番15によりレベル調整する。
2. 品番2、3はタールエポキシ樹脂塗装0.3mm以上施す。
   （但し、品番2のコンクリート接触面は除く。）
3. 品番2の基準面両端に中心点を打刻する。
4. 品番5、6は90°コーナー部に使用する。
5. 本図継手は運搬上の都合により分割品を納入し、既設の埋設枠に現地で立組とする。
6. 据付時断面図（仮設材）の形で品番2を据付け、コンクリート打設完了後に品番1等を組付けとする。
7. 施工詳細は別途打ち合わせをする。

| 使　用　条　件 | |
|---|---|
| 外水圧（W.P.） | 0.1MPa{1.0kgf/cm²} |
| 内水圧（W.P.） | 0.1MPa{1.0kgf/cm²} |
| 沈下量（偏心量） | 200 mm |
| 伸　び　量 | 100 mm |

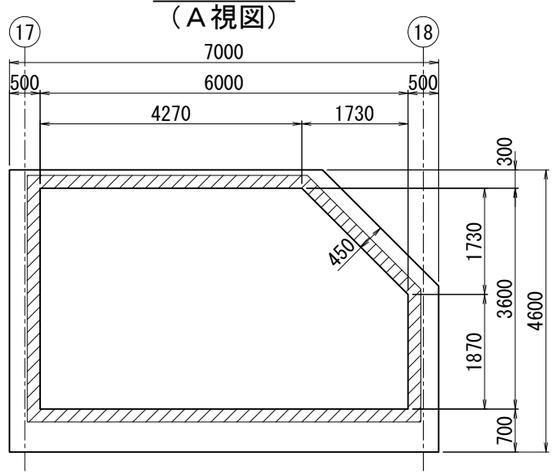
先行設置の伸縮可とう継ぎ手材は、西部ポリマ化成㈱のＵ200型である。

| 図面番号 | D-32 | 縮 尺 | NON |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 最終沈殿池 伸縮可とう継手詳細図(1) | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

## 継手断面図 S=1:3



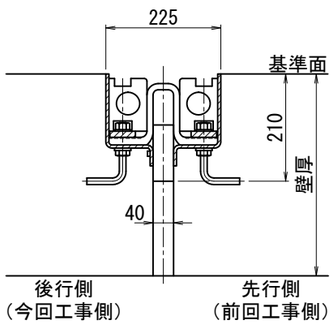

## 取付断面図 S=1:50
（Ａ視図）



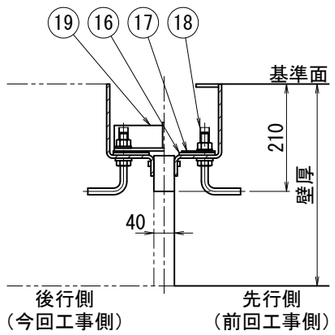

| 品番 | 品　　名 | 材　質 | 数　量 1基 | | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 伸縮部材 | Ｃ　Ｒ | 1 | | Ｕ２００型 |
| 2 | 外　枠　板 | SS400 又はSPHC | 1組 | | ｔ６ |
| 3 | 押　え　板 | SS400 | 2組 | | ｔ１２×５０ |
| 4 | アンカーボルト | SUS304 | １２４ | | Ｍ１６×５５（N.W.付） |
| | | SR235 | 〃 | | φ１３ |
| 5 | アンカーナット | SUS304 | ６ | | Ｍ１６　Ｈ＝３０ |
| | | SR235 | 〃 | | φ１３ |
| 6 | 六角穴付き止めねじ | SUS304 | 〃 | | Ｍ１６×７５（N.W.付） |
| 7 | ゴムワッシャー | | １３０ | | Ｍ１６用 |
| 8 | ｴﾗｽﾁｯｸﾌｨﾗｰ | 発泡ゴム | 1組 | | ｔ４０×１１０ |
| 9 | 止　水　材 | 水膨張ゴム | 〃 | | ｔ５×１０（全周） |
| １０ | 保護部材 | 合成ゴム | 2組 | | |
| １１ | 保護部材取付ボルト | SUS304 | １２０ | | M12×90（特殊ナット、W.付） |
| １２ | 吊フック | SR235 | ４ | | φ１６ |
| １３ | 平形ソケット | ＳＴＫ | ６ | | |
| １４ | セット用パイプ | ＳＧＰ | 〃 | | ３２Ａ　Ｈ＝４５０ |
| １５ | ベースジャッキ | SS400 | 〃 | | |
| １６ | ゴ　ム　板 | | 2組 | | |
| １７ | 仮設押え板 | SS400 | 〃 | | ｔ３×６５（ＨＤＺＴ４９） |
| １８ | ボルトキャップ | ビニール | １３０ | | Ｍ１６用 |
| １９ | 固定金具 | SS400 | ２１ | | Ｌ５０×５０×６－２００、ｔ６ |

※品番16、17、18、19は仮設用材料。

## 最終施工断面図 S=1:6
（完成時）




## 据付時断面図 S=1:6




仕 様

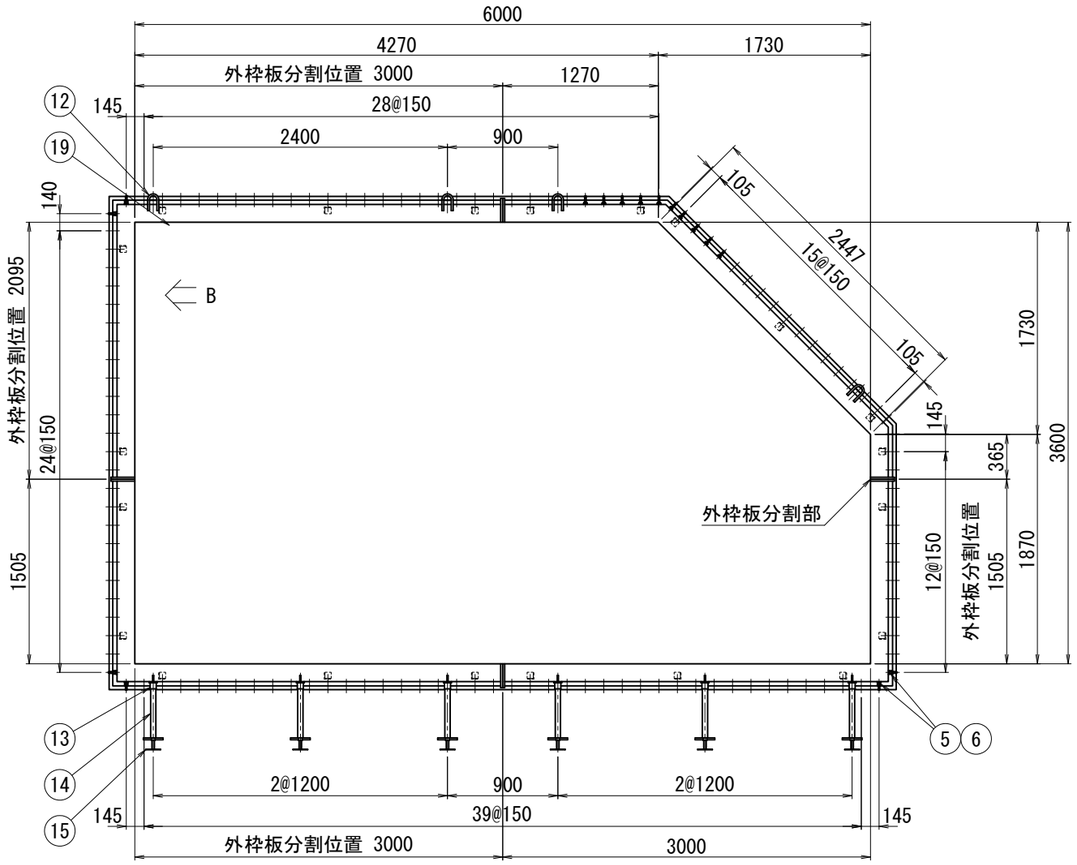
1. 据付時は品番15によりレベル調整する。
2. 品番2、3はタールエポキシ樹脂塗装0.3mm以上施す。
   （但し、品番2のコンクリート接触面は除く。）
3. 品番2の基準面両端に中心点を打刻する。
4. 品番5、6は90°コーナー部に使用する。
5. 本図継手は運搬上の都合により分割品を納入し、既設の埋設枠に現地で立組とする。
6. 据付時断面図（仮設材）の形で品番2を据付け、コンクリート打設完了後に品番1等を組付けとする。
7. 施工詳細は別途打ち合わせをする。

| 使　用　条　件 | |
|---|---|
| 外水圧（W.P.） | 0.1MPa{1.0kgf/cm²} |
| 内水圧（W.P.） | 0.1MPa{1.0kgf/cm²} |
| 沈下量（偏心量） | 200 mm |
| 伸　び　量 | 100 mm |

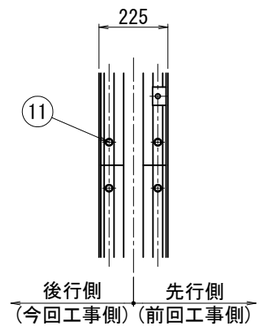
先行設置の伸縮可とう継ぎ手材は、西部ポリマ化成㈱のＵ200型である。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 図面番号 | D-33 | 縮 尺 | NON |
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 最終沈殿池 伸縮可とう継手詳細図(2) | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

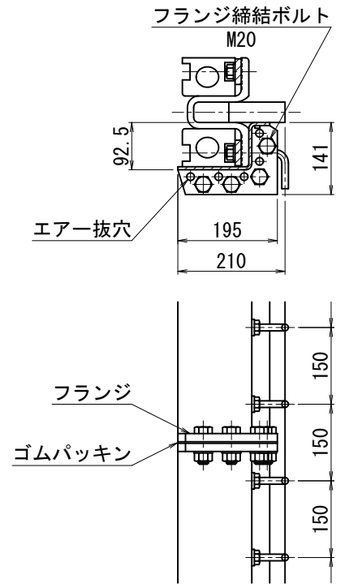
## 継手全体図 S=1:25
（Ａ視図）




## Ｂ視図 S=1:10



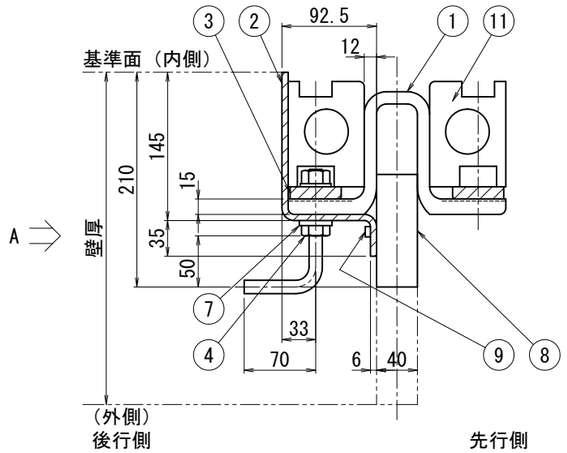

## 外枠板分割部詳細図 S=1:6



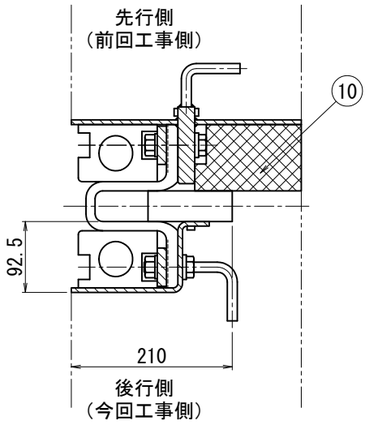

先行設置の伸縮可とう継ぎ手材は、西部ポリマ化成㈱のＵ200型である。

| 図面番号 | D-34 | 縮 尺 | NON |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 最終沈殿池 伸縮可とう継手詳細図(3) | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

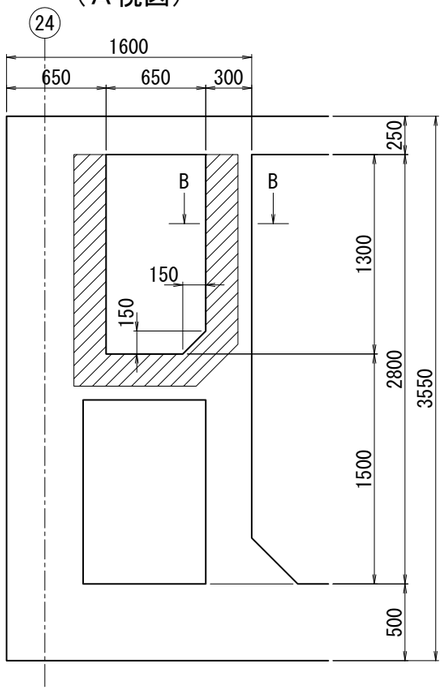
## 継手断面図 S=1:3



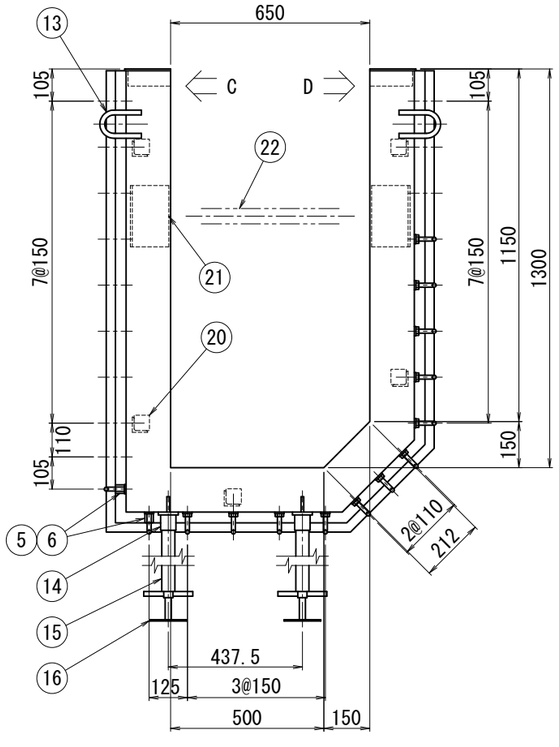

## Ｂ－Ｂ S=1:4



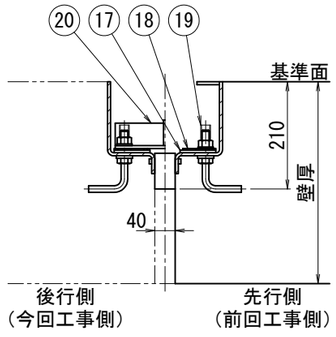

## 取付断面図 S=1:20
（Ａ視図）



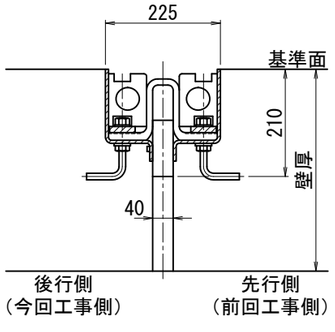

## 継手全体図 S=1:10
（Ａ視図）



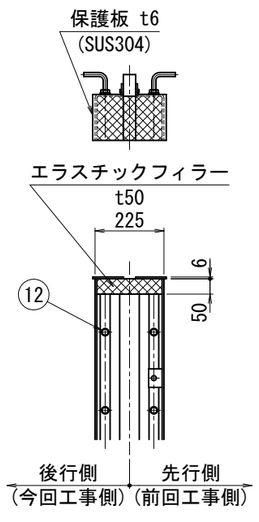

## 据付時断面図 S=1:6



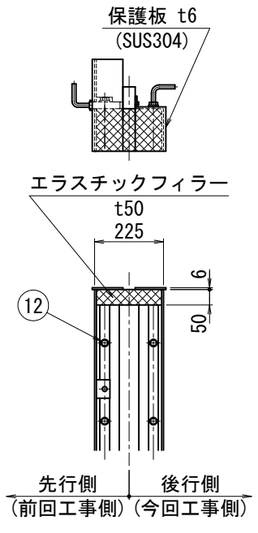

## 最終施工断面図 S=1:6
（完成時）




## Ｃ視図 S=1:10




## Ｄ視図 S=1:10




| 品番 | 品　　名 | 材　質 | 数　量 1基 | | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| １ | 伸縮部材 | Ｃ　Ｒ | １ | | Ｕ２００型 |
| ２ | 外　枠　板 | SS400 又はSPHC | 〃 | | ｔ６ |
| ３ | 押　え　板 | SS400 | ２組 | | ｔ１２×５０ |
| ４ | アンカーボルト | SUS304 | ２４ | | Ｍ１６×５５（N.W.付） |
| | | SR235 | 〃 | | φ１３ |
| ５ | アンカーナット | SUS304 | ２ | | Ｍ１６　Ｈ＝３０ |
| | | SR235 | 〃 | | φ１３ |
| ６ | 六角穴付き止めねじ | SUS304 | 〃 | | Ｍ１６×７５（N.W.付） |
| ７ | ゴムワッシャー | | ２６ | | Ｍ１６用 |
| ８ | ｴﾗｽﾁｯｸﾌｨﾗｰ(1) | 発泡ゴム | １組 | | ｔ４０×１１０ |
| ９ | 止　水　材 | 水膨張ゴム | 〃 | | ｔ５×１０（全周） |
| １０ | ｴﾗｽﾁｯｸﾌｨﾗｰ(2) | 発泡ゴム | 〃 | | |
| １１ | 保護部材 | 合成ゴム | ２組 | | |
| １２ | 保護部材取付ボルト | SUS304 | ３２ | | M12×90（特殊ナット、W.付） |
| １３ | 吊フック | SR235 | ２ | | φ１６ |
| １４ | 平形ソケット | ＳＴＫ | 〃 | | |
| １５ | セット用パイプ | ＳＧＰ | 〃 | | ３２Ａ　Ｈ＝(継手製作時決定) |
| １６ | ベースジャッキ | SS400 | 〃 | | |
| １７ | ゴ　ム　板 | | ２組 | | |
| １８ | 仮設押え板 | SS400 | 〃 | | ｔ３×６５（ＨＤＺＴ４９） |
| １９ | ボルトキャップ | ビニール | ２６ | | Ｍ１６用 |
| ２０ | 固定金具 | SS400 | ５ | | Ｌ５０×５０×６－２００、ｔ６ |
| ２１ | 補強材取付金具 | 〃 | ２ | | Ｌ１２５×７５×７－２００ |
| ２２ | 補　強　材 | 〃 | １組 | | Ｌ５０×５０×６ |

※品番17、18、19、20、21、22は仮設用材料。

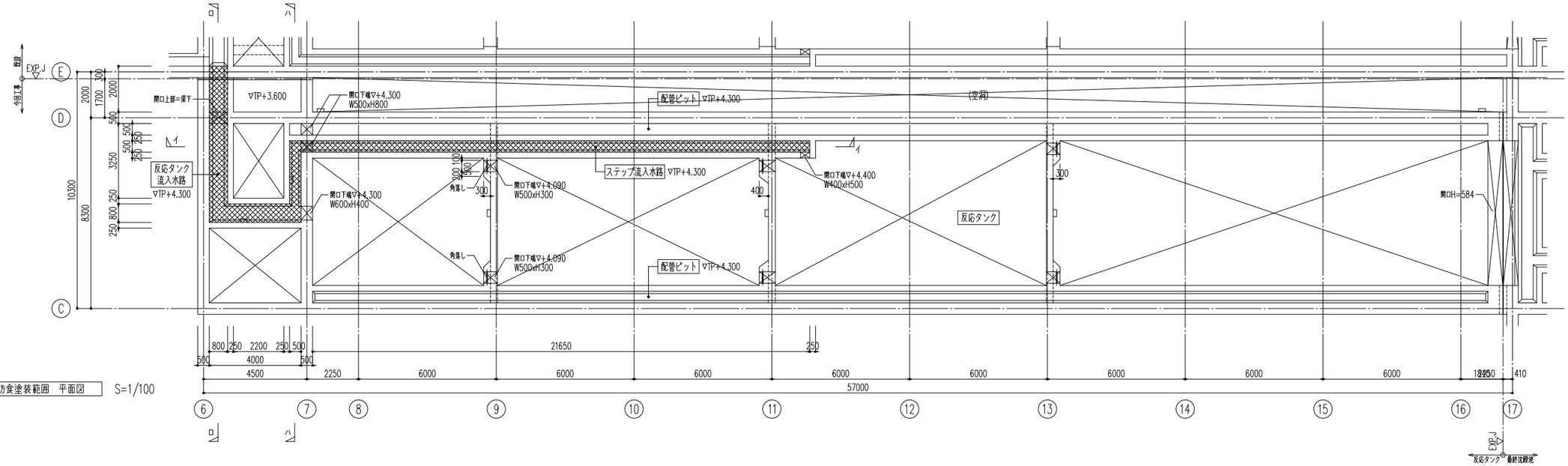
仕 様

1. 据付時は品番16によりレベル調整する。
2. 品番2、3はタールエポキシ樹脂塗装0.3mm以上施す。
   （但し、品番2のコンクリート接触面は除く。）
3. 品番2の基準面両端に中心点を打刻する。
4. 品番5、6は90°コーナー部に使用する。
5. 本図継手は工場一体組立品を納入し、既設の埋設枠に現地で立組とする。
6. 据付時断面図（仮設材）の形で品番2を据付け、コンクリート打設完了後に品番1等を組付けとする。
7. 施工詳細は別途打ち合わせをする。

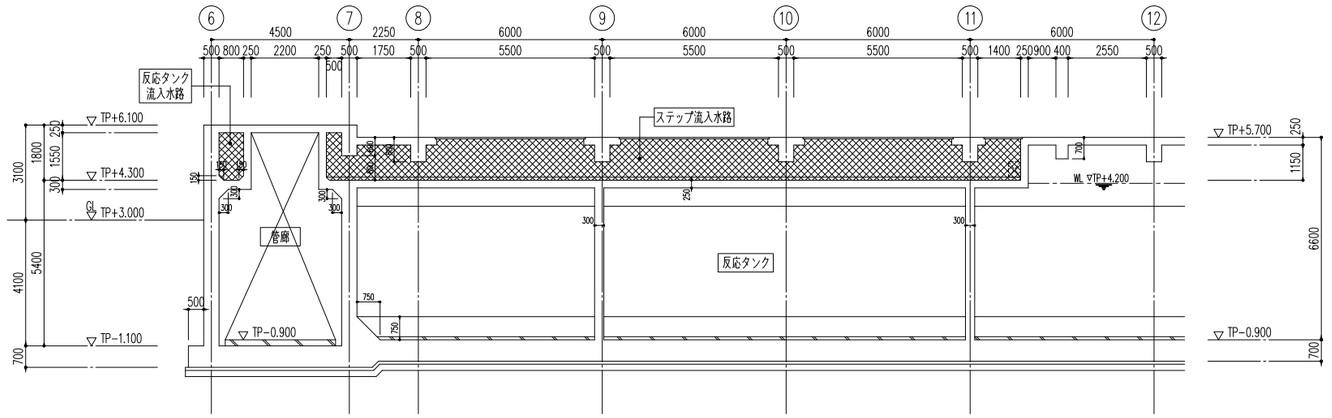
| 使　用　条　件 | |
|---|---|
| 外水圧（W.P.） | 0.1MPa{1.0kgf/cm²} |
| 内水圧（W.P.） | 0.1MPa{1.0kgf/cm²} |
| 沈下量（偏心量） | 200 mm |
| 伸　び　量 | 100 mm |

先行設置の伸縮可とう継ぎ手材は、西部ポリマ化成㈱のＵ200型である。

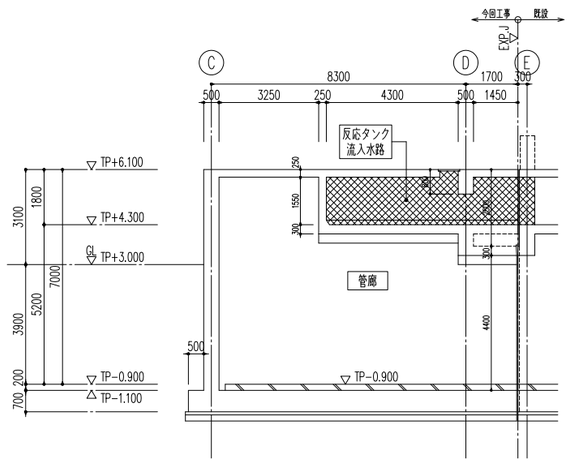
| 図面番号 | D-35 | 縮 尺 | A1-1:100 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 反応タンク　防食塗装範囲図 | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |



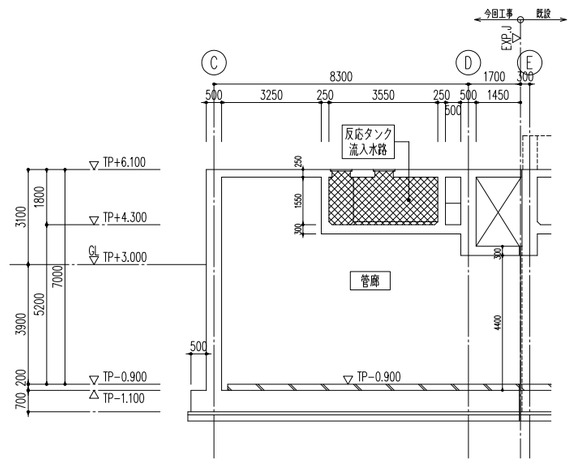

防食塗装範囲　平面図　S=1/100




イーイ断面図　S=1/100



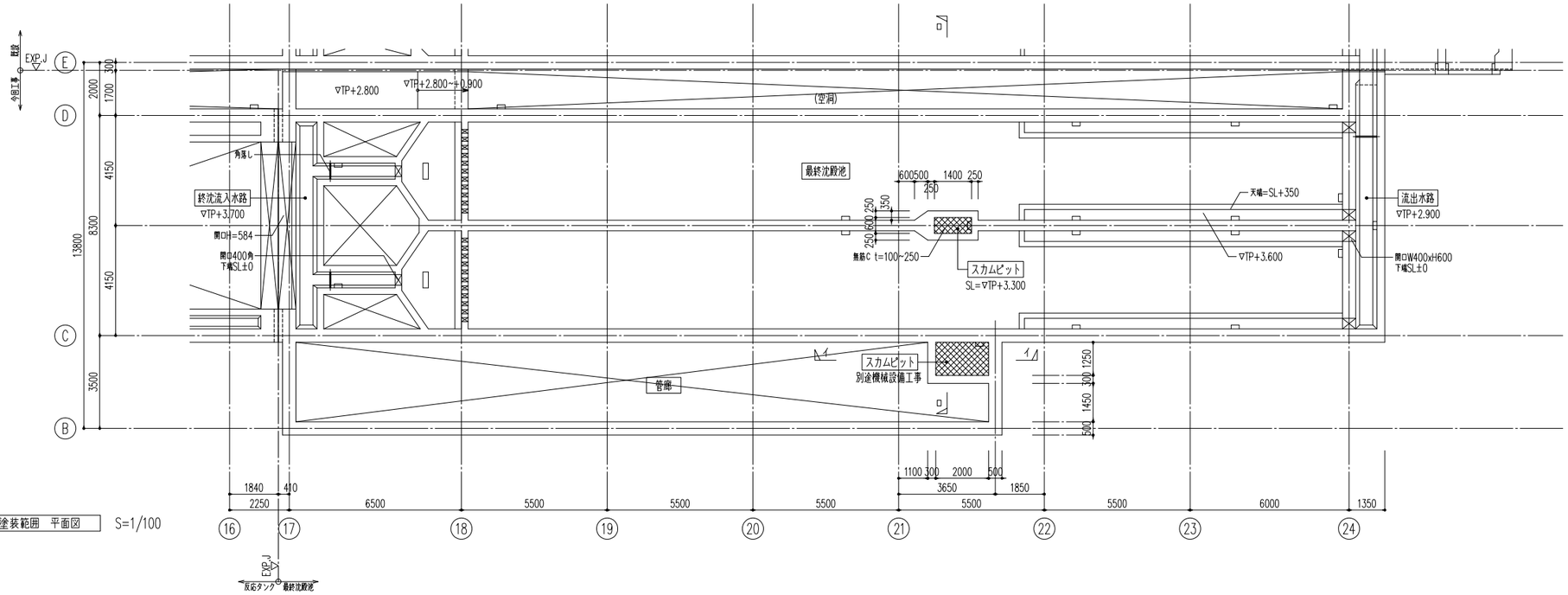

ローロ断面図　S=1/100



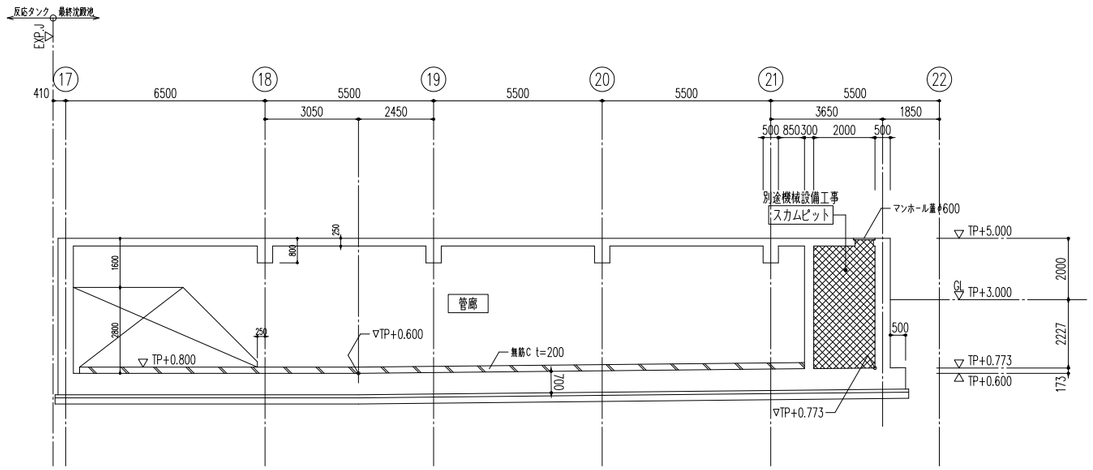

ハーハ断面図　S=1/100

| ＜凡　例＞ | |
|---|---|
| ▨ | 塗布型ライニング工法<br>（Ｄ種）<br>範囲：全面 |

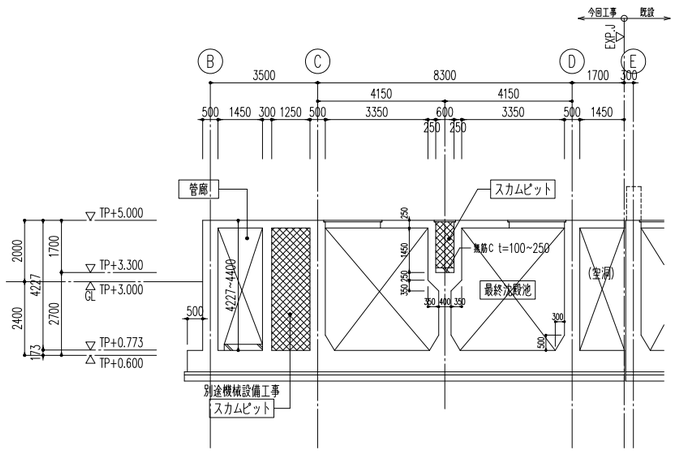
| 図面番号 | D-36 | 縮 尺 | A1-1:100 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 最終沈殿池 防食塗装範囲図 | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |




防食塗装範囲　平面図　S=1/100



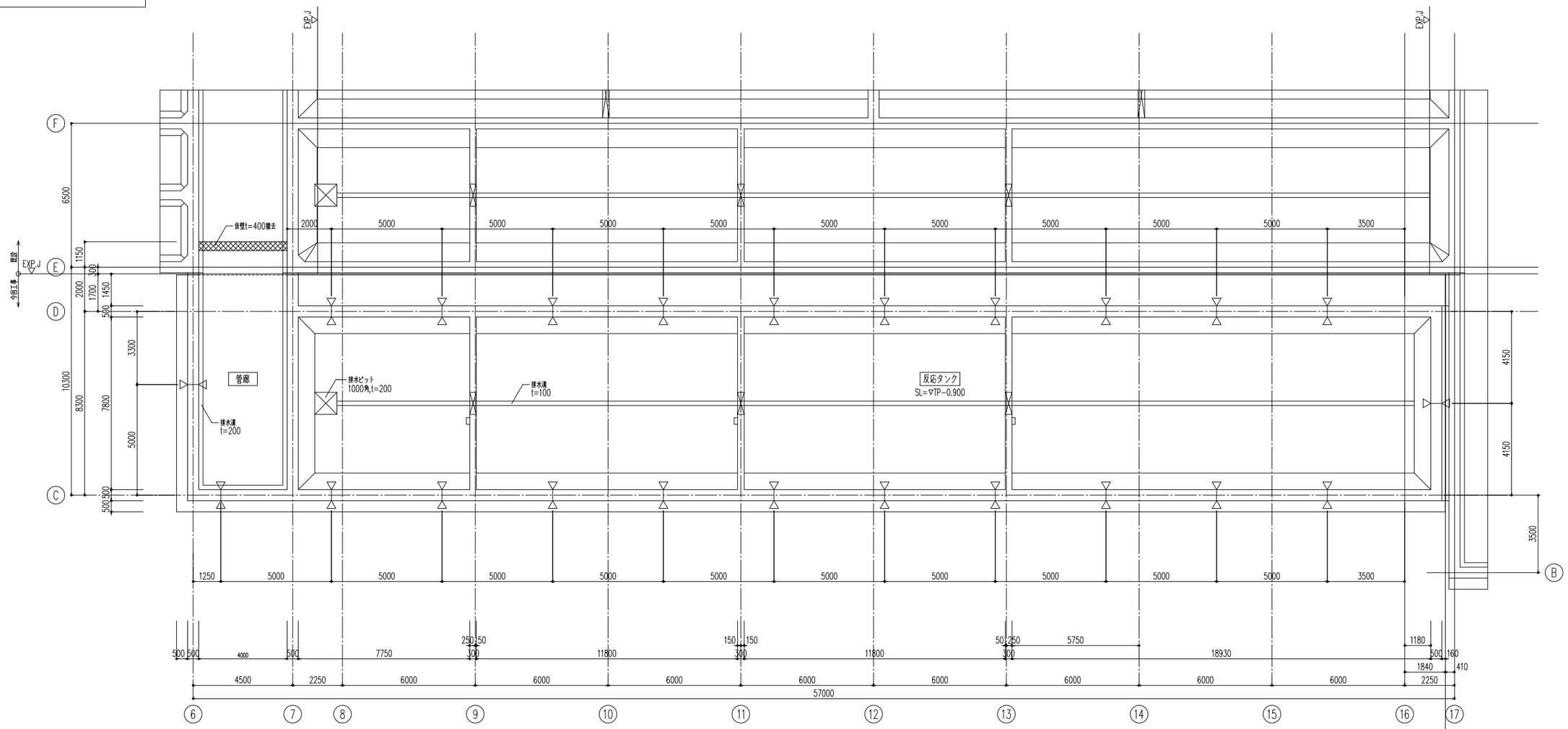

イーイ断面図　S=1/100




ローロ断面図　S=1/100

| ＜凡　例＞ | |
|---|---|
| ⊠ | 塗布型ライニング工法<br>（D種）<br>範囲：全面 |

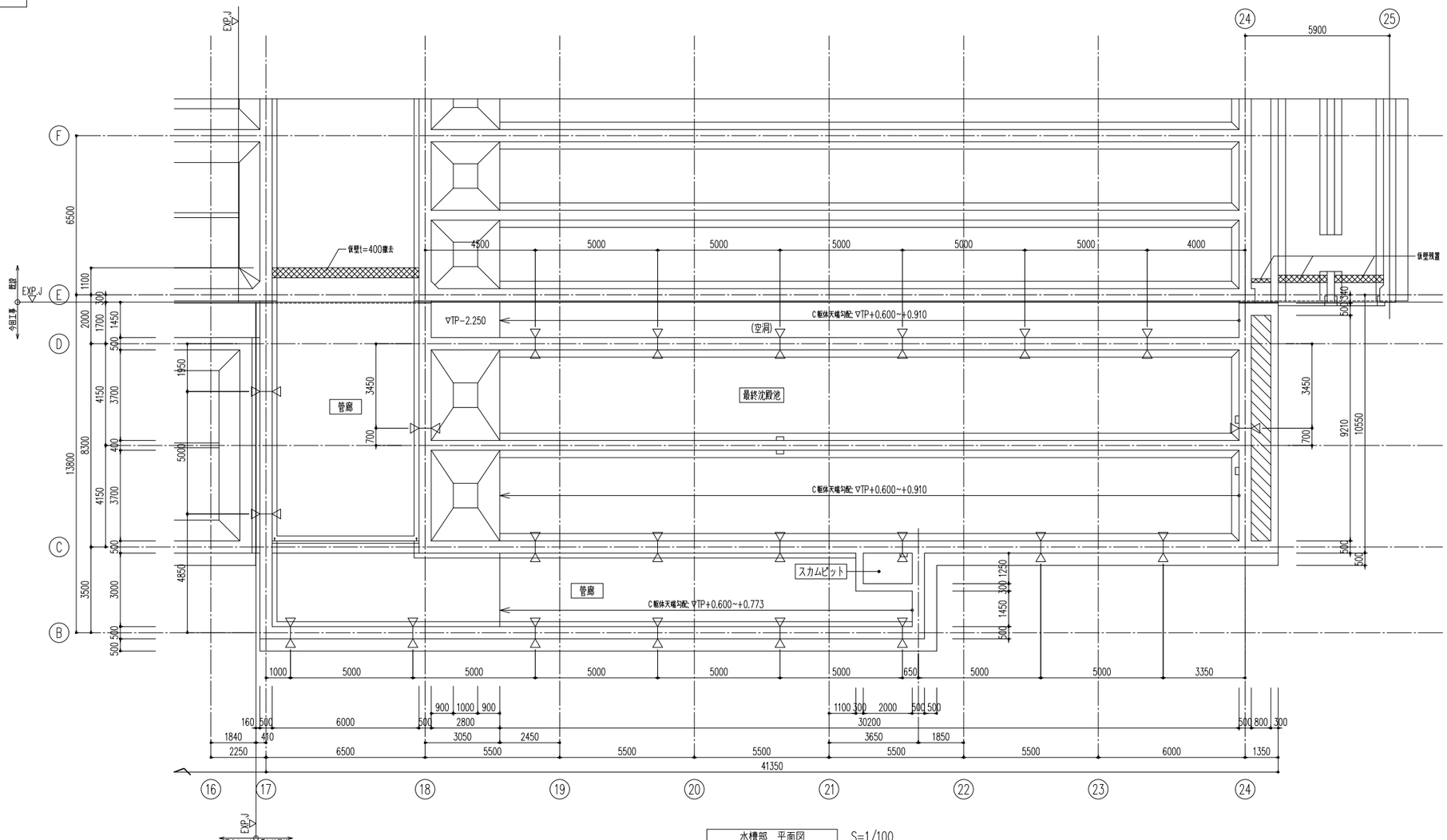
| 図面番号 | D-37 | 縮 尺 | A1-1:100 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 反応タンク 誘発目地設置計画図（参考図） | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |




水槽部　平面図　S=1/100
（反応タンク）

誘発目地設置位置（参考）
底版上面～頂板下面
断面欠損率50%以上

| 図面番号 | D-38 | 縮 尺 | A1-1:100 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 最終沈殿池 誘発目地設置計画図（参考図） | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |




水槽部　平面図　S=1/100
（最終沈殿池）

誘発目地設置位置（参考）
底版上面～頂板下面
断面欠損率50%以上

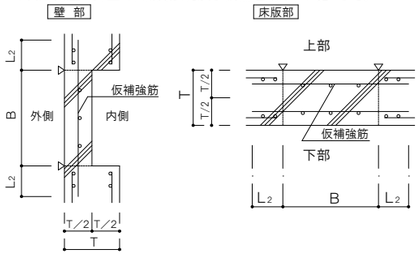
| 図面番号 | D-39 | 縮 尺 | NON |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 貫通孔・埋込管・機器基礎仕様書 | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

# 貫通孔、埋込管　及び　機器基礎仕様書

| 節 | 項　目 | 特 記 事 項 |
|---|---|---|
| 1. 一般事項 | 1. 適用基準 | 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編) 平成　年版」(以下、「標準仕様書」という)<br>日本下水道事業団制定「下水道施設標準図(詳細)土木・建築・建築設備(機械) 編 平成　年度」<br>日本下水道事業団制定「機械設備工事一般仕様書(平成　年度)」 |
| | 2. 施工図等 | 配管・配線系統を打ち合せ、位置・寸法及び方向を検討し、施工図を速やかに監督員に提出し、承諾を受ける。 |
| | 3. 発生材の処理 | 工事特記仕様書による。 |
| | 4. 符　号 | 各設備に用いる符号は下記とする。<br>(例) AM・S－1<br>└ 通し番号<br>└ 貫通孔の形状の符号<br>S・・・・貫通孔<br>P・・・・埋込管<br>B・・・・基礎<br>└ 各設備の符号<br>AM・・・建築機械設備<br>AE・・・建築電気設備<br>PM・・・プラント機械設備<br>PE・・・プラント電気設備 |
| | 5. 開口補強 | a)開口補強方法については、標準仕様書別図各部配筋による。<br>1)壁開口補強は、4. 2による。　・A形　※B形<br>但し、耐震壁は図示による。<br>2)床版開口部補強は、5. 3による。<br>3)梁貫通孔の補強は特記による。特記がなければ、7. 1により、配筋種別は特記による。 |
| | 6. 工　法 | a)貫通孔、埋込管は、寸法・位置に充分注意して堅固に取り付ける<br>b)埋込管を水槽・外壁に取付ける場合は、漏水のないように、充分考慮し施工する。 |
| | 7. 特記事項 | a) ⊙印のついたものを適用する。⊙印のない場合は※印のあるものを適用する。又、⊙印と㊋印のある場合は共に適用する。 |
| 2. 貫通孔 | 1. 材料、材質 | a)貫通孔に用いる材料は下記による。 |

| 記号 | S1 | S2 | S3 | S4 | S5 | S6 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 材料 | 鋼管 | 硬質塩ビ管 | 溶融亜鉛めっき鋼板 | つば付鋼板 | 紙チューブ | 木枠 |

| 節 | 項　目 | 特 記 事 項 |
|---|---|---|
| | 2. 次期工事の貫通孔処理 | a)次期発注の外壁・床版貫通孔及び仮補強筋は、下記による。 |




| B | 壁部 | 床版部 |
|---|---|---|
| 1500未満 | D13－200@シングル | 構造体配筋に同じ |

コンクリート強度 ： 構造体強度に同じ
▽ ： シーリング(10×10)

b ) 土圧・水圧等を受ける場合は、B－04－1を標準とし、その仕様は特記による。

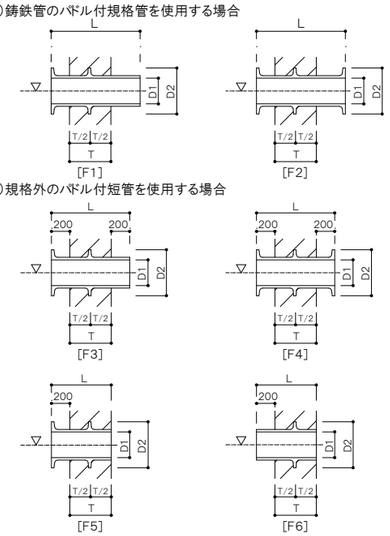
| 節 | 項　目 | 特 記 事 項 |
|---|---|---|
| 3. 埋込管 | 1. 材料、材質 | a)埋込管に用いる材料は、下記のものとする。<br>埋込管の材料 |

| 記号 | P1 | P2 | P3 | P4 | P5 |
|---|---|---|---|---|---|
| 材料 | ステンレス管 | 鋼　管 | 鋳 鉄 管 | 塩 ビ 管 | 亜鉛鉄管 |

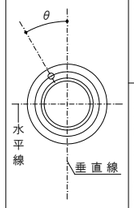
b)埋込管の材質については、下記による。
1)ステンレス管 ・・・JIS G 3459　0. 98MPa
(SUS304)　鋼管差し込み溶接フランジ規格
※ C－1　sch 20S
・ C－2　sch 40
2)鋼　管 ・・・・・・・ JIS G ※ 3452(SGP)　※3442(SGPW)
3)鋳鉄管 ・・・・・・・※ JSWAS G－1　・JDPAG 1025 1026
4)塩ビ管 ・・・・・・・ JIS K 6741　※ VP ・VU
5)亜鉛鉄管 ・・・・・ JIS G 3302　※ 4mm以上 ・6mm以上

c)埋込管の塗装は、「機械設備工事一般仕様書」の定めに準拠する。

| 節 | 項　目 | 特 記 事 項 |
|---|---|---|
| 3. 埋込管 | 2. 埋込管の形式 | a)鋳鉄管のパドル付規格管を使用する場合 |




| 節 | 項　目 | 特 記 事 項 |
|---|---|---|
| | 3. フランジ穴の取付け位置 | a)フランジ穴取付け位置は、下表による。<br>(鋳鉄管:JIS 7. 5K、ステンレス管・鋼管:JIS 10Kの場合) |



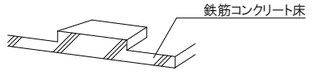

| | 口　径 | θ | ボルトの呼び径 | | ボルト数 |
|---|---|---|---|---|---|
| 鋳鉄管 | φ75～100 | 45° | φ75～200 | M16 | 4 |
| | φ150 | 30° | | | 6 |
| | φ200～250 | 22. 5° | φ250～300 | M20 | 8 |
| | φ300～350 | 18° | φ350～400 | M22 | 10 |
| | φ400～500 | 15° | φ450～600 | M24 | 12 |
| | φ600～700 | 11. 25° | | | 16 |
| | φ800～900 | 9° | φ700～1100 | M30 | 20 |
| | φ1000～1100 | 7. 5° | | | 24 |
| ステンレス管・鋼管 | 10～65A | 45° | 10～20A | M12 | 4 |
| | 80～150A | 22. 5° | 25～100A | M16 | 8 |
| | 200～250A | 15° | 125～200A | M20 | 12 |
| | 300～400A | 11. 25° | 250～350A | M22 | 16 |
| | 450～550A | 9° | 400～500A | M24 | 20 |
| | 600～750A | 7. 5° | 550～900A | M30 | 24 |
| | 800～1000A | 6. 42° | 1000～1200A | M36 | 28 |
| | 1200A | 5. 625° | | | 32 |

| 節 | 項　目 | 特 記 事 項 |
|---|---|---|
| 4. 機器基礎 | 1. 分　類 | a)基礎の分類は下記による |

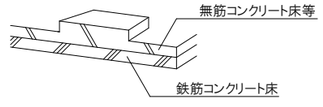
基礎の分類

| 記号 | 形　状 |
|---|---|
| B1 | 鉄筋コンクリート立ち上り基礎 |
| B2 | 無筋コンクリート部分等の基礎 |
| B3 | 防水層部分の立ち上り基礎 |
| B4 | 土木・建築で差し筋のみを施す場合 |
| | |

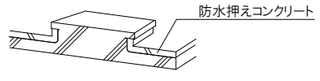
[B1]



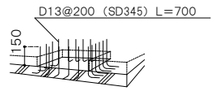

[B2]




[B3]




| 節 | 項　目 | 特 記 事 項 |
|---|---|---|
| 4. 機器基礎 | | [B4] |




| 節 | 項　目 | 特 記 事 項 |
|---|---|---|
| 5. その他 | 1. リスト記入方　法 | a)符号は 1. 一般事項 4. 符号による。<br>b)形状寸法<br>1)貫通孔については、形状寸法を記入する。<br>(例)400φ　300L×500W<br>2)埋込管については、形状寸法を記入する。<br>(例)400φ × 800L<br>3)基礎については、形状寸法及び仕上り面よりの立ち上り高さを記入する。又、B4無筋コンクリートを抜く場合は、形状寸法及び無筋コンクリート厚さを記入する。<br>(例)500W×400L×100H<br>c)材料－形式は－印の前に材料を、後に形式を記入する。<br>(例) S1－　P1－F1　－B1<br>d)床・壁の区分<br>1)壁部分は壁に○印を、床部分の場合は床に○印を記入する。<br>e)位置の表示は、下記による。<br>1)壁部分の位置・・・平面は、最寄り通り芯よりの寸法を記入し高さは、基準面( ※ TP　・YP　・AP )より高さ表示とする。<br>(例) ② → ① 800　○ → ○ ＋8500<br>2)床部分の位置表示は、最寄り通り芯よりの寸法を記入する。<br>(例) Ⓐ→Ⓑ 2400　③ → ② 800<br>3)位置の表示は、それぞれの施工芯表示とする。<br>f)用途には配管系統(汚水管、脱臭ダクト等)等を記入する。<br>g)備考には、施工部位、工事区分、その他特記すべき事項を記入する。<br>h)その他<br>1)埋込管にフランジ蓋を設ける場合は、備考欄に特記する。<br>2)埋込管にフランジ規格の呼び圧力は次の場合を示す。<br>鋳鉄管 ： JIS 7. 5K<br>ステンレス管・鋼管 ： JIS 10K<br>上記以外は特記する。<br>3)貫通孔に仮壁を設ける場合は備考欄に特記する。<br>4) 将来使用する開口については、仮壁、仮蓋等を施すものとし、備考欄に特記する。 |

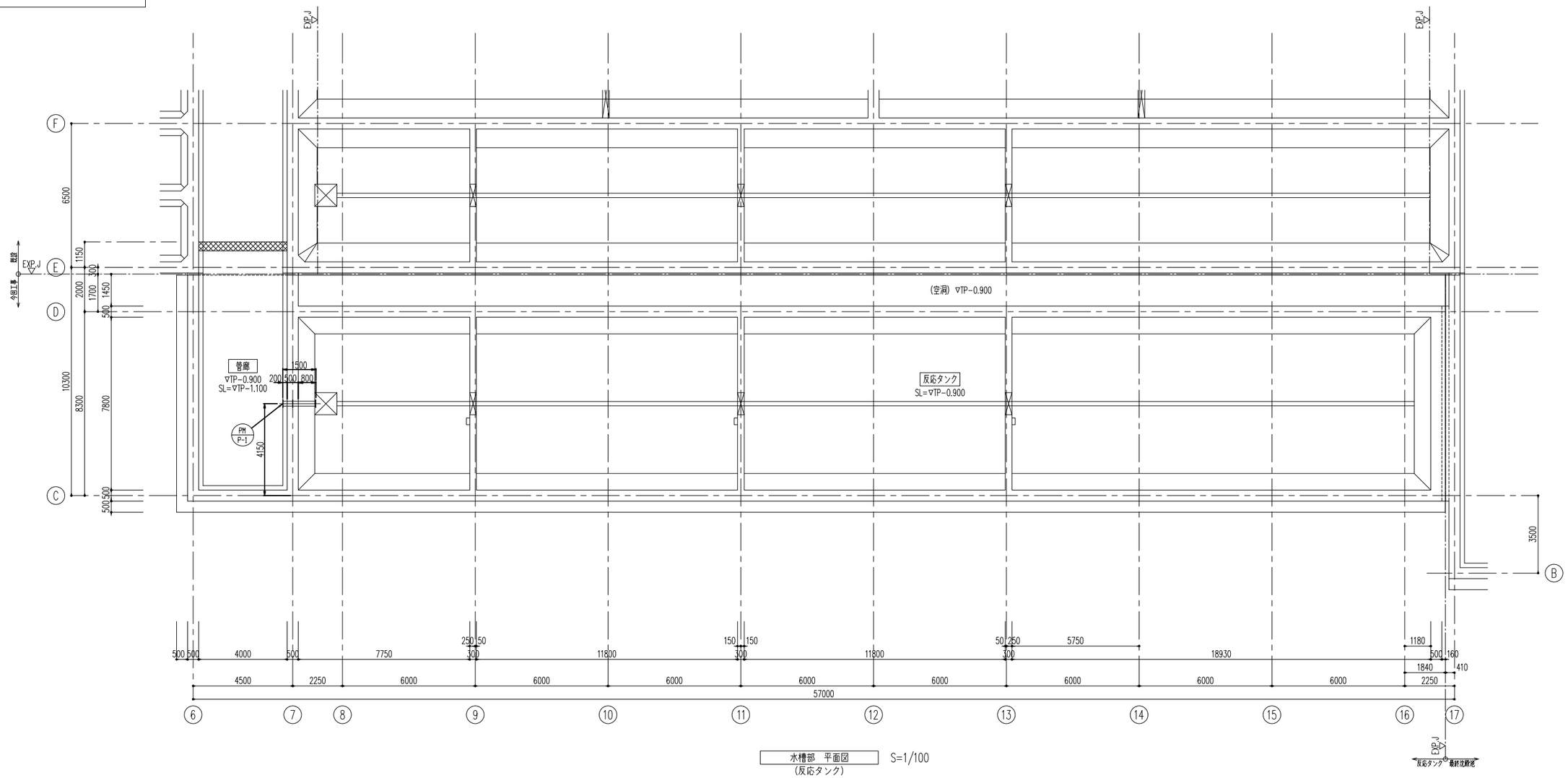
| 図面番号 | D-40 | 縮 尺 | NON |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 貫通孔・埋込管・機器基礎リスト | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

## 貫通孔、埋込管 及び 機器基礎リスト

| 符　号 | 形 状 寸 法 | 壁 | 床 | 用　途 | 材料ー形式 | 位　置 | | | | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| PM・P-1 | φ200×1500L | ○ | | 池排水管 | P1-F2 | ⑦ー○ | | Ⓒ→Ⓓ | 4150 | COP-600 |
| PM・P-2 | φ200×1300L | ○ | | 池排水管 | P1-F2 | ⑱ー○ | | Ⓓ→Ⓒ | 1600 | COP-600 |
| PM・P-3 | φ200×1300L | ○ | | 池排水管 | P1-F2 | ⑱ー○ | | Ⓒ→Ⓓ | 1600 | COP-600 |
| PM・P-4 | φ200×1150L | ○ | | 返送汚泥引抜管 | P1-F2 | ⑱ー○ | | Ⓓ→Ⓒ | 2100 | COP-100 |
| PM・P-5 | φ200×1150L | ○ | | 返送汚泥引抜管 | P1-F2 | ⑱ー○ | | Ⓒ→Ⓓ | 2100 | COP-100 |
| PM・P-6 | φ100×1200L | ○ | | 余剰汚泥引抜管 | P1-F2 | ⑱ー○ | | Ⓓ→Ⓒ | 2600 | COP-350 |
| PM・P-7 | φ100×1200L | ○ | | 余剰汚泥引抜管 | P1-F2 | ⑱ー○ | | Ⓒ→Ⓓ | 2600 | COP-350 |
| PM・P-8 | φ100×700L | ○ | | スカム引抜管 | P1-F2 | ○ー○ | 図示 | Ⓒ→Ⓑ | 550 | COP+1200 |
| PM・P-9 | φ300×4300L | ○ | | スカム管 | P1-F5 | ㉑ー㉒ | 2570 | ○ー○ | 図示 | COP+3650 |
| | | | | | | | | | | |
| PM・S-1 | φ450 | ○ | | 空気管 | S5 | ⑦ー○ | | Ⓒ→Ⓓ | 500 | COP+4700　管径 250A |
| PM・S-2 | φ250 | ○ | | 空気管 | S5 | ⑧ー⑨ | 1875 | ○ー○ | 図示 | COP+5200　管径 100A |
| PM・S-3 | 600W×250H | ○ | | 空気管 | S6 | ⑩ー⑪ | 675 | ○ー○ | 図示 | COP+5200　管径 100A×2 |
| PM・S-4 | φ250 | ○ | | 空気管 | S5 | ⑫ー⑪ | 600 | ○ー○ | 図示 | COP+5200　管径 100A |
| PM・S-5 | 700W×300H | ○ | | 空気管 | S6 | ⑮ー⑭ | 2250 | ○ー○ | 図示 | COP+5200　管径 150A×2 |
| PM・S-6 | φ200 | ○ | | 消泡水管 | S5 | ⑨ー○ | | Ⓓ→Ⓒ | 3050 | COP+4700　管径 65A |
| PM・S-7 | φ200 | ○ | | 消泡水管 | S5 | ⑪ー○ | | Ⓓ→Ⓒ | 3050 | COP+4700　管径 65A |
| PM・S-8 | φ200 | ○ | | 消泡水管 | S5 | ⑬ー○ | | Ⓓ→Ⓒ | 2250 | COP+4700　管径 65A |
| PM・S-9 | φ350 | | ○ | 返送汚泥管 | S5 | ⑦ー⑧ | 500 | Ⓓ→Ⓒ | 500 | 管径 φ200 |
| PM・S-10 | φ350 | | ○ | 返送汚泥管 | S5 | ⑦ー⑧ | 500 | Ⓓ→Ⓒ | 2800 | 管径 φ200 |
| PM・S-11 | φ350 | | ○ | 脱臭ダクト | S5 | ⑧ー⑨ | 1200 | Ⓓ→Ⓒ | 2000 | 管径 φ200 |
| PM・S-12 | φ350 | | ○ | 脱臭ダクト | S5 | ⑪ー⑩ | 1600 | Ⓓ→Ⓒ | 2000 | 管径 φ200 |
| PM・S-13 | φ350 | | ○ | 脱臭ダクト | S5 | ⑬ー⑫ | 1500 | Ⓓ→Ⓒ | 1250 | 管径 φ200 |
| PM・S-14 | φ350 | | ○ | 脱臭ダクト | S5 | ⑯ー⑮ | 1650 | Ⓓ→Ⓒ | 1250 | 管径 φ200 |
| PM・S-15 | φ350 | | ○ | 返送汚泥管 | S5 | ⑯ー⑰ | 715 | Ⓓ→Ⓒ | 500 | 管径 φ200 |
| PM・S-16 | φ200 | | ○ | 消泡水管 | S5 | ⑯ー⑰ | 1050 | Ⓓ→Ⓒ | 1850 | 管径 65A |
| PM・S-17 | 400W×400H | ○ | | スカムスキマ | S6 | ㉑ー㉒ | 1670 | ○ー○ | 図示 | COP+3900 |
| PM・S-18 | 400W×400H | ○ | | スカムスキマ | S6 | ㉑ー㉒ | 1670 | ○ー○ | 図示 | COP+3900 |
| PM・S-19 | φ350 | | ○ | 返送汚泥管 | S5 | ⑰ー⑱ | 1950 | Ⓓ→Ⓒ | 500 | 管径 φ200 |
| PM・S-20 | φ100 | | ○ | 散水管 | S5 | ⑰ー⑱ | 2150 | Ⓓ→Ⓒ | 1300 | 管径 φ40 |
| PM・S-21 | φ200 | | ○ | 消泡水管 | S5 | ⑰ー⑱ | 1700 | Ⓓ→Ⓒ | 2850 | |
| PM・S-22 | 750W×200D | | ○ | 汚泥掻寄機開口 | S6 | ⑱ー⑲ | 2300 | Ⓓ→Ⓒ | 2485 | |
| PM・S-23 | 750W×200D | | ○ | 汚泥掻寄機開口 | S6 | ⑱ー⑲ | 2300 | Ⓒ→Ⓓ | 2485 | |
| PM・S-24 | φ150 | | ○ | 汚泥掻寄機開口 | S5 | ⑲ー⑱ | 2360 | Ⓓ→Ⓒ | 1606 | |
| PM・S-25 | φ150 | | ○ | 汚泥掻寄機開口 | S5 | ⑲ー⑱ | 2360 | Ⓒ→Ⓓ | 1606 | |
| PM・S-26 | φ150 | | ○ | 汚泥掻寄機開口 | S5 | ㉔ー㉓ | 900 | Ⓓ→Ⓒ | 1606 | |
| PM・S-27 | φ150 | | ○ | 汚泥掻寄機開口 | S5 | ㉔ー㉓ | 900 | Ⓒ→Ⓓ | 1606 | |
| PM・S-28 | φ100 | | ○ | 散水管 | S5 | ⑰ー⑱ | 1500 | Ⓒ→Ⓓ | 400 | 管径 40A |
| | | | | | | | | | | |
| PM・B-1 | 700×700×200H | | ○ | No.2返送汚泥ポンプ基礎 | B4 | ⑰ー⑱ | 2500 | Ⓓ→Ⓒ | 1800 | 無筋コンクリート200H含む |
| PM・B-2 | 1000×800×200H | | ○ | 2系余剰汚泥ポンプ基礎 | B4 | ⑰ー⑱ | 2500 | Ⓓ→Ⓒ | 3250 | 無筋コンクリート200H含む |
| PM・B-3 | 1000×800×200H | | ○ | 2系余剰汚泥ポンプ基礎 | B4 | ⑰ー⑱ | 2500 | Ⓒ→Ⓓ | 3550 | 無筋コンクリート200H含む |
| PM・B-4 | 700×700×200H | | ○ | No.1返送汚泥ポンプ基礎 | B4 | ⑰ー⑱ | 2500 | Ⓒ→Ⓓ | 2100 | 無筋コンクリート200H含む |
| PM・B-5 | 630×650× (200H) | | ○ | 終沈スカム移送ポンプ基礎 | B4 | ⑳ー㉑ | 2110 | Ⓑ→Ⓒ | 2250 | 基礎上端▽+1.075 |
| PM・B-6 | 630×650× (200H) | | ○ | 終沈スカム移送ポンプ基礎 | B4 | ㉑ー⑳ | 890 | Ⓑ→Ⓒ | 2250 | 基礎上端▽+1.075 |

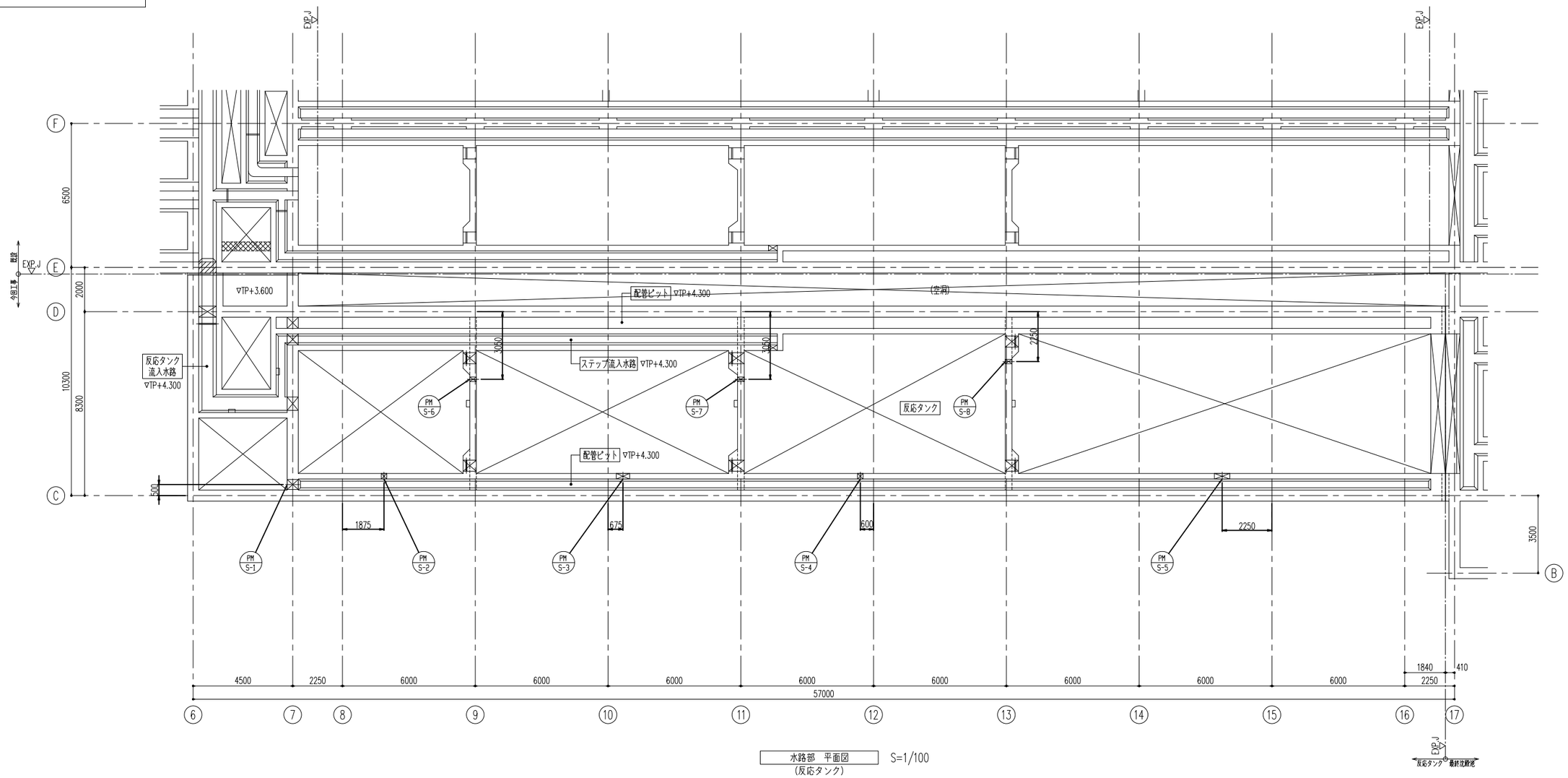
| 符　号 | 形 状 寸 法 | 壁 | 床 | 用　途 | 材料ー形式 | 位　置 | | | | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| PE・S-1 | φ200 | | ○ | 水質計器用 | S5 | ⑯ー⑮ | 550 | Ⓒ→Ⓓ | 2150 | |
| PE・S-2 | φ200 | | ○ | 水質計器用 | S5 | ⑯ー⑮ | 550 | Ⓒ→Ⓓ | 1300 | |
| PE・S-3 | 400W×400D | | ○ | ケーブル配線用 | S6 | ⑦ー⑥ | 1500 | Ⓒ→Ⓓ | 3300 | |
| PE・S-4 | 400W×400D | | ○ | ケーブル配線用 | S6 | ⑱ー⑰ | 2250 | Ⓒ→Ⓓ | 4150 | |
| PE・S-5 | 400W×400D | | ○ | ケーブル配線用 | S6 | ㉑ー㉒ | 900 | Ⓒ→Ⓑ | 450 | |
| PE・S-6 | φ200 | | ○ | 終沈ｽｶﾑﾋﾟｯﾄ水位計用 | S5 | ㉑ー㉒ | 1900 | Ⓒ→Ⓑ | 1200 | |

| 図面番号 | D-41 | 縮 尺 | A1-1:100 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 反応タンク貫通孔・埋込管図（１） | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |



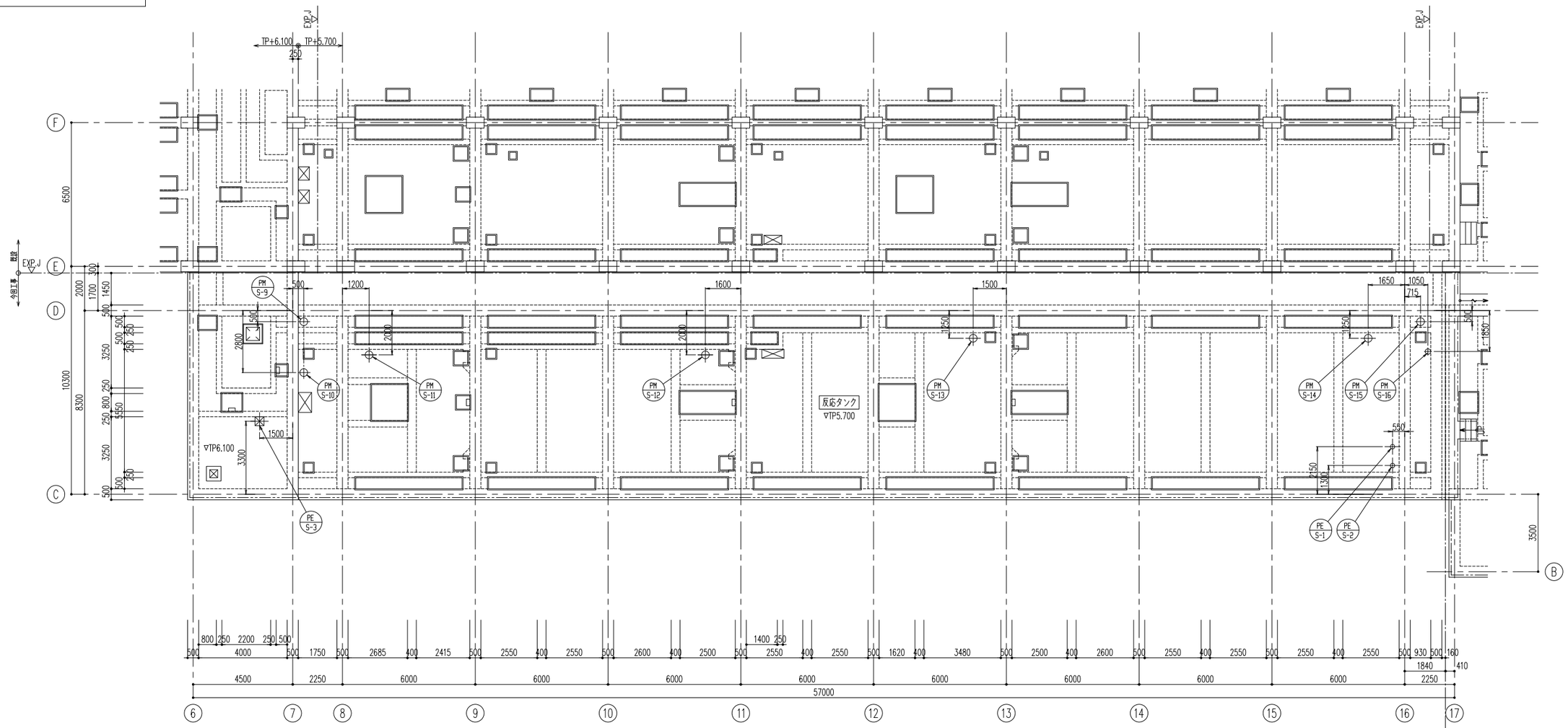

水槽部　平面図　S=1/100
(反応タンク)

| 図面番号 | D-42 | 縮 尺 | A1-1:100 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 反応タンク貫通孔・埋込管図（2） | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |



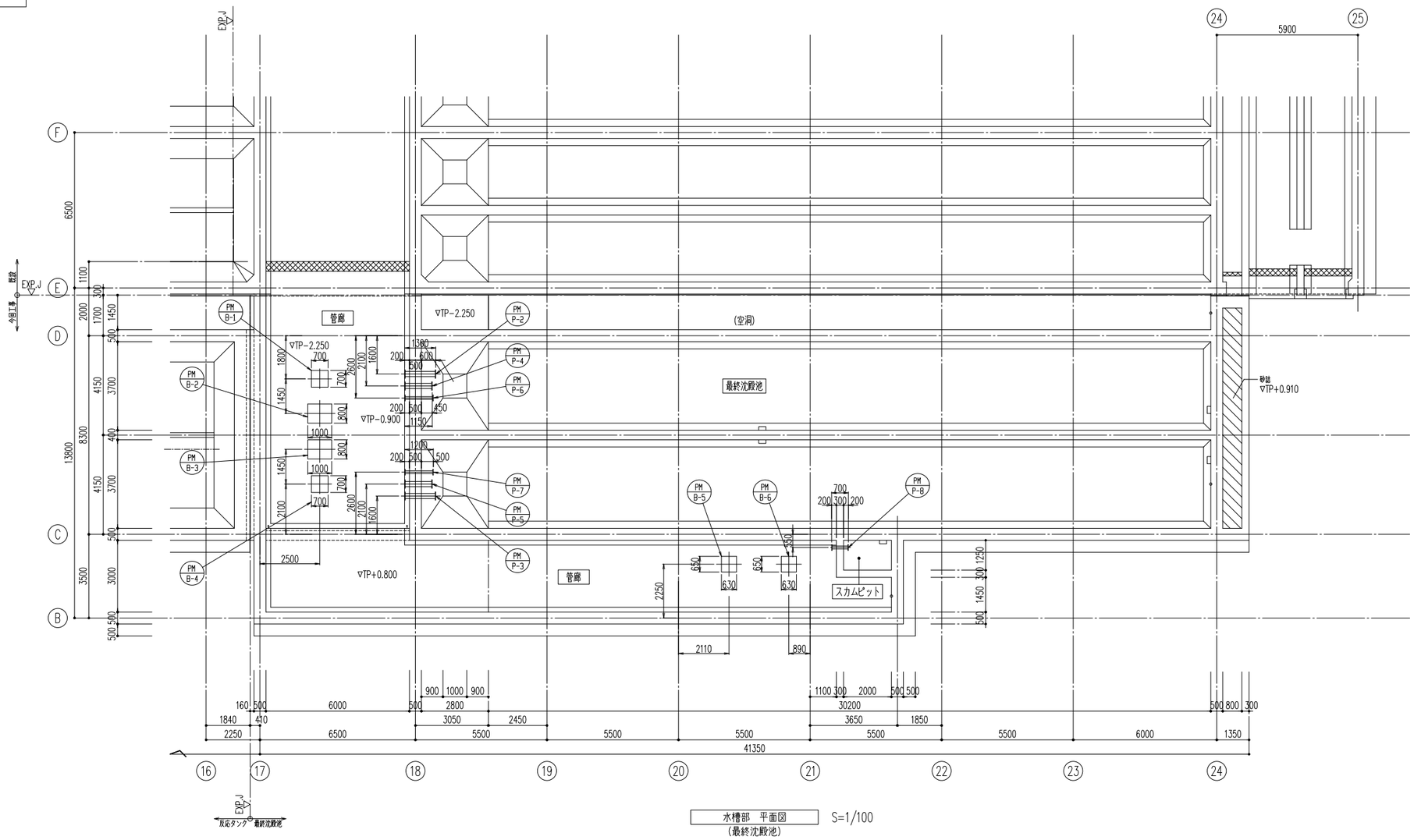

水路部　平面図　S=1/100
(反応タンク)

| 図面番号 | D-43 | 縮 尺 | A1-1:100 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 反応タンク貫通孔・埋込管図（3） | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |



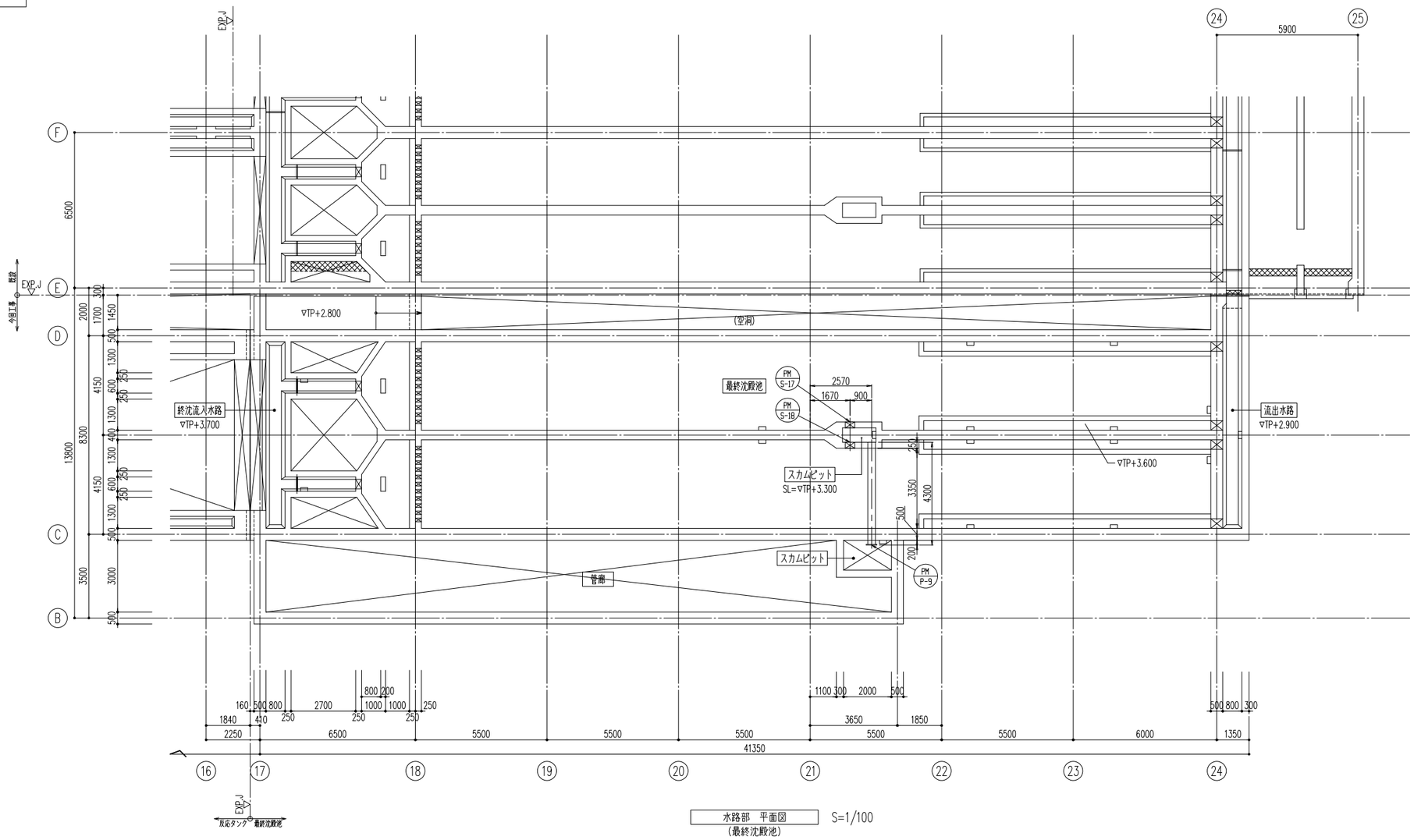

1階　平面図　S=1/100
（反応タンク）

| 図面番号 | D-44 | 縮 尺 | A1-1:100 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 最終沈殿池貫通孔・埋込管図（1） | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |



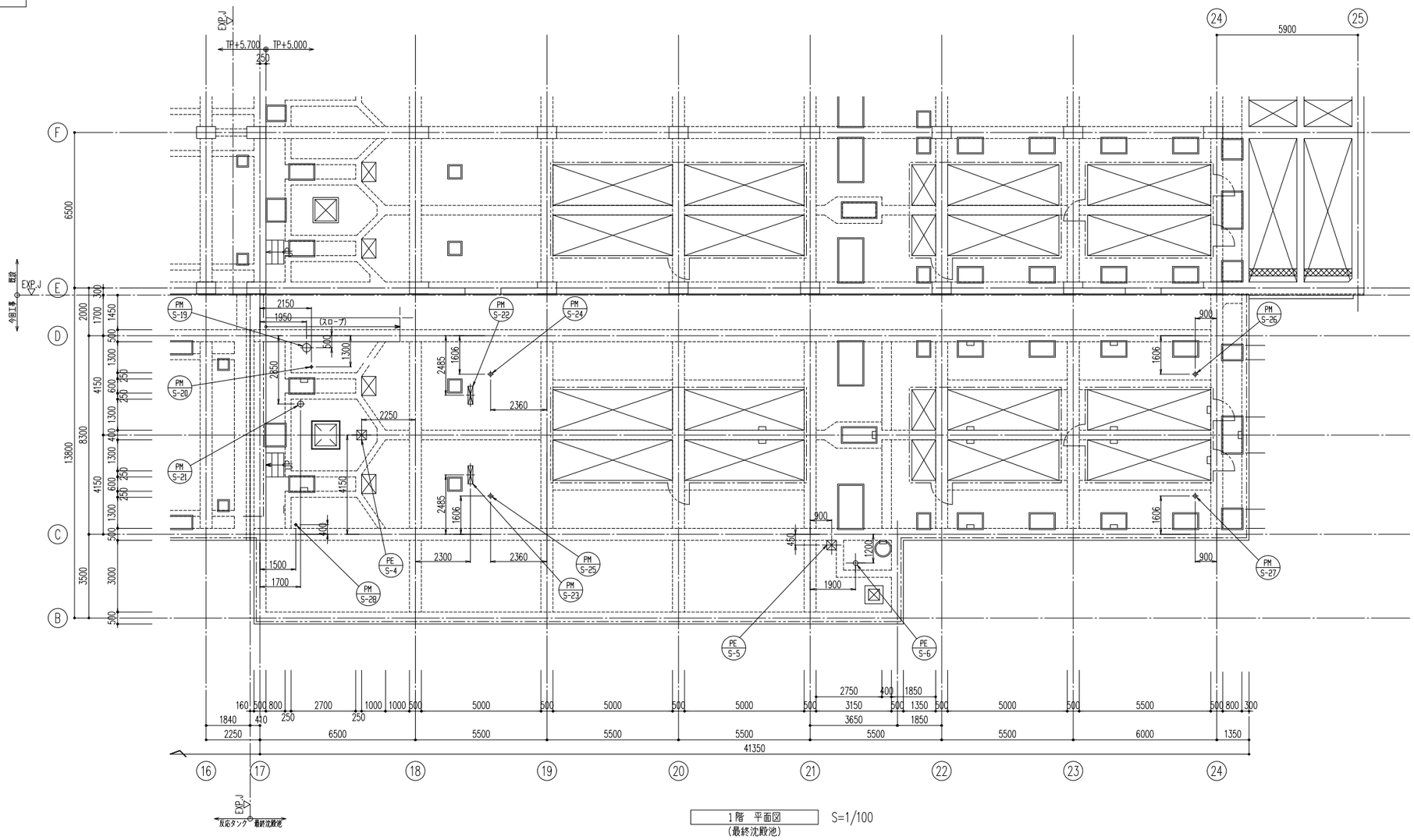

水槽部　平面図　S=1/100
（最終沈殿池）

| 図面番号 | D-45 | 縮 尺 | A1-1:100 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 最終沈殿池貫通孔・埋込管図（２） | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |




水路部　平面図
（最終沈殿池）
S=1/100

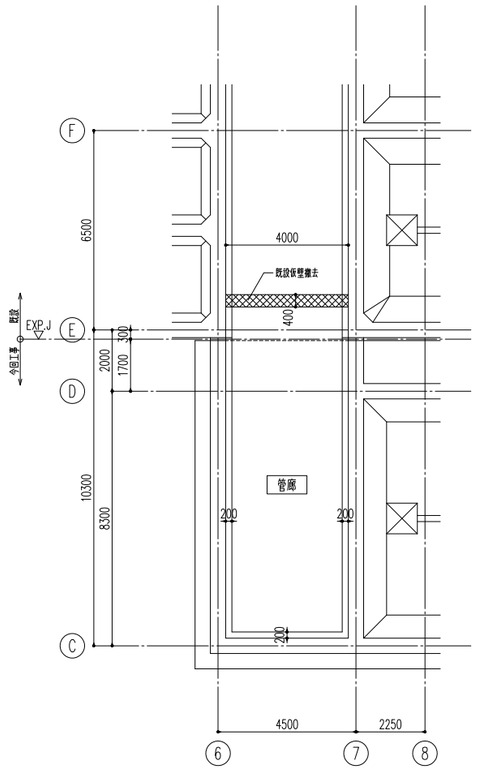
| 図面番号 | D-46 | 縮 尺 | A1-1:100 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 最終沈殿池貫通孔・埋込管図（3） | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |



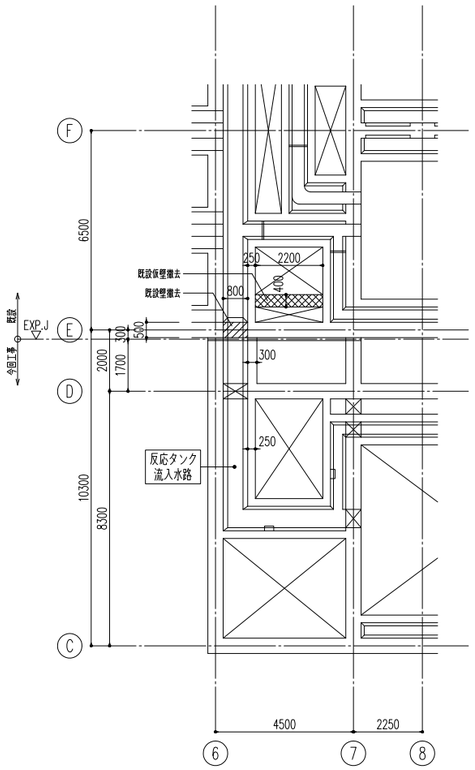

1階　平面図
（最終沈殿池）
S=1/100

| 図面番号 | D-47 | 縮 尺 | A1-1:100 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 反応ﾀﾝｸ仮壁・躯体撤去図<br>復旧範囲図 | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

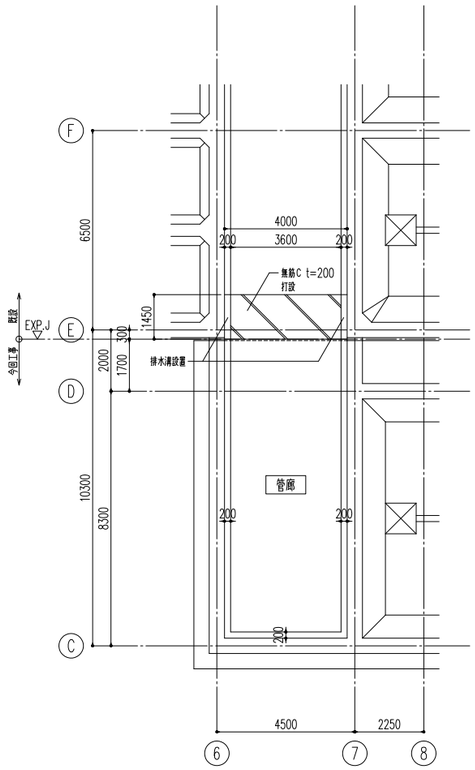
反応タンク　仮壁・躯体撤去図、復旧範囲図



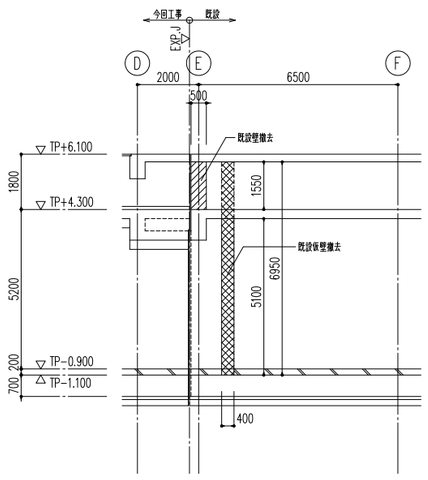

水槽部　平面図　S=1/100



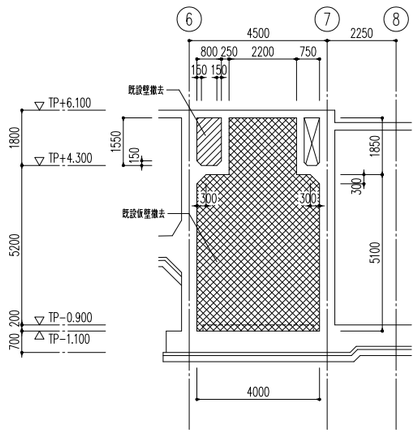

水路部　平面図　S=1/100




撤去後復旧箇所図　S=1/100



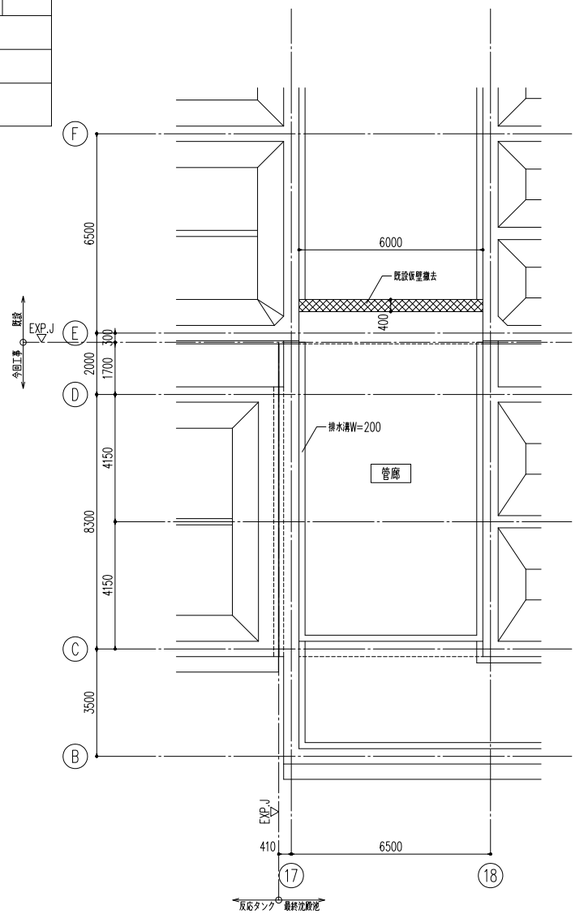

撤去部　断面図　S=1/100



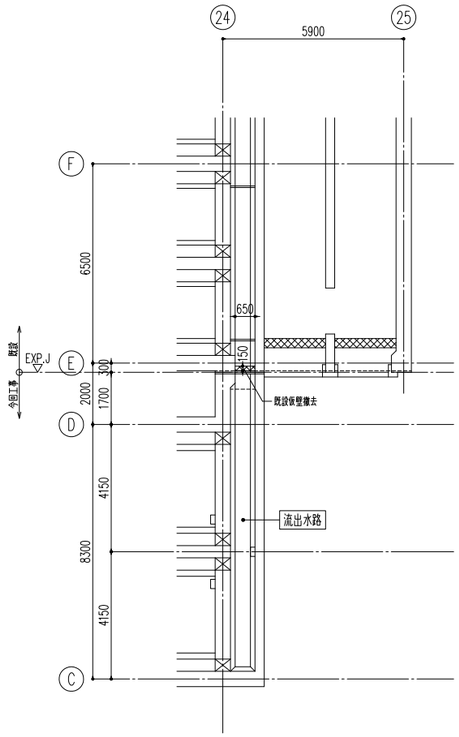

撤去部　展開図　S=1/100

| 図面番号 | D-48 | 縮 尺 | A1-1:100 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 最終沈殿池　仮壁撤去図<br>復旧範囲図 | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

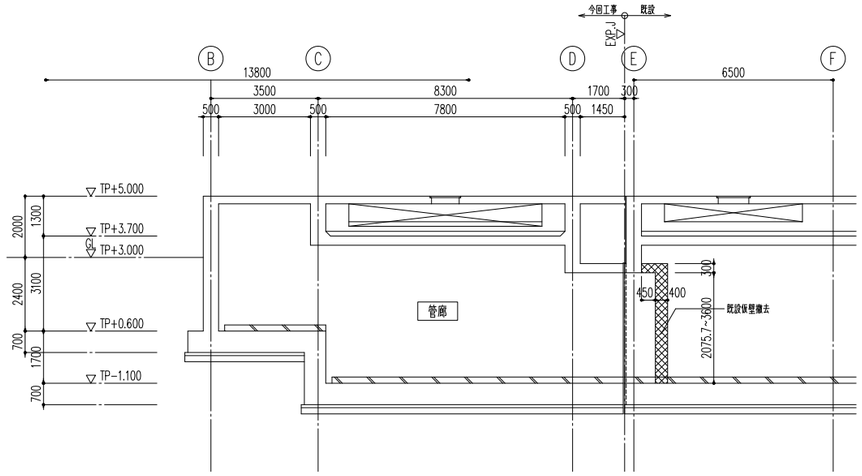
最終沈殿池　仮壁撤去図、復旧範囲図



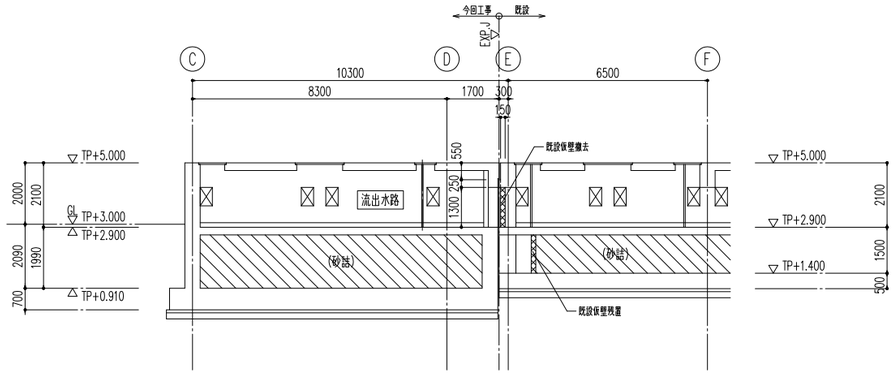

水槽部　平面図　S=1/100
既設仮壁－1



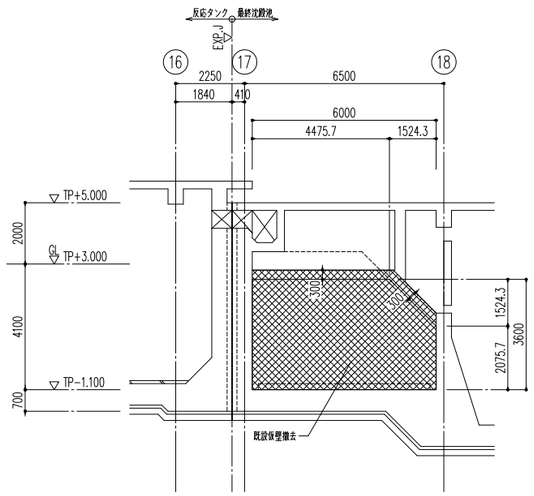

水路部　平面図　S=1/100
既設仮壁－2



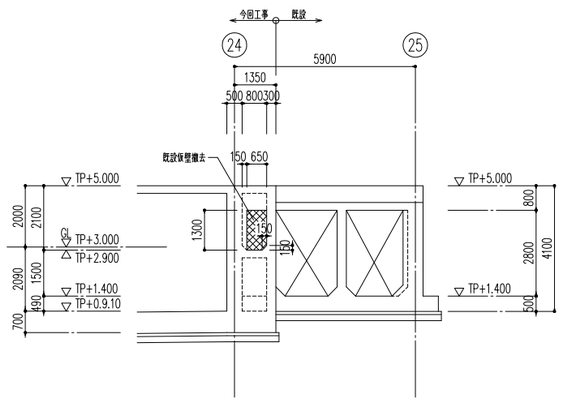

撤去部　断面図　S=1/100
既設仮壁－1



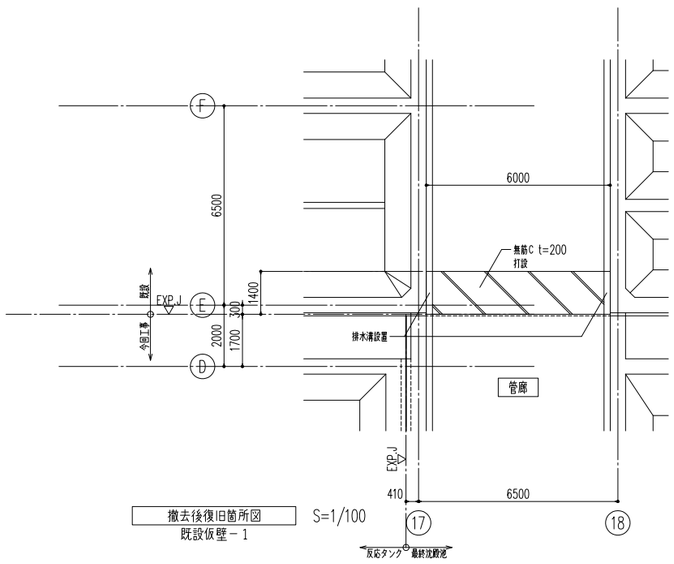

撤去部　断面図　S=1/100
既設仮壁－2




撤去部　展開図　S=1/100
既設仮壁－1



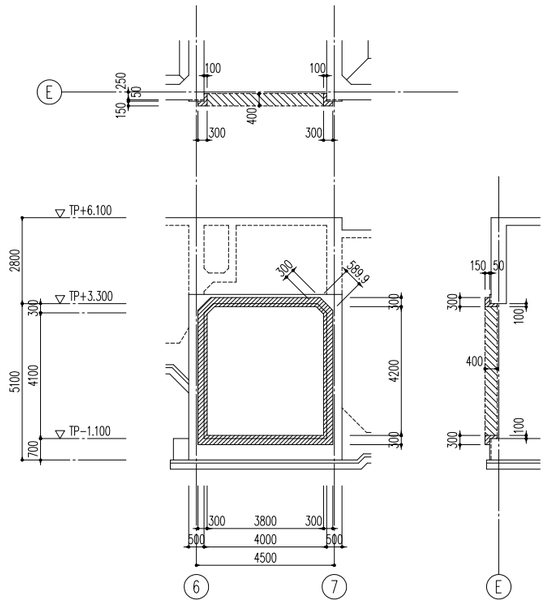

撤去部　展開図　S=1/100
既設仮壁－2



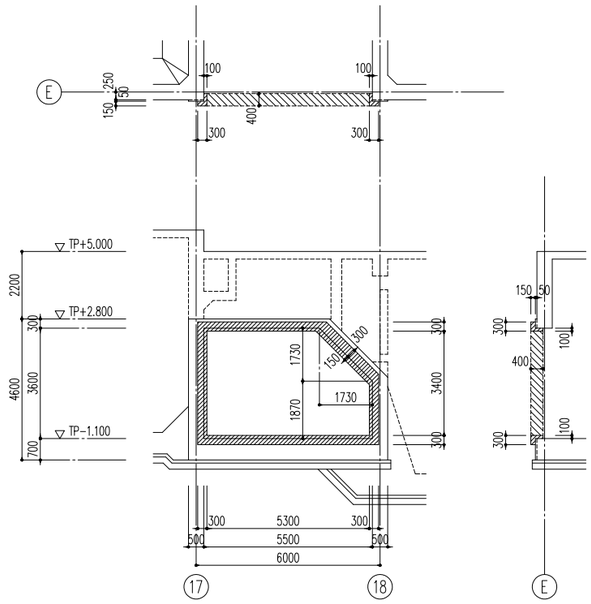

撤去後復旧箇所図　S=1/100
既設仮壁－1

| 図面番号 | D-49 | 縮 尺 | A1-1:100 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 既設可とう継ぎ手防護工撤去図 | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

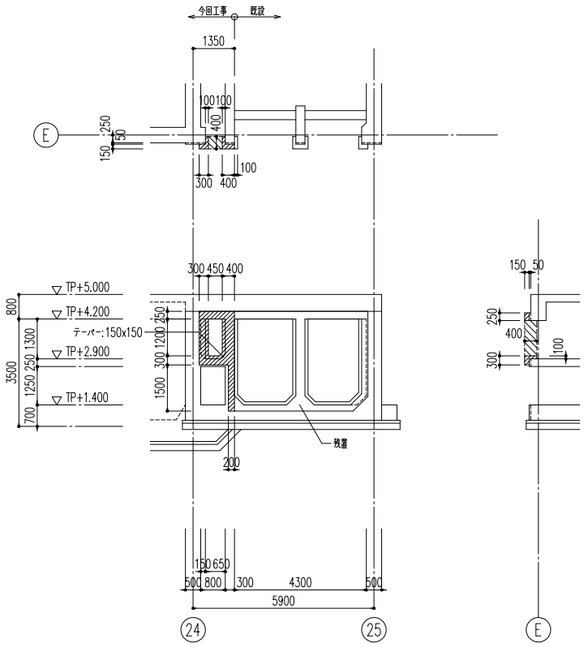
既設可とうジョイント防護工撤去図




反応タンク接続部　S=1/100

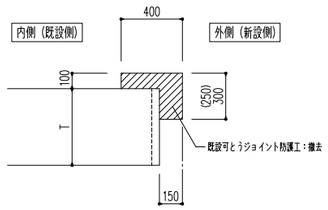



最終沈殿池接続部－１　S=1/100



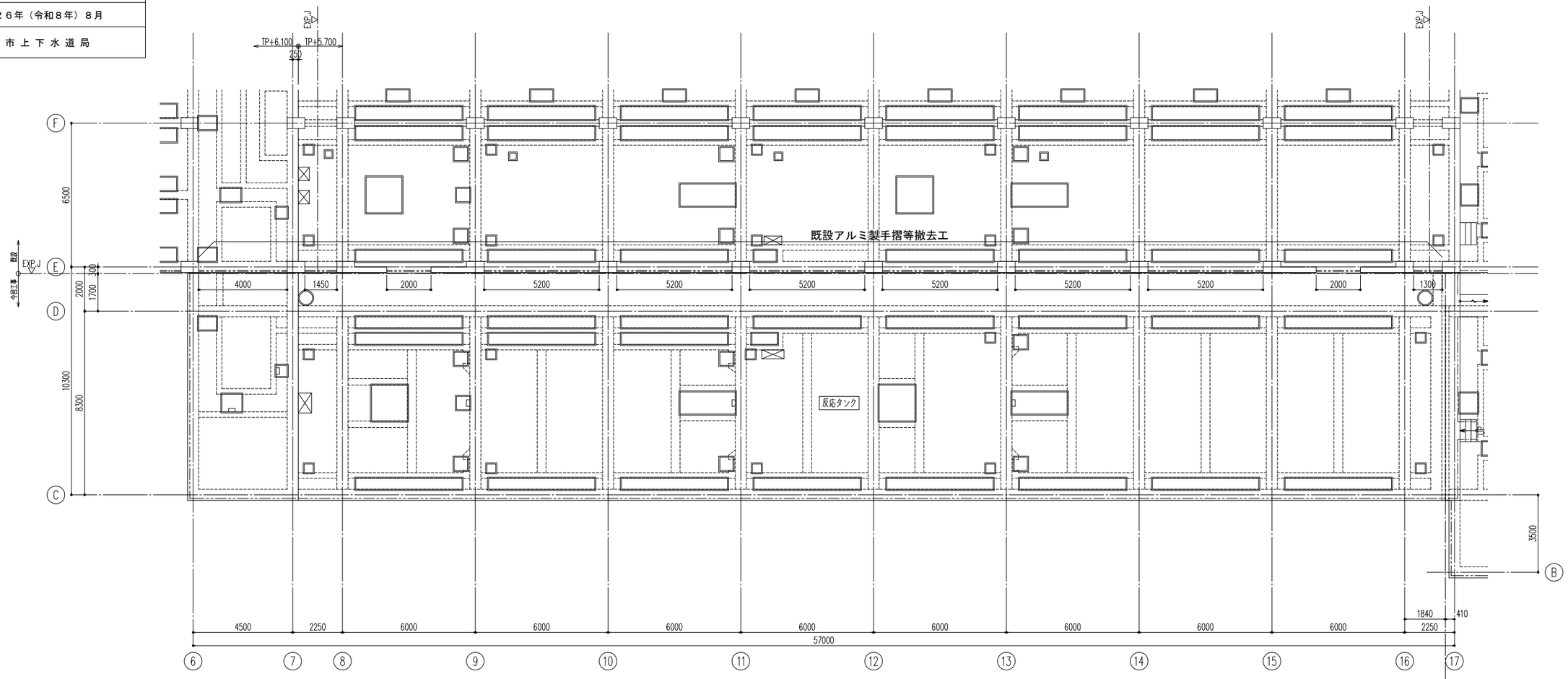

最終沈殿池接続部－２　S=1/100

部分詳細図　S=1/20



| 図面番号 | D-50 | 縮 尺 | A1-1:100 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 反応タンク既設手摺撤去図 | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

反応タンク　既設手摺等撤去図



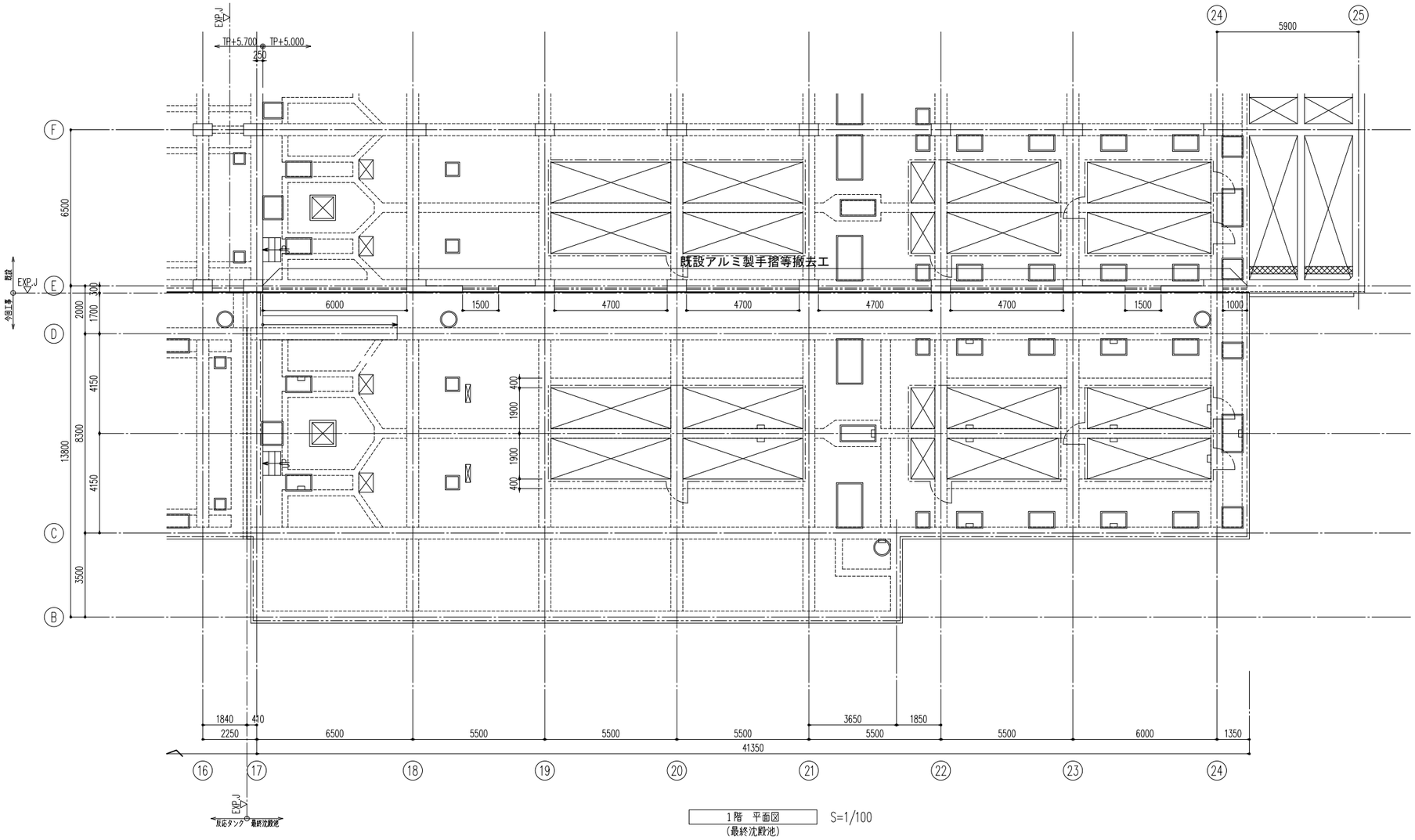

1階　平面図
（反応タンク）
S=1/100

## 既設アルミ手摺等撤去リスト

| 長さ L(mm) | 箇所数 | 備　考 |
|---|---|---|
| 5200 | 6 | |
| 4000 | 1 | |
| 2000 | 2 | |
| 1450 | 1 | |
| 1300 | 1 | |

| 図面番号 | D-51 | 縮 尺 | A1-1:100 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 最終沈殿池既設手摺撤去図 | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

最終沈殿池　既設手摺等撤去図




1階　平面図
（最終沈殿池）
S=1/100

## 既設アルミ手摺等撤去リスト

| 長さ L(mm) | 箇所数 | 備　考 |
|---|---|---|
| 6000 | 1 | |
| 4700 | 4 | |
| 1500 | 2 | |
| 1000 | 1 | |

| 図面番号 | S-1 | 縮 尺 | NON |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　別 | 構造細目共通図（1） | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

# 構 造 細 目 共 通 図(複合構造物)

＜ 令和4年版 ＞

## 1　特記事項

### 1．1　適用範囲

(1)本構造細目共通図は、下水道施設における処理場、ポンプ場の複合構造物に適用する。
(2)土木工事と建築工事の区分は図面による。
(3)図面及び構造細目共通図に記載されていない事項は、下記に基づくものとし、これらに相違がある場合は監督職員に確認し指示を受ける。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 土木工事 | 1)土木工事共通仕様書 | 広島県 | （令和 7年版） |
| | 2)コンクリート標準示方書･施工編 | 土木学会 | （ 2023年版 ） |
| | 3)コンクリート標準示方書･設計編 | 土木学会 | （ 2022年版 ） |
| 建築工事 | 1)建築工事特記仕様書 | | （別紙による。） |
| | 2)建築改修工事特記仕様書 | | （別紙による。） |
| | 3)建築工事一般仕様書 | | （令和　　年版） |
| | 4)公共建築工事標準仕様書(建築工事編) | 国土交通省大臣官房官庁営繕部 | （令和 4 年版） |
| | 5)公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) | 国土交通省大臣官房官庁営繕部 | （令和 4 年版） |

(4)項目は､⊙印のついたものを適用する。⊙印のない場合は、※ 印のあるものを適用する。⊙印と※印のある場合は、共に適用する。

### 1．2　鉄筋の仕様

土木の鉄筋の種類及び継手は1．2．1表による。
建築の鉄筋の種類及び継手は、別紙建築工事特記仕様書又は建築改修工事特記仕様書による。

1．2．1表　鉄筋の種類及び継手

| | 種　別 | 径 土　木 | 径 建　築 |
|---|---|---|---|
| 鉄筋の種類 | SD295 | ―― | ※ D16以下 |
| | ※ SD345<br>・ SD390<br>・ SD490 | ※ D13以上<br>・ | ―― |
| | SD345 | ―― | ※ D19以上 |
| 鉄筋の継手 | 重ね継手 | 下記以外 | |
| | ガス圧接 | ※ D19以上の柱、梁主筋<br>※ D16以上の増設端の床、壁鉄筋<br>・ | ※ D19以上、D29以下の柱、梁主筋 |
| | 機械式継手 | ・ 図面による。 | |

### 1．3　コンクリートの仕様

土木のコンクリートの仕様は1．3．1表による。
建築のコンクリートの仕様は、別紙建築工事特記仕様書又は建築改修工事特記仕様書による。

1．3．1表　コンクリートの仕様

| 分　類 | | | コンクリート種別 | 設計基準強度 (N/mm²) | スランプ (cm) | セメントの種類 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 土木 | 鉄筋コンクリート | | ※ 普通コンクリート<br>・ | ※ 24<br>・ 30<br>・ | ※ 12<br>・ | ※ 高炉セメントB<br>・ 普通ポルトランドセメント<br>・ 低熱ポルトランドセメント |
| 建築 | 鉄筋コンクリート | 地上 | ※ 普通コンクリート | ※ 24 | ※ 18 | ※ 普通ポルトランドセメント |
| | | 地下<br>基礎<br>基礎梁 | ※ 普通コンクリート | ※ 24 | ※ 15 | ※ 普通ポルトランドセメント |
| 土木 | 無筋コンクリート | | ※ 普通コンクリート<br>・ | ※ 18<br>・ | ※ 12<br>・ | ※ 高炉セメントB<br>・ 普通ポルトランドセメント |
| 建築 | 無筋コンクリート | | ※ 普通コンクリート | ※ 18 | ※ 15 | ※ 普通ポルトランドセメント |

注1：無筋コンクリートには均しコンクリート、捨てコンクリートを含む。

### 1．4　砕石及び均しコンクリート、捨てコンクリート

砕石及び均しコンクリート、捨てコンクリートの厚さは1．4．1表による。

1．4．1表　砕石及び均しコンクリート、捨てコンクリートの仕様

| 部 位 | 種　別 | 厚さ(mm) |
|---|---|---|
| 土 木 工 事 | 砂利または砕石 | ※ 200　・ |
| | 均しコンクリート | ※ 100 |
| 建 築 工 事 | 砂利または砕石 | ※ 60 |
| | 捨てコンクリート | ※ 50 |

## 2　共通事項

### 2．1　記号及び符号

設計図中で使用する記号及び符号は、2．1．1表及び2．1．2表を標準とする。

2．1．1表　鉄筋の断面表示

| 区分＼径 | D10 | D13 | D16 | D19 | D22 | D25 | D29 | D32 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 建　築 | ● | × | ⌀ | ● | ○ | ⊙ | ⊠ | ◎ |
| 土　木 | | ● 又は建築による。 | | | | | | |

2．1．2表　一般凡例

| 記号<br>符号 | 内　容 | ※印の説明及び注意事項 |
|---|---|---|
| F※ | フーチング断面種別 | ※　番号 |
| ※1C※2 | 柱断面種別 | ※1　階数<br>※2　その階の番号 |
| ※1G※2 | 大梁断面種別 | ※1　階数、地中大梁はFとする<br>※2　その階の番号<br>X方向1，2，3----<br>Y方向A，B，C---- |
| CG※ | 片持大梁断面種別 | ※　番号、階別区分はしない |
| ※1B※2 | 小梁断面種別 | ※1　地中小梁のみFとする<br>※2　階別区部はしない<br>地中小梁を除く |
| CB※ | 片持小梁断面種別 | ※　番号、階別区分はしない |
| ※1W※2 | 壁配筋種別 | ※1　E：耐震壁、K：階段壁<br>D：土圧、水圧を受ける壁<br>階別区分はしない<br>※2　壁厚(cm) |
| ※1S※2※3 | 床版配筋種別 | ※1　片持床版のみCとする<br>※2　床版厚(cm)<br>※3　配筋種別(英大文字)<br>階別区分はしない |
| ※1K※2 | 階段の配筋種別 | ※1　A：片持床版形<br>B：二辺固定床版形<br>※2　配筋種別(数字)<br>階別区分はしない |
| CB※ | コンクリートブロック壁 | ※　壁厚(cm) |
| | 打ち増し範囲 | |
| | 梁･床版の上がり下がり | 一般には基準FLよりの＋、－に応じた凡例により表示 |

| 記号<br>符号 | 内　容 | ※印の説明及び注意事項 |
|---|---|---|
| (※) | 床用積載荷重 | 積載荷重の値(kN／m²) |
| STP | あばら筋、スターラップ | 梁、基礎梁、小梁 |
| HOOP | 帯筋、帯鉄筋、フープ | 柱 |
| S.HOOP | スパイラル筋、らせん筋 | 柱 |
| 幅止筋 | 幅止め筋 | 柱、梁、壁 |
| 組立筋 | 組立て筋 | 床版、底版 |

(用語の定義)
・床版とは、常時荷重及び地震時荷重を負担する主部材をいう。壁式構造のボックスカルバートやラーメン構造の頂版や底版がある。
・スラブとは、常時荷重のみを負担する梁に支持される副部材をいう。

### 2．2　一般注意事項

(1)設計図は監督職員の承諾を得なければ変更してはならない。
変更の必要を生じた場合は、監督職員と協議すること。

## 3　土木工事

### 3．1　鉄筋の折曲げ加工

鉄筋の折曲げ加工は、3．1．1表及び3．1．2表を標準とする。
(1)Dは、折曲げ内法直径を示す。
(2)dは、鉄筋直径(呼び名)を示す。

3．1．1表　鉄筋曲げ加工(1)

| 位　置 | 曲げ角度 | 折曲げ図及び折曲げ後の余長 | 曲げ内法直径 | 使用箇所 |
|---|---|---|---|---|
| 末端部 | 180° | 4d以上かつ60mm以上 | 5d以上 | 定着末端部 |
| | 135° | 6d以上かつ60mm以上 | 5d以上 | スターラップ、帯鉄筋、フープ筋　等 |
| | 90° | 12d以上 | 5d以上 | |
| | 90°<br>135° | 4d以上　90°　135°　4d以上 | 5d以上 | 梁 |
| | 90° | 100mm | | 壁 |
| | | 100mm　(馬筋)　直交方向に90° | | 床版<br>底版 |
| | | | | 幅止め鉄筋 |
| 中間部 | 90° | | 5d以上 | あばら筋、帯筋<br>スパイラル筋 |
| | θ＜90° | | 10d以上 | 折曲げ鉄筋 |

3．1．2表　鉄筋曲げ加工(2)

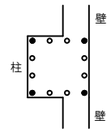
| 位　置 | 曲げ角度 | 折曲げ図 | 曲げ内法直径 | 使用箇所 |
|---|---|---|---|---|
| 最上階 | 90° | | 20d以上 | ラーメン隅角部 |
| 一般階 | 90° | | 5d以上 | |

### 3．2　異形鉄筋の末端部

異形鉄筋の末端部には、3．2．1表によりフックを設ける。

3．2．1表　フックを設ける位置

| 部　位 | | 継手方式 重ね継手 | 継手方式 圧接継手 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|
| 柱 | 四隅の主筋 | ― | 1)最上階の柱頭 | 3．2．1図の●印<br>3．8．1図参照 |
| | 上下階の柱断面が異なる場合 | ― | 1)下階の柱主筋を引き通す事が出来ない柱頭部 | 3．2．1図の●印<br>3．8．2図参照 |
| | 帯筋(HOOP) | 1)末端部<br>2)継手部 | 1)末端部 | 3．9．1図参照 |
| 梁 | あばら筋(STP) | 1)末端部<br>2)継手部 | 1)末端部 | 3．12．1図参照 |
| 杭基礎 | 独立フーチング基礎の底版筋 | 1)末端部<br>2)継手部 | 1)末端部 | 3．25．1図参照 |
| 煙突の鉄筋 | | 1)末端部<br>2)継手部 | 1)末端部 | 壁の一部となる場合を含む |
| 幅止め筋 | | ― | ― | 3．1．1表参照 |



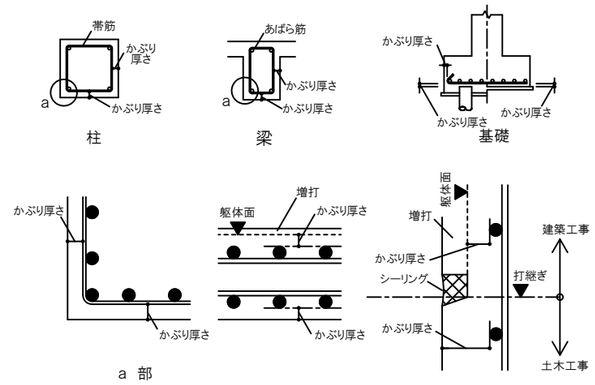

平 面

3．2．1図　異形鉄筋の末端部

### 3．3　鉄筋のかぶり及び間隔

3．3．1　かぶり厚さ

かぶり厚さとは、一番外側の鉄筋(幅止め筋を除く)の外面から躯体面までの距離(3．3．1図)をいう。
鉄筋組立後のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上を確保し、最小かぶり厚に許容誤差10mmを加えた厚さ以内に納めるものとする。




3．3．1図　鉄筋のかぶり厚さ

3．3．2　最小かぶり厚さ

最小かぶり厚さは、3．3．1表による。
床版、梁、基礎及び擁壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、均しコンクリートの厚さを含まない。

3．3．1表　鉄筋の最小かぶり厚さ(mm)

※　通常の施工の場合

| 環境＼部位 | 床版･スラブ･梁 | 柱･壁 | 底版･フーチング |
|---|---|---|---|
| 大気中 | 50 | 50 | ― |
| 水中･土中等 | 50 | 70 | 70 |

・　塩害対策地域の施工の場合

| 対策区分 | | 環境＼部位 | 床版･スラブ･梁 | 柱･壁 | 底版･フーチング |
|---|---|---|---|---|---|
| ・ | Ⅰ | 大気中 | 70 | 70 | ― |
| | | 水中･土中等 | | | 70 |
| ⊙ | Ⅱ,Ⅲ | 大気中 | 50 | 70 | ― |
| | | 水中･土中等 | | | 70 |

1：部位により最小かぶり厚さの判断が困難な場合は、監督職員の指示を得る。
2：杭基礎の底版･フーチング下端筋のかぶり厚さは、7.杭基礎の補強を参照する。

(注)梁：大梁、小梁、基礎梁、片持梁をいう。

| 図面番号 | S-2 | 縮 尺 | NON |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 構造細目共通図（2） | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

# 3 土木工事

## 3．4 鉄筋相互のあき

3．4．1 梁･壁･床版

鉄筋相互のあきは、下記(1)、(2)、(3)の最大値以上とする。

(1)粗骨材の最大寸法の4/3倍

(2)最小のあき25mm

(3)隣り合う鉄筋の平均径(呼び名の数値)の1．5倍

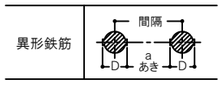
3．4．2 柱

鉄筋相互のあきは、下記(1)、(2)、(3)の最大値以上とする。

(1)粗骨材の最大寸法の4/3倍

(2)最小のあき40mm

(3)隣り合う鉄筋の平均径(呼び名の数値)の1．5倍




(注)D:鉄筋の最外径
d:鉄筋径(呼び名)

3．4．1図 鉄筋のあき

3．4．1表 鉄筋径と鉄筋間隔の関係一覧

| 鉄筋径 (mm) | | 鉄筋相互のあき:a | | | 最小鉄筋芯間隔 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 鉄筋径 d | 最外径 D | (1) 粗骨材径×4/3倍 | (2) 最小あき | (3) 鉄筋径×1.5 | (梁) a+D | (柱) a+D |
| D13 | 14 | 33mm 粗骨材最大径25mmの場合 | 梁:25mm 柱:40mm | 20mm | 47mm | 54mm |
| D16 | 18 | | | 24mm | 51mm | 58mm |
| D19 | 21 | | | 29mm | 54mm | 61mm |
| D22 | 25 | | | 33mm | 58mm | 65mm |
| D25 | 28 | | | 38mm | 66mm | 68mm |
| D29 | 33 | | | 44mm | 77mm | 77mm |

## 3．5 鉄筋の継手及び定着

3．5．1 継手長及び定着長の基本

(1)鉄筋の重ね継手長さは3．5．1表、定着の長さは3．5．2表による。

① 本表の適用は、鉄筋種類SD345、鉄筋径D13～D32とする。

② 定着長は折曲げ加工後の直線部分で確保する。

③ 壁、床版、底版の主鉄筋の中心間隔が100mm未満の場合は、別途図示による。

3．5．1表 鉄筋の重ね継手長さ

| 鉄筋の種類 | 鉄筋径 | 設計基準強度 | $S_1$:重ね継手長 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 鉄筋中心間隔200mm以上 | | 100mm以上200mm未満 | |
| | | | フックなし | フックあり | フックなし | フックあり |
| SD345 | D16以下 | 24以上27未満 (N/mm²) | 40･d | 30･d | 50･d | 40･d |
| | D19～D22 | | 45･d | 35･d | 60･d | 50･d |
| | D25～D32 | | 50･d | 40･d | 65･d | 55･d |

3．5．2表 鉄筋の定着長さ

| 鉄筋の種類 | 鉄筋径 | 設計基準強度 | $S_2$:定着長 | | $S_3$:定着長 | | $S_4$:定着長 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | フックなし | フックあり | フックなし | フックあり | フックなし | フックあり |
| SD 345 | D16 以下 | 24以上27未満 (N/mm²) | 40･d | 30･d | 35･d | 25･d | 35･d | 25･d |
| | D19～D22 | | 50･d | 40･d | 40･d | 30･d | 35･d | 25･d |
| | D25～D32 | | 60･d | 50･d | 45･d | 35･d | 35･d | 25･d |

(2)$S_2$,$S_3$,$S_4$の適用区分を以下に記す。

$S_2$:(最上層)大梁上端、基礎梁上端、床版(壁構造)、床版上端(ラーメン構造)、底版。

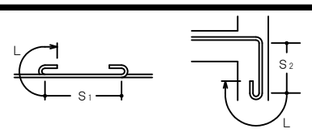
$S_3$:柱、壁、(中間層)大梁上端、大梁下端、床版下端(ラーメン構造)、基礎梁下端。

$S_4$:小梁、スラブ(地震力を受けない部材)。

(3)径が異なる鉄筋の継手長さは、細い鉄筋の径による。

(4)継手は相互にずらすことを原則とする。

(5)フックのある場合の継手長及び定着長には、3．5．1図に示すようにフック部分Lを含まない。



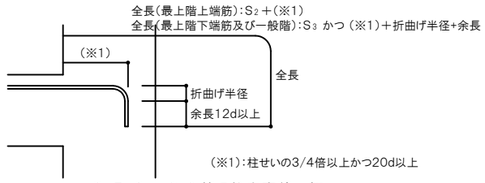

3．5．1図 フックのある場合の継手及び定着要領

3．5．2 継手の特記事項

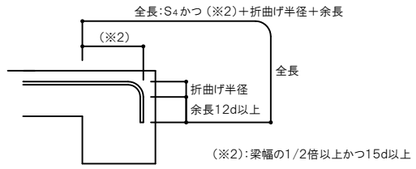
(1) 継手は極力応力の小さい位置に設ける。

(2) 異なる径の鉄筋をガス圧接する場合、鉄筋径の差が5mmを超える圧接をしてはならない。

3．5．3 梁主筋の柱内定着




3．5．2図 梁主筋の柱内定着要領




3．5．3図 小梁及びスラブ上端筋の梁内折曲げ定着要領

## 3．6 隣り合う継手の位置

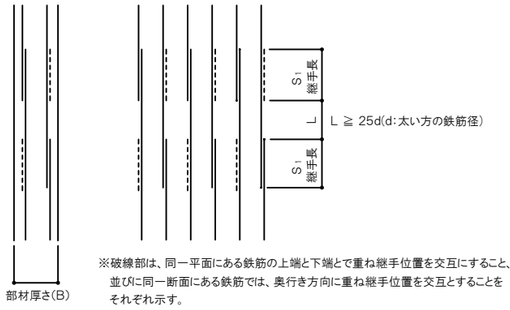
3．6．1 鉄筋の重ね継手

(1) 同一断面での継手は軸方向に相互にずらす。

(2) ずらす距離(L)は、太いほうの鉄筋径の25倍以上とする。

(3) 前記(2)を確保できない場合等は、監督職員の承諾を得て、ガス圧接継手又は機械式継手工法を採用することができる。

(4) 継手部の鉄筋のあきは、粗骨材の最大寸法以上とする。




※破線部は、同一平面にある鉄筋の上端と下端とで重ね継手位置を交互にすること、並びに同一断面にある鉄筋では、奥行き方向に重ね継手位置を交互とすることをそれぞれ示す。

3．6．1図 重ね継手工法

3．6．2 鉄筋のガス圧接および機械式継手

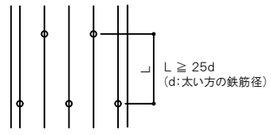
鉄筋のガス圧接継手及び機械式継手は「鉄筋定着･継手指針[2020年版]」(土木学会)による。機械式継手は、ねじふし鉄筋継手工法とする。また、ねじふし鉄筋工法以外の機械式継手を採用する場合は、監督職員の承諾を得ること。

(1) 同一断面での継手は軸方向に相互にずらす。

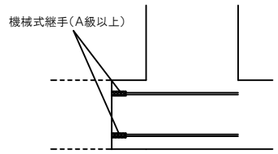
(2) ガス圧接の場合のずらす距離(L)は、太い方の鉄筋径の25倍以上とする。

(3) 機械式継手の場合のずらす距離(L)は、太いほうの鉄筋径の25倍以上とする。

(4) 機械式継手をイモ継ぎ部に使用する場合は、構造計算等により当該箇所に塑性ヒンジが発生しないことを確認する必要がある。施工上やむを得ず機械式継手によるイモ継ぎとなる場合は、継手部が所要の耐震性を有していることを、適切な実験や解析等で照査しなければならない。詳細は「鉄筋定着･継手指針[2020年版](土木学会)」による。




3．6．2図 ガス圧接継手工法及び機械式継手工法




3．6．3図 機械式継手におけるイモ継手位置

## 3．7 継手及び圧接中心位置(柱、大梁)

継手及び圧接中心位置は図面にない場合は、3．7．1図による。

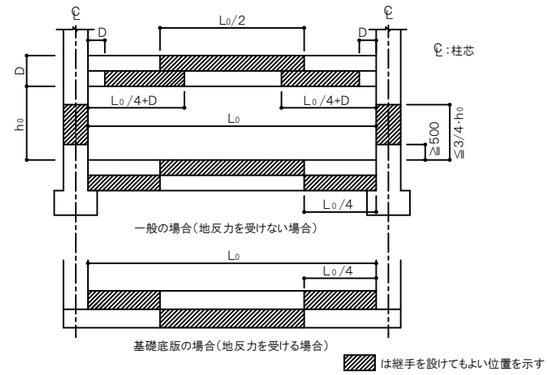
(1)柱の継手及び圧接中心位置は、梁上端から50cm以上、150cm以下かつ3/4$h_0$ ($h_0$ は柱の内法高さ)以下とする。

(2)梁の継手及び圧接中心位置は下記による。

上端筋　中央:$L_0$/2以内

下端筋　両端:柱面より梁せい(D)以上離し、$L_0$/4を加えた範囲以内

(3)通常の応力と異なる場合の継手位置は、3．7．1図によらず図面による。




3．7．1図 継手及び圧接中心位置

## 3．8 柱筋の継手及び定着

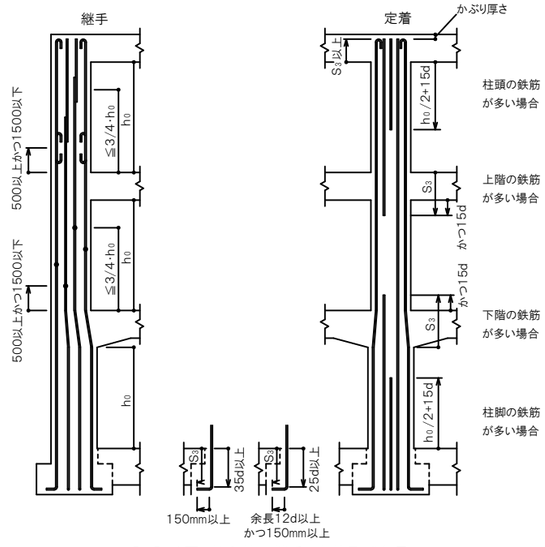
3．8．1 一般事項

(1)継手長さは$S_1$とし、定着及び余長は、3．8．1図による。

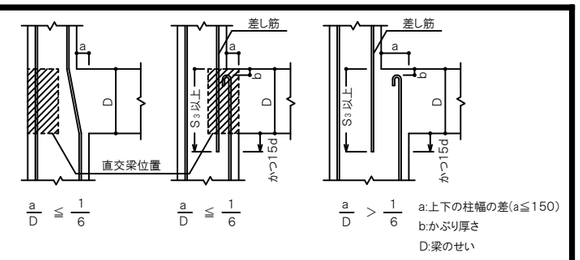
(2)柱頭定着長さ$S_3$が確保出来ない場合は、図面による。

(3)上下の柱断面が異なる場合の柱主筋の折曲げ及び定着は、3．8．2図による。

(4)柱脚定着長さ25d(余長12d以上)または35dが確保出来ない場合は、図面による。




3．8．1図 柱主筋の継手、定着及び余長




3．8．2図 上下の柱断面が異なる柱主筋の折曲げ及び定着

## 3．9 帯筋の形状

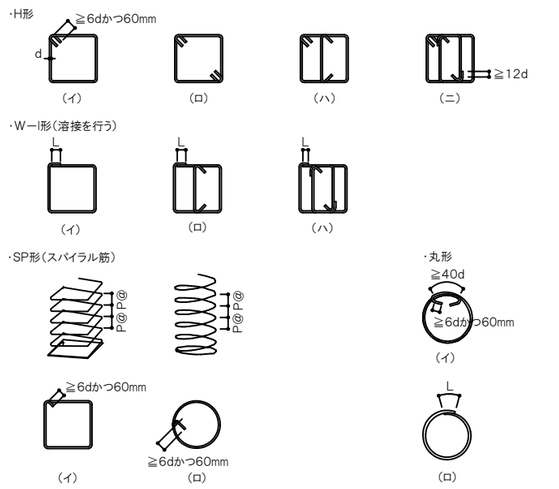
(1)帯筋の形状は、3．9．1図とし、種別は図面による。図面になければ下記による。

(a)H形とする。

(b)H形の135°曲げのフックが困難な場合は、W－Ⅰ形とする。

(c)溶接する場合の溶接長さLは、両面フレア溶接の場合は5d以上、片面フレア溶接の場合は10d以上とし、組立前に行う。

(d)SP形において、柱頭及び柱脚の端部は、1．5巻以上の添巻きを行う。



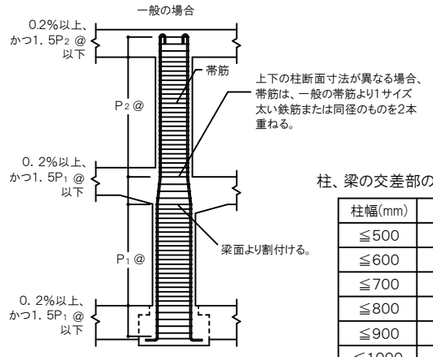

3．9．1図 帯筋組立の形

## 3．10 帯筋の割付け

(1)フック及び継手の位置は交互とする。

(2)帯筋の割付けは、3．10．1図による。ただし、図面にある場合は図面による。

(3)柱、梁の交差部(パネルゾーン)の帯筋のせん断補強比は、0．2%以上を確保し、補強筋間隔は1．5P以下とする。




3．10．1図 帯筋の割付け

柱、梁の交差部の配筋例(0．2%確保)

| 柱幅(mm) | パネルゾーン |
|---|---|
| ≦500 | D13 @150 |
| ≦600 | D13 @150 |
| ≦700 | D13 @150 |
| ≦800 | D13 @150 |
| ≦900 | D13 @125 |
| ≦1000 | D13 @125 |
| ≦1100 | D13 @100 |
| ≦1200 | D13 @100 |

※1．5$P_1$ 、1．5$P_2$ のピッチは150mm以下とする。

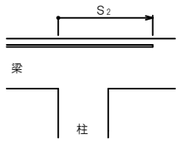
| 図面番号 | S-3 | 縮 尺 | NON |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 構造細目共通図（3） | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

# 3 土木工事

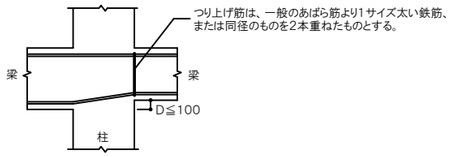
## 3. 11 大梁筋の継手及び定着

### 3. 11. 1 一般事項

(1)継ぎ手長さ、定着長さ及び余長は、3. 11. 1図から3. 11. 10図による。
(2)梁主筋は、連続端で柱に接する梁の主筋が同数のときは柱をまたいで引き通すものとし、鉄筋の本数が異なる場合には、3. 5. 2図のように柱内に定着する。ただし、やむを得ず梁内に定着する場合は、3. 11. 1図による。
(3)梁主筋を柱内に折り曲げて定着する場合は次による。
　下端筋：原則として曲げ上げる。
　上端筋：曲げ下ろす
　梁主筋ののみ込み長さは、柱せいの3/4倍以上かつ20d以上を確保する。(※1)
　梁主筋の柱内定着は、3. 5. 2図による。
(4)梁にハンチをつける場合、その傾斜は図面による。図面になければ1：4とする。
(5) ═══ 印は、継ぎ手及び余長を示す。
(6)破線は柱内定着の場合を示す。
(7)3. 2異形鉄筋の末端部で定めた鉄筋にはフックをつける。
(8)段違い梁は3. 11. 2図による。



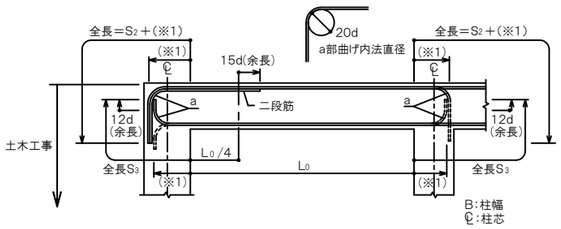

3. 11. 1図　梁主筋を梁内定着




3. 11. 2図　段違い梁

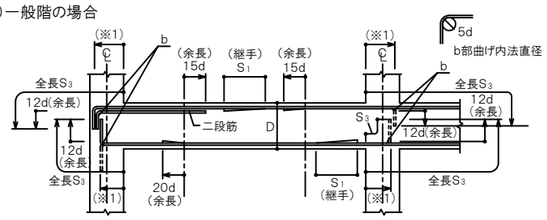
### 3. 11. 2 ハンチのない場合

(1)最上階の場合

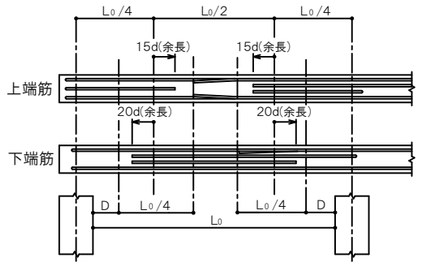



3. 11. 3図　大梁の重ね継手、定着及び余長(最上階)

(2)一般階の場合



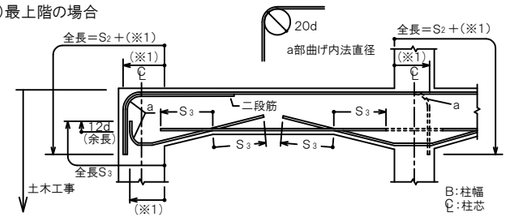

3. 11. 4図　大梁の重ね継手、定着及び余長(一般階その1)




3. 11. 5図　大梁の重ね継手、定着及び余長(一般階その2)

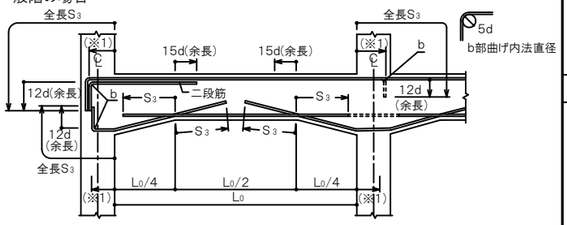
### 3. 11. 3 ハンチのある場合

(1)最上階の場合




3. 11. 6図　ハンチのある大梁の定着及び余長(最上階)

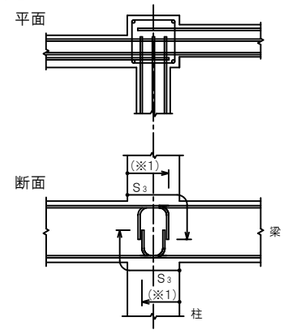
(2)一般階の場合




3. 11. 7図　ハンチのある大梁の定着及び余長(一般階)

### 3. 11. 4 水平段差のある場合

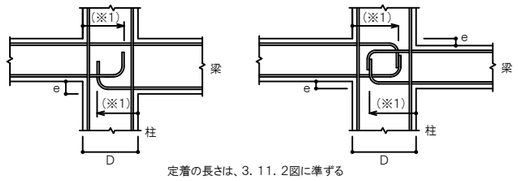
(1)水平段差のある場合




3. 11. 8図　大梁の定着及び余長(水平段差のある場合)

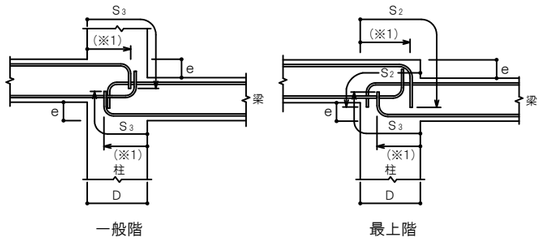
### 3. 11. 5 鉛直段差(e)のある場合

(1)e/D≦1/6の場合




3. 11. 9図　鉛直段差梁(その1)

(2)e/D＞1/6の場合




3. 11. 10図　鉛直段差梁(その2)

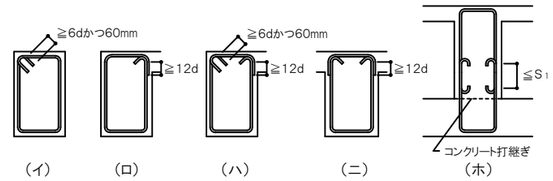
## 3. 12 梁のあばら筋、腹筋及び幅止め筋

### 3. 12. 1 一般事項

(1)腹筋に継手を設ける場合の継手長さは、150mm程度とする。
(2)壁梁の場合、腹筋の継手長さは$S_1$ 、定着長さを$S_3$とする。
(3)土圧、水圧を受ける梁は、図面による。
(4)幅止め筋及び受け用幅止め筋は、D13－1000mmピッチ程度とする。
(5)破線は柱内定着の場合を示す。

### 3. 12. 2 あばら筋組立の形及びフックの位置

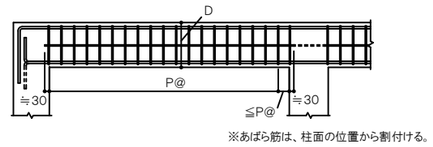
(1)形は、3. 12. 1図(イ)を標準とする。
　ただし、(イ)によることが出来ない場合は、下記の方法によることが出来る。
　a. 床版が片側に付く場合は、(ロ)又は(ハ)
　b. 床版が両側に付く場合は、(ロ)～(ニ)
(2)フックの位置
　a. (イ)の場合は交互とする。
　b. (ロ)の場合　床版が片側に付く場合は床版の付く側、床版が両側に付く場合は交互
　c. (ハ)の場合は床版の付く側を90°折曲げる。
　d. (ホ)は梁の上下にスラブが付く場合で、かつ梁せいが1. 5m以上の場合に適用することが出来る。(基礎梁)




3. 12. 1図　あばら筋組立の形及びフックの位置

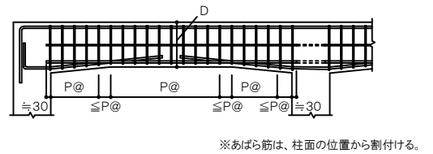
### 3. 12. 3 あばら筋の割付け

(1)間隔が一様でハンチのない場合



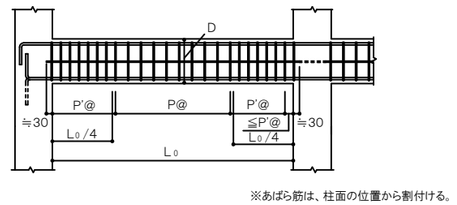

3. 12. 2図　あばら筋の割付け(その1)

(2)間隔が一様でハンチのある場合




3. 12. 3図　あばら筋の割付け(その2)

(3)梁の端部で間隔の異なる場合

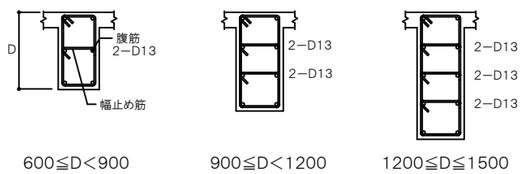



3. 12. 4図　あばら筋の割付け(その3)

### 3. 12. 4 腹筋及び幅止め筋

(1)一般の梁

a) 腹筋及び幅止め筋




3. 12. 5図　腹筋及び幅止め筋

(2)特殊な梁
腹筋及び幅止め筋は、図面による。

| 図面番号 | S-4 | 縮 尺 | NON |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 構造細目共通図（4） | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

# 3 土木工事

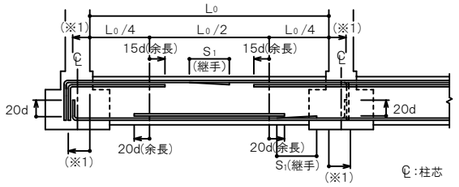
## 3．13 基礎梁及び底版の継手及び定着

### 3．13．1 一般事項

(1)梁筋は、連続端で柱に接する梁筋が同数の時は柱をまたいで引き通すものとし、鉄筋の本数が異なる場合は柱内に定着する。やむを得ず梁内に定着する場合は、3．11．1図に準ずる。
(2)梁筋を柱内に定着する場合は、3．11．1(3)による。
(3)柱幅＜梁幅の場合の定着は、3．13．3図による。
(4) ━━ 印は、継ぎ手及び余長を示す。
(5)破線は柱内定着の場合を示す。
(6)図内(※1)は、3．11．1による。

### 3．13．2 基礎梁の場合

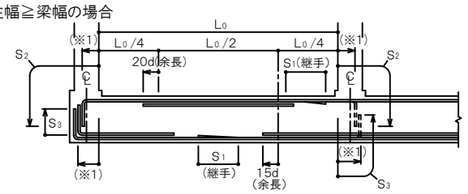
(1)基礎梁の継手及び定着




3．13．1図 主筋の継手、定着及び余長(その1)

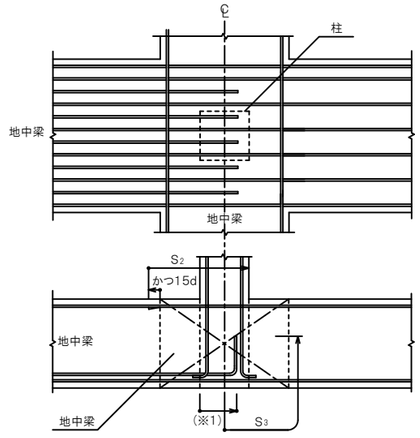
### 3．13．3 連続基礎及びべた基礎の場合

(1)柱幅≧梁幅の場合




3．13．2図 主筋の継手、定着及び余長(その2)

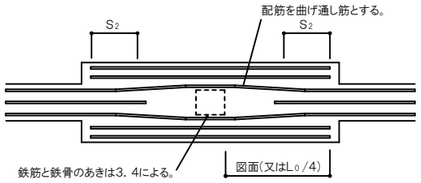
(2)柱幅＜梁幅の場合
(a)交差部のスターラップを設ける場合は、図面による。




3．13．3図 主筋の継手、定着及び余長(その3)

### 3．13．4 梁形を設けない場合の基礎底版

(1)鉄骨造のBOX柱等が埋め込まれる場合の端部と中央部の断面の異なる場合




3．13．4図 主筋の継手、定着及び余長(その4)

## 3．14 小梁及び片持梁の配筋要領

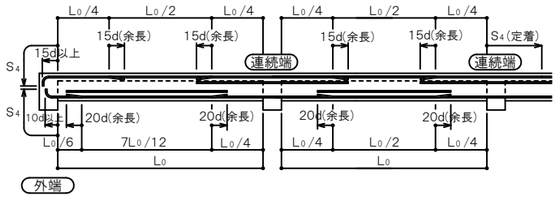
### 3．14．1 一般事項

(1)図面にない事項は大梁、梁のあばら筋、及び基礎梁の項に準ずる。
(2) ━━ 印は、余長位置を示す。

### 3．14．2 小 梁

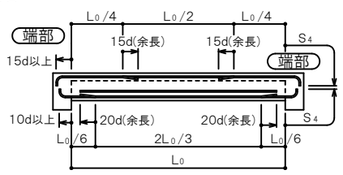
梁内の定着筋において梁せいが小さく垂直で余長が取れない場合、
斜めにしてもよい。

(1)連続小梁の場合




3．14．1図 小梁主筋の継手、定着及び余長(その1)

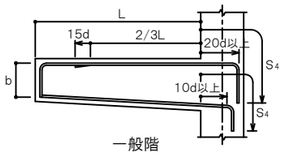
(2)単独小梁の場合




3．14．2図 小梁主筋の継手、定着及び余長(その2)

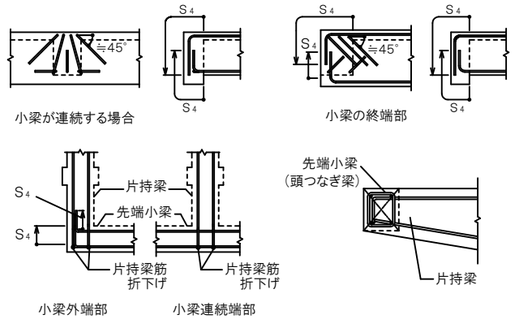
### 3．14．3 片持梁筋の定着

(1)先端に小梁のない場合
　a．先端の折曲げの長さbは、梁せいよりかぶり厚さを除いた長さとする。
　b．梁筋を引き通さない場合は、取り合い部材に定着する。ただし、柱に取り合う場合は、全数を引き通すことができる場合でも、上端筋は、2本以上を柱に定着する。




3．14．3図 片持梁主筋の定着及び余長(先端に小梁がない場合)

(2)先端に小梁がある場合
　a．上端筋は、先端小梁内に斜めに定着する。
　b．先端小梁終端部の主筋は、片持梁内に水平定着する。
　c．先端小梁の連続端は、片持梁の先端を貫通する通し筋としてよい。

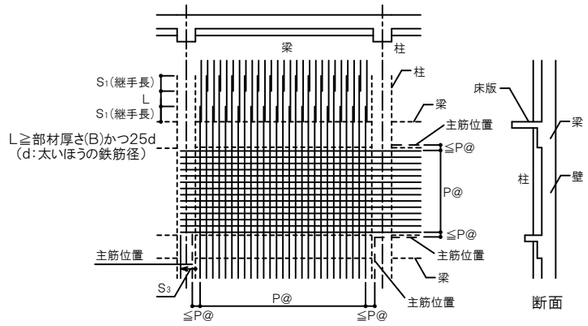



3．14．4図 片持梁主筋の定着

## 3．15 壁の配筋要領

### 3．15．1 一般事項

(1)壁配筋の継手長さを$S_1$、定着の長さは、$S_3$とする。
(2)土圧及び水圧などを受ける壁及び耐震壁として、図面に示されたものは、
　継手長さを$S_1$、定着長さを$S_2$とする。
(3)幅止め筋は、縦、横ともD13－@1000mmを標準とする。
(4)一般部壁筋は、3．15．1図によることとし、隣接する壁の鉄筋と
　重ね継手を設ける場合は、3．6項に従うものとする。



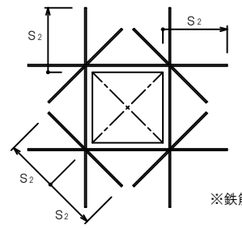

3．15．1図 壁の配筋

### 3．15．2 耐震壁の開口

(1)耐震壁等の開口は、図面以外は設けてはならない。
(2)やむを得ず開口をあける場合は、構造上安全であることを構造計算によって確認すること。

### 3．15．3 壁開口部の補強

(1)壁開口部の補強は、図面による。補強筋の長さ及び位置は、3．15．2図
　を標準とする。



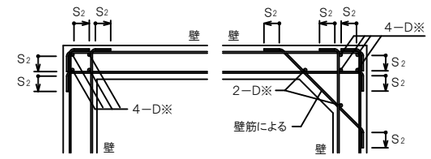

※鉄筋径及び本数は、図面による

3．15．2図 壁開口部の補強要領

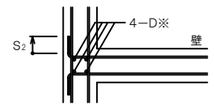
(2)開口寸法が配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋出来るを場合は、補強筋を省略することができる。

### 3．15．4 壁の交差部及び端部

(1)壁と壁の交差部は3．15．3図による。
　a．交差部補強筋径D※はD16以上、かつ壁配力筋と同径とする。




一般の場合のL形交差部　　ハンチを設け定着した場合のL形交差部

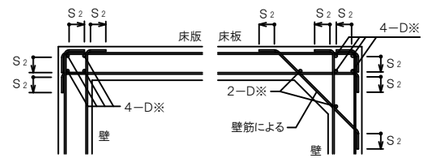



一般の場合のT形交差部

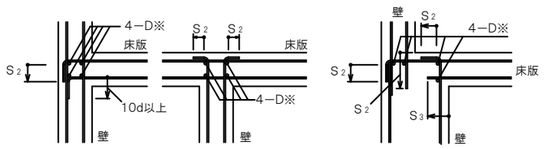
※ハンチ筋を設ける場合の配筋は、図面に指示がない場合は$S_2$を省略し、ハンチ筋は直筋とすることができる。図面に指示がある場合は、曲げ加工後に定着長$S_2$を確保する。定着長$S_2$は、いずれの場合も曲げ加工後の直線部にて確保する。

3．15．3図 壁と壁の交差部及び端部の配筋

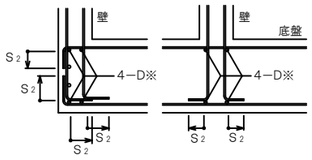
(2)壁と床版の交差部は3．15．4図による。
　a．交差部補強筋径D※はD16以上、かつ壁配力筋と同径とする。




一般で最上階の交差部　　ハンチを設け定着した場合の最上階の交差部




(1) 中間部の交差部　　(2) 中間部の交差部　　(3) 中間部の交差部




最下階の交差部　　最下階中間部の交差部

※ハンチ筋を設ける場合の配筋は、図面に指示がない場合は$S_2$を省略し、ハンチ筋は直筋とすることができる。図面に指示がある場合は、曲げ加工後に定着長$S_2$を確保する。定着長$S_2$は、いずれの場合も曲げ加工後の直線部にて確保する。

3．15．4図 壁と床の交差部及び端部の配筋

※3．15．4図は、柱梁構造の場合である。地下階が壁式構造の場合は、
構造細目共通図(土木構造物)(2)の「6．1．4 壁と床版･底板の交差部」
を参照のこと。

| 図面番号 | S-5 | 縮 尺 | NON |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 構造細目共通図（5） | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

# 3 土木工事

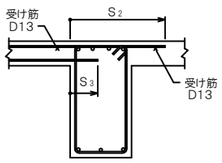
## 3．18 床の配筋要領

3．18．1 一般事項

(1)鉄筋の継手長さは、$S_1$とする。

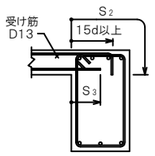
(2)ラーメン構造の床版の定着長さ及び受け筋は、3．18．1図による。ただし、引き通すことができない場合は、3．18．2図、3．18．3図により梁内に定着する。
なお、スラブ筋の場合は、3．18．1図～3．18．3図の定着長さ$S_2$、$S_3$を、$S_4$と読み替える。

(3)基礎梁と床版を一体打ちとしないで、打ち継ぎを設ける場合の補強は図面による。
図面になければ3．20．5図による。

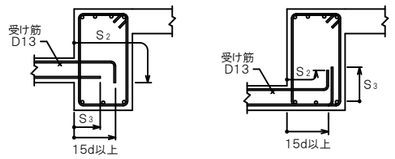



一般部

3．18．1図 床版筋の定着長さ及び受け筋(その1)




3．18．2図 床版筋の定着長さ及び受け筋(その2)

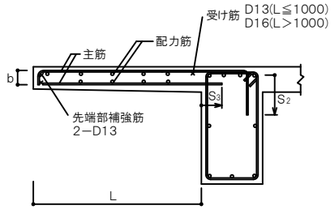



一般床版

3．18．3図 床版筋の定着長さ及び受け筋(その3)

3．18．2 片持床版

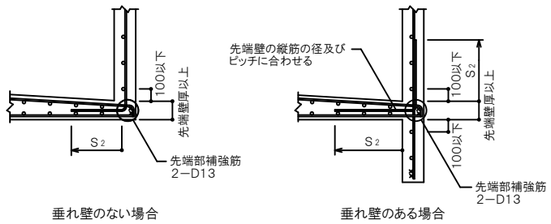
(1)片持床版の配筋




※片持スラブの場合は、3．18．4図及び図3．18．5図の定着長さ$S_2$、$S_3$を、$S_4$と読み替える。
※先端の折り曲げ長さbは、片持部材の厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。
※床版に段差のない場合は、主筋を引き通して床版またはスラブに定着してもよい。

3．18．4図 片持床版の配筋

(2)先端に小梁がなく壁が取り付く場合




垂れ壁のない場合　　垂れ壁のある場合

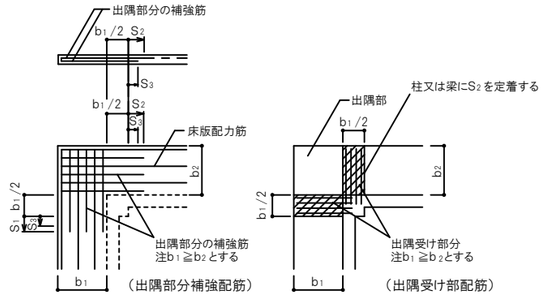
3．18．5図 先端に壁が付く場合の配筋

3．18．3 出隅部の配筋方法

(1)補強の配筋は図面による。配筋方法は、3．18．6図による。特記にない場合は、D13@100ダブル程度とする。

(2)出隅受け部分(図のハッチ部分)の配筋は、図面(幅は$b_1$/2とする)による。

(3)片持スラブの場合は、3．18．6図の定着長さ$S_2$、$S_3$を、$S_4$と読み替える。

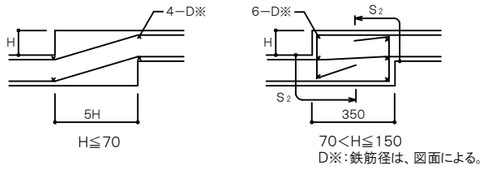



3．18．6図 片持床版出隅部の補強配筋

3．18．4 段差床版の補強

(1)同一床版に段差がある場合、3．18．7図の補強を行う。ただし、H＞150の場合は、小梁を設ける事を原則とする。

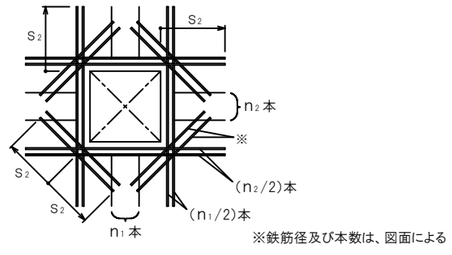
(2)段差スラブの場合は、3．18．7図の定着長さ$S_2$、$S_3$を、$S_4$と読み替える。




3．18．7図 段差のある床版の補強配筋

3．18．5 床版及びスラブ開口部の補強

(1)開口の最大径≦700の場合は、開口によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、隅角部には、斜め方向に主筋径以上の鉄筋2本を上下筋の内側に配筋する(3．18．8図)。
開口の最大径＞700の場合は図面による。



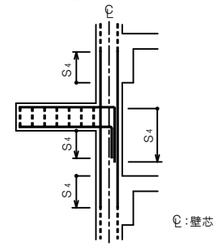

3．18．8図 床版及びスラブ開口部の補強配筋

(2)開口寸法が配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋を出来る場合は、補強筋を省略することができる。

## 3．19 階段の配筋要領

(1)壁配筋は、図面による。

(2)階段主筋は、壁の中心線を越えてから縦に曲げ降ろす。

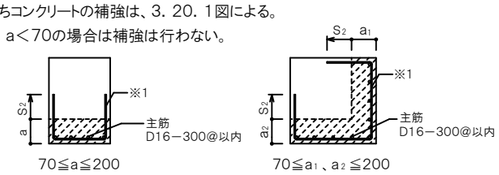



3．19．1図 片持スラブ形階段配筋の定着

## 3．20 柱及び梁の増し打ち要領

3．20．1 柱

(1)増し打ちコンクリートの補強は、3．20．1図による。
ただし、a＜70の場合は補強は行わない。




※1．帯筋と同径・同ピッチとする。

3．20．1図 柱の増し打ち補強配筋

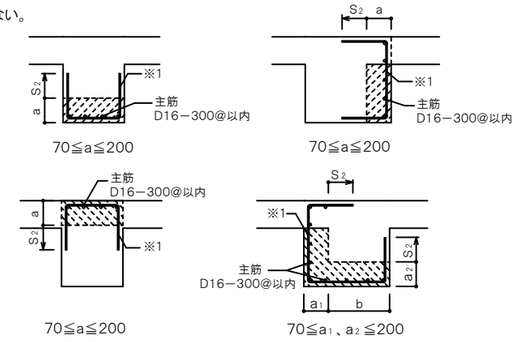
(2)増し打ち部分での鉄筋は、定着長さとして認めない。ただし、躯体と一体打ちの場合を除く。

(3)増し打ち部分の帯筋の定着長さは、$S_2$以上とする。

(4)増し打ち部分主筋の定着，重ね長さは、柱の主筋による。

3．20．2 梁

(1)増し打ちコンクリートの補強は、3．20．2図による。ただし、a＜70の場合、補強は行わない。




※1．あばら筋と同径・同ピッチとする。

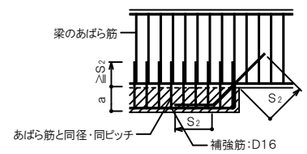
3．20．2図 梁の増し打ち補強配筋

(2)増し打ち部分での鉄筋は、定着長さとして認めない。ただし、躯体と一体打ちの場合を除く。

(3)増し打ち部分のあばら筋の定着長さは、$S_2$以上とする。

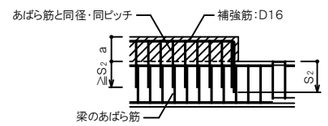
(4)増し打ち部分の主筋の定着、重ね長さは、梁の主筋による。

(5)梁の上下の増し打ちが途中で終わる場合。




3．20．3図 梁の上下の増し打ち補強配筋(途中で終わる場合)

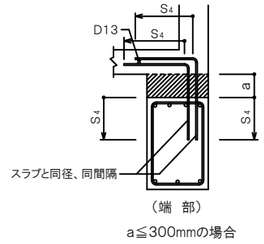
(6)梁の側面の増し打ちが途中で終わる場合。




3．20．4図 梁の側面の増し打ち補強配筋(途中で終わる場合)

3．20．3 土間スラブの打継ぎ補強

(1)基礎梁とスラブを一体打ちとしないで、打ち継ぎを設ける場合。



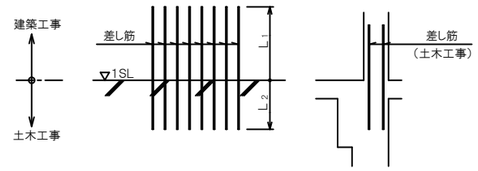

3．20．5図 土間スラブの打継ぎ補強配筋(ダブル)

## 3．21 土木部分と建築部分の取り合い

3．21．1 壁縦筋の取り合い

(1)差し筋の仕様は建築工事仕様とする。(径は図面による)

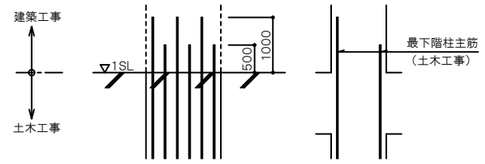
(2)$L_1$及び$L_2$は4．5．1表による。




3．21．1図 壁縦筋の取り合い差し筋

3．21．2 柱主筋の取り合い

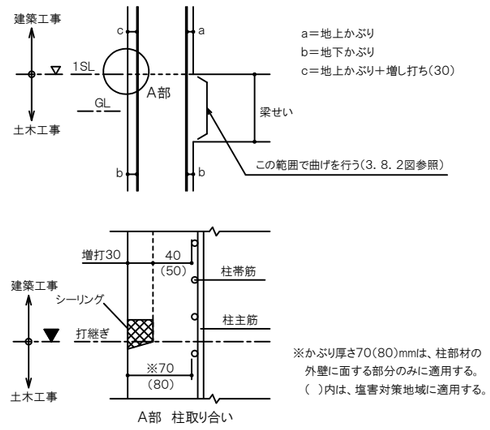
(1)最上部の柱主筋は、1階建築部分の柱断面に応じ、3．21．2図の圧接位置まで延ばすこと。




3．21．2図 柱主筋の取り合い差し筋

3．21．3 柱主筋かぶり厚の取り合い

(1)土木工事の外壁に面する柱主筋のかぶりは、3．3．1表によらず、3．21．3図による。




3．21．3図 柱主筋かぶり厚の取り合い

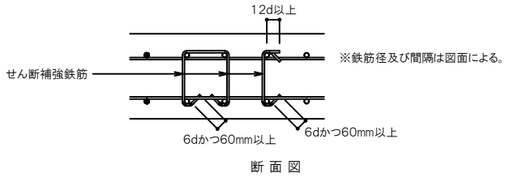
| 図面番号 | S-6 | 縮 尺 | NON |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 構造細目共通図（6） | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

# 3 土木工事

## 3. 23 せん断補強鉄筋

3. 23. 1 底版、床版

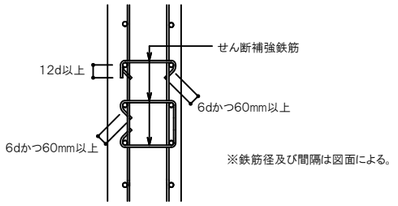
(1)底版、床版のせん断補強要領は3. 23. 1図及び3. 23. 3図による。



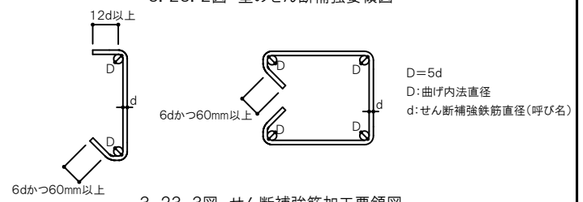

3. 23. 1図 底版、床版のせん断補強要領図

3. 23. 2 壁

(1)壁のせん断補強要領は3. 23. 2図及び3. 23. 3図による。




3. 23. 2図 壁のせん断補強要領図




3. 23. 3図 せん断補強筋加工要領図

## 3. 24 杭基礎の補強

3. 24. 1 一般事項

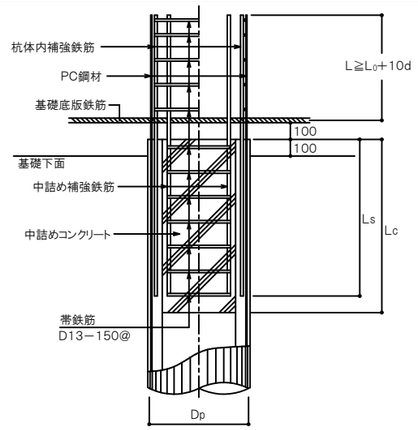
(1)補強鉄筋にSD390またはSD490を用いる場合、中詰めコンクリート及び補強鉄筋が定着する基礎底版コンクリートの設計基準強度を30N/mm$^2$以上とする。

(2)鉄筋種別、径・本数は、図面による。

(3)杭基礎の補強鉄筋の定着長$L_0$は、主筋の材質がSD345およびSD390では35d以上、SD490では41d以上とする。

(4)杭頭補強鉄筋が底版厚より長くなる場合は、3. 24. 6図による。

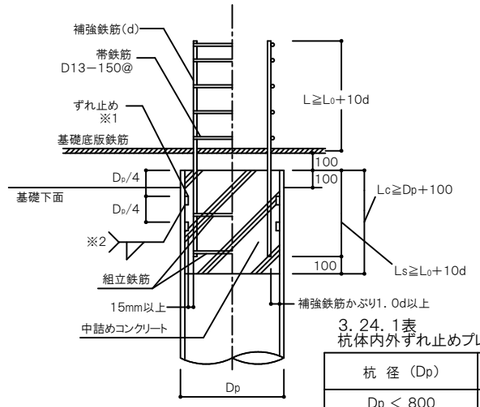
(5)杭体内補強鉄筋は必要に応じ配置する。




| 杭頭処理形態 | | Type B |
|---|---|---|
| カットオフする場合 | 鉄筋 | Ls≧50φ＋$L_0$+10d |
| | コンクリート | Lc≧2. 5Dp＋100、かつ50φ＋$L_0$＋10d＋(かぶり100) |
| カットオフしない場合 | 鉄筋 | Ls≧$L_0$+10d |
| | コンクリート | Lc≧2. 5Dp＋100、かつ$L_0$＋10d＋(かぶり100) |

注1. φは、PC鋼材径とする。

3. 24. 1図 PHC杭の杭頭補強



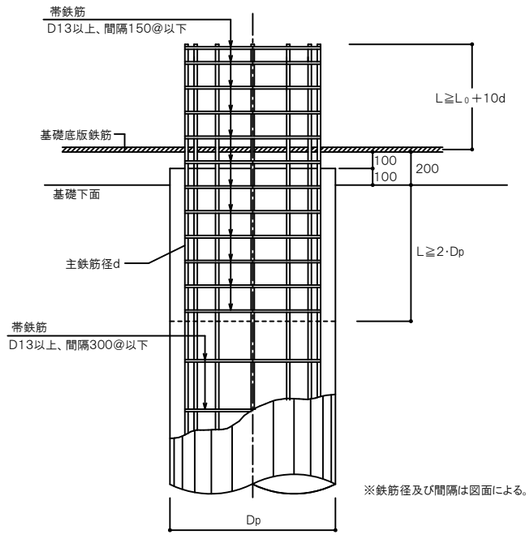

※1:ずれ止めの大きさは、3. 24. 1表による。
※2:全周現場すみ肉溶接

3. 24. 1表
杭体内外ずれ止めプレートの肉厚

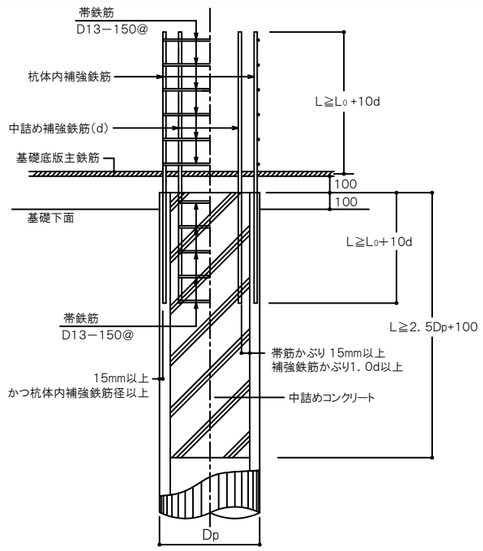
| 杭 径 (Dp) | ずれ止め厚さ |
|---|---|
| Dp ＜ 800 | 9 |
| 800≦ Dp ＜1200 | 12 |
| 1200≦ Dp ＜1500 | 16 |

※材質はSS400

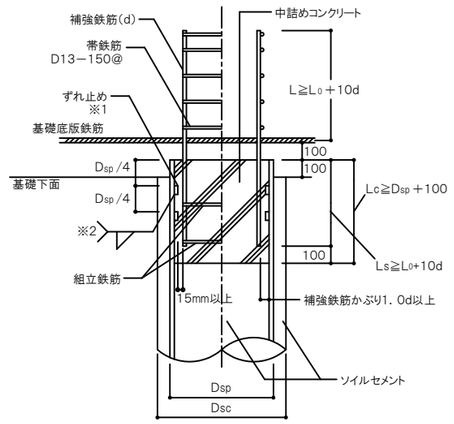
3. 24. 2図 鋼管杭の杭頭補強




3. 24. 3図 場所打ち杭の杭頭補強

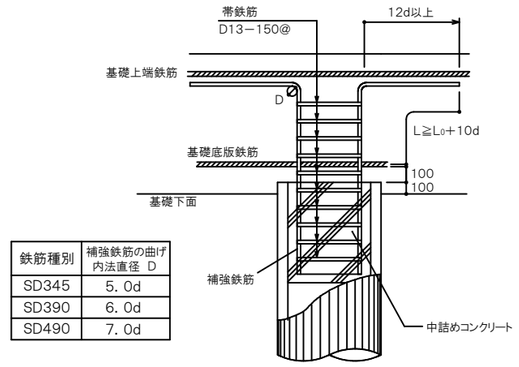



3. 24. 4図 SC杭の杭頭補強




※1:ずれ止めの大きさは、3. 24. 1表による。
※2:全周現場すみ肉溶接

3. 24. 5図 鋼管ソイルセメント杭の杭頭補強



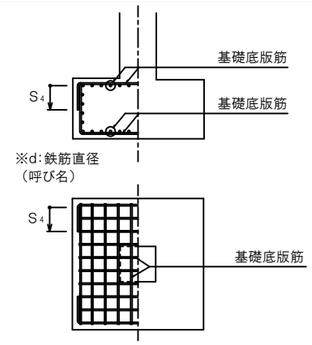

| 鉄筋種別 | 補強鉄筋の曲げ内法直径 D |
|---|---|
| SD345 | 5. 0d |
| SD390 | 6. 0d |
| SD490 | 7. 0d |

3. 24. 6図 杭頭補強筋が底版厚より長くなる場合の杭頭補強

## 3. 25 独立基礎の補強

3. 25. 1 フーチングの補強

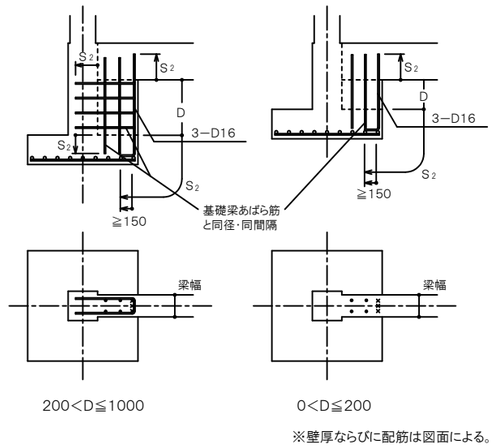
(1)補強方法は図面による。




3. 25. 1図 独立基礎の補強配筋

(2)基礎底版筋の配筋は、図面による。

3. 25. 2 基礎接合部の補強



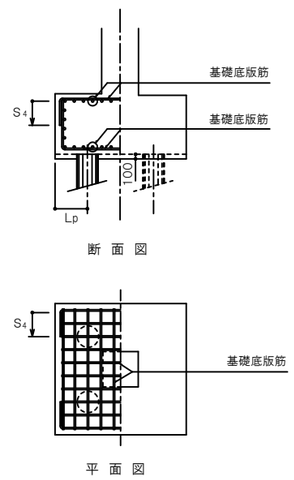

3. 25. 2図 基礎接合部の補強配筋

3. 25. 3 杭基礎の場合のフーチング配筋方法

(1)杭基礎の場合のフーチング配筋方法は、3. 25. 3図とする。

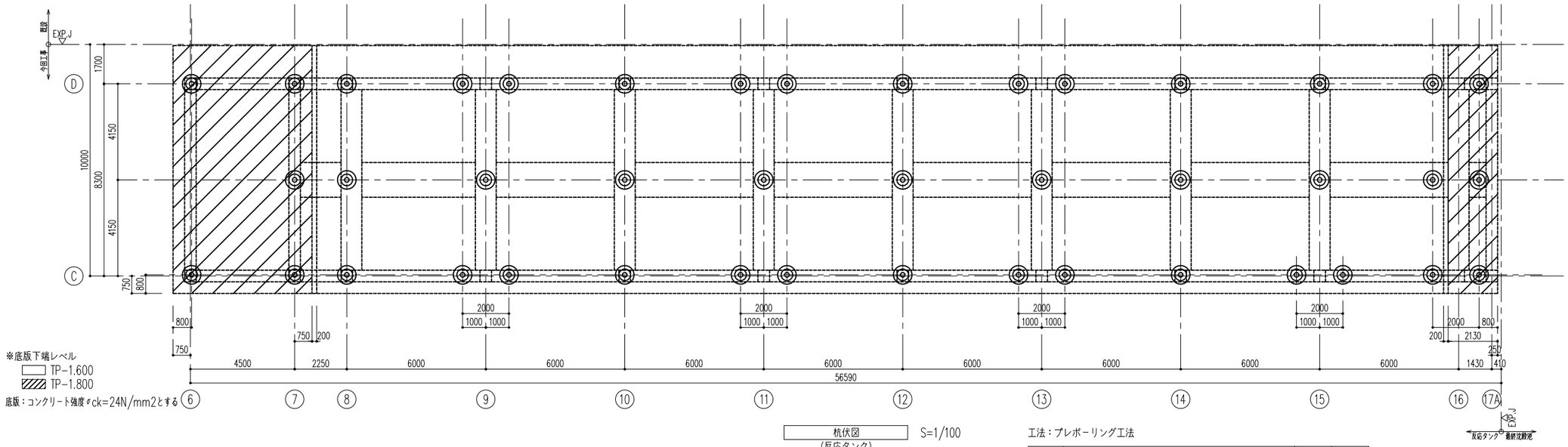
(2)杭頭処理の方法は、3. 24項に基づくものとする。

(3)杭芯とフーチング外端面との距離(Lp)は、場所打杭、打込み杭、埋め込み杭は1. 0D(Dは杭径)以上とする。




3. 25. 3図 杭基礎の場合のフーチング配筋方法

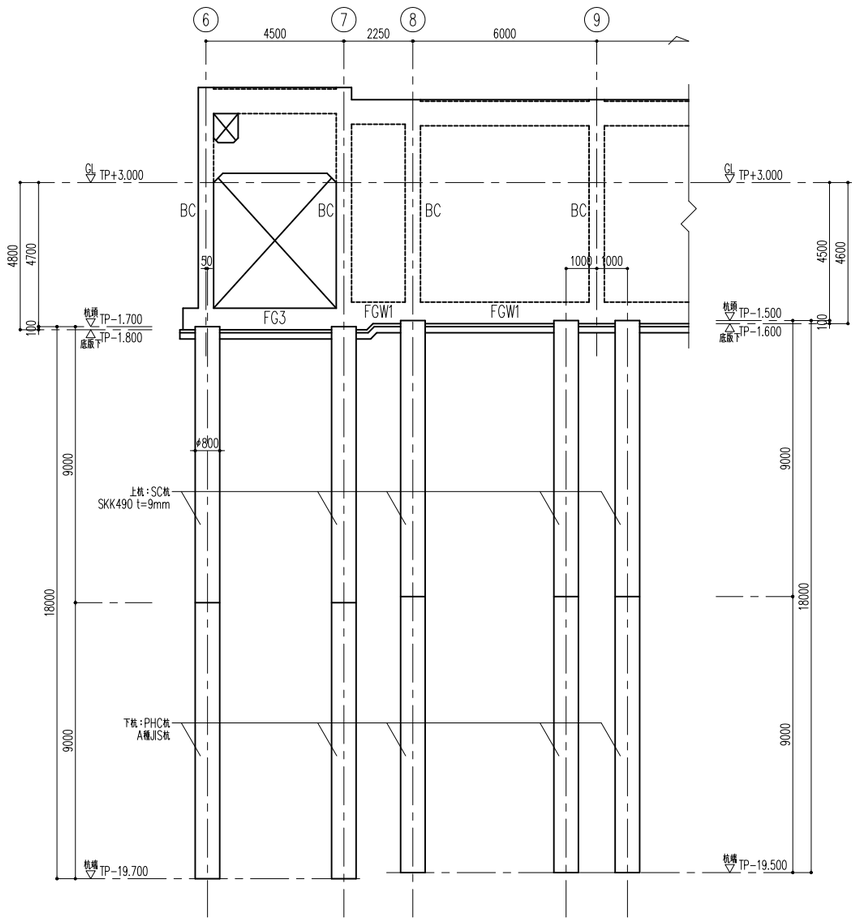
| 図面番号 | S-7 | 縮 尺 | A1-1:100, 20 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 反応タンク<br>杭伏図、杭断面図、杭頭補強詳細図 | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |




杭伏図　S=1/100
（反応タンク）

工法：プレボーリング工法

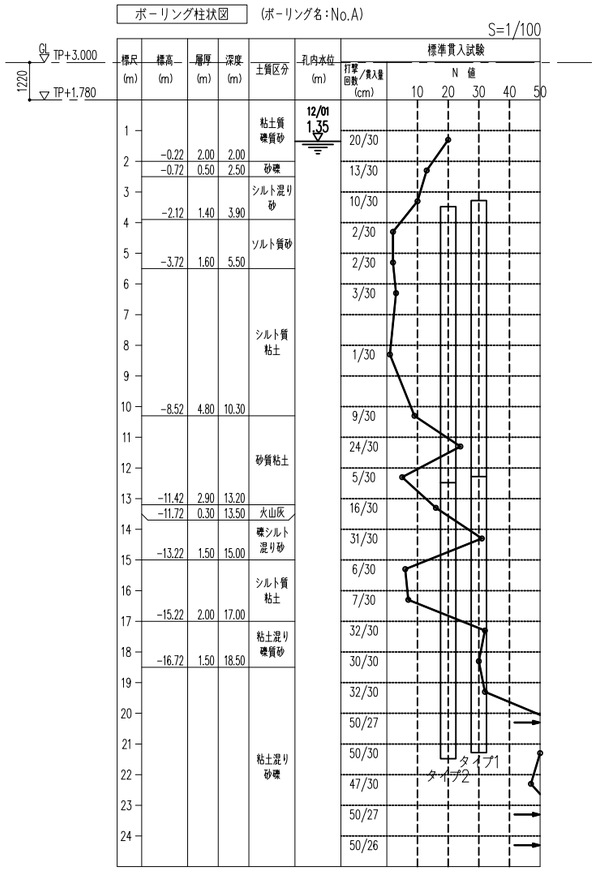
| 記号 | 杭　種 | 杭 長 | 本 数 |
|---|---|---|---|
| ◎ | 上杭：φ800 SC SKK490 t=9mm ： 9m<br>下杭：φ800 PHC A種 JIS杭 ： 9m | 18m | 42本 |
| | 杭セット数合計 | | 42組 |



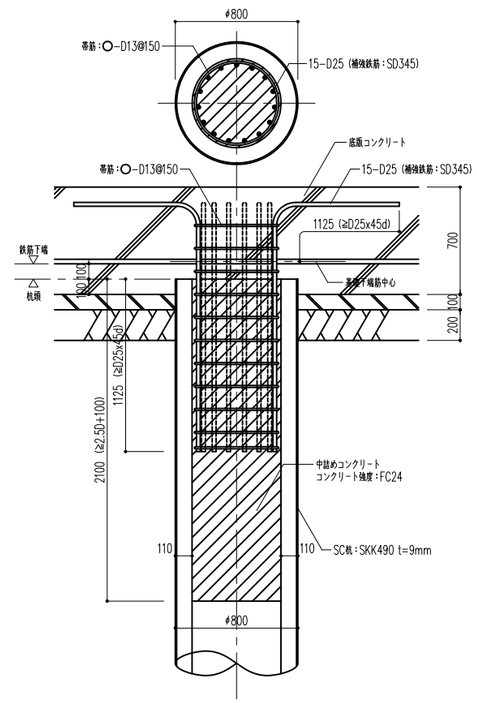

杭断面図　S=1/100
（反応タンク）

ボーリング柱状図　（ボーリング名：No.A）

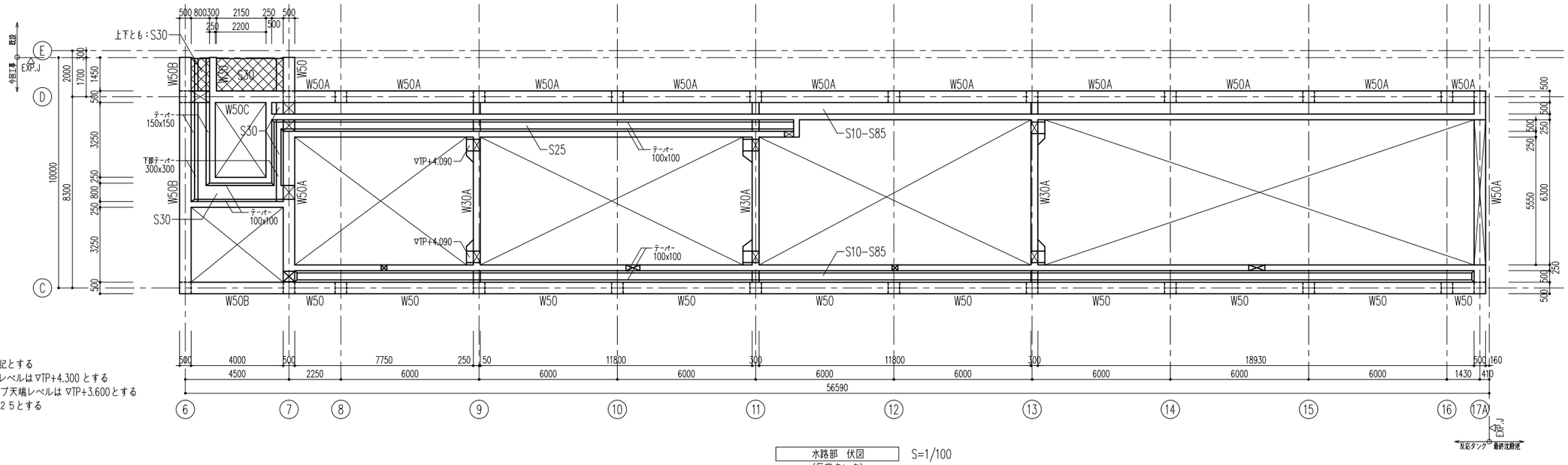
S=1/100




杭頭補強詳細図　S=1/20
（反応タンク）

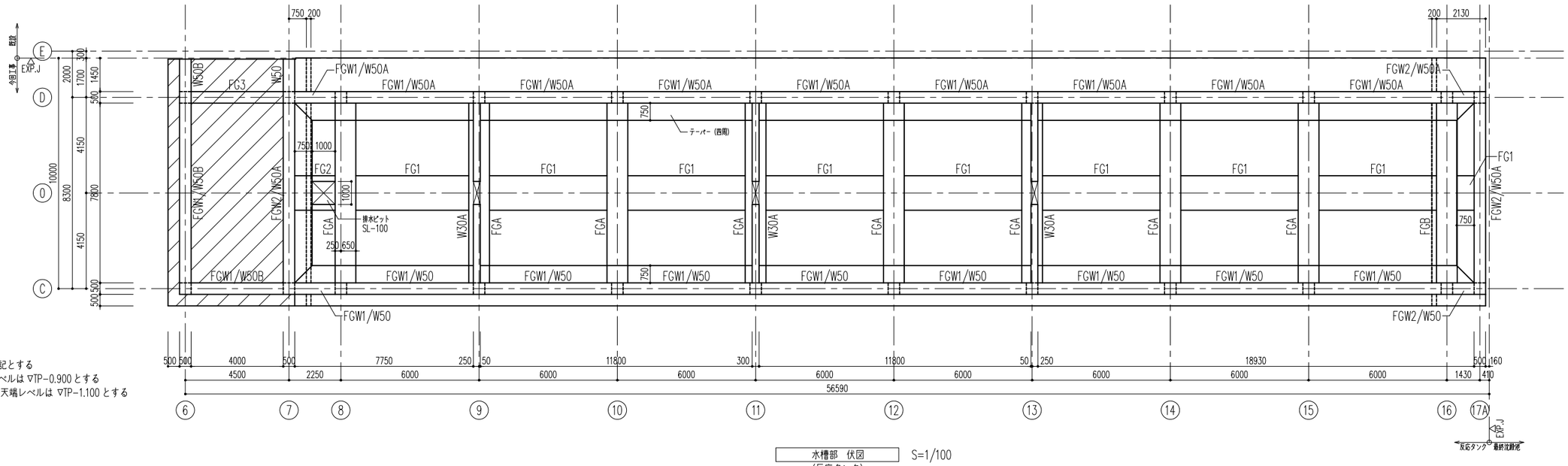


| 図面番号 | S-8 | 縮 尺 | A1-1:100 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 反応タンク　伏図(1) | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |



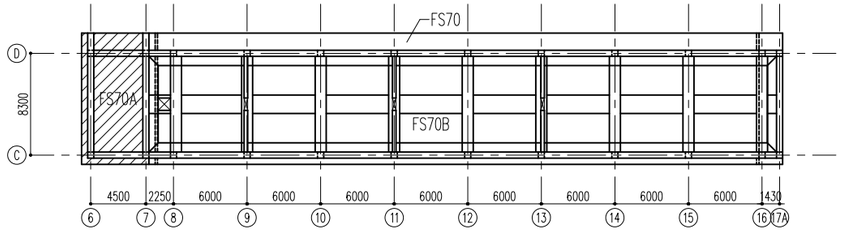

※特記なき限り下記とする
1）スラブ天端レベルは▽TP+4.300 とする
　　スラブ天端レベルは ▽TP+3.600とする
2）壁符号はＷ２５とする

水路部　伏図
（反応タンク）
S=1/100

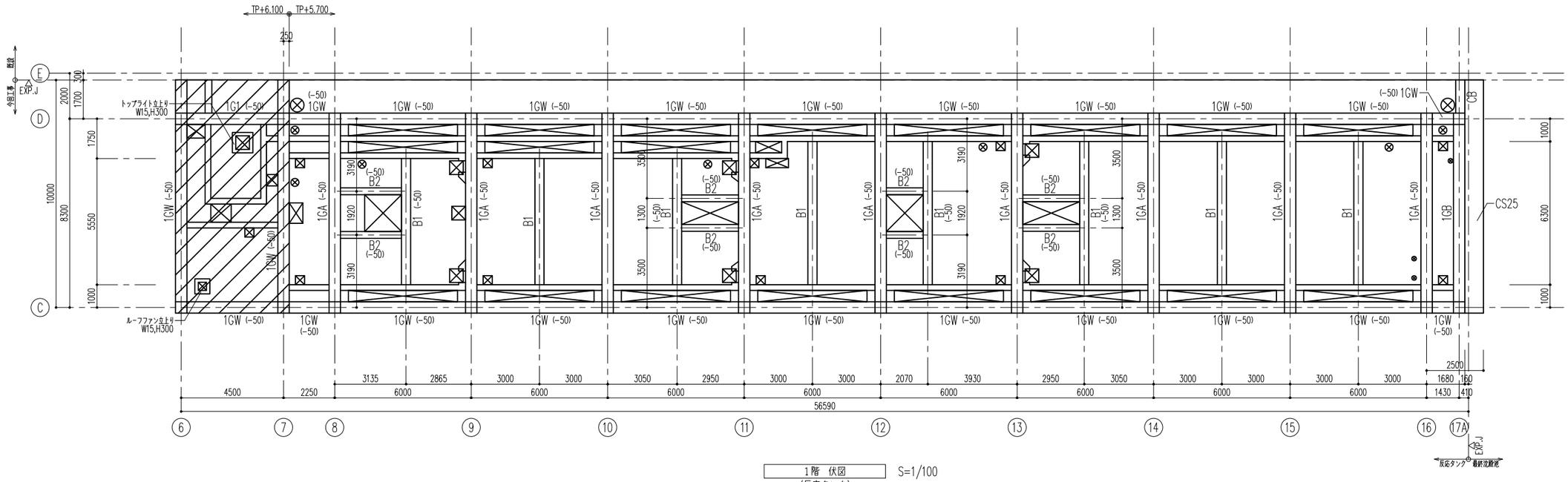



※特記なき限り下記とする
1）底版天端レベルは ▽TP-0.900 とする
　　底版天端レベルは ▽TP-1.100 とする

水槽部　伏図
（反応タンク）
S=1/100



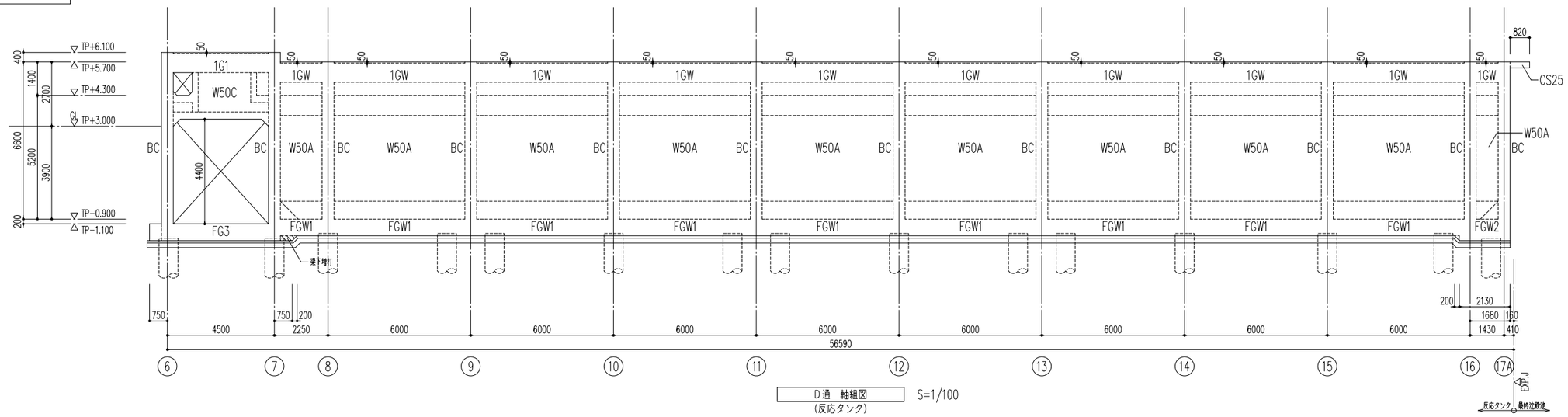
| 図面番号 | S-9 | 縮 尺 | A1-1:100 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 反応タンク　伏図(2) | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |



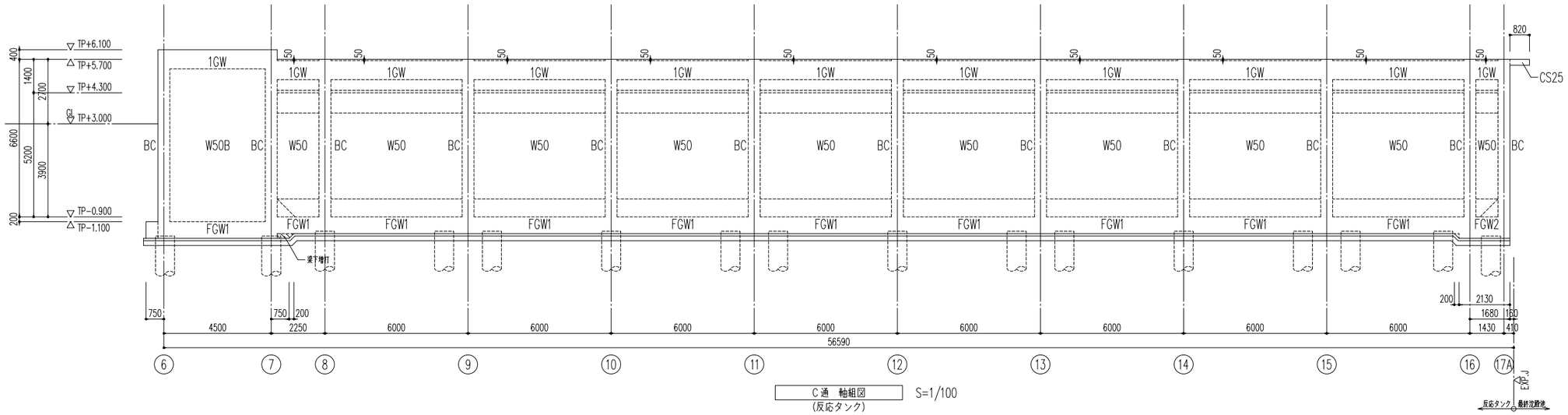

1階　伏図　S=1/100
（反応タンク）

※特記なき限り下記とする
1）スラブ天端レベルは▽TP+5.700 とする
▨ スラブ天端レベルは ▽TP+6.100 とする
2）スラブ符号はＳ２５とする

| 図面番号 | S-10 | 縮 尺 | A1-1:100 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 反応タンク　軸組図(1) | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |



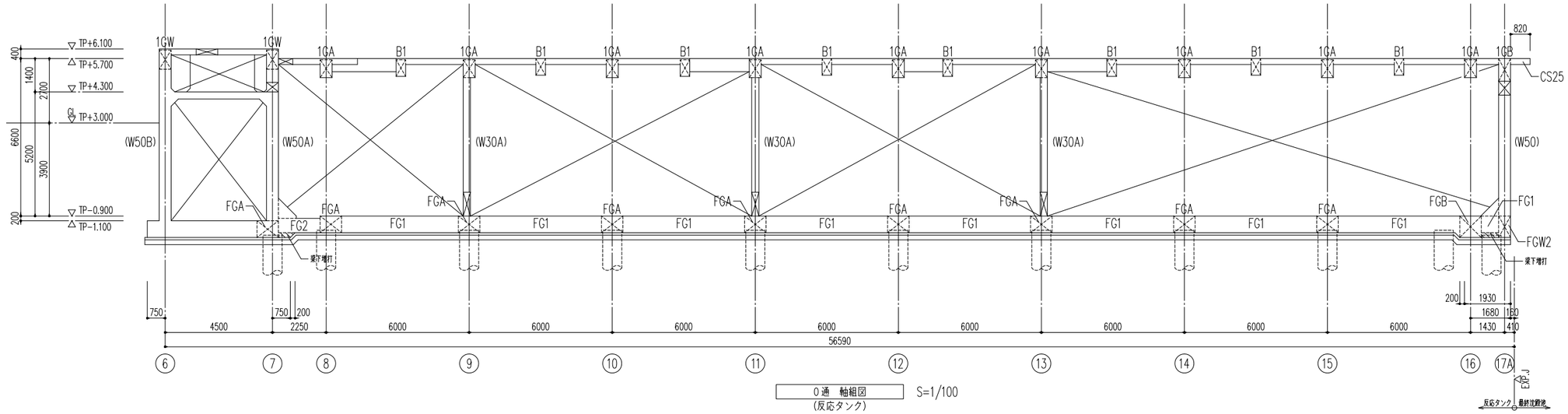

D通　軸組図　S=1/100
(反応タンク)



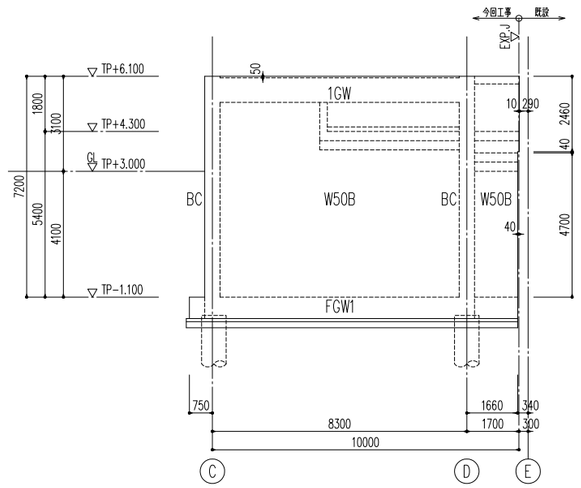

C通　軸組図　S=1/100
(反応タンク)

※特記なき限り下記とする
1）捨てＣｔ＝１００、砕石ｔ＝２００とする
2）コンクリート強度は、ＦＣ２４とする

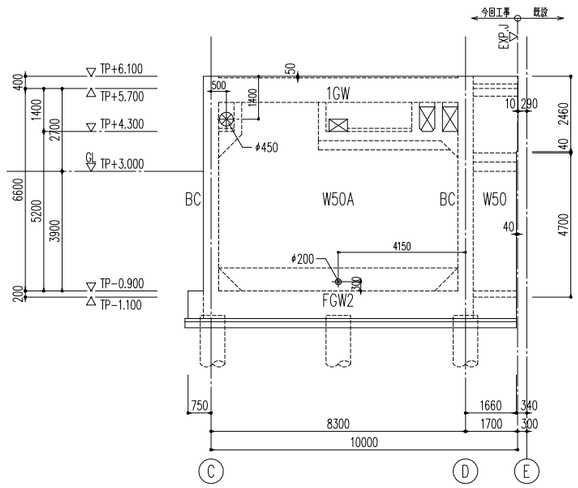
| 図面番号 | S-11 | 縮 尺 | A1-1:100 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 反応タンク　軸組図(2) | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |



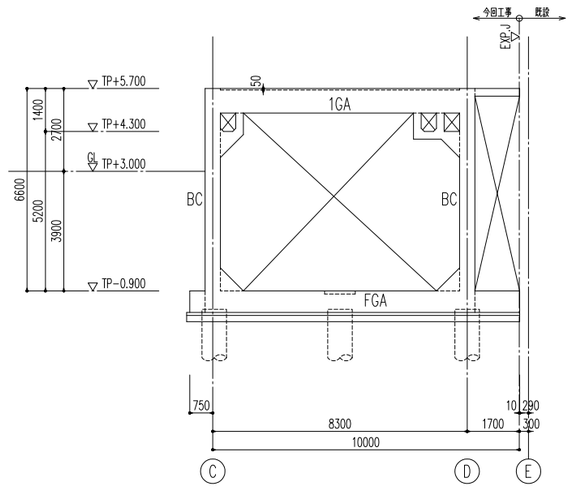

０通　軸組図
(反応タンク)
S=1/100




６通　軸組図
(反応タンク)
S=1/100



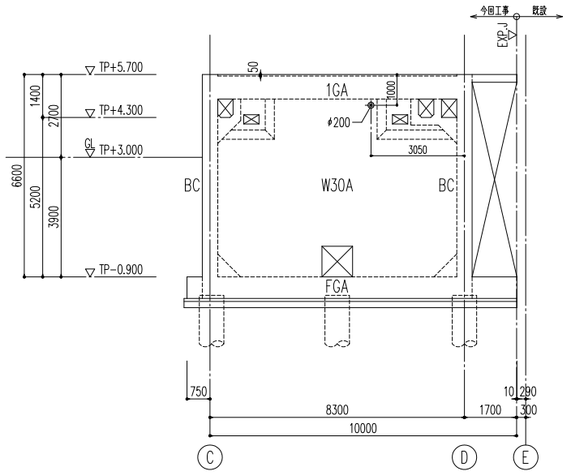

７通　軸組図
(反応タンク)
S=1/100



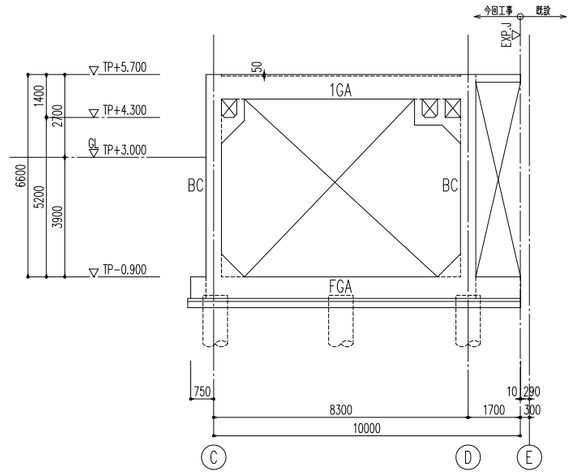

８通　軸組図
(反応タンク)
S=1/100

※特記なき限り下記とする
1）捨てＣｔ＝１００、砕石ｔ＝２００とする
2）コンクリート強度は、ＦＣ２４とする

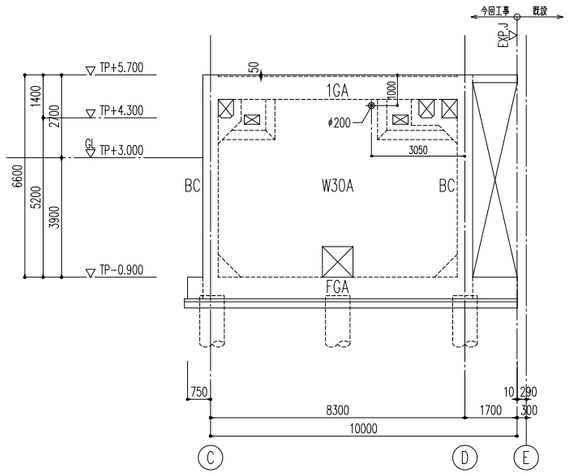
| 図面番号 | S-12 | 縮 尺 | A1-1:100 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 反応タンク　軸組図(3) | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |



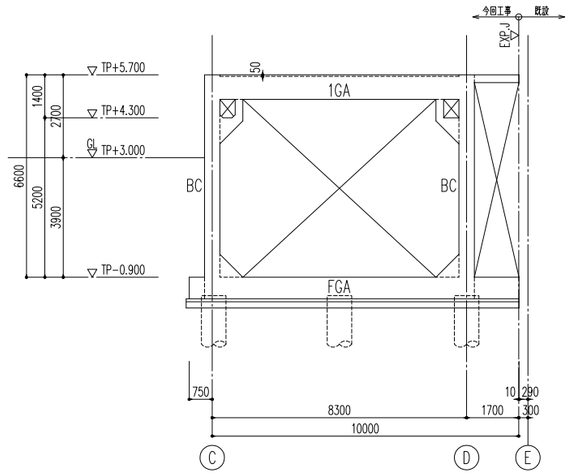

９通　軸組図　S=1/100
（反応タンク）



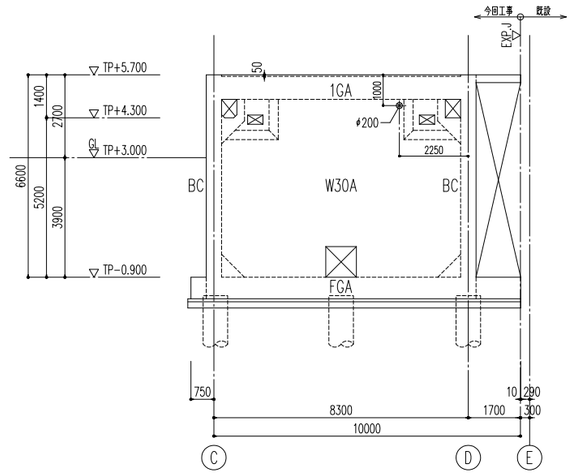

１０通　軸組図　S=1/100
（反応タンク）



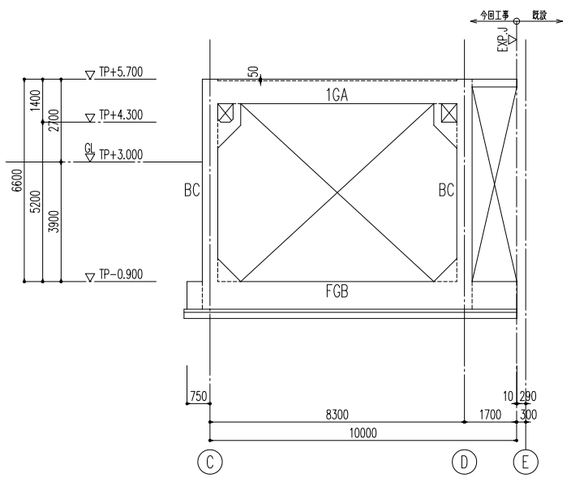

１１通　軸組図　S=1/100
（反応タンク）



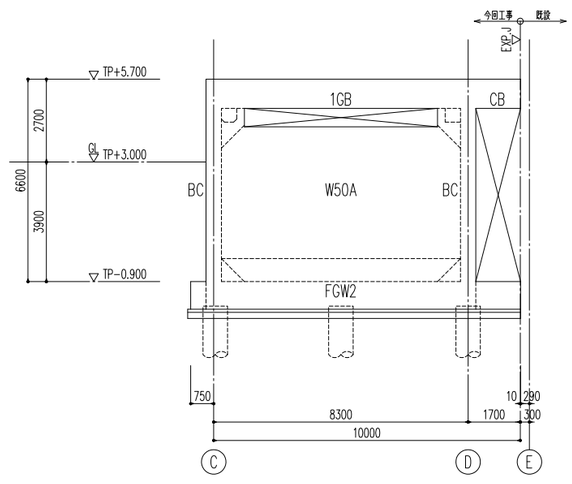

１２･１４･１５通　軸組図　S=1/100
（反応タンク）




１３通　軸組図　S=1/100
（反応タンク）



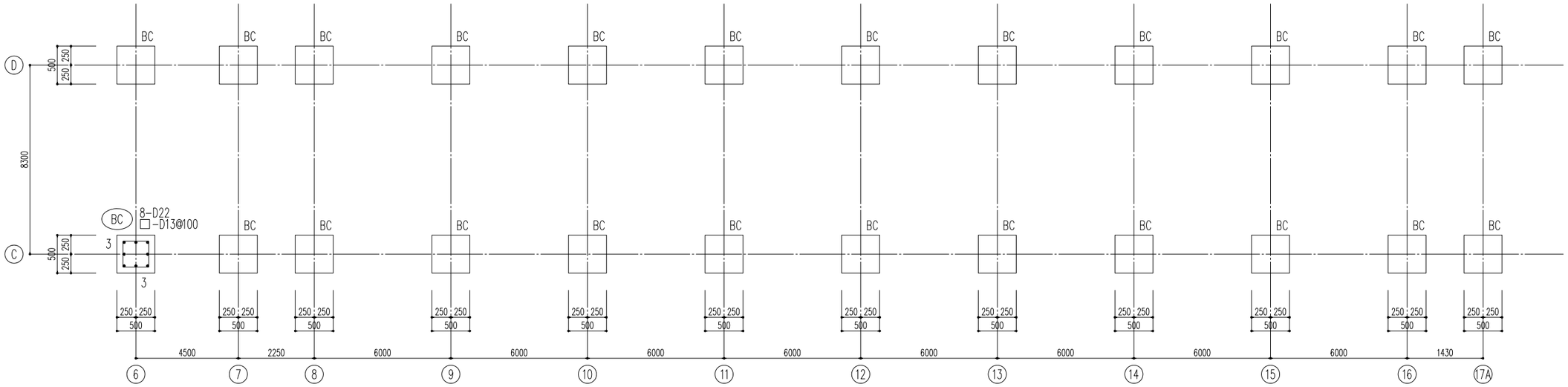

１６通　軸組図　S=1/100
（反応タンク）




１７Ａ通　軸組図　S=1/100
（反応タンク）

※特記なき限り下記とする
　1）捨てＣｔ＝１００、砕石ｔ＝２００とする
　2）コンクリート強度は、ＦＣ２４とする

| 図面番号 | S-13 | 縮 尺 | A1-1:30 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 反応タンク　柱リスト | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

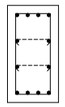
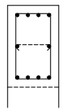


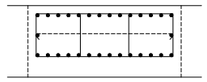
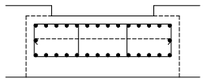
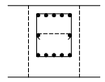
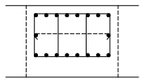
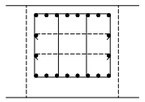
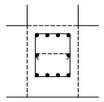
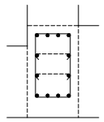

柱リスト
（反応タンク）
S=1/30

| 図面番号 | S-14 | 縮 尺 | A1-1:30 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 反応タンク　各リスト | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

## 大梁リスト （反応タンク） S=1/30

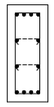
巾止筋：D13@1000

| 符　号 | 1G1 | 1GA | 1GB | 1GW | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 位　置 | 全断面 | 全断面 | 全断面 | 全断面 | | | |
| 1　階 | | |  |  | | | |
| B x D | 500x800 | 500x750 | 500x950 | 500x800 | | | |
| 上端筋 | 4-D25 | 4-D25 | 4-D25 | 4-D25 | | | |
| 下端筋 | 4-D25 | 4-D25 | 4-D25 | 4-D25 | | | |
| 腹　筋 | 2-D13 | 2-D13 | 4-D13 | 2-D13 | | | |
| あばら筋 | □-D13@200 | □-D13@200 | □-D13@200 | □-D13@200 | | | |

| 符　号 | FG1 | FG2 | FG3 | FGA | FGB | FGW1 | FGW2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 位　置 | 全断面 | 全断面 | 全断面 | 全断面 | 全断面 | 全断面 | 全断面 |
| B　階 |  |  |  |  |  |  |  |
| B x D | 1500x700 | 1500x600 | 500x700 | 900x700 | 900x900 | 500x700 | 500x900 |
| 上端筋 | 14-D29 | 14-D29 | 5-D25 | 8-D25 | 8-D25 | 4-D22 | 4-D22 |
| 下端筋 | 14-D29 | 14-D29 | 5-D25 | 8-D25 | 8-D25 | 4-D22 | 4-D22 |
| 腹　筋 | 2-D13 | 2-D13 | 2-D13 | 2-D13 | 4-D13 | 2-D13 | 4-D13 |
| あばら筋 | 四(4) -D16@100 | 四(4) -D16@100 | □-D16@200 | 四(4) -D16@200 | 四(4) -D16@200 | □-D13@200 | □-D13@200 |

## 小梁リスト （反応タンク） S=1/30

巾止筋：D13@1000

| 符　号 | B1 | B2 | CB |
|---|---|---|---|
| 位　置 | 全断面 | 全断面 | 全断面 |
| 断　面 | | |  |
| B x D | 400x700 | 300x500 | 400x950 |
| 上端筋 | 3-D22 | 3-D19 | 4-D22 |
| 下端筋 | 3-D22 | 3-D19 | 4-D22 |
| 腹　筋 | 2-D13 | --- | 4-D13 |
| あばら筋 | □-D13@200 | □-D13@200 | □-D13@200 |

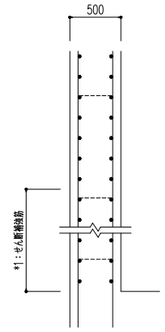
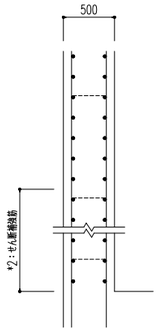
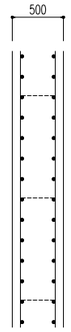
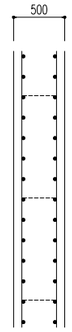
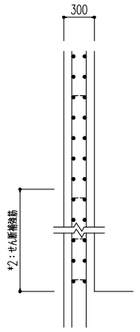
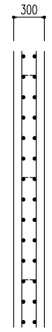
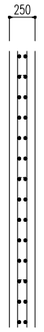
## スラブリスト （反応タンク）

巾止筋：D13@1000

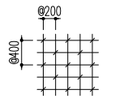
| 符　号 | 版　厚 | 位　置 | 短辺方向 | | 長辺方向 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 端　部 | 中　央 | 端　部 | 中　央 |
| S25 | 250 | 上端筋 | ← | D13@200 | ← | D13@200 |
| | | 下端筋 | ← | D13@200 | ← | D13@200 |
| S30 | 300 | 上端筋 | ← | D13@200 | ← | D13@200 |
| | | 下端筋 | ← | D13@200 | ← | D13@200 |

※底版、その他記述のないスラブは別図（配筋図）による

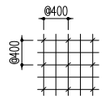
## 壁リスト （反応タンク） S=1/30

| 符号 | W50A | W50B | W50C | W50 | W30A | W30 | W25 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 断面 |   |   |   |   |   |   |   |
| 縦筋 外側 / 内側 | D19@200W | D19@200W | D16@200W | D19@200W | D16@200W | D13@200W | D13@200W |
| 横筋 外側 / 内側 | D16@200W | D16@200W | D16@200W | D16@200W | D13@200W | D13@200W | D13@200W |
| せん断補強筋 | *1: ⌐¬-D13@200,@400 | *2: ⌐¬-D13@400 | --- | --- | *2: ⌐¬-D13@400 | --- | --- |
| 巾止筋 | D13@1000 | D13@1000 | D13@1000 | D13@1000 | D13@1000 | D13@1000 | D13@1000 |
| 備考 | | | | | | | |

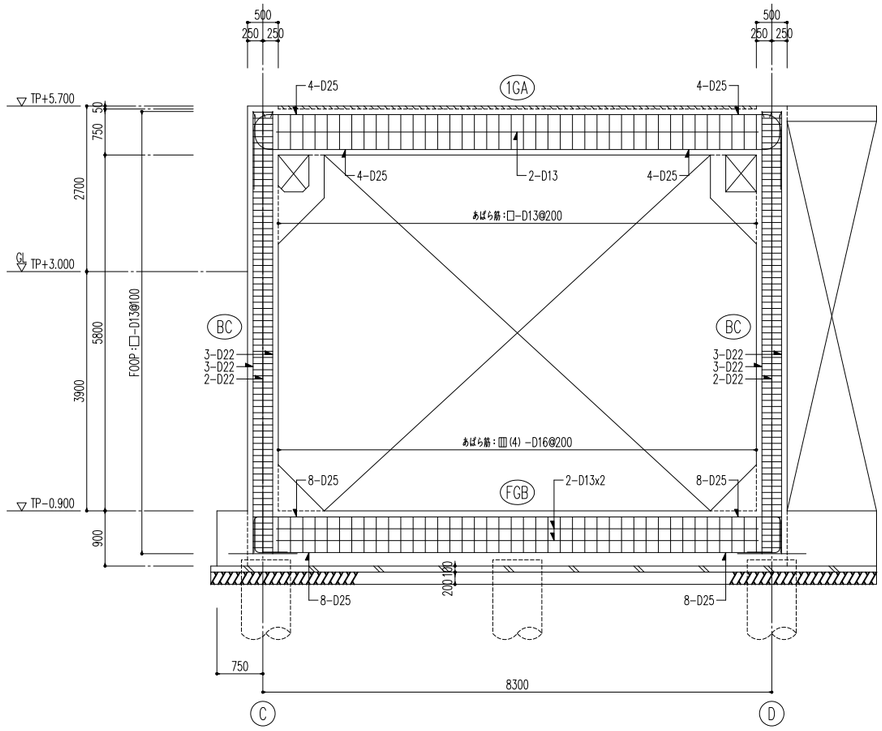
*1：壁せん断補強筋
⌐¬-D13@200,@400



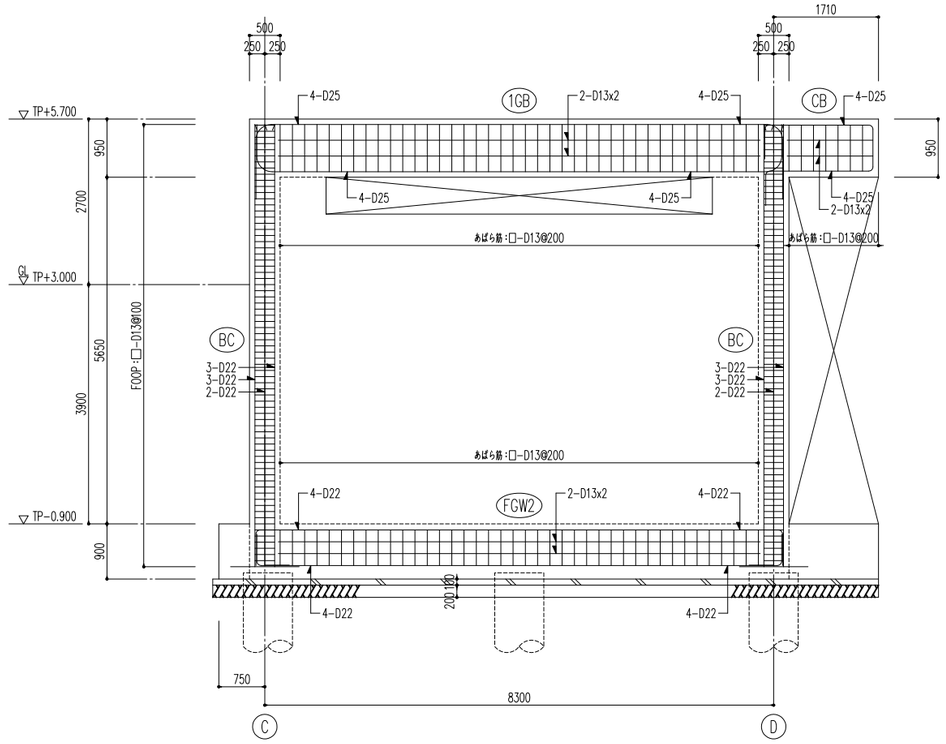

*2：壁せん断補強筋
⌐¬-D13@400



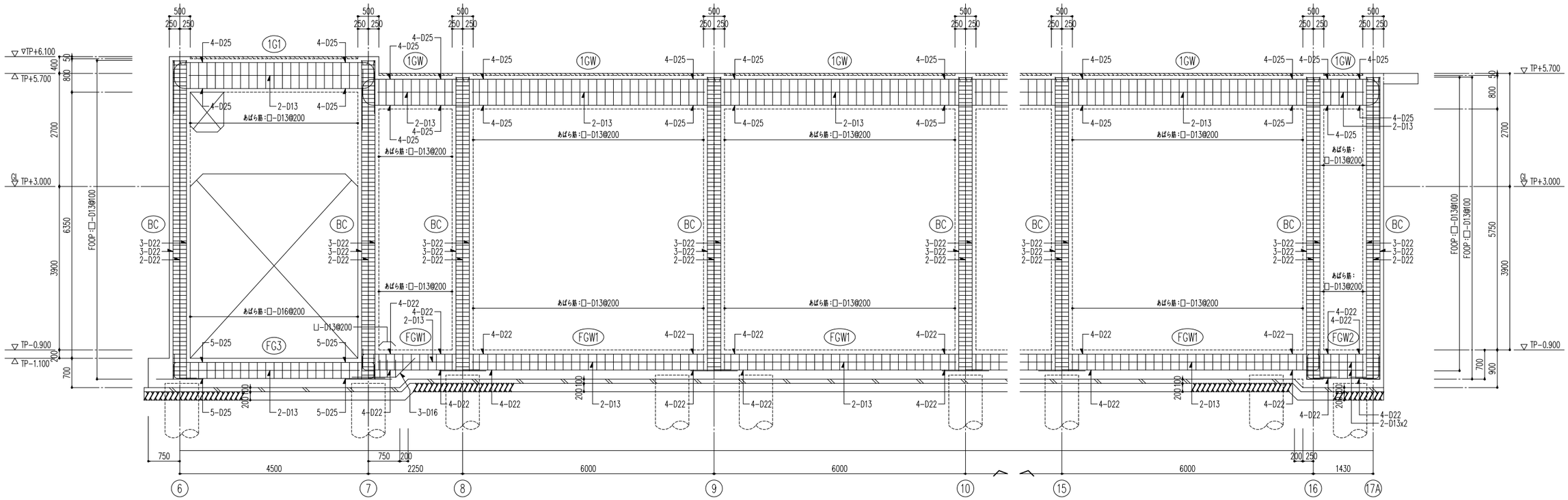
| 図面番号 | S-15 | 縮 尺 | A1-1:50 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 反応タンク　架構配筋図 | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |




１６通架構配筋図
（反応タンク）



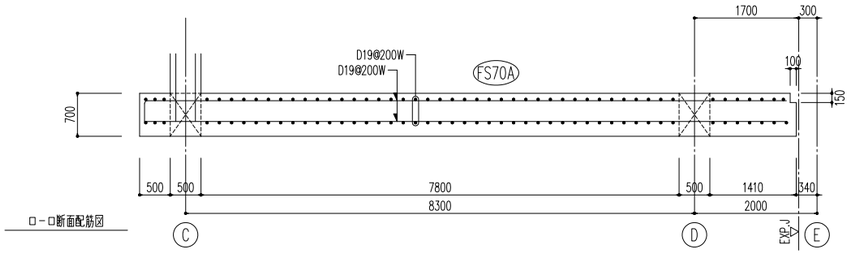

１７Ａ通架構配筋図
（反応タンク）

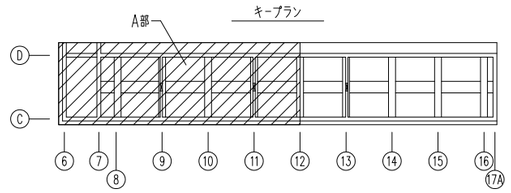


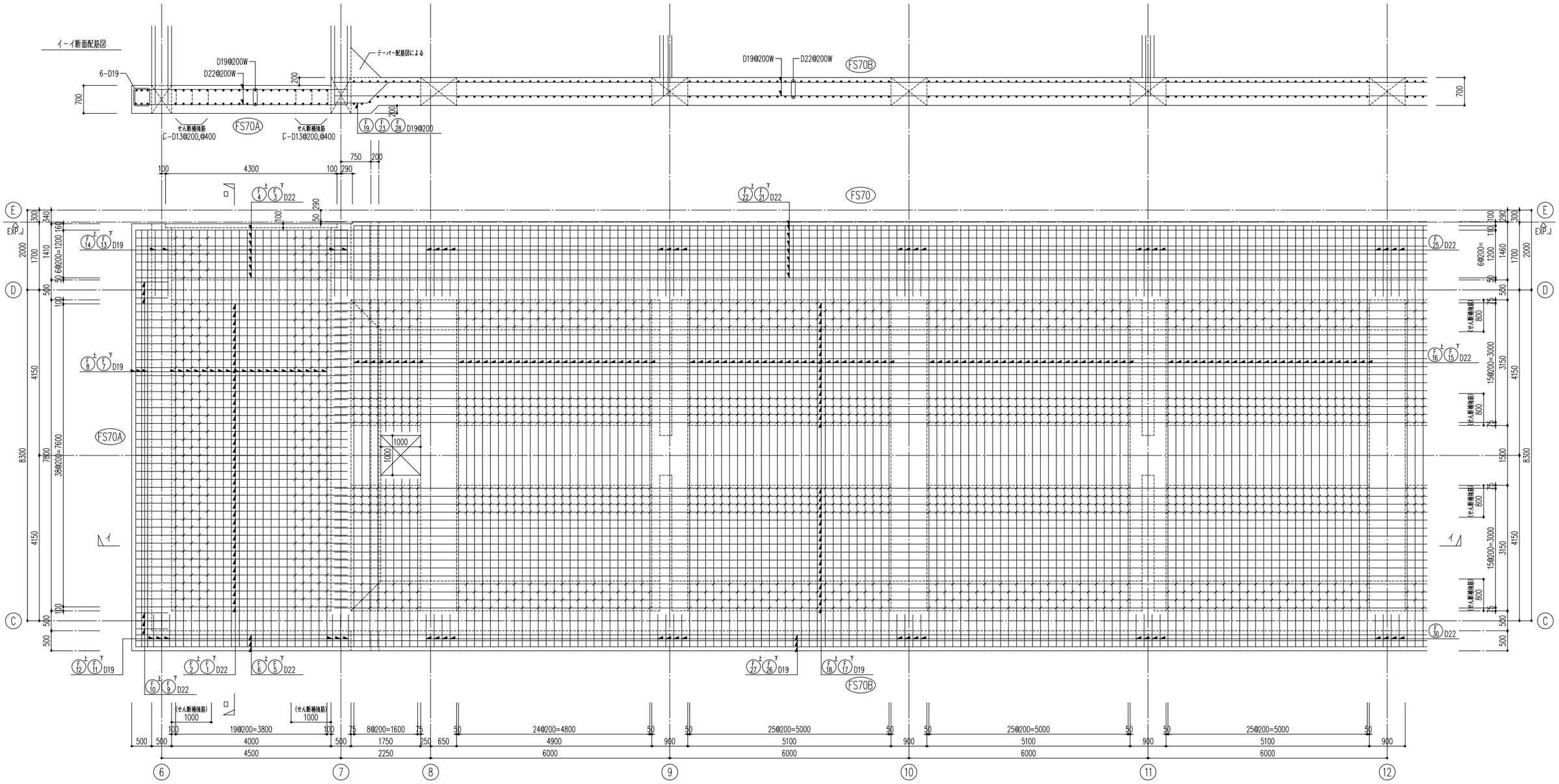

D通架構配筋図
（反応タンク）

※特記なき限り下記とする
1）巾止筋：D13@1000

| | | | |
|---|---|---|---|
| 図面番号 | S-16 | 縮 尺 | A1-1:50 |
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 反応タンク　底版配筋図(1) | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

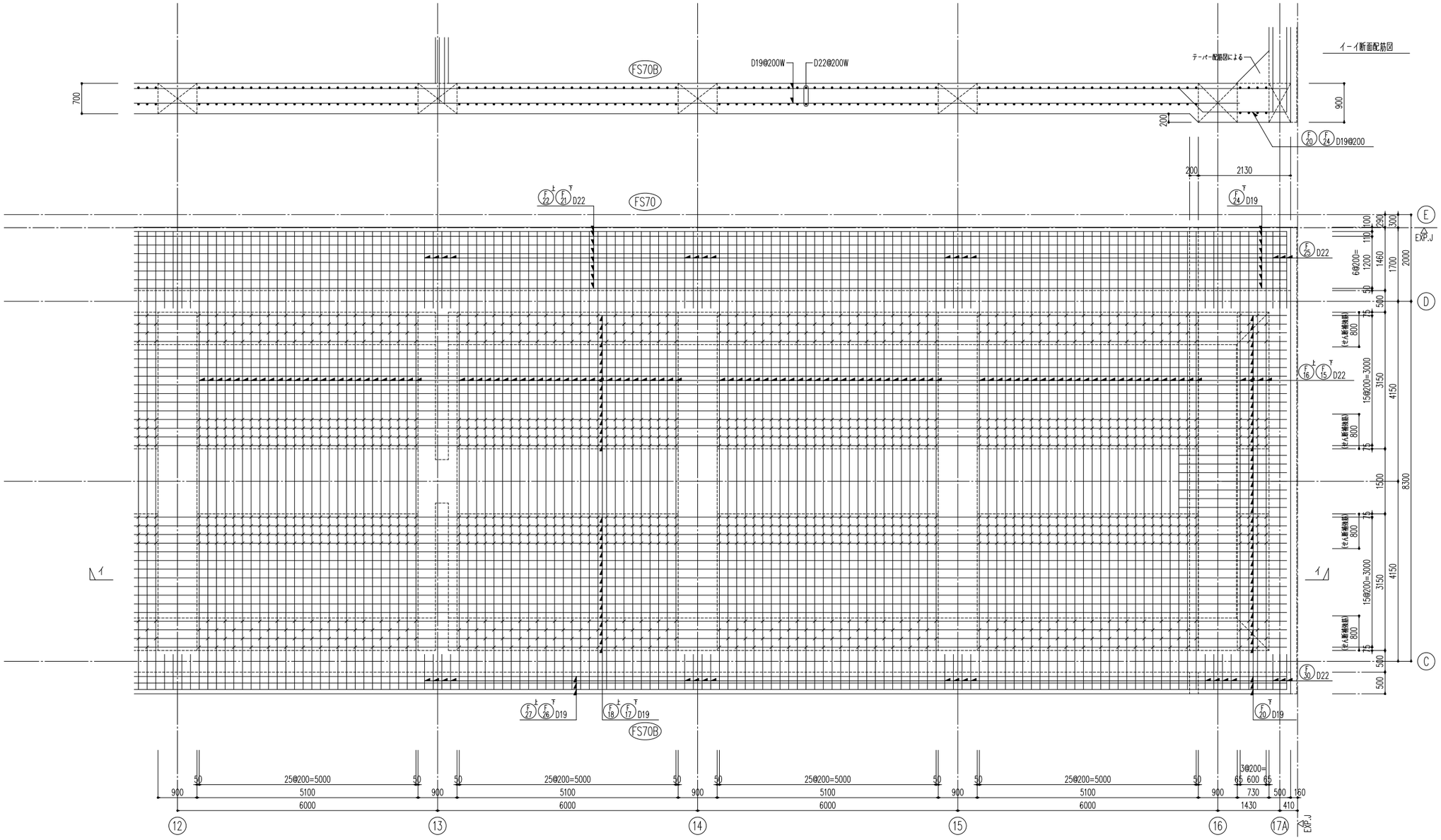


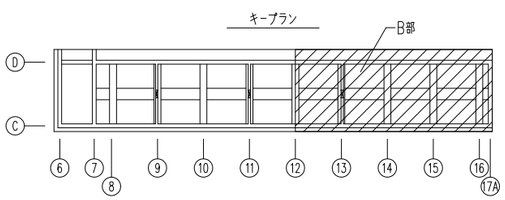



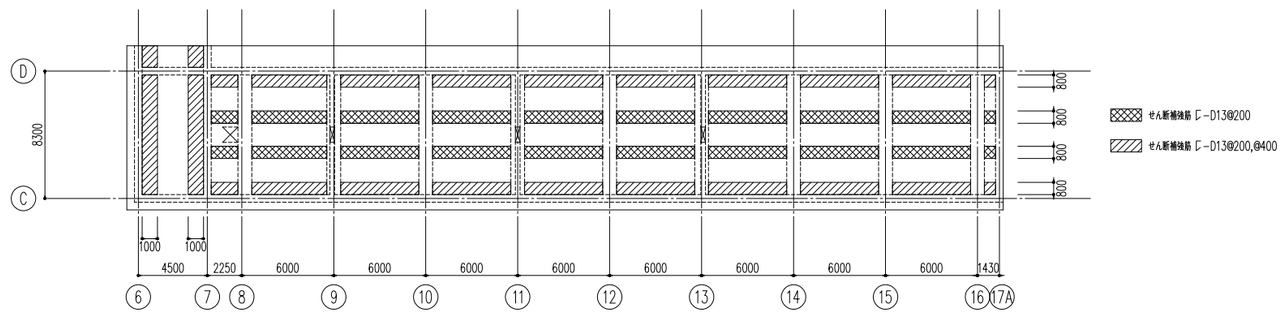

A部　底版配筋図　S=1/50
（反応タンク－１）

| 図面番号 | S-17 | 縮 尺 | A1-1:50 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 反応タンク　底版配筋図(2) | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |



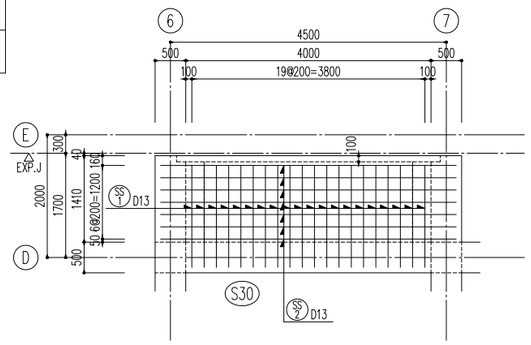

B部　底版配筋図　S=1/50
（反応タンク－２）



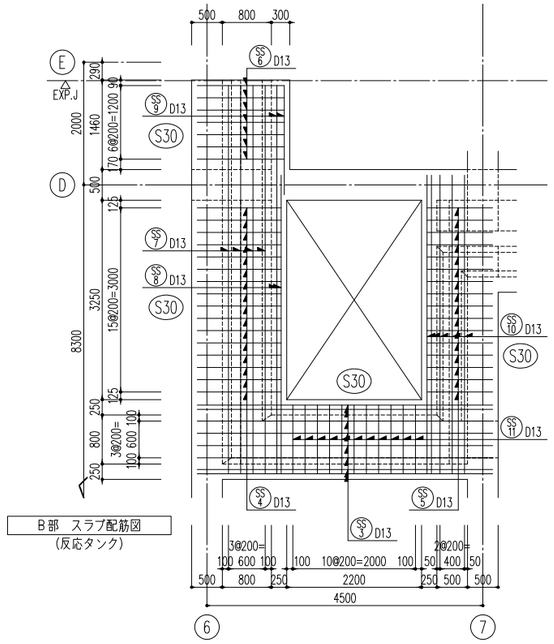




せん断補強筋範囲図　S=1/200
（反応タンク）

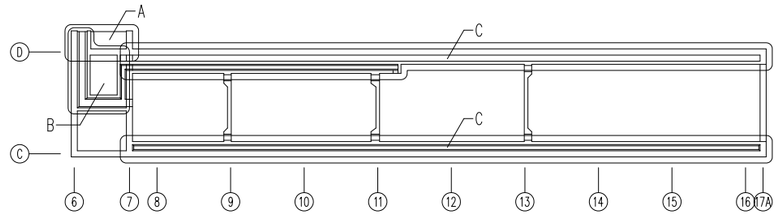
| 図面番号 | S-18 | 縮 尺 | A1-1:50 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 反応タンク<br>中間スラブ配筋図 | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |



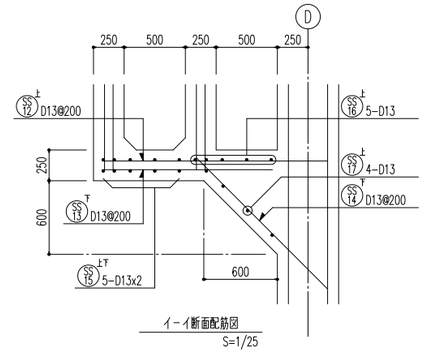

A部　スラブ配筋図
（反応タンク）



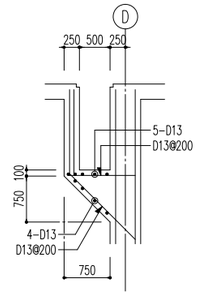

B部　スラブ配筋図
（反応タンク）



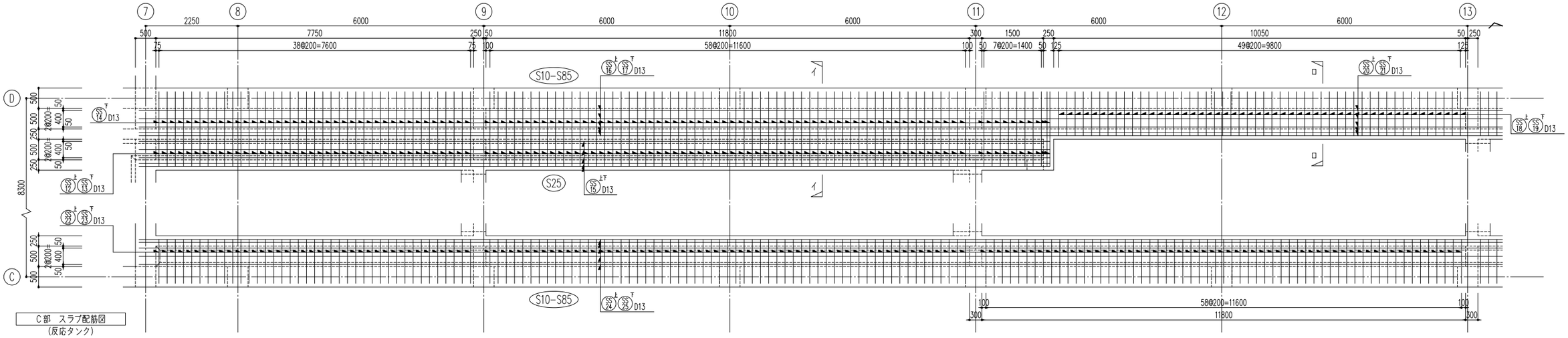
キープラン



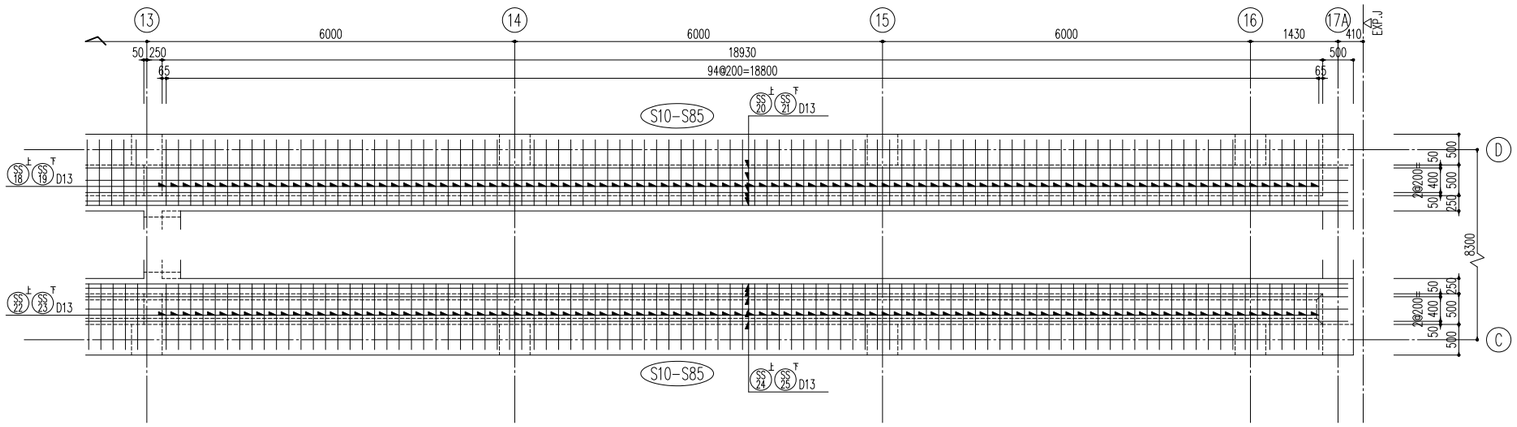

イーイ断面配筋図
S=1/25




ローロ断面配筋図

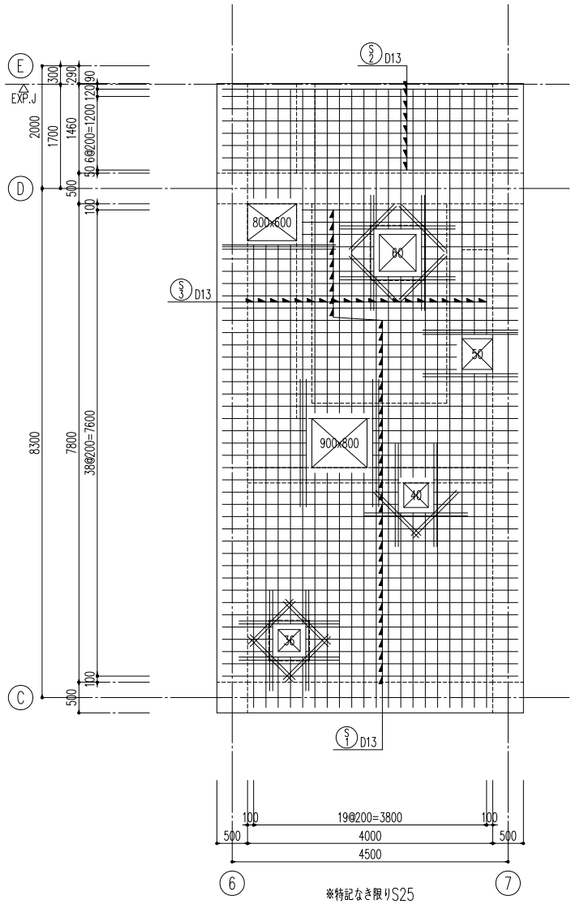



C部　スラブ配筋図
（反応タンク）




※特記なき限り下記とする
1）巾止筋：D13@1000

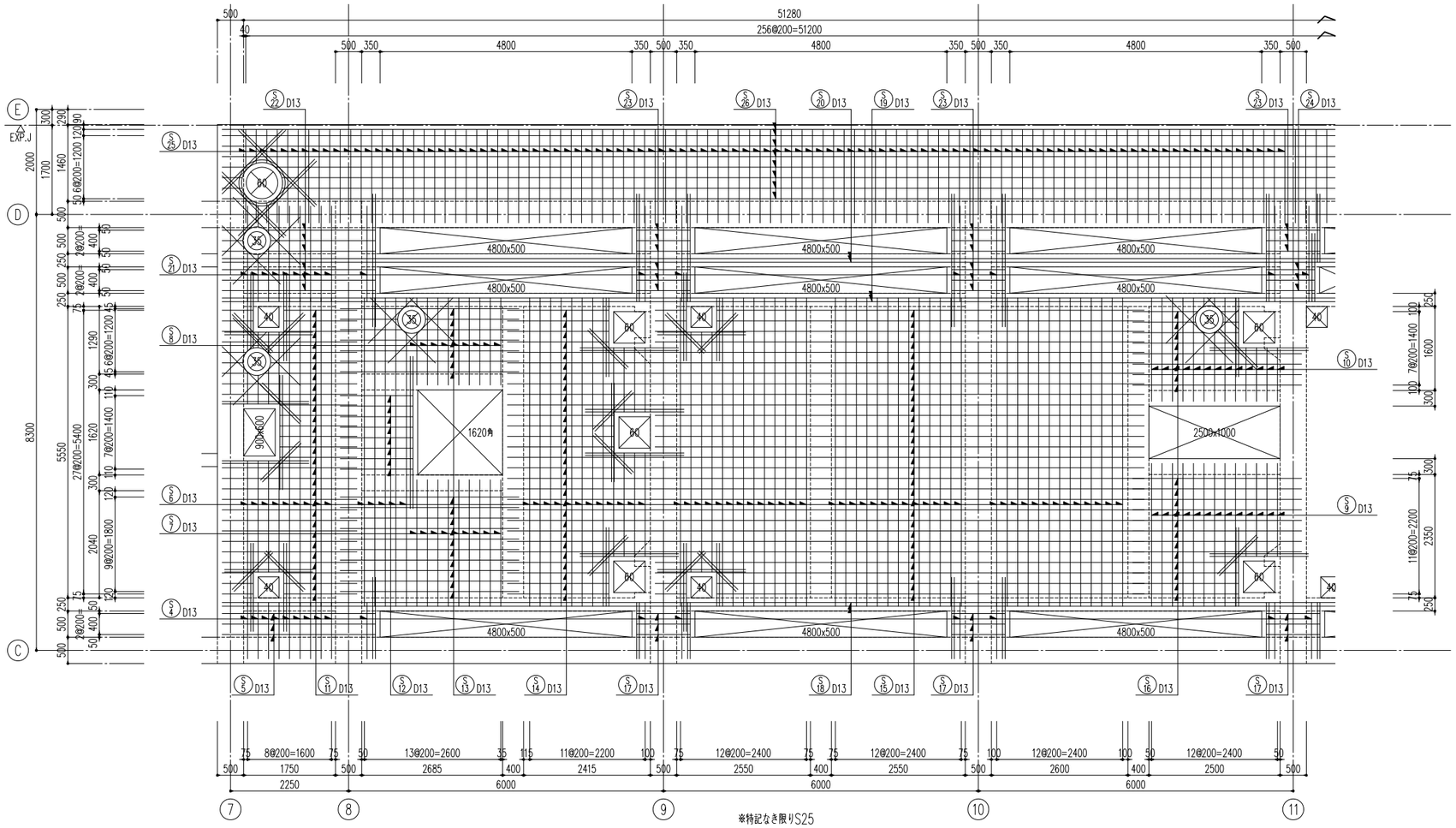
| 図面番号 | S-19 | 縮 尺 | A1-1:50 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 反応タンク　頂版配筋図(1) | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |




※特記なき限りS25

A部 頂版配筋図

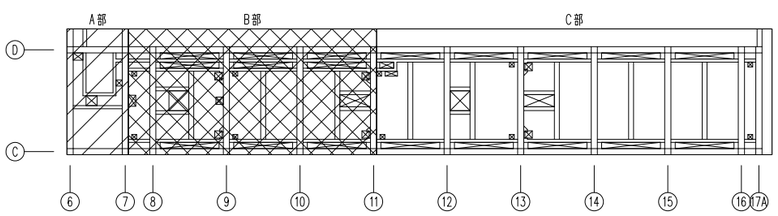
（反応タンク：ＴＰ＋６．１００頂版）




※特記なき限りS25

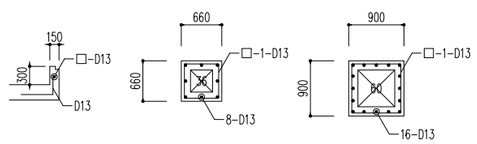
B部 頂版配筋図

（反応タンク：ＴＰ＋５．７００頂版－１）



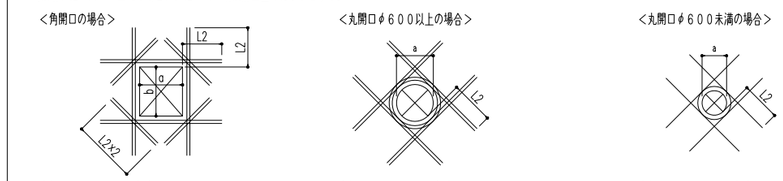

キープラン

開口廻り立上り配筋図




※特記なき限り下記とする
1）主鉄筋はD13@200Wとする
2）巾止筋：D13@1000
3）開口部の数字はφ径又は角寸法を示す
例：30-300角、又はφ300

頂版（Ｓ２５）の開口補強筋
（開口部端が梁・壁でない場合、開口補強を設ける）
※補強筋が他の開口に当たる場合は、他の開口補強筋位置でカットとする。

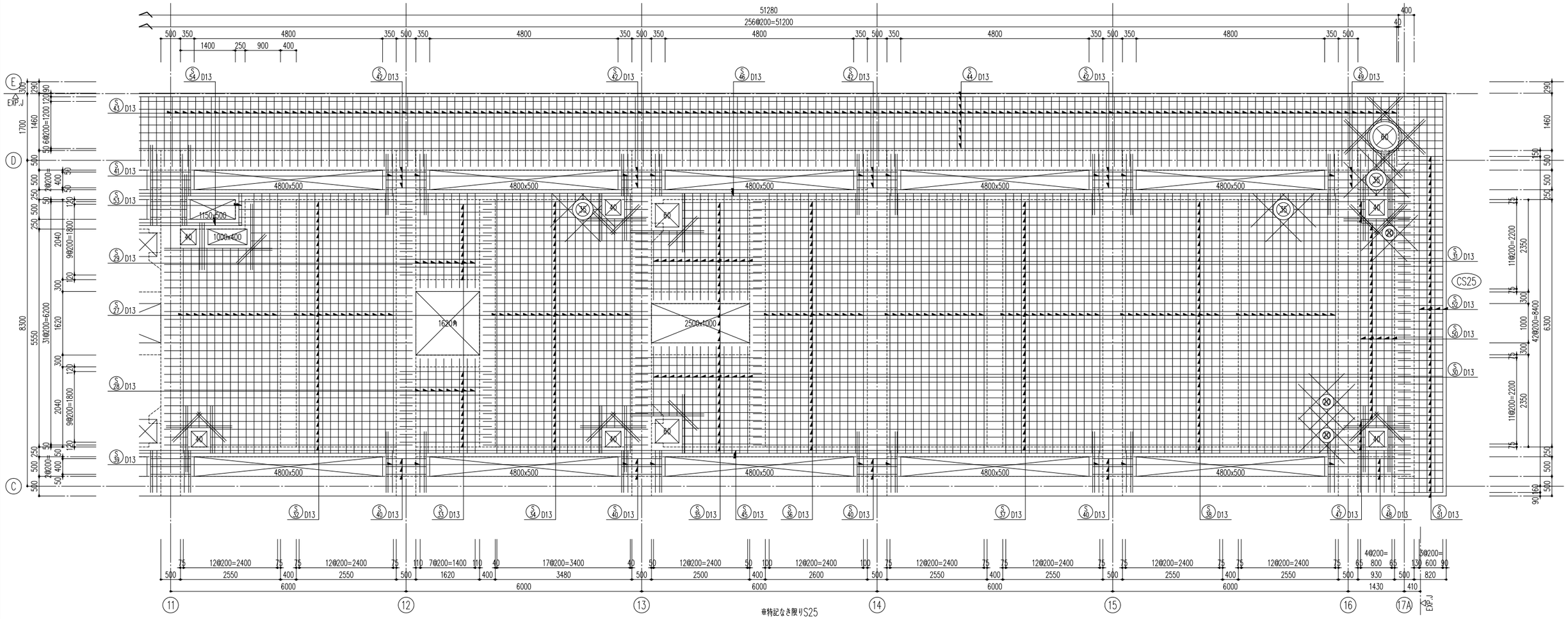



直部は１面４－Ｄ１６とする。
補強筋長さは、ａ＋２×Ｌ２＝ａ＋２×４０ｄ＝ａ＋１２８０
ｂ＋２×Ｌ２＝ｂ＋２×４０ｄ＝ｂ＋１２８０
コーナー部は１面４－Ｄ１３とする。
補強筋長さは、２×Ｌ２＝２×４０ｄ＝１０４０

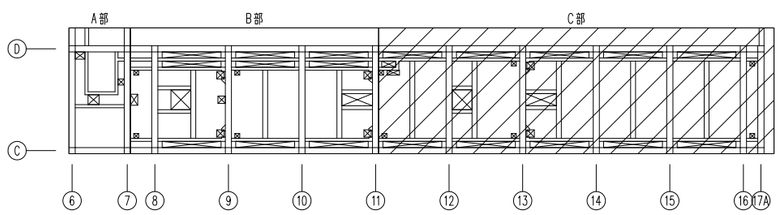
直部は１面４－Ｄ１６とする。
補強筋長さは、ａ＋２×Ｌ２＝ａ＋２×４０ｄ＝ａ＋１２８０
円部は４－Ｄ１３とする。

直部は１面２－Ｄ１６とする。
補強筋長さは、ａ＋２×Ｌ２＝ａ＋２×４０ｄ＝ａ＋１２８０
円部は２－Ｄ１３とする。

| 図面番号 | S-20 | 縮 尺 | A1-1:50 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 反応タンク　頂版配筋図(2) | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |




C部 頂版配筋図
(反応タンク：ＴＰ＋５．７００頂版－２)

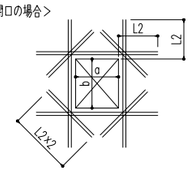



キープラン

※特記なき限り下記とする
1) 主鉄筋はD13@200Wとする
2) 巾止筋：D13@1000
3) 開口部の数字はφ径又は角寸法を示す
例：30-300角、又はφ300

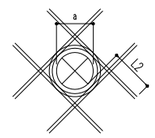
頂版（Ｓ２５）の開口補強筋
(開口部端が梁・壁でない場合、開口補強を設ける)
※補強筋が他の開口に当たる場合は、他の開口補強筋位置でカットとする。

＜角開口の場合＞



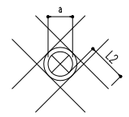

直部は１面４－Ｄ１６とする。
補強筋長さは、ａ＋２×Ｌ２＝ａ＋２×４０ｄ＝ａ＋１２８０
ｂ＋２×Ｌ２＝ｂ＋２×４０ｄ＝ｂ＋１２８０
コーナー部は１面４－Ｄ１３とする。
補強筋長さは、２×Ｌ２＝２×４０ｄ＝１０４０

＜丸開口φ６００以上の場合＞



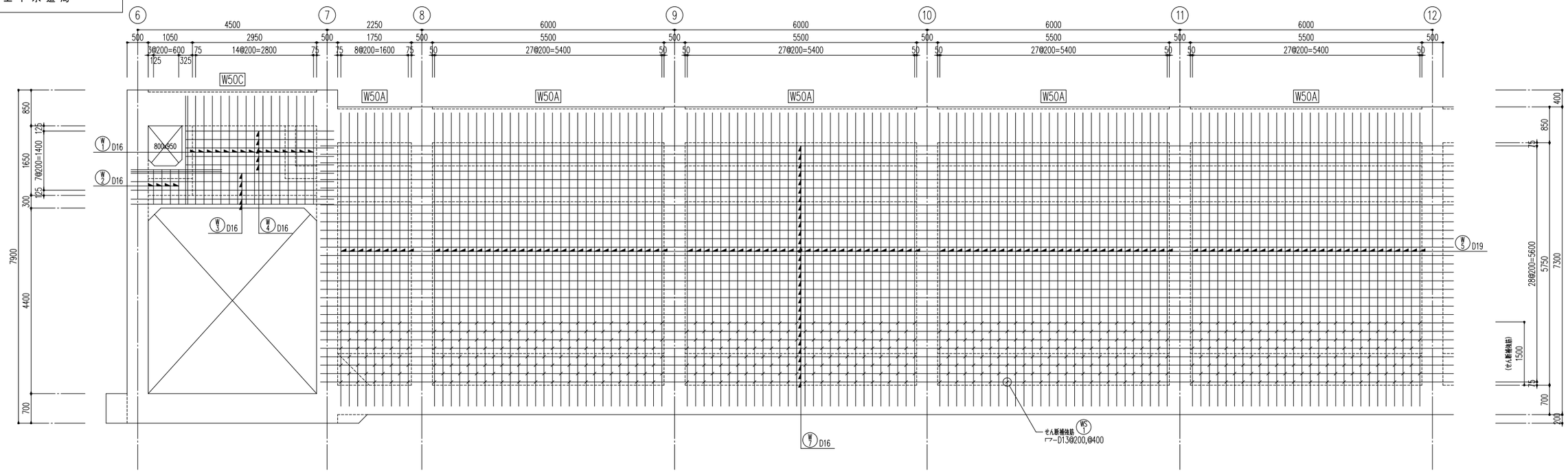

直部は１面４－Ｄ１６とする。
補強筋長さは、ａ＋２×Ｌ２＝ａ＋２×４０ｄ＝ａ＋１２８０
円部は４－Ｄ１３とする。

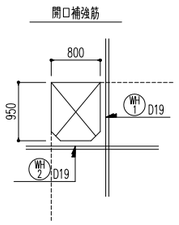
＜丸開口φ６００未満の場合＞

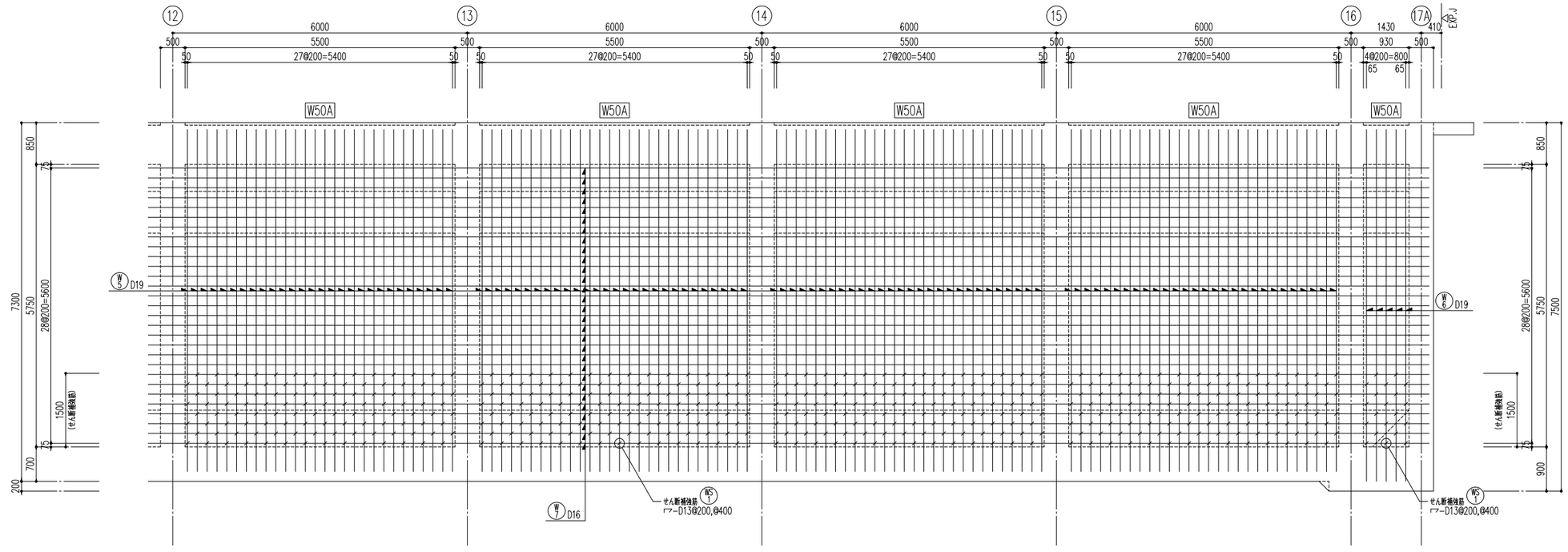



直部は１面２－Ｄ１６とする。
補強筋長さは、ａ＋２×Ｌ２＝ａ＋２×４０ｄ＝ａ＋１２８０
円部は２－Ｄ１３とする。

| 図面番号 | S-21 | 縮 尺 | A1-1:50 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 反応タンク　壁展開配筋図(1) | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |



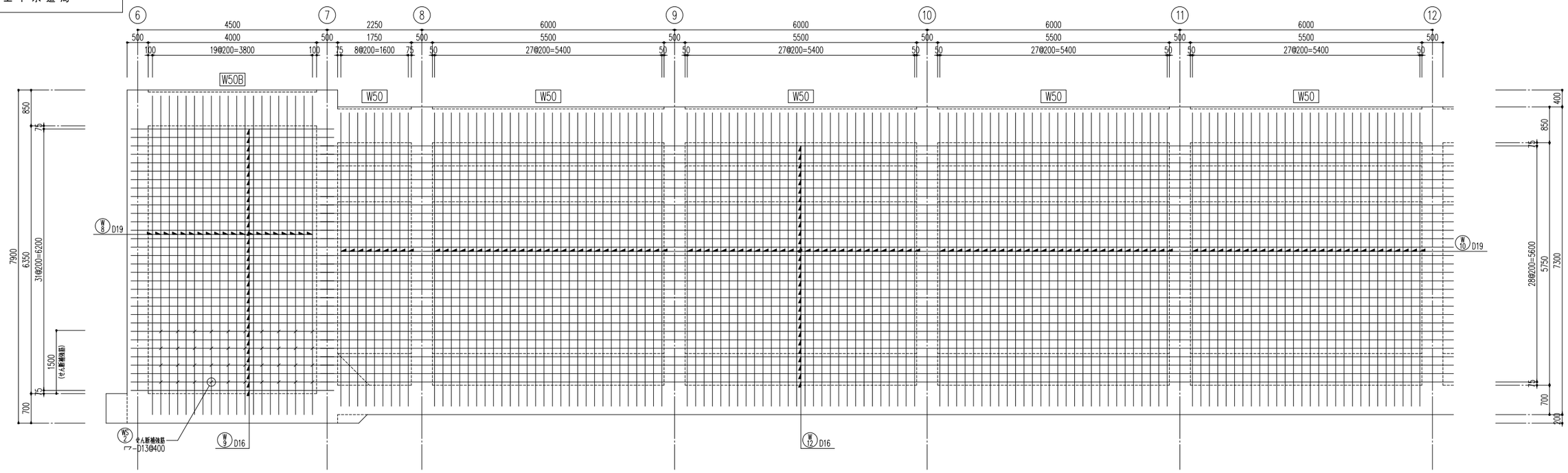



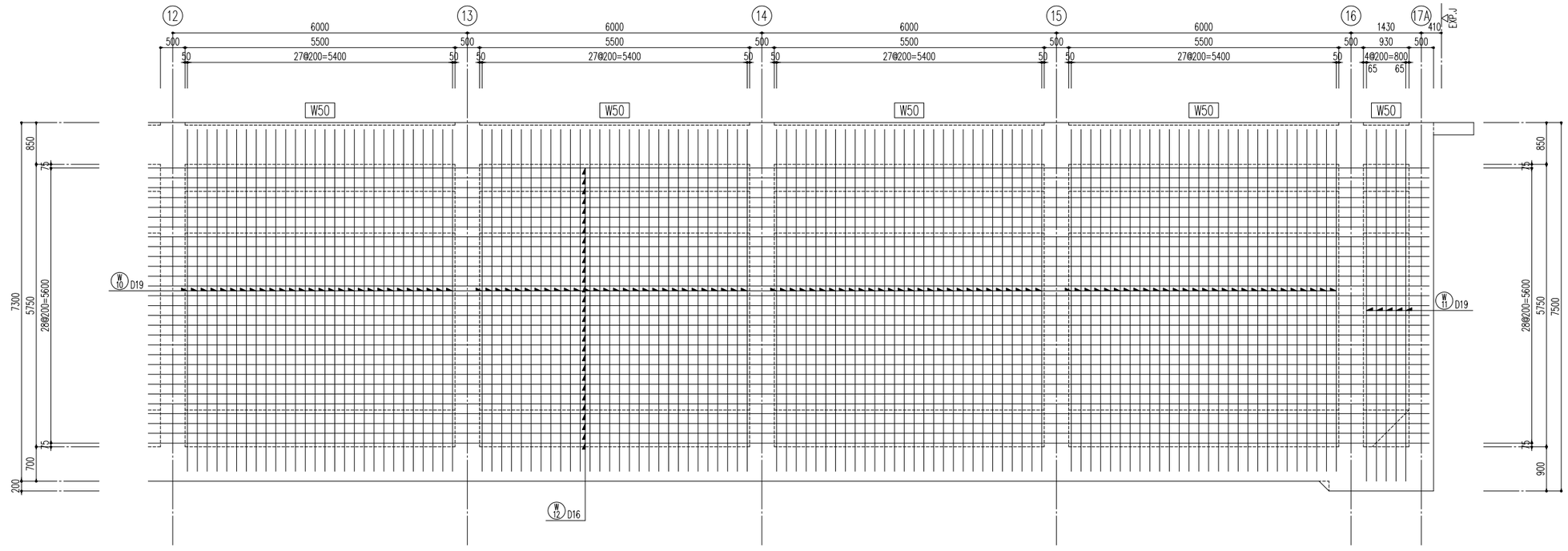




※特記なき限り下記とする
1）巾止筋：D13@1000
2）開口部の数字はφ径又は角寸法を示す
例：30−300角、又はφ300

D通　壁展開配筋図
（反応タンク）

| 図面番号 | S-22 | 縮 尺 | A1-1:50 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 反応タンク　壁展開配筋図(2) | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

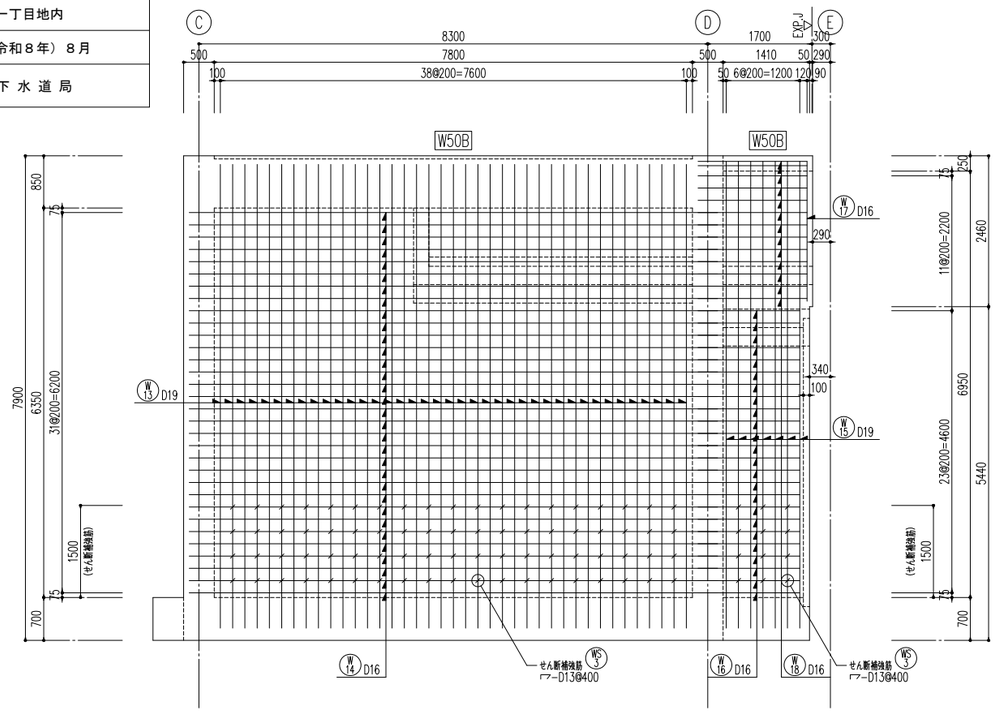


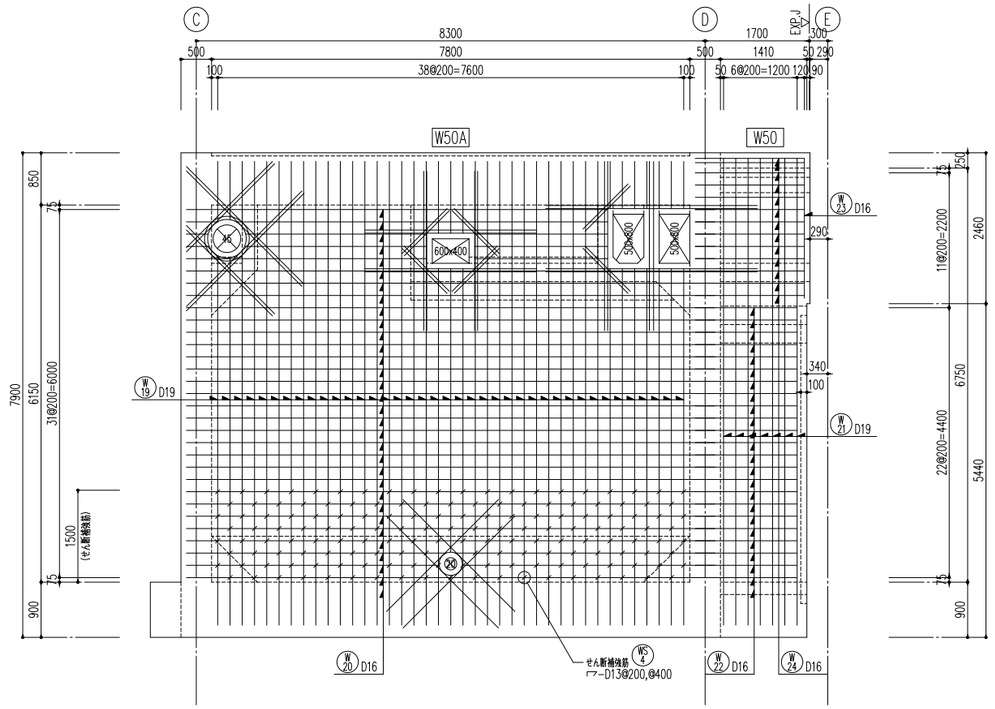

※特記なき限り下記とする
1）巾止筋：D13@1000
2）開口部の数字はφ径又は角寸法を示す
例：30−300角、又はφ300

C通　壁展開配筋図
（反応タンク）

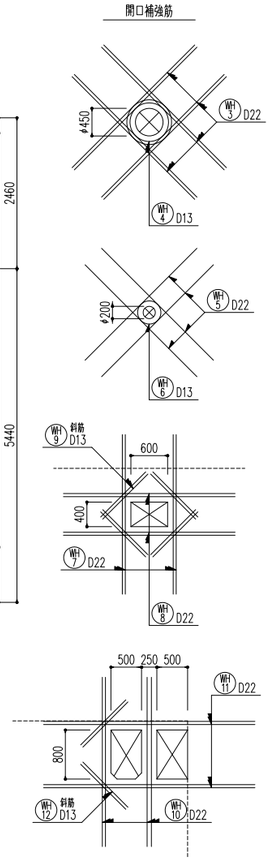
| 図面番号 | S-23 | 縮 尺 | A1-1:50 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 反応タンク　壁展開配筋図(3) | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

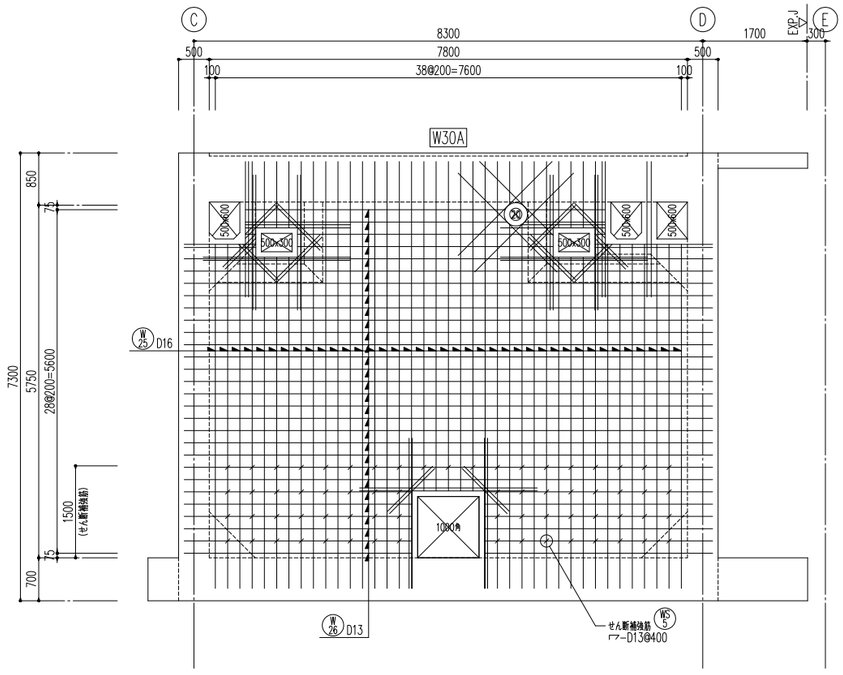



6通　壁展開配筋図
(反応タンク)

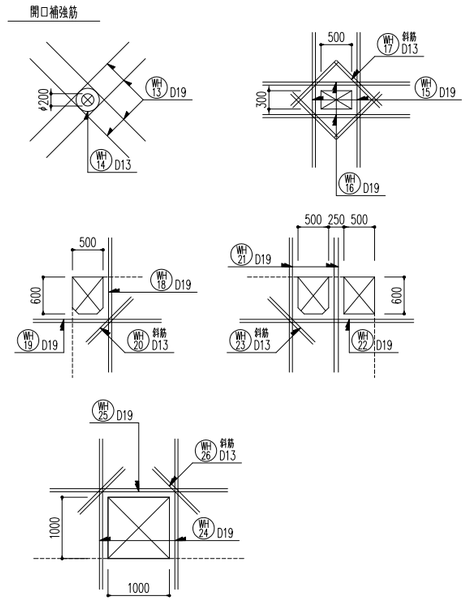



7通　壁展開配筋図
(反応タンク)



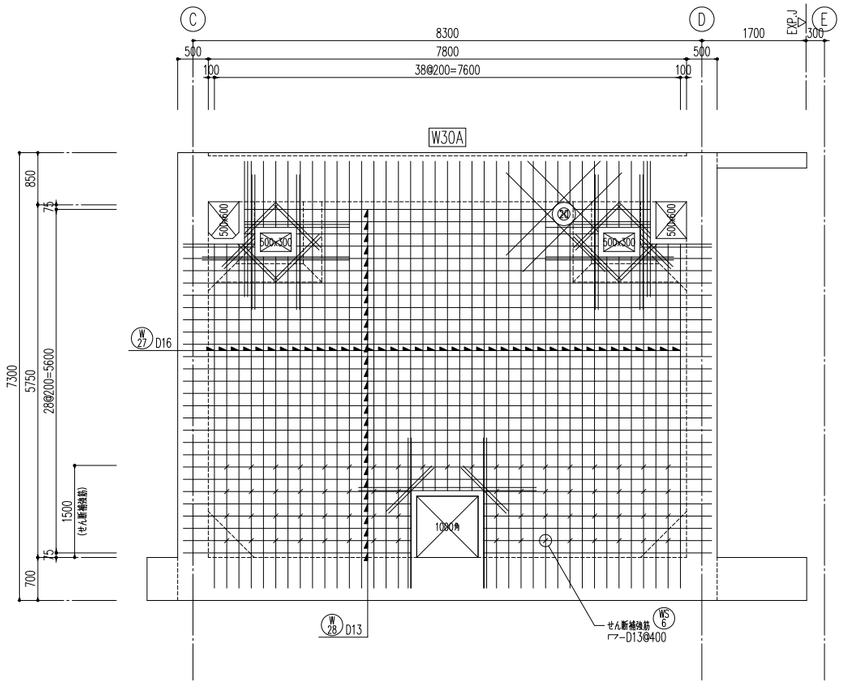




9通・11通　壁展開配筋図
(反応タンク)

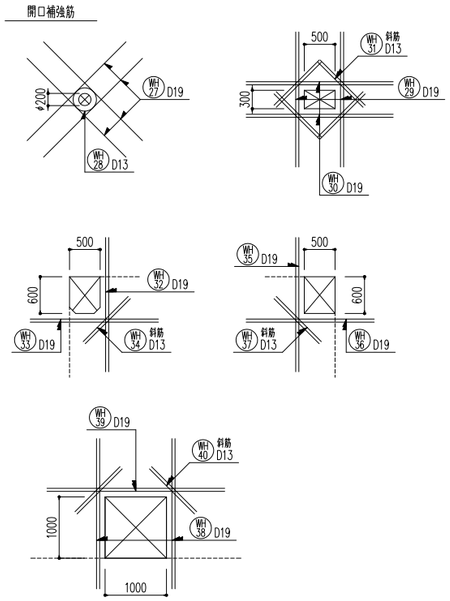


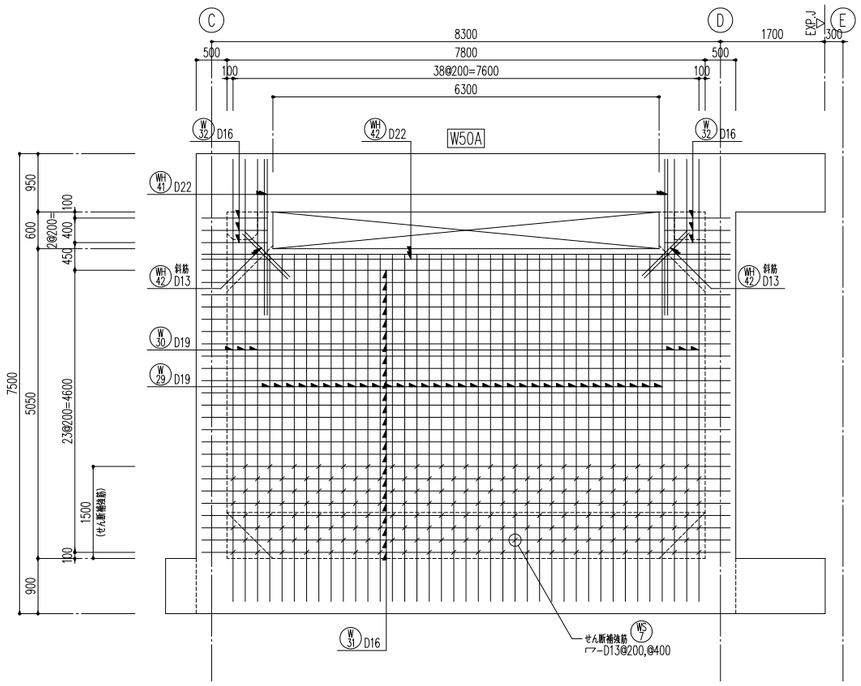

※特記なき限り下記とする
1）巾止筋：D13@1000
2）開口部の数字はφ径又は角寸法を示す
例：30−300角，又はφ300

| 図面番号 | S-24 | 縮 尺 | A1-1:50 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 反応タンク　壁展開配筋図(4) | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |




１３通　壁展開配筋図
（反応タンク）



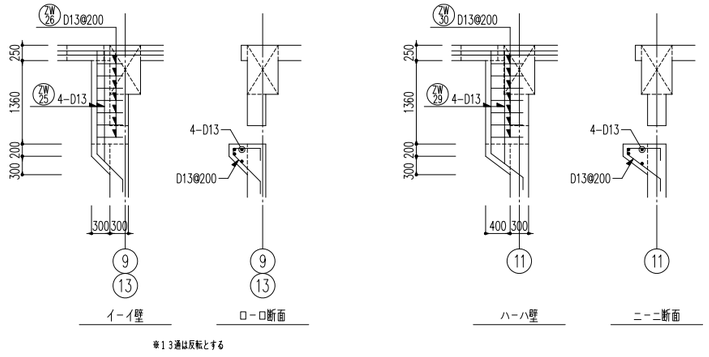



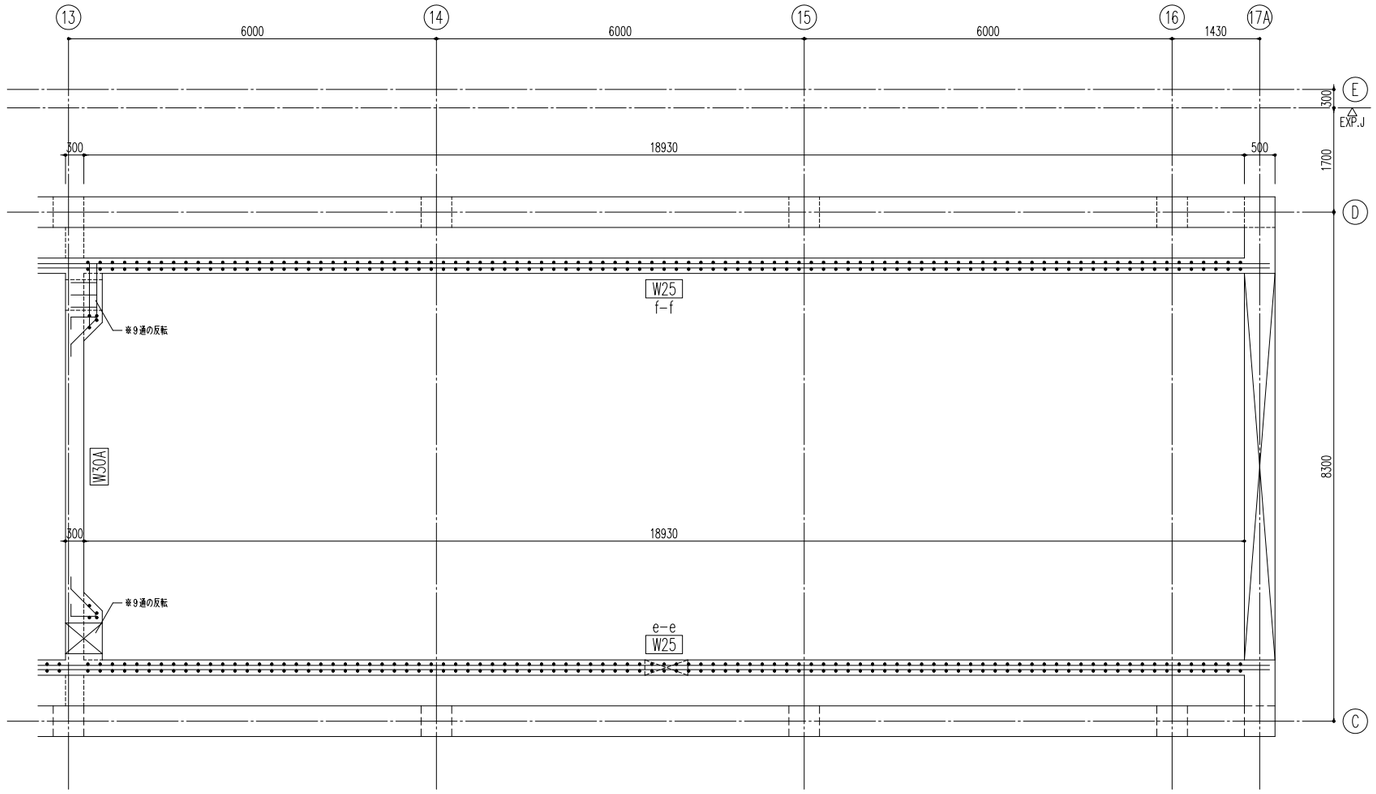

１７Ａ通　壁展開配筋図
（反応タンク）

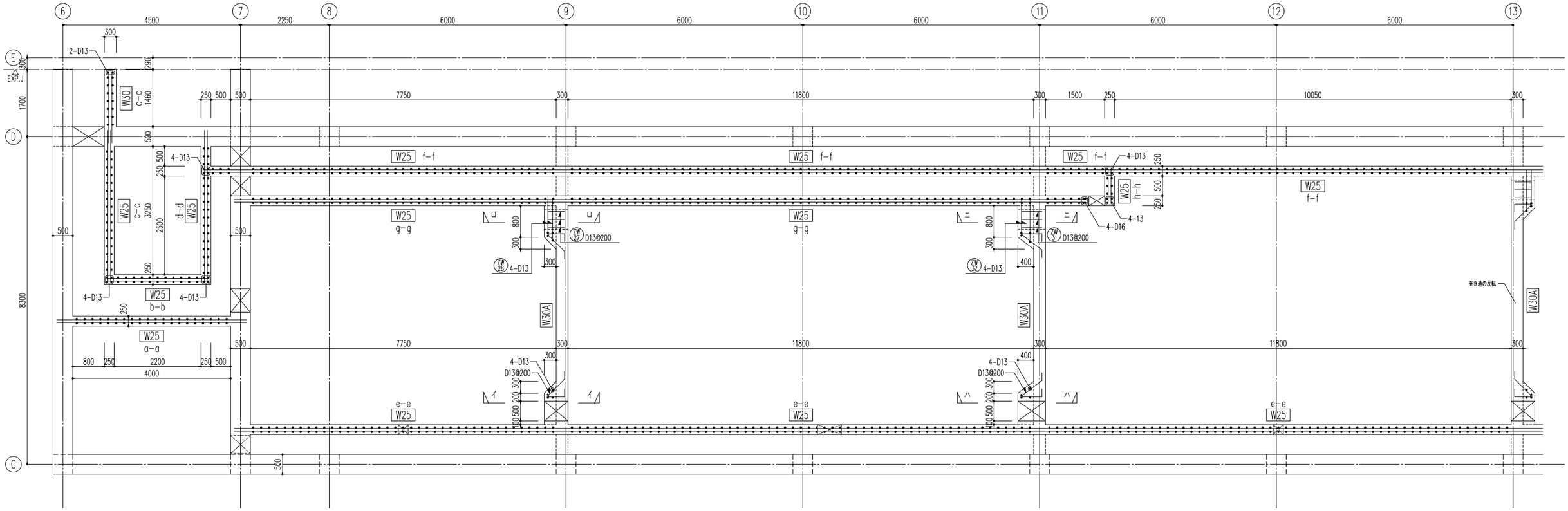
※特記なき限り下記とする
1）巾止筋：D13@1000
2）開口部の数字はφ径又は角寸法を示す
例：30−300角、又はφ300

| 図面番号 | S-25 | 縮 尺 | A1-1:50 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 反応タンク　雑壁配筋図(1) | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

※特記なき限り下記とする
1) 巾止筋：D13@1000
2) 開口部の数字は φ径又は角寸法を示す
例：30−300角、又はφ300

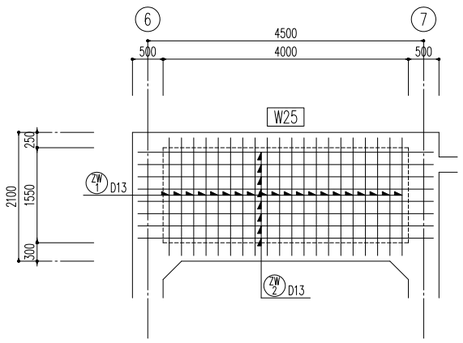


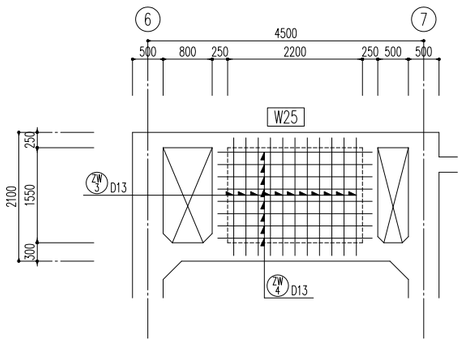




雑壁水平断面配筋図
（反応タンク）

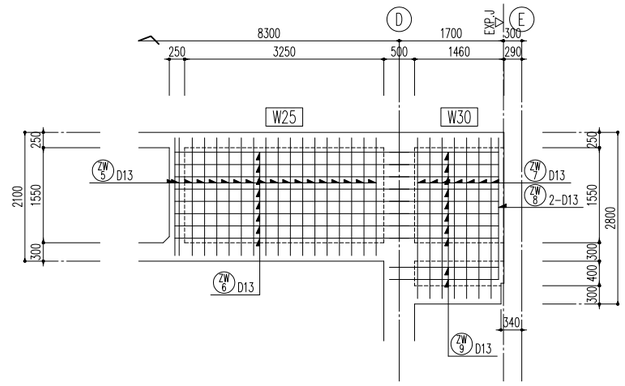
| 図面番号 | S-26 | 縮 尺 | A1-1:50 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 反応タンク　雑壁配筋図(2) | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |



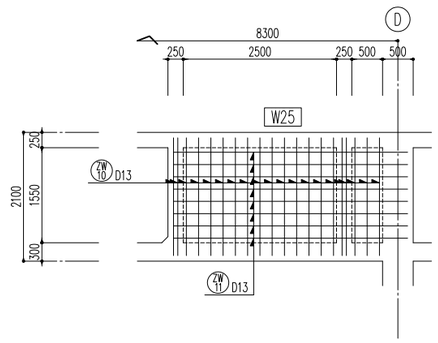

a － a 壁展開配筋図



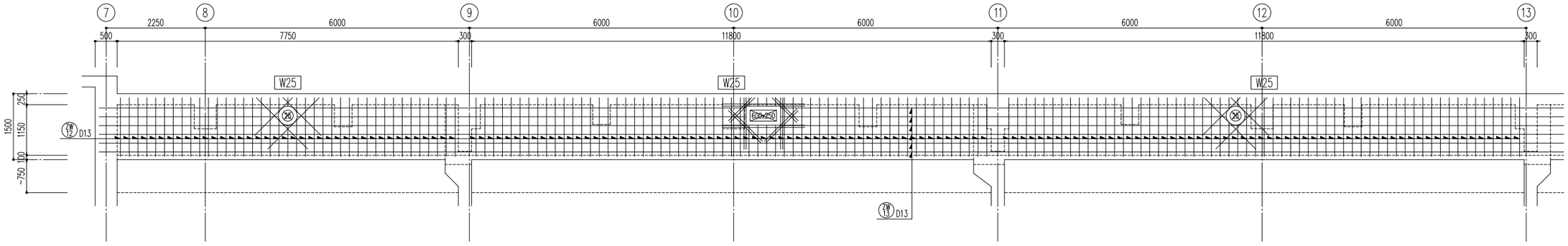

b － b 壁展開配筋図

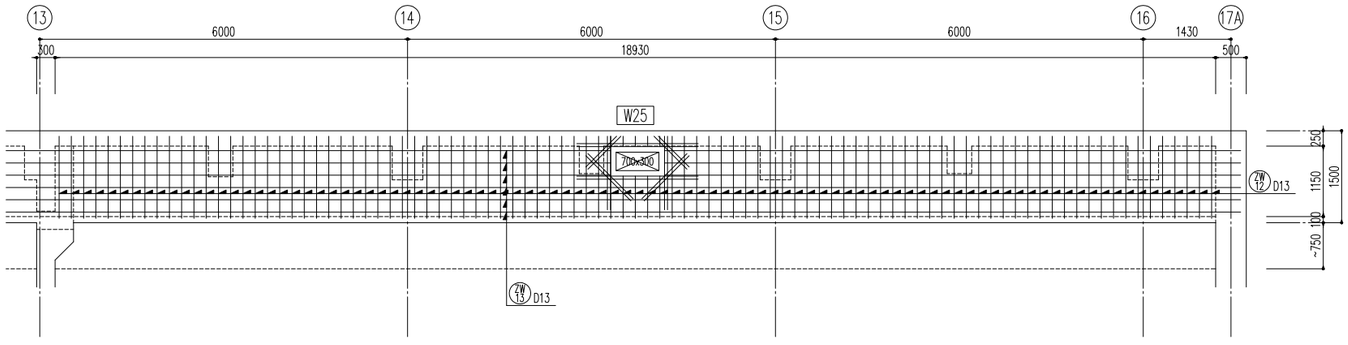



c － c 壁展開配筋図

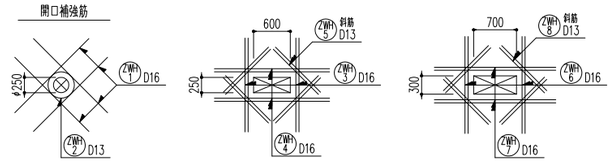



d － d 壁展開配筋図



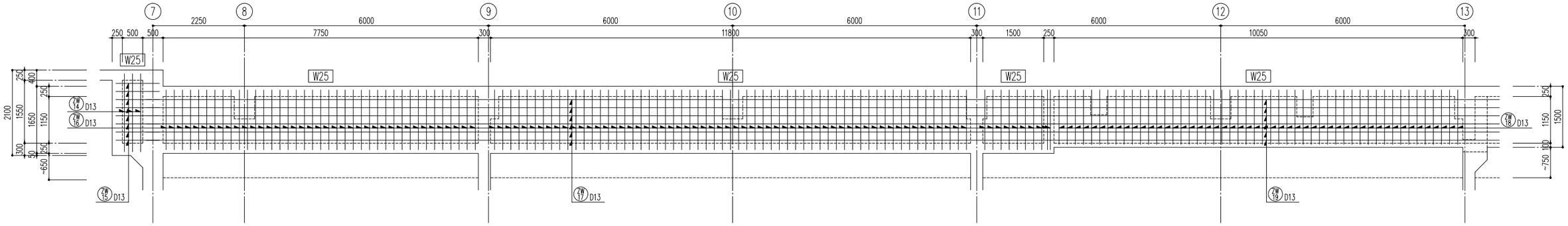



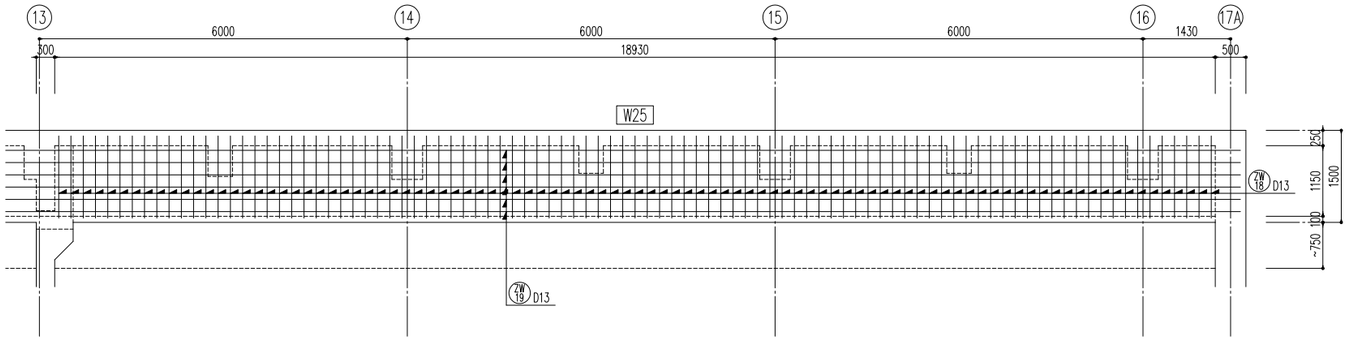

e － e 壁展開配筋図



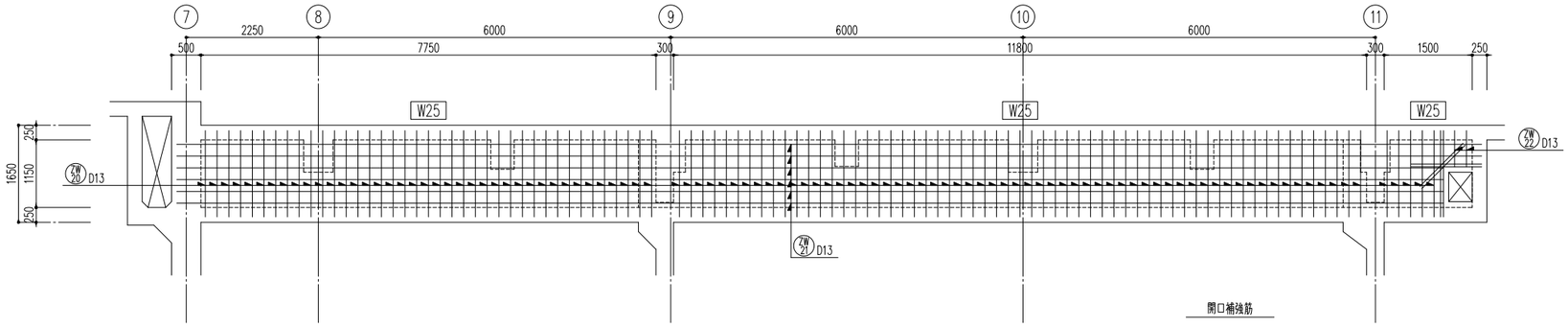

※特記なき限り下記とする
1）巾止筋：D13@1000
2）開口部の数字はφ径又は角寸法を示す
例：30－300角、又はφ300

| 図面番号 | S-27 | 縮 尺 | A1-1:50 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 反応タンク　雑壁配筋図(3) | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

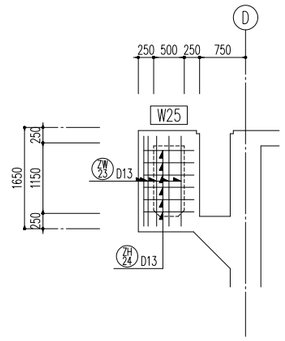



f － f 壁展開配筋図

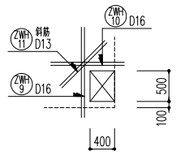



g － g 壁展開配筋図



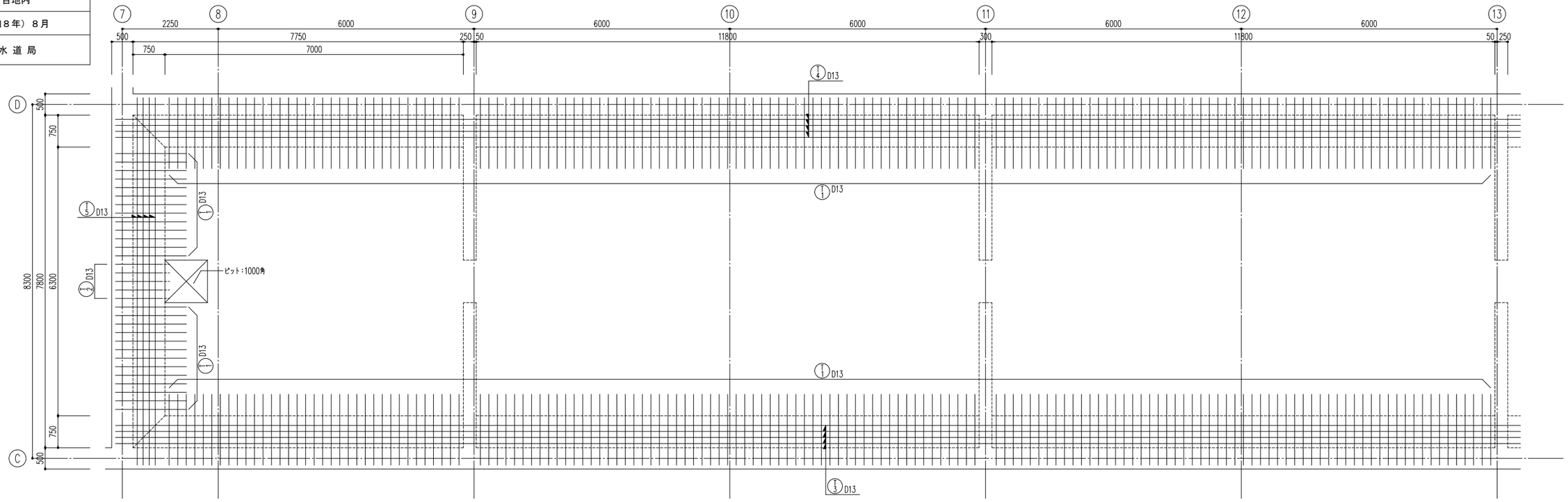

h － h 壁展開配筋図

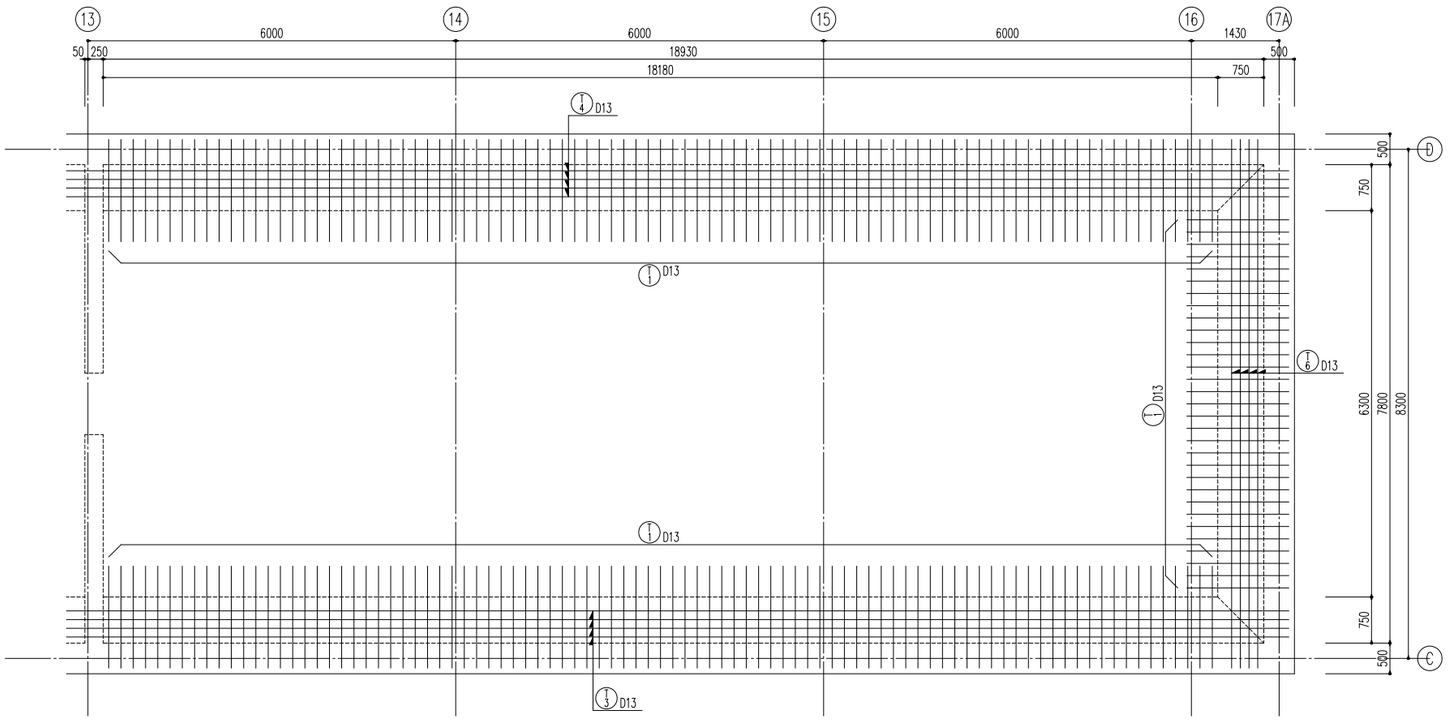
開口補強筋

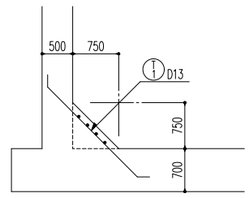



※特記なき限り下記とする
1）巾止筋：D13@1000
2）開口部の数字は φ径又は角寸法を示す
例：30－300角、又は φ300

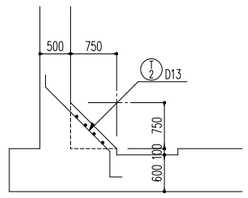
| 図面番号 | S-28 | 縮 尺 | A1-1:50 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 反応タンク<br>テーパー配筋図(1) | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |




一般部断面



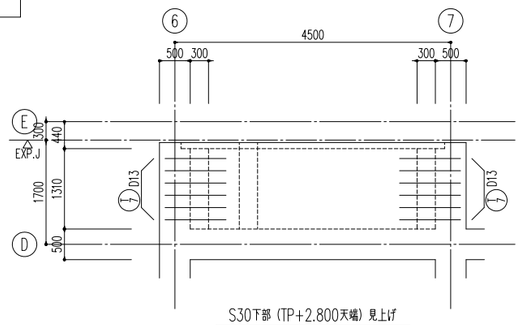

ピット部断面

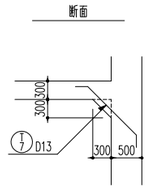
底版部

テーパー配筋図－１

（反応タンク）

| 図面番号 | S-29 | 縮 尺 | A1-1:50 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 反応タンク<br>テーパー配筋図(2) | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

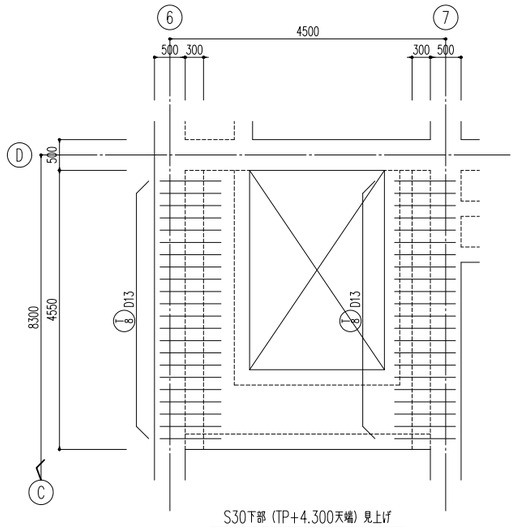


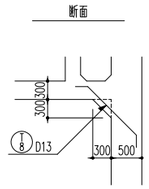




S30下部（TP+2.800天端）見上げ

テーパー配筋図－２

（反応タンク）



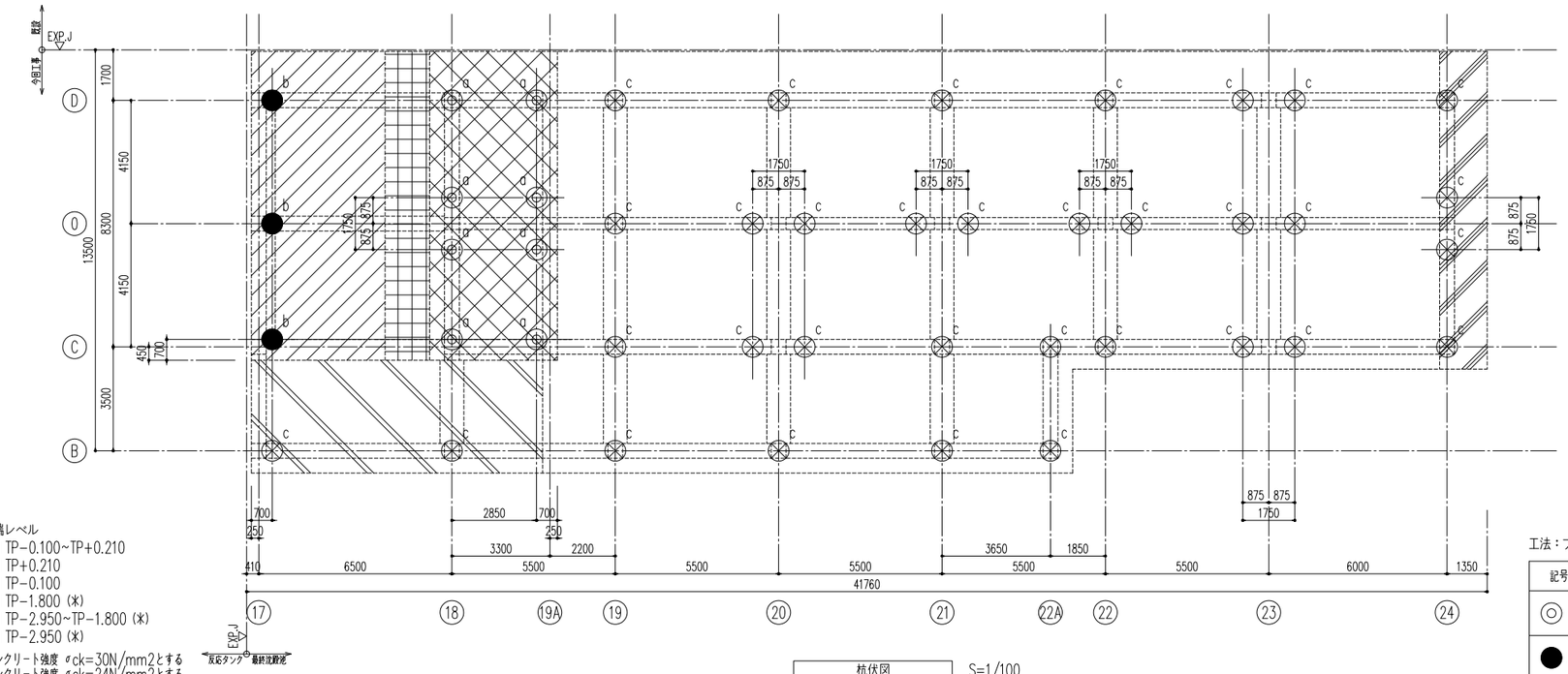




S30下部（TP+4.300天端）見上げ

テーパー配筋図－３

（反応タンク）

| 図面番号 | S-30 | 縮 尺 | A1-1:100 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 最終沈殿池<br>杭伏図、杭断面図 | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |



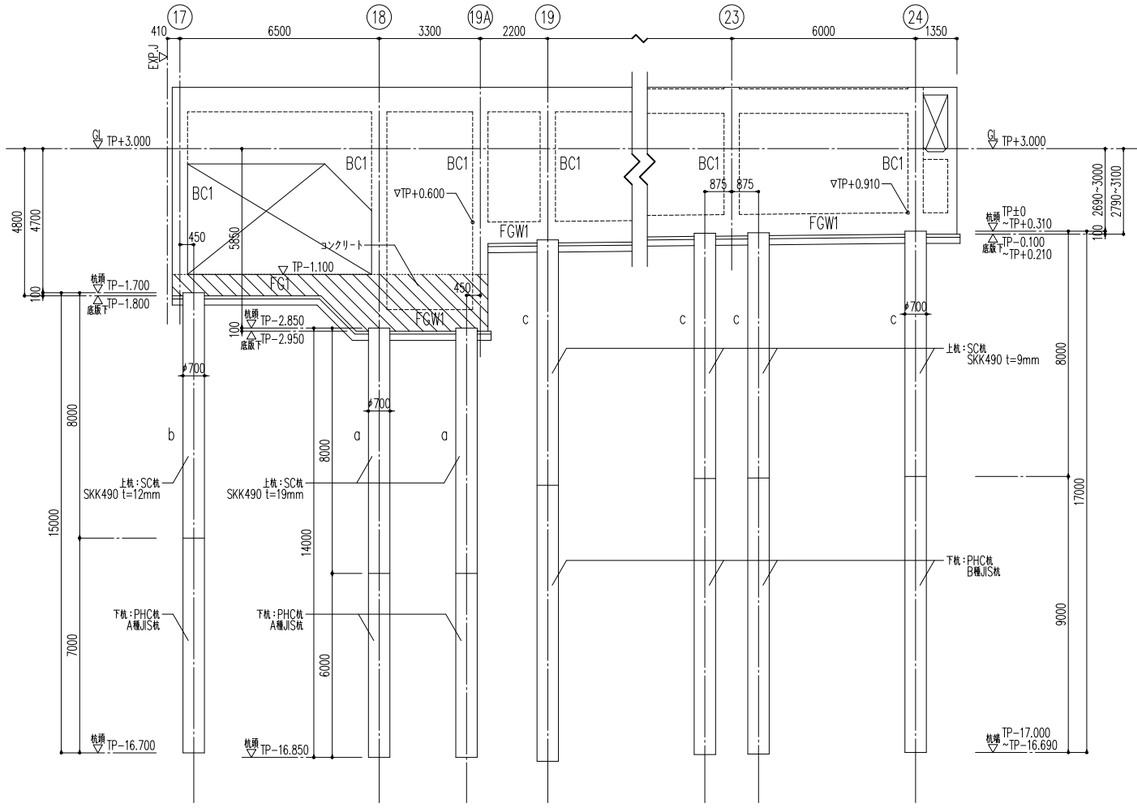

※底版下端レベル
- TP−0.100~TP+0.210
- TP+0.210
- TP−0.100
- TP−1.800 (※)
- TP−2.950~TP−1.800 (※)
- TP−2.950 (※)

(※)：コンクリート強度 σck=30N/mm2とする
その他：コンクリート強度 σck=24N/mm2とする

杭伏図　S=1/100
（最終沈殿池）

工法：プレボーリング工法

| 記号 | 杭　種 | 杭 長 | 本 数 |
|---|---|---|---|
| ◎ a | 上杭：φ700 SC SKK490 t=19mm : 8m<br>下杭：φ700 PHC A種 JIS杭 : 6m | 14m | 8本 |
| ● b | 上杭：φ700 SC SKK490 t=12mm : 8m<br>下杭：φ700 PHC A種 JIS杭 : 7m | 15m | 3本 |
| ⊗ c | 上杭：φ700 SC SKK490 t=9mm : 8m<br>下杭：φ700 PHC B種 JIS杭 : 9m | 17m | 33本 |
| | 杭セット数合計 | | 44組 |

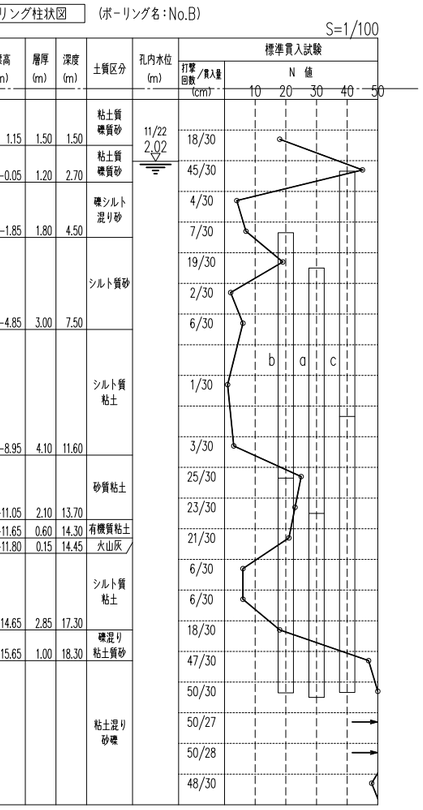



杭断面図　S=1/100
（最終沈殿池）

ボーリング柱状図　（ボーリング名：No.B）　S=1/100

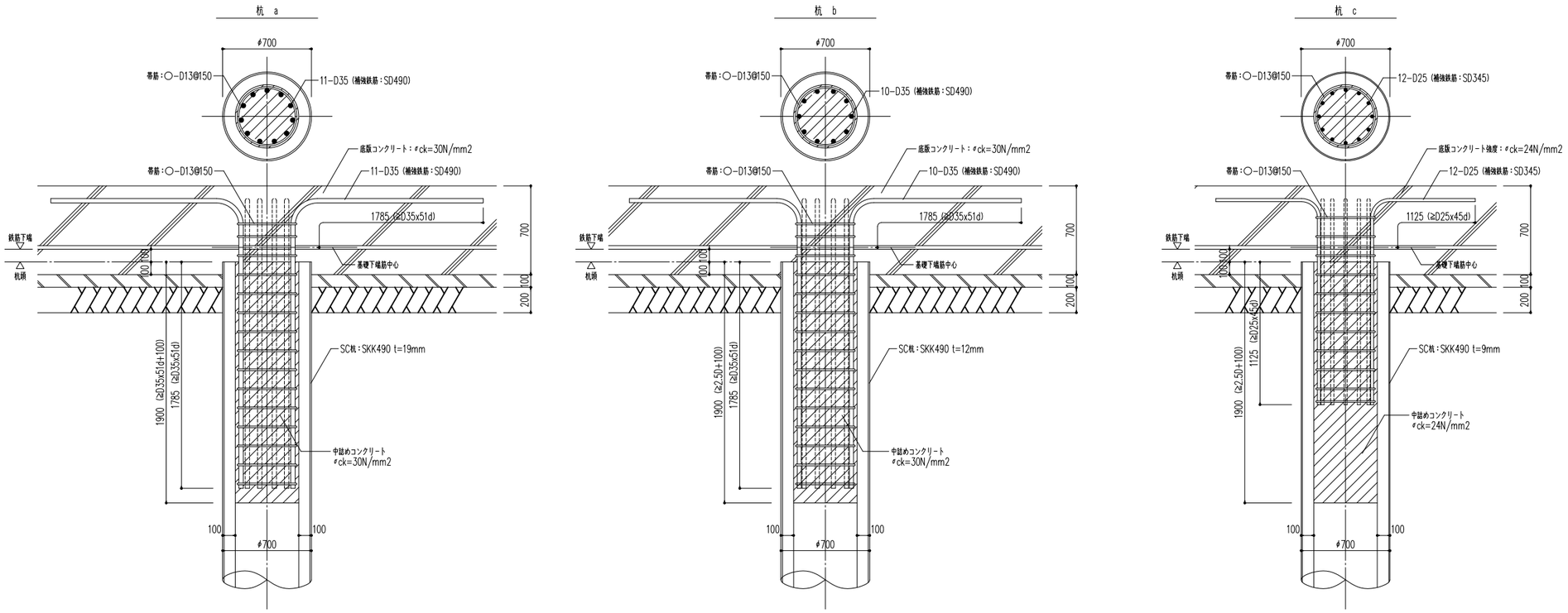
| 標尺 (m) | 標高 (m) | 層厚 (m) | 深度 (m) | 土質区分 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 1.15 | 1.50 | 1.50 | 粘土質礫質砂 |
| 2 | −0.05 | 1.20 | 2.70 | 粘土質礫質砂 |
| 3 | | | | 礫シルト混り砂 |
| 4 | −1.85 | 1.80 | 4.50 | |
| 5 | | | | シルト質砂 |
| 6 | | | | |
| 7 | −4.85 | 3.00 | 7.50 | |
| 8 | | | | シルト質粘土 |
| 9 | | | | |
| 10 | | | | |
| 11 | −8.95 | 4.10 | 11.60 | |
| 12 | | | | 砂質粘土 |
| 13 | −11.05 | 2.10 | 13.70 | |
| 14 | −11.65 | 0.60 | 14.30 | 有機質粘土 |
| 15 | −11.80 | 0.15 | 14.45 | 火山灰 |
| 16 | | | | シルト質粘土 |
| 17 | −14.65 | 2.85 | 17.30 | |
| 18 | −15.65 | 1.00 | 18.30 | 礫混り粘土質砂 |
| 19 | | | | 粘土混り砂礫 |
| 20 | | | | |
| 21 | | | | |
| 22 | | | | |

孔内水位 (m): 11/22 2.02



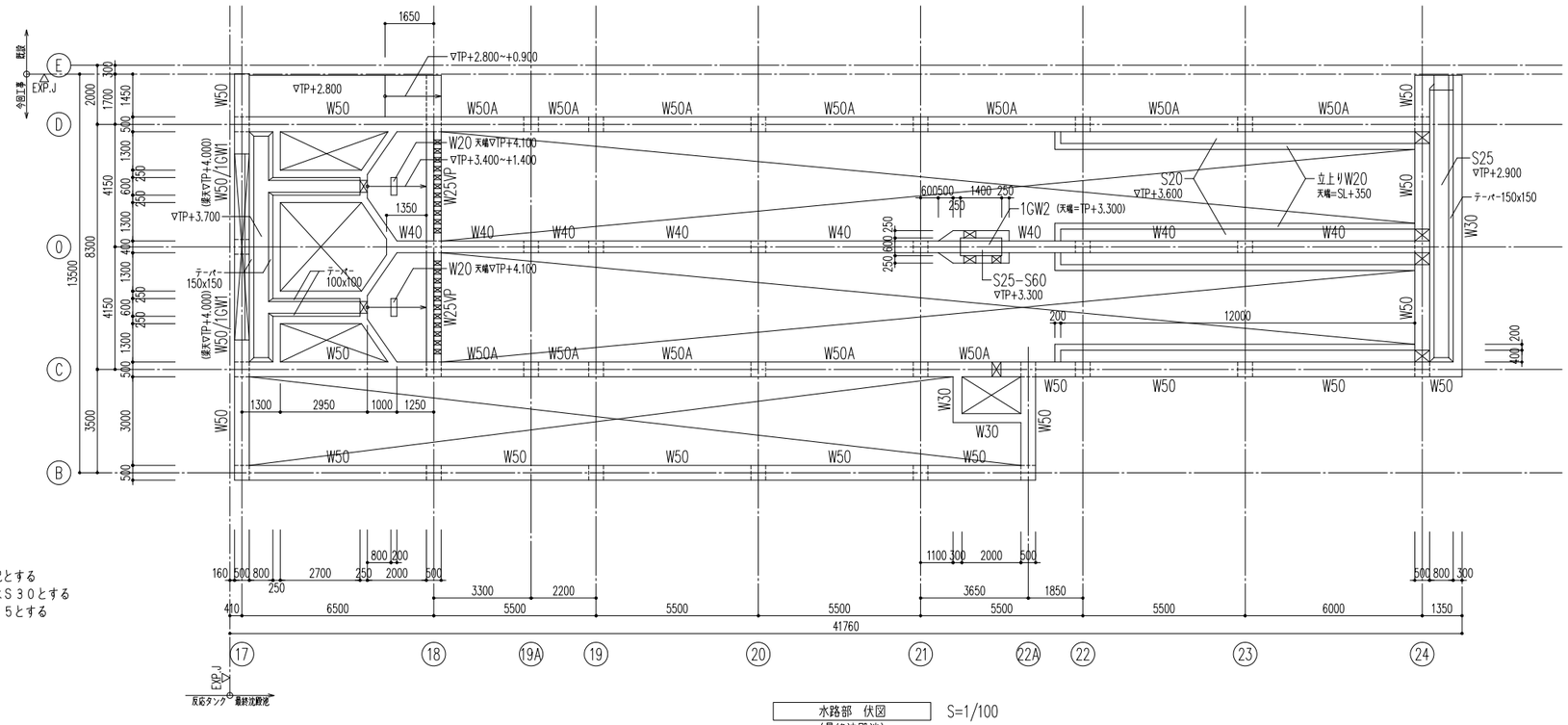
| 図面番号 | S-31 | 縮 尺 | A1-1:20 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 最終沈殿池<br>杭頭補強詳細図 | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

杭頭補強詳細図　S=1/20
（最終沈殿池）



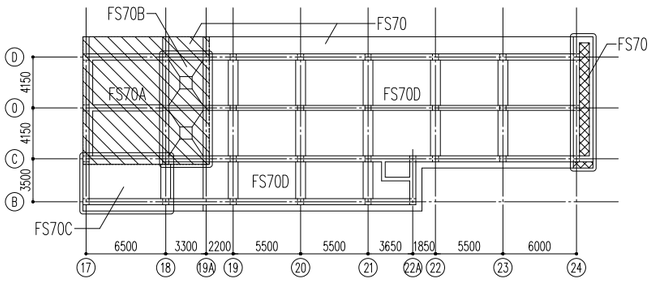

| 記号 | 杭　種 |
|---|---|
| ◎ a | 上杭：φ700 SC SKK490 t=19mm<br>下杭：φ700 PHC A種 JIS杭 |
| ● b | 上杭：φ700 SC SKK490 t=12mm<br>下杭：φ700 PHC A種 JIS杭 |
| ⊗ c | 上杭：φ700 SC SKK490 t=9mm<br>下杭：φ700 PHC B種 JIS杭 |

| 図面番号 | S-32 | 縮 尺 | A1-1:100 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 最終沈殿池　伏図(1) | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

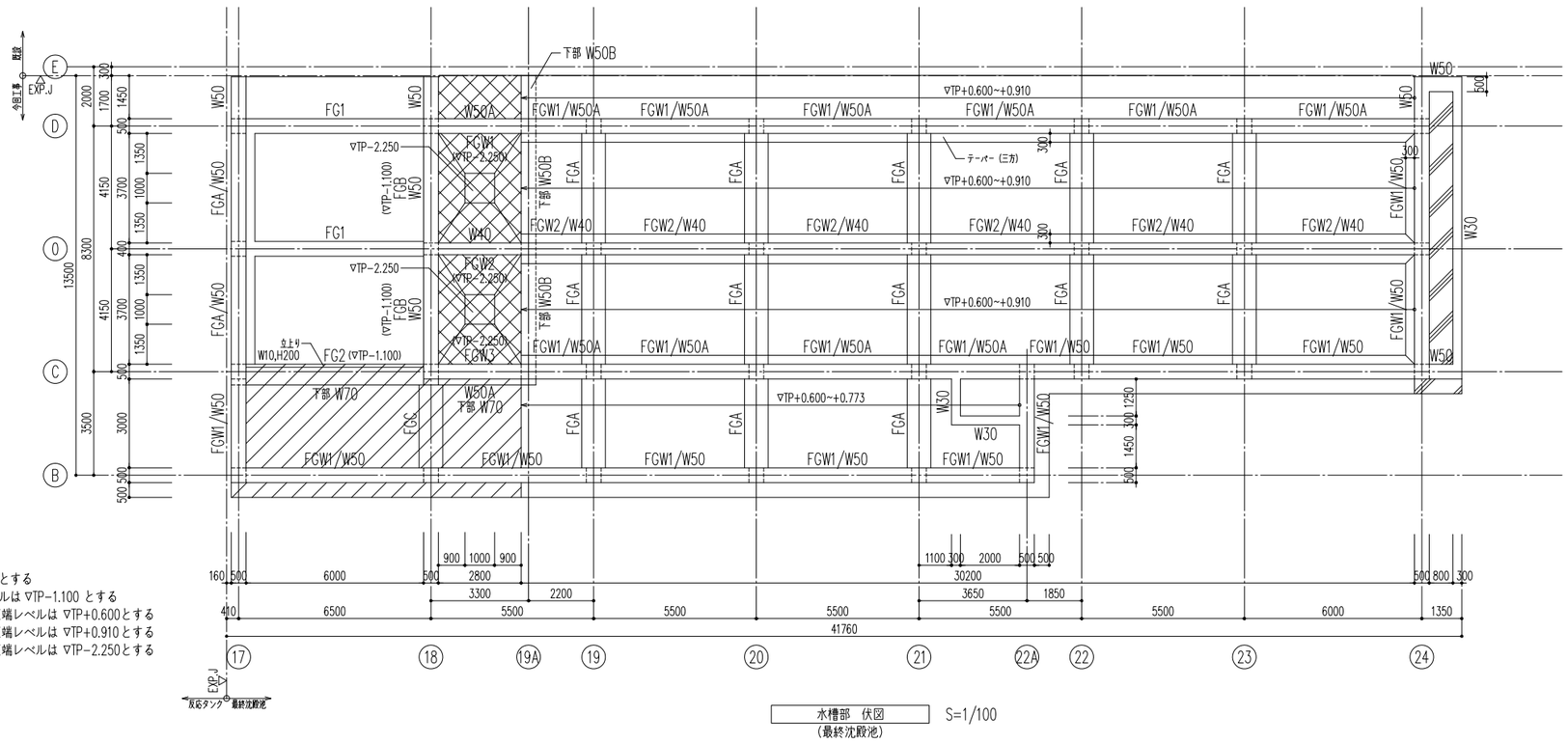



※特記なき限り下記とする
1）スラブ符号はＳ３０とする
2）壁符号はＷ２５とする

水路部　伏図　S=1/100
（最終沈殿池）



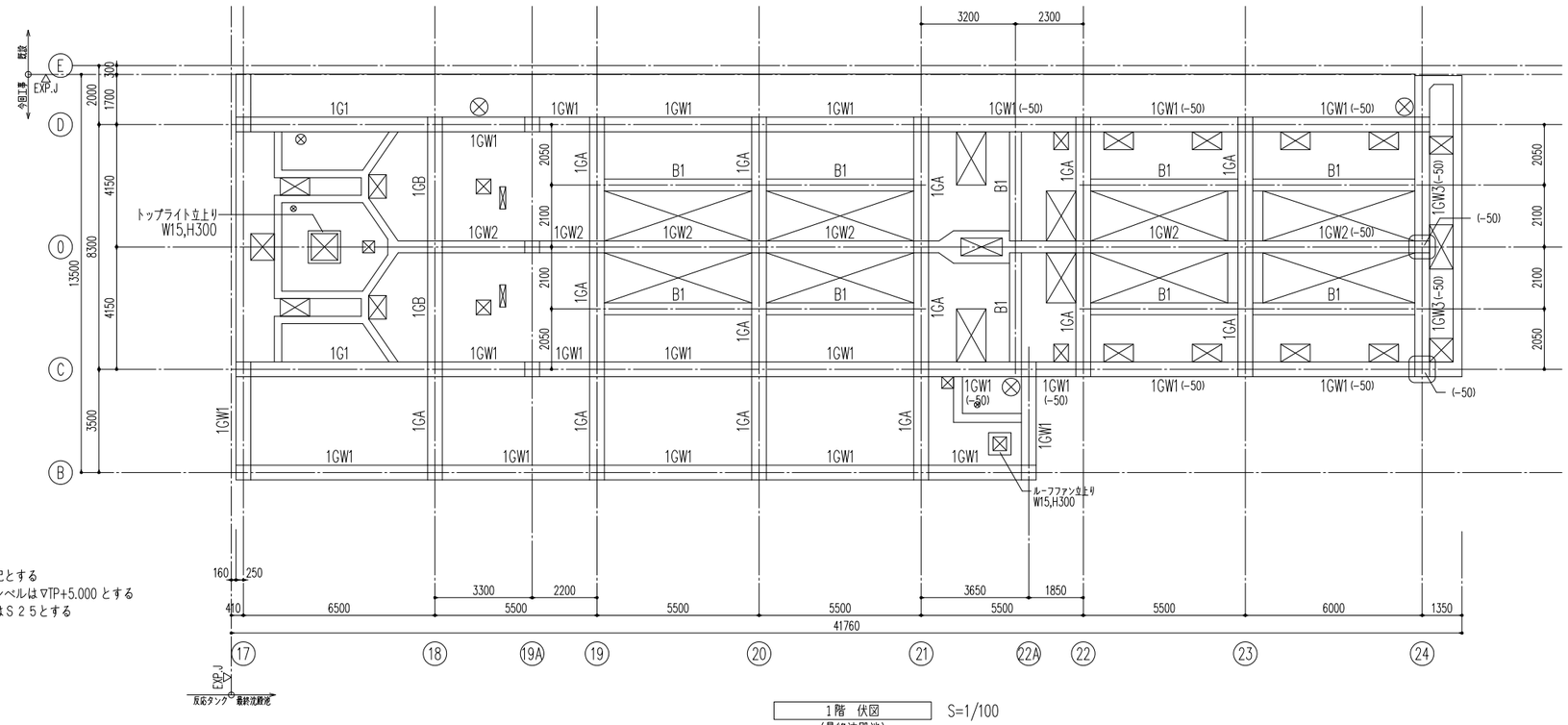

コンクリート強度ＦＣ３０を示す
（▽ＴＰ－１．１００まで）




※特記なき限り下記とする
1）底版天端レベルは ▽TP-1.100 とする
底版天端レベルは ▽TP+0.600とする
底版天端レベルは ▽TP+0.910とする
底版天端レベルは ▽TP-2.250とする

水槽部　伏図　S=1/100
（最終沈殿池）

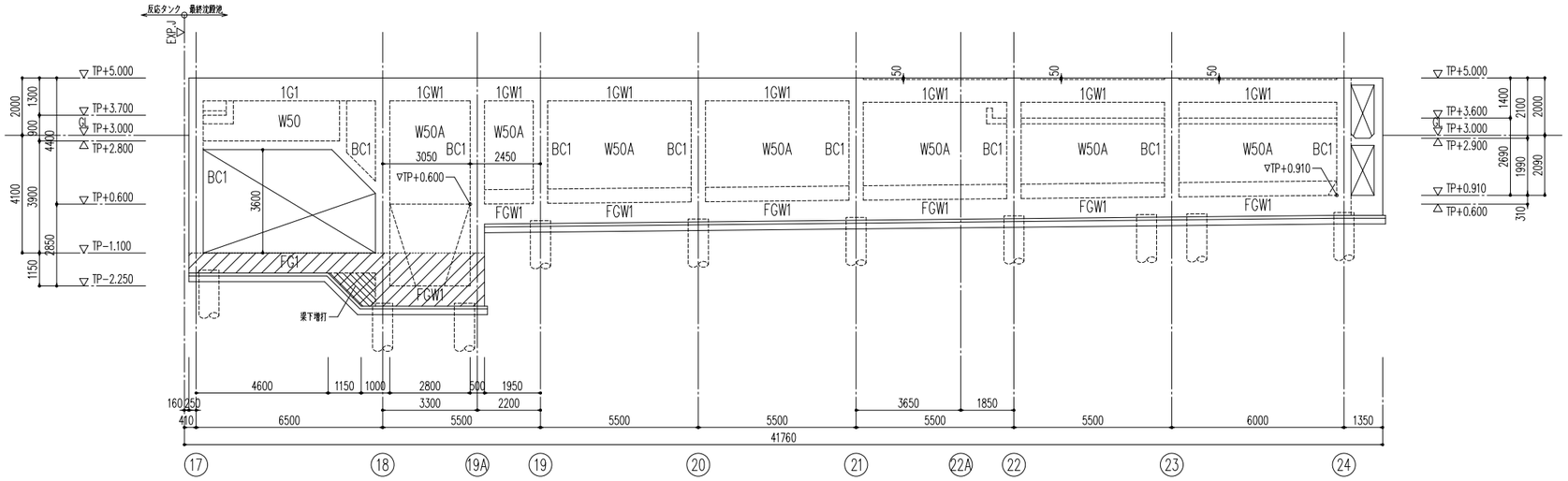
| 図面番号 | S-33 | 縮 尺 | A1-1:100 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 最終沈殿池　伏図(2) | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |




※特記なき限り下記とする
1）スラブ天端レベルは▽TP+5.000 とする
2）スラブ符号はＳ２５とする

1階　伏図
(最終沈殿池)
S=1/100

| 図面番号 | S-34 | 縮 尺 | A1-1:100 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 最終沈殿池　軸組図(1) | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

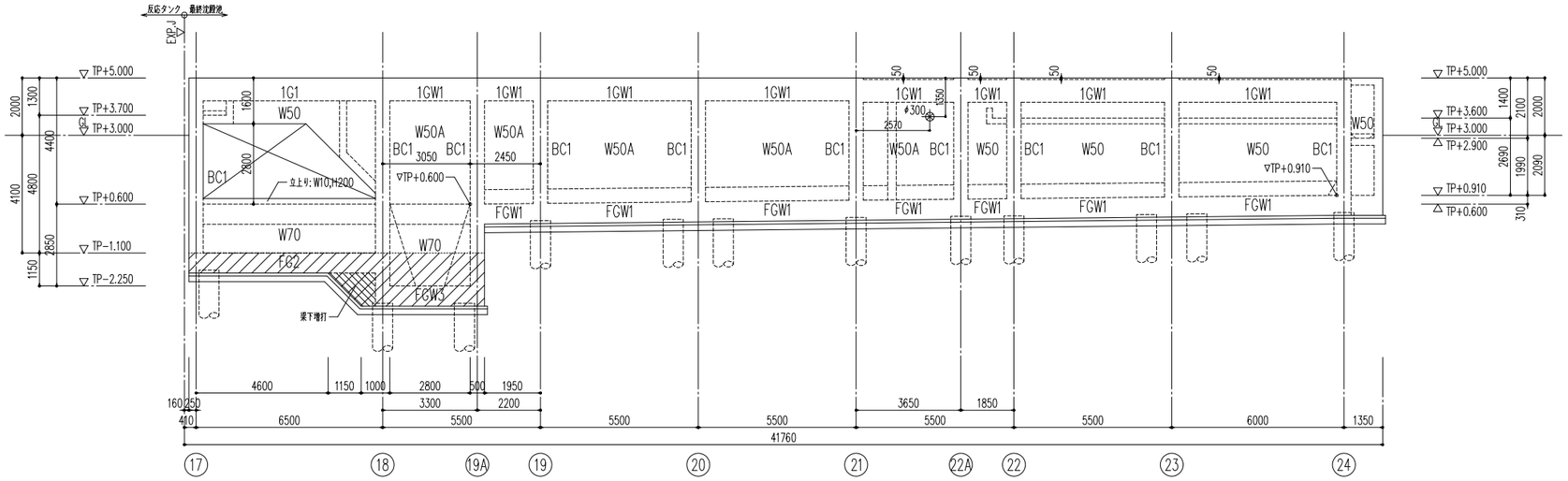



D通　軸組図
(最終沈殿池)
S=1/100

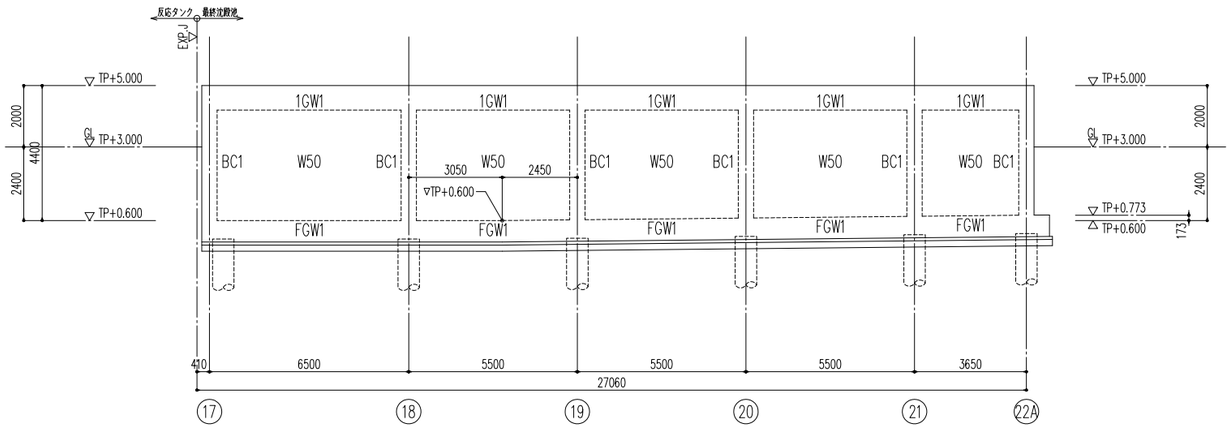
O通　軸組図
(最終沈殿池)
S=1/100

※特記なき限り下記とする
1）捨てＣｔ＝１００、砕石ｔ＝２００とする
2）コンクリート強度は、ＦＣ２４とする
3）▨ コンクリート強度は、ＦＣ３０とする
（▽ＴＰ－１．１００まで）

| 図面番号 | S-35 | 縮 尺 | A1-1:100 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 最終沈殿池　軸組図(2) | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |



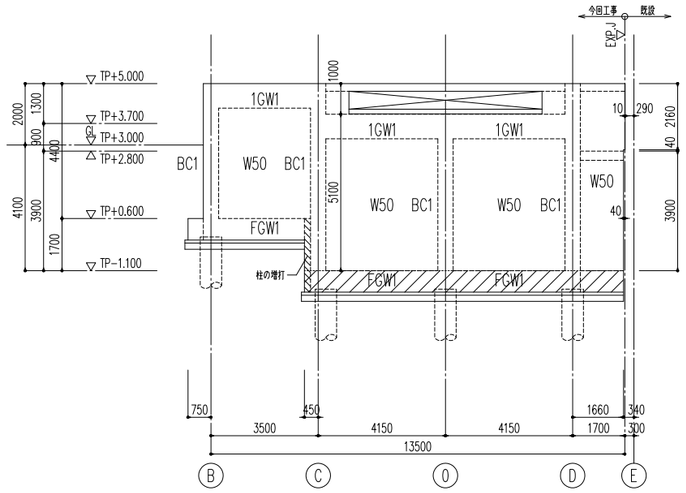

C通　軸組図
(最終沈殿池)
S=1/100



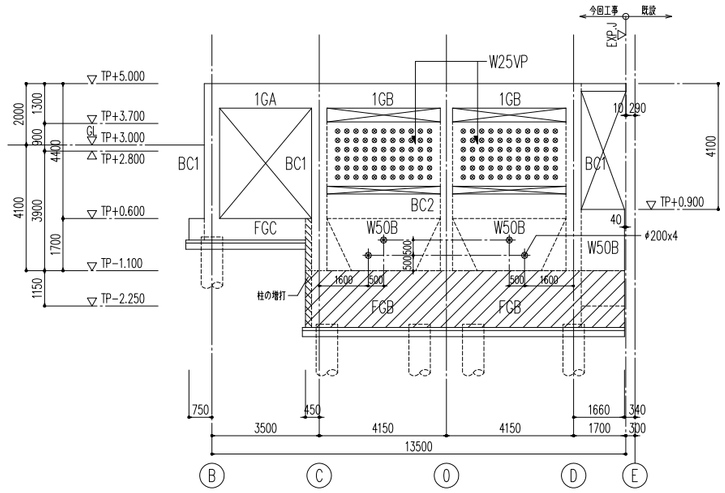

B通　軸組図
(最終沈殿池)
S=1/100

※特記なき限り下記とする
1）捨てＣｔ＝１００、砕石ｔ＝２００とする
2）コンクリート強度は、ＦＣ２４とする
3）▨ コンクリート強度は、ＦＣ３０とする
（▽ＴＰ－１．１００まで）

| 図面番号 | S-36 | 縮 尺 | A1-1:100 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 最終沈殿池　軸組図(3) | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

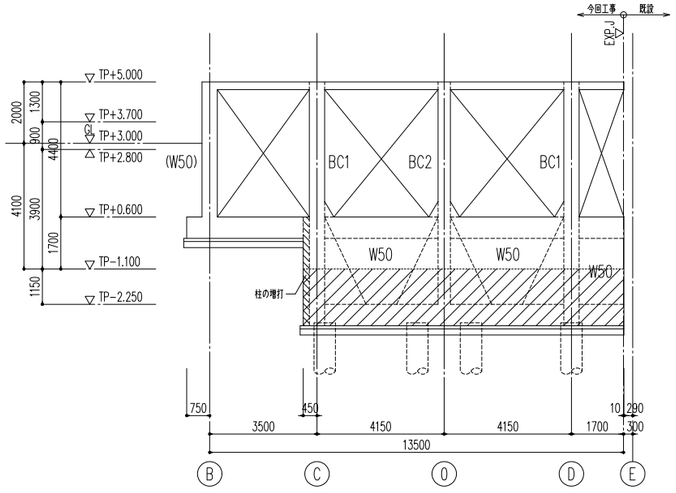



１７通　軸組図　S=1/100
（最終沈殿池）

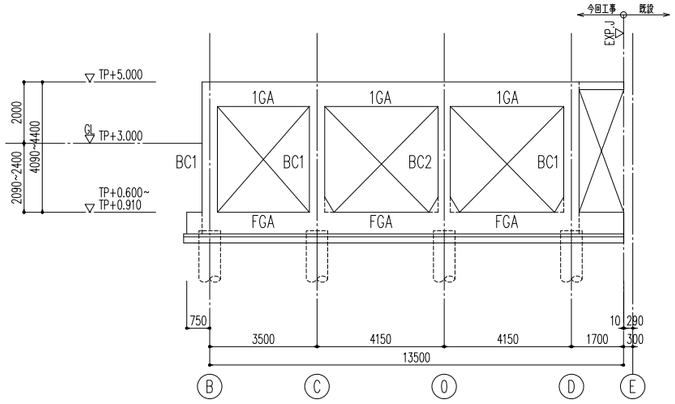



１８通　軸組図　S=1/100
（最終沈殿池）

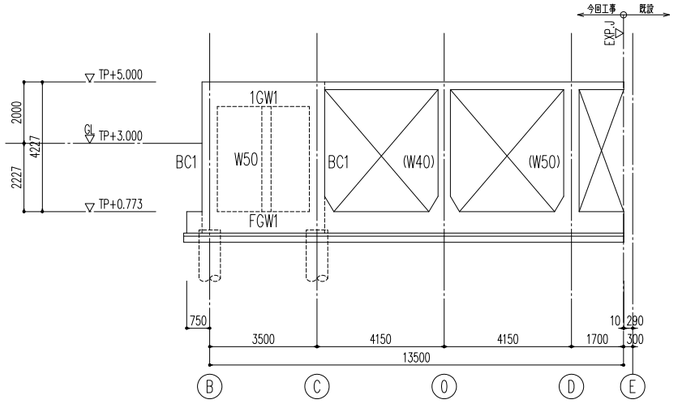
※特記なき限り下記とする
1）捨てＣｔ＝１００、砕石ｔ＝２００とする
2）コンクリート強度は、ＦＣ２４とする
3）▨ コンクリート強度は、ＦＣ３０とする
（▽ＴＰ－１．１００まで）



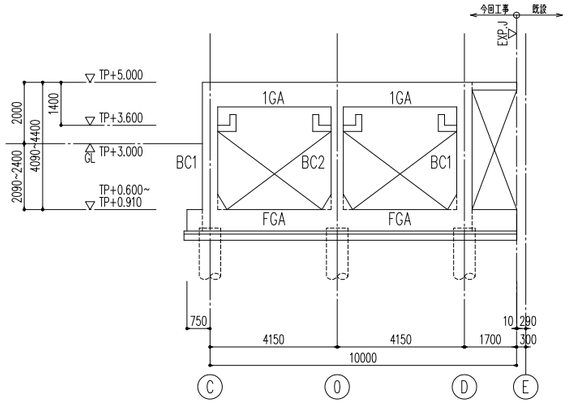

１９Ａ通　軸組図　S=1/100
（最終沈殿池）



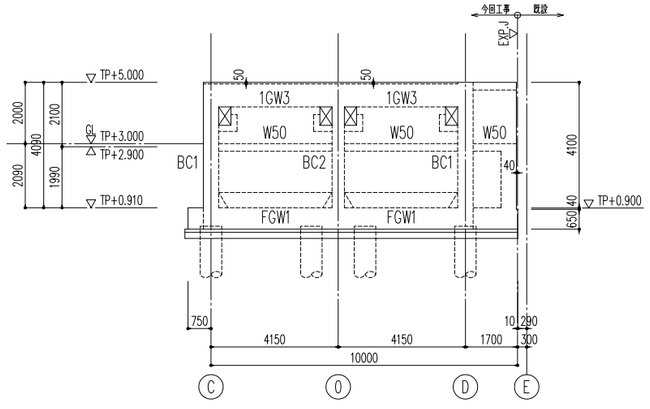

１９･２０･２１通　軸組図　S=1/100
（最終沈殿池）




２２Ａ通　軸組図　S=1/100
（最終沈殿池）

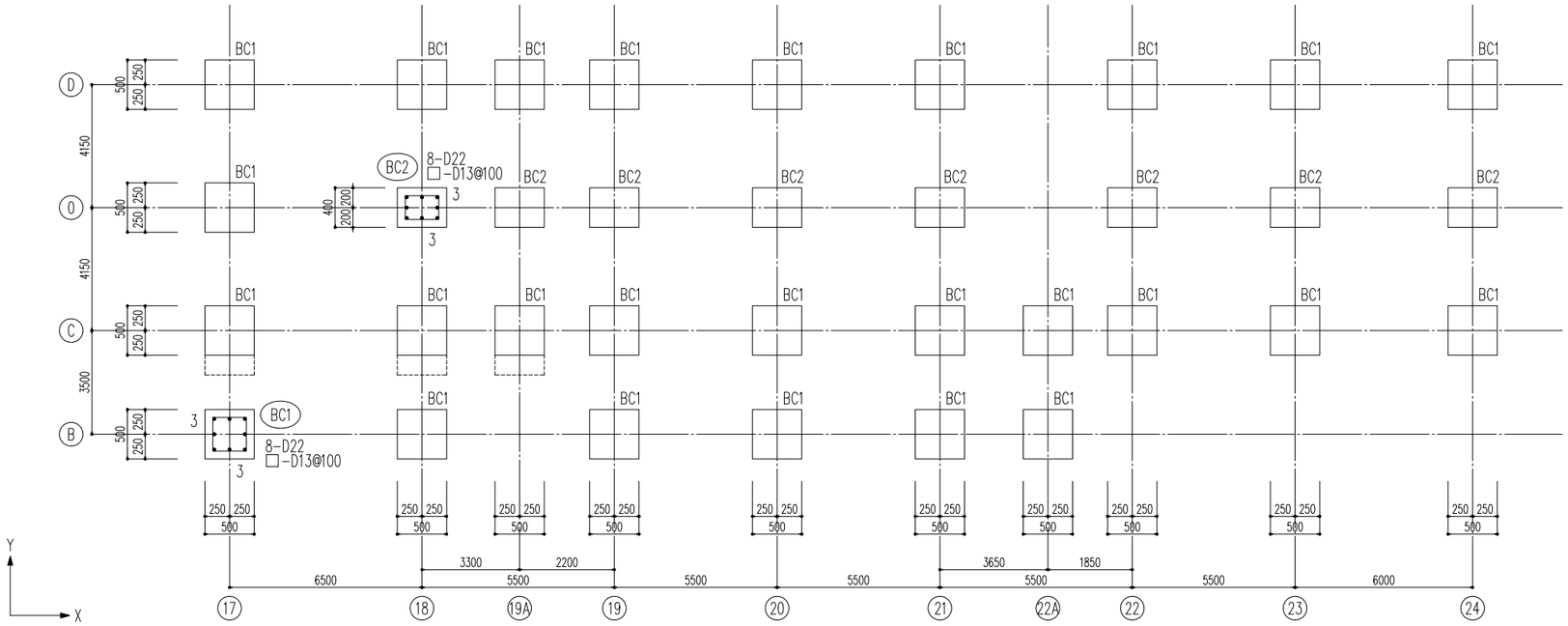



２２･２３通　軸組図　S=1/100
（最終沈殿池）

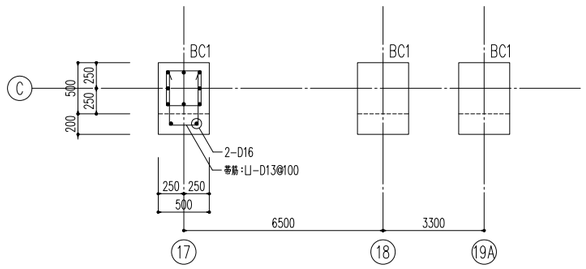



２４通　軸組図　S=1/100
（最終沈殿池）

| 図面番号 | S-37 | 縮 尺 | A1-1:30 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 最終沈殿池　柱リスト | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |




柱リスト
（最終沈殿池）
S=1/30

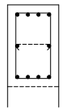
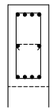
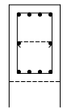


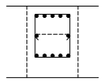
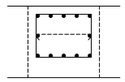
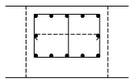
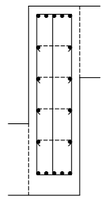
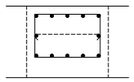
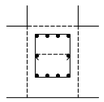
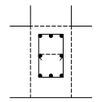
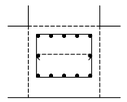

柱脚部　柱側面増打

| 図面番号 | S-38 | 縮 尺 | A1-1:30 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 最終沈殿池　各リスト | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

## 大梁リスト （最終沈殿池） S=1/30

巾止筋：D13@1000

| 符　号 | 1G1 | 1GA | 1GB | 1GW1 | 1GW2 | 1GW3 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 位　置 | 全断面 | 全断面 | 全断面 | 全断面 | 全断面 | 全断面 | | |
| 1　階 | | | |  |  |  | | |
| B x D | 500x800 | 500x800 | 500x800 | 500x800 | 400x800 | 500x750 | | |
| 上端筋 | 4-D25 | 4-D25 | 4-D25 | 4-D25 | 4-D22 | 4-D25 | | |
| 下端筋 | 4-D25 | 4-D25 | 4-D25 | 4-D25 | 4-D22 | 4-D25 | | |
| 腹　筋 | 2-D13 | 2-D13 | 2-D13 | 2-D13 | 2-D13 | 2-D13 | | |
| あばら筋 | □-D13@200 | □-D13@200 | □-D13@100 | □-D13@200 | □-D13@200 | □-D13@200 | | |

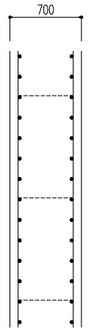
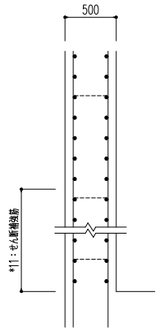
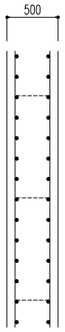
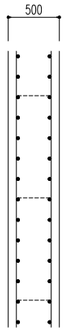
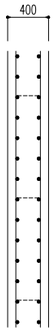
| 符　号 | FG1 | FG2 | FGA | FGB | FGC | FGW1 | FGW2 | FGW3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 位　置 | 全断面 | 全断面 | 全断面 | 全断面 | 全断面 | 全断面 | 全断面 | 全断面 |
| B　階 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| B x D | 500x700 | 700x700 | 800x700 | 500x1850 | 800x700 | 500x700 | 400x700 | 700x700 |
| 上端筋 | 5-D25 | 5-D25 | 5-D25 | 5-D25 | 5-D25 | 4-D22 | 3-D22 | 5-D22 |
| 下端筋 | 5-D25 | 5-D25 | 5-D25 | 5-D25 | 5-D25 | 4-D22 | 3-D22 | 5-D22 |
| 腹　筋 | 2-D13 | 2-D13 | 2-D13 | 8-D13 | 2-D13 | 2-D13 | 2-D13 | 2-D13 |
| あばら筋 | □-D16@200 | □-D16@200 | □(3) -D16@200 | □(3) -D16@200 | □-D16@100 | □-D13@200 | □-D13@200 | □-D13@200 |

## 小梁リスト （最終沈殿池） S=1/30

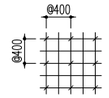
| 符　号 | B1 |
|---|---|
| 位　置 | 全断面 |
| 断　面 | |
| B x D | 400x600 |
| 上端筋 | 3-D22 |
| 下端筋 | 3-D22 |
| 腹　筋 | 2-D13 |
| あばら筋 | □-D13@200 |

巾止筋：D13@1000

## 壁リスト （最終沈殿池） S=1/30

| 符号 | | W70 | W50A | W50B | W50 | W40 | W30 | W25 | W25VP |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 断面 | |  700 |  500 ※11：せん断補強筋 |  500 |  500 |  400 | 300 | 250 | 別図（配筋図）による |
| 縦筋 | 外側 | D19@200W | D16@200W | D19@200W | D16@200W | D16@200W | D13@200W | D13@200W | |
| | 内側 | | | | | | | | |
| 横筋 | 外側 | D19@200W | D13@200W | D16@200W | D13@200W | D13@200W | D13@200W | D13@200W | |
| | 内側 | | | | | | | | |
| せん断補強筋 | | --- | ※11: ⊓-D13@400 | --- | --- | --- | --- | --- | |
| 巾止筋 | | D13@1000 | D13@1000 | D13@1000 | D13@1000 | D13@1000 | D13@1000 | D13@1000 | |
| 備考 | | | | | | | | | |

※11：壁せん断補強筋
⊓-D13@400



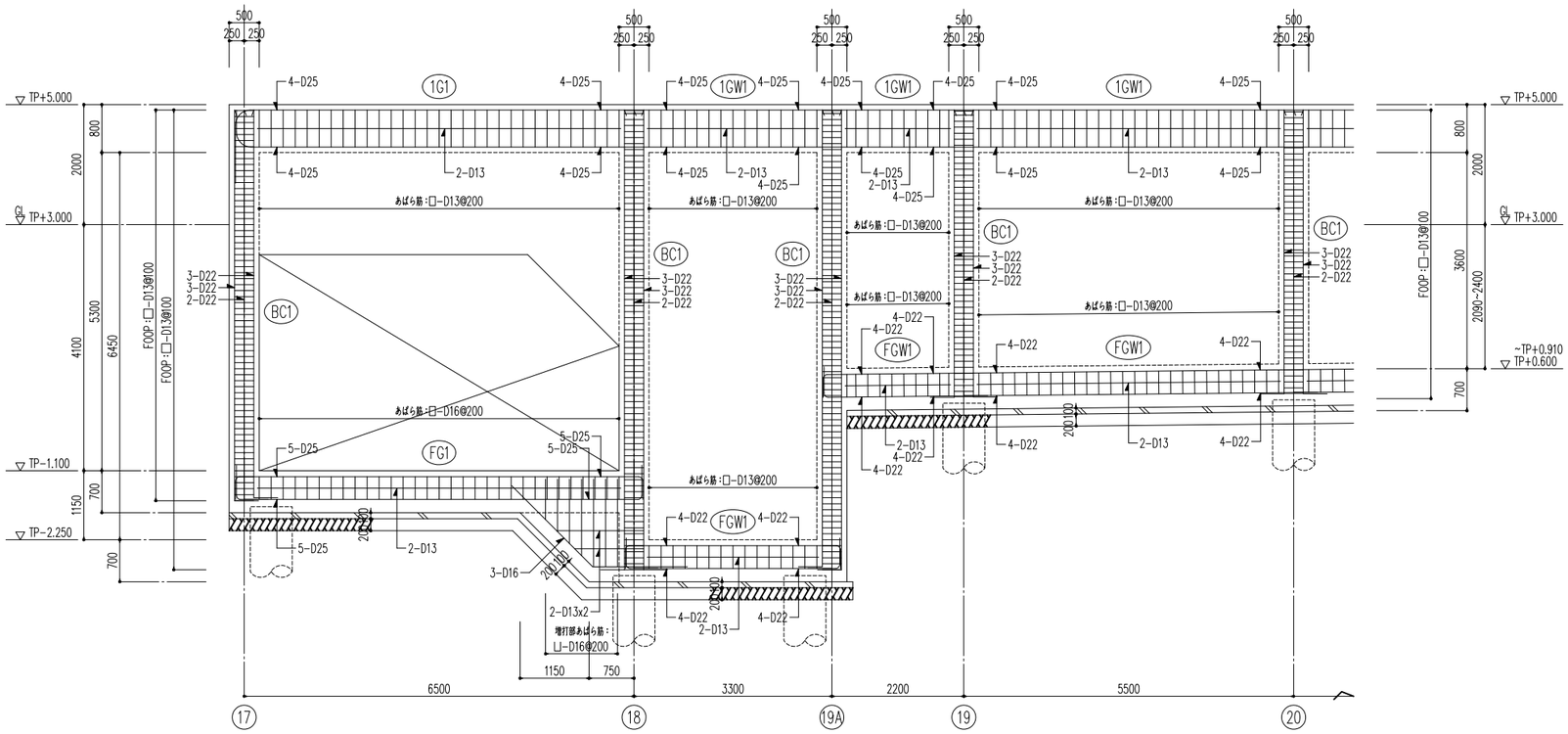

## スラブリスト （最終沈殿池）

巾止筋：D13@1000

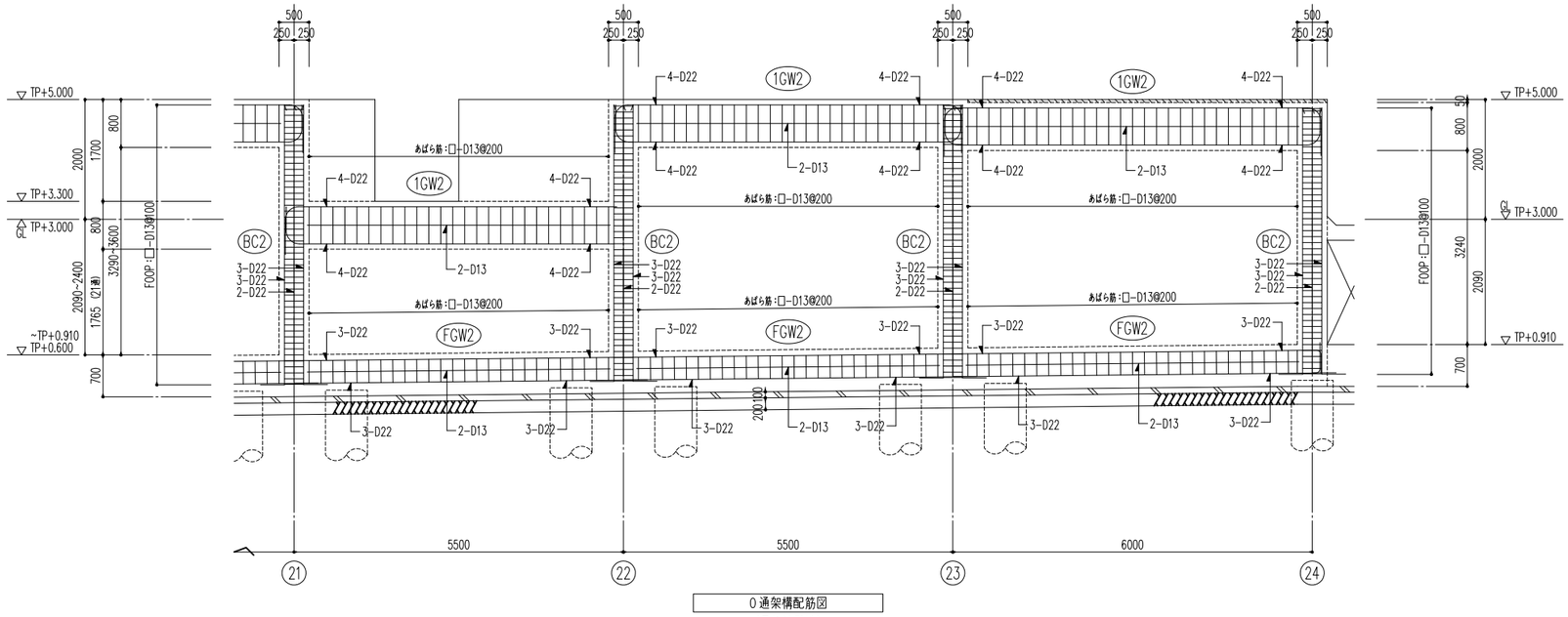
| 符　号 | 版　厚 | 位　置 | 短辺方向 端　部 | 短辺方向 中　央 | 長辺方向 端　部 | 長辺方向 中　央 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| S25 | 250 | 上端筋 | ← | D13@200 | ← | D13@200 |
| | | 下端筋 | ← | D13@200 | ← | D13@200 |
| S30 | 300 | 上端筋 | ← | D13@200 | ← | D13@200 |
| | | 下端筋 | ← | D13@200 | ← | D13@200 |

※底版、その他記述のないスラブは別図（配筋図）による

| 図面番号 | S-39 | 縮 尺 | A1-1:50 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 最終沈殿池　架構配筋図(1) | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |



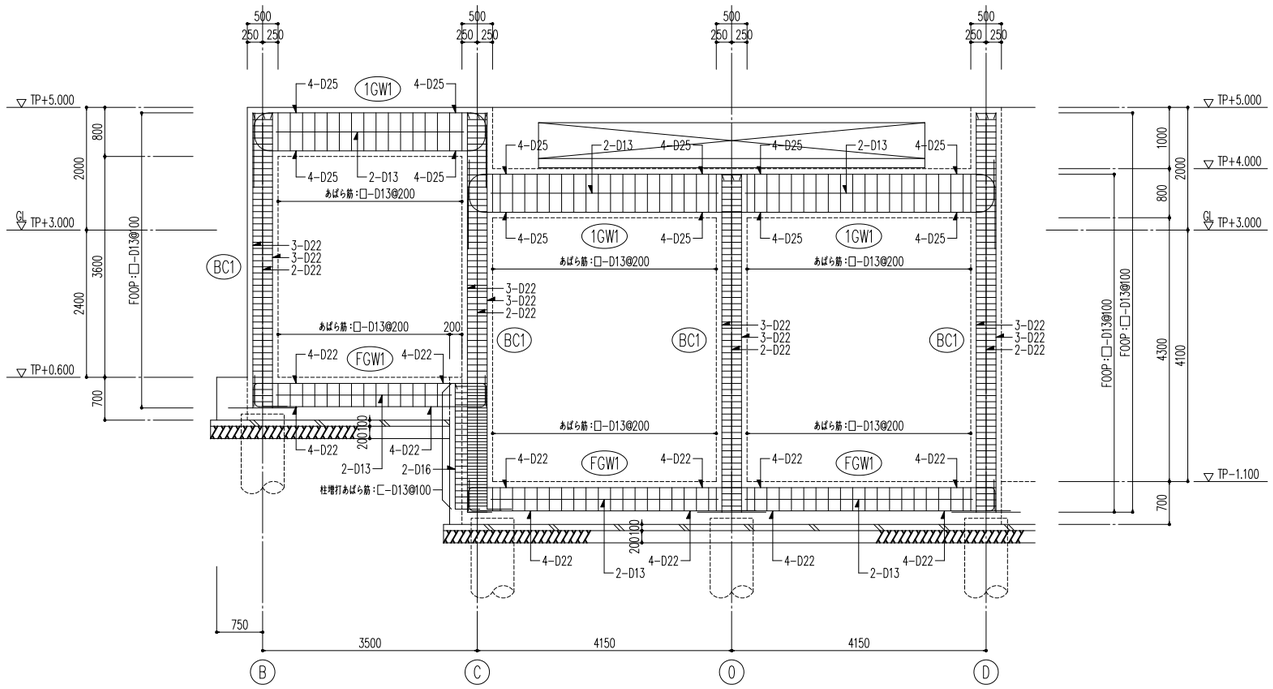

D通架構配筋図
（最終沈殿池）



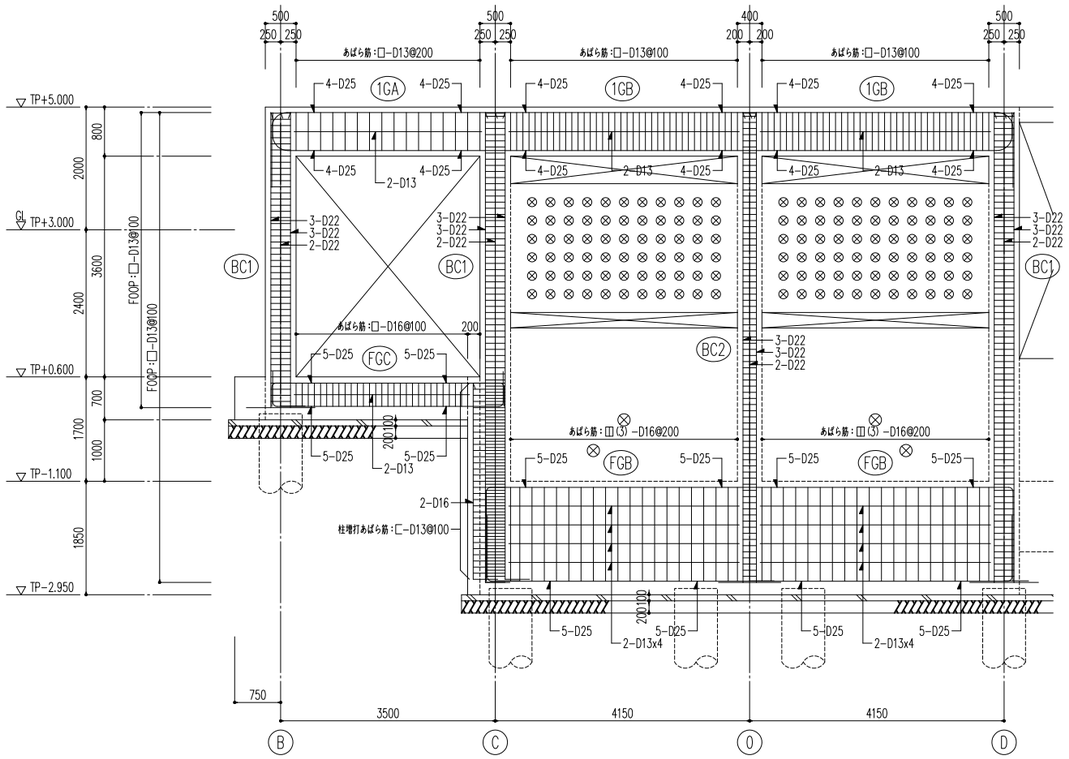

O通架構配筋図
（最終沈殿池）

※特記なき限り下記とする
1）巾止筋：D13@1000

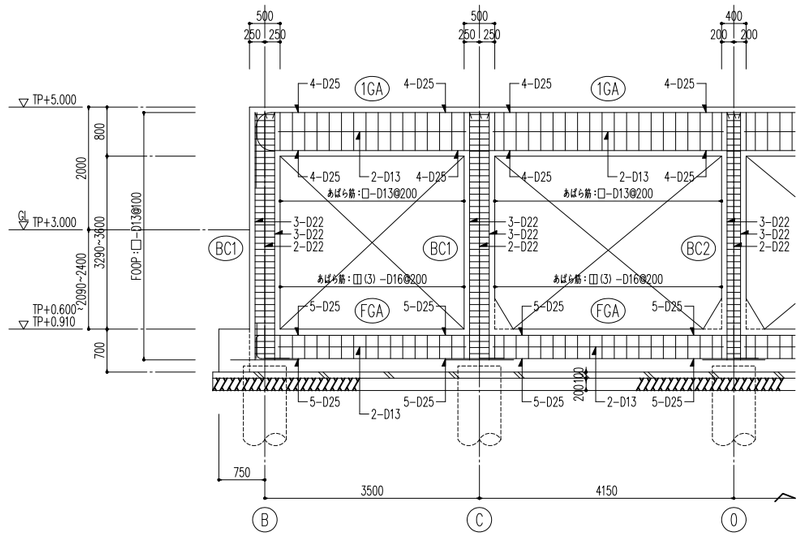
| 図面番号 | S-40 | 縮 尺 | A1-1:50 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 最終沈殿池　架構配筋図(2) | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |




１７通架構配筋図
（最終沈殿池）



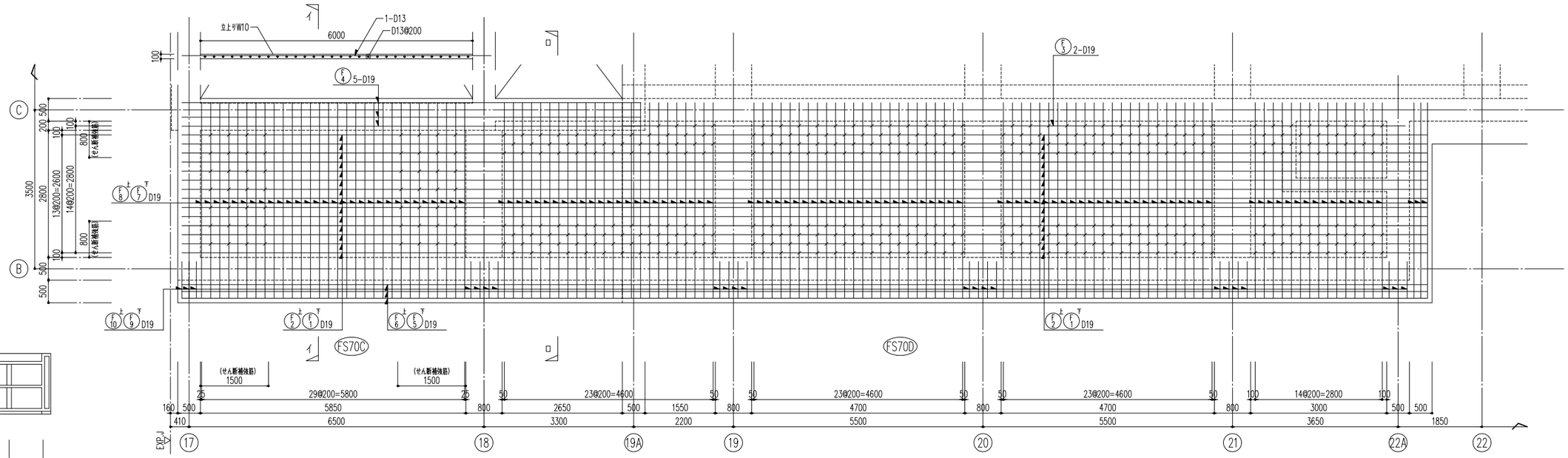

１８通架構配筋図
（最終沈殿池）



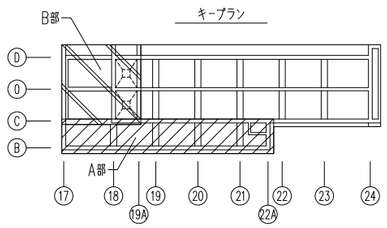

２０通架構配筋図
（最終沈殿池）

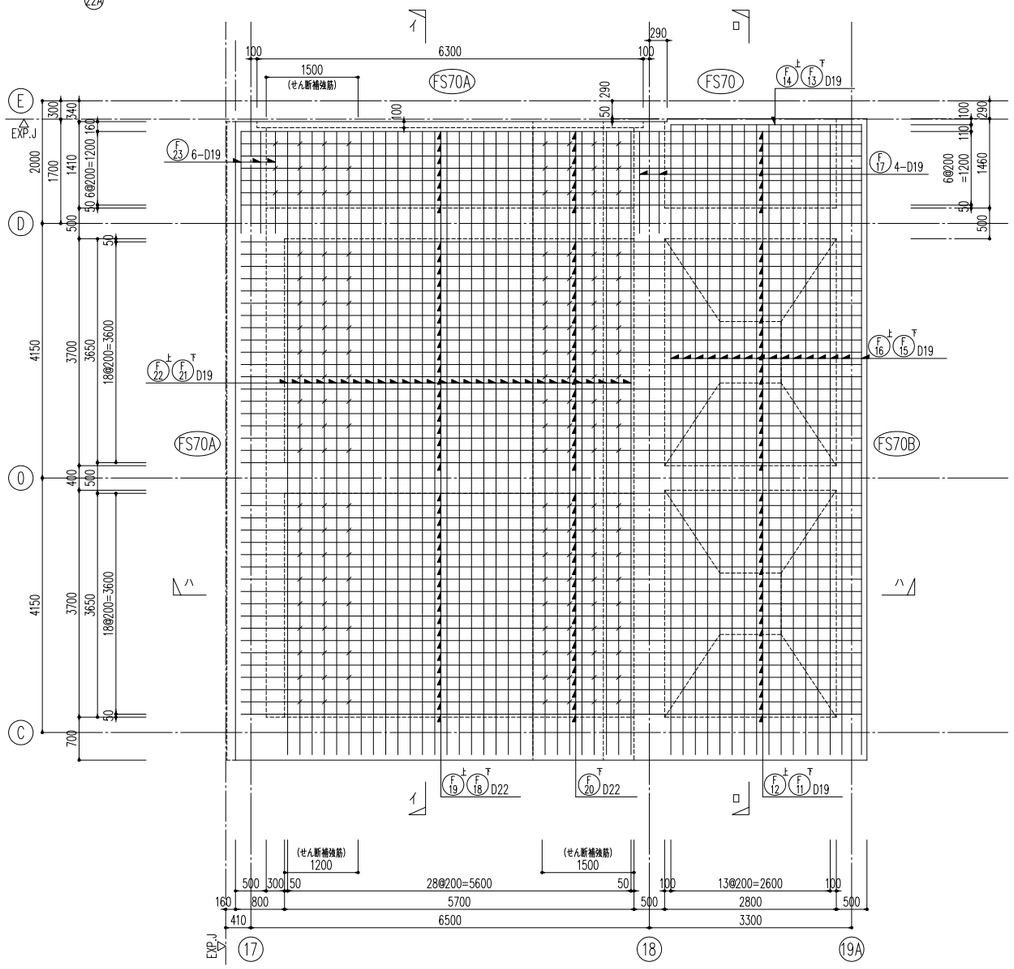
※特記なき限り下記とする
1）巾止筋：D13@1000

| 図面番号 | S-41 | 縮 尺 | A1-1:50 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 最終沈殿池　底版配筋図(1) | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

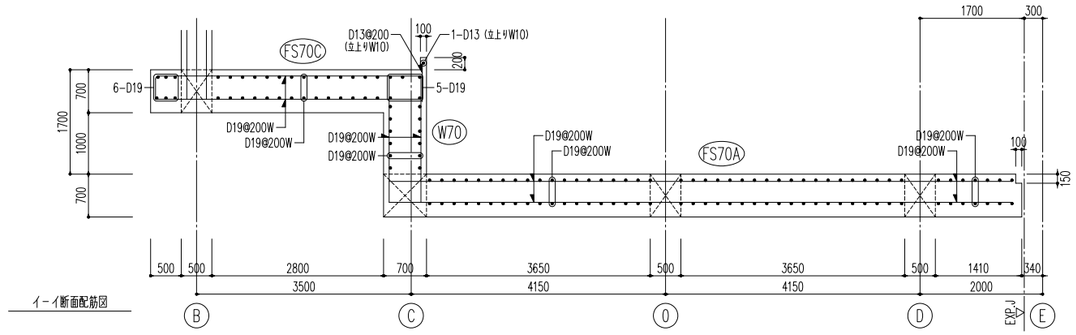



A部　底版配筋図　S=1/50
（最終沈殿池－１）

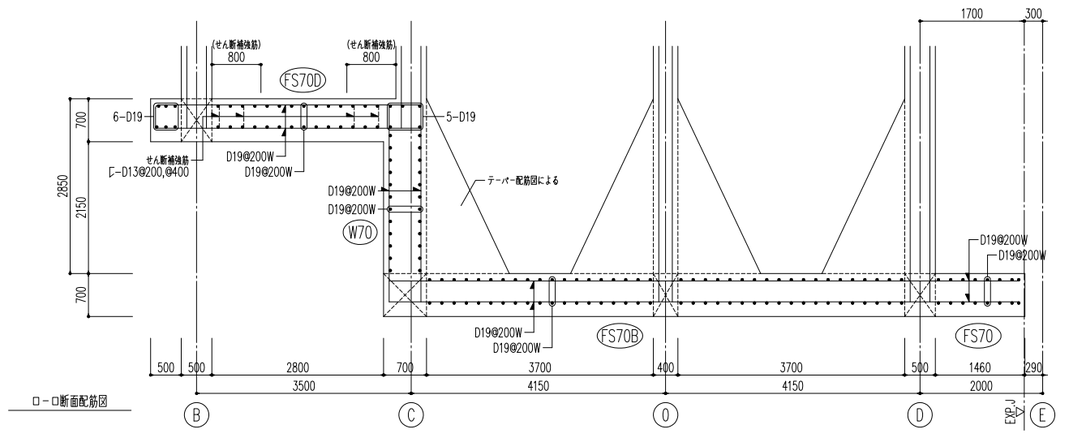



B部　底版配筋図　S=1/50
（最終沈殿池－２）

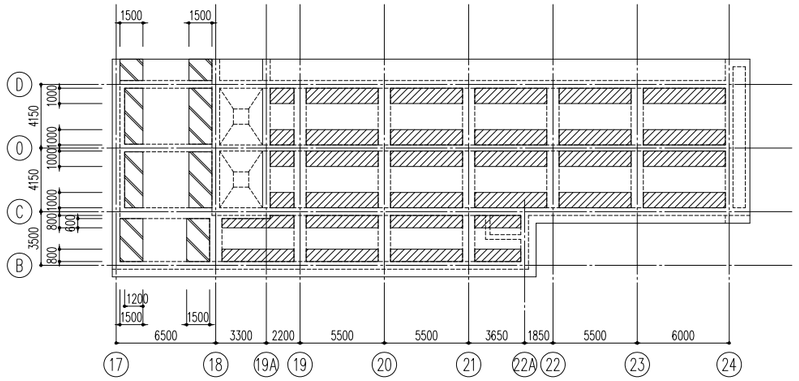


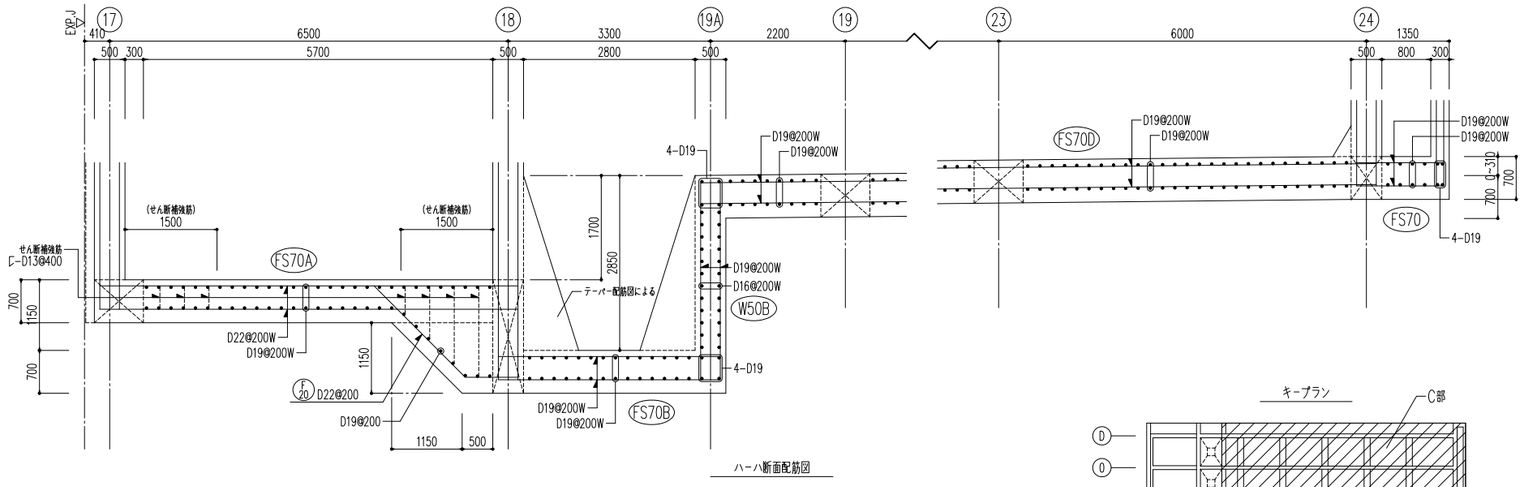

イ－イ断面配筋図

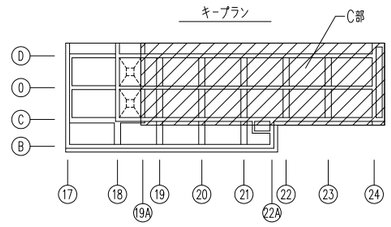


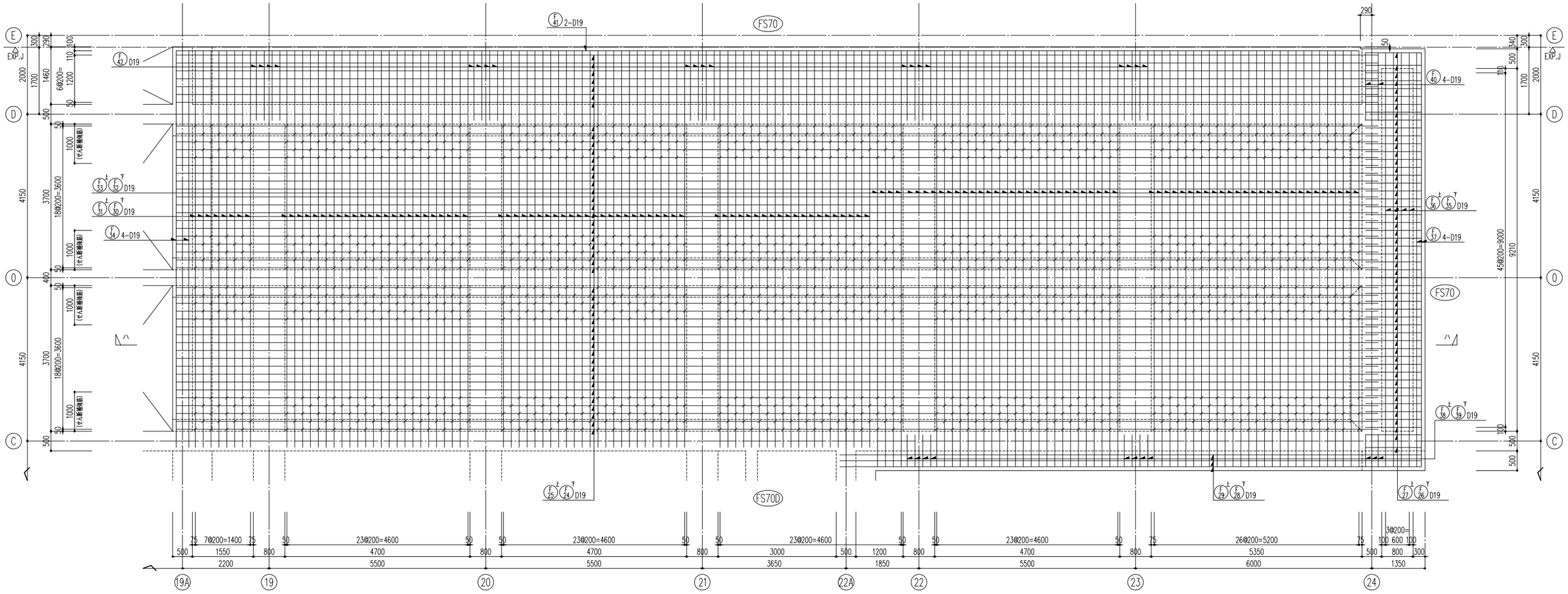

ロ－ロ断面配筋図

| 図面番号 | S-42 | 縮 尺 | A1-1:50 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 最終沈殿池　底版配筋図(2) | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |



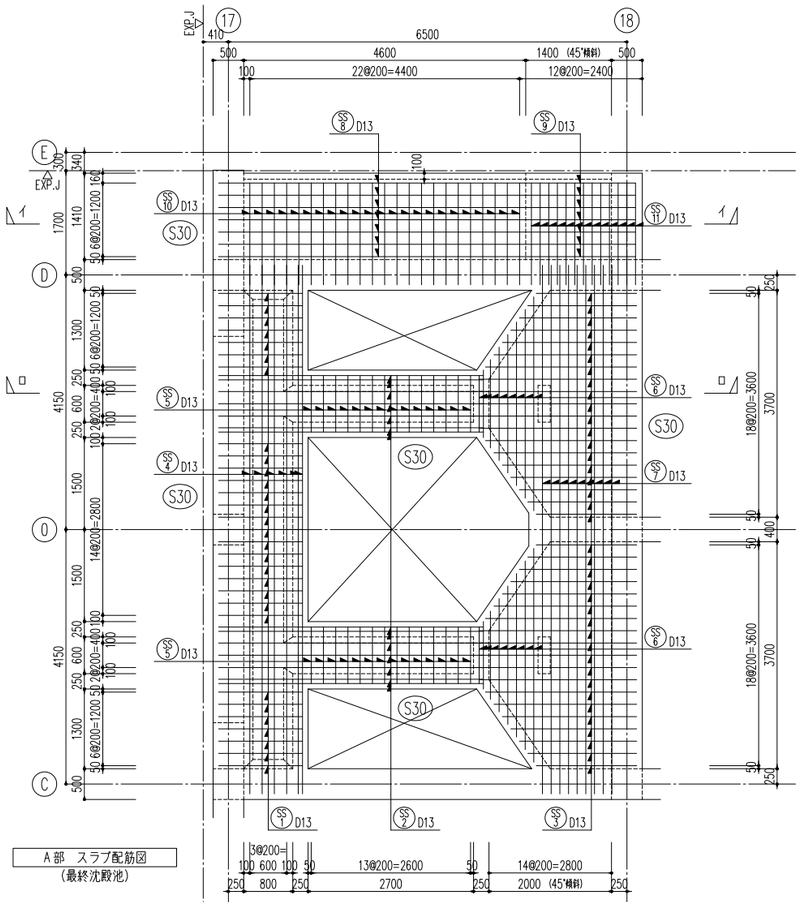



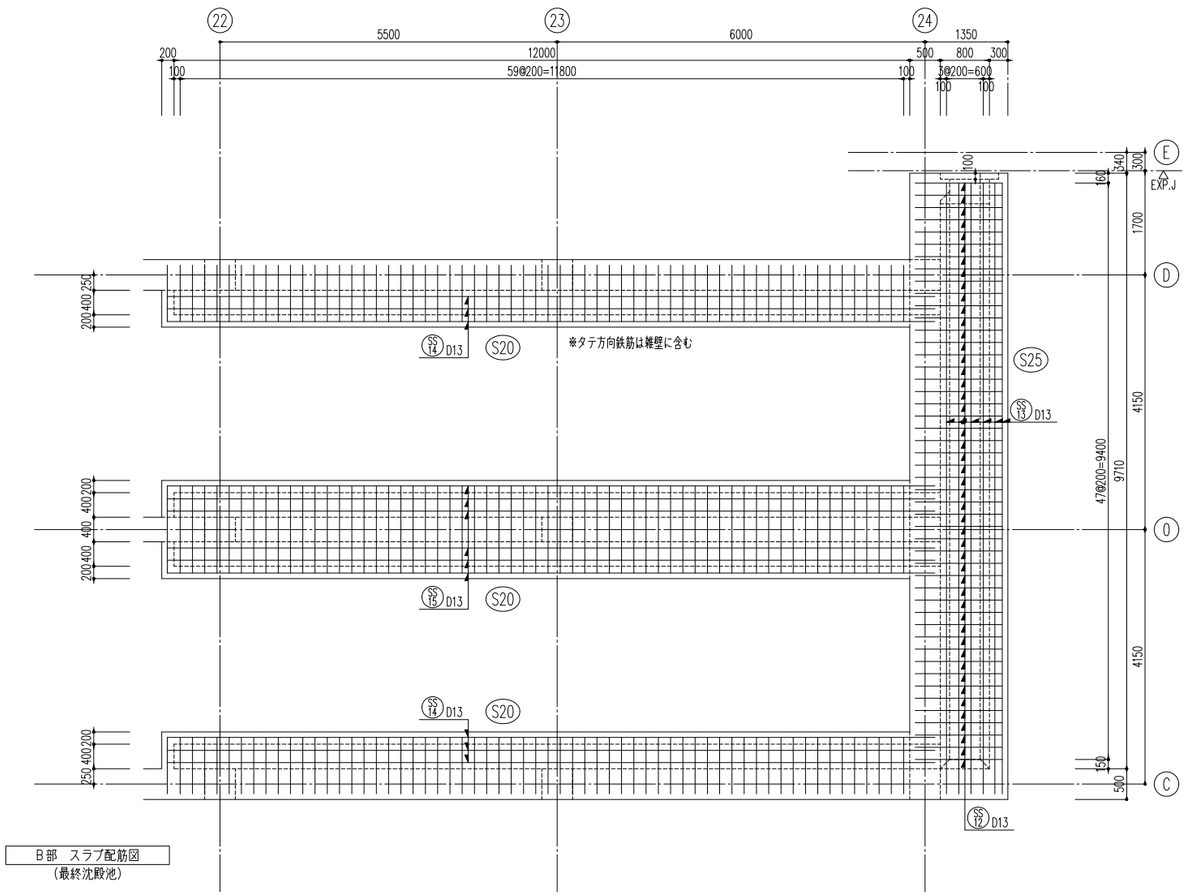



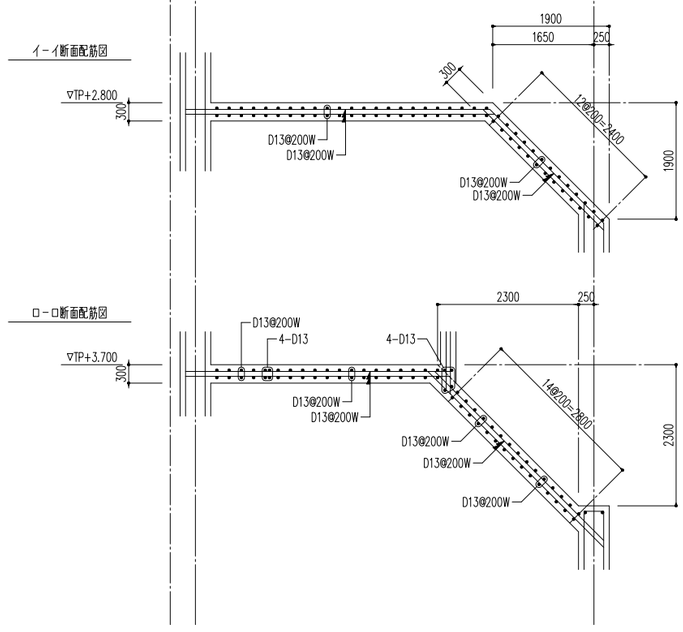



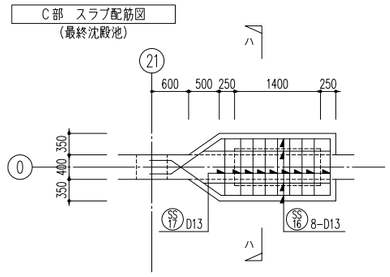

C部　底版配筋図　S=1/50
(最終沈殿池－３)

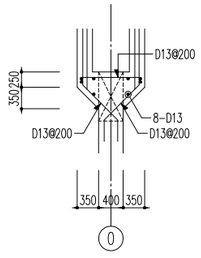
| 図面番号 | S-43 | 縮 尺 | A1-1:50 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 最終沈殿池<br>中間スラブ配筋図 | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |



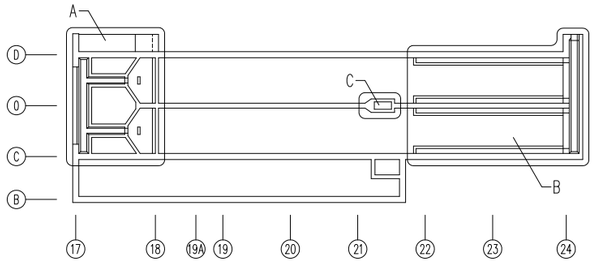



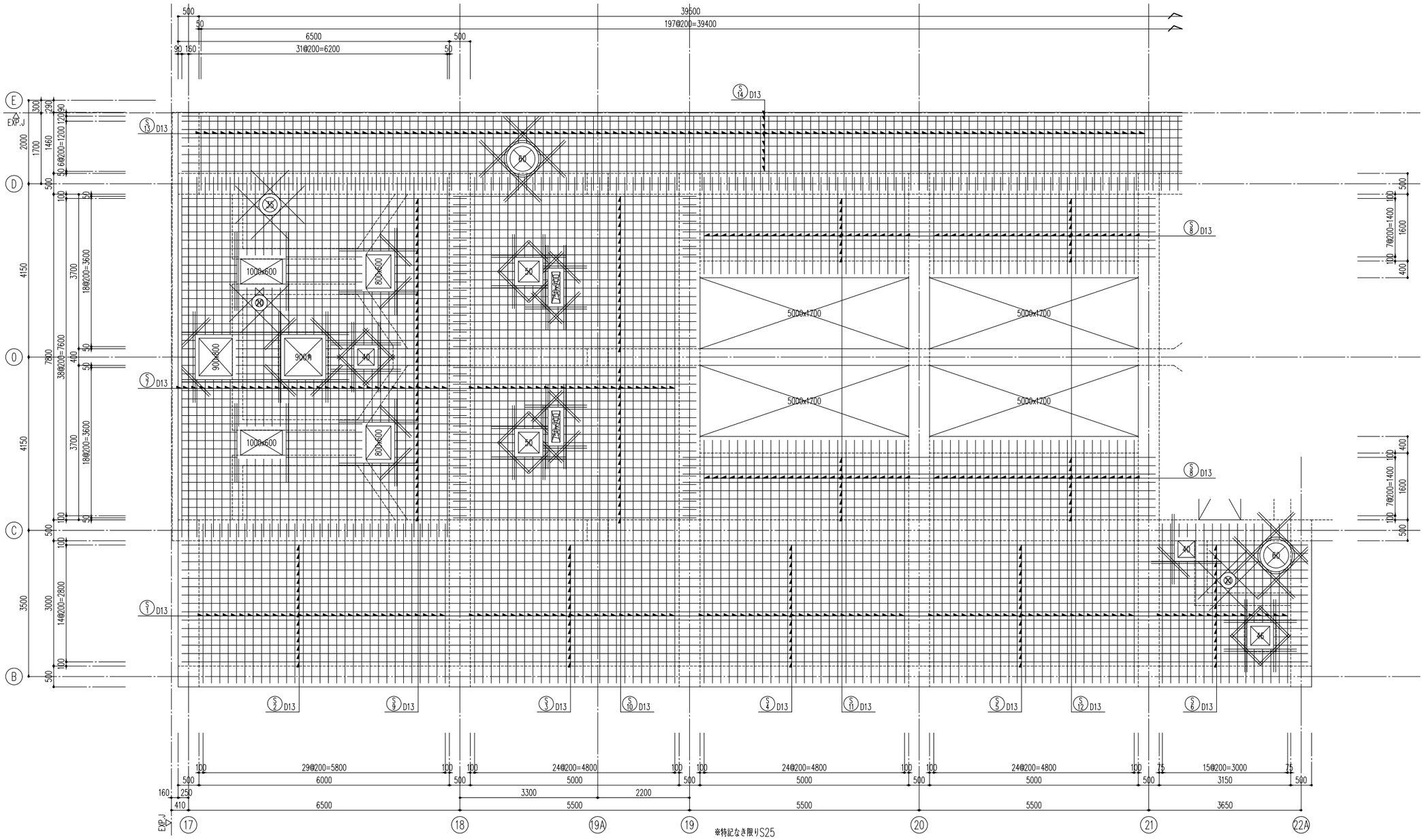

ハーハ断面配筋図

※特記なき限り下記とする
1）巾止筋：D13@1000

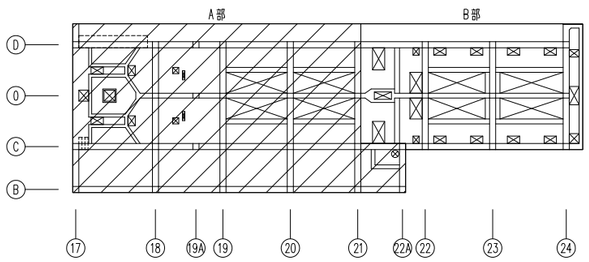



キープラン

| 図面番号 | S-44 | 縮 尺 | A1-1:50 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 最終沈殿池　頂版配筋図(1) | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

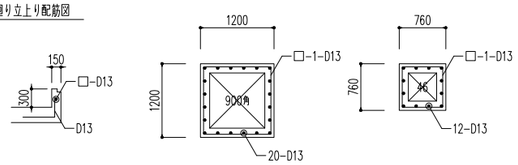



A部 頂版配筋図
（最終沈殿池：ＴＰ＋５．０００頂版－１）




キープラン

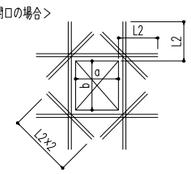
開口廻り立上り配筋図




※特記なき限り下記とする
1）主鉄筋はD13@200Wとする
2）巾止筋：D13@1000
3）開口部の数字はφ径又は角寸法を示す
例：30-300角、又はφ300

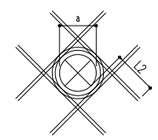
頂版（Ｓ２５）の開口補強筋
（開口部端が梁・壁でない場合、開口補強を設ける）
※補強筋が他の開口に当たる場合は、他の開口補強筋位置でカットとする。

＜角開口の場合＞



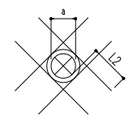

直部は１面４－Ｄ１６とする。
補強筋長さは、ａ＋２×Ｌ２＝ａ＋２×４０ｄ＝ａ＋１２８０
ｂ＋２×Ｌ２＝ｂ＋２×４０ｄ＝ｂ＋１２８０
コーナー部は１面４－Ｄ１３とする。
補強筋長さは、２×Ｌ２＝２×４０ｄ＝１０４０

＜丸開口φ６００以上の場合＞



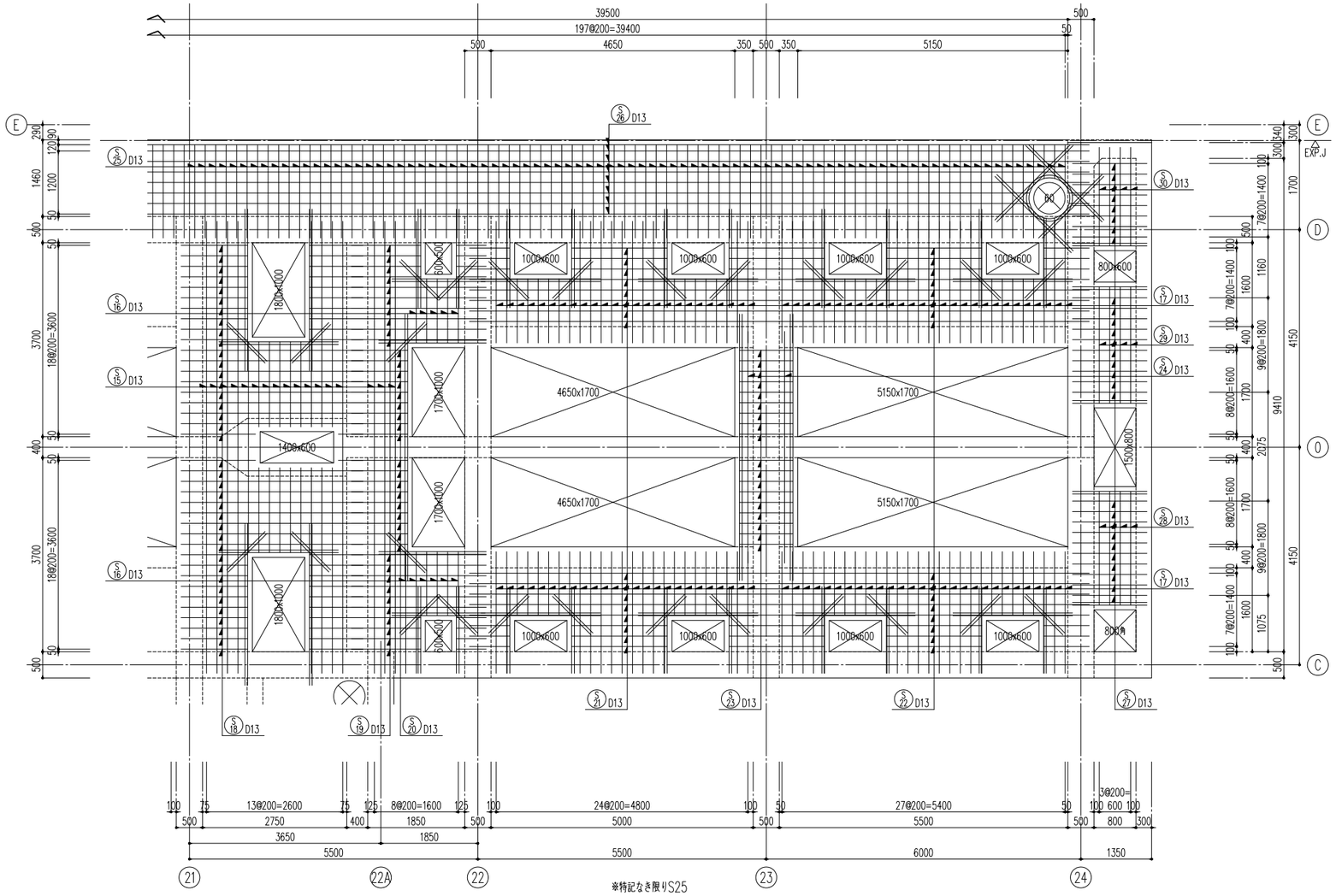

直部は１面４－Ｄ１６とする。
補強筋長さは、ａ＋２×Ｌ２＝ａ＋２×４０ｄ＝ａ＋１２８０
円部は４－Ｄ１３とする。

＜丸開口φ６００未満の場合＞

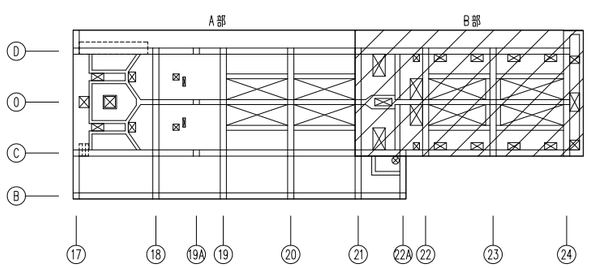



直部は１面２－Ｄ１６とする。
補強筋長さは、ａ＋２×Ｌ２＝ａ＋２×４０ｄ＝ａ＋１２８０
円部は２－Ｄ１３とする。

| 図面番号 | S-45 | 縮 尺 | A1-1:50 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 最終沈殿池　頂版配筋図(2) | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |




B部 頂版配筋図
（最終沈殿池：ＴＰ＋５．０００頂版－２）

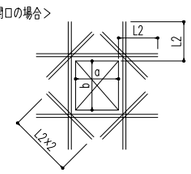



キープラン

※特記なき限り下記とする
1）主鉄筋はD13@200Wとする
2）巾止筋：D13@1000
3）開口部の数字はφ径又は角寸法を示す
例：30−300角、又はφ300

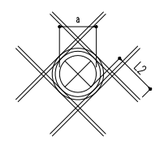
頂版（Ｓ２５）の開口補強筋
（開口部端が梁・壁でない場合、開口補強を設ける）
※補強筋が他の開口に当たる場合は、他の開口に当たる場合は、他の開口補強筋位置でカットとする。

＜角開口の場合＞



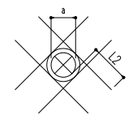

直部は１面４－Ｄ１６とする。
補強筋長さは、ａ＋２×Ｌ２＝ａ＋２×４０ｄ＝ａ＋１２８０
ｂ＋２×Ｌ２＝ｂ＋２×４０ｄ＝ｂ＋１２８０
コーナー部は１面４－Ｄ１３とする。
補強筋長さは、２×Ｌ２＝２×４０ｄ＝１０４０

＜丸開口φ６００以上の場合＞



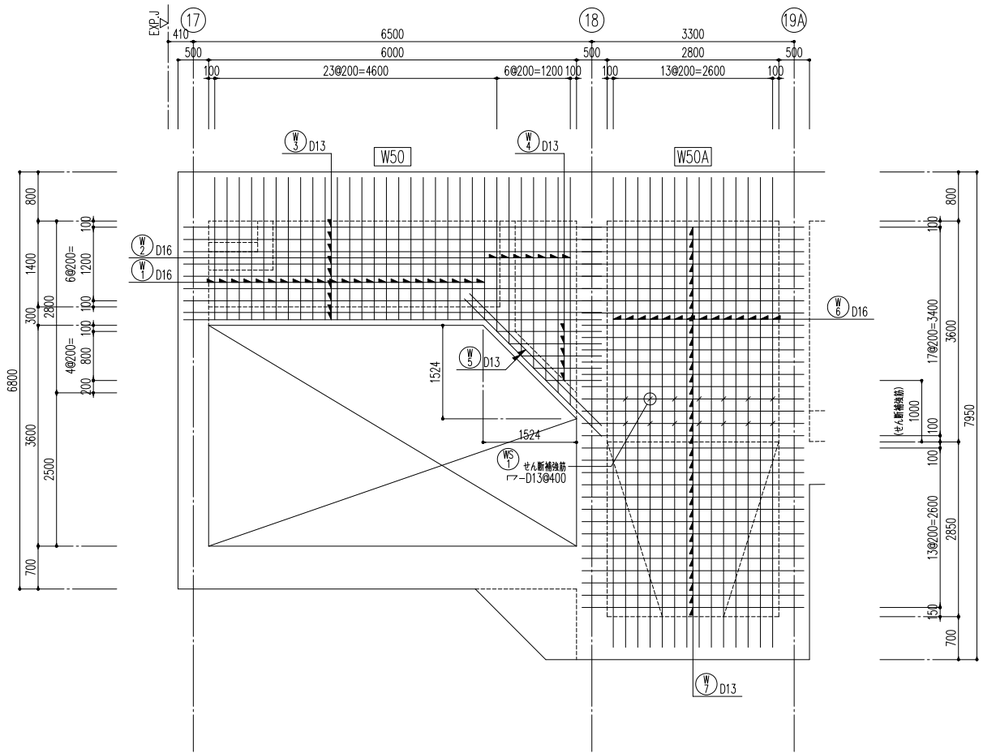

直部は１面４－Ｄ１６とする。
補強筋長さは、ａ＋２×Ｌ２＝ａ＋２×４０ｄ＝ａ＋１２８０
円部は４－Ｄ１３とする。

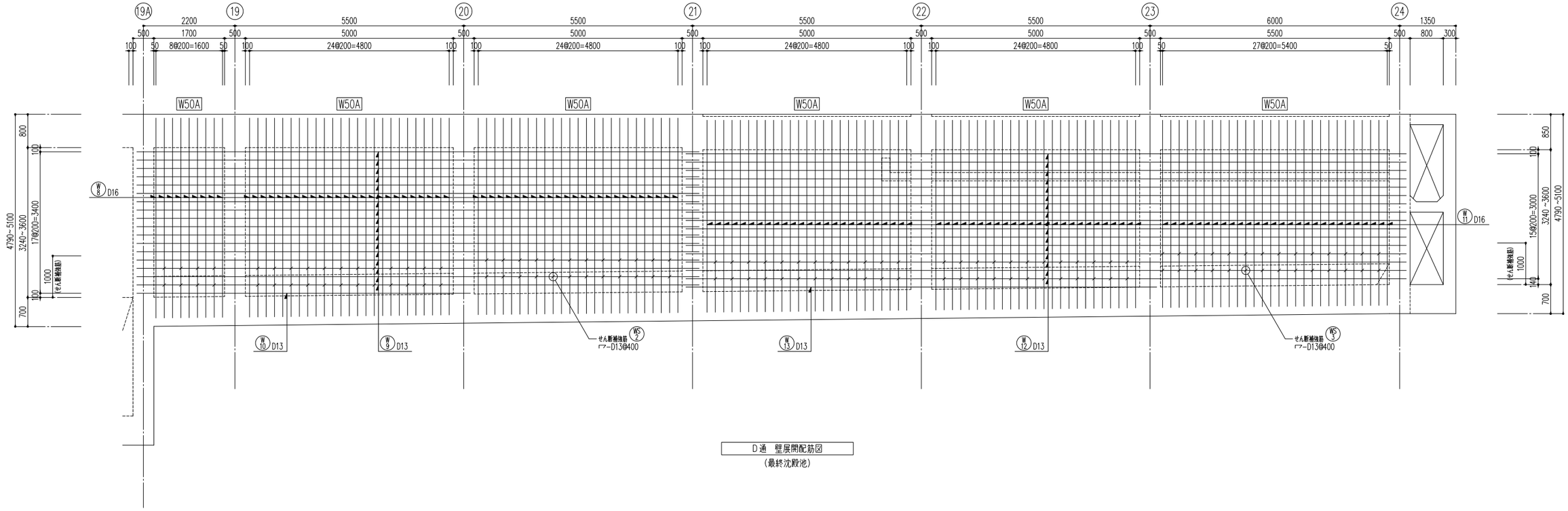
＜丸開口φ６００未満の場合＞




直部は１面２－Ｄ１６とする。
補強筋長さは、ａ＋２×Ｌ２＝ａ＋２×４０ｄ＝ａ＋１２８０
円部は２－Ｄ１３とする。

| 図面番号 | S-46 | 縮 尺 | A1-1:50 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 最終沈殿池　壁展開配筋図(1) | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

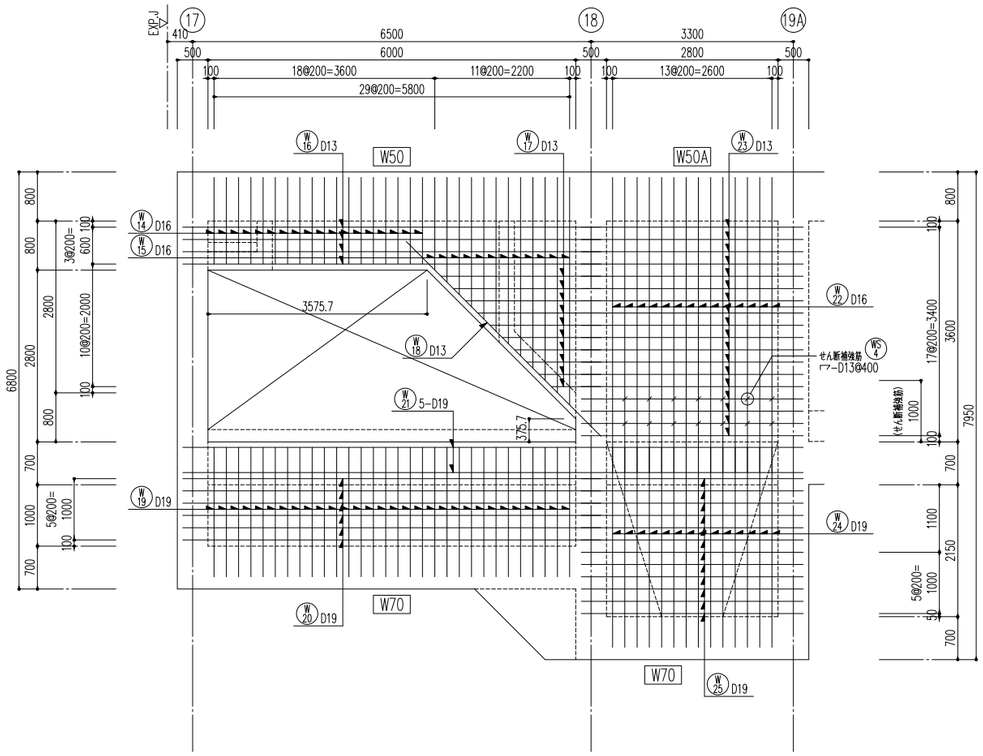


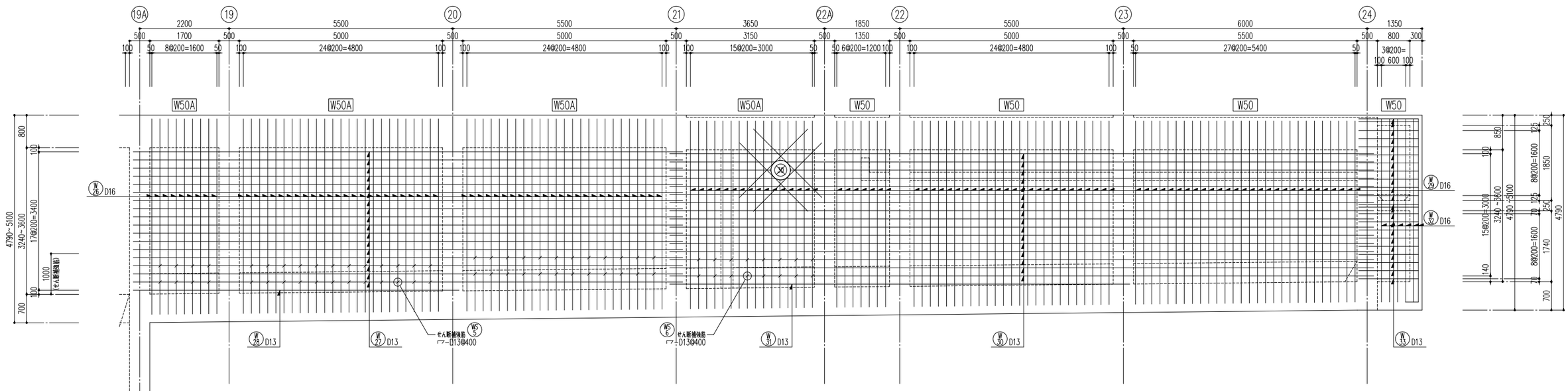




D通　壁展開配筋図
（最終沈殿池）

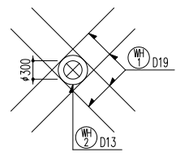
※特記なき限り下記とする
1）巾止筋：D13@1000
2）開口部の数字はφ径又は角寸法を示す
例：30−300角，又はφ300

| 図面番号 | S-47 | 縮 尺 | A1-1:50 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 最終沈殿池　壁展開配筋図(2) | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |



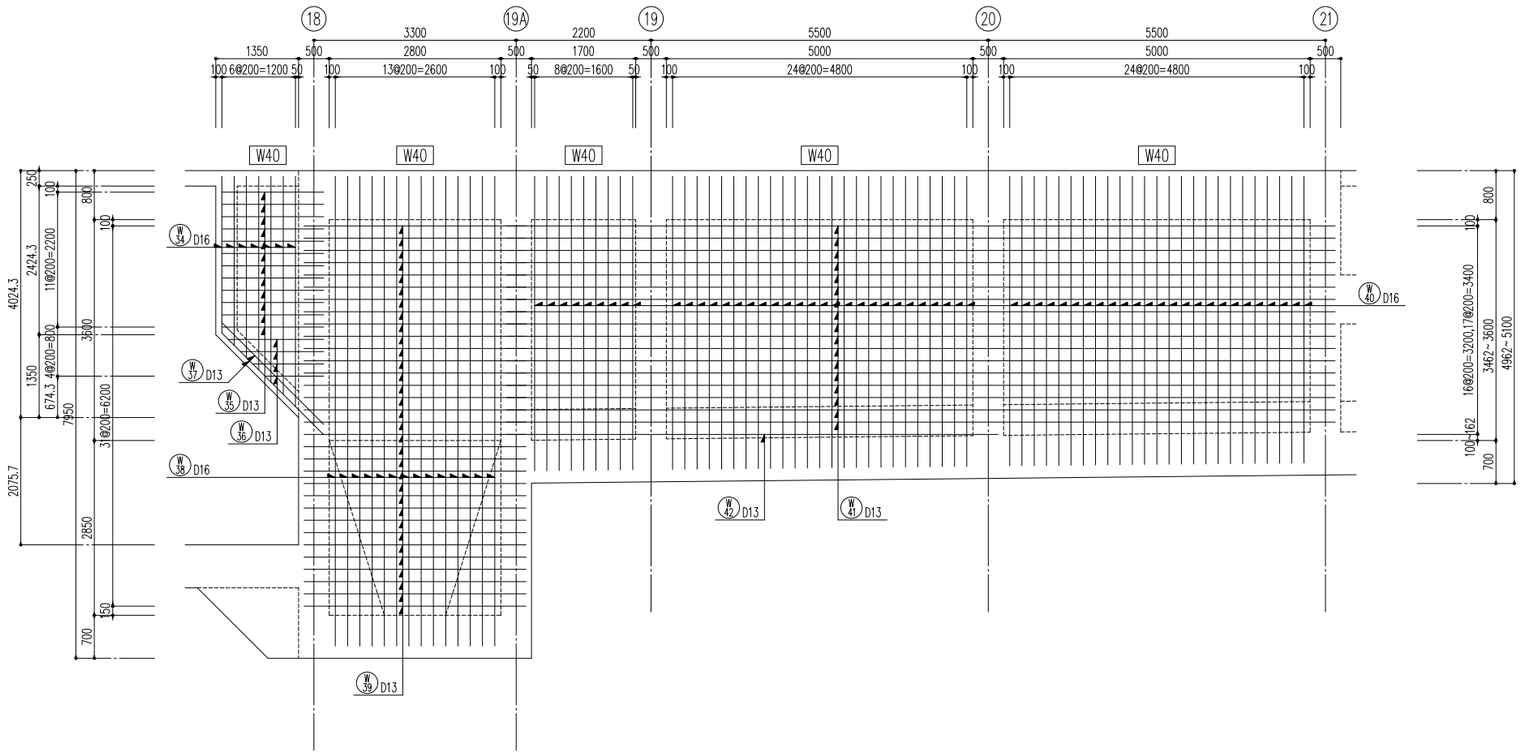

開口補強筋

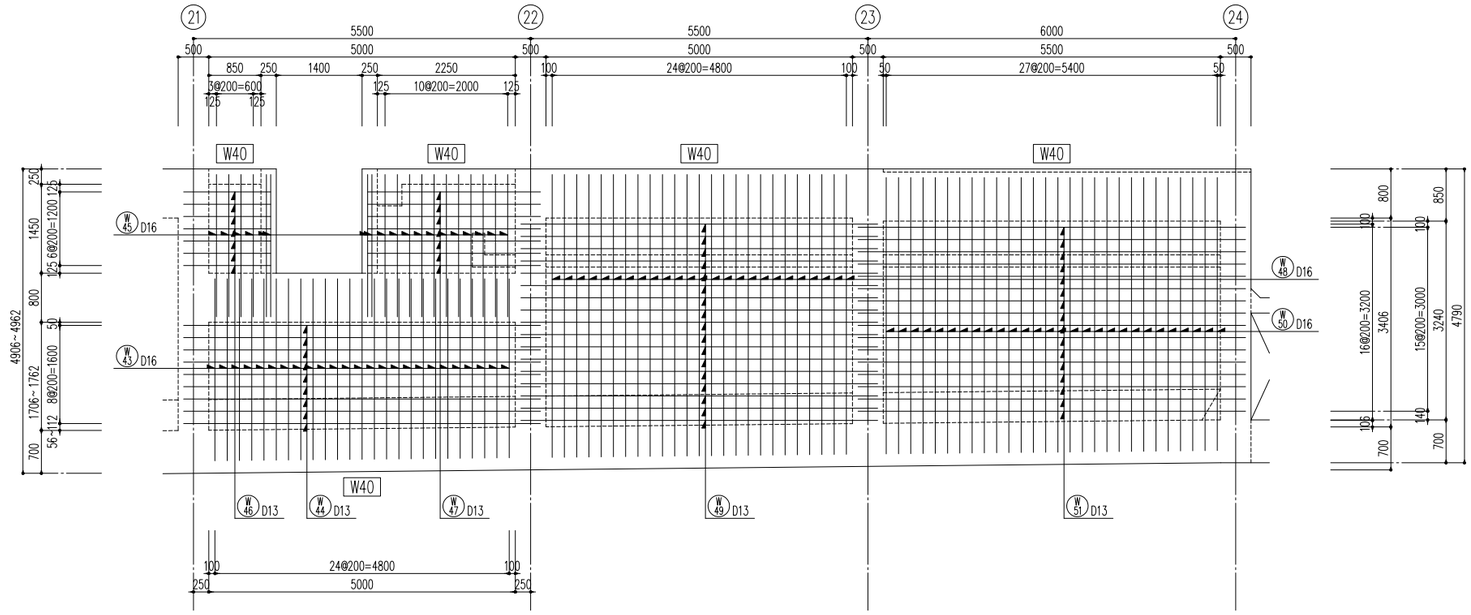



C通　壁展開配筋図
（最終沈殿池）

※特記なき限り下記とする
1）巾止筋：D13@1000
2）開口部の数字はφ径又は角寸法を示す
例：30−300角，又はφ300

| 図面番号 | S-48 | 縮 尺 | A1-1:50 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 最終沈殿池　壁展開配筋図(3) | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

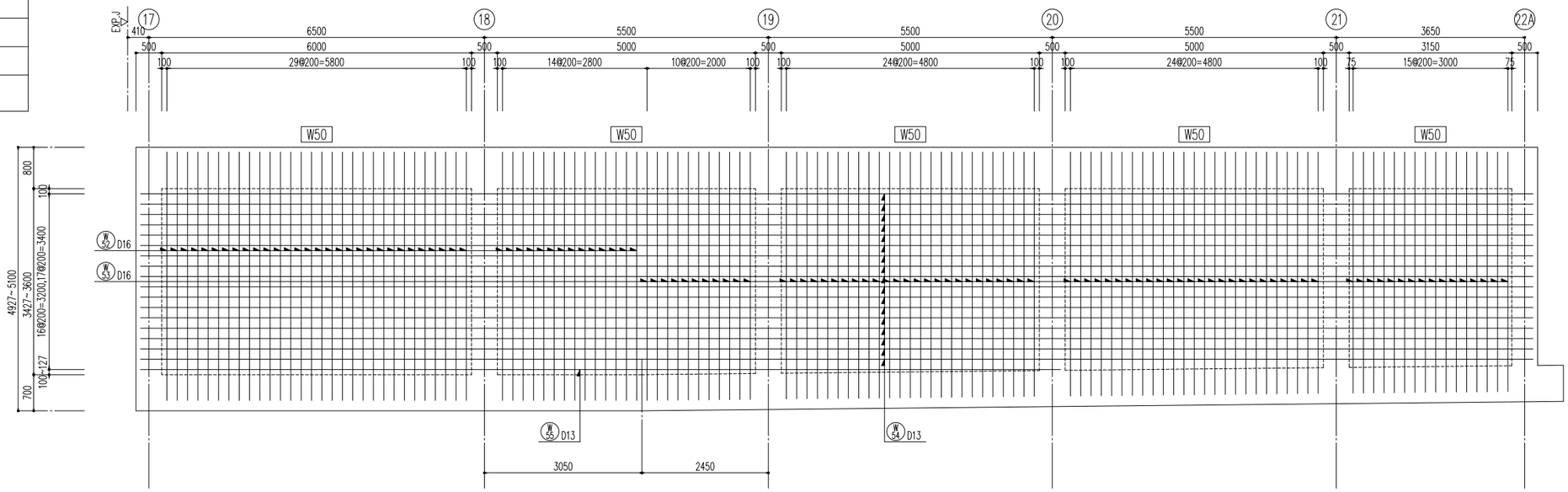


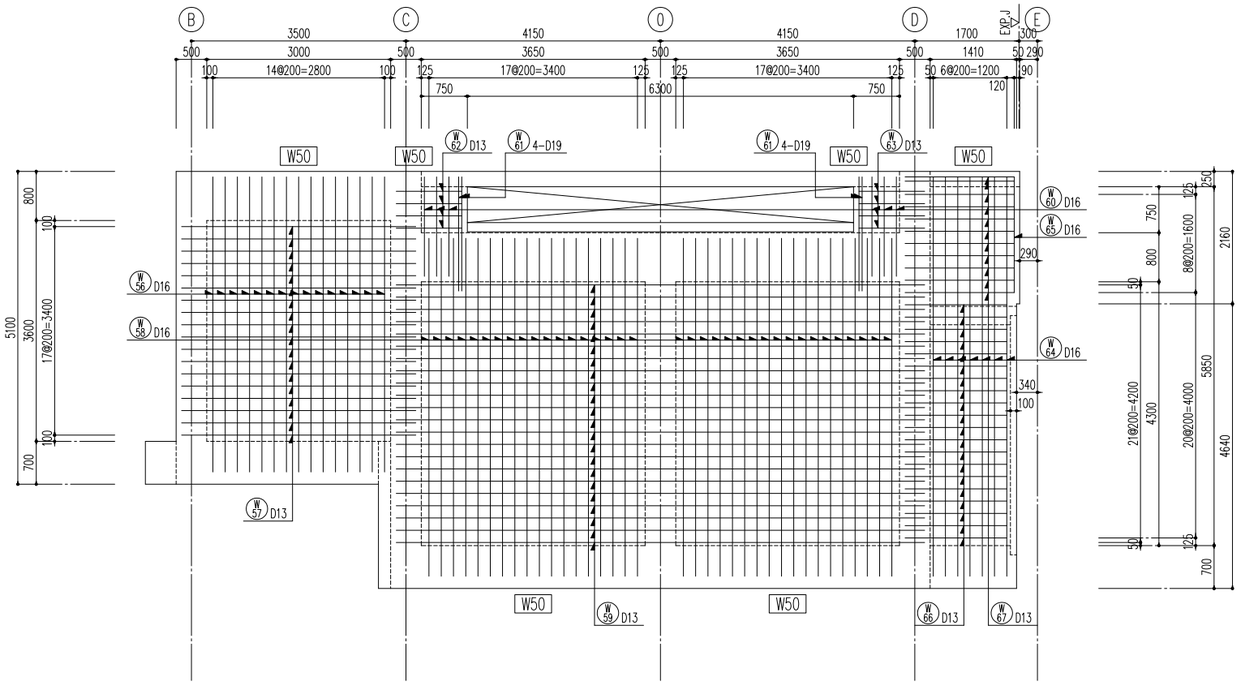

０通　壁展開配筋図
（最終沈殿池）

※特記なき限り下記とする
1) 巾止筋：D13@1000
2) 開口部の数字はφ径又は角寸法を示す
例：30－300角、又はφ300

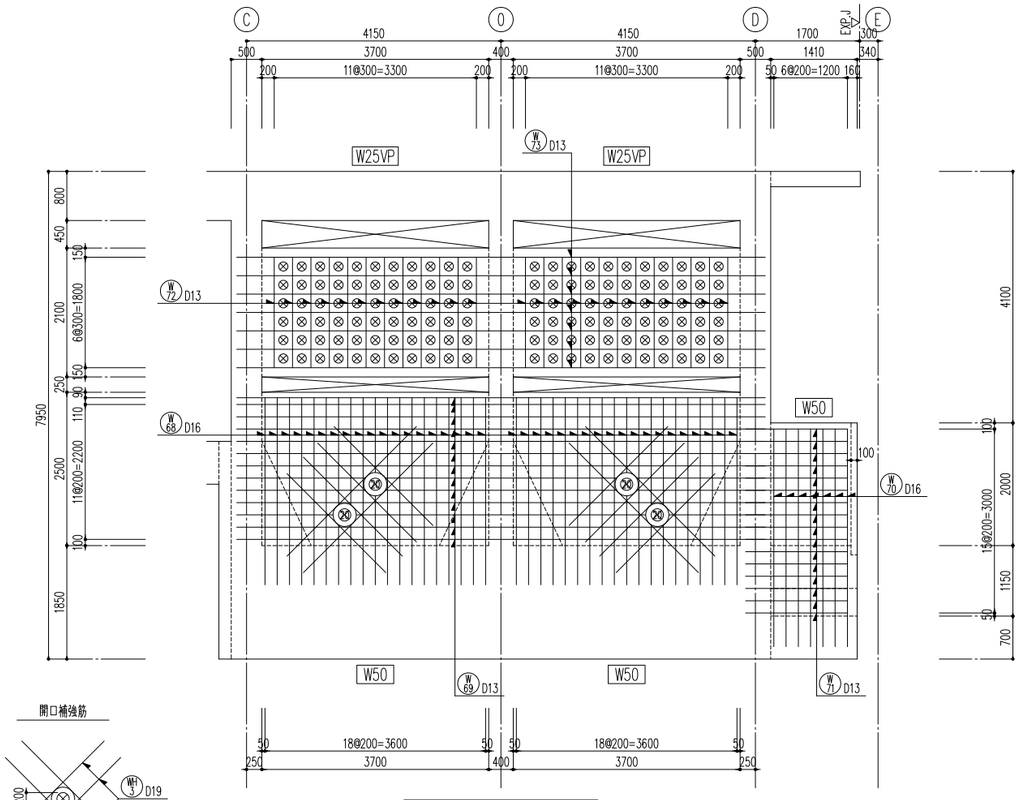
| 図面番号 | S-49 | 縮 尺 | A1-1:50 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 最終沈殿池　壁展開配筋図(4) | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |




B通　壁展開配筋図
（最終沈殿池）

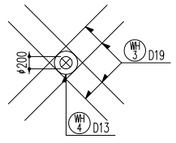



１７通　壁展開配筋図
（最終沈殿池）



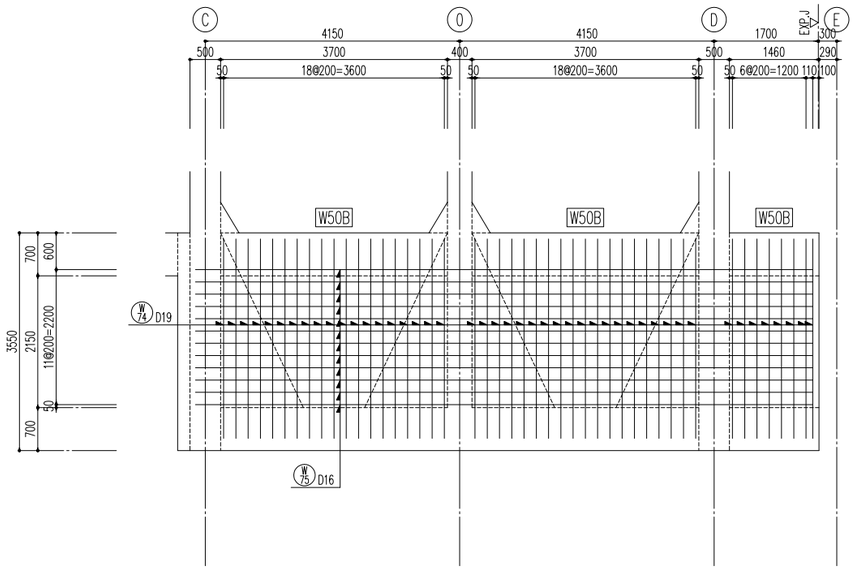

１８通　壁展開配筋図
（最終沈殿池）

開口補強筋

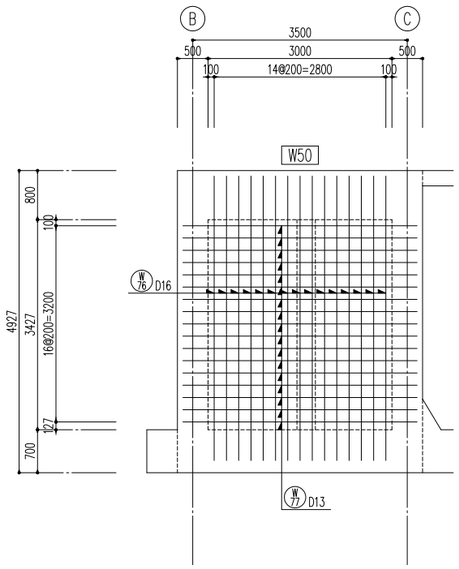



※特記なき限り下記とする
1）巾止筋：D13@1000
2）開口部の数字はφ径又は角寸法を示す
例：30-300角、又はφ300

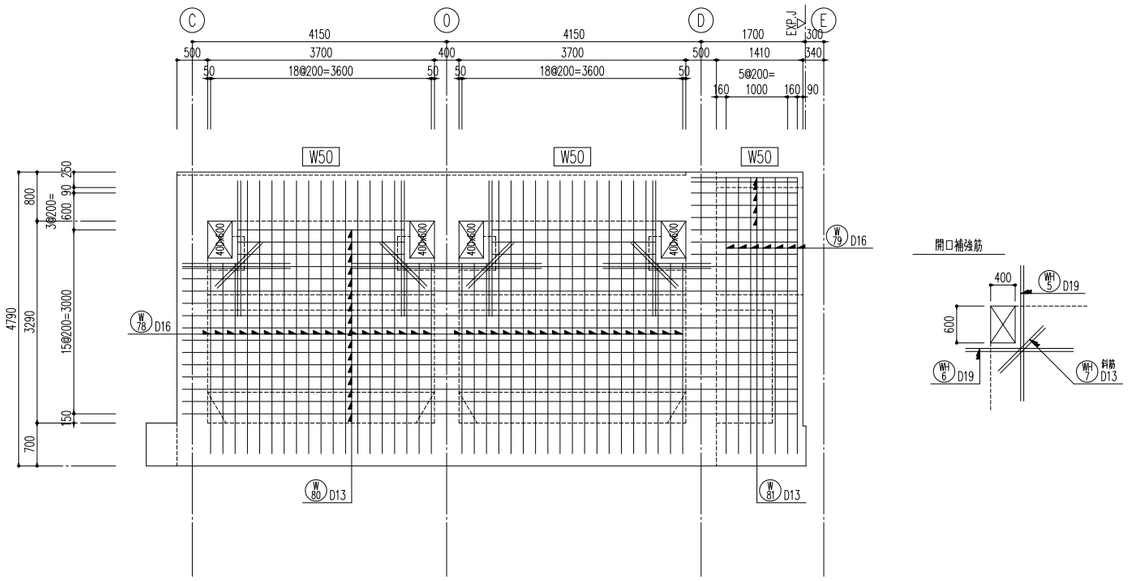
| 図面番号 | S-50 | 縮 尺 | A1-1:50 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 最終沈殿池　壁展開配筋図(5) | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |




１９Ａ通　壁展開配筋図
（最終沈殿池）



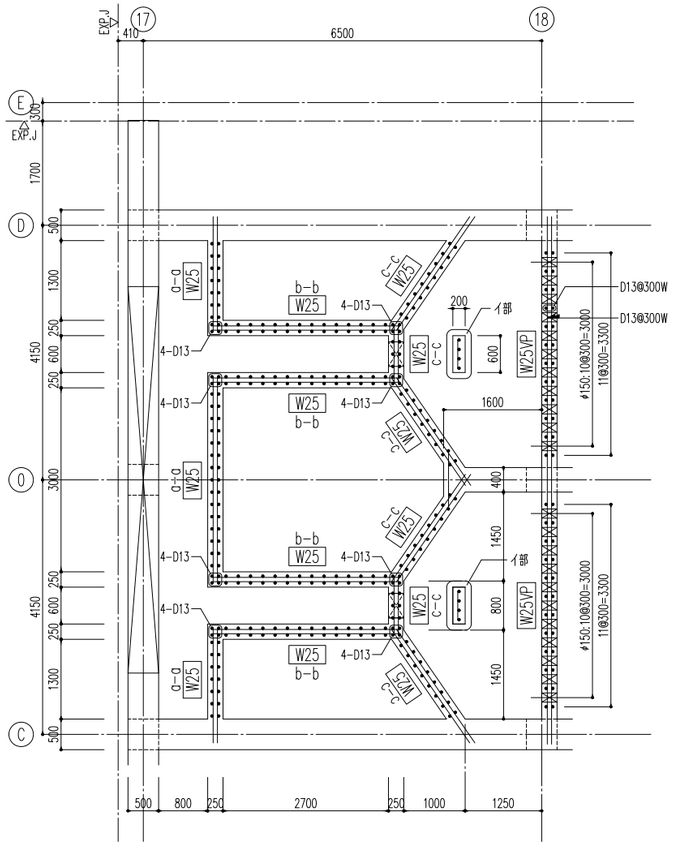

２２Ａ通　壁展開配筋図
（最終沈殿池）



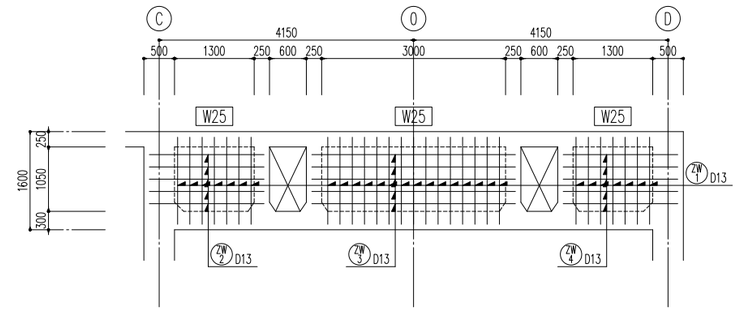

２４通　壁展開配筋図
（最終沈殿池）

※特記なき限り下記とする
1）巾止筋：D13@1000
2）開口部の数字はφ径又は角寸法を示す
例：30−300角、又はφ300

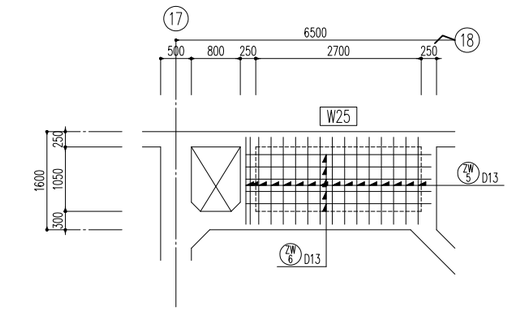
| 図面番号 | S-51 | 縮 尺 | A1-1:50 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 最終沈殿池　雑壁配筋図(1) | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |



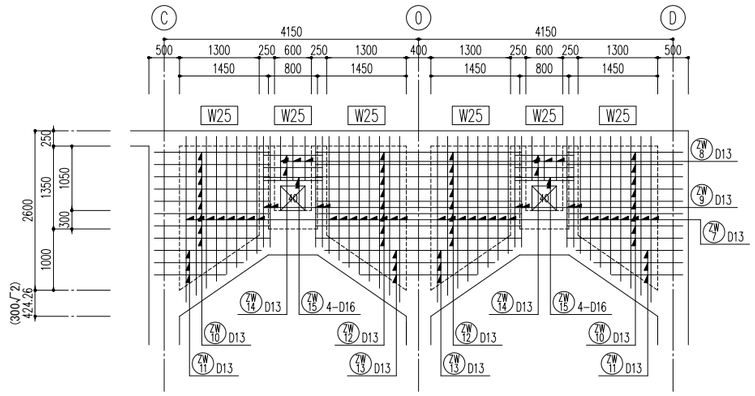

雑壁水平断面配筋図－１
（最終沈殿池）



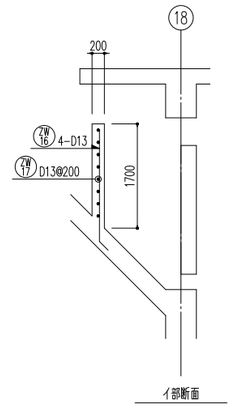

ａ－ａ壁展開配筋図



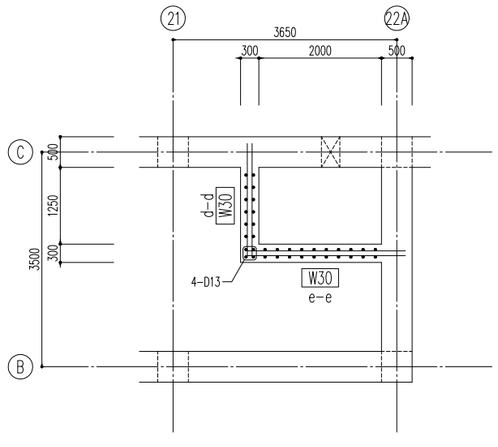

ｂ－ｂ壁展開配筋図



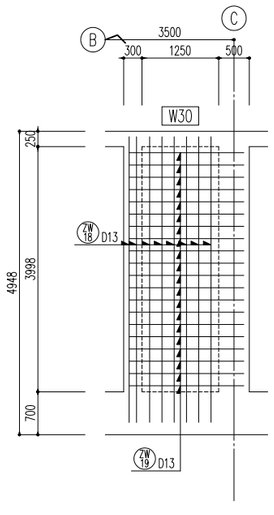

Ｃ－Ｃ壁展開配筋図



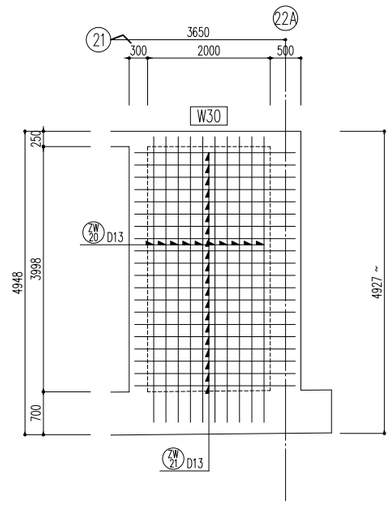

イ部断面




雑壁水平断面配筋図－２
（最終沈殿池）




ｄ－ｄ壁展開配筋図

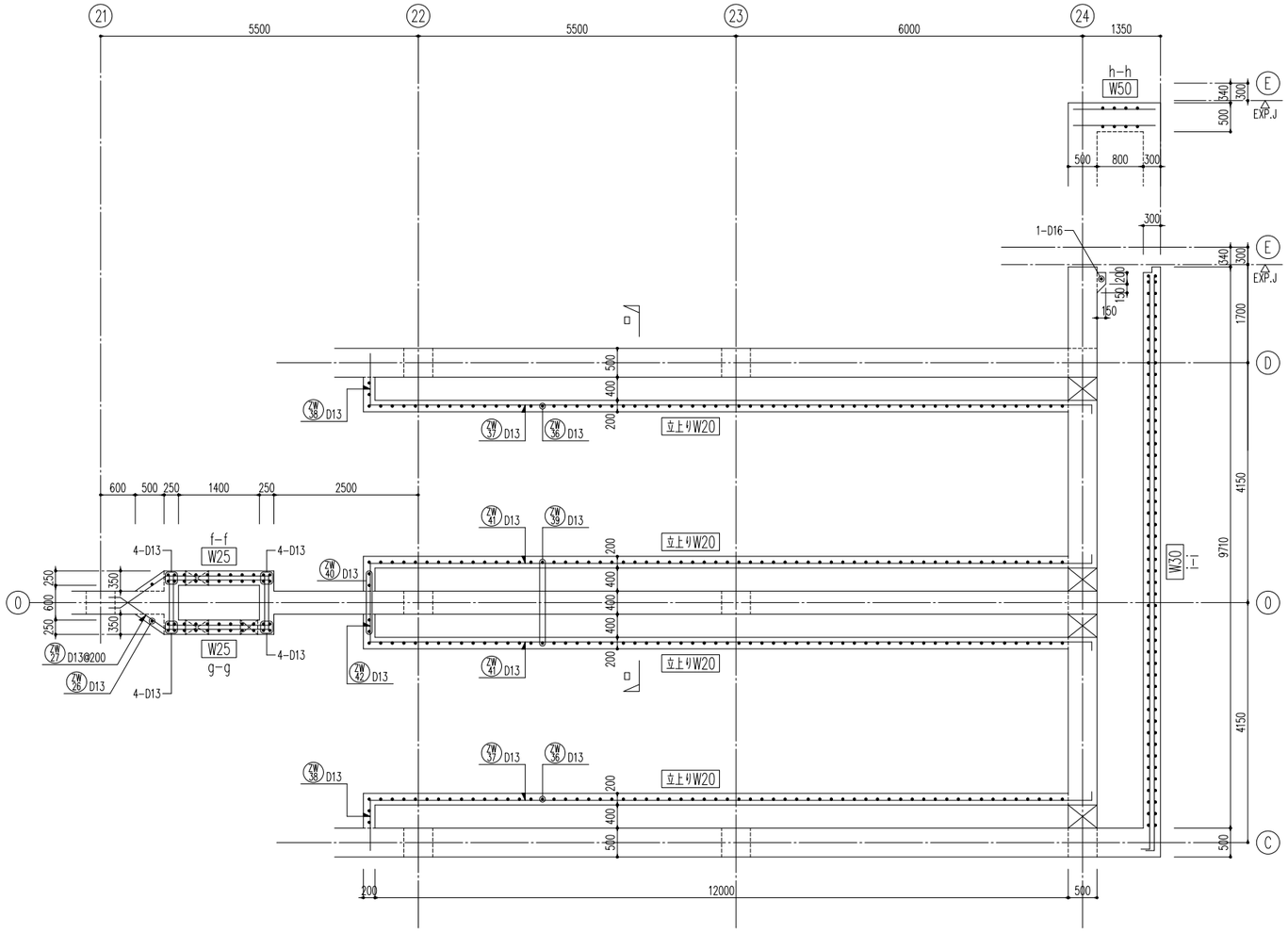



ｅ－ｅ壁展開配筋図

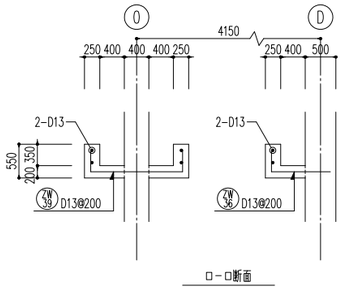
※特記なき限り下記とする
1）巾止筋：D13@1000
2）開口部の数字は φ径又は角寸法を示す
例：30－300角、又は φ300

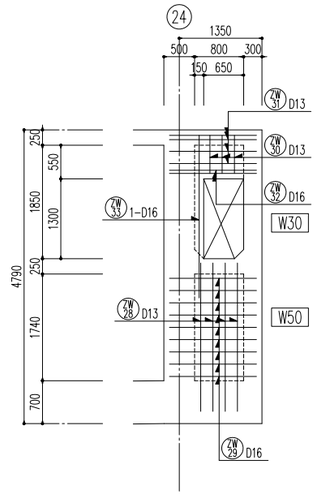
| 図面番号 | S-52 | 縮 尺 | A1-1:50 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 最終沈殿池　雑壁配筋図(2) | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

※特記なき限り下記とする
1）巾止筋：D13@1000
2）開口部の数字はφ径又は角寸法を示す
例：30－300角、又はφ300

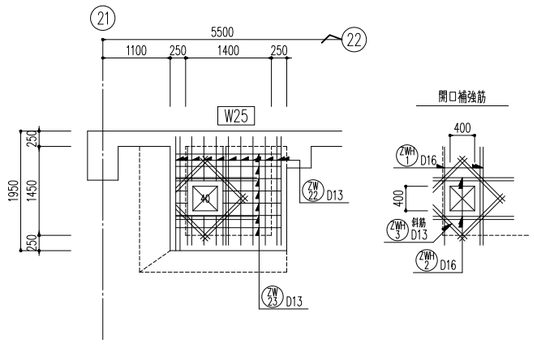



雑壁水平断面配筋図－３
（最終沈殿池）

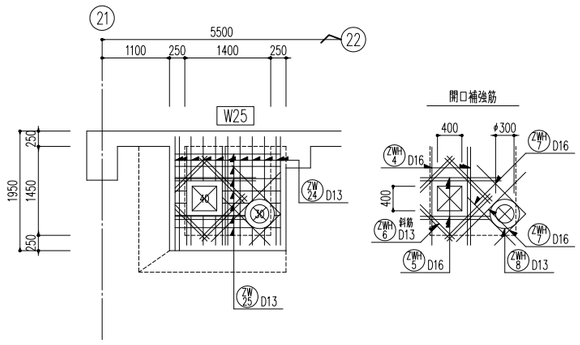


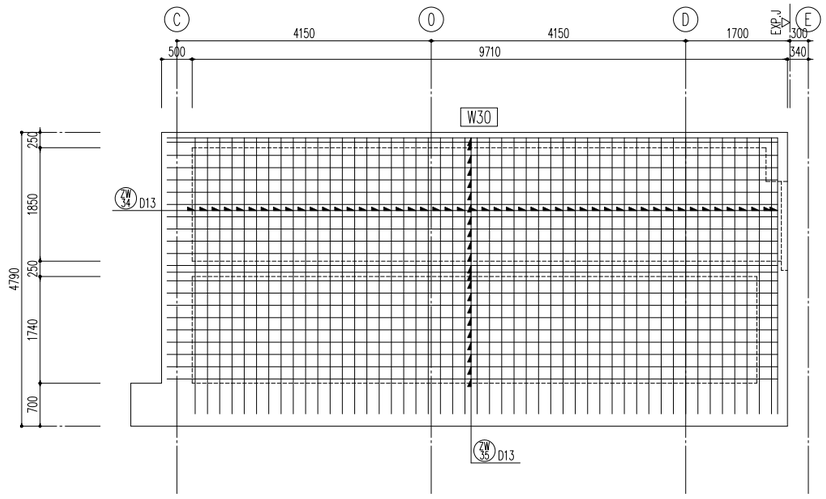

ｈ－ｈ壁展開配筋図




ｆ－ｆ壁展開配筋図

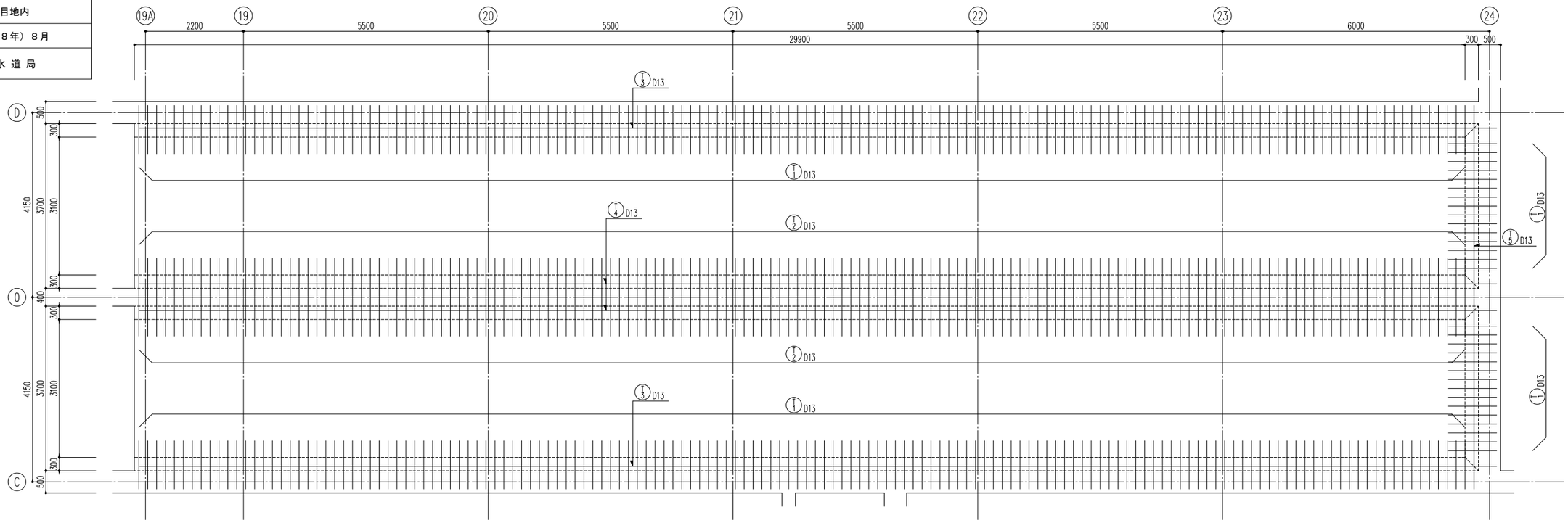



ｇ－ｇ壁展開配筋図




ｉ－ｉ壁展開配筋図

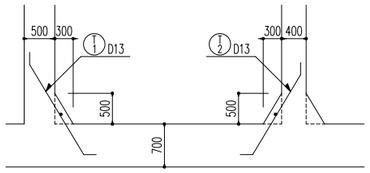
| 図面番号 | S-53 | 縮 尺 | A1-1:50 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 最終沈殿池　テーパー配筋図 | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |



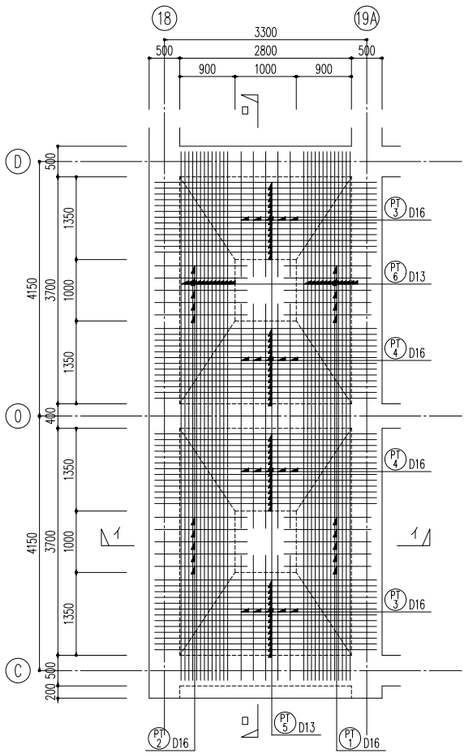

底版部（TP+0.600~TP+0.910）

テーパー配筋図－１

（最終沈殿池）



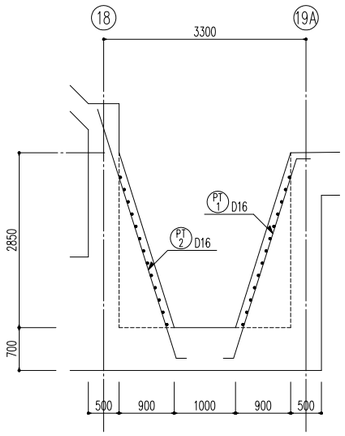

断面



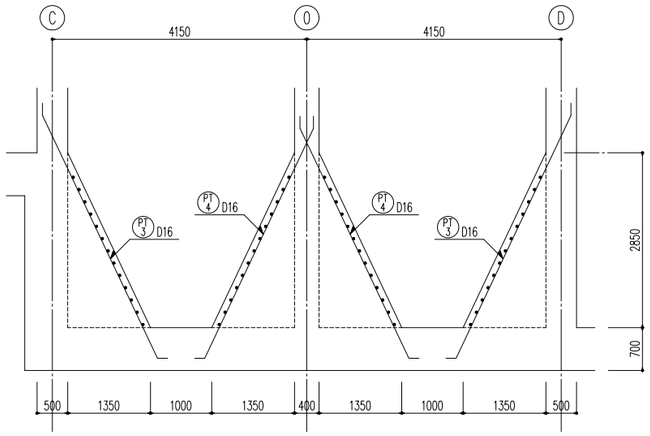

底版部（TP-2.250）

テーパー配筋図－２

（最終沈殿池）



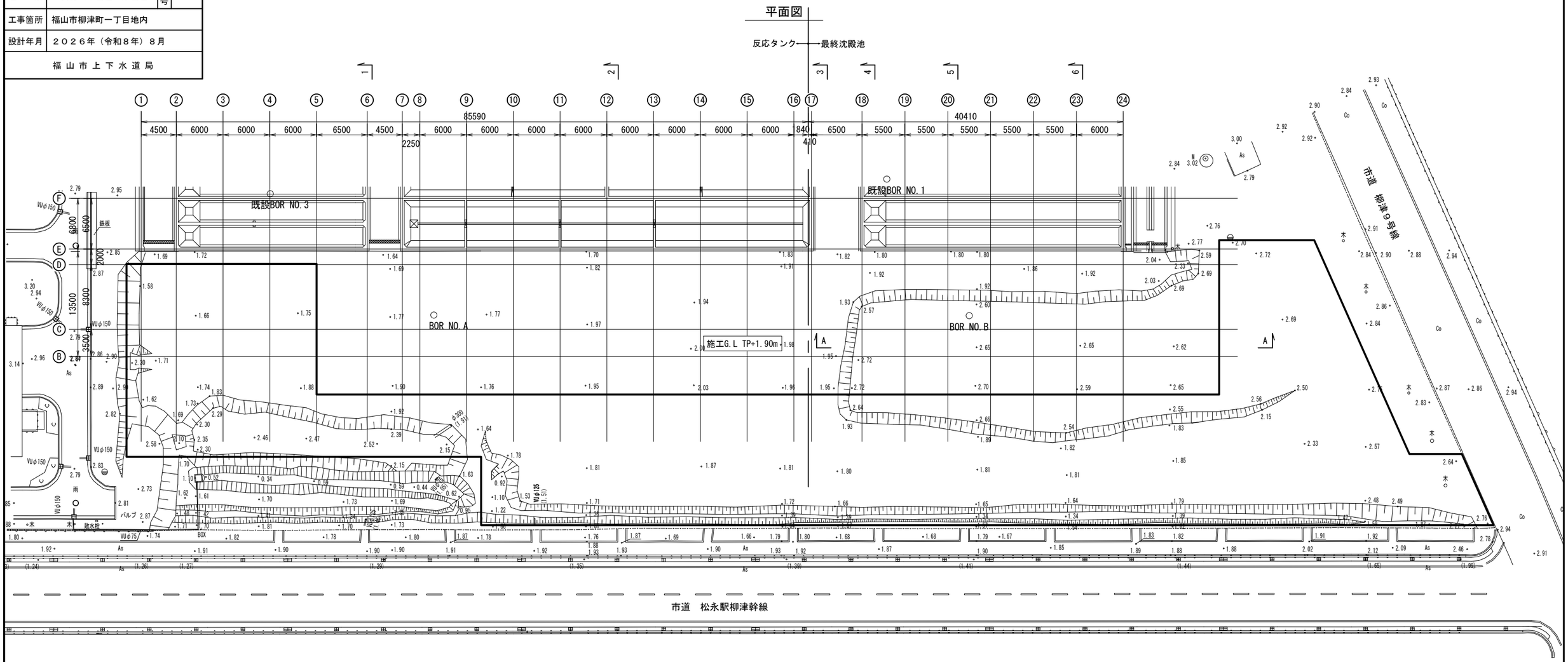

イ－イ断面




ロ－ロ断面

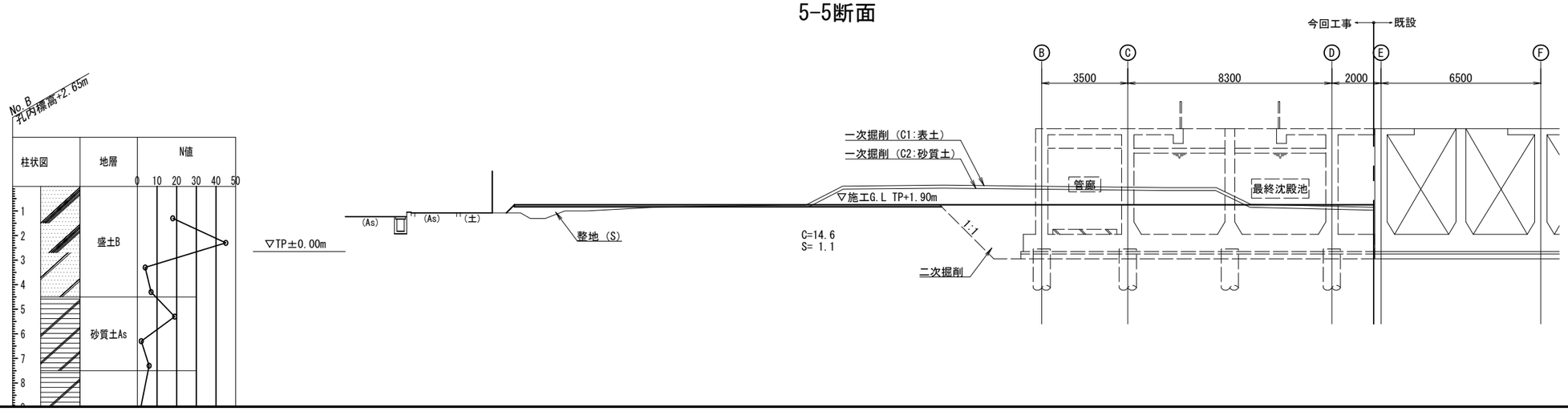
| 図面番号 | C-1 | 縮 尺 | A1-1:250 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 一次掘削平面図・断面図 | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

# 一次掘削平面図　S=1:250



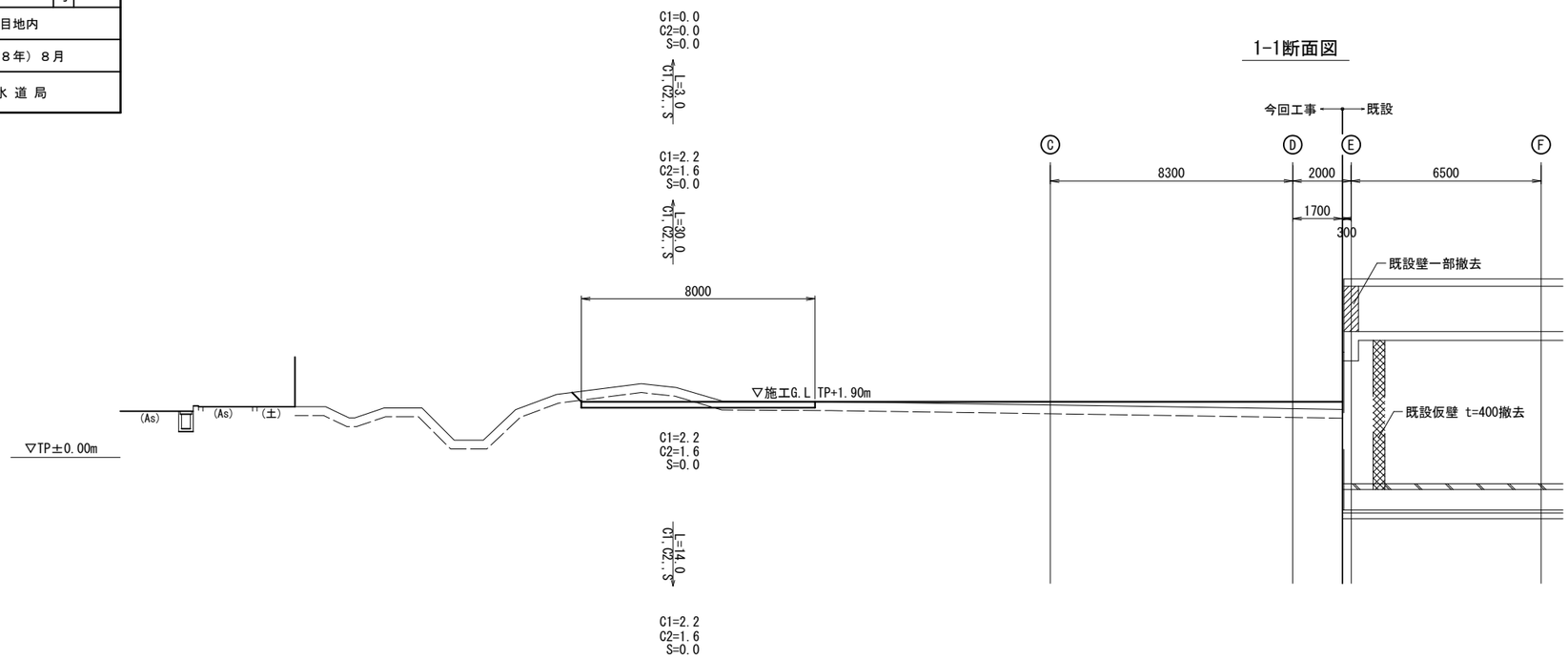

# 一次掘削標準断面図　S=1:100

## 5-5断面



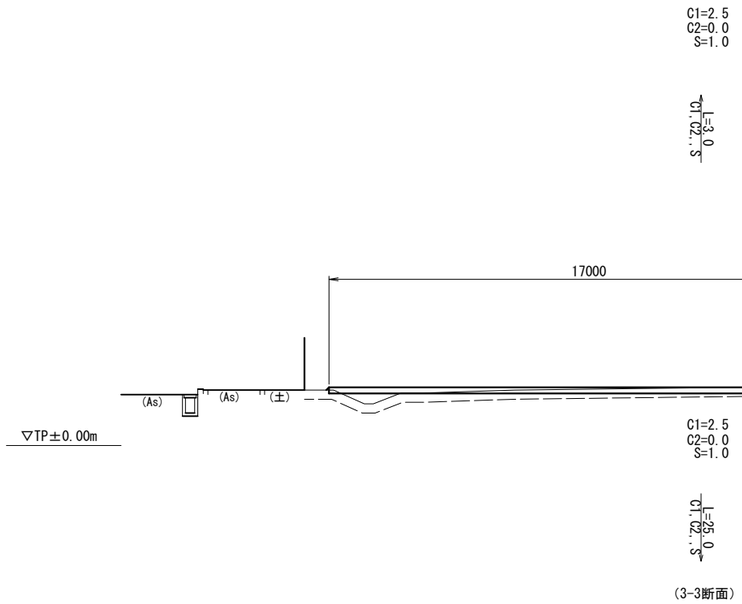
| 図面番号 | C-2 | 縮 尺 | A1-1:100 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 一次掘削断面図(1) | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

# 一次掘削断面図(1)　S=1:100



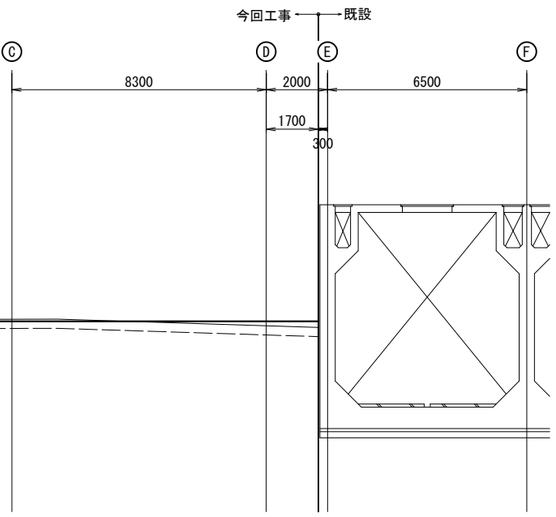

1-1断面図




(3-3断面)

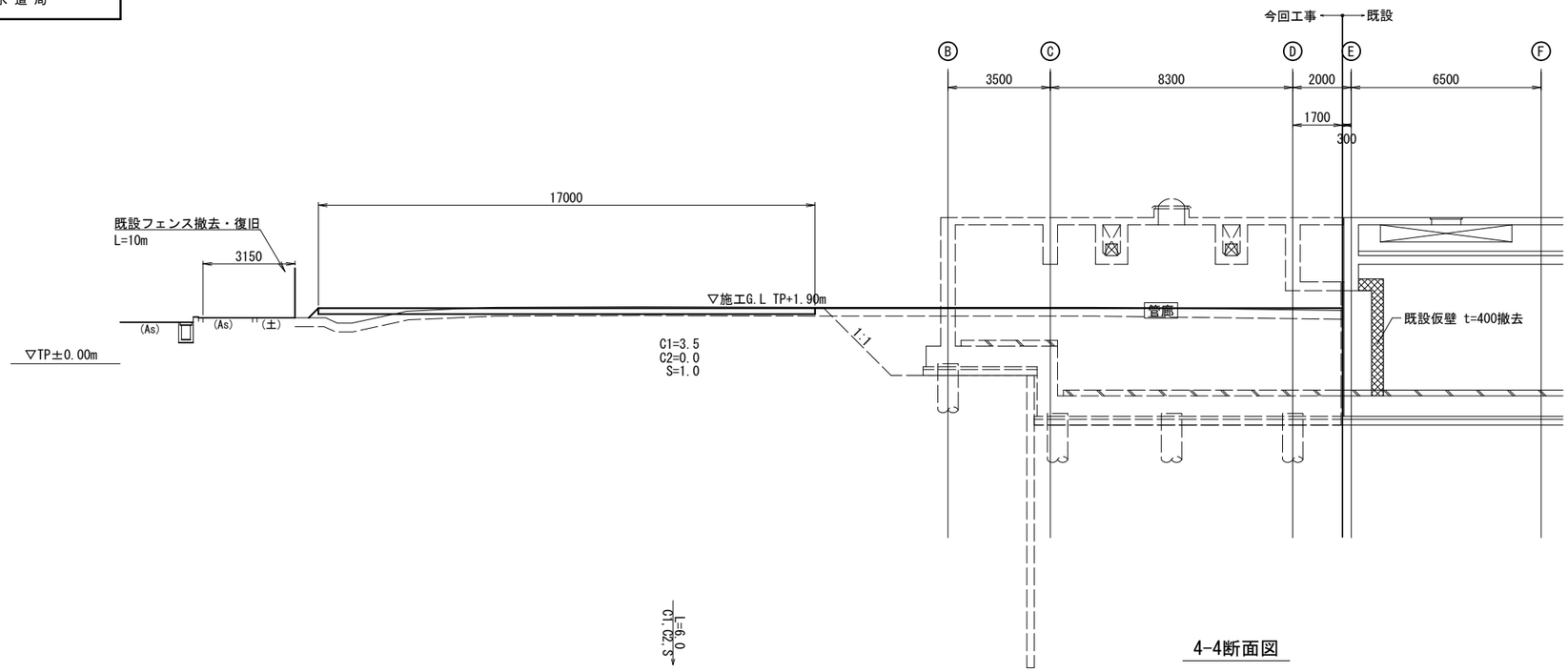
2-2断面図



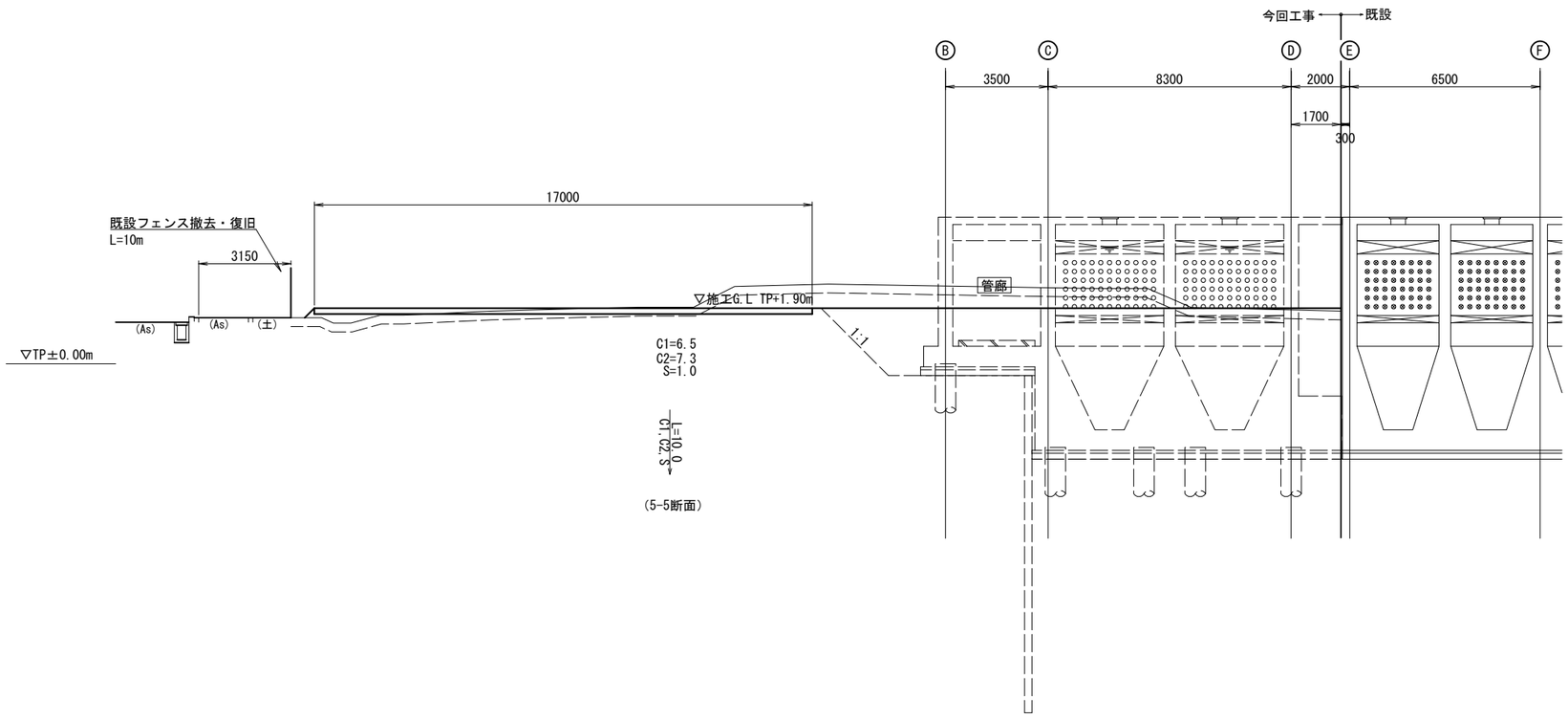
| 図面番号 | C-3 | 縮 尺 | A1-1:100 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 一次掘削断面図(2) | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

# 一次掘削断面図(2)　S=1:100

## 3-3断面図



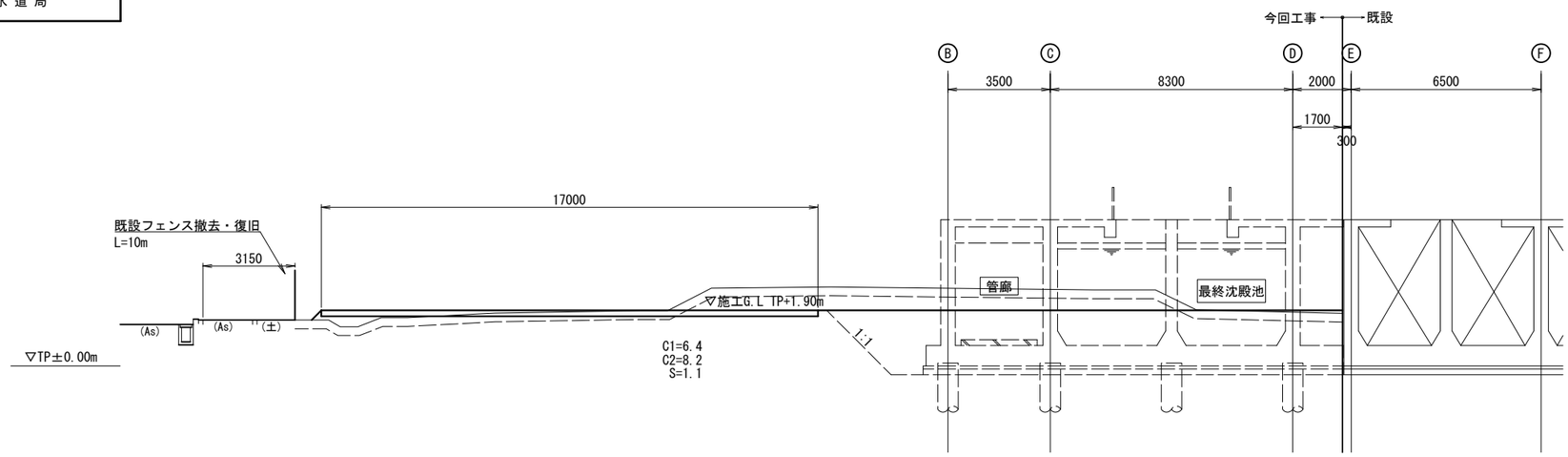

## 4-4断面図



| 図面番号 | C-4 | 縮 尺 | A1-1:100 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 一次掘削断面図(3) | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

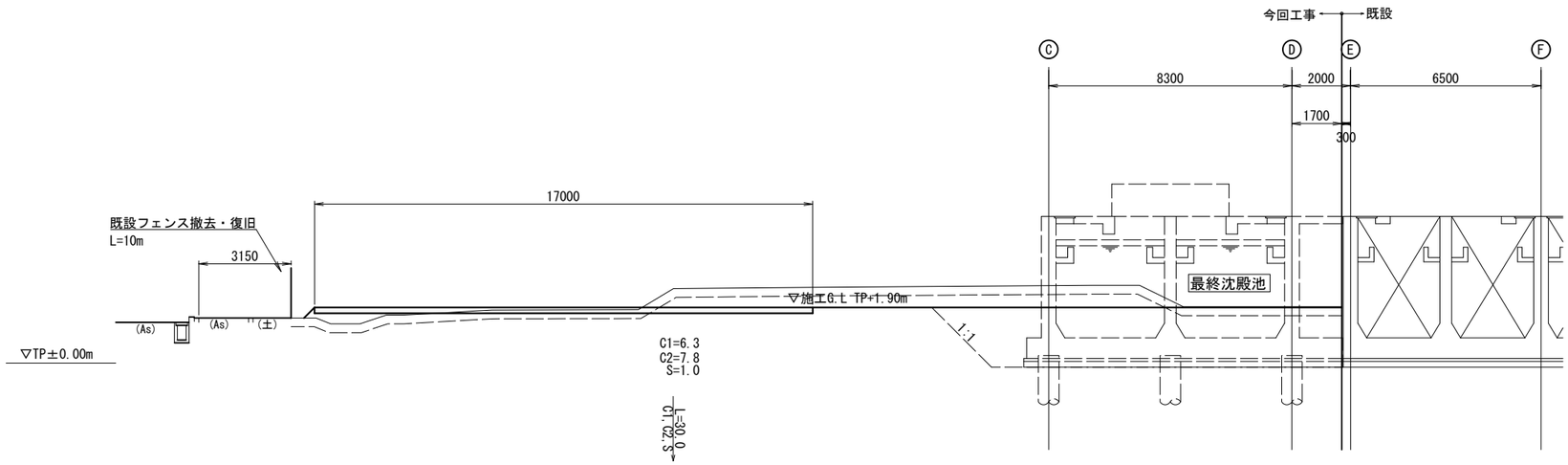
# 一次掘削断面図(3)　S=1:100

## 5-5断面図




C1=6.4
C2=8.2
S=1.1

## 6-6断面図



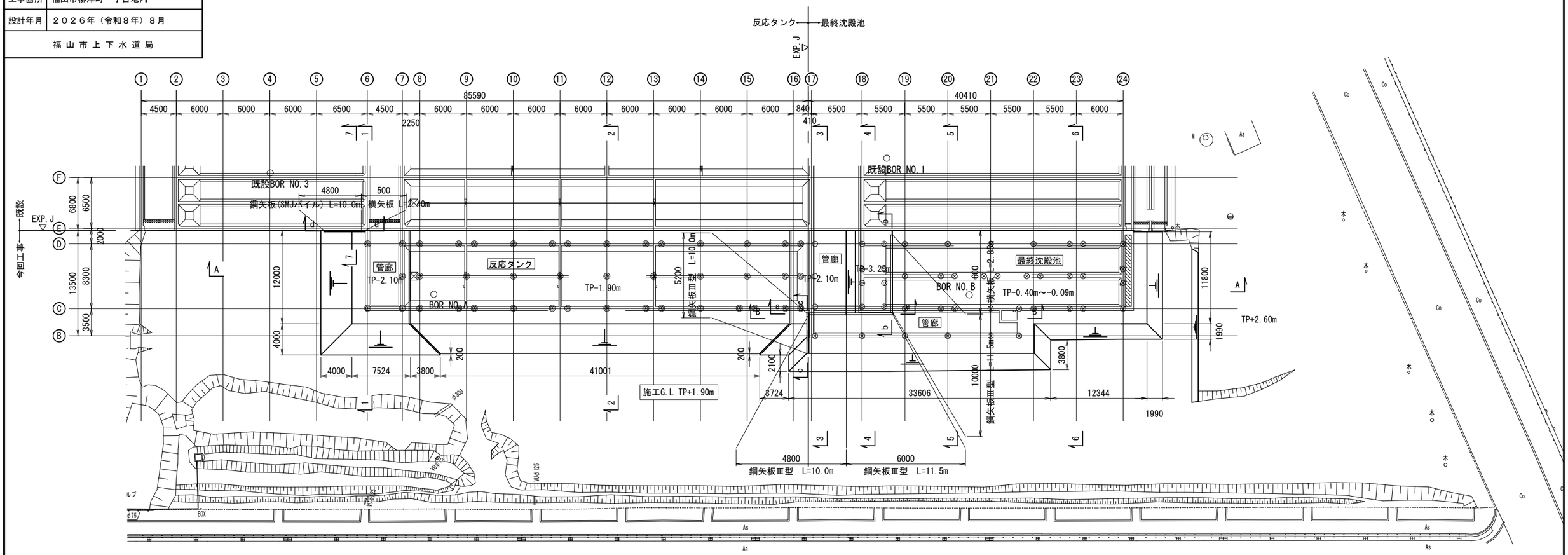

C1=6.3
C2=7.8
S=1.0

C1=0.0
C2=0.0
S=0.0

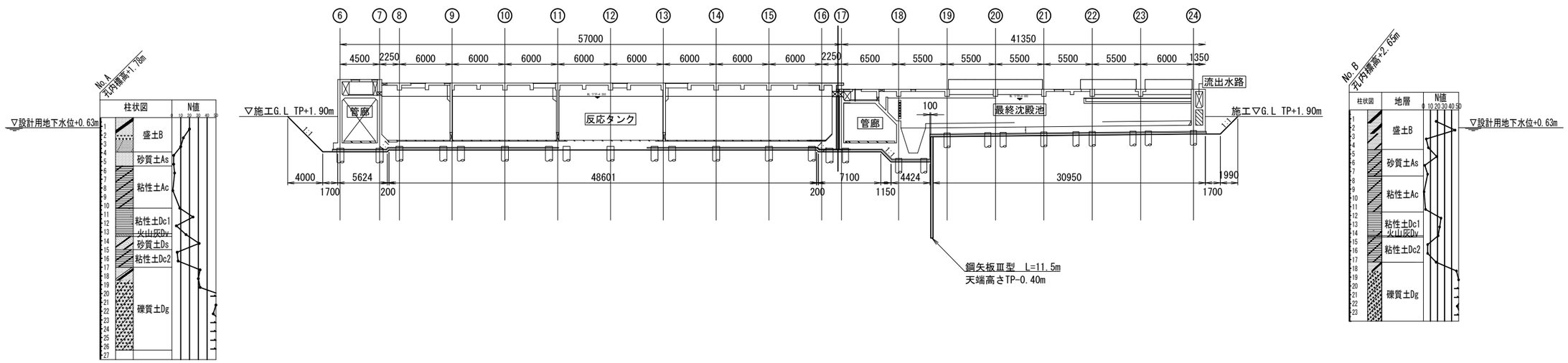
| | | | |
|---|---|---|---|
| 図面番号 | C-5 | 縮 尺 | A1-1:250 |
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 二次掘削平面図・断面図 | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

# 二次掘削平面図・断面図　S=1:250

## 平面図



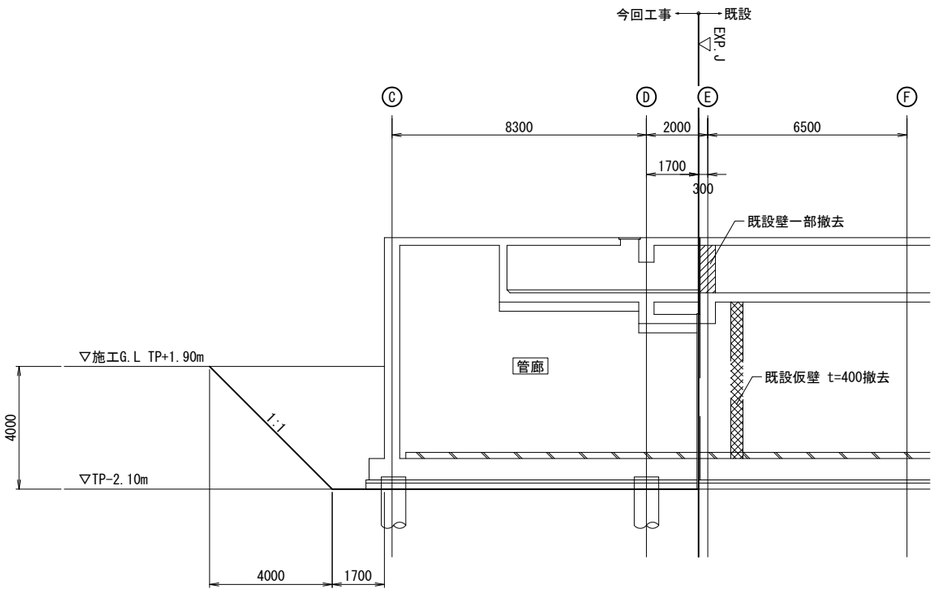

## A-A断面図

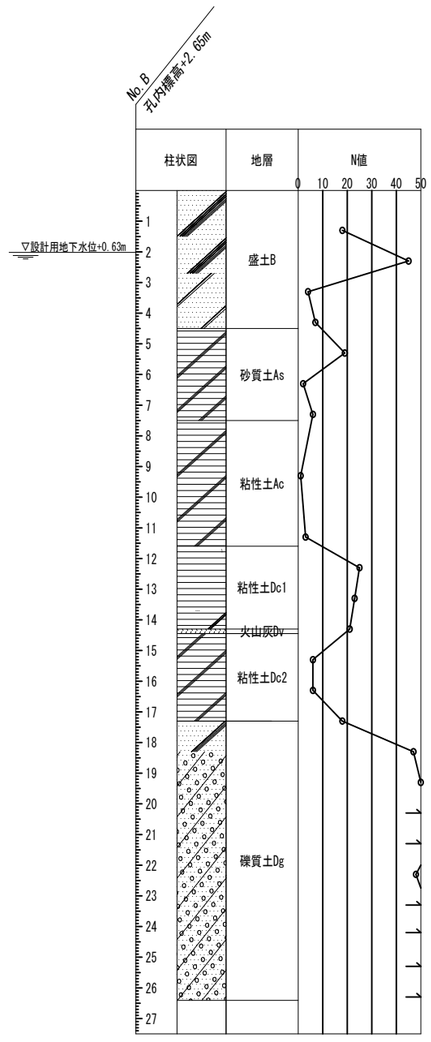


| 図面番号 | C-6 | 縮 尺 | A1-1:100 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 二次掘削断面図(1) | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

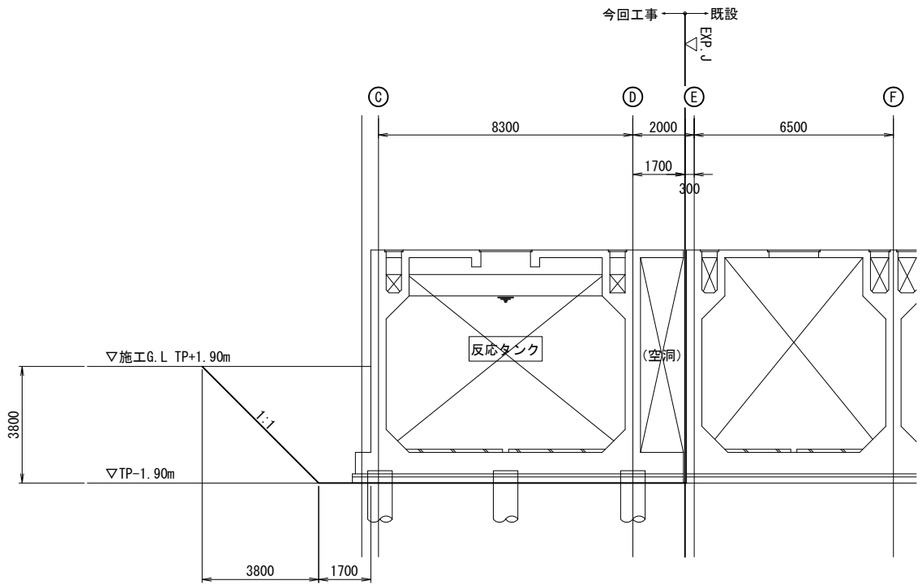
# 二次掘削断面図(1)　S=1:100

## 1-1断面図



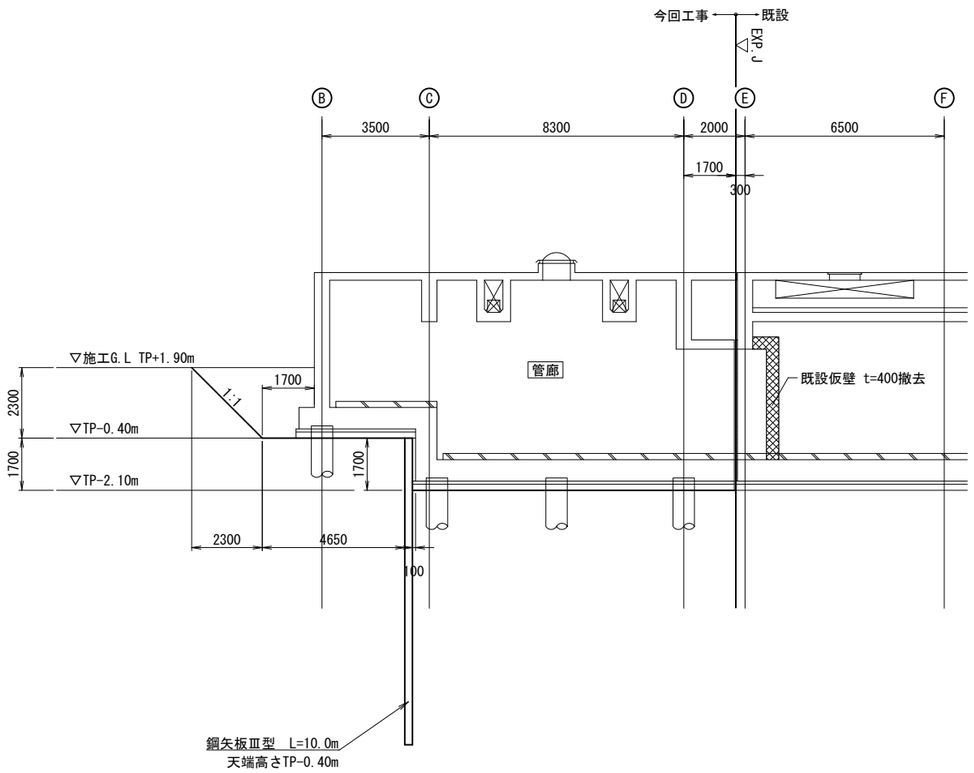

## 2-2断面図

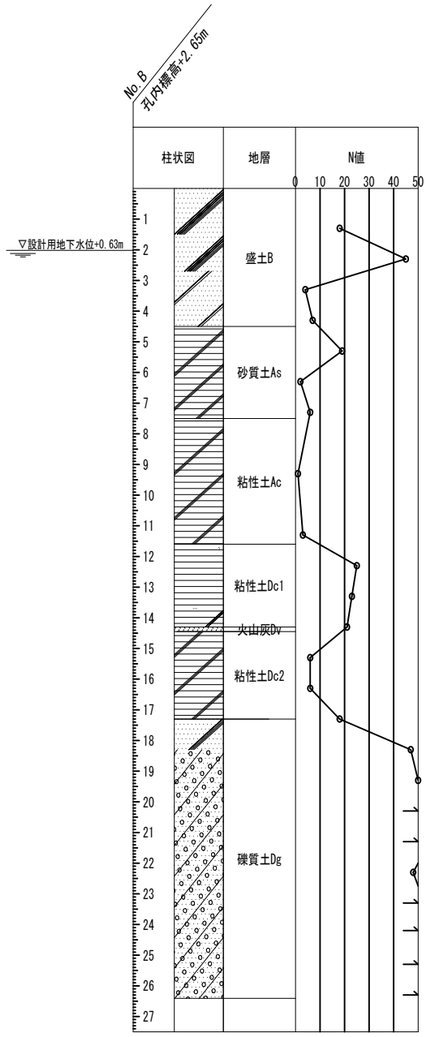


| 図面番号 | C-7 | 縮 尺 | A1-1:100 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 二次掘削断面図(2) | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

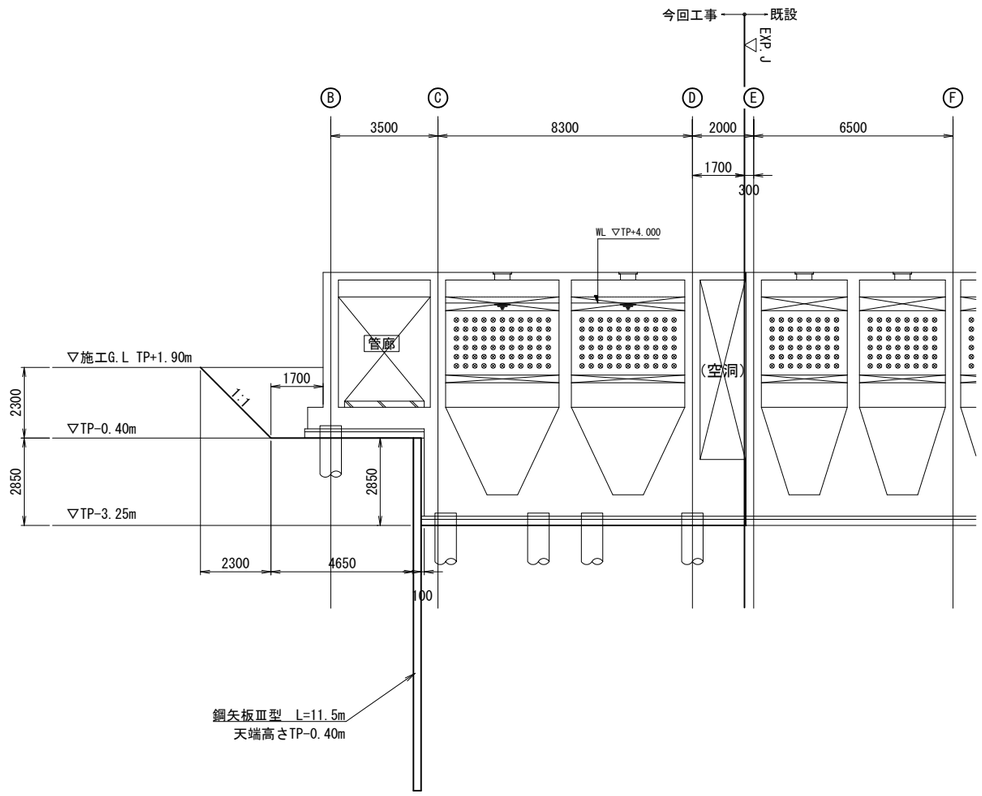
# 二次掘削断面図(2)　S=1:100

## 3-3断面図



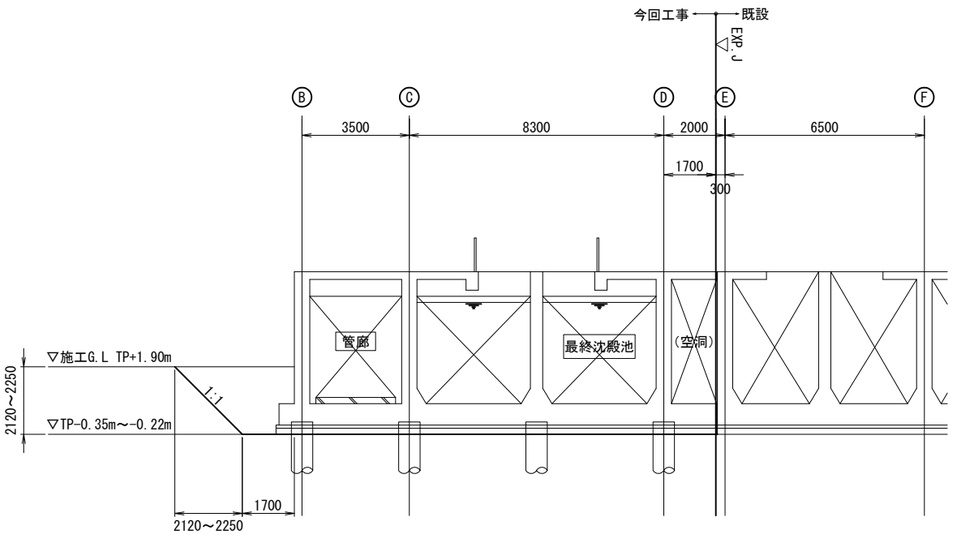

## 4-4断面図

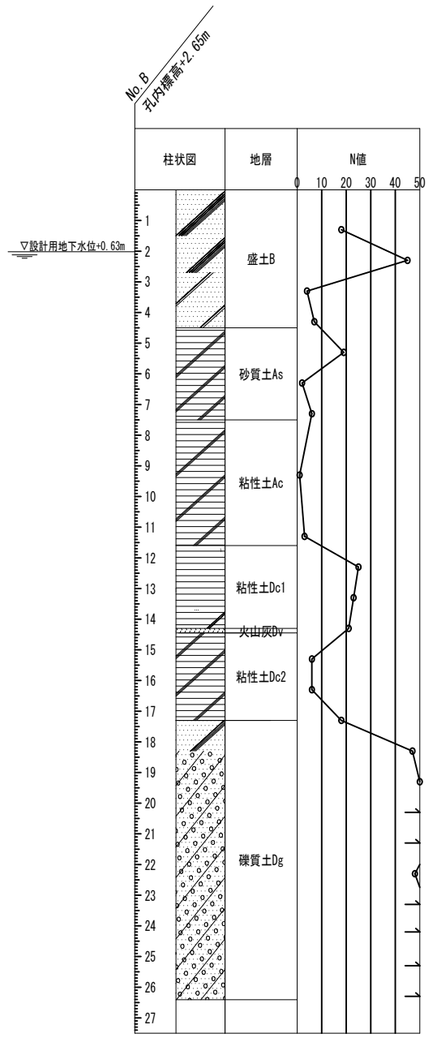


| 図面番号 | C-8 | 縮 尺 | A1-1:100 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 二次掘削断面図(3) | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

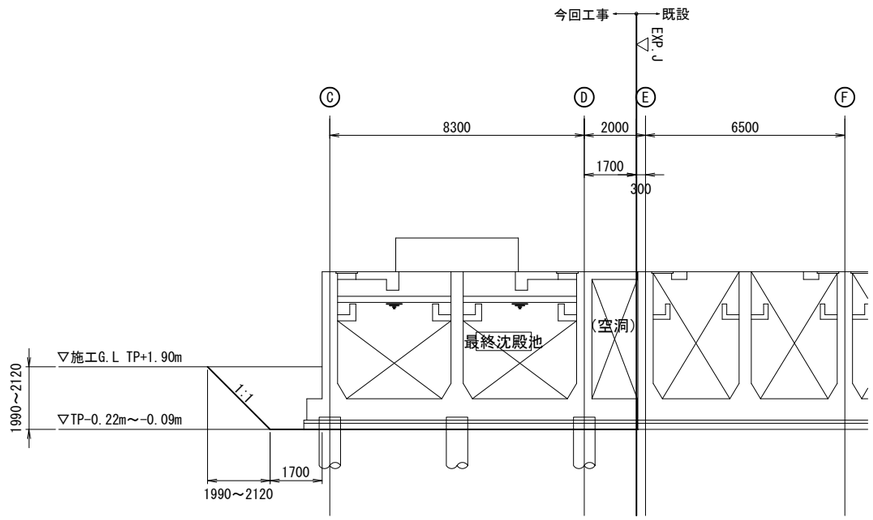
# 二次掘削断面図(3)　S=1:100

## 5-5断面図



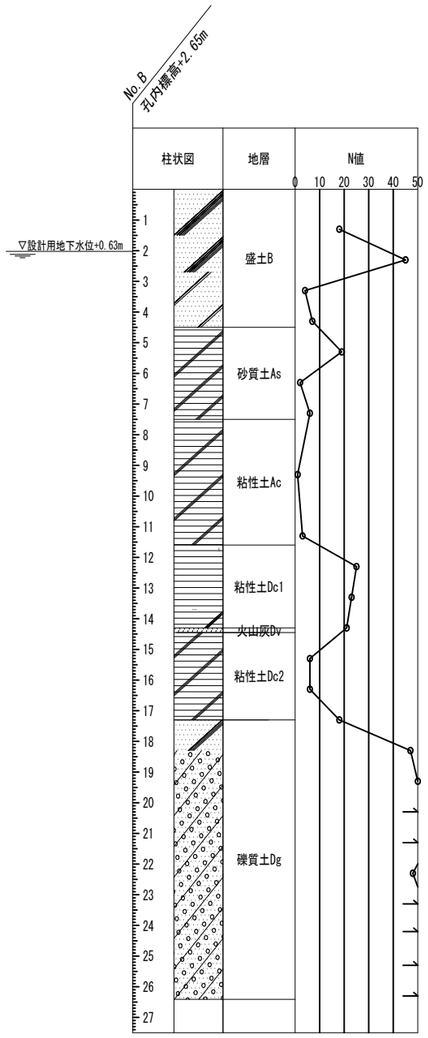




## 6-6断面図

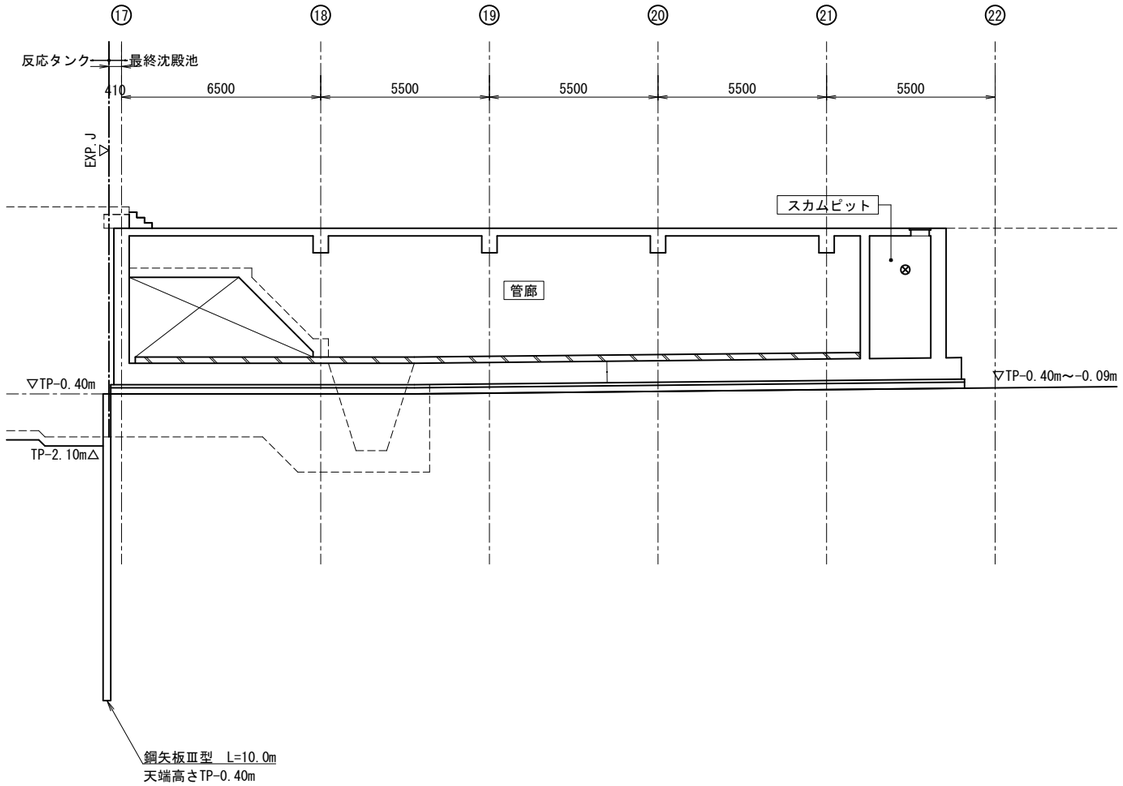


| 図面番号 | C-9 | 縮 尺 | A1-1:100 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 二次掘削断面図(4) | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

# 二次掘削断面図(4)　S=1:100

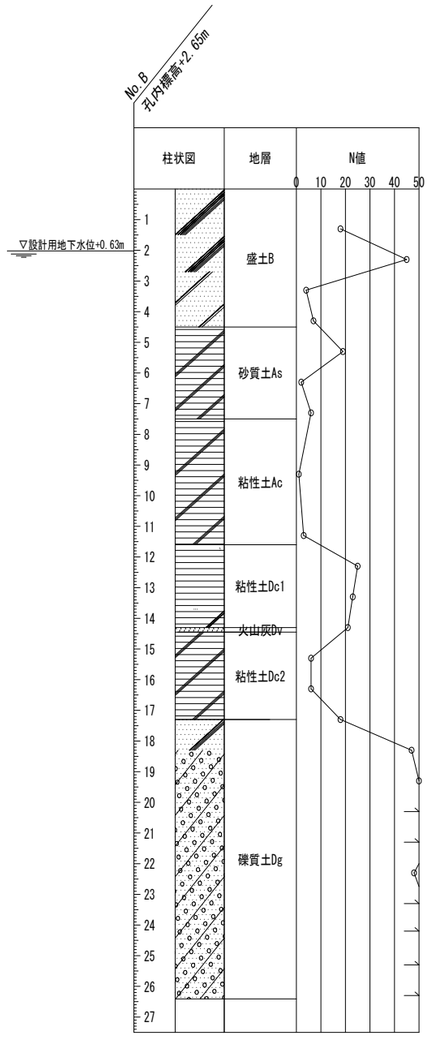



B-B断面図

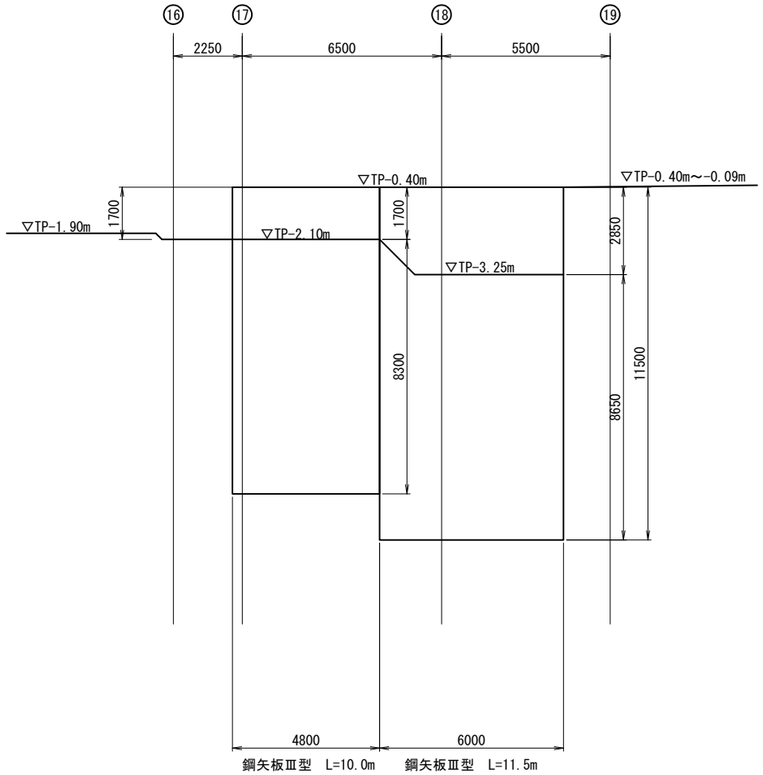


| 図面番号 | C-10 | 縮 尺 | A1-1:100 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 土留め工展開図(1) | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

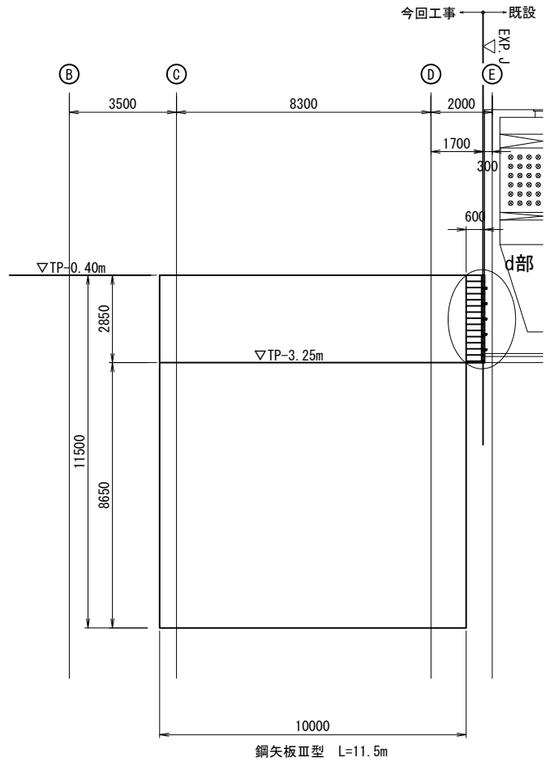
# 土留め工展開図(1)　S=図示



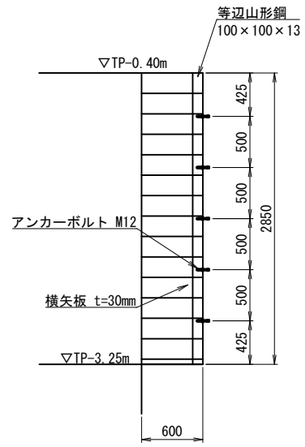

a-a断面図　S=1:100



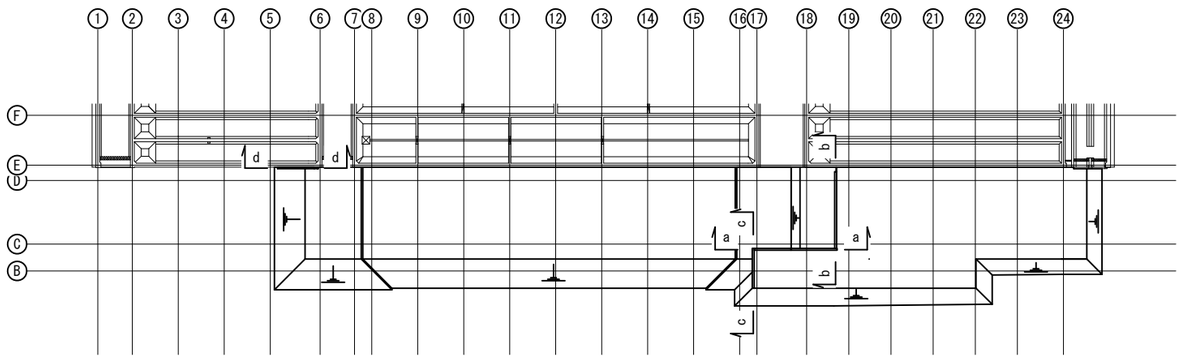

b-b断面図　S=1:100




d部詳細図　S=1:30

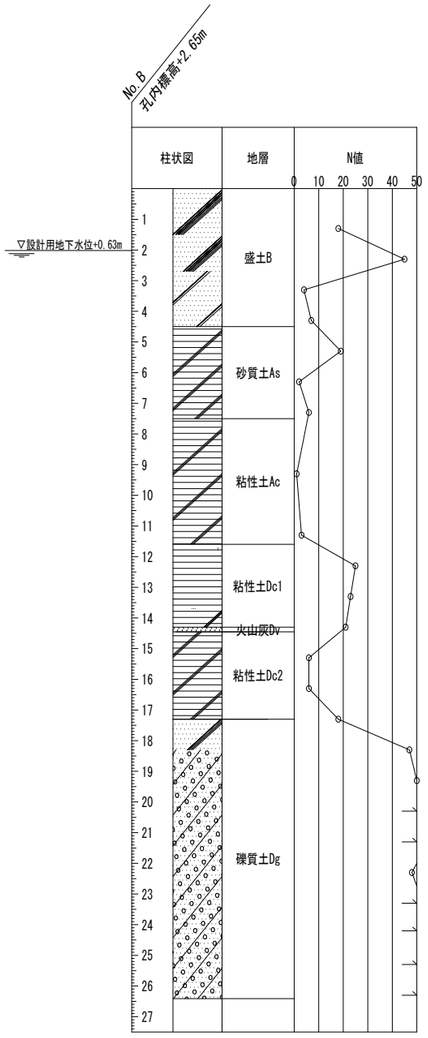



KEYPLAN

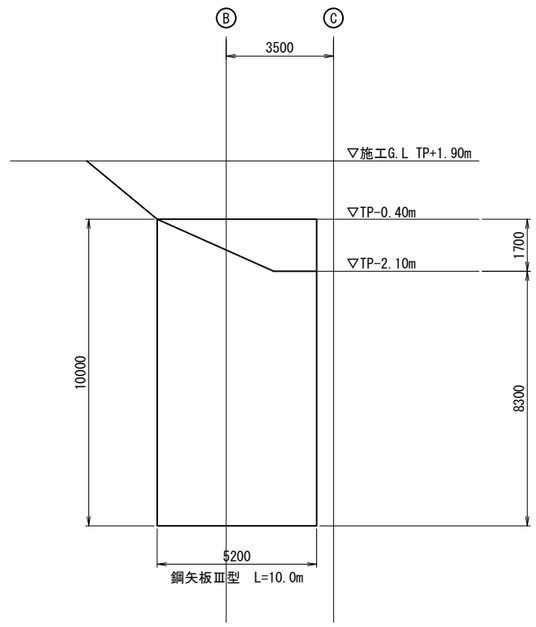


| 図面番号 | C-11 | 縮 尺 | A1-1:100 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 土留め工展開図(2) | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

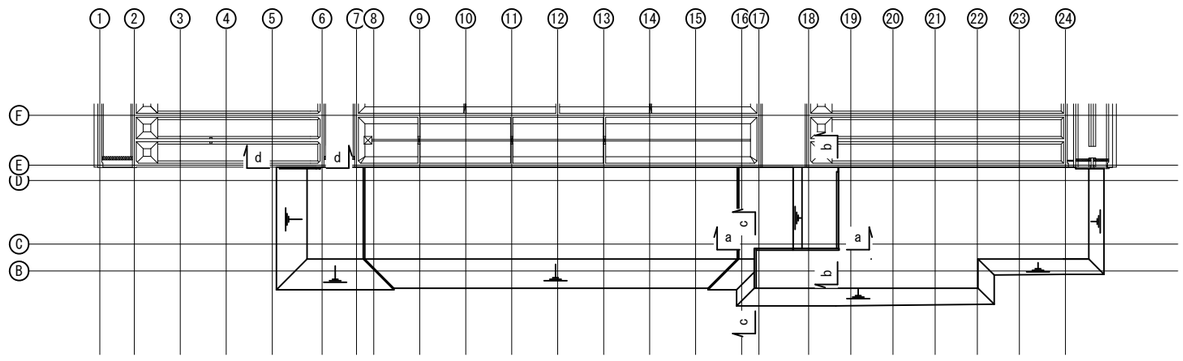
# 土留め工展開図(2)　S=1:100




C-C断面図　S=1:100

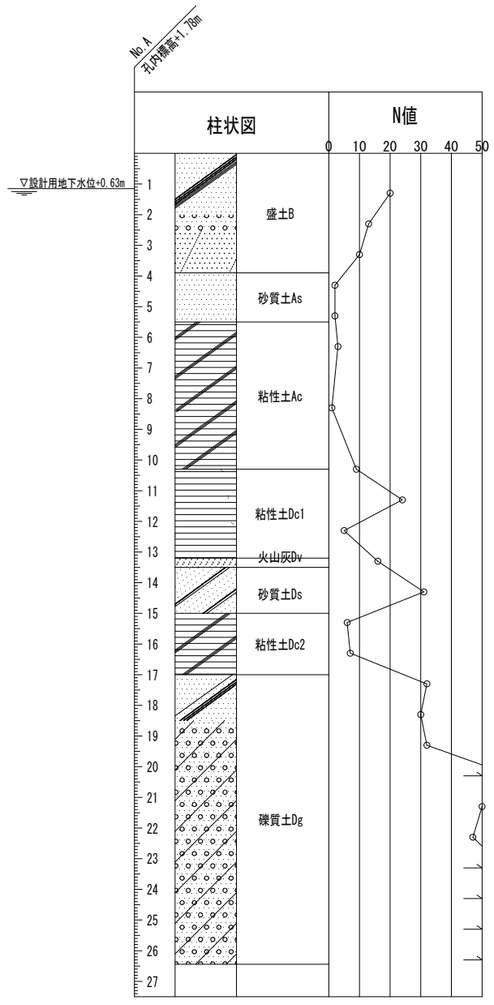



KEYPLAN

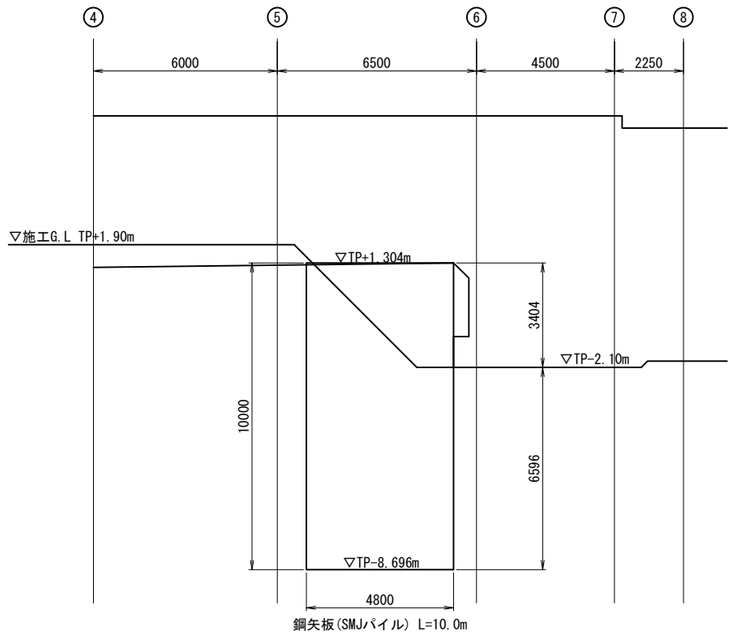


| 図面番号 | C-12 | 縮 尺 | A1-1:100 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 土留め工展開図(3) | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

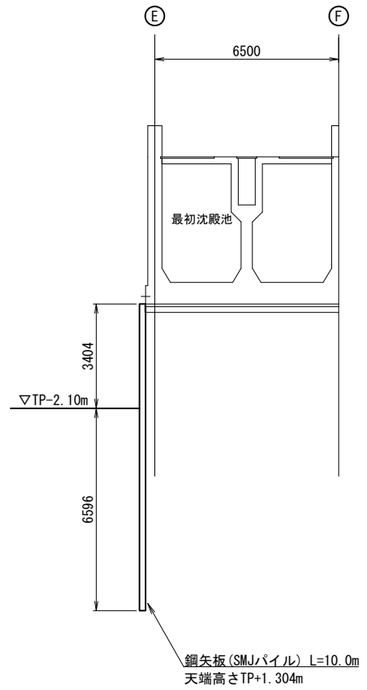
# 土留め工展開図(3)　S=図示



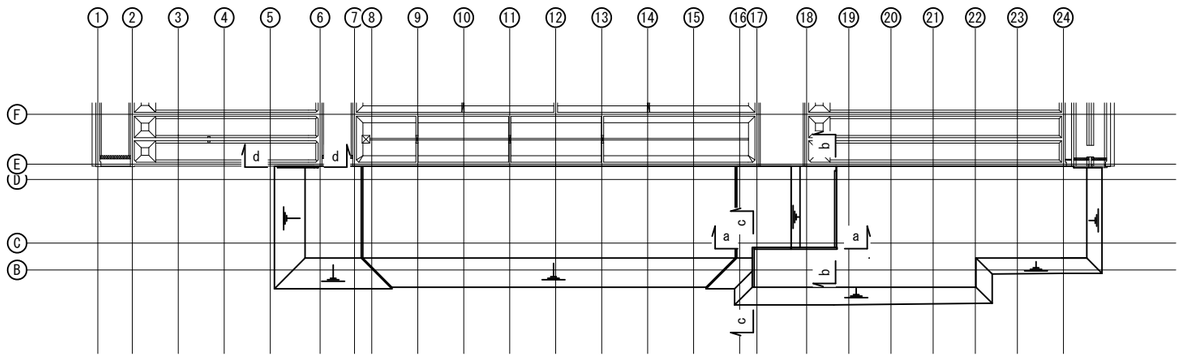

d-d断面図　S=1:100




7-7断面図　S=1:100

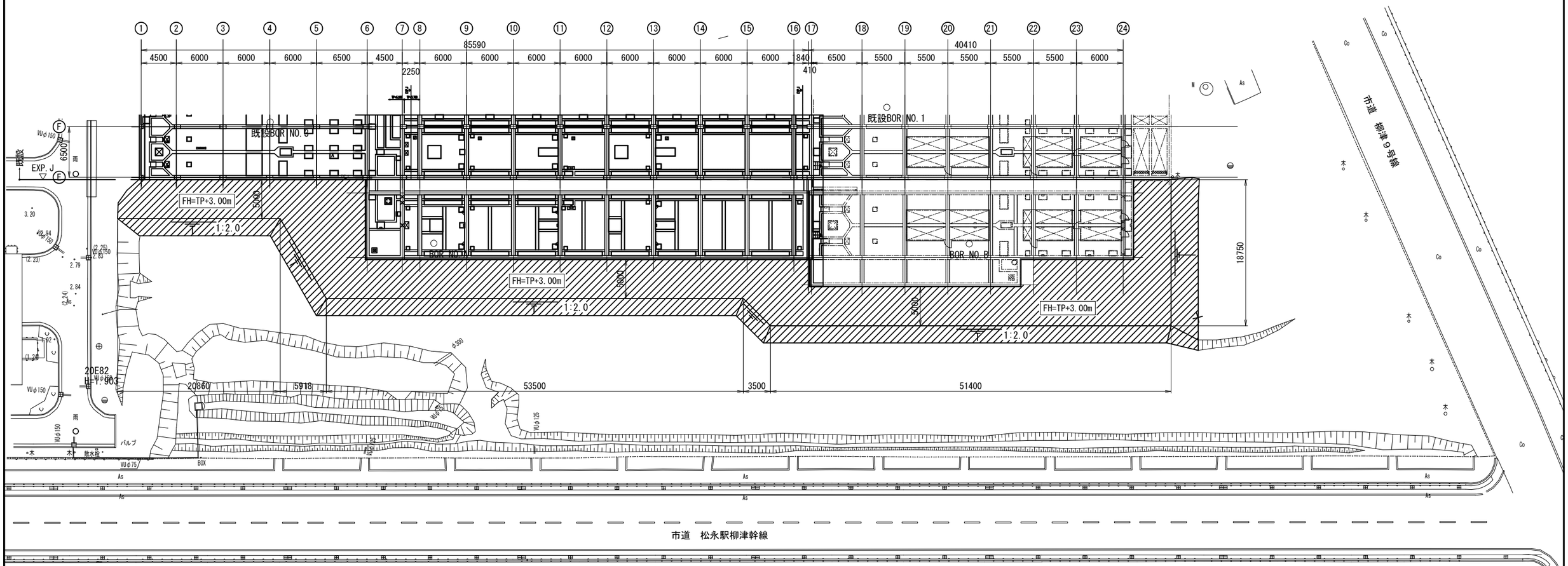



KEYPLAN



| 図面番号 | C-13 | 縮 尺 | A1-1:250 |
|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 盛土工平面図 | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

# 盛土工平面図　S=1:250

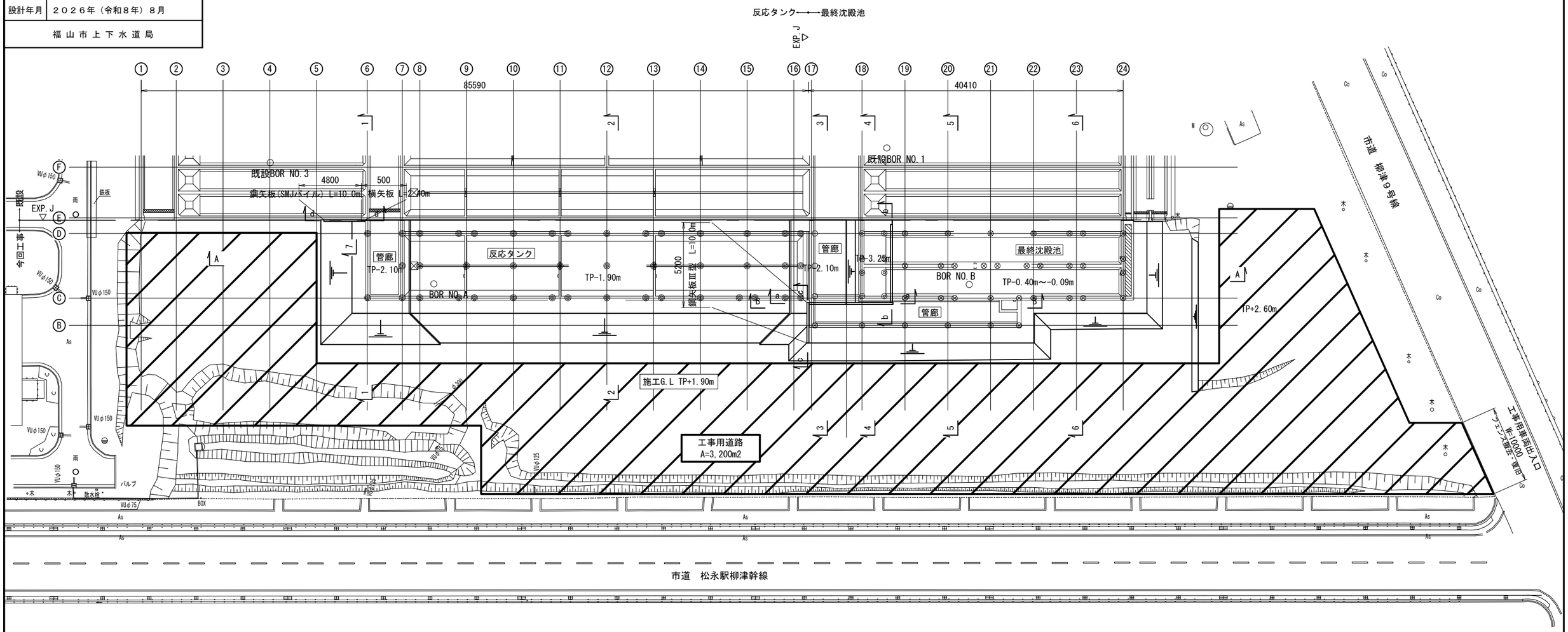



盛土工

| | | | |
|---|---|---|---|
| 図面番号 | C-14 | 縮 尺 | A1-1:250 |
| 工 事 名 | 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木） | | |
| 種　　別 | 工事用道路計画図 | 番号 | |
| 工事箇所 | 福山市柳津町一丁目地内 | | |
| 設計年月 | ２０２６年（令和８年）８月 | | |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 | | | |

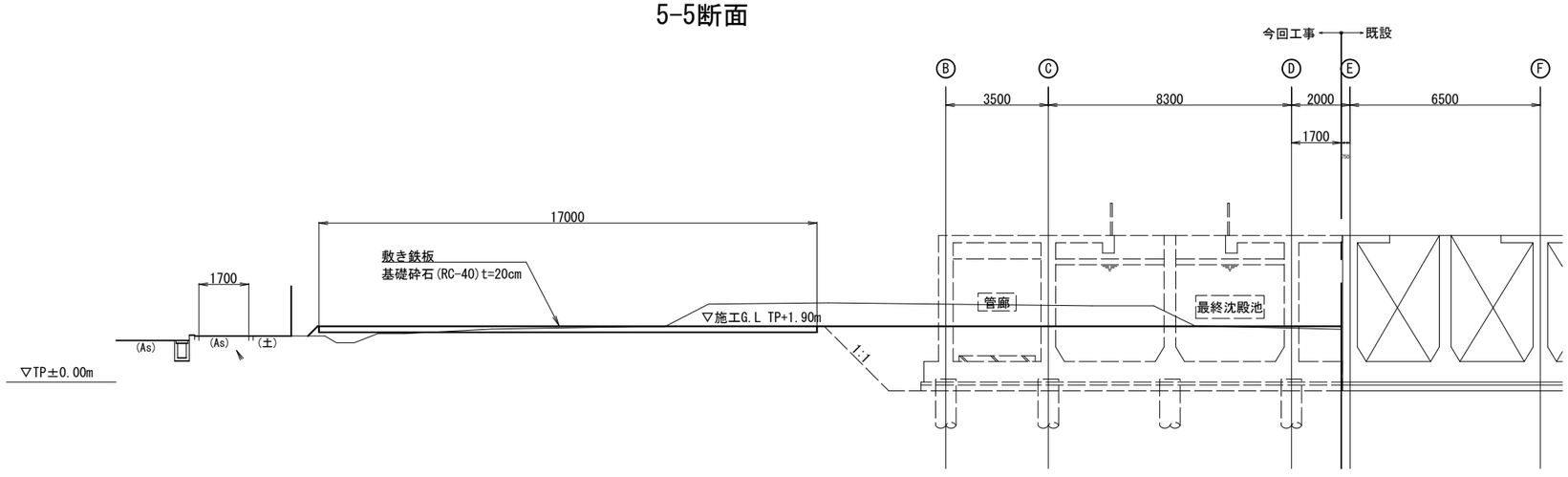
# 工事用道路計画図　S=1:250

## 平面図




# 工事用道路標準断面図　S=1:100

## 5-5断面



# 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木）

# 参考図書

# 松永浄化センター沈殿池増設工事（土木）

# 単価表

# 施工単価表



掘削　　SPK26040001　　単第0 -0001　表

土砂 オープンカット 押土無し　　障害無し 5,000m3以上10,000m3未満　　1　m3　当り

機械構成比: 44.63%　労務構成比: 35.43%　材料構成比: 19.94%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 318.43000

| 代表機労材規格(積算地区) | 構成比 | 単価(積算地区) | 代表機労材規格(東京地区) | 単価(東京地区) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| バックホウ(クローラ型)<br>標準型・超低騒音・排2014<br>バケット容量0.8m3 | 44.63% | | バックホウ(クローラ型)<br>標準型・超低騒音型・排2014<br>バケット容量0.8m3 | | MTPC00174<br>MTPT00174 |
| 運転手(特殊) | 35.43% | | 運転手(特殊) | | RTPC00006<br>RTPT00006 |
| 軽油<br>パトロール給油,2～4KL積載車給油 | 19.94% | | 軽油パトロール給油 | | TTPC00013<br>TTPT00013 |
| 積算単価 | | | 積算単価 | | EP001 |
| A=1　土砂<br>C=2　押土無し<br>E=4　5,000m3以上10,000m3未満 | | | B=1　オープンカット<br>D=1　障害無し | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



整地　SPK26040003　単第0 -0002　表

敷均し(ルーズ)　施工数量10,000m3未満 障害無し　1　m3　当り

機械構成比: 21.78%　労務構成比: 53.54%　材料構成比: 24.68%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 132.74000

| 代表機労材規格(積算地区) | 構成比 | 単価(積算地区) | 代表機労材規格(東京地区) | 単価(東京地区) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| <賃>バックホウ(クローラ型)<br>山積0.8m3(平積0.6)<br>排1～3,2011,2014 | 21.78% | | バックホウ(クローラ型)<br>バケット容量0.8m3 | | KTPC00018<br>KTPT00018 |
| 運転手(特殊) | 53.54% | | 運転手(特殊) | | RTPC00006<br>RTPT00006 |
| 軽油<br>パトロール給油,2～4KL積載車給油 | 24.68% | | 軽油パトロール給油 | | TTPC00013<br>TTPT00013 |
| 積算単価 | | | 積算単価 | | EP001 |
| A=2 敷均し(ルーズ)<br>C=1 障害無し | | | B=1 施工数量10,000m3未満 | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



路体(築堤)盛土　SPK26040004　単第0 -0003　表

施工幅員4.0m以上　施工数量20,000m3未満 障害無し　1　m3　当り

機械構成比:　16.17%　労務構成比:　66.69%　材料構成比:　17.14%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価:　257.39000

| 代表機労材規格(積算地区) | 構成比 | 単価(積算地区) | 代表機労材規格(東京地区) | 単価(東京地区) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| <賃>ブルドーザ<br>湿地,7t級<br>排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音 | 10.15% | | ブルドーザ<br>湿地<br>通称7t級 | | KTPC00036<br>KTPT00036 |
| <賃>振動ローラ(土木用フラットSドラム型)<br>質量11～12t<br>排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音 | 6.02% | | 振動ローラ(土工用)<br>フラット・シングルドラム型<br>運転質量11～12t | | KTPC00058<br>KTPT00058 |
| 運転手(特殊) | 45.87% | | 運転手(特殊) | | RTPC00006<br>RTPT00006 |
| 普通作業員 | 20.82% | | 普通作業員 | | RTPC00002<br>RTPT00002 |
| 軽油<br>パトロール給油,2～4KL積載車給油 | 17.14% | | 軽油パトロール給油 | | TTPC00013<br>TTPT00013 |
| 積算単価 | | | 積算単価 | | EP001 |
| A=3　施工幅員4.0m以上<br>C=1　障害無し | | | B=1　施工数量20,000m3未満 | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



床掘り　SPK26040014　単第0 -0004　表

土砂 標準　土留方式無し 障害無し　1　m3　当り

機械構成比: 21.46%　労務構成比: 54.31%　材料構成比: 24.23%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 255.58000

| 代表機労材規格(積算地区) | 構成比 | 単価(積算地区) | 代表機労材規格(東京地区) | 単価(東京地区) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| <賃>バックホウ(クローラ型)<br>山積0.8m3(平積0.6)<br>排1～3,2011,2014 | 21.46% | | バックホウ(クローラ型)<br>バケット容量0.8m3 | | KTPC00018<br>KTPT00018 |
| 運転手(特殊) | 54.31% | | 運転手(特殊) | | RTPC00006<br>RTPT00006 |
| 軽油<br>パトロール給油,2～4KL積載車給油 | 24.23% | | 軽油パトロール給油 | | TTPC00013<br>TTPT00013 |
| 積算単価 | | | 積算単価 | | EP001 |
| A=1 土砂<br>C=1 土留方式無し<br>E=1 -(全ての費用) | | | B=1 標準<br>D=1 障害無し | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



基面整正　　SPK26040016　　単第0 -0005　表

1　m2　当り

機械構成比:　0.00%　労務構成比:　100.00%　材料構成比:　0.00%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価：　536.00000

| 代表機労材規格(積算地区) | 構成比 | 単価(積算地区) | 代表機労材規格(東京地区) | 単価(東京地区) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 普通作業員 | 100.00% | | 普通作業員 | | RTPC00002<br>RTPT00002 |
| 積算単価 | | | 積算単価 | | EP001 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



埋戻し　SPK26040019　単第0 -0006　表

最大埋戻幅4m以上　1　m3　当り

機械構成比:　11.71%　労務構成比:　76.55%　材料構成比:　11.74%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価:　1,152.60000

| 代表機労材規格(積算地区) | 構成比 | 単価(積算地区) | 代表機労材規格(東京地区) | 単価(東京地区) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| <賃>バックホウ(クローラ型)<br>山積0.8m3(平積0.6)<br>排1～3,2011,2014 | 10.08% | | バックホウ(クローラ型)<br>バケット容量0.8m3 | | KTPC00018<br>KTPT00018 |
| <賃>振動ローラ(ハンドガイド式)<br>質量0.5～0.6t | 1.57% | | 振動ローラ(舗装用)<br>ハンドガイド式<br>運転質量0.5～0.6t | | KTPC00070<br>KTPT00070 |
| <賃>タンパ(ランマ)<br>質量60～80kg | 0.06% | | タンパ及びランマ<br>通称60～80kg級 | | KTPC00020<br>KTPT00020 |
| 特殊作業員 | 29.08% | | 特殊作業員 | | RTPC00001<br>RTPT00001 |
| 普通作業員 | 26.04% | | 普通作業員 | | RTPC00002<br>RTPT00002 |
| 運転手(特殊) | 21.43% | | 運転手(特殊) | | RTPC00006<br>RTPT00006 |
| 軽油<br>パトロール給油,2～4KL積載車給油 | 11.64% | | 軽油パトロール給油 | | TTPC00013<br>TTPT00013 |
| ガソリン,レギュラー<br>スタンド渡し,スタンド給油 | 0.10% | | ガソリンレギュラースタンド | | TTPC00014<br>TTPT00014 |
| 積算単価 | | | 積算単価 | | EP001 |

# 施工単価表



埋戻し　　SPK26040019　　単第0 -0006　表

最大埋戻幅4m以上　　1　m3　当り

機械構成比:　11.71%　労務構成比:　76.55%　材料構成比:　11.74%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価：　1,152.60000

| 代表機労材規格(積算地区) | 構成比 | 単価(積算地区) | 代表機労材規格(東京地区) | 単価(東京地区) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| A=2　最大埋戻幅4m以上 | | | D=1　-(全ての費用) | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



土砂等運搬　SPK26040002　単第0 -0007　表

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)　DID区間有り 距離14.0km以下(11.0km超)　1　m3　当り

機械構成比: 42.89%　労務構成比: 41.78%　材料構成比: 15.33%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 2,309.70000

| 代表機労材規格(積算地区) | 構成比 | 単価(積算地区) | 代表機労材規格(東京地区) | 単価(東京地区) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]<br>10t積級<br>通称10t積級 | 42.89% | | ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]<br>通称10t積級<br>(タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む) | | MTPC00018T1<br>MTPT00018T1 |
| 運転手(一般) | 41.78% | | 運転手(一般) | | RTPC00007<br>RTPT00007 |
| 軽油<br>パトロール給油,2～4KL積載車給油 | 15.33% | | 軽油パトロール給油 | | TTPC00013<br>TTPT00013 |
| 積算単価 | | | 積算単価 | | EP001 |
| A=1 標準<br>C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む)<br>E=37 距離14.0km以下(11.0km超) | | | B=1 バックホウ B容量0.8m3<br>D=2 DID区間有り | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



土砂等運搬　SPK26040002　単第0 -0008　表

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)　DID区間有り 距離6.0km以下(5.0km超)　1　m3　当り

機械構成比: 42.89%　労務構成比: 41.78%　材料構成比: 15.33%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 1,276.40000

| 代表機労材規格(積算地区) | 構成比 | 単価(積算地区) | 代表機労材規格(東京地区) | 単価(東京地区) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]<br>10t積級<br>通称10t積級 | 42.89% | | ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]<br>通称10t積級<br>(タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む) | | MTPC00018T1<br>MTPT00018T1 |
| 運転手(一般) | 41.78% | | 運転手(一般) | | RTPC00007<br>RTPT00007 |
| 軽油<br>パトロール給油,2～4KL積載車給油 | 15.33% | | 軽油パトロール給油 | | TTPC00013<br>TTPT00013 |
| 積算単価 | | | 積算単価 | | EP001 |
| A=1 標準<br>C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む)<br>E=19 距離6.0km以下(5.0km超) | | | B=1 バックホウ B容量0.8m3<br>D=2 DID区間有り | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



油圧式杭圧入引抜機据付・解体　S0458　単第0 -0009　表

圧入（Nmax≦25）　III型　1　回　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | 0.290 | 人 | | | |
| 特殊作業員 | 0.290 | 人 | | | |
| とび工 | 0.580 | 人 | | | |
| 機-24_油圧式杭圧入引抜機運転<br>圧入力800kN<br>排出ガス対策型2014規制 | 0.250 | 日 | | | 単第0-0010　表 |
| 機-18_ラフテレーンクレーン運転<br>最大吊上能力25t吊<br>排出ガス対策型3次基準 | 0.300 | 日 | | | 単第0-0011　表 |
| 諸雑費 | 1 | 式 | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 回 | | | |
| A=1　圧入（Nmax≦25）<br>C=1　陸上施工 | | | B=2　III型 | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



機-24_油圧式杭圧入引抜機運転　S9128　単第0 -0010　表

圧入力800kN　排出ガス対策型2014規制　1　日　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 軽油<br>パトロール給油,2～4KL積載車給油 | 128.00 | L | | | |
| 油圧式杭圧入引抜機<br>エンジン式ユニット・排2014<br>圧入800引抜900kN | 1.49 | 供用日15欄 | | | |
| 諸雑費 | 1 | 式 | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 日 | | | |
| A=1　圧入力800kN<br>C=1.49　機械損料数量（供用日/日） | | | B=128　軽油消費量（L/日） | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



機-18_ラフテレーンクレーン運転　S9000053　単第0 -0011　表

最大吊上能力25t吊　排出ガス対策型3次基準　1　日　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 運転手(特殊) | 1.00 | 人 | | | |
| 軽油<br>パトロール給油,2～4KL積載車給油 | 92.00 | L | | | |
| ラフテレーンクレーン<br>油圧伸縮ジブ型・排3<br>最大吊上能力25t吊 | 1.49 | 供用日15欄 | | | |
| 諸雑費 | 1 | 式 | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 日 | | | |
| A=1　最大吊上能力25t吊<br>C=1　運転労務数量(人/日)<br>E=1.49　機械損料数量(供用日/日) | | | B=6　排出ガス対策型3次基準<br>D=92　燃料消費量(L/日) | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



鋼矢板圧入(Nmax≦25)　S0440　単第0 -0012　表

陸上施工 3型　圧入長(m)_12以下(9超)　10　枚　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | 0.476 | 人 | | | |
| 特殊作業員 | 0.476 | 人 | | | |
| とび工 | 0.952 | 人 | | | |
| 機-24_油圧式杭圧入引抜機運転<br>圧入力800kN<br>排出ガス対策型2014規制 | 0.476 | 日 | | | 単第0-0010　表<br>10/21 |
| 機-18_ラフテレーンクレーン運転<br>最大吊上能力25t吊<br>排出ガス対策型3次基準 | 0.476 | 日 | | | 単第0-0011　表<br>10/21 |
| 諸雑費 | 1 | % | | | #09 |
| ＊＊＊　合計　＊＊＊ | 10 | 枚 | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 枚 | | | |
| A=1　陸上施工<br>C=4　圧入長(m)_12以下(9超) | | | B=2　3型 | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



ゼロパイラー設置・撤去　V00001　単第0 -0013　表

1　回　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| ゼロパイラー運転<br>ゼロパイラーJZ100　圧入力980kN | 0.26 | 日 | | | 単第0-0014　表 |
| 機-18_ラフテレーンクレーン運転<br>最大吊上能力25t吊<br>排出ガス対策型3次基準 | 0.35 | 日 | | | 単第0-0011　表 |
| 土木一般世話役 | 0.3 | 人 | | | |
| 特殊作業員 | 0.3 | 人 | | | |
| とび工 | 0.59 | 人 | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 回 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



ゼロパイラー運転　　V00003　　単第0 -0014　表

ゼロパイラーJZ100　圧入力980kN　　1　日　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 軽油<br>パトロール給油,2～4KL積載車給油 | 147 | L | | | |
| ゼロパイラー運転<br>ゼロパイラーJZ100　圧入力980kN | 1.49 | 供用日 | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 日 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



ゼロパイラーによる圧入　V00002　単第0 -0015　表

継施工なし、Nmax≦20　標準施工、圧入長10m以下、常用　1　日　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| ゼロパイラー運転<br>ゼロパイラーJZ100　圧入力980kN | 1 | 日 | | | 単第0-0014　表 |
| 機-18_ラフテレーンクレーン運転<br>最大吊上能力25t吊<br>排出ガス対策型3次基準 | 1 | 日 | | | 単第0-0011　表 |
| 土木一般世話役 | 1 | 人 | | | |
| 特殊作業員 | 1 | 人 | | | |
| とび工 | 2 | 人 | | | |
| 雑材料 | 1 | % | | | #01 |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 日 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



ポンプ運転　S1050053　単第0 -0016　表

排水量_0以上120未満(m3/h)　全揚程_10m 常時排水　1　日　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 特殊作業員 | 0.170 | 人 | | | |
| 建設用ポンプ(水中ポンプ)運転<br>口径200mm,揚程10m<br>11.0kw | 1.000 | 日 | | | 単第0-0017　表 |
| 機-16_発動発電機運転<br>ディーゼル45kVA<br>排出ガス対策型3次基準 | 1.000 | 日 | | | 単第0-0018　表 |
| 諸雑費 | 3 | % | | | #09 |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 日 | | | |
| A=1　排水量_0以上120未満(m3/h)<br>C=2　常時排水 | | | B=1　全揚程_10m | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



建設用ポンプ(水中ポンプ)運転　S9000045　単第0 -0017　表

口径200㎜,揚程10m　11.0kw　1　日　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| <賃>建設用ポンプ(水中ポンプ)<br>口径200㎜,揚程10m<br>11.0kw | 1.10 | 供用日 | | | |
| 諸雑費 | 1 | 式 | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 日 | | | |
| A=4　口径200㎜,揚程10m | | | B=1.1　機械賃料数量(供用日/日) | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



機-16_発動発電機運転　S9469　単第0 -0018　表

ディーゼル45kVA　排出ガス対策型3次基準　1　日　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 軽油<br>パトロール給油,2～4KL積載車給油 | 137.00 | L | | | |
| <賃>発動発電機(ディーゼル発電機)<br>定格容量45kVA<br>排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音 | 1.10 | 供用日 | | | |
| 諸雑費 | 1 | 式 | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 日 | | | |
| A=8　ディーゼル45kVA<br>C=1.1　機械賃料数量(供用日/日) | | | B=137　燃料消費量(L/日)<br>D=4　排出ガス対策型3次基準 | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



ポンプ設置・撤去　　SHD10037　　単第0 -0019　表

1　　箇所　　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | 0.500 | 人 | | | |
| 特殊作業員 | 0.100 | 人 | | | |
| 普通作業員 | 2.000 | 人 | | | |
| 機-28_バックホウ(クローラ型)運転<br>クレーン付2.9t吊_B容量0.8m3 | 0.500 | 日 | | | 単第0-0020　表 |
| 諸雑費 | 1 | 式 | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 箇所 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



機-28_バックホウ(クローラ型)運転　S9035　単第0 -0020　表

クレーン付2.9t吊_B容量0.8m3　1　日　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 運転手(特殊) | 1.00 | 人 | | | |
| 軽油<br>パトロール給油,2～4KL積載車給油 | 45.00 | L | | | |
| <賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付)<br>山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t<br>排1～3,2011,2014 | 1.47 | 供用日 | | | |
| 諸雑費 | 1 | 式 | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 日 | | | |
| A=12　クレーン付2.9t吊_B容量0.8m3<br>C=1　運転労務数量(人/日) | | | B=45　軽油消費量(L/日)<br>D=1.47　機械賃料数量(供用日/日) | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



路盤工　SQZ10　単第0 -0021　表

施工幅　1.8m以上　一層仕上り厚20cm　100　m2　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 普通作業員 | 0.710 | 人 | | | |
| 再生クラッシャラン<br>40～0mm | 25.400 | m3 | | | |
| 機-28_振動ローラ運転（賃料）<br>搭乗式コンバインド型　3.0～4.0t | 0.200 | 日 | | | 単第0-0022　表 |
| タンパ運転（賃料）<br>質量　６０～８０kg | 0.200 | 日 | | | 単第0-0023　表 |
| 諸雑費 | 1 | 式 | | | |
| ＊＊＊　合計　＊＊＊ | 100 | m2 | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | m2 | | | |
| A=2　施工幅　1.8m以上<br>C=20　一層仕上り厚（cm） | | | B=8　RC-40 | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



機-28_振動ローラ運転（賃料）　S9202　単第0 -0022　表

搭乗式コンバインド型　3.0～4.0t　1　日　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 運転手(特殊) | 1.00 | 人 | | | |
| 軽油<br>パトロール給油,2～4KL積載車給油 | 13.00 | L | | | |
| <賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式)<br>質量3～4t<br>排出ガス対策型(第2,3次基準値)低騒音 | 1.52 | 供用日 | | | |
| 諸雑費 | 1 | 式 | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 日 | | | |
| A=9　搭乗式コンバインド型　3.0～4.0t<br>C=13　軽油消費量（L／日）<br>E=2　排出ガス対策型 | | | B=1　運転労務数量（人／日）<br>D=1.52　機械賃料数量（供用日／日） | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



タンパ運転（賃料）　S9000017　単第0 -0023　表

質量　６０～８０kg　1　日　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| ガソリン,レギュラー<br>スタンド渡し,スタンド給油 | 4.00 | L | | | |
| 特殊作業員 | 1.00 | 人 | | | |
| <賃>タンパ(ランマ)<br>質量60～80kg | 1.61 | 供用日 | | | |
| 諸雑費 | 1 | 式 | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 日 | | | |
| A=1　運転労務数量（人／日）<br>C=1.61　機械賃料数量（供用日／日） | | | B=4　燃料消費量（L／日） | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



敷鉄板設置　　S1050041　　単第0 -0024　表

100　m2　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | 0.152 | 人 | | | |
| とび工 | 0.152 | 人 | | | |
| 普通作業員 | 0.152 | 人 | | | |
| 機-28_バックホウ(クローラ型)運転<br>クレーン付2.9t吊_B容量0.8m3 | 0.152 | 日 | | | 単第0-0025　表 |
| 諸雑費 | 1 | % | | | #09 |
| ＊＊＊　合計　＊＊＊ | 100 | m2 | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | m2 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



機-28_バックホウ(クローラ型)運転　S9035　単第0 -0025　表

クレーン付2.9t吊_B容量0.8m3　1　日　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 運転手(特殊) | 1.00 | 人 | | | |
| 軽油<br>パトロール給油,2～4KL積載車給油 | 119.00 | L | | | |
| <賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付)<br>山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t<br>排1～3,2011,2014 | 1.06 | 供用日 | | | |
| 諸雑費 | 1 | 式 | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 日 | | | |
| A=19　クレーン付2.9t吊_B容量0.8m3<br>C=1　運転労務数量(人/日) | | | B=119　軽油消費量(L/日)<br>D=1.06　機械賃料数量(供用日/日) | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



敷鉄板賃料　S1050029　単第0 -0026　表

22×1524×6096,1604kg/枚　賃貸期間456日　1　枚　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| (賃料)鋼板<br>22×1524×6096,1604kg/枚<br>720日以内 | 456.000 | 枚・日 | | | |
| (賃料)鋼板<br>22×1524×6096,1604kg/枚<br>整備費 | 1.000 | 枚 | | | |
| 諸雑費 | 1 | 式 | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 枚 | | | |
| A=4　22×1524×6096,1604kg/枚<br>C=456　敷鉄板賃貸期間（日） | | | B=1　賃料<br>D=2　整備費有り | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



敷鉄板撤去　S1050043　単第0 -0027　表

100　m2　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | 0.143 | 人 | | | |
| とび工 | 0.143 | 人 | | | |
| 普通作業員 | 0.143 | 人 | | | |
| 機-28_バックホウ(クローラ型)運転<br>クレーン付2.9t吊_B容量0.8m3 | 0.143 | 日 | | | 単第0-0025　表 |
| 諸雑費 | 1 | % | | | #09 |
| ＊＊＊　合計　＊＊＊ | 100 | m2 | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | m2 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



金網・支柱(立入防止柵)　SPK26040252　単第0 -0028　表

基礎ブロック　支柱間隔2m　1　m　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 100.00%　材料構成比: 0.00%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 3,677.00000

| 代表機労材規格(積算地区) | 構成比 | 単価(積算地区) | 代表機労材規格(東京地区) | 単価(東京地区) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 普通作業員 | 90.38% | | 普通作業員 | | RTPC00002<br>RTPT00002 |
| 土木一般世話役 | 8.81% | | 土木一般世話役 | | RTPC00009<br>RTPT00009 |
| その他(労務) | | | その他(労務) | | ER009 |
| 積算単価 | | | 積算単価 | | EP001 |
| A=1　基礎ブロック<br>D=1　-(全ての費用) | | | C=2　支柱間隔2m | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



基礎砕石　SPK26040033　単第0 -0029　表

砕石の厚さ17.5cmを超え20.0cm以下　RC-40　1　m2　当り

機械構成比:　4.62%　労務構成比:　71.52%　材料構成比:　23.86%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価：　1,458.60000

| 代表機労材規格(積算地区) | 構成比 | 単価(積算地区) | 代表機労材規格(東京地区) | 単価(東京地区) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| <賃>バックホウ(クローラ型)<br>山積0.8m3(平積0.6)<br>排1～3,2011,2014 | 4.59% | | バックホウ(クローラ型)<br>バケット容量0.8m3 | | KTPC00018<br>KTPT00018 |
| その他(機械) | | | その他(機械) | | EK009 |
| 普通作業員 | 34.41% | | 普通作業員 | | RTPC00002<br>RTPT00002 |
| 特殊作業員 | 14.55% | | 特殊作業員 | | RTPC00001<br>RTPT00001 |
| 運転手(特殊) | 13.48% | | 運転手(特殊) | | RTPC00006<br>RTPT00006 |
| 土木一般世話役 | 8.59% | | 土木一般世話役 | | RTPC00009<br>RTPT00009 |
| その他(労務) | | | その他(労務) | | ER009 |
| 再生クラッシャラン<br>40～0mm | 19.25% | | 再生クラッシャーラン<br>RC-40 | | TTPC00008<br>TTPT00008 |
| 軽油<br>パトロール給油,2～4KL積載車給油 | 4.58% | | 軽油パトロール給油 | | TTPC00013<br>TTPT00013 |

# 施工単価表



基礎砕石　SPK26040033　単第0 -0029　表

砕石の厚さ17.5cmを超え20.0cm以下　RC-40　1　m2　当り

機械構成比:　4.62%　労務構成比:　71.52%　材料構成比:　23.86%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価：　1,458.60000

| 代表機労材規格(積算地区) | 構成比 | 単価(積算地区) | 代表機労材規格(東京地区) | 単価(東京地区) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| その他(材料) | | | その他(材料) | | EZ009 |
| 積算単価 | | | 積算単価 | | EP001 |
| A=4　砕石の厚さ17.5cmを超え20.0cm以下<br>D=1　-(全ての費用) | | | B=1　RC-40 | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



コンクリート　SPK26040157　単第0 -0030　表

無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB　コンクリートポンプ車打設　1　m3　当り

機械構成比: 3.83%　労務構成比: 13.43%　材料構成比: 82.74%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 27,970.00000

| 代表機労材規格(積算地区) | 構成比 | 単価(積算地区) | 代表機労材規格(東京地区) | 単価(東京地区) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| コンクリートポンプ車<br>トラック架装・ブーム式<br>圧送能力90～110m3/h | 3.80% | | コンクリートポンプ車<br>トラック架装・ブーム式<br>圧送能力90～110m3/h | | MTPC00050<br>MTPT00050 |
| その他(機械) | | | その他(機械) | | EK009 |
| 普通作業員 | 6.51% | | 普通作業員 | | RTPC00002<br>RTPT00002 |
| 特殊作業員 | 2.88% | | 特殊作業員 | | RTPC00001<br>RTPT00001 |
| 土木一般世話役 | 2.08% | | 土木一般世話役 | | RTPC00009<br>RTPT00009 |
| 運転手(特殊) | 1.83% | | 運転手(特殊) | | RTPC00006<br>RTPT00006 |
| その他(労務) | | | その他(労務) | | ER009 |
| レディーミクストコンクリート指定品<br>呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25)<br>W/C(60%),種別(高炉) | 81.92% | | 生コンクリート<br>高炉 24-12-25(20) W/C 55% | | TTPC00003<br>TTPT00343 |
| 軽油<br>パトロール給油,2～4KL積載車給油 | 0.82% | | 軽油パトロール給油 | | TTPC00013<br>TTPT00013 |

# 施工単価表



コンクリート　SPK26040157　単第0 -0030　表

無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB　コンクリートポンプ車打設　1　m3　当り

機械構成比: 3.83%　労務構成比: 13.43%　材料構成比: 82.74%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 27,970.00000

| 代表機労材規格(積算地区) | 構成比 | 単価(積算地区) | 代表機労材規格(東京地区) | 単価(東京地区) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 積算単価 | | | 積算単価 | | E9999 |
| A=1 無筋・鉄筋構造物<br>C=3 18-8-25(20)BB<br>F=1 養生工無し<br>J=1 - | | | B=1 コンクリートポンプ車打設<br>E=1 設計日打設量10m3以上100m3未満<br>G=1 圧送管延長距離延長無し<br>K=1 -(全ての費用) | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



型枠　SPK26040159　単第0 -0031　表

一般型枠　均しコンクリート　1　m2　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 100.00%　材料構成比: 0.00%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 5,387.90000

| 代表機労材規格(積算地区) | 構成比 | 単価(積算地区) | 代表機労材規格(東京地区) | 単価(東京地区) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 型わく工 | 58.85% | | 型わく工 | | RTPC00010<br>RTPT00010 |
| 普通作業員 | 19.89% | | 普通作業員 | | RTPC00002<br>RTPT00002 |
| 土木一般世話役 | 6.01% | | 土木一般世話役 | | RTPC00009<br>RTPT00009 |
| その他(労務) | | | その他(労務) | | ER009 |
| 積算単価 | | | 積算単価 | | EP001 |
| A=1　一般型枠<br>C=1　-(全ての費用) | | | B=5　均しコンクリート | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



杭打工　　V0004　　単第0 -0032　表

既製コンクリート杭（プレボーリング杭）　反応タンク：タイプ１　　10　本　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | 3.59 | 人 | | | |
| 溶接工 | 3.59 | 人 | | | |
| 特殊作業員 | 3.59 | 人 | | | |
| とび工 | 3.59 | 人 | | | |
| 普通作業員 | 3.59 | 人 | | | |
| SC杭<br>φ800,SKK490,ts9,L=9m | 10 | 本 | | | |
| PHC杭<br>φ800,A種,L=9m | 10 | 本 | | | |
| セメント(バラ)<br>高炉B種 | 49 | t | | | |
| クローラ式アースオーガ運転<br>オーガ出力　９０ｋW | 3.59 | 日 | | | 単第0-0033　表 |
| クローラクレーン運転<br>油圧駆動ウインチ・ラチスジブ型60～65t吊<br>排出ガス対策型1次基準 | 3.59 | 日 | | | 単第0-0034　表 |
| 機-18,24_バックホウ(クローラ型)運転<br>[標準型]B容量0.45m3<br>排出ガス対策型2次基準 | 3.59 | 日 | | | 単第0-0035　表 |
| アースオーガ運転（杭回転圧入用）<br>単軸式・電動式<br>単体 | 3.59 | 日 | | | 単第0-0036　表 |

# 施工単価表



杭打工　　V0004　　単第0 -0032　表

既製コンクリート杭（プレボーリング杭）　反応タンク：タイプ１　　10　本　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 雑材料 | 18 | % | | | #01 |
| ＊＊＊　合計　＊＊＊ | 10 | 本 | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 本 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



クローラ式アースオーガ運転　S9147　単第0 -0033　表

オーガ出力　９０ｋＷ　1　日　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 軽油<br>パトロール給油,2～4KL積載車給油 | 223.47 | L | | | |
| 運転手(特殊) | 1.00 | 人 | | | |
| クローラ式アースオーガ<br>単軸式・直結三点支持式_出力90kw<br>掘削径φ450～1200㎜リーダ21～27m | 1.45 | 供用日 | | | |
| 諸雑費 | 1 | 式 | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 日 | | | |
| A=3　オーガ出力　９０ｋＷ<br>C=1　運転労務数量（人／日） | | | B=223.47　軽油消費量（Ｌ／日）<br>D=1.45　機械損料数量（供用日／日） | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



クローラクレーン運転　V9002　単第0 -0034　表

油圧駆動ウインチ・ラチスジブ型60～65t吊　排出ガス対策型1次基準　1　日　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 運転手(特殊) | 1 | 人 | | | |
| 軽油<br>パトロール給油,2～4KL積載車給油 | 72 | L | | | |
| クローラクレーン<br>油圧駆動式ウインチラチスジブ型・排1<br>60～65t吊 | 1.33 | 供用日 | | | |
| 諸雑費 | 1 | 式 | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 日 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



機-18,24_バックホウ(クローラ型)運転　S9003　単第0 -0035　表

[標準型]B容量0.45m3　排出ガス対策型2次基準　1　日　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 運転手(特殊) | 1.00 | 人 | | | |
| 軽油<br>パトロール給油,2～4KL積載車給油 | 50.14 | L | | | |
| バックホウ(クローラ型)<br>標準型・排2<br>バケット容量0.45m3 | 1.50 | 供用日 | | | |
| 諸雑費 | 1 | 式 | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 日 | | | |
| A=3　[標準型]B容量0.45m3<br>C=0　労務単価の夜間等割増率<br>E=50.14　軽油消費量（L/日） | | | B=1<br>D=3　排出ガス対策型2次基準<br>F=1　運転労務数量（人/日） | | |
| G=1.5　機械損料数量（供用日/日） | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



アースオーガ運転（杭回転圧入用）　V9001　単第0 -0036　表

単軸式・電動式　単体　1　日　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| アースオーガ<br>単軸式・電動式<br>掘削径φ450～1000㎜　最大掘削長55m | 1.56 | 供用日 | | | |
| 諸雑費 | 1 | 式 | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 日 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



杭打工　　V0005　　単第0 -0037　表

既製コンクリート杭（プレボーリング杭）　反応タンク：タイプ２　　10　本　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | 3.62 | 人 | | | |
| 溶接工 | 3.62 | 人 | | | |
| 特殊作業員 | 3.62 | 人 | | | |
| とび工 | 3.62 | 人 | | | |
| 普通作業員 | 3.62 | 人 | | | |
| SC杭<br>φ800,SKK490,ts9,L=9m | 10 | 本 | | | |
| PHC杭<br>φ800,A種,L=9m | 10 | 本 | | | |
| セメント(バラ)<br>高炉B種 | 49 | t | | | |
| クローラ式アースオーガ運転<br>オーガ出力　９０ｋW | 3.62 | 日 | | | 単第0-0033　表 |
| クローラクレーン運転<br>油圧駆動ウインチ・ラチスジブ型60～65t吊<br>排出ガス対策型1次基準 | 3.62 | 日 | | | 単第0-0034　表 |
| 機-18,24_バックホウ(クローラ型)運転<br>[標準型]B容量0.45m3<br>排出ガス対策型2次基準 | 3.62 | 日 | | | 単第0-0035　表 |
| アースオーガ運転（杭回転圧入用）<br>単軸式・電動式<br>単体 | 3.62 | 日 | | | 単第0-0036　表 |

# 施工単価表



杭打工　　V0005　　単第0 -0037　表

既製コンクリート杭（プレボーリング杭）　反応タンク：タイプ２　　10　本　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 雑材料 | 18 | % | | | #01 |
| ＊＊＊　合計　＊＊＊ | 10 | 本 | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 本 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



杭頭補強工　　V0009　　単第0 -0038　表

既製コンクリート杭　　反応タンク　　1　本　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| コンクリート<br>無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB<br>コンクリートポンプ車打設 | 0.6 | m3 | | | 単第0-0039　表 |
| 型枠<br>一般型枠<br>鉄筋・無筋構造物 | 0.3 | m2 | | | 単第0-0040　表 |
| 鉄筋工　鉄筋加工<br>ＳＤ３４５・Ｄ１６～Ｄ２５ | 0.14 | t | | | 単第0-0041　表 |
| 鉄筋工　鉄筋組立（差筋および杭頭処理）<br>ＳＤ３４５・Ｄ１６～Ｄ２５ | 0.14 | t | | | 単第0-0042　表 |
| 鉄筋工　鉄筋加工<br>ＳＤ３４５・Ｄ１３ | 0.02 | t | | | 単第0-0043　表 |
| 鉄筋工　鉄筋組立（差筋および杭頭処理）<br>ＳＤ３４５・Ｄ１３ | 0.02 | t | | | 単第0-0044　表 |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 本 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



コンクリート　SPK26040157　単第0 -0039　表

無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB　コンクリートポンプ車打設　1　m3　当り

機械構成比: 3.83%　労務構成比: 13.43%　材料構成比: 82.74%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 27,970.00000

| 代表機労材規格(積算地区) | 構成比 | 単価(積算地区) | 代表機労材規格(東京地区) | 単価(東京地区) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| コンクリートポンプ車<br>トラック架装・ブーム式<br>圧送能力90～110m3/h | 3.80% | | コンクリートポンプ車<br>トラック架装・ブーム式<br>圧送能力90～110m3/h | | MTPC00050<br>MTPT00050 |
| その他(機械) | | | その他(機械) | | EK009 |
| 普通作業員 | 6.51% | | 普通作業員 | | RTPC00002<br>RTPT00002 |
| 特殊作業員 | 2.88% | | 特殊作業員 | | RTPC00001<br>RTPT00001 |
| 土木一般世話役 | 2.08% | | 土木一般世話役 | | RTPC00009<br>RTPT00009 |
| 運転手(特殊) | 1.83% | | 運転手(特殊) | | RTPC00006<br>RTPT00006 |
| その他(労務) | | | その他(労務) | | ER009 |
| レディーミクストコンクリート指定品<br>呼び強度24,スランプ12,粗骨材20(25)<br>W/C(55%),種別(高炉) | 81.92% | | 生コンクリート<br>高炉 24-12-25(20) W/C 55% | | TTPC00343<br>TTPT00343 |
| 軽油<br>パトロール給油,2～4KL積載車給油 | 0.82% | | 軽油パトロール給油 | | TTPC00013<br>TTPT00013 |

# 施工単価表



コンクリート　SPK26040157　単第0 -0039　表

無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB　コンクリートポンプ車打設　1　m3　当り

機械構成比: 3.83%　労務構成比: 13.43%　材料構成比: 82.74%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 27,970.00000

| 代表機労材規格(積算地区) | 構成比 | 単価(積算地区) | 代表機労材規格(東京地区) | 単価(東京地区) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 積算単価 | | | 積算単価 | | E9999 |
| A=1 無筋・鉄筋構造物<br>C=1 24-12-25(20)BB<br>F=1 養生工無し<br>J=1 - | | | B=1 コンクリートポンプ車打設<br>E=1 設計日打設量10m3以上100m3未満<br>G=1 圧送管延長距離延長無し<br>K=1 -(全ての費用) | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



型枠　SPK26040159　単第0 -0040　表

一般型枠　鉄筋・無筋構造物　1　m2　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 100.00%　材料構成比: 0.00%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 10,653.00000

| 代表機労材規格(積算地区) | 構成比 | 単価(積算地区) | 代表機労材規格(東京地区) | 単価(東京地区) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 型わく工 | 46.74% | | 型わく工 | | RTPC00010<br>RTPT00010 |
| 普通作業員 | 25.15% | | 普通作業員 | | RTPC00002<br>RTPT00002 |
| 土木一般世話役 | 9.42% | | 土木一般世話役 | | RTPC00009<br>RTPT00009 |
| その他(労務) | | | その他(労務) | | ER009 |
| 積算単価 | | | 積算単価 | | EP001 |
| A=1　一般型枠<br>C=1　-(全ての費用) | | | B=1　鉄筋・無筋構造物 | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



鉄筋工　鉄筋加工　S1040015　単第0 -0041　表

ＳＤ３４５・Ｄ１６～Ｄ２５　1　t　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | 0.100 | 人 | | | |
| 鉄筋工 | 1.700 | 人 | | | |
| 普通作業員 | 0.200 | 人 | | | |
| <作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型)<br>25t吊,オペレータ付<br>排1～3,2011,2014 | 0.040 | 日 | | | |
| 異形棒鋼<JISG3112><br>SD345,D16～25 | 1.030 | t | | | 1*1.03 |
| 諸雑費 | 12 | % | | | #09 |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | t | | | |
| A=1　加工 | | | C=6　ＳＤ３４５・Ｄ１６～Ｄ２５ | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



鉄筋工　鉄筋組立（差筋および杭頭処理）　S1040015　単第0 -0042　表

ＳＤ３４５・Ｄ１６～Ｄ２５　1　t　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | 0.400 | 人 | | | |
| 鉄筋工 | 2.800 | 人 | | | |
| 普通作業員 | 0.200 | 人 | | | |
| 諸雑費 | 2 | % | | | #09 |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | t | | | |
| A=2　組立<br>C=6　ＳＤ３４５・Ｄ１６～Ｄ２５ | | | B=5　差筋および杭頭処理 | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



鉄筋工　鉄筋加工　S1040015　単第0 -0043　表

ＳＤ３４５・Ｄ１３　1　t　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | 0.200 | 人 | | | |
| 鉄筋工 | 2.300 | 人 | | | |
| 普通作業員 | 0.200 | 人 | | | |
| <作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型)<br>25t吊,オペレータ付<br>排1～3,2011,2014 | 0.040 | 日 | | | |
| 異形棒鋼<JISG3112><br>SD345,D13<br>単位質量0.995kg/m | 1.030 | t | | | 1*1.03 |
| 諸雑費 | 12 | % | | | #09 |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | t | | | |
| A=1　加工 | | | C=5　ＳＤ３４５・Ｄ１３ | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



鉄筋工　鉄筋組立（差筋および杭頭処理）　S1040015　単第0 -0044　表

ＳＤ３４５・Ｄ１３　1　t　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | 0.500 | 人 | | | |
| 鉄筋工 | 3.300 | 人 | | | |
| 普通作業員 | 0.300 | 人 | | | |
| 諸雑費 | 2 | % | | | #09 |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | t | | | |
| A=2　組立<br>C=5　ＳＤ３４５・Ｄ１３ | | | B=5　差筋および杭頭処理 | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



コンクリート　SPK26040157　単第0 -0045　表

無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB　コンクリートポンプ車打設　1　m3　当り

機械構成比: 3.70%　労務構成比: 16.47%　材料構成比: 79.83%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 28,992.00000

| 代表機労材規格(積算地区) | 構成比 | 単価(積算地区) | 代表機労材規格(東京地区) | 単価(東京地区) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| コンクリートポンプ車<br>トラック架装・ブーム式<br>圧送能力90～110m3/h | 3.67% | | コンクリートポンプ車<br>トラック架装・ブーム式<br>圧送能力90～110m3/h | | MTPC00050<br>MTPT00050 |
| その他(機械) | | | その他(機械) | | EK009 |
| 普通作業員 | 8.59% | | 普通作業員 | | RTPC00002<br>RTPT00002 |
| 土木一般世話役 | 2.90% | | 土木一般世話役 | | RTPC00009<br>RTPT00009 |
| 特殊作業員 | 2.78% | | 特殊作業員 | | RTPC00001<br>RTPT00001 |
| 運転手(特殊) | 1.76% | | 運転手(特殊) | | RTPC00006<br>RTPT00006 |
| その他(労務) | | | その他(労務) | | ER009 |
| レディーミクストコンクリート指定品<br>呼び強度24,スランプ12,粗骨材20(25)<br>W/C(55%),種別(高炉) | 79.04% | | 生コンクリート<br>高炉 24-12-25(20) W/C 55% | | TTPC00343<br>TTPT00343 |
| 軽油<br>パトロール給油,2～4KL積載車給油 | 0.79% | | 軽油パトロール給油 | | TTPC00013<br>TTPT00013 |

# 施工単価表



コンクリート　SPK26040157　単第0 -0045　表

無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB　コンクリートポンプ車打設　1　m3　当り

機械構成比: 3.70%　労務構成比: 16.47%　材料構成比: 79.83%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 28,992.00000

| 代表機労材規格(積算地区) | 構成比 | 単価(積算地区) | 代表機労材規格(東京地区) | 単価(東京地区) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 積算単価 | | | 積算単価 | | E9999 |
| A=1 無筋・鉄筋構造物<br>C=1 24-12-25(20)BB<br>F=2 一般養生<br>J=1 - | | | B=1 コンクリートポンプ車打設<br>E=1 設計日打設量10m3以上100m3未満<br>G=1 圧送管延長距離延長無し<br>K=1 -(全ての費用) | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



コンクリート　SPK26040157　単第0 -0046　表

無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB　コンクリートポンプ車打設　1　m3　当り

機械構成比: 3.70%　労務構成比: 16.47%　材料構成比: 79.83%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 28,992.00000

| 代表機労材規格(積算地区) | 構成比 | 単価(積算地区) | 代表機労材規格(東京地区) | 単価(東京地区) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| コンクリートポンプ車<br>トラック架装・ブーム式<br>圧送能力90～110m3/h | 3.67% | | コンクリートポンプ車<br>トラック架装・ブーム式<br>圧送能力90～110m3/h | | MTPC00050<br>MTPT00050 |
| その他(機械) | | | その他(機械) | | EK009 |
| 普通作業員 | 8.59% | | 普通作業員 | | RTPC00002<br>RTPT00002 |
| 土木一般世話役 | 2.90% | | 土木一般世話役 | | RTPC00009<br>RTPT00009 |
| 特殊作業員 | 2.78% | | 特殊作業員 | | RTPC00001<br>RTPT00001 |
| 運転手(特殊) | 1.76% | | 運転手(特殊) | | RTPC00006<br>RTPT00006 |
| その他(労務) | | | その他(労務) | | ER009 |
| レディーミクストコンクリート指定品<br>呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25)<br>W/C(60%),種別(高炉) | 79.04% | | 生コンクリート<br>高炉 24-12-25(20) W/C 55% | | TTPC00003<br>TTPT00343 |
| 軽油<br>パトロール給油,2～4KL積載車給油 | 0.79% | | 軽油パトロール給油 | | TTPC00013<br>TTPT00013 |

# 施工単価表



コンクリート　SPK26040157　単第0 -0046　表

無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB　コンクリートポンプ車打設　1　m3　当り

機械構成比: 3.70%　労務構成比: 16.47%　材料構成比: 79.83%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 28,992.00000

| 代表機労材規格(積算地区) | 構成比 | 単価(積算地区) | 代表機労材規格(東京地区) | 単価(東京地区) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 積算単価 | | | 積算単価 | | E9999 |
| A=1 無筋・鉄筋構造物<br>C=3 18-8-25(20)BB<br>F=2 一般養生<br>J=1 - | | | B=1 コンクリートポンプ車打設<br>E=1 設計日打設量10m3以上100m3未満<br>G=1 圧送管延長距離延長無し<br>K=1 -(全ての費用) | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



鉄筋工　鉄筋組立（一般構造物）　S1040015　単第0 -0047　表

ＳＤ３４５・Ｄ１３　1　t　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | 0.500 | 人 | | | |
| 鉄筋工 | 3.500 | 人 | | | |
| 普通作業員 | 0.300 | 人 | | | |
| <作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型)<br>25t吊,オペレータ付<br>排1～3,2011,2014 | 0.110 | 日 | | | |
| 諸雑費 | 8 | % | | | #09 |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | t | | | |
| A=2　組立<br>C=5　ＳＤ３４５・Ｄ１３ | | | B=1　一般構造物 | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



鉄筋工　鉄筋組立（一般構造物）　S1040015　単第0 -0048　表

ＳＤ３４５・Ｄ１６～Ｄ２５　1　t　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | 0.400 | 人 | | | |
| 鉄筋工 | 2.900 | 人 | | | |
| 普通作業員 | 0.200 | 人 | | | |
| <作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型)<br>25t吊,オペレータ付<br>排1～3,2011,2014 | 0.110 | 日 | | | |
| 諸雑費 | 8 | % | | | #09 |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | t | | | |
| A=2　組立<br>C=6　ＳＤ３４５・Ｄ１６～Ｄ２５ | | | B=1　一般構造物 | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



鉄筋工　鉄筋加工　S1040015　単第0 -0049　表

ＳＤ３４５・Ｄ２９～Ｄ３２　1　t　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | 0.100 | 人 | | | |
| 鉄筋工 | 1.200 | 人 | | | |
| 普通作業員 | 0.100 | 人 | | | |
| <作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型)<br>25t吊,オペレータ付<br>排1～3,2011,2014 | 0.040 | 日 | | | |
| 異形棒鋼<JISG3112><br>SD345,D29～32 | 1.030 | t | | | 1*1.03 |
| 諸雑費 | 12 | % | | | #09 |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | t | | | |
| A=1　加工 | | | C=7　ＳＤ３４５・Ｄ２９～Ｄ３２ | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



鉄筋工　鉄筋組立（一般構造物）　S1040015　単第0 -0050　表

ＳＤ３４５・Ｄ２９～Ｄ３２　1　t　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | 0.300 | 人 | | | |
| 鉄筋工 | 2.100 | 人 | | | |
| 普通作業員 | 0.200 | 人 | | | |
| <作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型)<br>25t吊,オペレータ付<br>排1～3,2011,2014 | 0.110 | 日 | | | |
| 諸雑費 | 8 | % | | | #09 |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | t | | | |
| A=2　組立<br>C=7　ＳＤ３４５・Ｄ２９～Ｄ３２ | | | B=1　一般構造物 | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



鉄筋工　ガス圧接継手　S1040017　単第0 -0051　表

Ｄ２２＋Ｄ２２　100　箇所　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | 0.200 | 人 | | | |
| 鉄筋工 | 0.500 | 人 | | | |
| 溶接工 | 1.200 | 人 | | | |
| 普通作業員 | 0.400 | 人 | | | |
| 溶解アセチレン | 5.000 | kg | | | |
| 酸素<br>圧縮,純度99.6%以上<br>ボンベ | 5.000 | m3 | | | |
| 諸雑費 | 8 | % | | | #09 |
| ＊＊＊　合計　＊＊＊ | 100 | 箇所 | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 箇所 | | | |
| A=1　ガス圧接 | | | B=4　Ｄ２２－Ｄ２２ | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



鉄筋工　ガス圧接継手　S1040017　単第0 -0052　表

Ｄ２５＋Ｄ２５　100　箇所　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | 0.200 | 人 | | | |
| 鉄筋工 | 0.500 | 人 | | | |
| 溶接工 | 1.200 | 人 | | | |
| 普通作業員 | 0.400 | 人 | | | |
| 溶解アセチレン | 5.000 | kg | | | |
| 酸素<br>圧縮,純度99.6%以上<br>ボンベ | 5.000 | m3 | | | |
| 諸雑費 | 8 | % | | | #09 |
| ＊＊＊　合計　＊＊＊ | 100 | 箇所 | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 箇所 | | | |
| A=1　ガス圧接 | | | B=5　Ｄ２５＋Ｄ２５ | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



鉄筋工　ガス圧接継手　S1040017　単第0 -0053　表

Ｄ２９＋Ｄ２９　100　箇所　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | 0.500 | 人 | | | |
| 鉄筋工 | 1.300 | 人 | | | |
| 溶接工 | 2.900 | 人 | | | |
| 普通作業員 | 1.000 | 人 | | | |
| 溶解アセチレン | 6.500 | kg | | | |
| 酸素<br>圧縮,純度99.6%以上<br>ボンベ | 6.500 | m3 | | | |
| 諸雑費 | 8 | % | | | #09 |
| ＊＊＊　合計　＊＊＊ | 100 | 箇所 | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 箇所 | | | |
| A=1　ガス圧接 | | | B=6　Ｄ２９＋Ｄ２９ | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



手摺先行型枠組・単管・単管傾斜足場　S0380　単第0 -0054　表

手摺先行型枠組足場　100　掛m2　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | 1.600 | 人 | | | |
| とび工 | 7.000 | 人 | | | |
| 普通作業員 | 1.300 | 人 | | | |
| <作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型)<br>25t吊,オペレータ付<br>排1～3,2011,2014 | 1.400 | 日 | | | |
| 諸雑費 | 34 | % | | | #09 |
| ＊＊＊　合計　＊＊＊ | 100 | 掛m2 | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 掛m2 | | | |
| A=1　手摺先行型枠組足場<br>C=0　潮待割増 | | | B=1　安全ネットを設置しない | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



支保工　S0370　単第0 -0055　表

くさび結合支保　f<=40(t<=120)　100　空m3　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | 1.400 | 人 | | | |
| 型わく工 | 1.300 | 人 | | | |
| とび工 | 3.300 | 人 | | | |
| 普通作業員 | 3.300 | 人 | | | |
| <作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型)<br>25t吊,オペレータ付<br>排1～3,2011,2014 | 0.500 | 日 | | | |
| 諸雑費 | 33 | % | | | #09 |
| ＊＊＊　合計　＊＊＊ | 100 | 空m3 | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 空m3 | | | |
| A=2　くさび結合支保 | | | B=1　f<=40(t<=120) | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



目地板　SPK26040118　単第0 -0056　表

1工事当り使用量30m2以上　目地板(各種)　1　m2　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 66.58%　材料構成比: 33.42%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 4,150.80000

| 代表機労材規格(積算地区) | 構成比 | 単価(積算地区) | 代表機労材規格(東京地区) | 単価(東京地区) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 普通作業員 | 49.08% | | 普通作業員 | | RTPC00002<br>RTPT00002 |
| 土木一般世話役 | 17.17% | | 土木一般世話役 | | RTPC00009<br>RTPT00009 |
| その他(労務) | | | その他(労務) | | ER009 |
| 瀝青繊維質目地板<br>t=40mm | 33.42% | | 瀝青繊維質目地板<br>厚さ10mm | | F0000000002<br>TTPT00199 |
| 積算単価 | | | 積算単価 | | EP001 |
| A=2　1工事当り使用量30m2以上<br>C=2　【F】目地板(m2) | | | B=11　目地板(各種) | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



伸縮可とう継手設置工　V0013　単第0 -0057　表

10　m　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | 4 | 人 | | | |
| 特殊作業員 | 8 | 人 | | | |
| 普通作業員 | 6 | 人 | | | |
| 溶接工 | 2 | 人 | | | |
| ＊＊＊　合計　＊＊＊ | 10 | m | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | m | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



ひび割れ誘発目地工　　V0018　　単第0 -0058　表

断面欠損率50%以上　壁厚500mm用　　1　m　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 普通作業員 | 0.24 | 人 | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | m | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



コンクリート蓋設置工　V0014　単第0 -0059　表

RC-1、開口寸法L500*W4800用　1　箇所　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| コンクリート蓋（SUS取手付）<br>600*305*50　軽荷重用 | 14 | 枚 | | | |
| Co蓋受枠（SUS製）<br>開口寸法L500*W4800 | 1 | 組 | | | |
| 蓋版<br>材料別途 40<重量≦170 | 14 | 枚 | | | 単第0-0060　表 |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 箇所 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



蓋版　　SDT00017　　単第0 -0060　表

材料別途 40<重量≦170　　1　枚　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 昼間_蓋版【手間のみ】<br>コンクリート・鋼製_40を超え170kg/枚以下<br>時間的制約なし | 1.000 | 枚 | | | |
| 諸雑費 | 1 | 式 | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 枚 | | | |
| A=1　昼間施工<br>E=2　40<重量≦170<br>G=1　- | | | B=10　材料別途<br>F=1　時間的制約なし | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



コンクリート蓋設置工　V0015　単第0 -0061　表

RC-2、開口寸法L500*W4800用　1　箇所　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| コンクリート蓋（SUS取手付）<br>600*305*50　軽荷重用 | 16 | 枚 | | | |
| Co蓋受枠（SUS製）<br>開口寸法L500*W4800 | 1 | 組 | | | |
| 蓋版<br>材料別途 40<重量≦170 | 16 | 枚 | | | 単第0-0060　表 |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 箇所 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



コンクリート蓋設置工　V0016　単第0 -0062　表

RC-3、開口寸法L500*W1150用　1　箇所　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| コンクリート蓋（SUS取手付）<br>600*305*50　軽荷重用 | 4 | 枚 | | | |
| Co蓋受枠（SUS製）<br>開口寸法L500*W1150 | 1 | 組 | | | |
| 蓋版<br>材料別途 40≧重量 | 4 | 枚 | | | 単第0-0063　表 |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 箇所 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



蓋版　　SDT00017　　単第0 -0063　表

材料別途 40≧重量　　1　枚　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 昼間_蓋版【手間のみ】<br>コンクリート・鋼製_40kg/枚以下<br>時間的制約なし | 1.000 | 枚 | | | |
| 諸雑費 | 1 | 式 | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 枚 | | | |
| A=1　昼間施工<br>E=1　40≧重量<br>G=1　- | | | B=10　材料別途<br>F=1　時間的制約なし | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



FRP蓋設置工　V0017　単第0 -0064　表

FRP-1、開口寸法L800*W600用　1　箇所　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| FRP蓋（SUS取手付）<br>FRP-1　866*666*30　軽荷重用<br>表面ノンスリップ処理 | 1 | 枚 | | | |
| FRP蓋受枠（SUS製）<br>FRP-1　開口寸法L800*W600 | 1 | 組 | | | |
| 蓋版<br>材料別途 40≧重量 | 1 | 枚 | | | 単第0-0063　表 |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 箇所 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



FRP蓋設置工　　V0019　　単第0 -0065　表

FRP-2、開口寸法L900*800用　　1　　箇所　　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| FRP蓋（SUS取手付）<br>FRP-2　984*884*35　軽荷重用<br>表面ノンスリップ処理 | 1 | 枚 | | | |
| FRP蓋受枠（SUS製）<br>FRP-2　開口寸法L900*W800 | 1 | 組 | | | |
| 蓋版<br>材料別途 40≧重量 | 1 | 枚 | | | 単第0-0063　表 |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 箇所 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



FRP蓋設置工　　V0020　　単第0 -0066　表

FRP-3、開口寸法L500*W500用　　1　箇所　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| FRP蓋（SUS取手付）<br>FRP-3　566*566*30　軽荷重用<br>表面ノンスリップ処理 | 1 | 枚 | | | |
| FRP蓋受枠（SUS製）<br>FRP-3　開口寸法L500*W500 | 1 | 組 | | | |
| 蓋版<br>材料別途 40≧重量 | 1 | 枚 | | | 単第0-0063　表 |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 箇所 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



FRP蓋設置工　V0021　単第0 -0067　表

FRP-4、開口寸法L400*W400用　1　箇所　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| FRP蓋（SUS取手付）<br>FRP-4　466*466*30　軽荷重用<br>表面ノンスリップ処理 | 1 | 枚 | | | |
| FRP蓋受枠（SUS製）<br>FRP-4　開口寸法L400*W400 | 1 | 組 | | | |
| 蓋版<br>材料別途 40≧重量 | 1 | 枚 | | | 単第0-0063　表 |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 箇所 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



FRP蓋設置工　V0022　単第0 -0068　表

FRP-5、開口寸法L1620*W1620用　1　箇所　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| FRP蓋（SUS取手付）<br>FRP-5　1752*1752*75　軽荷重用<br>表面ノンスリップ処理 | 1 | 枚 | | | |
| FRP蓋受枠（SUS製）<br>FRP-5　開口寸法L1620*W1620 | 1 | 組 | | | |
| 蓋版<br>材料別途 40<重量≦170 | 1 | 枚 | | | 単第0-0060　表 |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 箇所 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



FRP蓋設置工　V0023　単第0 -0069　表

FRP-6、開口寸法L600*W600用　1　箇所　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| FRP蓋（SUS取手付）<br>FRP-6　666*666*30　軽荷重用<br>表面ノンスリップ処理 | 1 | 枚 | | | |
| FRP蓋受枠（SUS製）<br>FRP-6　開口寸法L600*W600 | 1 | 組 | | | |
| 蓋版<br>材料別途 40≧重量 | 1 | 枚 | | | 単第0-0063　表 |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 箇所 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



FRP蓋設置工　　V0024　　単第0 -0070　表

FRP-7、開口寸法L2500*W1000用　　1　箇所　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| FRP蓋（SUS取手付）<br>FRP-7　2632*1132*75（2分割）　軽荷重用<br>表面ノンスリップ処理 | 1 | 組 | | | |
| FRP蓋受枠（SUS製）<br>FRP-7　開口寸法L2500*W1000 | 1 | 組 | | | |
| 蓋版<br>材料別途 40<重量≦170 | 1 | 枚 | | | 単第0-0060　表 |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 箇所 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



FRP蓋設置工　　V0025　　単第0 -0071　表

FRP-8、開口寸法L600*W500用　　受枠RC-1と兼用　　1　　箇所　　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| FRP蓋（SUS取手付）<br>FRP-8　600*600*50　軽荷重用<br>表面ノンスリップ処理 | 1 | 枚 | | | |
| 蓋版<br>材料別途 40≧重量 | 1 | 枚 | | | 単第0-0063　表 |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 箇所 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



FRPマンホール蓋設置工　V0026　単第0 -0072　表

M-1、開口φ600用　受枠共　1　箇所　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| FRPマンホール蓋<br>M-1　φ600用　軽荷重用<br>ロック機能なし　受枠共 | 1 | 枚 | | | |
| 蓋版<br>材料別途 40≧重量 | 1 | 枚 | | | 単第0-0063　表 |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 箇所 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



小型角落し　　V0028　　単第0 -0073　表

K-1、水路寸法500*1610用　　1　　箇所　　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| SUS角落し<br>K-1　SUS304　550*1300*3<br>引上金物付 | 1 | 箇所 | | | |
| SUS角落し受枠<br>K-1用　SUS304 | 1 | 箇所 | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 箇所 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



小型角落し設置工　　V0054　　単第0 -0074　表

K-1 水路寸法500*1610用　　1　　箇所　　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 設備機械工 | 0.14 | 人 | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 箇所 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



合成木材角落し　　V0030　　単第0 -0075　表

FK-1、水路寸法800*1800用　　1　　箇所　　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 合成木材角落し<br>ガラス長繊維強化硬質発泡ウレタン<br>W960*H500*49　SUS取手付 | 1 | 箇所 | | | |
| 合成木材角落し受枠<br>FK-1用　SUS304<br>水路寸法800*1800用 | 1 | 箇所 | | | |
| 浮力防止用クサビ<br>合成木材角落し用<br>角落し呼称140㎜以下用 | 2 | 個 | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 箇所 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



合成木材角落し設置工　V0056　単第0 -0076　表

FK-1,水路寸法800*1800用　1　箇所　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 設備機械工 | 0.75 | 人 | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 箇所 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



足掛金物設置工　　V0058　　単第0 -0077　表

W=300　　1　個　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 設備機械工 | 0.01 | 人 | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 個 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



落込み取手設置工　　V0059　　単第0 -0078　表

W=300　　1　個　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 設備機械工 | 0.02 | 人 | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 個 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



アルミ製手すり設置工　　V0032　　単第0 -0079　表

H=1100　ベースポストタイプ　　1　m　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| アルミ製手すり<br>HR-1　H=1100　ベースポストタイプ<br>日本下水道事業団仕様 | 1 | m | | | |
| 手すり設置工<br>H=1100　アルミ製 | 1 | m | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | m | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



止水板　　SPK26040119　　単第0 -0080　表

止水板(各種)　　1　m　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 57.14%　材料構成比: 42.86%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 3,045.40000

| 代表機労材規格(積算地区) | 構成比 | 単価(積算地区) | 代表機労材規格(東京地区) | 単価(東京地区) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 普通作業員 | 42.25% | | 普通作業員 | | RTPC00002<br>RTPT00002 |
| 土木一般世話役 | 14.89% | | 土木一般世話役 | | RTPC00009<br>RTPT00009 |
| 止水板<br>塩ビ製　センターバルブ形フラット<br>幅300、厚7mm | 42.86% | | 塩ビ製止水板<br>CF 幅200×厚さ5mm | | F0000000005<br>TTPT00198 |
| 積算単価 | | | 積算単価 | | EP001 |
| A=9　止水板(各種) | | | B=5　【F】止水板(m) | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



後付け式ゴム止水板設置工　V0034　単第0 -0081　表

L型止水板　10　m　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | 2 | 人 | | | |
| 特殊作業員 | 2 | 人 | | | |
| 普通作業員 | 8 | 人 | | | |
| ＊＊＊　合計　＊＊＊ | 10 | m | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | m | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



配管据付工　　V0050　　単第0 -0082　表

ステンレス鋼管φ200　　屋外配管　　1　m　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 配管工 | 1.20 | 人 | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | m | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



コンクリート切断工　V0035　単第0 -0083　表

ワイヤーソーイング工　反応タンク　壁厚400mm　1　箇所　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| ワイヤーソーイング工<br>高配筋 | 9 | m2 | | | |
| コンクリート削孔(コンクリート穿孔機)<br>削孔径60mm以上64mm未満<br>削孔深さ400mm以上600mm未満 | 4 | 孔 | | | 単第0-0084　表 |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 箇所 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



コンクリート削孔(コンクリート穿孔機)　SPK26040116　単第0 -0084　表

削孔径60㎜以上64㎜未満　削孔深さ400㎜以上600㎜未満　1　孔　当り

機械構成比: 3.50%　労務構成比: 73.79%　材料構成比: 22.71%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 7,434.00000

| 代表機労材規格(積算地区) | 構成比 | 単価(積算地区) | 代表機労材規格(東京地区) | 単価(東京地区) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| コンクリート穿孔機<br>電動式コアボーリングマシン<br>[簡易仕様型]最大穿孔径φ250㎜ | 1.90% | | コンクリート穿孔機<br>電動式コアボーリングマシン<br>〔簡易仕様型〕 最大穿孔径φ250㎜ | | MTPC00093<br>MTPT00093 |
| <賃>発動発電機(ガソリン発電機)<br>定格容量3kVA<br>低騒音 | 1.09% | | 発動発電機<br>ガソリンエンジン駆動<br>3kVA | | KTPC00042<br>KTPT00042 |
| その他(機械) | | | その他(機械) | | EK009 |
| 特殊作業員 | 45.09% | | 特殊作業員 | | RTPC00001<br>RTPT00001 |
| 普通作業員 | 11.89% | | 普通作業員 | | RTPC00002<br>RTPT00002 |
| 土木一般世話役 | 6.10% | | 土木一般世話役 | | RTPC00009<br>RTPT00009 |
| その他(労務) | | | その他(労務) | | ER009 |
| ダイヤモンドビット<br>外径64.7㎜,一般用<br>コンクリート削孔用 | 18.86% | | ダイヤモンドビット<br>φ64.7㎜ | | TTPC00232<br>TTPT00232 |
| ガソリン,レギュラー<br>スタンド渡し,スタンド給油 | 3.29% | | ガソリンレギュラースタンド | | TTPC00014<br>TTPT00014 |

# 施工単価表



コンクリート削孔(コンクリート穿孔機)　SPK26040116　単第0 -0084　表

削孔径60㎜以上64㎜未満　削孔深さ400㎜以上600㎜未満　1　孔　当り

機械構成比: 3.50%　労務構成比: 73.79%　材料構成比: 22.71%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 7,434.00000

| 代表機労材規格(積算地区) | 構成比 | 単価(積算地区) | 代表機労材規格(東京地区) | 単価(東京地区) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| その他(材料) | | | その他(材料) | | EZ009 |
| 積算単価 | | | 積算単価 | | EP001 |
| A=1　削孔径60㎜以上64㎜未満 | | | B=3　削孔深さ400㎜以上600㎜未満 | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



コンクリート切断工　　V0036　　単第0 -0085　表

ワイヤーソーイング工　　反応タンク　壁厚500mm　　1　　箇所　　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| ワイヤーソーイング工<br>高配筋 | 2 | m2 | | | |
| コンクリート削孔(コンクリート穿孔機)<br>削孔径60mm以上64mm未満<br>削孔深さ400mm以上600mm未満 | 4 | 孔 | | | 単第0-0084　表 |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 箇所 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



構造物とりこわし工(鉄筋構造物)　SDT00033　単第0 -0086　表

機械施工(大型ブレーカまたは、Co圧砕機)　1　m3　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 昼間_鉄筋構造物【手間のみ】<br>機械施工<br>時間的制約なし | 1.000 | m3 | | | |
| 諸雑費 | 1 | 式 | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | m3 | | | |
| A=1　昼間施工<br>C=2　低騒音・低振動対策 | | | B=1　機械施工(大型ブレーカまたは、Co圧砕機)<br>D=1　時間的制約なし | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



構造物とりこわし工(無筋構造物)　SDT00031　単第0 -0087　表

人力施工(コンクリートブレーカ)　1　m3　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 昼間_無筋構造物【手間のみ】<br>人力施工<br>時間的制約なし | 1.000 | m3 | | | |
| 諸雑費 | 1 | 式 | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | m3 | | | |
| A=1　昼間施工<br>D=1　時間的制約なし | | | B=2　人力施工(コンクリートブレーカ) | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



殻運搬　SPK26040155　単第0 -0088　表

Co(鉄筋)構造物とりこわし　DID区間有り　運搬距離5.7km以下(3.3km超)　1　m3　当り

機械構成比: 39.03%　労務構成比: 46.18%　材料構成比: 14.79%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 1,980.40000

| 代表機労材規格(積算地区) | 構成比 | 単価(積算地区) | 代表機労材規格(東京地区) | 単価(東京地区) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]<br>10t積級<br>通称10t積級 | 39.03% | | ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]<br>通称10t積級<br>(タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む) | | MTPC00018T1<br>MTPT00018T1 |
| 運転手(一般) | 46.18% | | 運転手(一般) | | RTPC00007<br>RTPT00007 |
| 軽油<br>パトロール給油,2～4KL積載車給油 | 14.79% | | 軽油パトロール給油 | | TTPC00013<br>TTPT00013 |
| 積算単価 | | | 積算単価 | | EP001 |
| A=2　Co(鉄筋)構造物とりこわし<br>C=2　DID区間有り<br>E=1　-(全ての費用) | | | B=1　機械積込<br>D=25　運搬距離5.7km以下(3.3km超) | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



殻運搬　SPK26040155　単第0 -0089　表

Co(無筋)構造物とりこわし　DID区間有り　運搬距離5.7km以下(3.3km超)　1　m3　当り

機械構成比: 39.03%　労務構成比: 46.18%　材料構成比: 14.79%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 1,595.40000

| 代表機労材規格(積算地区) | 構成比 | 単価(積算地区) | 代表機労材規格(東京地区) | 単価(東京地区) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]<br>10t積級<br>通称10t積級 | 39.03% | | ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]<br>通称10t積級<br>(タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む) | | MTPC00018T1<br>MTPT00018T1 |
| 運転手(一般) | 46.18% | | 運転手(一般) | | RTPC00007<br>RTPT00007 |
| 軽油<br>パトロール給油,2～4KL積載車給油 | 14.79% | | 軽油パトロール給油 | | TTPC00013<br>TTPT00013 |
| 積算単価 | | | 積算単価 | | EP001 |
| A=1　Co(無筋)構造物とりこわし<br>C=2　DID区間有り<br>E=1　-(全ての費用) | | | B=1　機械積込<br>D=25　運搬距離5.7km以下(3.3km超) | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



現場発生品及び支給品運搬　SPK26040410　単第0 -0090　表

クレーン装置付 通称4～4.5t積2.9t吊　片道運搬距離5.0km以下(3.0km超)　1　t　当り

機械構成比: 16.52%　労務構成比: 79.59%　材料構成比: 3.89%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 3,036.20000

| 代表機労材規格(積算地区) | 構成比 | 単価(積算地区) | 代表機労材規格(東京地区) | 単価(東京地区) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| トラック<br>クレーン装置付<br>通称4～4.5t積級吊能力2.9t | 16.52% | | トラック<br>クレーン装置付<br>通称4～4.5t積級 吊能力2.9t | | MTPC00021<br>MTPT00021 |
| 運転手(特殊) | 40.20% | | 運転手(特殊) | | RTPC00006<br>RTPT00006 |
| 特殊作業員 | 39.39% | | 特殊作業員 | | RTPC00001<br>RTPT00001 |
| 軽油<br>パトロール給油,2～4KL積載車給油 | 3.89% | | 軽油パトロール給油 | | TTPC00013<br>TTPT00013 |
| 積算単価 | | | 積算単価 | | EP001 |
| A=2　クレーン装置付 通称4～4.5t積2.9t吊<br>C=5　片道運搬距離5.0km以下(3.0km超) | | | B=2　DID区間有り | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



杭打工　　V0006　　単第0 -0091　表

既製コンクリート杭（プレボーリング杭）　最終沈殿池：タイプａ　　10　本　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | 3.26 | 人 | | | |
| 溶接工 | 3.26 | 人 | | | |
| 特殊作業員 | 3.26 | 人 | | | |
| とび工 | 3.26 | 人 | | | |
| 普通作業員 | 3.26 | 人 | | | |
| SC杭<br>φ700,SKK490,ts19,L=8m | 10 | 本 | | | |
| PHC杭<br>φ700,A種,L=6m | 10 | 本 | | | |
| セメント(バラ)<br>高炉B種 | 31 | t | | | |
| クローラ式アースオーガ運転<br>オーガ出力　９０ｋＷ | 3.26 | 日 | | | 単第0-0033　表 |
| クローラクレーン運転<br>油圧駆動ウインチ・ラチスジブ型60～65t吊<br>排出ガス対策型1次基準 | 3.26 | 日 | | | 単第0-0034　表 |
| 機-18,24_バックホウ(クローラ型)運転<br>[標準型]B容量0.45m3<br>排出ガス対策型2次基準 | 3.26 | 日 | | | 単第0-0035　表 |
| アースオーガ運転（杭回転圧入用）<br>単軸式・電動式<br>単体 | 3.26 | 日 | | | 単第0-0036　表 |

# 施工単価表



杭打工　　V0006　　単第0 -0091　表

既製コンクリート杭（プレボーリング杭）　最終沈殿池：タイプａ　　10　本　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 雑材料 | 18 | % | | | #01 |
| ＊＊＊　合計　＊＊＊ | 10 | 本 | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 本 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



杭打工　　V0007　　単第0 -0092　表

既製コンクリート杭（プレボーリング杭）　最終沈殿池：タイプb　　10　本　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | 3.2 | 人 | | | |
| 溶接工 | 3.2 | 人 | | | |
| 特殊作業員 | 3.2 | 人 | | | |
| とび工 | 3.2 | 人 | | | |
| 普通作業員 | 3.2 | 人 | | | |
| SC杭<br>φ700,SKK490,ts12,L=8m | 10 | 本 | | | |
| PHC杭<br>φ700,A種,L=7m | 10 | 本 | | | |
| セメント(バラ)<br>高炉B種 | 33 | t | | | |
| クローラ式アースオーガ運転<br>オーガ出力　９０ｋＷ | 3.2 | 日 | | | 単第0-0033　表 |
| クローラクレーン運転<br>油圧駆動ウインチ・ラチスジブ型60～65t吊<br>排出ガス対策型1次基準 | 3.2 | 日 | | | 単第0-0034　表 |
| 機-18,24_バックホウ(クローラ型)運転<br>[標準型]B容量0.45m3<br>排出ガス対策型2次基準 | 3.2 | 日 | | | 単第0-0035　表 |
| アースオーガ運転（杭回転圧入用）<br>単軸式・電動式<br>単体 | 3.2 | 日 | | | 単第0-0036　表 |

# 施工単価表



杭打工　　V0007　　単第0 -0092　表

既製コンクリート杭（プレボーリング杭）　最終沈殿池：タイプb　　10　本　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 雑材料 | 18 | % | | | #01 |
| ＊＊＊　合計　＊＊＊ | 10 | 本 | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 本 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



杭打工　　V0008　　単第0 -0093　表

既製コンクリート杭（プレボーリング杭）　最終沈殿池：タイプｃ　　10　本　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | 3.17 | 人 | | | |
| 溶接工 | 3.17 | 人 | | | |
| 特殊作業員 | 3.17 | 人 | | | |
| とび工 | 3.17 | 人 | | | |
| 普通作業員 | 3.17 | 人 | | | |
| SC杭<br>φ700,SKK490,ts9,L=8m | 10 | 本 | | | |
| PHC杭<br>φ700,B種,L=9m | 10 | 本 | | | |
| セメント(バラ)<br>高炉B種 | 36 | t | | | |
| クローラ式アースオーガ運転<br>オーガ出力　９０ｋW | 3.17 | 日 | | | 単第0-0033　表 |
| クローラクレーン運転<br>油圧駆動ウインチ・ラチスジブ型60～65t吊<br>排出ガス対策型1次基準 | 3.17 | 日 | | | 単第0-0034　表 |
| 機-18,24_バックホウ(クローラ型)運転<br>[標準型]B容量0.45m3<br>排出ガス対策型2次基準 | 3.17 | 日 | | | 単第0-0035　表 |
| アースオーガ運転（杭回転圧入用）<br>単軸式・電動式<br>単体 | 3.17 | 日 | | | 単第0-0036　表 |

# 施工単価表



杭打工　　V0008　　単第0 -0093　表

既製コンクリート杭（プレボーリング杭）　最終沈殿池：タイプｃ　　10　本　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 雑材料 | 18 | % | | | #01 |
| ＊＊＊　合計　＊＊＊ | 10 | 本 | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 本 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



杭頭補強工　　V0010　　単第0 -0094　表

既製コンクリート杭　　最終沈殿池：タイプａ　　1　本　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| コンクリート<br>無筋・鉄筋構造物 コンクリート(各種)<br>コンクリートポンプ車打設 | 0.4 | m3 | | | 単第0-0095　表 |
| 型枠<br>一般型枠<br>鉄筋・無筋構造物 | 0.2 | m2 | | | 単第0-0040　表 |
| 鉄筋工　鉄筋加工<br>ＳＤ４９０・Ｄ３５ | 0.31 | t | | | 単第0-0096　表 |
| 鉄筋工　鉄筋組立（差筋および杭頭処理）<br>ＳＤ４９０・Ｄ３５ | 0.31 | t | | | 単第0-0097　表 |
| 鉄筋工　鉄筋加工<br>ＳＤ３４５・Ｄ１３ | 0.03 | t | | | 単第0-0043　表 |
| 鉄筋工　鉄筋組立（差筋および杭頭処理）<br>ＳＤ３４５・Ｄ１３ | 0.03 | t | | | 単第0-0044　表 |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 本 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



コンクリート　SPK26040157　単第0 -0095　表

無筋・鉄筋構造物 コンクリート(各種)　コンクリートポンプ車打設　1　m3　当り

機械構成比: 3.83%　労務構成比: 13.43%　材料構成比: 82.74%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 27,970.00000

| 代表機労材規格(積算地区) | 構成比 | 単価(積算地区) | 代表機労材規格(東京地区) | 単価(東京地区) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| コンクリートポンプ車<br>トラック架装・ブーム式<br>圧送能力90～110m3/h | 3.80% | | コンクリートポンプ車<br>トラック架装・ブーム式<br>圧送能力90～110m3/h | | MTPC00050<br>MTPT00050 |
| その他(機械) | | | その他(機械) | | EK009 |
| 普通作業員 | 6.51% | | 普通作業員 | | RTPC00002<br>RTPT00002 |
| 特殊作業員 | 2.88% | | 特殊作業員 | | RTPC00001<br>RTPT00001 |
| 土木一般世話役 | 2.08% | | 土木一般世話役 | | RTPC00009<br>RTPT00009 |
| 運転手(特殊) | 1.83% | | 運転手(特殊) | | RTPC00006<br>RTPT00006 |
| その他(労務) | | | その他(労務) | | ER009 |
| レディーミクストコンクリート<br>30-15-20BB<br>W/C≦55% | 81.92% | | 生コンクリート<br>高炉 24-12-25(20) W/C 55% | | F0000000001<br>TTPT00343 |
| 軽油<br>パトロール給油,2～4KL積載車給油 | 0.82% | | 軽油パトロール給油 | | TTPC00013<br>TTPT00013 |

# 施工単価表



コンクリート　SPK26040157　単第0 -0095　表

無筋・鉄筋構造物 コンクリート(各種)　コンクリートポンプ車打設　1　m3　当り

機械構成比: 3.83%　労務構成比: 13.43%　材料構成比: 82.74%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 27,970.00000

| 代表機労材規格(積算地区) | 構成比 | 単価(積算地区) | 代表機労材規格(東京地区) | 単価(東京地区) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 積算単価 | | | 積算単価 | | E9999 |
| A=1 無筋・鉄筋構造物<br>C=4 コンクリート(各種)<br>E=1 設計日打設量10m3以上100m3未満<br>G=1 圧送管延長距離延長無し | | | B=1 コンクリートポンプ車打設<br>D=1 【F】コンクリート(m3)<br>F=1 養生工無し<br>J=1 - | | |
| K=1 -(全ての費用) | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



鉄筋工　鉄筋加工　S1040015　単第0 -0096　表

ＳＤ４９０・Ｄ３５　1　t　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | 0.100 | 人 | | | |
| 鉄筋工 | 1.100 | 人 | | | |
| 普通作業員 | 0.100 | 人 | | | |
| <作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型)<br>25t吊,オペレータ付<br>排1～3,2011,2014 | 0.040 | 日 | | | |
| 異形棒鋼<JISG3112><br>SD490,D35<br>単位質量7.51kg/m | 1.030 | t | | | 1*1.03 |
| 諸雑費 | 12 | % | | | #09 |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | t | | | |
| A=1　加工 | | | C=18　ＳＤ４９０・Ｄ３５ | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



鉄筋工　鉄筋組立（差筋および杭頭処理）　S1040015　単第0 -0097　表

ＳＤ４９０・Ｄ３５　1　t　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 土木一般世話役 | 0.200 | 人 | | | |
| 鉄筋工 | 1.600 | 人 | | | |
| 普通作業員 | 0.100 | 人 | | | |
| 諸雑費 | 2 | % | | | #09 |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | t | | | |
| A=2　組立<br>C=18　ＳＤ４９０・Ｄ３５ | | | B=5　差筋および杭頭処理 | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



杭頭補強工　　V0011　　単第0 -0098　表

既製コンクリート杭　　最終沈殿池：タイプb　　1　本　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| コンクリート<br>無筋・鉄筋構造物 コンクリート(各種)<br>コンクリートポンプ車打設 | 0.4 | m3 | | | 単第0-0095　表 |
| 型枠<br>一般型枠<br>鉄筋・無筋構造物 | 0.2 | m2 | | | 単第0-0040　表 |
| 鉄筋工　鉄筋加工<br>ＳＤ４９０・Ｄ３５ | 0.28 | t | | | 単第0-0096　表 |
| 鉄筋工　鉄筋組立（差筋および杭頭処理）<br>ＳＤ４９０・Ｄ３５ | 0.28 | t | | | 単第0-0097　表 |
| 鉄筋工　鉄筋加工<br>ＳＤ３４５・Ｄ１３ | 0.03 | t | | | 単第0-0043　表 |
| 鉄筋工　鉄筋組立（差筋および杭頭処理）<br>ＳＤ３４５・Ｄ１３ | 0.03 | t | | | 単第0-0044　表 |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 本 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



杭頭補強工　　V0012　　単第0 -0099　表

既製コンクリート杭　　最終沈殿池：タイプｃ　　1　本　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| コンクリート<br>無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB<br>コンクリートポンプ車打設 | 0.4 | m3 | | | 単第0-0039　表 |
| 型枠<br>一般型枠<br>鉄筋・無筋構造物 | 0.2 | m2 | | | 単第0-0040　表 |
| 鉄筋工　鉄筋加工<br>ＳＤ３４５・Ｄ１６～Ｄ２５ | 0.11 | t | | | 単第0-0041　表 |
| 鉄筋工　鉄筋組立（差筋および杭頭処理）<br>ＳＤ３４５・Ｄ１６～Ｄ２５ | 0.11 | t | | | 単第0-0042　表 |
| 鉄筋工　鉄筋加工<br>ＳＤ３４５・Ｄ１３ | 0.02 | t | | | 単第0-0043　表 |
| 鉄筋工　鉄筋組立（差筋および杭頭処理）<br>ＳＤ３４５・Ｄ１３ | 0.02 | t | | | 単第0-0044　表 |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 本 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



コンクリート　SPK26040157　単第0 -0100　表

無筋・鉄筋構造物 コンクリート(各種)　コンクリートポンプ車打設　1　m3　当り

機械構成比: 3.70%　労務構成比: 16.47%　材料構成比: 79.83%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 28,992.00000

| 代表機労材規格(積算地区) | 構成比 | 単価(積算地区) | 代表機労材規格(東京地区) | 単価(東京地区) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| コンクリートポンプ車<br>トラック架装・ブーム式<br>圧送能力90～110m3/h | 3.67% | | コンクリートポンプ車<br>トラック架装・ブーム式<br>圧送能力90～110m3/h | | MTPC00050<br>MTPT00050 |
| その他(機械) | | | その他(機械) | | EK009 |
| 普通作業員 | 8.59% | | 普通作業員 | | RTPC00002<br>RTPT00002 |
| 土木一般世話役 | 2.90% | | 土木一般世話役 | | RTPC00009<br>RTPT00009 |
| 特殊作業員 | 2.78% | | 特殊作業員 | | RTPC00001<br>RTPT00001 |
| 運転手(特殊) | 1.76% | | 運転手(特殊) | | RTPC00006<br>RTPT00006 |
| その他(労務) | | | その他(労務) | | ER009 |
| レディーミクストコンクリート<br>30-15-20BB<br>W/C≦55% | 79.04% | | 生コンクリート<br>高炉 24-12-25(20) W/C 55% | | F0000000001<br>TTPT00343 |
| 軽油<br>パトロール給油,2～4KL積載車給油 | 0.79% | | 軽油パトロール給油 | | TTPC00013<br>TTPT00013 |

# 施工単価表



コンクリート　SPK26040157　単第0 -0100　表

無筋・鉄筋構造物 コンクリート(各種)　コンクリートポンプ車打設　1　m3　当り

機械構成比: 3.70%　労務構成比: 16.47%　材料構成比: 79.83%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 28,992.00000

| 代表機労材規格(積算地区) | 構成比 | 単価(積算地区) | 代表機労材規格(東京地区) | 単価(東京地区) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 積算単価 | | | 積算単価 | | E9999 |
| A=1 無筋・鉄筋構造物<br>C=4 コンクリート(各種)<br>E=1 設計日打設量10m3以上100m3未満<br>G=1 圧送管延長距離延長無し | | | B=1 コンクリートポンプ車打設<br>D=1 【F】コンクリート(m3)<br>F=2 一般養生<br>J=1 - | | |
| K=1 -(全ての費用) | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



グレーチング蓋設置工　V0037　単第0 -0101　表

G-1、開口寸法L500*W500用　1　箇所　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| SUSグレーチング蓋（受枠共）<br>G-1　開口500*500,蓋600*600*19,軽荷重用<br>バー間隔30mm、すべり止め付 | 1 | 組 | | | |
| 蓋版<br>材料別途 40≧重量 | 1 | 枚 | | | 単第0-0063　表 |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 箇所 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



グレーチング蓋設置工　V0038　単第0 -0102　表

G-2、開口寸法L1800*W1000用　1　箇所　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| SUSグレーチング蓋（受枠共）<br>G-2　開口1800*1000,蓋1900*1100*25(3分割)<br>軽荷重用,バー間隔30㎜,すべり止め付 | 1 | 組 | | | |
| 蓋版<br>材料別途 40<重量≦170 | 1 | 枚 | | | 単第0-0060　表 |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 箇所 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



グレーチング蓋設置工　V0039　単第0 -0103　表

G-3、開口寸法L1400*W600用　1　箇所　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| SUSグレーチング蓋（受枠共）<br>G-3　開口1400*600,蓋1500*700*25(2分割)<br>軽荷重用,バー間隔30㎜,すべり止め付 | 1 | 組 | | | |
| 蓋版<br>材料別途 40≧重量 | 1 | 枚 | | | 単第0-0063　表 |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 箇所 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



グレーチング蓋設置工　V0040　単第0 -0104　表

G-4、開口寸法L600*W500用　1　箇所　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| SUSグレーチング蓋（受枠共）<br>G-4　開口600*500,蓋700*600*25,軽荷重用<br>バー間隔30mm、すべり止め付 | 1 | 組 | | | |
| 蓋版<br>材料別途 40≧重量 | 1 | 枚 | | | 単第0-0063　表 |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 箇所 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



グレーチング蓋設置工　V0041　単第0 -0105　表

G-5、開口寸法L1000*W600用　1　箇所　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| SUSグレーチング蓋（受枠共）<br>G-5　開口1000*600,蓋1100*700*25,軽荷重用<br>バー間隔30㎜、すべり止め付 | 1 | 組 | | | |
| 蓋版<br>材料別途 40≧重量 | 1 | 枚 | | | 単第0-0063　表 |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 箇所 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



グレーチング蓋設置工　V0042　単第0 -0106　表

G-6、開口寸法L800*W800用　1　箇所　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| SUSグレーチング蓋（受枠共）<br>G-6　開口800*800,蓋900*900*25,軽荷重用<br>バー間隔30㎜、すべり止め付 | 1 | 組 | | | |
| 蓋版<br>材料別途 40≧重量 | 1 | 枚 | | | 単第0-0063　表 |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 箇所 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



グレーチング蓋設置工　V0043　単第0 -0107　表

G-7、開口寸法L1500*W800用　1　箇所　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| SUSグレーチング蓋（受枠共）<br>G-7　開口1500*800,蓋1600*900*25(2分割)<br>軽荷重用,バー間隔30㎜,すべり止め付 | 1 | 組 | | | |
| 蓋版<br>材料別途 40≧重量 | 1 | 枚 | | | 単第0-0063　表 |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 箇所 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



グレーチング蓋設置工　V0044　単第0 -0108　表

G-8、開口寸法L800*W600用　1　箇所　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| SUSグレーチング蓋（受枠共）<br>G-8　開口800*600,蓋900*700*25,軽荷重用<br>バー間隔30㎜、すべり止め付 | 1 | 組 | | | |
| 蓋版<br>材料別途 40≧重量 | 1 | 枚 | | | 単第0-0063　表 |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 箇所 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



FRP蓋設置工　V0027　単第0 -0109　表

FRP-9、開口寸法L1000*W600用　1　箇所　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| FRP蓋（SUS取手付）<br>FRP-9　1084*684*35　軽荷重用<br>表面ノンスリップ処理 | 1 | 枚 | | | |
| FRP蓋受枠（SUS製）<br>FRP-9　開口寸法L1000*W600 | 1 | 組 | | | |
| 蓋版<br>材料別途 40≧重量 | 1 | 枚 | | | 単第0-0063　表 |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 箇所 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



小型角落し　　V0029　　単第0 -0110　表

K-2、水路寸法600*1300用　　1　　箇所　　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| SUS角落し<br>K-2　SUS304　650*1050*3<br>引上金物付 | 1 | 箇所 | | | |
| SUS角落し受枠<br>K-2用　SUS304 | 1 | 箇所 | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 箇所 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



小型角落し設置工　　V0055　　単第0 -0111　表

K-2,水路寸法600*1300用　　1　　箇所　　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 設備機械工 | 0.13 | 人 | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 箇所 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



合成木材角落し　　V0031　　単第0 -0112　表

FK-2、水路寸法800*2100用　　1　　箇所　　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 合成木材角落し<br>ガラス長繊維強化硬質発泡ウレタン<br>W960*H500*49　SUS取手付 | 1 | 箇所 | | | |
| 合成木材角落し受枠<br>FK-2用　SUS304<br>水路寸法800*2100用 | 1 | 箇所 | | | |
| 浮力防止用クサビ<br>合成木材角落し用<br>角落し呼称140㎜以下用 | 2 | 個 | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 箇所 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



合成木材角落し設置工　　V0057　　単第0 -0113　表

FK-2,水路寸法800*2100用　　1　箇所　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 設備機械工 | 0.83 | 人 | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 箇所 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



アルミ製手すり（扉）設置工　V0033　単第0 -0114　表

H=1100　ベースポストタイプ　1　箇所　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| アルミ製手すり（扉）<br>HR-D　H1100*W900　ベースポストタイプ<br>日本下水道事業団仕様 | 1 | 箇所 | | | |
| 手すり（扉）設置工<br>H1100*W900 | 1 | 基 | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 箇所 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



止水板　　V0053　　単第0 -0115　表

ゴム製止水板（耐震用）　　1　　式　　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 止水板<br>止水板(各種) | 8 | m | | | 単第0-0116　表 |
| 止水板加工費<br>ゴム製止水板（耐震用）<br>90度コーナー加工費 | 2 | 箇所 | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 式 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



止水板　　SPK26040119　　単第0 -0116　表

止水板(各種)　　1　m　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 57.14%　材料構成比: 42.86%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 3,045.40000

| 代表機労材規格(積算地区) | 構成比 | 単価(積算地区) | 代表機労材規格(東京地区) | 単価(東京地区) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 普通作業員 | 42.25% | | 普通作業員 | | RTPC00002<br>RTPT00002 |
| 土木一般世話役 | 14.89% | | 土木一般世話役 | | RTPC00009<br>RTPT00009 |
| 止水板<br>ゴム製　耐震用センターバルブ形<br>幅300、厚16mm | 42.86% | | 塩ビ製止水板<br>CF 幅200×厚さ5mm | | F0000000006<br>TTPT00198 |
| 積算単価 | | | 積算単価 | | EP001 |
| A=9　止水板(各種) | | | B=6　【F】止水板(m) | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



越流堰板　　V0045　　単第0 -0117　表

FRP製　　1　m　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 越流堰板<br>FRP製　H250*4　異形<br>日本下水道事業団仕様 | 1 | m | | | |
| 越流堰板用アンカー<br>SUS304,M10×70 | 4 | 本 | | | |
| 越流堰板用丸座金<br>SUS304,φ50×5t | 4 | 枚 | | | |
| 越流堰板用パッキン<br>100W×3t | 1 | m | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | m | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



コンクリート　SPK26040157　単第0 -0118　表

小型構造物 18-8-25(20)BB　クレーン車打設　1　m3　当り

機械構成比: 5.51%　労務構成比: 41.22%　材料構成比: 53.27%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 42,611.00000

| 代表機労材規格(積算地区) | 構成比 | 単価(積算地区) | 代表機労材規格(東京地区) | 単価(東京地区) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| <作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型)<br>16t吊,オペレータ付<br>排1～3,2011,2014 | 5.30% | | ラフテレーンクレーン<br>油圧伸縮ジブ型<br>最大吊上能力16t吊 | | KTPC00023<br>KTPT00023 |
| その他(機械) | | | その他(機械) | | EK009 |
| 普通作業員 | 24.02% | | 普通作業員 | | RTPC00002<br>RTPT00002 |
| 土木一般世話役 | 8.21% | | 土木一般世話役 | | RTPC00009<br>RTPT00009 |
| 特殊作業員 | 7.01% | | 特殊作業員 | | RTPC00001<br>RTPT00001 |
| その他(労務) | | | その他(労務) | | ER009 |
| レディーミクストコンクリート指定品<br>呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25)<br>W/C(60%),種別(高炉) | 53.27% | | 生コンクリート<br>高炉 24-12-25(20) W/C 55% | | TTPC00003<br>TTPT00343 |
| 積算単価 | | | 積算単価 | | E9999 |
| A=2 小型構造物<br>C=3 18-8-25(20)BB<br>I=1 打設高さ約17m以下,水平打設距離約17m以下<br>K=1 -(全ての費用) | | | B=4 クレーン車打設<br>F=2 一般養生<br>J=1 - | | |

# 施工単価表



コンクリート　SPK26040157　単第0 -0118　表

小型構造物 18-8-25(20)BB　クレーン車打設　1　m3　当り

機械構成比: 5.51%　労務構成比: 41.22%　材料構成比: 53.27%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 42,611.00000

| 代表機労材規格(積算地区) | 構成比 | 単価(積算地区) | 代表機労材規格(東京地区) | 単価(東京地区) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



型枠　SPK26040159　単第0 -0119　表

一般型枠　小型構造物　1　m2　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 100.00%　材料構成比: 0.00%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 9,646.50000

| 代表機労材規格(積算地区) | 構成比 | 単価(積算地区) | 代表機労材規格(東京地区) | 単価(東京地区) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 型わく工 | 44.38% | | 型わく工 | | RTPC00010<br>RTPT00010 |
| 普通作業員 | 30.83% | | 普通作業員 | | RTPC00002<br>RTPT00002 |
| 土木一般世話役 | 11.75% | | 土木一般世話役 | | RTPC00009<br>RTPT00009 |
| その他(労務) | | | その他(労務) | | ER009 |
| 積算単価 | | | 積算単価 | | EP001 |
| A=1　一般型枠<br>C=1　-(全ての費用) | | | B=2　小型構造物 | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



配管据付工　　V0049　　単第0 -0120　表

ステンレス鋼管φ300　　屋外配管　　1　m　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 配管工 | 1.77 | 人 | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | m | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



配管据付工　　V0051　　単第0 -0121　表

ステンレス鋼管φ100　　屋外配管　　1　m　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 配管工 | 0.62 | 人 | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | m | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



配管据付工　　V0052　　単第0 -0122　表

塩化ビニル管φ50　　排水通気用　　1　m　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 配管工 | 0.15 | 人 | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | m | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



コンクリート切断工　　V0047　　単第0 -0123　表

ワイヤーソーイング工　　最終沈殿池　壁厚400mm　　1　　箇所　　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| ワイヤーソーイング工<br>高配筋 | 8 | m2 | | | |
| コンクリート削孔(コンクリート穿孔機)<br>削孔径60mm以上64mm未満<br>削孔深さ400mm以上600mm未満 | 4 | 孔 | | | 単第0-0084　表 |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 箇所 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



コンクリート切断工　　V0048　　単第0 -0124　表

ワイヤーソーイング工　　最終沈殿池　壁厚150㎜　　1　　箇所　　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| ワイヤーソーイング工<br>高配筋 | 0.6 | m2 | | | |
| コンクリート削孔(コンクリート穿孔機)<br>削孔径60㎜以上64㎜未満<br>削孔深さ400㎜以上600㎜未満 | 4 | 孔 | | | 単第0-0084　表 |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 箇所 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



重建設機械分解組立輸送　S1000017　単第0 -0125　表

クローラクレーン系　35t吊超え80t吊以下　1　回　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 特殊作業員 | 5.500 | 人 | | | 5.5*1 |
| <作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型)<br>25t吊,オペレータ付<br>排1～3,2011,2014 | 1.500 | 日 | | | 1.5*1 |
| 運搬費等 | 434 | % | | | #06 |
| 諸雑費 | 1 | 式 | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 回 | | | |
| A=3　クローラクレーン系<br>C=1　- | | | B=6　35t吊超え80t吊以下<br>E=1　分解・組立 | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



重建設機械分解組立輸送　S1000017　単第0 -0126　表

クローラ式杭打機　20t以上60t以下　1　回　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 特殊作業員 | 8.600 | 人 | | | 8.6*1 |
| <作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型)<br>60t吊,オペレータ付<br>排2,3,2011,2014 | 2.100 | 日 | | | 2.1*1 |
| 運搬費等 | 163 | % | | | #06 |
| 諸雑費 | 1 | 式 | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 回 | | | |
| A=5　クローラ式杭打機<br>C=1　- | | | B=15　20t以上60t以下<br>E=1　分解・組立 | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬　S1000007　単第0 -0127　表

運搬距離 61.5km　製品長 12m以内　1　式　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 基本運賃<br>運搬距離 61.5km<br>製品長 12m以内 運搬質量 607t | 1.000 | 式 | | | 単第0-0128　表 |
| 積込み,取卸しに要する費用 | 1.000 | 式 | | | 単第0-0129　表 |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 式 | | | |
| A=61.5　運搬距離(km)<br>C=1　-<br>E=607　運搬質量(t) | | | B=1　12m以内<br>D=1　-<br>F=1　- | | |
| H=1　-<br>L=2　基地積込み,現場取卸し | | | J=1　- | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



基本運賃　S1000009　単第0 -0128　表

運搬距離 61.5km　製品長 12m以内 運搬質量 607t　1　式　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 基本運賃 | 1.000 | 式 | | | ※直接経費の対象外 |
| t当り基本運賃 | 607.000 | t | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 式 | | | |
| A=1　基本運賃<br>C=1　12m以内 | | | B=61.5　運搬距離(km)<br>D=607　運搬質量(t) | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



積込み,取卸しに要する費用　　S1000009　　単第0 -0129　表

1　式　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 仮設材積込み費（基地） | 607.000 | t | | | |
| 仮設材取卸し費（現場） | 607.000 | t | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 式 | | | |
| A=5　積込み,取卸しに要する費用<br>K=2　基地積込み,現場取卸し | | | D=607　運搬質量(t) | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬　S1000007　単第0 -0130　表

運搬距離 61.5km　製品長 12m以内　1　式　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 基本運賃<br>運搬距離 61.5km<br>製品長 12m以内 運搬質量 553t | 1.000 | 式 | | | 単第0-0131　表 |
| 積込み,取卸しに要する費用 | 1.000 | 式 | | | 単第0-0132　表 |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 式 | | | |
| A=61.5　運搬距離(km)<br>C=1　-<br>E=553　運搬質量(t) | | | B=1　12m以内<br>D=1　-<br>F=1　- | | |
| H=1　-<br>L=3　現場積込み,基地取卸し | | | J=1　- | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



基本運賃　S1000009　単第0 -0131　表

運搬距離 61.5km　製品長 12m以内 運搬質量 553t　1　式　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 基本運賃 | 1.000 | 式 | | | ※直接経費の対象外 |
| t当り基本運賃 | 553.000 | t | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 式 | | | |
| A=1　基本運賃<br>C=1　12m以内 | | | B=61.5　運搬距離(km)<br>D=553　運搬質量(t) | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

# 施工単価表



積込み,取卸しに要する費用　　S1000009　　単第0 -0132　表

1　式　当り

| 名称・規格など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 仮設材積込み費（現場） | 553.000 | t | | | |
| 仮設材取卸し費（基地） | 553.000 | t | | | |
| ＊＊＊　単位当たり　＊＊＊ | 1 | 式 | | | |
| A=5　積込み,取卸しに要する費用<br>K=3　現場積込み,基地取卸し | | | D=553　運搬質量(t) | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |